国立国語研究所学術情報リポジトリ

テレビ放送の語彙調査 1 方法・標本一覧・分析

メタデータ	言語: Japanese 出版者: 公開日: 2017-06-09 キーワード (Ja): キーワード (En): 作成者: 国立国語研究所, The National Language Research Institute メールアドレス: 所属:
URL	https://doi.org/10.15084/00001281

国立国語研究所報告　112

テレビ放送の語彙調査 Ⅰ

―方法・標本一覧・分析―

国立国語研究所

1995

刊行のことば

言語体系研究部第二研究室では，昭和63(1988)年以来，テレビ放送の語彙調査を行ってきましたが，このたび，標本についての集計と主な分析を終えましたので，ここに報告します。これに引き続き，語彙表とその分析についても，順次，報告していく予定です。

国語研究所は，これまで，雑誌・新聞・教科書などを対象とする大規模な語彙調査を行ってきましたが，テレビ放送の語彙を対象とするのは，今回の調査が初めてのことです。この調査は，音声による語彙と画面文字による語彙の両方を対象とするということ，また，話し手など言語の運用的な側面と語彙との関連を探るということにおいて，これまでの書きことばの語彙調査にはない特徴をもっています。と同時に，そのような調査にふさわしい方法論を開発することにも，主眼を置いています。この報告が，語彙研究はもとより，話しことば研究，マス・コミュニケーション言語の研究，言語生活研究など，関連する諸領域の発展に資することを願ってやみません。大方のご教示・ご批判を乞う次第です。

調査を進めるにあたっては，日本放送協会，日本民間放送連盟をはじめとして，各方面から数々のご助力・ご助言を賜りました。ここに厚くお礼申し上げます。

平成7年10月

国立国語研究所長　水谷　修

目　　次

刊行のことば …… i

第1部　序　論
第1章　この報告書の目的 ……（石井正彦）…… 3
第2章　調査の目的 ……（　同上　）…… 4
第3章　調査の対象 ……（　同上　）…… 7
第4章　調査の特徴 ……（大島資生）…… 12
第5章　調査の担当者・経緯 ……（石井正彦）…… 25

第2部　方法編
第1章　調査の手順 ……（大島資生・小沼　悦）…… 29
第2章　標本の抽出 ……（山崎　誠）…… 33
第3章　音声・画面文字の認定 ……（石井正彦）…… 41
第4章　音声の文字化 ……（石井正彦・小沼　悦）…… 46
第5章　単位語の認定（調査単位） ……（山崎　誠）…… 49
第6章　見出し語の認定と集計 ……（石井正彦）…… 64
第7章　データの形式と管理 ……（大島資生・小沼　悦）…… 68

第3部　資料編
データの概要 …… 79
標本一覧 …… 80

第4部　分析編
第1章　分析の目的・方法・問題点 ……（石井正彦）…… 205
第2章　標本全体 ……（山崎　誠）…… 219
第3章　本編とＣＭ ……（　同上　）…… 237
第4章　音声と画面 ……（　同上　）…… 246
第5章　番組のジャンル ……（大島資生）…… 254
第6章　チャンネル ……（石井正彦）…… 278
第7章　放送時間帯 ……（　同上　）…… 288
第8章　放送曜日 ……（小沼　悦）…… 305
第9章　番組の長さ ……（石井正彦）…… 313
第10章　視 聴 率 ……（中野　洋）…… 325
第11章　話　　者 ……（大島資生）…… 357
第12章　視聴行動 ……（石井正彦）…… 375
第13章　画面文字の媒体 ……（　同上　）…… 391

索　　引 …… 398
英文要旨 …… 404

細部の目次

第1部　序　論

第1章　この報告書の目的 …… 3

第2章　調査の目的 …… 4

1．この調査は，現代のテレビ放送において，どのような語が，どのような場合に，どのくらい使われるのか，その実態を調べることを目的とする …… 4

2．この調査は，テレビ放送の語彙をとおして，現代日本語の語彙のありさまを追究することを目的とする …… 5

3．この調査は，テレビ放送がその音声と画面とをとおして伝える語を，どのように調査するか，その方法論を確立するための基礎を築くことを目的とする …… 5

第3章　調査の対象 …… 7

1．1989年4～6月の放送 …… 7

2．全国放送網のキー局の放送 …… 8

3．一日24時間の放送 …… 9

4．すべての放送 …… 9

5．視聴可能な音声・文字 …… 10

6．日本語の語彙 …… 10

7．音声・文字によって表された語彙 …… 11

8．語　彙 …… 11

第4章　調査の特徴 …… 12

1．国語研究所による従来の研究との関連 …… 12

1.1 文字言語（書きことば）の語彙調査 …… 12

1.2 音声言語（話しことば）の調査－語彙に関するものを中心に－ …… 13

1.2.1 従来の調査の概観 …… 13

1.2.2 今回の調査との比較 …… 18

2．ＮＨＫ放送文化研究所による放送用語の調査研究 …… 18

2.1 従来の調査の概観 …… 19

2.2 今回の調査との比較 …… 23

3．今回の調査の位置づけ …… 24

第5章　調査の担当者・経緯 …… 25

第2部　方法編

第1章　調査の手順 …… 29
1．標本の抽出・採録 …… 29
1.1 録　画 …… 29
1.2 編　集 …… 29
2．画面文字の採集 …… 29
2.1 画面のプリント …… 29
2.2 画面文字の認定 …… 29
2.3 画面文字の入力 …… 29
3．音声の文字化 …… 30
3.1 準　備 …… 30
3.2 おおまかな文字化 …… 30
3.3 文のおおまかな認定 …… 30
3.4 文字化の検査・確定（調査対象とする音声の認定）…… 30
4．情報付加 …… 31
5．単位切り …… 31
6．同語異語判別（読み・代表形の付与）…… 31
7．語種・品詞の付与 …… 31
8．標本一覧の作成 …… 32
9．話者一覧の作成 …… 32
10．語彙表の作成 …… 32

第2章　標本の抽出 …… 33
1．標本抽出に当たって …… 33
2．標本時間について …… 34
3．標本抽出の方法 …… 34
4．標本抽出の手順 …… 34
5．標本抽出の結果 …… 35
5.1 データの平均性 …… 35
5.2 エラーについて …… 39
6．この報告書の標本について …… 39

第3章　音声・画面文字の認定 …… 41
1．何を視聴可能と認めるか …… 41
1.1 音声について …… 41
1.2 画面文字について …… 41

2．日本語か外国語か …… 43
3．何を音声・文字と認めるか …… 44
3.1 音声について …… 44
3.2 画面文字について …… 45

第4章　音声の文字化 …… 46

第5章　単位語の認定（調査単位）…… 49
1．この調査で用いた単位 …… 49
2．単位の切り方（長い単位）…… 50
【A．定　義】…… 51
【B．基本的な手順―構文的情報による規定】…… 51
【C．意味情報による規定】…… 52
【D．単位の内部構造による規定】…… 53
【E．例外の取り扱い】…… 58
【F．補　則】…… 59
3．単位切りの例 …… 62

第6章　見出し語の認定と集計 …… 64
1．見出し語（集計単位）の定め方 …… 64
2．画面文字列の読み方 …… 64
3．集　計 …… 66
3.1 集計の対象 …… 66
3.2 集計の方法 …… 67

第7章　データの形式と管理 …… 68
1．機械可読媒体 …… 68
1.1 言語データ …… 68
1.1.1 音声文字化データ …… 68
1.1.2 画面文字データ …… 69
1.1.3 ＫＷＩＣデータ（音声・画面文字統合）…… 71
1.1.3.1 音声情報 …… 71
1.1.3.2 画面文字情報 …… 71
1.1.4 語種・品詞データ …… 72
1.2 付帯データ …… 72
1.2.1 番組情報に関するデータ …… 72
1.2.2 ＣＭ情報に関するデータ …… 72

1.2.2.1 ＣＭの認定について …… 72
1.2.3 話者情報に関するデータ …… 73
1.2.3.1 話者レコード …… 73
1.2.3.2 話者情報 …… 73
1.2.4 プログラム群 …… 74
2．非機械可読媒体 …… 75
2.1 原データ …… 75
2.2 ビデオ予約等作業記録表 …… 75
2.3 文字化台帳 …… 76
2.4 ＫＷＩＣのプリントアウト数種 …… 76
2.5 画面情報 …… 76
2.6 番組情報付与のための資料 …… 76
2.7 話者情報付与のための文献 …… 76

第３部　資料編

データの概要 …… 79
1．調査対象 …… 79
2．調査方式 …… 79
3．調査単位 …… 79
4．調査の規模 …… 79
5．標本についての主な数値 …… 79

標本一覧 …… 80
＜凡　例＞ …… 80

第４部　分析編

第１章　分析の目的・方法・問題点 …… 205
1．分析の位置づけ …… 205
2．分析の単位 …… 205
3．分析の目的 …… 205
4．分析の方法 …… 207
4.1 バッチ …… 207
4.2 要約値としての平均値と中央値 …… 208

4.3 幹葉表示 …… 210
4.4 五数要約と箱型図 …… 211
4.5 外れ値の検討 …… 212
4.6 その他 …… 213
5．問題点 …… 214
5.1 標本数 …… 214
5.2 欠損値 …… 214
5.3 語の密度 …… 214

第2章　標本全体 …… 219
1．語の密度 …… 219
1.1 テレビ放送において，どのくらいの語が発せられているか …… 219
1.2 音声の語の密度が大きい（あるいは小さい）標本の特徴 …… 220
1.3 画面文字の語の密度が大きい（あるいは小さい）標本の特徴 …… 221
2．各変数の語数の分布の記述 …… 223
2.1 音声・本編・延べ語数 …… 223
2.2 音声・本編・異なり語数 …… 223
2.3 画面文字・本編・延べ語数および異なり語数 …… 224
2.4 音声・ＣＭ・延べ語数および異なり語数 …… 224
2.5 画面・ＣＭ・延べ語数および異なり語数 …… 225
3．語種と品詞の割合の分布 …… 226
3.1 語種の割合の分布 …… 226
3.1.1 和　語 …… 226
3.1.2 漢　語 …… 227
3.1.3 外来語 …… 228
3.1.4 混種語 …… 230
3.2 品詞の割合の分布 …… 231
3.2.1 体の類 …… 231
3.2.2 用の類 …… 232
3.2.3 相の類 …… 233
3.2.4 その他の類 …… 235
4．まとめ …… 236

第3章　本編とＣＭ …… 237
1．本編とＣＭ …… 237
1.1 本編とＣＭの区別 …… 237
1.2 本編時間とＣＭ時間 …… 237

1.3 ＣＭと語の密度 …… 238
2．語の密度の比較 …… 238
2.1 全体的な特徴 …… 238
2.2 音声について …… 239
2.3 画面文字について …… 239
3．他の変数とＣＭの語の密度との関係 …… 239
3.1 曜日とＣＭ …… 240
3.2 番組のジャンルとＣＭ …… 241
3.3 時間帯とＣＭ …… 242
3.4 視聴率（番組の視聴率）とＣＭ …… 244
4．まとめ …… 245

第４章　音声と画面 …… 246
1．音声と画面 …… 246
2．語の密度の違い …… 246
2.1 本編・ＣＭの語の密度 …… 246
2.2 語種・品詞の比率 …… 247
2.3 番組のジャンルとの関係 …… 248
3．延べ語数と異なり語数の関係からみた音声と画面文字 …… 248
3.1 語の密度における音声と画面文字との相関 …… 248
3.2 延べ語数の異なり語数に対する比 …… 249
4．まとめ …… 253

第５章　番組のジャンル …… 254
Ⅰ．分類の方法 …… 254
Ⅱ．データの考察 …… 256
1．度数分布の型 …… 256
1.1 音　声 …… 256
1.1.1 語の密度（延べ） …… 256
1.1.2 語の密度（異なり） …… 258
1.2 画　面 …… 259
1.2.1 語の密度（延べ） …… 259
1.2.2 語の密度（異なり） …… 261
2．語の密度の検討 …… 262
3．語種・品詞構成 …… 265
4．ジャンル設定の妥当性－χ二乗検定－ …… 276
5．まとめ …… 277

第6章　チャンネル …… 278
1．目　的 …… 278
2．音　声 …… 278
2.1 幹葉表示による概観 …… 278
2.2 五数要約・平行箱型図による概観 …… 280
3．画　面 …… 281
3.1 幹葉表示による概観 …… 281
3.2 五数要約・平行箱型図による概観 …… 282
4．音声と画面 …… 284
5．まとめ …… 285

第7章　放送時間帯 …… 288
1．目　的 …… 288
2．前　提 …… 288
3．データ …… 289
4．語の密度 …… 290
4.1 音　声 …… 290
4.2 画　面 …… 296
4.3 音声と画面 …… 302
5．まとめ …… 304

第8章　放送曜日 …… 305
1．目　的 …… 305
2．データ …… 305
3．曜日別による分布の概観 …… 305
4．平日・土曜・日曜別による分布の概観 …… 306
4.1 ヒストグラム …… 306
4.2 五数要約値と箱型図 …… 309
5．まとめ …… 311

第9章　番組の長さ …… 313
1．目　的 …… 313
2．データ …… 313
2.1 対　象 …… 313
2.2 長さの区分 …… 313
2.3 話者数の影響 …… 314
2.4 ジャンルの影響 …… 316

3．音声の語の密度 …… 317
4．画面の語の密度 …… 319
5．名詞の比率 …… 321
6．まとめ …… 323

第10章　視聴率 …… 325
1．目　的 …… 325
2．視聴の尺度 …… 325
3．視聴率の分布 …… 326
3.1 テレビをつける時間帯 …… 326
3.2 テレビを見る曜日 …… 327
3.3 視聴率１の分布 …… 328
3.4 占拠率の分布 …… 329
4．時間帯と視聴率１ …… 330
5．番組のジャンルと視聴率 …… 332
6．チャンネルと視聴率 …… 334
7．曜日と視聴率 …… 336
8．視聴率と語彙 …… 337
8.1 語　数 …… 337
8.2 音声・本編 …… 338
8.3 画面・本編 …… 340
8.4 音声・ＣＭ …… 342
8.5 画面・ＣＭ …… 344
9．視聴率と語種 …… 345
10．視聴率と品詞 …… 350
11．まとめ …… 355
11.1 目　的 …… 355
11.2 時間帯・番組・チャンネル・曜日 …… 355
11.3 語　彙 …… 355
11.3.1 語　数 …… 355
11.3.2 語　種 …… 356
11.3.3 視聴率と品詞 …… 356

第11章　話　者 …… 357
1．話者情報の概観 …… 357
1.1 情報判明の度合い …… 357
1.2 標本別話者数 …… 358

1.3 性　別 …… 359
1.4 年　齢 …… 360
1.5 職　業 …… 361
2．音声データと話者情報 …… 362
2.1 話者数と語の密度 …… 362
2.2 性別と語彙 …… 363
2.3 年齢と語彙 …… 366
2.4 職業と語彙 …… 368
2.5 個人の語彙 …… 372
3．まとめ …… 374

第12章　視聴行動 …… 375
1．目　的 …… 375
2．送出語彙量・視聴語彙量・総視聴語彙量 …… 375
3．データ …… 376
3.1 時刻別行為者率 …… 376
3.2 時間帯別の語の密度 …… 376
3.3「時刻」と「時間帯」 …… 376
4．「国民全体」 …… 379
5．男女年層別 …… 381
6．まとめ …… 389

第13章　画面文字の媒体 …… 391
1．目　的 …… 391
2．前　提 …… 391
3．データ …… 392
4．全体の語彙量 …… 392
5．一画面あたりの語彙量 …… 394
6．番組のジャンルと画面の媒体 …… 396
7．まとめ …… 397

図表の目次

[図2.2-1] チャンネル別標本数と曜日の割合（計画） …… 36
[図2.2-2] チャンネル別の時間帯の割合（計画） …… 36
[図2.2-3] チャンネル別標本数と曜日の割合（結果） …… 36
[図2.2-4] チャンネル別の時間帯の割合（結果） …… 37
[図2.2-5] 曜日別の標本数とチャンネルの割合（結果） …… 37
[図2.2-6] 曜日別の標本数と時間帯の割合（結果） …… 37
[図2.2-7] 時間ごとの標本数（ＮＨＫ総合） …… 38
[図2.2-8] 時間ごとの標本数（ＮＨＫ教育） …… 38
[図2.2-9] 時間ごとの標本数（日本テレビ） …… 38
[図2.2-10] 時間ごとの標本数（ＴＢＳ） …… 38
[図2.2-11] 時間ごとの標本数（フジテレビ） …… 38
[図2.2-12] 時間ごとの標本数（テレビ朝日） …… 39
[図2.2-13] 時間ごとの標本数（テレビ東京） …… 39
[図2.2-14] 曜日別番組分類の内訳（母集団） …… 40
[図2.2-15] 曜日別番組分類の内訳（抽出標本） …… 40
[図4.1-1] ＮＨＫ教育の語の密度の相対度数分布 …… 209
[図4.1-2] ＴＢＳの語の密度の相対度数分布 …… 209
[図4.1-3] ＮＨＫ教育の語の密度の幹葉表示 …… 210
[図4.1-4] ＴＢＳの語の密度の幹葉表示 …… 210
[図4.1-5] ＮＨＫ教育とＴＢＳの，語の密度の背中合わせ幹葉表示 …… 210
[図4.1-6] ＮＨＫ総合における語の密度の値と箱型図との関係 …… 211
[図4.1-7] ＮＨＫ教育とＴＢＳの語の密度の平行箱型図 …… 212
[図4.1-8] 本編時間と延べ語数との関係（音声） …… 216
[図4.1-9] 本編時間と延べ語数との関係（画面） …… 216
[図4.2-1] 語の密度（本編） …… 219
[図4.2-2] 語の密度（ＣＭ） …… 220
[図4.2-3] 語の密度の分布（本編・音声・延べ語数） …… 223
[図4.2-4] 語の密度の分布（本編・音声・異なり語数） …… 223
[図4.2-5] 語の密度の分布（本編・画面文字・延べ語数） …… 224
[図4.2-6] 語の密度の分布（本編・画面文字・異なり語数） …… 224
[図4.2-7] 語の密度の分布（ＣＭ・音声・延べ語数） …… 225
[図4.2-8] 語の密度の分布（ＣＭ・音声・異なり語数） …… 225
[図4.2-9] 語の密度の分布（ＣＭ・画面文字・延べ語数） …… 225
[図4.2-10] 語の密度の分布（ＣＭ・画面文字・異なり語数） …… 225
[図4.2-11] 和語の割合の分布（本編・音声・延べ語数） …… 226
[図4.2-12] 和語の割合の分布（本編・音声・異なり語数） …… 226
[図4.2-13] 和語の割合の分布（本編・画面文字・延べ語数） …… 226
[図4.2-14] 和語の割合の分布（本編・画面文字・異なり語数） …… 226
[図4.2-15] 和語の割合の分布（ＣＭ・音声・延べ語数） …… 227
[図4.2-16] 和語の割合の分布（ＣＭ・音声・異なり語数） …… 227
[図4.2-17] 和語の割合の分布（ＣＭ・画面文字・延べ語数） …… 227
[図4.2-18] 和語の割合の分布（ＣＭ・画面文字・異なり語数） …… 227
[図4.2-19] 漢語の割合の分布（本編・音声・延べ語数） …… 227
[図4.2-20] 漢語の割合の分布（本編・音声・異なり語数） …… 227
[図4.2-21] 漢語の割合の分布（本編・画面文字・延べ語数） …… 228
[図4.2-22] 漢語の割合の分布（本編・画面文字・異なり語数） …… 228

[図 4.2-23] 漢語の割合の分布（CM・音声・延べ語数）…… 228
[図 4.2-24] 漢語の割合の分布（CM・音声・異なり語数）…… 228
[図 4.2-25] 漢語の割合の分布（CM・画面文字・延べ語数）…… 228
[図 4.2-26] 漢語の割合の分布（CM・画面文字・異なり語数）…… 228
[図 4.2-27] 外来語の割合の分布（本編・音声・延べ語数）…… 229
[図 4.2-28] 外来語の割合の分布（本編・音声・異なり語数）…… 229
[図 4.2-29] 外来語の割合の分布（本編・画面文字・延べ語数）…… 229
[図 4.2-30] 外来語の割合の分布（本編・画面文字・異なり語数）…… 229
[図 4.2-31] 外来語の割合の分布（CM・音声・延べ語数）…… 229
[図 4.2-32] 外来語の割合の分布（CM・音声・異なり語数）…… 229
[図 4.2-33] 外来語の割合の分布（CM・画面文字・延べ語数）…… 229
[図 4.2-34] 外来語の割合の分布（CM・画面文字・異なり語数）…… 229
[図 4.2-35] 混種語の割合の分布（本編・音声・延べ語数）…… 230
[図 4.2-36] 混種語の割合の分布（本編・音声・異なり語数）…… 230
[図 4.2-37] 混種語の割合の分布（本編・画面文字・延べ語数）…… 230
[図 4.2-38] 混種語の割合の分布（本編・画面文字・異なり語数）…… 230
[図 4.2-39] 混種語の割合の分布（CM・音声・延べ語数）…… 230
[図 4.2-40] 混種語の割合の分布（CM・音声・異なり語数）…… 230
[図 4.2-41] 混種語の割合の分布（CM・画面文字・延べ語数）…… 231
[図 4.2-42] 混種語の割合の分布（CM・画面文字・異なり語数）…… 231
[図 4.2-43] 体の類の割合の分布（本編・音声・延べ語数）…… 231
[図 4.2-44] 体の類の割合の分布（本編・音声・異なり語数）…… 231
[図 4.2-45] 体の類の割合の分布（本編・画面文字・延べ語数）…… 231
[図 4.2-46] 体の類の割合の分布（本編・画面文字・異なり語数）…… 231
[図 4.2-47] 体の類の割合の分布（CM・音声・延べ語数）…… 232
[図 4.2-48] 体の類の割合の分布（CM・音声・異なり語数）…… 232
[図 4.2-49] 体の類の割合の分布（CM・画面文字・延べ語数）…… 232
[図 4.2-50] 体の類の割合の分布（CM・画面文字・異なり語数）…… 232
[図 4.2-51] 用の類の割合の分布（本編・音声・延べ語数）…… 232
[図 4.2-52] 用の類の割合の分布（本編・音声・異なり語数）…… 232
[図 4.2-53] 用の類の割合の分布（本編・画面文字・延べ語数）…… 233
[図 4.2-54] 用の類の割合の分布（本編・画面文字・異なり語数）…… 233
[図 4.2-55] 用の類の割合の分布（CM・音声・延べ語数）…… 233
[図 4.2-56] 用の類の割合の分布（CM・音声・異なり語数）…… 233
[図 4.2-57] 用の類の割合の分布（CM・画面文字・延べ語数）…… 233
[図 4.2-58] 用の類の割合の分布（CM・画面文字・異なり語数）…… 233
[図 4.2-59] 相の類の割合の分布（本編・音声・延べ語数）…… 234
[図 4.2-60] 相の類の割合の分布（本編・音声・異なり語数）…… 234
[図 4.2-61] 相の類の割合の分布（本編・画面文字・延べ語数）…… 234
[図 4.2-62] 相の類の割合の分布（本編・画面文字・異なり語数）…… 234
[図 4.2-63] 相の類の割合の分布（CM・音声・延べ語数）…… 234
[図 4.2-64] 相の類の割合の分布（CM・音声・異なり語数）…… 234
[図 4.2-65] 相の類の割合の分布（CM・画面文字・延べ語数）…… 234
[図 4.2-66] 相の類の割合の分布（CM・画面文字・異なり語数）…… 234
[図 4.2-67] その他の類の割合の分布（本編・音声・延べ語数）…… 235
[図 4.2-68] その他の類の割合の分布（本編・音声・異なり語数）…… 235
[図 4.2-69] その他の類の割合の分布（本編・画面文字・延べ語数）…… 235
[図 4.2-70] その他の類の割合の分布（本編・画面文字・異なり語数）…… 235
[図 4.2-71] その他の類の割合の分布（CM・音声・延べ語数）…… 235
[図 4.2-72] その他の類の割合の分布（CM・音声・異なり語数）…… 235

[図 4.2-73] その他の類の割合の分布（ＣＭ・画面文字・延べ語数） 236
[図 4.2-74] その他の類の割合の分布（ＣＭ・画面文字・異なり語数） 236
[図 4.3-1] 本編の放送時間 237
[図 4.3-2] ＣＭの放送時間 238
[図 4.3-3] 曜日別のＣＭの語の密度（音声・延べ語数） 240
[図 4.3-4] 曜日別のＣＭの語の密度（音声・異なり語数） 240
[図 4.3-5] 曜日別のＣＭの語の密度（画面文字・延べ語数） 240
[図 4.3-6] 曜日別のＣＭの語の密度（画面文字・異なり語数） 241
[図 4.3-7] 番組のジャンル別のＣＭの語の密度（音声・延べ語数） 241
[図 4.3-8] 番組のジャンル別のＣＭの語の密度（音声・異なり語数） 241
[図 4.3-9] 番組のジャンル別のＣＭの語の密度（画面文字・延べ語数） 242
[図 4.3-10] 番組のジャンル別のＣＭの語の密度（画面文字・異なり語数） 242
[図 4.3-11] 放送時間帯別のＣＭの語の密度（音声・延べ語数） 243
[図 4.3-12] 放送時間帯別のＣＭの語の密度（音声・異なり語数） 243
[図 4.3-13] 放送時間帯別のＣＭの語の密度（画面文字・延べ語数） 243
[図 4.3-14] 放送時間帯別のＣＭの語の密度（画面文字・異なり語数） 244
[図 4.3-15] 視聴率別のＣＭの語の密度（音声・延べ語数） 244
[図 4.3-16] 視聴率別のＣＭの語の密度（音声・異なり語数） 244
[図 4.3-17] 視聴率別のＣＭの語の密度（画面文字・延べ語数） 245
[図 4.3-18] 視聴率別のＣＭの語の密度（画面文字・異なり語数） 245
[図 4.4-1] 音声と画面文字の相関（本編・延べ語数） 249
[図 4.4-2] 音声と画面文字の相関（本編・異なり語数） 249
[図 4.4-3] 音声と画面文字の相関（ＣＭ・延べ語数） 249
[図 4.4-4] 音声と画面文字の相関（ＣＭ・異なり語数） 249
[図 4.4-5] ｎｋ比の分布（本編・音声） 250
[図 4.4-6] ｎｋ比の分布（本編・画面） 250
[図 4.4-7] ｎｋ比の分布（箱型図） 250
[図 4.5-1] ジャンル別の語の密度・全体（音声　延べ） 257
[図 4.5-2] ジャンル別の語の密度・報道系（音声　延べ） 257
[図 4.5-3] ジャンル別の語の密度・教育・教養系（音声　延べ） 257
[図 4.5-4] ジャンル別の語の密度・一般実用系（音声　延べ） 257
[図 4.5-5] ジャンル別の語の密度・音楽系（音声　延べ） 257
[図 4.5-6] ジャンル別の語の密度・バラエティー系（音声　延べ） 257
[図 4.5-7] ジャンル別の語の密度・ストーリー系（音声　延べ） 257
[図 4.5-8] ジャンル別の語の密度・スポーツ系（音声　延べ） 257
[図 4.5-9] ジャンル別の語の密度・全体（音声　異なり） 258
[図 4.5-10] ジャンル別の語の密度・報道系（音声　異なり） 258
[図 4.5-11] ジャンル別の語の密度・教育・教養系（音声　異なり） 258
[図 4.5-12] ジャンル別の語の密度・一般実用系（音声　異なり） 258
[図 4.5-13] ジャンル別の語の密度・音楽系（音声　異なり） 259
[図 4.5-14] ジャンル別の語の密度・バラエティー系（音声　異なり） 259
[図 4.5-15] ジャンル別の語の密度・ストーリー系（音声　異なり） 259
[図 4.5-16] ジャンル別の語の密度・スポーツ系（音声　異なり） 259
[図 4.5-17] ジャンル別の語の密度・全体（画面　延べ） 260
[図 4.5-18] ジャンル別の語の密度・報道系（画面　延べ） 260
[図 4.5-19] ジャンル別の語の密度・教育・教養系（画面　延べ） 260
[図 4.5-20] ジャンル別の語の密度・一般実用系（画面　延べ） 260
[図 4.5-21] ジャンル別の語の密度・音楽系（画面　延べ） 260
[図 4.5-22] ジャンル別の語の密度・バラエティー系（画面　延べ） 260
[図 4.5-23] ジャンル別の語の密度・ストーリー系（画面　延べ） 260

[図 4.5-24] ジャンル別の語の密度・スポーツ系（画面　延べ）…… 260
[図 4.5-25] ジャンル別の語の密度・全体（画面　異なり）…… 261
[図 4.5-26] ジャンル別の語の密度・報道系（画面　異なり）…… 261
[図 4.5-27] ジャンル別の語の密度・教育・教養系（画面　異なり）…… 261
[図 4.5-28] ジャンル別の語の密度・一般実用系（画面　異なり）…… 261
[図 4.5-29] ジャンル別の語の密度・音楽系（画面　異なり）…… 261
[図 4.5-30] ジャンル別の語の密度・バラエティー系（画面　異なり）…… 261
[図 4.5-31] ジャンル別の語の密度・ストーリー系（画面　異なり）…… 262
[図 4.5-32] ジャンル別の語の密度・スポーツ系（画面　異なり）…… 262
[図 4.5-33] ジャンル別の語の密度（音声　延べ）…… 263
[図 4.5-34] ジャンル別の語の密度（画面　延べ）…… 263
[図 4.5-35] ジャンル別の語の密度（音声　異なり）…… 264
[図 4.5-36] ジャンル別の語の密度（画面　異なり）…… 265
[図 4.5-37] ジャンル別の語種比率・和語（延べ　%）…… 266
[図 4.5-38] ジャンル別の語種比率・和語（異なり　%）…… 267
[図 4.5-39] ジャンル別の語種比率・漢語（延べ　%）…… 268
[図 4.5-40] ジャンル別の語種比率・漢語（異なり　%）…… 268
[図 4.5-41] ジャンル別の語種比率・外来語（延べ　%）…… 269
[図 4.5-42] ジャンル別の語種比率・外来語（異なり　%）…… 269
[図 4.5-43] ジャンル別の語種比率・混種語（延べ　%）…… 270
[図 4.5-44] ジャンル別の語種比率・混種語（異なり　%）…… 270
[図 4.5-45] ジャンル別の品詞比率・体の類（延べ　%）…… 271
[図 4.5-46] ジャンル別の品詞比率・体の類（異なり　%）…… 272
[図 4.5-47] ジャンル別の品詞比率・用の類（延べ　%）…… 273
[図 4.5-48] ジャンル別の品詞比率・用の類（異なり　%）…… 273
[図 4.5-49] ジャンル別の品詞比率・相の類（延べ　%）…… 274
[図 4.5-50] ジャンル別の品詞比率・相の類（異なり　%）…… 274
[図 4.5-51] ジャンル別の品詞比率・その他の類（延べ　%）…… 275
[図 4.5-52] ジャンル別の品詞比率・その他の類（異なり　%）…… 276
[図 4.6-1] チャンネル別の語の密度（音声・延べ）の幹葉表示 …… 279
[図 4.6-2] チャンネル別の語の密度（音声・異なり）の幹葉表示 …… 279
[図 4.6-3] チャンネル別の語の密度（音声・延べ）の平行箱型図 …… 280
[図 4.6-4] チャンネル別の語の密度（音声・異なり）の平行箱型図 …… 280
[図 4.6-5] チャンネル別の語の密度（画面・延べ）の幹葉表示 …… 281
[図 4.6-6] チャンネル別の語の密度（画面・異なり）の幹葉表示 …… 282
[図 4.6-7] チャンネル別の語の密度（画面・延べ）の平行箱型図 …… 283
[図 4.6-8] チャンネル別の語の密度（画面・異なり）の平行箱型図 …… 283
[図 4.6-9] 各チャンネルの音声と画面との関係（語の密度・延べ） …… 284
[図 4.6-10] 各チャンネルの音声と画面との関係（語の密度・異なり）…… 284
[図 4.6-11] 各チャンネルの番組のジャンルの比率 …… 286
[図 4.7-1] 視聴率の日内変動（標本中央値） …… 289
[図 4.7-2] 視聴率の日内変動（ＮＨＫ調査） …… 289
[図 4.7-3] 時間帯別標本数 …… 290
[図 4.7-4] 各時間帯の語の密度（音声・延べ）の平行箱型図 …… 292
[図 4.7-5] 各時間帯の語の密度（音声・異なり）の平行箱型図 …… 292
[図 4.7-6] 語の密度の日内変動（音声・延べ） …… 293
[図 4.7-7] 語の密度の日内変動（音声・異なり） …… 293
[図 4.7-8] 語の密度の日内変動（音声・中央値） …… 293
[図 4.7-9] 各時間帯の語の密度（画面・延べ）の平行箱型図 …… 298
[図 4.7-10] 各時間帯の語の密度（画面・異なり）の平行箱型図 …… 298

[図 4.7-11] 語の密度の日内変動（画面・延べ） 299
[図 4.7-12] 語の密度の日内変動（画面・異なり） 299
[図 4.7-13] 語の密度の日内変動（画面・中央値） 299
[図 4.7-14] 語の密度の日内変動（中央値） 302
[図 4.8-1] 曜日別の語の密度（音声・延べ）の平行箱型図 306
[図 4.8-2] 平日の語の密度（音声・延べ） 307
[図 4.8-3] 土曜の語の密度（音声・延べ） 307
[図 4.8-4] 日曜の語の密度（音声・延べ） 307
[図 4.8-5] 平日の語の密度（音声・異なり） 307
[図 4.8-6] 土曜の語の密度（音声・異なり） 308
[図 4.8-7] 日曜の語の密度（音声・異なり） 308
[図 4.8-8] 平日の語の密度（画面・延べ） 308
[図 4.8-9] 土曜の語の密度（画面・延べ） 308
[図 4.8-10] 日曜の語の密度（画面・延べ） 308
[図 4.8-11] 平日の語の密度（画面・異なり） 309
[図 4.8-12] 土曜の語の密度（画面・異なり） 309
[図 4.8-13] 日曜の語の密度（画面・異なり） 309
[図 4.8-14] 語の密度（音声・延べ）の平行箱型図 310
[図 4.8-15] 語の密度（音声・異なり）の平行箱型図 310
[図 4.8-16] 語の密度（画面・延べ）の平行箱型図 310
[図 4.8-17] 語の密度（画面・異なり）の平行箱型図 311
[図 4.8-18] 平日・土曜・日曜別による番組分類の割合 311
[図 4.9-1] 放送分数の相対度数分布 314
[図 4.9-2] 番組の長さの度数分布 314
[図 4.9-3] 番組の長さごとの話者数の平行箱型図 315
[図 4.9-4] 話者数ごとの語の密度（音声・延べ）の平行箱型図 316
[図 4.9-5a] 番組の長さごとの語の密度（音声・延べ）の平行箱型図－報道系－ 318
[図 4.9-5b] 番組の長さごとの語の密度（音声・延べ）の平行箱型図－教育・教養系－ 318
[図 4.9-5c] 番組の長さごとの語の密度（音声・延べ）の平行箱型図－一般実用系－ 318
[図 4.9-5d] 番組の長さごとの語の密度（音声・延べ）の平行箱型図－バラエティー系－ 318
[図 4.9-5e] 番組の長さごとの語の密度（音声・延べ）の平行箱型図－ストーリー系－ 319
[図 4.9-6a] 番組の長さごとの語の密度（画面・延べ）の平行箱型図－報道系－ 320
[図 4.9-6b] 番組の長さごとの語の密度（画面・延べ）の平行箱型図－教育・教養系－ 320
[図 4.9-6c] 番組の長さごとの語の密度（画面・延べ）の平行箱型図－一般実用系－ 320
[図 4.9-6d] 番組の長さごとの語の密度（画面・延べ）の平行箱型図－バラエティー系－ 321
[図 4.9-6e] 番組の長さごとの語の密度（画面・延べ）の平行箱型図－ストーリー系－ 321
[図 4.9-7a] 番組の長さごとの「体の類」の比率（音声・延べ）の平行箱型図－報道系－ 322
[図 4.9-7b] 番組の長さごとの「体の類」の比率（音声・延べ）の平行箱型図－教育・教養系－ 322
[図 4.9-7c] 番組の長さごとの「体の類」の比率（音声・延べ）の平行箱型図－一般実用系－ 323
[図 4.9-7d] 番組の長さごとの「体の類」の比率（音声・延べ）の平行箱型図－バラエティー系－ 323
[図 4.9-7e] 番組の長さごとの「体の類」の比率（音声・延べ）の平行箱型図－ストーリー系－ 323
[図 4.10-1] 視聴率 2 の標本分布 326
[図 4.10-2] テレビをつける時間 327
[図 4.10-3] テレビを見る曜日 327
[図 4.10-4] 視聴率 1 の標本分布 328
[図 4.10-5] 占拠率の標本分布（幅 1%） 329
[図 4.10-6] 時間帯による視聴率の変化 330
[図 4.10-7] 占拠率の時間分布 332
[図 4.10-8] 視聴率の番組分類別分布 332
[図 4.10-9] 占拠率の番組分類別分布 333

[図 4.10-10] 視聴率のチャンネル別分布 …… 335
[図 4.10-11] 占拠率のチャンネル別分布 …… 335
[図 4.10-12] 視聴率の曜日別分布 …… 336
[図 4.10-13] 視聴率別の語の密度（音声・本編　延べ） …… 338
[図 4.10-14] 視聴率別の語の密度（音声・本編　異なり） …… 338
[図 4.10-15] 視聴率別の語の密度（画面・本編　延べ） …… 340
[図 4.10-16] 視聴率別の語の密度（画面・本編　異なり） …… 340
[図 4.10-17] 視聴率別の語の密度（音声・ＣＭ　延べ） …… 342
[図 4.10-18] 視聴率別の語の密度（音声・ＣＭ　異なり） …… 342
[図 4.10-19] 視聴率別の語の密度（画面・ＣＭ　延べ） …… 344
[図 4.10-20] 視聴率別の語の密度（画面・ＣＭ　異なり） …… 344
[図 4.10-21] 語種分布（音声・本編　延べ） …… 346
[図 4.10-22] 語種分布（音声・本編　異なり） …… 346
[図 4.10-23] 品詞分布（音声・本編　延べ） …… 350
[図 4.10-24] 品詞分布（音声・本編　異なり） …… 350
[図 4.11-1] 本編話者数の相対度数分布 …… 358
[図 4.11-2] ジャンル別の本編話者数の平行箱型図 …… 358
[図 4.11-3] 本編話者数（男性）の相対度数分布 …… 359
[図 4.11-4] 本編話者数（女性）の相対度数分布 …… 359
[図 4.11-5] 番組ジャンル別年齢構成 …… 361
[図 4.11-6] 性別語種内訳（延べ） …… 364
[図 4.11-7] 性別語種内訳（異なり） …… 364
[図 4.11-8] 性別品詞内訳（延べ） …… 365
[図 4.11-9] 性別品詞内訳（異なり） …… 365
[図 4.11-10] 年代別語種内訳（異なり） …… 366
[図 4.11-11] 年代別品詞内訳（異なり） …… 367
[図 4.11-12] 職業別語種内訳（異なり） …… 369
[図 4.11-13] 職業別品詞内訳（異なり） …… 371
[図 4.11-14] 職業別品詞内訳（異なり） …… 371
[図 4.11-15] 個人別語種内訳（異なり） …… 373
[図 4.11-16] 個人別品詞内訳（異なり） …… 373
[図 4.12-1]「国民全体」一人あたりの送出・視聴語彙量の日内変動（音声） …… 380
[図 4.12-2]「国民全体」一人あたりの送出・視聴語彙量の日内変動（画面） …… 380
[図 4.12-3] 時刻別行為者率の日内変動（国民全体） …… 380
[図 4.12-4] 各年層一人あたりの総視聴語彙量（男） …… 384
[図 4.12-5] 各年層一人あたりの総視聴語彙量（女） …… 384
[図 4.12-6] 各年層一人あたりの視聴時間（男） …… 385
[図 4.12-7] 各年層一人あたりの視聴時間（女） …… 385
[図 4.12-8a] 一人あたりの視聴語彙量の日内変動（“10 前”） …… 387
[図 4.12-8b] 一人あたりの視聴語彙量の日内変動（“10 後”） …… 387
[図 4.12-8c] 一人あたりの視聴語彙量の日内変動（“20 代”） …… 387
[図 4.12-8d] 一人あたりの視聴語彙量の日内変動（“30 代”） …… 387
[図 4.12-8e] 一人あたりの視聴語彙量の日内変動（“40 代”） …… 387
[図 4.12-8f] 一人あたりの視聴語彙量の日内変動（“50 代”） …… 387
[図 4.12-8g] 一人あたりの視聴語彙量の日内変動（“60 代”） …… 387
[図 4.12-8h] 一人あたりの視聴語彙量の日内変動（“70 上”） …… 387
[図 4.12-9a] 時刻別行為者率の日内変動（“10 前”） …… 388
[図 4.12-9b] 時刻別行為者率の日内変動（“10 後”） …… 388
[図 4.12-9c] 時刻別行為者率の日内変動（“20 代”） …… 388
[図 4.12-9d] 時刻別行為者率の日内変動（“30 代”） …… 388

[図 4.12-9e] 時刻別行為者率の日内変動（“40 代”）…… 388
[図 4.12-9f] 時刻別行為者率の日内変動（“50 代”）…… 388
[図 4.12-9g] 時刻別行為者率の日内変動（“60 代”）…… 388
[図 4.12-9h] 時刻別行為者率の日内変動（“70 上”）…… 388
[図 4.13-1] 延べ語数における各媒体の割合 …… 392
[図 4.13-2] 各媒体の語種構成 …… 393
[図 4.13-3] 各媒体の品詞構成 …… 394
[図 4.13-4] 各媒体の一画面あたりの延べ語数の平行箱型図（本編）…… 395
[図 4.13-5] 各媒体の一画面あたりの延べ語数の平行箱型図（ＣＭ）…… 395
[図 4.13-6] 各ジャンルの媒体延べ語数の割合 …… 397

[表 4.1-1]「分析」における言語内的側面と言語外的側面との関係 …… 206
[表 4.1-2] 表形式による標本一覧（一部） …… 207
[表 4.1-3] ＮＨＫ総合，ＮＨＫ教育，ＴＢＳの五数要約値 …… 211
[表 4.1-4] 本編時間による延べ語数の五数要約値（音声） …… 215
[表 4.1-5] 本編時間による延べ語数の五数要約値（画面） …… 215
[表 4.1-6] 本編時間 2 分超 3 分以内の標本 …… 217
[表 4.2-1] 語の密度（本編） …… 219
[表 4.2-2] 語の密度（ＣＭ） …… 220
[表 4.2-3] 音声で語の密度の大きかった標本（延べ語数で 120 語／分以上） …… 220
[表 4.2-4] 音声で語の密度の小さかった標本（延べ語数で 10 語／分以下）…… 221
[表 4.2-5] 画面文字による語の密度の大きかった標本（延べ語数で 50 語／分以上）…… 222
[表 4.2-6] 画面文字による語の密度の小さかった標本（延べ語数 0 語／分） …… 222
[表 4.2-7] ジャンル別の「語の密度（異なり語数）／語の密度（延べ語数）」の値 …… 224
[表 4.3-1] 語の密度（本編） …… 239
[表 4.3-2] 語の密度（ＣＭ） …… 239
[表 4.4-1] 語の密度（本編） …… 246
[表 4.4-2] 語の密度（ＣＭ） …… 246
[表 4.4-3] 本編・語種の比率 …… 247
[表 4.4-4] ＣＭ・語種の比率 …… 247
[表 4.4-5] 本編・品詞の比率 …… 247
[表 4.4-6] ＣＭ・品詞の比率 …… 248
[表 4.4-7] 番組のジャンルと語の密度（本編） …… 248
[表 4.4-8] 本編・音声のｎｋ比の大きいもの（2.5 以上）…… 251
[表 4.4-9] 本編・画面のｎｋ比の値の大きいもの（2 以上）…… 252
[表 4.5-1] ㈱ビデオ・リサーチ『テレビ視聴率季報』の番組分類コード …… 255
[表 4.5-2] 本調査における番組ジャンルの分類 …… 255
[表 4.6-1] チャンネル別の語の密度（音声・延べ）の五数要約値 …… 280
[表 4.6-2] チャンネル別の語の密度（音声・異なり）の五数要約値 …… 280
[表 4.6-3] チャンネル別の語の密度（画面・延べ）の五数要約値 …… 283
[表 4.6-4] チャンネル別の語の密度（画面・異なり）の五数要約値 …… 283
[表 4.6-5] 各チャンネルの標本における番組のジャンルの内訳 …… 286
[表 4.6-6] 各チャンネルの語の密度（音声・延べ）と番組のジャンルとの関係 …… 287
[表 4.7-1] 各時間帯の語の密度（音声・延べ）の五数要約値 …… 291
[表 4.7-2] 各時間帯の語の密度（音声・異なり）の五数要約値 …… 291
[表 4.7-3] 各時間帯の語の密度（音声・延べ）と特徴的な番組のジャンル …… 296
[表 4.7-4] 各時間帯の語の密度（画面・延べ）の五数要約値 …… 297
[表 4.7-5] 各時間帯の語の密度（画面・異なり）の五数要約値 …… 297
[表 4.7-6] 各時間帯の語の密度（画面・延べ）と特徴的な番組のジャンル …… 301

[表 4.7-7] 各時間帯の番組のジャンルの構成 …… 303
[表 4.8-1] 曜日別にみた語の密度（音声・延べ） …… 305
[表 4.8-2] 語の密度の五数要約値（本編） …… 309
[表 4.9-1] 番組の長さごとの話者数の五数要約値 …… 314
[表 4.9-2] 話者数ごとの語の密度（音声・延べ）の五数要約値 …… 315
[表 4.9-3] 番組の長さと番組のジャンル …… 316
[表 4.9-4a] 番組の長さごとの語の密度（音声・延べ）の五数要約値－報道系－ …… 317
[表 4.9-4b] 番組の長さごとの語の密度（音声・延べ）の五数要約値－教育・教養系－ …… 317
[表 4.9-4c] 番組の長さごとの語の密度（音声・延べ）の五数要約値－一般実用系－ …… 317
[表 4.9-4d] 番組の長さごとの語の密度（音声・延べ）の五数要約値－バラエティー系－ …… 317
[表 4.9-4e] 番組の長さごとの語の密度（音声・延べ）の五数要約値－ストーリー系－ …… 317
[表 4.9-5a] 番組の長さごとの語の密度（画面・延べ）の五数要約値－報道系－ …… 319
[表 4.9-5b] 番組の長さごとの語の密度（画面・延べ）の五数要約値－教育・教養系－ …… 319
[表 4.9-5c] 番組の長さごとの語の密度（画面・延べ）の五数要約値－一般実用系－ …… 319
[表 4.9-5d] 番組の長さごとの語の密度（画面・延べ）の五数要約値－バラエティー系－ …… 320
[表 4.9-5e] 番組の長さごとの語の密度（画面・延べ）の五数要約値－ストーリー系－ …… 320
[表 4.9-6a] 番組の長さごとの「体の類」の比率（音声・延べ）の五数要約値－報道系－ …… 321
[表 4.9-6b] 番組の長さごとの「体の類」の比率（音声・延べ）の五数要約値－教育・教養系－ …… 321
[表 4.9-6c] 番組の長さごとの「体の類」の比率（音声・延べ）の五数要約値－一般実用系－ …… 322
[表 4.9-6d] 番組の長さごとの「体の類」の比率（音声・延べ）の五数要約値－バラエティー系－ …… 322
[表 4.9-6e] 番組の長さごとの「体の類」の比率（音声・延べ）の五数要約値－ストーリー系－ …… 322
[表 4.10-1] 視聴率の五数要約値 …… 326
[表 4.10-2] 視聴率の大きい標本 …… 328
[表 4.10-3] 占拠率の大きい標本 …… 330
[表 4.10-4] 各時間帯で視聴率の大きい標本 …… 331
[表 4.10-5] 視聴率 1 と占拠率の四分位偏差の時間帯分布 …… 332
[表 4.10-6] 各ジャンルで視聴率の大きい標本 …… 333
[表 4.10-7] 各ジャンルで占拠率の大きい標本 …… 334
[表 4.10-8] 占拠率の五数要約値 …… 334
[表 4.10-9] 視聴率 1 の五数要約値 …… 335
[表 4.10-10] 各曜日で視聴率 1 の大きい標本 …… 336
[表 4.10-11] 本編・ＣＭの音声・画面の語数 …… 337
[表 4.10-12] 音声・本編の語種構成 …… 337
[表 4.10-13] 音声・本編の品詞構成 …… 337
[表 4.10-14] 語の密度の五数要約値 …… 338
[表 4.10-15] 視聴率区間での語の密度の極外値をとる標本（音声・本編の延べ） …… 339
[表 4.10-16] 視聴率区間での語の密度の極外値をとる標本（音声・本編の異なり） …… 339
[表 4.10-17] 語の密度　音声・本編　延べ・異なり・ＮＫ値の五数要約値 …… 340
[表 4.10-18] 画面・本編　延べ・異なりの語の密度の多い標本 …… 341
[表 4.10-19] 語の密度　画面・本編　延べ・異なり・ＮＫ値の五数要約値 …… 342
[表 4.10-20] 音声・ＣＭの延べ・異なりが多い・少ない標本 …… 343
[表 4.10-21] 語の密度　音声・ＣＭ　延べ・異なり・ＮＫ値の五数要約値 …… 343
[表 4.10-22] 画面・ＣＭ　延べ・異なりが多い（少ない）標本 …… 344
[表 4.10-23] 語の密度　画面・ＣＭ　延べ・異なり・ＮＫ値の五数要約値 …… 345
[表 4.10-24] 音声・本編　語種の五数要約値 …… 346
[表 4.10-25] 視聴率区間別 語種の第 1 四分位 中央値 第 3 四分位 四分位偏差 …… 347
[表 4.10-26] 語種が第 3 四分位以上の値をとる標本 …… 347
[表 4.10-27] 語種が第 3 四分位以上の値をとる標本 …… 348
[表 4.10-28] 和語の多い標本 …… 348
[表 4.10-29] 漢語の多い標本 …… 349

[表 4.10-30] 外来語の多い標本 …… 349
[表 4.10-31] 混種語の多い標本 …… 349
[表 4.10-32] 品詞別語彙量 …… 351
[表 4.10-33] 視聴率区間別 品詞の第 1 四分位 中央値 第 3 四分位 四分位偏差 …… 351
[表 4.10-34] 品詞が第 3 四分位以上の値をとる標本 …… 351
[表 4.10-35] 語種が第 3 四分位以上の値をとる標本 …… 352
[表 4.10-36] 視聴率区間別の，名詞の比率とＭＶＲが大きい（小さい）標本分布 …… 353
[表 4.10-37] 要約的表現の標本 …… 354
[表 4.10-38] ありさま描写の標本 …… 354
[表 4.10-39] うごき描写の標本 …… 354
[表 4.11-1] 話者数“三人”の内訳 …… 360
[表 4.11-2] 各ジャンルごとの男女の比率 …… 360
[表 4.11-3] 各ジャンルごとの話者の年齢構成 …… 360
[表 4.11-4] 性別語種内訳 …… 363
[表 4.11-5] 性別品詞内訳 …… 365
[表 4.11-6] 年代別語種内訳（異なり）…… 366
[表 4.11-7] 年代別品詞内訳（異なり）…… 367
[表 4.11-8] 職業別語種内訳（異なり）…… 369
[表 4.11-9] 職業別品詞内訳（異なり）…… 370
[表 4.11-10] 個人別語種内訳（異なり） …… 372
[表 4.11-11] 個人別品詞内訳（異なり） …… 372
[表 4.12-1] テレビ視聴の時刻別行為者率 …… 377
[表 4.12-2]「国民全体」一人あたりの時間帯別送出語彙量・視聴語彙量
および総送出語彙量・総視聴語彙量（音声・画面） …… 379
[表 4.12-3] 男年層別一人あたりの時間帯別視聴語彙量および総視聴語彙量（音声）…… 382
[表 4.12-4] 女年層別一人あたりの時間帯別視聴語彙量および総視聴語彙量（音声）…… 382
[表 4.12-5] 男年層別一人あたりの時間帯別視聴語彙量および総視聴語彙量（画面）…… 383
[表 4.12-6] 女年層別一人あたりの時間帯別視聴語彙量および総視聴語彙量（画面）…… 383
[表 4.13-1] 画面文字の媒体の分類 …… 391
[表 4.13-2] 各媒体の語彙量 …… 392
[表 4.13-3] 各媒体（本編）の語種構成 …… 393
[表 4.13-4] 各媒体（本編）の品詞構成 …… 393
[表 4.13-5] 各媒体の一画面あたりの延べ語数の五数要約値（本編）…… 395
[表 4.13-6] 各媒体の一画面あたりの延べ語数の五数要約値（ＣＭ）…… 395
[表 4.13-7] 各ジャンルの媒体延べ語数 …… 396

[写真 2.3-1] テロップの例（ＮＨＫ総合「おかあさんの勉強室」，1989 年 6 月 14 日）…… 41
[写真 2.3-2] スーパーインポーズの例（ＮＨＫ教育「きょうの料理」，1989 年 4 月 12 日）…… 41
[写真 2.3-3] フリップの例（フジテレビ「トークシャワー」，1989 年 5 月 8 日）…… 42
[写真 2.3-4] ボードの例（ＮＨＫ教育「高校数学Ｉ」，1989 年 4 月 10 日）…… 42
[写真 2.3-5] セットの例（ＮＨＫ総合「昭和の歌」，1989 年 5 月 3 日）…… 42
[写真 2.3-6] 実物の例（日本テレビ「プロ野球デーゲームスペシャル」，1989 年 4 月 30 日）…… 43
[写真 2.7-1] ビデオ予約等作業記録表（一部） …… 75
[写真 2.7-2] 文字化台帳（一部） …… 76

第　1　部

序　論

第1章　この報告書の目的

この調査は，テレビ放送の語彙を対象とする，ある程度の規模をもつ語彙調査としては，はじめてのものである。映像（画面）と音声との複合媒体であるテレビ放送を対象とするということは，文字言語と音声言語[1]とを同時にあつかうということであり，この調査は，その意味でも，はじめてのものである。したがって，この調査は，テレビ放送を対象とする語彙調査の先駆として，将来の本格的な調査につながる，予備的・探索的な性格をそなえている。

そのことをふまえ，この報告書では，次にあげることがらについて，できるだけ詳しく報告する。すなわち，いかに調査したか（「第2部　方法編」），どのような標本が得られたのか（「第3部　資料編」），それらの標本からテレビ放送の語彙についてどのようなことを見出し得たのか（「第4部　分析編」）についてである。

われわれがいかに調査したかを詳細に記すことは，この報告書のもっとも大きな目的といってよい。とくに，標本の抽出，対象とする音声および画面文字の認定，調査単位の規定などには，これまでの文字言語・音声言語の語彙調査にはない，独自の考え方・方法をとりいれなければならなかったことも多い。その適否は，それによって得た標本と，それらをもとにして行う分析とによって，ひきつづき，検討していかなければならない。

この報告書では，また，語彙表に先立って，標本の一覧を示すこととした。ここでいう標本とは，個々の語ではなく，抽出単位とした5分間の標本である。この5分間の標本には，「第3部　標本一覧」に示すように，さまざまな情報がそなわっている。そのような情報を整理して示すことは，各標本間の関係，標本の各情報相互の関連などをよみとる手がかりを提供し，ひきつづき行う語彙表の分析での前提になるとともに，テレビ放送の語彙を多面的にとらえることに貢献するであろう。

そのような標本の背後にある調査対象のありさまを，標本のもつさまざまな情報を手がかりに探ることが，この報告書で行う「分析」の目的である。そこでは，主に，標本の諸側面がつくりあげる量的な分布を概観し，また，標本のもつ言語内的側面と言語外的側面との関係を探ることが，「探索的データ解析」という統計学の方法・考え方を参考にしながら，試みられている。ただし，その結果は，調査の方法と同様に，今後の検証をまつべきものである。

この報告書は，担当者が分担して執筆したが（「目次」参照），草稿をもとに全員による討議を重ね，全体の統一をはかるべく心掛けた。また，この報告書に続いて，語彙表およびその分析を，それぞれの報告書として作成，刊行する予定である。テレビ放送における個々の語の使用についての分析は，その際に行う予定である。

1）「文字言語」と「書きことば」，「音声言語」と「話しことば」とは，それぞれ，その指し示す範囲が必ずしも一致しない。この報告書では，文字および音声という媒体によって表されることばとしては「文字言語」「音声言語」という用語を用い，そこに文体的な意味合いを込める必要のある場合に限って「書きことば」「話しことば」という用語を用いることにする。ただし，引用文献において「書きことば」「話しことば」という表現を用いている場合にはそのかぎりではない。

第2章　調査の目的

1．この調査は，現代のテレビ放送において，どのような語が，どのような場合に，どのくらい使われるのか，その実態を調べることを目的とする

1953年に放送を開始した日本のテレビ放送は，その後およそ40年を経て，マス・メディアの中核的な存在になるとともに，人びとの言語生活に深いかかわりをもつようになっている。1973年の「国民生活時間調査」（中間調査）によれば，日本人の平日1日あたりのテレビ視聴時間は平均3時間13分である（1990年の調査では3時間ちょうど）。これは，平日の「余暇時間」の54%に相当し，新聞・雑誌・本を読む時間の合計の比率9％を大きく上回っている。これに，ＮＨＫ総合放送文化研究所（現ＮＨＫ放送文化研究所）が1969年度に行った「ＮＨＫ一日の送出情報量」の調査結果をあてはめれば，平均的な日本人は，1日のテレビ放送から，音声でおよそ1万5,000語（4万6,000字），画面の文字で2,300字を視聴しており，それは，1分あたり平均600字読むとした場合の新聞・雑誌・本などの言語量およそ2万字の，2倍強になるとされている[2]。これらの数値の妥当性については異論も予想されるが，テレビ放送が，他のマス・メディア，とくに活字メディアにくらべて，接触時間・言語量のいずれにおいても，より大きな位置を占めていることは間違いない。

テレビ放送は，また，活字メディアにくらべて，その聴覚性・視覚性・同時性・臨場性などにより，受け手に与えるインパクトがはるかに強く，社会的影響力も強いとされる[3]。ことばに対するテレビ放送の影響については，標準語の普及あるいは方言の共通語化（方言の衰退）へのかかわりが注目され，アクセントなどについてはその具体的な影響が指摘されている[4]。しかし，なんといっても多いのは，次に引く新聞記事[5]にみられるような，テレビ放送がいわゆる「ことばの乱れ」の主な原因である，という指摘であろう[6]。これらの記事は，テレビ放送の影響力の大きさと，それに関心を寄せる人びとの多いことを示唆している。

目上への礼儀知らぬ　「子供の言葉」母親の75%が不満＜読売新聞1980年7月27日＞

子どもの言葉づかいに，四人に三人の母親が不満――（中略）子どもの言葉づかいについて，一般的には「あまり良くない」が三分の二（67%）を占め，「まったく良くない」と合わせると，四分の三（75%）になる。（中略）こうした良くない言葉づかいの原因について，「テレビの影響」とするのが88%と圧倒的に高い。次が「友達」（61%），「まんが」（31%）で，この三つに集中している。（下略）

ビデオテープ　山藤章二（ことば探偵局－追跡！20歳の言葉＝ＮＨＫ，15日から）＜朝日新聞1991年1月19日＞

（若者言葉に影響を与えているのは）テレビだと思います，特に商業放送ですね。商業放送ってのは

2）　ＮＨＫ総合放送文化研究所編『放送用語論』（日本放送出版協会，1975），pp.3-8

3）　日本民間放送連盟編『放送ハンドブック』（東洋経済新報社，1991），p.3

4）　馬瀬良雄「言語形成に及ぼすテレビおよび都市の言語の影響」（『国語学』125，1981），pp.1-19

5）　国語研究所情報資料研究部が作成中の「国語関係新聞記事データベース」から，その見出し（記事のタイトル）を手がかりに検索した。

6）　テレビ放送が「ことばの乱れ」の「犯人」であることについては否定的な見方もある。石野博史「テレビは日本語を変えない」（『言語』24-1，1995）参照。また，ＮＨＫことば調査グループ編『日本人と話しことば』（日本放送出版協会，1980）には「日本語の現状と放送の影響」についての調査結果と解説（pp.288-290）がある。

それこそ一秒何万，何十万って世界ですからねえ，金の戦場ですから。あそこではとにかく出来るだけ短い時間に出来るだけ刺激を与えるっていう宿命があるわけですよね。そこで交わされるものっていうのは流れるような美しい文脈ではなくて短い，非常に刺激的な言葉がバンバン出てくる。それから出てくる方がとにかく早口であるし，とりあえず何か発言するとカメラが向くというような非常に不可思議なメディアですね。ああいうものをズッーと見続けてますとね，どうしても空間恐怖症みたいなことになって，とりあえず何か言葉をいって短く完結する。だからアナログよりもデジタル的な感覚に，テレビによって慣らされている。

このように，テレビ放送は，いまや，量的にも質的にも，人びとの言語生活に深く根をおろしており，同時に，その社会的な影響力について人びとの関心を集めてもいる。しかしながら，実際に，テレビ放送でどのようなことばがどのくらい使われているのか，ということになると，その実態を幅広く調べた調査はないといってよい（「第1部第4章　調査の特徴」参照）。テレビ放送のことばについて，事実にもとづく科学的な議論を行うためにも，その実態を把握する調査が必要なことはいうまでもない。この調査の意義も，また，そこにあるといえる。

2．この調査は，テレビ放送の語彙をとおして，現代日本語の語彙のありさまを追究することを目的とする

国語研究所は，これまでにも，雑誌や新聞といったマス・メディアの語彙調査を行ってきた。しかし，それらは，マス・メディアの語彙を知るということよりも，日本語の書きことばの実態，とくにその基本語彙を知ることをねらいとしていた。雑誌や新聞のことばが，ジャーナリスティックなメディアとしての規範性に裏づけられて，日本語の書きことばを代表するものと考えられたからである。

ニュースだけではないすべての番組を考慮した場合のテレビ放送とそのことばに，そのような代表性・規範性をただちに認めることが適当であるかどうかについては，今後の検討をまたなければならない。しかし，テレビ放送における語彙の実態把握が，現代日本語の音声言語と文字言語とにわたる語彙の追究につながるものであることに，間違いはないであろう。音声言語と文字言語とが複合して用いられるテレビ放送の語彙はおそらく多様であり，その多様性をとらえることは，現代日本語の語彙を多面的にとらえることにつながるであろう。

3．この調査は，テレビ放送がその音声と画面とをとおして伝える語を，どのように調査するか，その方法論を確立するための基礎を築くことを目的とする

テレビ放送の語彙をどのように調査すべきか，その方法論は確立されてはいない。国語研究所の語彙調査は，これまで，おもに，雑誌・新聞・教科書などの文字言語を対象としたものであった。数少ない音声言語の調査も，文字言語のそれにくらべて小規模であり，また，日常の談話を対象としたものがほとんどで，テレビ放送の語彙を対象とするものはなかった（「第1部第4章調査の特徴」参照）。今回の語彙調査は，音声言語と文字言語とを同時にあつかう，最初の試みということになる。その方法論の多くは，これまでの文字言語および音声言語の語彙調査で蓄積された方法論に負うところが大きいが，それだけでは処理できない問題――テレビ放送における

標本抽出，画面の語の採集，音声言語・文字言語の同時調査における単位の設定，推測統計学的手法による分析の可否，など――も数多く存在する。また，テレビ放送の語彙の多様性をとらえるためにも，これまでの調査における視点に加えて，音声言語と文字言語との関係，放送された（送り手の）ことばと視聴された（受け手の）ことばとの関係，話し手の属性など語の運用的な側面と語彙との関係，見出し語のもつさまざまな語形変異，などにも注目しなければならない。これらを適切に行うためには，テレビ放送とその語彙についての前提的知識が必要となるが，その多くは，実際に調査を行い，その試行錯誤的な過程をとおして得られるものである。今回の調査は，そのような前提的知識を得るための予備的・探索的な調査であり，より本格的な調査を行うための不可欠の過程である。

第3章　調査の対象

この調査は，

(1) 1989年4月2日（日）から同年7月1日（土）までの3か月間に，
(2) 全国放送網のキー局である6放送局の7つのチャンネルが，
(3) 0時から24時までの一日をとおして放送した，
(4) すべてのテレビ放送で，
(5) 視聴可能であった，
(6) 日本語の，
(7) 音声および文字によって，
(8) 表された語彙

を対象（母集団）として行う，標本抽出調査である。以下，上記(1)〜(8)について，その考え方を整理して述べる。

1．1989年4〜6月の放送

この調査は，当初，1989年4月から翌年3月までの1年間のテレビ放送を対象として企画し，標本抽出もそれにしたがって実行した。標本から得られる語の数も，延べ60万語程度になると想定した。しかし，前述したように，音声言語と文字言語とを同時に対象とするはじめての語彙調査として，種々の方法論を試行錯誤的に開発しなければならなかったこともあって，当初の計画以上の時間を要することとなり，調査の見直しを迫られることとなった。調査の規模は，当面，計画の4分の1ほどの，15万語程度に縮小すべきであると考えられた。

そこで，われわれは，すでに作業を開始していた，1年間（年度）の最初の3か月にあたる4〜6月を，当面の調査対象とすることにした。1年間のテレビ放送を調査対象としたまま，標本の抽出比率をさらに小さくして，作業量を減らすことも考えられたが，そのやり方はとらなかった。それは，通常の番組編成の単位（番組改編期間）は6か月であるが，この3か月間も，その前半期として，番組編成の最小の期間（1クール）として考え得ること，また，最終的には，残りの9か月分（標本は抽出済み）を加えて，1年間のテレビ放送を対象とした調査に拡張する予定であること，による。

もちろん，4〜6月にかぎったことにより，1年間を対象とした場合にくらべて，季節的な影響の大きいことには留意する必要がある。また，マス・メディアの語彙を対象とする以上，この期間にどのようなできごとがあったかにも目を向けておくことが必要であろう。以下に，この期間の主なできごとをあげておく[7]。

7)　㈱ビデオ・リサーチ『テレビ視聴率速報』，日本放送協会編『ＮＨＫ年鑑'90』（日本放送出版協会，1990）などを参考にした。

4／1（土）消費税実施
5（水）第61回選抜高校野球大会で，東邦高校（愛知）が優勝
8（土）プロ野球公式戦開幕
11（火）川崎市高津区の竹林で1億円あまりの入ったスポーツバッグが発見
12（水）李鵬中国首相来日
15（土）胡耀邦中国共産党前総書記死去
17（月）神奈川県藤沢市で，暴走族をいさめようとした人が逆に殴られて死亡
18（火）リクルート事件で，前文部事務次官起訴，前リクルート会長ら追起訴
25（火）竹下首相，リクルート疑惑などの政治不信の責任をとって退陣を表明
27（木）松下幸之助氏死去
28（金）自民党が衆議院本会議で1989年度予算案を憲政史上はじめて単独可決
5／2（火）モントリオール議定書締約国会議2000年までのフロン全廃を宣言
春日一幸氏死去
10（水）和泉雅子氏北極点到達に成功
12（金）自民党の伊東正義総務会長，後継総裁辞退を正式に表明
5／16（火）東京練馬区の交番で警察官2人が腹を刺されて死亡
17（水）公明党矢野委員長辞任
21（日）大相撲夏場所，北勝海が優勝
22（月）リクルート事件で，元官房長官・元公明党代議士を起訴
25（木）衆議院予算委員会が中曽根前首相を証人喚問
28（日）第56回日本ダービー，ウィナーズサークルが優勝
30（火）日本銀行，公定歩合を引き上げ
6／1（木）ＮＨＫ衛星放送，本放送開始
2（金）宇野新首相誕生，竹下内閣総辞職
4（日）中国・天安門広場で戒厳部隊と学生・市民が衝突，死傷者多数
イランの最高指導者ホメイニ師死去
12（月）埼玉県飯能市の霊園内で死体で発見された幼女の身元判明
24（土）美空ひばり氏死去
25（日）尾上松緑氏死去

2．全国放送網のキー局の放送

対象とした放送局およびチャンネルは，以下のとおりである（カッコ内は略称[8]，チャンネルは「関東地区」でのもの。なお，以降の記述では，テレビ東京以外の各チャンネルをカッコ内の略称によって示す）。

日本放送協会総合テレビジョン（ＮＨＫ総合）	第1チャンネル
同　　教育テレビジョン（ＮＨＫ教育）	第3チャンネル
日本テレビ放送網（日本テレビ）	第4チャンネル
東京放送（ＴＢＳ）	第6チャンネル
フジテレビジョン（フジテレビ）	第8チャンネル
全国朝日放送（テレビ朝日）	第10チャンネル
テレビ東京	第12チャンネル

8）㈱ビデオ・リサーチ『テレビ視聴率速報』による。

1989年現在，日本にはＮＨＫと105の民間テレビ放送局が存在する[9]。ＮＨＫの場合には，総合テレビで約9割，教育テレビでそのほとんどが，全国共通の番組として，全国で視聴可能である。上記の，日本テレビ以下5つの民間放送局も，その範囲に差はあるものの，いずれも，全国の民間放送局を系列化する放送網（ネットワーク）のキー局であり，そこで制作された番組が系列の各放送局に供給されている。民間放送全体での，上記キー局以外の自社制作比率は2割程度であるから，これらの民放キー局を対象とするだけで，民間放送全体の約8割を対象とすることができる。

このように，全国ネットのキー局を対象とすることには，全国で広く視聴されている番組を対象にできるという利点がある反面，キー局以外の地域テレビ局が制作・放送した番組の語彙（たとえば方言の語彙など）をみることができないという問題点もある。全国で行われているすべてのテレビ放送の調査は，今後の課題である。もちろん，厳密にいえば，上記キー局も，「関東地区」向けの番組を放送してはいるが，ニュース・天気予報・ＣＭなどの一部に限られるから，その比率は，きわめて小さいものと考えられる。なお，ここでいう「関東地区」とは，視聴率情報の母集団となっている，群馬県・栃木県・茨城県・埼玉県・東京都・千葉県・神奈川県・静岡県の一部（熱海市・伊東市）をさしている。

3．一日24時間の放送

テレビ放送では，6時から24時までを「全日」というようである。ＮＨＫの放送時間はこの全日とほぼ重なっており，この時間帯を調査対象とすることも考えられた。しかし，1989年当時，民放各局の放送時間は，日曜深夜を除いて，ほぼ24時間であり，ＮＨＫとの間に大きな差があった。このいわゆる「深夜番組」を対象とするかどうかは，調査結果に大きくひびくことがらである。しかし，現実に深夜番組というものがある以上，それを無視することは，方法論確立をも目的とするこの調査においてはとくに，適当ではない。そこで，われわれは，1日24時間のすべてを対象とすることとした。このやり方では，とくにＮＨＫを中心に，放送時間外の無音声・無画面の標本が採集されてしまうという問題があるが，われわれは，放送局による放送時間の違いをそのまま調査結果に反映させるべきだと考え，ＮＨＫのみ6時から24時を対象とするというようなことはしなかった。

4．すべての放送

テレビ放送では，放送局が制作した番組と，映画や劇場中継などのように，放送局以外で制作されたものがテレビを通して放送される番組とがある。また，多くの番組は制作後はじめて放送されるが，かつて放送されたものが再放送されることもある。さらに，民間放送では，番組以外にもＣＭが放送される。テレビ放送を，放送局制作の番組で，再放送ではなく，また，ＣＭを含まない部分と狭く考えることもできるし，そうすることにも意義があろう。しかし，今回の調査

9）　日本放送協会編『ＮＨＫ年鑑 '89』（日本放送出版協会，1989），p.536。自社制作比率の数字も同様。

においては，テレビ放送をできるだけありのままとらえようとする立場から，あらかじめ調査対象を内容に応じて選定するということはせず，すべての放送を対象とした。

5．視聴可能な音声・文字

テレビ放送では，送り手（制作者。直接の「話し手」とは異なる）は，受け手（視聴者）に伝えたい音・映像を放送する。テレビ放送の音・映像は，送り手の意図のもとに，取捨選択されて（絞り込まれて）放送されているのが普通である。しかし，実際の放送には，送り手が排除しようとした，あるいは，すくなくとも積極的には伝えようとしていない音・映像も避けがたく入り込んでおり，そのことは，そこに含まれる言語としての音声・文字についても同様である。もし，われわれが，送り手の語彙を調査対象とするならば，送り手の意図に基づき，送り手が選択しようとした音声・文字を対象としなければならない。

テレビ放送では，受け手も，また，放送された音・映像を，したがって，当然，その音声・文字を，取捨選択して視聴するものと考えられる。それは，認知的な操作であろう。もし，受け手の語彙を調査対象とするならば，われわれは，受け手の側に立って，受け手が認知的に選択している音声・文字を対象としなければならない。

送り手の語彙，受け手の語彙というものを厳密に考えるならば，調査対象の設定にあたって，「送り手の意図」および「受け手の認知」といった要素をもちこまなくてはならない。しかし，これは，あまりに多様な性格の要素であって，簡単にはとらえられない。少なくとも現段階では，これらの要素を考慮した対象の限定は行えない。

そこで，われわれは，テレビ放送をとおして「視聴可能である」とみとめられる範囲の音声・文字を，対象とすることにした。何が「視聴可能」な音声であり，文字であるかについては，いくつかの基準を設けて，判断することにした（「第2部第3章　音声・画面文字の認定」参照）。そのようにして選ばれた音声・文字には，送り手が意図しなかったもの，また，大多数の受け手が視聴し得なかったものが含まれている可能性も，もちろん，ある。したがって，それは，厳密にいって，送り手のものでもなく，また，受け手のものでもない。送り手・受け手というマス・コミュニケーションの担い手からは切り離されたものであり，それらの中間にあって，調査者の立場からその存在を確認できるというものである。

6．日本語の語彙

テレビ放送では，日本語だけが用いられるというわけではない。いわゆる「国際化」などとも関連して，語学番組以外でも，外国語の使用が多くなっているはずである。テレビ放送において外国語がどのくらい用いられているのか，また，日本語と外国語との関係は，たとえば，音声多重放送（二か国語放送）などにおいては，どのようなものであるのか，といった問題は，きわめて興味深い問題である。しかし，今回の調査では，日本語（の語彙）を対象とし，放送されるすべての言語をあつかうことはしなかった。それは，担当者が世界のあらゆる言語に対応できないという技術的な問題もあるが，本質的には，一つの集合として意味をなす「語彙」というものを考える場合，「ある言語の」つまり「日本語の」という限定は不可欠であると考えるからである。

しかし，何を日本語と認めるかについては問題がないわけではない。それについては，音声・画面のそれぞれに，基準を設けた（「第2部第3章　音声・画面文字の認定」参照）。

7．音声・文字によって表された語彙

テレビ放送は，音と映像とによって，情報を伝えており，それぞれに，言語的なるものと非言語的なるものとをあわせもっている。対象とする放送から，非言語的なるものを排除し，言語的なるもの，すなわち，音声（言語）と文字（言語）とをとりだすことが，必要である。何が音声であり，文字であるのかについては，常識的な判断に従ったが，問題となるケースについては，基準を設けて判断した（「第2部第3章　音声・画面文字の認定」参照）。

なお，音声多重放送の場合は，音声多重放送自体がすべての番組に及んでいないこと，また，すべての視聴者が副音声をも聴取できるとは限らないことから，主音声を調査対象とし，副音声は対象とはしなかった。

8．語　　彙

語彙とは，一定の範囲における語の集合と規定される。ここでの「一定の範囲」とは，上に述べた各項によって限定される範囲のことである。何が「語」であるかについては，「調査単位の認定」による（「第2部第5章　単位語の認定」「同第6章　見出し語の認定と集計」参照）。そこで規定されるのは，われわれが直接の対象とする，語彙調査の対象としての「単位語」「見出し語」にかかわる側面である。したがって，それ以外の側面，たとえば，アクセント，イントネーション，ポーズの有無やその時間，長音の長さ，ガ行鼻濁音の有無，母音の中舌化や無声化などにかかわる音声面の諸特徴，また，文字の大きさ，位置（上付き・下付きなど），字体，縦書き・横書き，文字飾り・文字囲み，矢印の長さといった文字面の諸特徴は，対象とはしない。

第4章　調査の特徴

ここでは，今回の調査がいかなる特徴をそなえているかを考える。以下，従来の国語研究所の語彙調査・音声言語調査，そして，放送用語について長年調査研究を重ねているＮＨＫ放送文化研究所による調査のうち語彙に関係するものを，それぞれ，概観する。それらとの対比によって，今回の調査の特徴をみることにする。

1．国語研究所による従来の研究との関連

1.1 文字言語（書きことば）の語彙調査

国語研究所では，現代日本における日常の言語生活に対して，大きな影響力をもつと考えられる雑誌・新聞，そして，中学校・高等学校の教科書を対象に語彙調査をおこなってきた[10]。報告書として刊行されたものの一覧を示す。

①『語彙調査－現代新聞用語の一例－』（1952年）
②『現代語の語彙調査　婦人雑誌の用語』（1953年）
③『現代語の語彙調査　総合雑誌の用語』（前編 1957年・後編 1958年）
④『現代雑誌九十種の用語用字』（第1分冊 1962年・第2分冊 1963年・第3分冊 1964年）
⑤『電子計算機による新聞の語彙調査』（Ⅰ 1970年・Ⅱ 1971年・Ⅲ 1972年・Ⅳ 1973年）
⑥『高校教科書の語彙調査』（Ⅰ 1983年・Ⅱ 1984年）
⑦『中学校教科書の語彙調査』（Ⅰ 1986年・Ⅱ 1987年）
　『高校・中学校教科書の語彙調査　分析編』（1989年）

①の新聞調査は語彙調査の方法論を確立するための試みとして行われたものである。

②～④の雑誌調査は「現代の用語を書き言葉における基本語彙の線にしぼって，実態を明らかにしようとする，現代語の語彙調査作業」[11]の一環として実施されたものである。同時に，ここでの目標の一つとして「基本語彙の選定その他の国語国字問題を考える際の参考資料として役立つこと」[12]が掲げられている。これらの研究では高度な統計的手法をとりいれた語彙調査の方法が構築され，「現代雑誌九十種の用語用字」調査において「手作業による場合の用語調査の方法はほぼ確立した」[13]といえる。

雑誌調査に続く新聞調査（⑤）は1966（昭和41）年の新聞三紙を対象としたもので，電子計算機を使用した最初の大規模な語彙調査であった。この調査も雑誌調査と同様「広く現代の日本語の書きことばの用語用字を見渡してその実態を明らかにするために」[14]行われた。ここで新聞

10）　このほかに，「近代日本語の単語や表記法がどのようにかわってきたかを，しること」を目的として，雑誌『中央公論』の経年的語彙調査が行われ，『雑誌用語の変遷』（1987年）に報告されている。
11）『婦人雑誌の用語』，p.1
12）『雑誌九十種の用語用字　第一分冊』，p.1
13）『国立国語研究所三十年のあゆみ－研究業績の紹介－』（秀英出版，1978），p.45
14）『電子計算機による新聞の語彙調査Ⅰ』，p.1

を対象としたのは「新聞は現代の言語生活の中で重要な役割を果たしているので，現代語の用語調査としてはどうしても新聞を欠かすことができない」[15]ことによる。また，この調査においても基本語彙・基本漢字選定その他の国語国字問題を考えるための基礎資料作成ということが念頭におかれている。

⑥・⑦の高校・中学校教科書調査はそれぞれ「国民が一般教養として，各分野の専門知識を身につける時に必要と思われる語彙の実態を明らかにすること」[16]，「義務教育の最終段階である中学校で身につける知識体系を記述する語彙の実態を明らかにする」[17]ことを目的としている。教科書調査においても新聞調査と同様，電子計算機が活用され，「人力と機械力のそれぞれの長所を最大限に生か」[18]して研究が進められた。

さて，現代の日常的な言語生活の中で，テレビ放送の果たす役割は極めて大きいと考えられる（「第1部第2章　調査の目的」参照）。それゆえ，現代における言語生活の実態を明らかにするためにはテレビ放送によってどのような言語情報が送出されているかを知ることが不可欠である。今回の調査はテレビ放送が送出している語彙の実態を明らかにすることを目的としている。このように，(1)現代語の実態を明らかにするための調査であること，(2)言語生活に対して大きな影響力をもつメディアを対象とすること，(3)語彙調査であること，この三点において，今回の「テレビ放送の語彙調査」も，上述の調査と共通しており，従来の語彙調査の流れの中に位置づけることができる。なお，上記の新聞・教科書調査と同様，今回の調査においても電子計算機（今回は主としてパーソナル・コンピュータ）を活用し，データの作成・管理・集計・整形は，ほぼすべて計算機によって行っている。

今回の調査の対象は音声言語が大部分を占める（延べ語数で約8割。テレビ受像機の画面上に現れた言語情報は文字言語であり，従来の書きことばに準じた扱いをすることができる）。それゆえ，国語研究所で従来行ってきた音声言語に関する調査研究とも関連をもつ。そこで，次に国語研究所のこれまでの音声言語に関する研究を簡単に振り返っておくことにする。

1.2 音声言語（話しことば）の調査－語彙に関するものを中心に－

1.2.1 従来の調査の概観

国語研究所で行われた音声言語に関する調査研究を，語彙調査に関係のあるものを中心に概観してみよう（調査結果が報告書として刊行されている場合は，刊行物のタイトルを見出しにたてる）。

①『言語生活の実態』（1951年）

白河市調査（1949年）の一環として行われた「24時間調査」の結果。調査員がインフォーマントに1日中つききりで，インフォーマントのすべての言語行動を記録したもの。以下のような項目についての観察・考察がある（農民と商家の主婦を比較している部分が多い）。

15）『電子計算機による新聞の語彙調査Ⅰ』，p.1
16）『高校教科書の語彙調査Ⅰ』，p.1
17）『中学校教科書の語彙調査Ⅰ』，p.1
18）『高校教科書の語彙調査Ⅰ』，p.1

言語量（話題の数，文の数，文節の数），時刻別の言語量分布，よく使われることば，1日のうち読み・書きを行う時間量，用いられた文の長さ

語彙量は次のとおり。

調査単位：文節（「文節の延べ数」を「自立語の延べ数」と同じとしている）

調査対象：農民（男性・51歳）	調査対象：商家の主婦（49歳）
延　べ：10,068	延　べ：9,290
異 な り：2,324	異 な り：2,138

②『地域社会の言語生活－鶴岡における実態調査－』（1953年）

白河での24時間調査と同じ手法により，鶴岡市の言語生活に関する実態調査を行ったもの（1950年）。観察・考察項目は次のとおり。

言語量（話題の数，文の数，文節の数），時刻別の言語量分布，よく使われることば，1日のうちの，読み・書きおよびラジオ聴取の時間量，用いられた文・文節の長さ

語彙量は次のとおり。

調査単位：文節（＝自立語）

調査対象：	高級地方公務員（男性・45歳）	手工業者（男性・45歳）	商店主（男性・58歳）
延　べ：	5,528	4,752	2,891
異 な り：	1,497	1,282	919

③『談話語の実態』（1955年）

イントネーション，文・文節・語の長さ，文の構造に関する調査とともに，語の種類・使用度数・用法に関する調査も行われている。語彙に関する調査結果は次のとおり。

調査資料：東京における日常談話（各種場面ごとの）。録音テープ60巻のうち20巻。

延べ語数：83,620語

調査単位：（語の認定は文部省中等文法による）

調査結果：まず，品詞別の百分率が出されている。

体言	動詞	形容詞	形容動詞	副詞	連体詞	接続詞	感動詞	助詞	助動詞
20.5	12.2	2.7	1.2	6.1	0.8	1.9	4.7	34.7	12.9

融合形	計	うちコソアド語計
2.3	100.0	4.6

性・教養・年齢・場面別の品詞百分率，ニュース・ニュース解説との比較などもある。

この結果から，次のような指摘がなされている。

日常談話では，(1) 名詞が少ない，(2) 名詞と動詞との比較において，動詞が多い，(3) 動詞と形容詞との比較において，形容詞が多い，(4) 副詞が多い，(5) 感動詞が多い，(6) 融合形が多い，(7) コソアド語が多い

さらに，特に融合形（「てる（て－いる）」「こんだあ（今度は）」など），副詞，接続詞，形容詞・形容動詞が取り上げられ，語の種類と使用度数についての考察が行われている。副詞以下の4品詞については話し手の属性（性別・学歴・年齢・既知どうしか未知どうしか）ごとの集計が行われている。なお，接続詞については用法（文中の出現位置），形容詞・形容動詞については活用形ごとの集計もなされている。さらに，副詞・接続詞に関しては文字言語（新聞）との比較もなされている。

④『話しことばの文型（1）－対話資料による研究－』（1960年）
『話しことばの文型（2）－独話資料による研究－』（1963年）

対話資料・独話形式資料に基づき，話しことばに用いられる文表現の文法的類型を，表現意図・構文・イントネーションの観点から総合的に捉えた研究。直接に語彙を扱った項目はない。

⑤『待遇表現の実態－松江24時間調査資料から－』（1971年）

1963年度に行われた島根県松江市における調査は，「いろいろの年齢，学歴，居住経歴，職業に属する一般市民が，日常どんな言語生活をいとなんでいるか，また言語生活についてどのような問題を持ち，どんな意識を持っているか，の実態を，話しことばに重点をおきながら明らかにしようという意図のもとに計画された」[19]。この計画のうち，いろいろな段階の待遇表現の使い分けの実態を明らかにしようとした研究である。

調査資料：松江市の一家庭同居家族5名および訪問者24名による談話の録音資料（1963年約16時間分）

調査単位：文節（「長語」。約8時間分については形態素（「短語」）分析も施されている）

⑥「幼児・低学年児童の語彙調査」（昭和51～53年度文部省科学研究費一般研究（A）　研究代表者：芦沢節・村石昭三）

「幼児・低学年児童が『どれだけの語彙量を持つか』『どんな語彙体系を持つか』を明らかにすること」を目的とした研究。次の調査が実施された。

「語彙使用調査」（幼児8名），「24時間語彙調査」（幼児8名），「語彙連想調査」（幼児8名＋小学校児童200名），「言語生活アンケート調査」（幼児8名＋小学校児童200名）

調査結果の一部が大久保愛・川又瑠璃子「就学前幼児の語彙－4児による日常生活語の実態－」（国立国語研究所研究報告集3，1982，秀英出版）に報告されている。

調査資料：6歳3～5か月の幼児4名を対象に1977年に行った話しことば調査（日常生活場面）。

調査単位：文節（細則を設けて切ったもの）

異 な り：3,642語　延べ：38,490語（4名全体で）

19）　同書，p.10

⑦「談話行動の実験社会言語学的研究」（昭和52〜54年度文部省科学研究費特定研究　研究代表者：渡辺友左）

「談話行動の要素・特性・機能などを明らかにし，合わせて，言語行動の類型化，コミュニケーション・パタンの抽出などを行なう」[20]ことを目的とした研究。「ことばとことば以外の身振り・動作など非言語的行動を総合的に把握しようとして企画されたもの」[21]。

調査資料：1977〜79年にかけて東京・大阪で行った座談の場面における録音・録画データ。

調査単位：文節（あるいはそれ以上の長い単位）

⑧「話しことばの計量国語学的調査・分析のための基礎的研究」（昭和55〜57年度文部省科学研究費一般研究（A）　研究代表者：斎賀秀夫）

科学研究費による，話しことばの研究。目的として次のようなことが掲げられている。

1．話しことば調査のための調査単位の設定

2．話しことばの分類基準の確立

3．話しことば集計プログラムの作成

4．話しことばデータの採集と分析（1.〜3.の検証のためのデータ）

研究報告書は3分冊の形式で刊行されている。

第1分冊「総論・話しことばの語彙および分類について」

第2分冊「言語研究のためのプログラム集」

第3分冊「話しことばデータ集一覧」

第2分冊は処理手順とプログラムの解説，第3分冊は上記目的4.により収集・分析されたデータの一覧である。

第1分冊では大量データに基づく大規模調査ではなく，小調査による，方法論の模索が試みられている。分析項目を記しておく。

（話しことばの語彙について）

「話しことばと書きことばの差異」「テレビのことばとラジオのことば」「話しことばの語彙に関する調査システム」「サウンドスペクトログラムによるポーズの分析」「本研究における入力データ量」「話しことばと書きことばのかなの頻度」

（話しことばの分類）

「データ記述用語の分析－話しことばの分類のために」「話しことばにおける聞き手決定について」「話しことばの語彙の時系列的分析」「話しことばテキストを語彙の量的構造によって分類する試み」

⑨『日本人の知識階層における話しことばの実態』（昭和52〜54年度文部省科学研究費特定研究（研究代表者：野元菊雄）報告書　1980年）

20）『国立国語研究所　年報』29（1978），p.72

21）『談話行動の諸相』（三省堂，1987），p.1

話しことばの実態を把握することを目的とした調査だが，より具体的な目的として，次のようなことがらが掲げられている。

1．留学生などの日本語学習者の多くが日本の社会で接すると考えられる，日本人の知識階層を中心として，そのなまの言語行動のすべてを記録・録音し，さらに発話場面やコミュニケーションネットワークなどの情報を付加し，これに文型論的分析・社会言語学的分析などを加えて基本的資料を得る。

2．1.で得られた資料に基づいて，さらに言語教育の立場から分析を加え，日本語学習者に学習到達目標として求められる言語能力を明示し，客観的な能力測定の基準を立てる。

原データは「東京並びに東京近郊在住，在勤の7名の調査者のすべての言語行動場面におけるあらゆる発話」を対象として，「各人1日1時間，日曜日を除く1週間を調査期間とし，1日の午前8時から夜8時までのおおよそすべての時間帯にわたるように按分して調査録音された」テープ（計6時間）すなわち，7人分・延べ42時間の録音資料である。

調査結果は次の4冊の報告書にまとめられている。

調査の概要と分析

表現意図および文の長さ，音韻，構文（資料集1）

語彙表（資料集2）

「場面について」分析資料（資料集3）

以下「調査の概要と分析 5.語彙調査とその分析」の章による。

調査単位：β単位（原則として。例外あり）

「公的生活」（場面1）・「私的生活」（場面2）・「外出先」（場面3）の三つの場面に分類・整理されている。

場　面	延　べ	異なり
1	45,132	3,635
2	14,282	2,552
3	6,915	1,293
全　体	66,329	5,341

場面ごとの語種分布

（異なり）

※（　）内は固有名詞をのぞいた百分率

	全　体	場面1	場面2	場面3
和　語	2,166（46.9）	1,439（45.1）	1,328（56.9）	656（56.4）
漢　語	1,850（40.0）	1,358（42.6）	763（32.7）	423（36.4）
外来語	465（10.1）	301（9.4）	175（7.5）	60（5.2）
混種語	136（3.0）	89（2.9）	67（2.9）	24（2.0）
語種計	4,617（100.0）	3,187（100.0）	2,333（100.0）	1,163（100.0）
固有名詞	724	448	219	132
総　計	5,431	3,635	2,552	1,295

このほか，次のような項目についての観察・考察がなされている。

高頻度語彙のバラエティ，高頻度語彙の語種分布，高頻度語彙の品詞の構成，品詞ごとの高頻度語彙，固有名詞の分析

1.2.2 今回の調査との比較

上で見たとおり，国語研究所のこれまでの音声言語（話しことば）研究は，主として，社会言語学的な研究であった。そして語彙がとりあげられている場合も，多くは言語行動の総体を把握するための調査研究の中での一項目として扱われており，音声言語で用いられる語彙を本格的に扱った研究はまだ少ない。それゆえ，今回の調査は，国語研究所における音声言語を対象とした大規模な語彙調査としては，はじめてのものといえよう。また，語彙調査ではあるが，国語研究所のこれまでの研究動向からもうかがわれるとおり，語彙論の枠組みを越えて広がる可能性を持っている。というのも，当該の語句を発した話し手（出演者）の属性・その場面での役割，聞き手（出演者，もしくは視聴者）の属性，談話の形態（一対一，一対二，…，一対多，多対多）など言語外的な要因や言語行動上の特性と，言語表現との因果関係を考察することが不可避だからである。

今回の報告では，標本ごとの語彙量，語種・品詞構成など，語彙の計量的な側面についての調査結果が中心となる。そのため，上で述べた語彙論の境界を越えた展開については，その可能性を示唆するにとどまる。今回の調査は文字言語の語彙調査と音声言語の社会言語学的研究という二つの流れをくむものであり，その中に今後の語彙研究の新しい方向を見出す可能性があることを指摘しておく。

なお，今回扱った音声データは音声言語ではあるが，テレビ放送という特殊な媒体で使用された言語であり，日常会話・公的な会議などといった生の音声言語とは性質を異にする。したがって，今回の調査の中で開発された方法論は今後の音声言語研究に生かすことができると考えられるが，今回の調査結果をそのまま現代日本語の話しことばの実態であると考えることができるかどうかは慎重に検討しなければならない。

2．ＮＨＫ放送文化研究所による放送用語の調査研究

放送用語そのものを対象とした調査研究を盛んに行っている機関としてＮＨＫ放送文化研究所（以下「ＮＨＫ文研」と略す）がある。ここではＮＨＫ文研による調査研究のうち，今回の調査との比較のため，放送用語の語彙的側面に焦点をおいたものをとりあげる。なお，以下では，ＮＨＫ文研による刊行物を次のような略号で示す。

『月報』：『文研月報』（1951年5月～1983年3月）
　　『放送研究と調査』（1983年4月～）

『年報』：『調査研究報告第1集～第5集』（1956年3月～1960年4月）
　　『ＮＨＫ放送文化研究所年報第6集～第9集』（1961年9月～1964年7月）
　　『ＮＨＫ放送文化研究年報第10集～第28集』（1965年8月～1983年8月）
　　『ＮＨＫ放送文化調査研究年報第29集～』（1984年8月～）

2.1 従来の調査の概観

ＮＨＫ文研では昭和40年代に，ラジオ・テレビ番組を対象とした大規模な語彙調査を行っている。これは放送基本語彙の選定のための基礎データを得るためのものであり，「放送基本語い調査」の構想にもとづくものである。菅野謙「放送用語研究の一方法」（『年報』11，1966，pp.71～112）に，調査の概要が紹介されており，調査の目的について次のようなものであるとしている。

> 放送番組で使われていることばと，一般の話しことばの実態を，詳細に把握し，個々のことばについて，伝達効果，語感などあらゆる観点から問題となる点について，客観的な十分豊富な比較データを集め，公正な検討の場に速やかに供給する。また，検討結果の周知，整備に有効適切な体制を確立する。これによって，ことばの面からの放送番組効果を高めるとともに，放送を通じてよりよい日本語を育成する[22]。

そして，放送用語について，放送用語委員会を中心として審議・検討を行った結果を放送現場の担当者に周知徹底させるためには，「現業担当者が疑問を感ずる使用ひん度数の高いことばを，確実に2万ないし3万項目選定」[23]した上で「ポケット辞典」的な資料を作成・配布することが有効であり，基本語い調査の目的の一つは，その基礎的な語彙を選定するためのデータを得ることである，という。

このように，「放送基本語い調査」は現場に即座に役立つデータを提供することを目的とした調査であった。ところで，浅井真慧「放送用語の調査研究の系譜」（『ＮＨＫ放送文化調査研究年報』32，pp.205～237）では，過去のＮＨＫ文研による研究報告を21のカテゴリーに分類し，概説している。以下では，同論文において「放送基本語い調査」として分類されている調査報告を中心に概観する。

①「ラジオニュース調査」（プリテスト）

対象：ラジオニュース

期間：1965年6月

総時間数：4時間

発表論文では，調査結果そのものよりも，大規模調査のプランが詳しく述べられている。

発表論文：

菅野謙「放送用語研究の一方法」（『年報』11 '66.8）

菅野謙・石野博史「電子計算機によるラジオニュース用語の分析」（『月報』'67.4）

菅野謙・石野博史「漢字を含むことばと漢字の研究」（『月報』'67.5）

菅野謙・石野博史「基本語い調査のための調査単位の決め方」（『月報』'67.6）

菅野謙・石野博史「放送で使っていることばの各種の面からの分析」（『月報』'67.7）

菅野謙・石野博史「音節と音節連続の研究」（『月報』'67.8）

22）　同書，p.106

23）　同書，p.105

また，これらに先立つ論考として次のものがある。

早田輝洋「『放送基本語い調査』研究のための単位分割について」(『月報』'66.7)

②「ラジオニュース調査」(「放送基本語い調査」)

期間：1965年4月～1966年3月

対象：全国中継1日につき5分をランダム抽出

総時間数：51時間2分

発表論文では調査結果の報告よりも，調査研究の方法論の開発に議論の重点がおかれている。

発表論文：菅野謙「漢字から見たラジオニュースの用語」(『月報』'68.9)

菅野謙「ラジオニュースのアナウンス速度」(『月報』'68.10)

③「テレビニュース調査」(1967年度)

期間：1967年4月1日～1968年3月31日（1日おき）

対象：正午のテレビニュース（全国中継部分10分，ローカル5分，合計15分）

調査単位：β単位（『雑誌九十種』に従う）

総時間数：45時間55分

調査結果に基づいて，外来語・外国地人名・人名表現など個別の項目が次の各論文で論じられている。

発表論文：菅野謙・石野博史「ニュースの中の外来語」(『月報』'69.6)

菅野謙・石野博史「ニュースの中の外国地人名」(『月報』'69.7)

菅野謙「ニュースの中の人名表現」(『月報』'69.10)

菅野謙・安倍真慧「ニュースの中の動詞『する』について」(『月報』'69.12)

石野博史「ニュースにおける時表現」(『月報』'70.10)

また，菅野謙「電子計算機による放送用語の研究」(『年報』45 '70.6）にも調査結果の一部が紹介されている（高頻度語彙上位20語・品詞別高頻度語)。

なお，②③の両方のデータをもとに，放送ニュースの文章を分析するための方法論を考察したものとして，次の二つがある。

菅野謙・石野博史「ニュース文章の分析方法について(1)」(『月報』'68.12)

菅野謙・石野博史「ニュース文章の分析方法について(2)」(『月報』'69.2)

④「全番組調査」

期間：1969年4月～1970年3月

対象：テレビ・ラジオそれぞれ3日に1日，1回5分を6回，層別ランダム抽出

調査単位：語の単位は，原則として「1文節」を「1語」とした(「NHK1日の～」p.80)

総時間数：122時間

発表論文：菅野謙・安倍真慧「NHK1日の送出情報量～言語情報に限定して～」(『年報』'71.7)

この調査は「情報量という面から見たＮＨＫの現時点でのマスコミの中での比重を明らかにし，また，変わりつつある各メディアの中での，テレビ・ラジオの地位を予測することができるようにするために，ＮＨＫの放送での送出情報量を，言語情報に限定して，量と質の面からは握する第一段階の試みである」[24]。主な結果は次のとおりである。

○テレビ・ラジオ4波の言語量に限って見たところでは，ＮＨＫの1日の送出情報量は，音声33万語（100万字），画面文字は，その25分の1のおよそ4万字（重複表現を除く）であり，合計すると，新聞の125ページ分にあたる。

○1分平均のことばの密度（分あたり語数）は，音声75語（230字），画面文字は19字。

［1日平均　総合テレビ音声：88,631語　総合テレビ画面：26,632字
教育テレビ音声：82,594語　教育テレビ画面：18,677字］

○密度の点でのテレビとラジオの差は，音声のみでおよそ13対12，文字を含めると7対6。

○番組部門別の音声密度は，報道，教養，教育，娯楽の順だが，テレビのみでは教養が第1位。

［1分平均語数　総合テレビ　報道：82.2　教育：78.6　教養：93.5　娯楽：67.5
教育テレビ　報道：91.8　教育：70.5　教養：93.0］

○テレビ画面の使用字種は，漢字2分の1弱，ひらがな2割，カタカナと数字それぞれ1割，ローマ字が1割強で，一般のスクリプトなどに比較してひらがなが少なく，数字，ローマ字が多いことが特徴。

○放送時刻による音声情報の密度も比較されている。「時間の経過にともない，密度の濃淡に変動が見られたが，音声情報の密度を左右する要因として，放送時刻の要因が他の要因を上まわる点は見出せなかった。むしろ，この密度の濃淡の変動は，番組の性格によるところが大きい。」[25]

⑤「テレビ画面文字調査」

a．1970年調査

対象：1970年11月から12月にかけての4週間分のテレビ番組（総合テレビ・教育テレビ）の中から36時間分の番組を選び，その時間中に画面に表示された文字表現のすべてを収集したもの

発表論文：菅野謙・安倍真慧「テレビ画面の提示文字数」（『月報』'71.4）

上記「全番組調査」と対比するための，文字情報量の資料として収集したもの。

b．1975年度調査

対象：1975年度に放送されたすべての定時番組の表示文字，「テレビニュース」69日分のテロップ，「番組予告」30日分，「外国映画」（字幕スーパー）3種

発表論文：菅野謙・安倍真慧「テレビ画面で使われる当用漢字表外字」（『月報』'76.7）

24）　同書，p.78
25）　同書，p.86

菅野謙・安倍真慧「テレビニュースの数字表現」(『月報』'76.8)

菅野謙・安倍真慧「テレビニュースのカタカナことば」(『月報』'76.9)

また，これに関連して次のものがある。

菅野謙・井上鎮雄「テレビニュースの文字表現」(『年報』'77.7)

この調査を始めとする画面文字の調査は，テレビニュースを「少しでもわかりやすく，親しみやすいものにするための研究」[26]の一環として行われたものである。つまり，画面にどのようにして文字を提示すれば，視聴者がよりよく内容を理解できるかということに焦点がある。

⑥「テレビニュース調査」(1977年度)

対象：1977年4月～1978年3月までのＮＨＫテレビニュース（午前7時・正午・午後7時）3日おきに1日1本ずつ計182本

1967年のテレビニュース語彙調査との比較を目的として計画された調査である。

論文では調査結果をもとに，外来語，サ変動詞，文末表現，形容語，形容動詞，「○○的」形式の表現という各項目が論じられている。また，単語を超えた単位として「表現連鎖」(単語連続）に注目し，テレビニュース（67年度・77年度）・新聞・ＮＣ９で用いられた文章を比較している。ここで表現連鎖として取り上げられているのは次のようなものである。

「マス」,「コソアド」,「サ変動詞」,「デス」，受け身形，「ような」「ように」，否定形，「○○的」,「ね（終助詞)」，動詞のテ形・タ形など。

発表論文：石野博史「テレビニュースの用語10年の変化（1）－外来語－」(『月報』'79.7)

菅野謙「テレビニュースの用語10年の変化（2）－サ変動詞－」(『月報』'79.8)

菅野謙「テレビニュースの用語10年の変化（3）－文末表現－」(『月報』'79.9)

菅野謙「テレビニュースの主要表現連鎖500種」(『月報』'79.12)

菅野謙「放送・新聞・雑誌の形容語」(『月報』'80.3)

菅野謙「放送・新聞・雑誌の形容動詞」(『月報』'80.4)

菅野謙「放送・新聞での『○○的』の用法」(『月報』'80.5)

⑦「東西二○○番組調査」

対象：放送世論調査所の全国視聴率調査（1983年11月）による，関東地区・近畿地区とも視聴率上位200位までの番組の，冒頭の音声部分5分間。

発表論文：菅野謙「テレビ高視聴率番組の外来語」(『月報』'83.12)

菅野謙「よく見られているＴＶ番組のことばの性格～東西二○○番組の分析～」(『月報』'84.6)

菅野謙「よく見られているＴＶ番組のことばの性格(2)～外来語と漢語～」(『月報』'84.7)

26)　浅井真慧「放送用語の調査研究の系譜」(『年報』32，1987)，p.214

テレビ放送が一般視聴者のことばの変化に及ぼす影響力に焦点を当て，「視聴率の高いテレビ番組の表現分析」[27]を目的として企画された調査である。

はじめの「〜外来語」論文では，採録した標本の中での外来語について，分あたりの語数・放送局ごとの比較・外来語を含む複合語の語構成などを観察・検討している。「よく見られている〜」第1論文はテレビ放送を通じて聴取されることばの量について，関東地区と近畿地区を比較対照している。また，番組分類別に言語密度（1分あたりのことばの量）の比較も行っている。「よく見られている〜」第2論文は同じ調査の結果から外来語と漢語を取り上げて，用法の特徴を観察し，特に外来語と漢語を含む複合語の多寡を番組分類ごとに比較している。

なお，上で取り上げたもの以外の，小規模な語彙調査の報告として石野博史「実況中継の用語」（『月報』'76.4）がある。これは1975年5月の英女王訪日の際の報道（ＮＨＫ総合テレビ・フジテレビ・ＮＥＴテレビ・12チャンネルテレビ・ＮＨＫラジオ第一・ＴＢＳラジオ）のうち二つの場面を取り出し，語種・品詞の内訳からの考察を行っている（単位はβ単位）。実況中継においてどのようなことばの使い方がなされるか，というケーススタディーである。

これらの調査の報告以外に，たとえば最上勝也「慣用表現『〜としている』の意味と用法」（『放送研究と調査』'90.5）など個別的な表現を扱った論文は多数あるが，いずれもテレビ用語全般にわたる調査ではない。

2.2 今回の調査との比較

以上，概観してきたようにＮＨＫ文研による放送用語の調査研究は，ニュースでの用語を中心とした調査が圧倒的に多い。ニュース以外の番組をも対象としているのは上に概観した調査の中では「全番組調査」（1969年4月〜1970年3月），「東西二〇〇番組調査」（1983年）のみである。ただし，前者は語彙量・文字量を中心にした調査であり，たとえば語種・品詞の内訳など，語彙の構造を詳細に検討するものではない。また，後者は対象を高視聴率番組に限定したものであり，現代のテレビ放送で用いられている用語のそのままの姿を捉えようとしているわけではない。これらの点で今回の調査とは相違がある。さらに，ＮＨＫ文研による調査は多くの場合，現場の要請に基づいて，放送上適切な用語を選択するための基礎資料を作るという実用的な目的がある。ニュースを始めとする報道番組においてこういった現場の要請はもっとも強いものと思われる。用語選択のための基礎資料作りという点ではかつて国語研究所で行った雑誌・新聞の調査と共通する。上述の通り，国語研究所の雑誌・新聞調査では基本語彙選定のための基礎資料を提供することが一つの柱となっていたからである。

他方，今回のテレビ放送の調査にあたっては，まず，従来調査対象としてきた雑誌・新聞・教科書を，日常生活の中で大きな影響力をもつ言語媒体としてとらえた。それらの調査に続くものとして，強力な影響力をもつマスコミュニケーション・メディアであるテレビを対象としたのである。それゆえ，今回の調査では現在放映されている放送における用語の実態を探索することに

27）「よく見られている〜」第1論文，p.26

主眼をおいているため，ニュースに限らず，すべての番組を対象として調査を進めた。この点でＮＨＫ文研による調査とは基本的な性格を異にしている。

３．今回の調査の位置づけ

以上，今回の調査を，国語研究所とＮＨＫ文研の従来の調査と比較対照し，その特徴を考えてきた。簡単にまとめると次のようになる。

Ａ．今回の調査は，国語研究所が行ってきた語彙調査の流れの中に位置づけることができる。また，音声言語を扱っている点で，従来の社会言語学的研究とも深い関わりをもつ。ただし，国語研究所の，音声言語を対象とした大規模な語彙調査としては，はじめてのものである。

Ｂ．ＮＨＫ文研のさまざまな調査は，放送のための基本語彙選定をはじめ，現場の要請に対応したものである場合が多い。今回の調査は，テレビ放送において用いられている言語（語彙）の実態を把握することに重きを置いており，基本的な性格が異なっている。

第5章　調査の担当者・経緯

この調査は，「（特別研究）言語計量調査－テレビ放送の用語調査－」の課題名のもとに，言語体系研究部第二研究室（旧言語計量研究部第一研究室）の共同研究として，1988年度に開始された。担当者は以下の5名である。

室　　長　中野　洋　（91年2月から言語体系研究部長）
研　究　員　石井正彦　（95年1月から言語体系研究部第二研究室長）
　　大島資生　（92年1月就任，95年4月から東京大学留学生センター講師）
　　山崎　誠　（95年1月から言語体系研究部第一研究室長）
研究補助員　小沼　悦

このほか，期間の長短はあるものの，12名のアルバイタが作業をたすけた。

調査は，担当者全員が，企画から集計・分析までの諸作業を，共同して行った。調査の各過程では，最適の方法論を得るための試行錯誤が，担当者による討議をとおして，くりかえされた。この姿勢は，調査の開始時点から一貫したものである。もちろん，ある担当者が中心となって，ある段階の作業方針をとりまとめることはあった。中野は，調査全体を統括するとともに，データ作成のための各種計算機プログラムを作成した。石井は，調査の実施計画を立案し，担当者による作業および討議を調整した。また，この報告書を編集した。大島は，標本の付帯情報をはじめとするデータ作成の中心となり，「第3部資料編　標本一覧」を編集した。また，計算機上のデータの管理も行った。山崎は，標本抽出の設計を行い，また，調査単位の原案を作成した。小沼は，調査の全体にわたって他の担当者を補助するとともに，アルバイタによる作業を管理した。このように中心となるところは異なっても，調査は，そのすべてにわたって，担当者全員の合意と協力とにもとづいて行われた。

「（特別研究）言語計量調査」として，「高校・中学校教科書の語彙調査」につづく調査をどのようなものにするかという検討は，1986年度から，当時の言語計量研究部において行われていたが，87年度はじめに「テレビ放送の語彙調査」とすることが決定され，第一研究室がそれにあたることとなった。

88年度は，ＮＨＫ総合テレビ，同教育テレビ，フジテレビの各1日分の放送を対象とする予備調査を行い，録画・録音・標本抽出・文字化・データ入力・単位切り・集計などの方法を検討した。また，調査対象を「東京をキーステーションとする6放送局の7チャンネルが，1989年4月～90年3月の1年間に放送した番組の語彙」と決定し，標本抽出の具体的な設計を行って，必要な機材を用意した。

89年度は，標本台帳をもとに，1年をとおして，標本抽出（録画）を行った。また，㈱ビデオ・リサーチから，視聴率のデータを購入した[28]。

28）　1989年度分の，関東地区の『テレビ視聴率速報』『テレビ視聴率週報』を購入した。

90年度は，音声標本の文字化・入力を開始するとともに，標本の番組名・視聴率・話者・CMと歌の範囲などの情報を付与した。

91年度は，「長い単位」についての規則を決定した。音声標本については，文字化を確定し，単位切りを開始した。画面標本については，調査対象の範囲・調査方法を決定し，ビデオプリンタによるデータ作成と計算機入力に着手した。この段階で，全体の集計を終えるまでにはさらに数年を要すると判断された。そこで，ひとまず，調査対象を3か月分（全体の4分の1）に縮小し，その調査・集計を先行することとした。

92年度は，音声標本の単位切りを終え，「雑誌九十種の語彙調査」の同語異語判別規則に準拠した判別を開始した。また，画面標本の単位切りを開始した。

93年度は，音声標本・画面標本とも見出し語をほぼ確定し，語種・品詞の情報を付与した。

94年度は，ひきつづき，すべてのデータの検査・修正を行い，本報告書を執筆した。

なお，89年度以降，毎年度末に，国語研究所内外の研究者・有識者による研究会を開催し，研究経過を報告するとともに，助言を得た。ここに，所外から研究会に参加された方々，また，文書によって意見をお寄せくださった方々のお名前を記す（五十音順，敬称略）。

秋山和平	浅井真慧	石野博史	石綿敏雄	江原暉将	大石初太郎
加藤久雄	菅野　謙	木佐敬久	斎賀秀夫	酒井恵美子	佐竹秀雄
真田信治	田島毓堂	田中章夫	谷岡久男	土屋信一	靏岡昭夫
野村雅昭	林　四郎	日高貢一郎	前田富祺	馬瀬良雄	水谷静夫
水野義道	宮島達夫	村上征勝	最上勝也		

第　2　部

方　法　編

第１章　調査の手順

調査の手順を以下に記す。このうち，標本抽出の方法，音声・画面文字の認定基準，音声の文字化の規則，単位語の認定（単位切り）規則，見出し語の認定（同語異語判別）規則と集計の考え方，データの形式と管理については，別に項目を立て，そこで詳述する（「第２部第２章～第７章」参照）。

１．標本の抽出・採録

標本の抽出および採録は，1989年度１年間の放送を母集団として設計・実施した。以下に，採録について記す（抽出については，「第２部第２章　標本の抽出」参照）。

1.1 録　　画

標本抽出台帳をもとに作成した「ビデオ予約等作業記録表」（「第２部第７章　2.2」参照）にしたがって録画予約を行い，ビデオデッキ４台を併用して，ビデオテープ（160分）に標準モードで録画した（１週間28標本，１年（52週）分208巻）。標本は１件５分で，内容確認のために直前10分，直後５分をあわせて録画した。録画の内容を確認し，録画に失敗した場合には，原則として，翌週の同チャンネル・同曜日・同時刻の番組を録画した。

1.2 編　　集

標本部分（５分）のみを別のビデオテープに編集，週ごとに１巻（４標本×７日＝28標本）とした。52週分で52巻。各標本の直前に目次タイトル（標本番号の音声と映像）を挿入した。

２．画面文字の採集

2.1 画面のプリント

ビデオプリンタ（カラービデオプリンター日立VY-P1）を使って，標本としてとられたビデオ映像から，なんらかの文字列を含む画面をすべてプリントした。

2.2 画面文字の認定

調査対象となる文字列を認定した（認定基準については「第２部第３章　音声・画面文字の認定」参照）。

2.3 画面文字の入力

ビデオプリント１枚を１レコード（１行）として入力した。本来ひとまとまりである画面が何枚かに分かれて採集された場合（上下ないし左右に流れるテロップなど）は，先頭のプリント番号のもとに一括して入力した。また，画面文字の縦書き・横書きの順にしたがって入力した。

3．音声の文字化

3.1 準　　備

録画したビデオテープの音声をカセットテープに録音（ダビング）し，文字化作業用のテープを作成した。1週分（28標本）ごとに 90分カセットを2本使用した。

3.2 おおまかな文字化

カセットテープを用い，複数のアルバイタが分担して全標本（1年間）の文字化を行った。ここでは「文字化対象の範囲で文字化し得るものはすべて文字化すること」を原則とした。また，同時に文節に切りながら文字化したが，この段階では，正確な単位分割というより，文字化それ自体の能率向上のためおおまかに分かち書きする，という程度の位置づけである。なお，文字化入力の平均時間は1標本（5分）あたり 38.1分であった（文字化の要領は，「第2部第4章 音声の文字化」参照)。

3.3 文のおおまかな認定

文字化の検査・確定の作業効率を高めるため，『話しことばの文型（1)』(国立国語研究所報告18，1960）における文の認定基準（pp.2〜4）を参考に，句点を施した。ただし，ここで認定された「文」は，厳密な議論を経て確定されたものではない。

3.4 文字化の検査・確定（調査対象とする音声の認定）

3か月分の標本の文字化結果について，担当者が，数次にわたって検査・修正した（「第2部第7章　1.1.1」「同　2.3」参照)。これは，担当者全員が，それぞれ，録音テープを聞きながら，文字化の要領（細則）にしたがって文字化していったものである。それぞれの文字化に相違があった箇所や，音声が不明瞭で聞き取りが困難な箇所，いくとおりにも聞き取れるような箇所，また，文字化を保留した箇所については，録音テープを聞き直し，また，録画資料まで戻ったうえで，全員の討議により文字化を確定していった。それでも確定できない場合は，複数の文字化の候補をそのままデータに残した。

さらに，聞き取りが困難な場合，ビデオテープ以外になんらかの手がかりがあるかどうか，できるかぎり調査を行い，文字化を確実なものに近づけるよう努めた。たとえば，標本（0332）（ＮＨＫ総合「歴史誕生」）では，明治23年に第1回帝国議会が開かれた折に作られた「帝国議会開院之頌」が紹介されているが，歌詞の一部に聞き取りにくい部分があったため，楽譜を所蔵している憲政記念館を訪問して楽譜の複写を依頼し，それによって文字化を確認した。

このように，可能なかぎり適切に文字化することを目標としたために，なんらかの手がかりがあった部分については，他の部分に比べて文字化の確度が高まっており，全体としての文字化の精度にばらつきを生ずる結果となっている。

4．情報付加

音声の文字化データに，話者情報・番組視聴率情報を入力する。話者情報とは，同一話者の発話の先頭に同一記号を付与したものである（「第2部第7章 1.2.3.2.」参照）。視聴率情報は，㈱ビデオ・リサーチ『テレビ視聴率速報』によった。

5．単位切り

単位切り規則（「第2部第5章　単位語の認定」参照）にしたがい，音声文字化データと画面文字データを，それぞれ，単位語に分割した。なお，単位切りの修正にあたっては，一部の作業で一貫処理プログラム[1]を利用した。

6．同語異語判別（読み・代表形の付与）

音声文字化データと画面文字データとを合併し，ＫＷＩＣ（文脈付き用語索引，「第2部第7章　1.1.3」「同　2.4」参照）を作成した。キーワードの出現形順にソートした後，データベースソフト“桐 Ver.3”（㈱管理工学研究所）のファイルに読み込み，代表形つけの作業を行った（同語異語判別の規則については「第2部第6章　見出し語の認定と集計」参照）。“桐”を利用したのは，複数の出現形に統一的に同一の代表形を与えられること－しかも，“桐”の“よみがな”つけ機能を利用すると作業が大幅に軽減されること－，また，帳票形式（一枚一レコードのカード形式）で作業することにより，文脈を確認しながら作業を進められることによる。

次いで，ＫＷＩＣによって付与した読み・代表形を原文データ（音声文字化データと画面文字データ）に転写した。原文データと読み・代表形データとを別々にもつ方法も考えられたが，原文データの位置情報によって両者の対応をとる場合，処理プログラムの作成が技術的に難しくなるため，二つのデータを一括することとした。

7．語種・品詞の付与

語種は次の5種のうちのいずれかを与えた。

和語（記号 W），漢語（記号 K），外来語（記号 G），混種語（記号 H），不明（記号 ?）

語種判定は『新潮国語辞典－現代語・古語－』（1965，新潮社）を参考に行った。なお，固有名詞にも普通名詞と同じように語種を付与した（国立国語研究所報告89『雑誌用語の変遷』，1987，pp.55～57参照）。

品詞については，『分類語彙表』（国立国語研究所資料集6，1964）の4分類にならって，次のように付与した。

体の類（記号 1），用の類（記号 2），相の類（記号 3），その他（記号 4），不明（記号 ?）

---

1)　中野洋「語彙調査自動化のための基礎的研究」（『国立国語研究所研究発表会資料』，1990）

8．標本一覧の作成

データの管理を効率化するとともに，この報告書における分析の対象とするため，抽出した標本の一覧を作成した（「第3部　標本一覧」参照）。各標本ごとに番組名，日時，曜日，視聴率，番組分類（ジャンル）コードなど基本的な情報を付与したほか，延べ語数・異なり語数などの集計結果も順次取り込み，整備した。

9．話者一覧の作成

話者の属性を軸とした分析のため，各標本に登場する一人一人の話者について，氏名・性別・年齢・出身地・職業などの情報を一覧表の形式に整理した（具体的なデータ形式については「第2部第7章　データの形式と管理」参照）。

10．語彙表の作成

以上のような手順によって整備したデータは，現在，その情報をもとに，ただちに，各種の語彙表に加工できる状態にある。たとえば，音声についての五十音順語彙表などはもちろん，番組のジャンル別の語彙表，話者の性別（男女別）語彙表など，さまざまの語彙表が出力できる。「第1部第1章　この報告書の目的」にも述べたように，これらの語彙表については，後続の報告書において，報告する予定である。

第２章　標本の抽出

１．標本抽出に当たって

語彙調査における標本抽出で問題となることのひとつに，抽出の単位がある。語彙調査の目的というのは，調査単位である「語」の使用率をみようということであるから，調査対象となるすべての語による基本台帳を作成し，そこから一定量の語を標本として抜き出すことが理想的であるし，統計的にも処理しやすい。しかし，そのような方法は調査対象が大きくなると事実上不可能である。

そこで，実際的な方策として，言語をのせる物理的な媒体による方法がこれまでとられてきた。たとえば，『現代雑誌九十種の用語用字』や『電子計算機による新聞の語彙調査』における紙の面積を単位にした標本抽出などである。テレビ放送の場合は，一定量の時間を抽出単位とすることが考えられる。もちろん，一定時間に放送される語彙量が一定とはかぎらない。ゆれがあるのが普通である。しかし，後述のようなメリットもあることから，今回は時間を標本抽出の単位に採用した。

標本抽出の方法には，無作為抽出，等間隔抽出，多段抽出，層別抽出などがある。この調査では，完全な無作為抽出はせず，かなり操作的な準備ののち，標本抽出を行った。それは，ある特定のチャンネル，曜日，季節，時間帯，時刻などにかたよらないような配慮をしたためである。たとえば，テレビ放送は１日，１週間，１クール（13週間）を単位として番組編成がなされている。そのため，各日，各週，各クールごとの標本数がほぼ等しくなるようにした。また，朝・昼・夜・深夜および早朝などの時間帯についても同様の処置をとった（ただし，抽出された標本が有効かどうかは別問題である。本章「５．標本抽出の結果」参照）。これらの処置がほどこせたのは，抽出単位として時間を採用した結果えられたメリットである。

調査実施の上では，ハードの面からの制約もある。使用したビデオデッキは５台である。が，録画以外にも編集・文字化の確認などに使用しなければならない。また，１台のビデオデッキで録画予約できる番組数や１本のビデオテープに録画できる時間なども実施計画に影響をあたえた。

時間による標本抽出を行うにあたっても，調査対象となるすべての放送を録画して，そこから一定の時間を抜き出すのが理想であるが，以上のような制約からそれはできず，標本にあたる箇所のみを録画する方法をとった。

また，番組のジャンルについてであるが，こちらは標本抽出にあたって，チャンネルや曜日などとは違って，調査対象における番組のジャンルの時間による構成比と標本における構成比とが等しくなるような特別な工夫はしなかった。その理由は，放送においては，各ジャンルが“混在して”放送されているので，処理上の困難があること。また，番組は往々にして変更になることがあるので，放送されてからでないと，ジャンルによる構成比を決定することができないことなどのためである。

2．標本時間について

1つの標本は5分とした。これは，5分というのが番組編成上の事実上の最小の単位であるという理由が大きい。5分では，調査結果に文脈の影響が強く出て，使用率の信頼性を下げるおそれもあるが，これは標本数を増やすことで解消できると考えた。この検証は今後の課題である。かりに，抽出単位を1分にすると，文脈の影響は少なくなるだろうが，録画予約数が多くなり，調査に用いたビデオデッキの数からいって現実的ではない。録画にあたっては，文字化および付加情報のための参考として標本の前10分，後5分もいっしょに収録しているので，都合1標本あたり20分間の録画を行っていることになる。

標本の開始時刻は毎時0分から，5分から，というように5の倍数にした（何秒はじまりという設定ができないのは，ビデオデッキの都合による）。この場合，たとえば，毎正時からの5分と25分からの5分とでは，語彙に系統的な差が生じるかもしれない。そこで，1時間内における開始時刻が特定の時刻にかたよらないように工夫した。

3．標本抽出の方法

1日に4標本（1標本は5分），1週間28標本を採取。これを52週間にわたって続けることにした。したがって，全標本数は1,456。抽出比は504分の1である。推定の標本語彙量は，音声で約45万語，画面の文字で約12万語（いずれも文節相当の長い単位）である。

4標本の抽出のしかたは，1日を大きく4つの時間帯（0時～6時，6時～12時，12時～18時，18時～24時）に分けて，その中から必ず1つが選ばれるようにした。実際のテレビ放送での「1日」というのは，暦日とは違って午前0時にはじまるわけではなく，早朝に開始するので，0～6時の部分には「前日」分の放送内容が含まれていることになるが，標本抽出の実施段階では，0～24時を「1日」と考えた。この，「日のずれ」については，分析にあたっては，放送上での「1日」に合わせた。

標本抽出の単位に時間を選んだわけであるが，24時間のうちには放送がない時間もある。1989年当時は民放ではほぼ24時間の放送体制をとっており，放送時間外の時間はほとんどないので問題はないが，ＮＨＫ（総合，教育）では0時～6時の6時間が基本的に放送時間外である。この調査ではその時間も標本抽出の対象に含めた。それは，もともとの放送時間量をそのまま反映させるためである。また，往々にして放送時間は延長されることもあり，最初からその時間帯をカットするのもためらわれたという理由もある。

4．標本抽出の手順

標本が特定のチャンネルや時刻にかたよらないように，また，同一のチャンネルや近接した時間帯があまり連続して抽出されないようにするために，次のような処置をとった。

○チャンネルについて

(1) 7つのチャンネルにそれぞれ，1～7の番号を与える。

(2) 乱数により，上の数字を並べ替える。

(3) 数字を頭から順に標本に割り振る。

(4) 割り振る数字がなくなったら（つまり，7標本ごとに），(2) から繰り返す。

○標本開始時刻について

(1) 24時間を5分ごとの標本単位にわけ，順に1～288の数字を与える。

(2) 標本単位を

A（1～72），B（73～144），C（145～216），D（217～288）

の4つの時間帯にわける。これは，

A－0:00～6:00，B－6:00～12:00，C－12:00～18:00，D－18:00～24:00

に相当する。

(3) 各時間帯とも乱数により，その中で並べかえる。

(4) A，B，C，Dの順に，数字を頭から順に標本に割り振る。

(5) 割り振る数字がなくなったら（つまり，288標本ごとに），(3) から繰り返す。

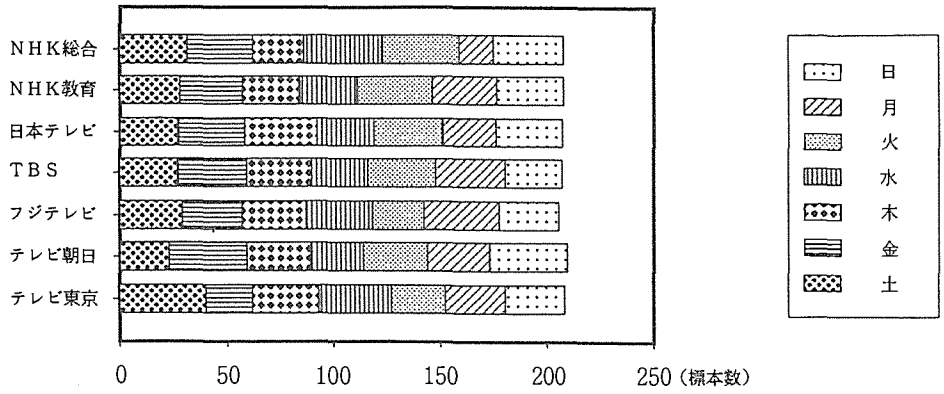
実際にとられる標本は以下のように指定される。

標本番号	日 付	曜 日	チャンネル	時 刻
0001	1989. 4. 2	日	4	2時55分
0002	1989. 4. 2	日	3	6時20分
0003	1989. 4. 2	日	1	12時05分
0004	1989. 4. 2	日	10	18時40分
0005	1989. 4. 3	月	6	0時20分
0006	1989. 4. 3	月	8	8時05分
0007	1989. 4. 3	月	12	13時40分
0008	1989. 4. 3	月	10	23時00分
0009	1989. 4. 4	火	12	5時50分
0010	1989. 4. 4	火	6	7時05分
	……			
1451	1990. 3.30	金	6	14時55分
1452	1990. 3.30	金	3	22時35分
1453	1990. 3.31	土	10	2時55分
1454	1990. 3.31	土	12	11時00分
1455	1990. 3.31	土	4	17時10分
1456	1990. 3.31	土	1	20時30分

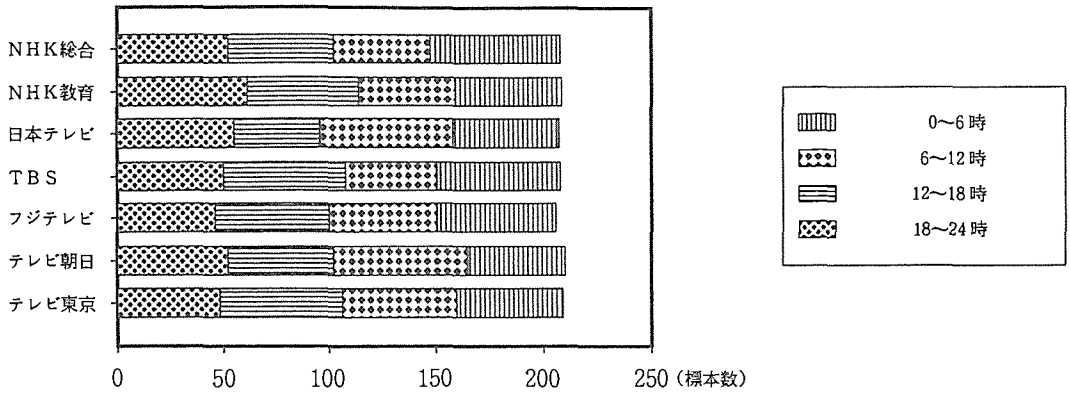
5．標本抽出の結果

5.1 データの平均性

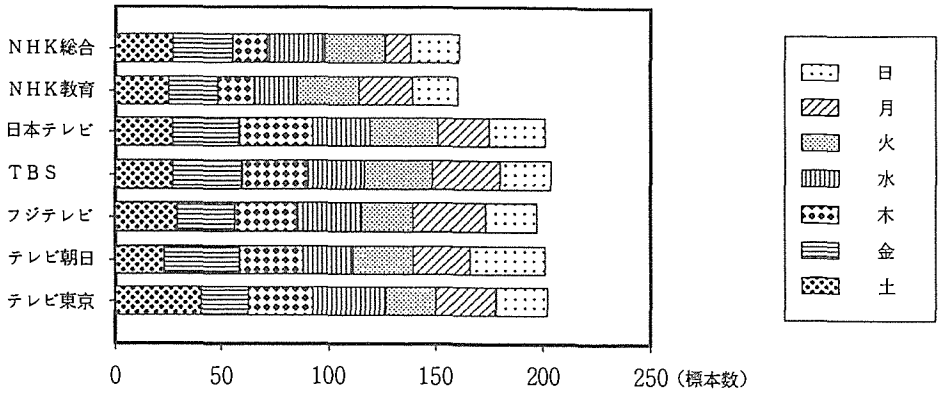
［図2.2-1］，［図2.2-2］に示すように各チャンネルともほぼ同数の標本が獲得できた。また，チャンネルに占める曜日や時間帯の割合もほぼ同数になった。これはそのように設計したので当然の結果といえる。実際には，放送時間外に当たった標本があったので，調査上有効な標本数は［図2.2-3］，［図2.2-4］に示したようになっている。ＮＨＫ総合，ＮＨＫ教育は，民放とくらべて0時～6時の標本数が少ない分だけ有効標本数が減っている。



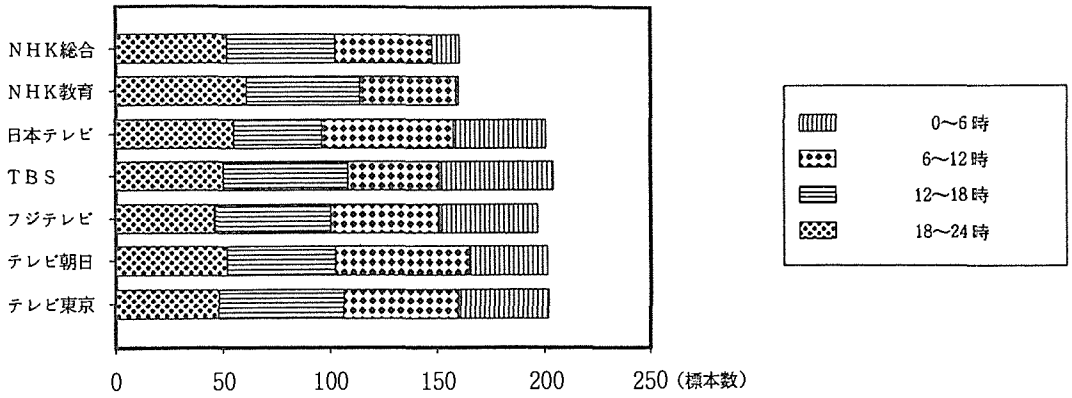
［図 2.2-1］チャンネル別標本数と曜日の割合（計画）



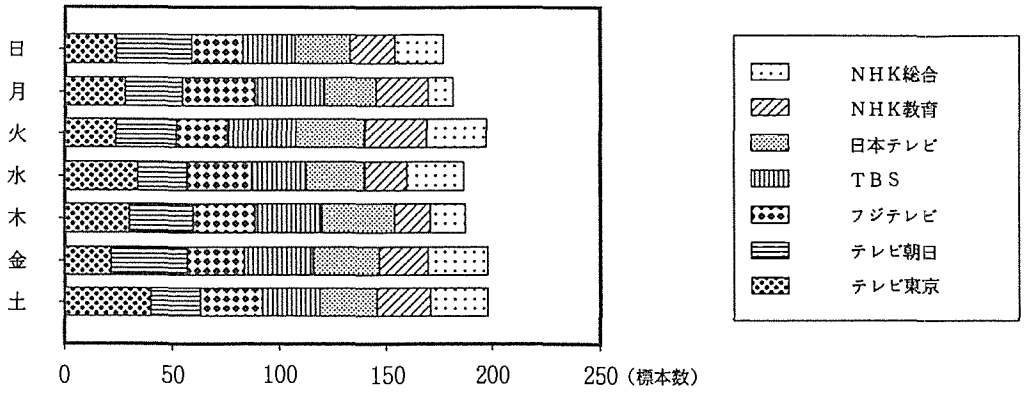
［図 2.2-2］チャンネル別の時間帯の割合（計画）



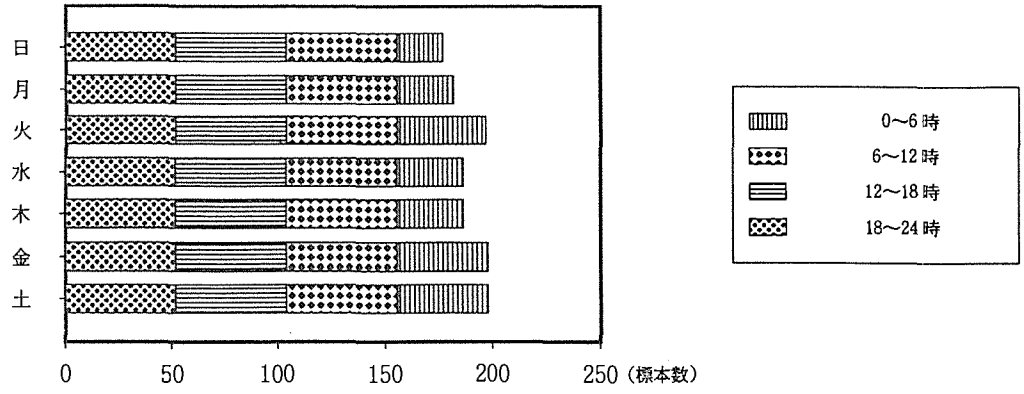
［図 2.2-3］チャンネル別標本数と曜日の割合（結果）



［図 2.2-4］チャンネル別の時間帯の割合（結果）



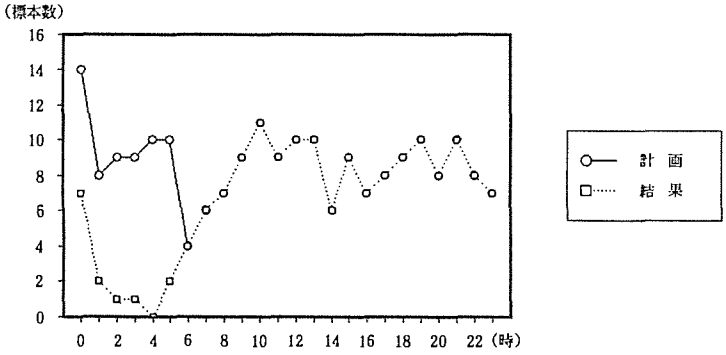
［図 2.2-5］曜日別の標本数とチャンネルの割合（結果）



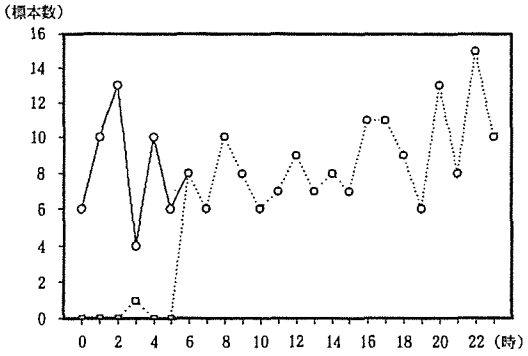
［図 2.2-6］曜日別の標本数と時間帯の割合（結果）

また，［図 2.2-5］，［図 2.2-6］に示したように曜日別にみても，各チャンネル，各時間帯ともほぼ同じ数の標本がえられた。ただ，［図 2.2-5］，［図 2.2-6］で月曜日の標本数が少なく，土曜日がやや多めになっていることは，調査年におけるテレビ放送の 1 週間のパターンのあらわれであろう。

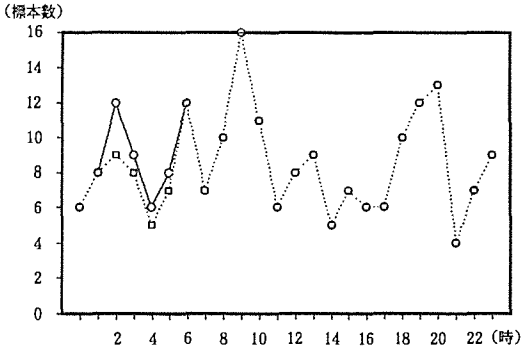
［図 2.2-7］～［図 2.2-13］は，各チャンネルごとに 1 時間ごとに標本数をみたものである。いくらか変動はあるが，ほぼどの時刻もまんべんなく採られていることがわかる。



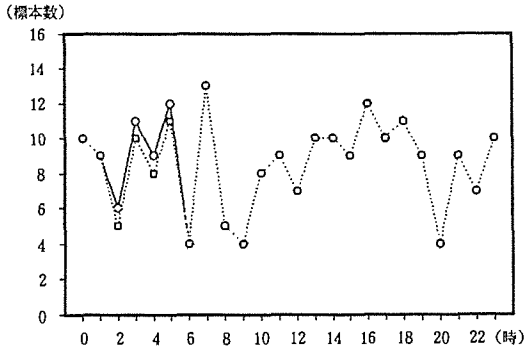
［図 2.2-7］時間ごとの標本数（ＮＨＫ総合）



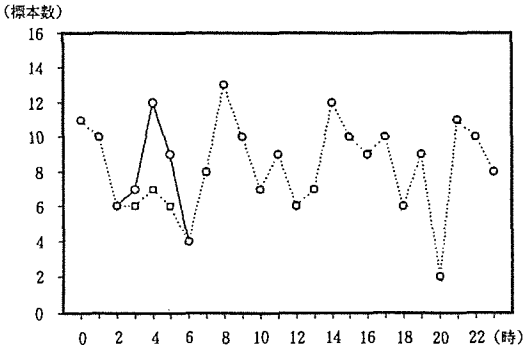
［図 2.2-8］時間ごとの標本数（ＮＨＫ教育）



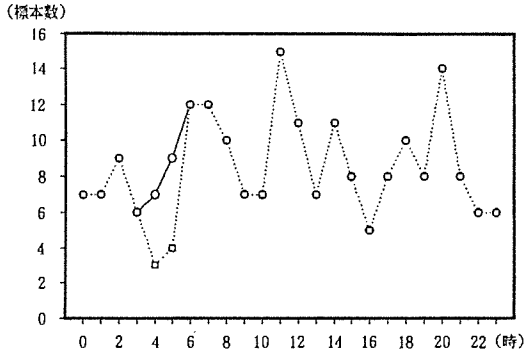
［図 2.2-9］時間ごとの標本数（日本テレビ）



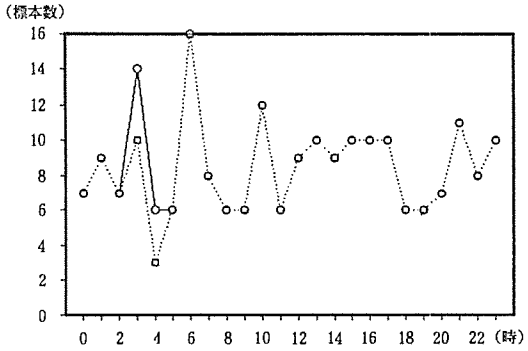
［図 2.2-10］時間ごとの標本数（ＴＢＳ）



［図 2.2-11］時間ごとの標本数（フジテレビ）



［図 2.2-12］時間ごとの標本数（テレビ朝日）



［図 2.2-13］時間ごとの標本数（テレビ東京）

5.2 エラーについて

計画通り標本を抽出できなかったものが1456標本のうち19標本あった。その内訳は，

予約ミス　　12個
時刻合わせミス　4個
映像の乱れ　　2個
操作ミス　　1個（録画中にテープを取り出してしまった）

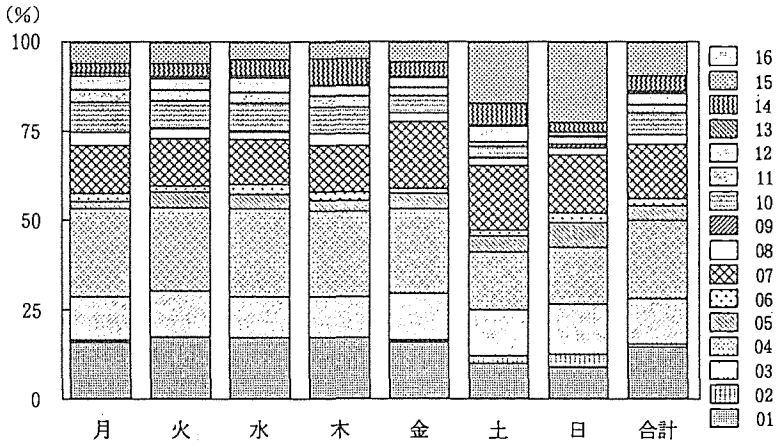
である。録画に失敗した場合は，翌週の同時刻，同チャンネルに録画して補っているが，番組編成上だいたい同じ番組（の次の回）に当たる場合が多いので，影響は少ないと思われる。

6．この報告書の標本について

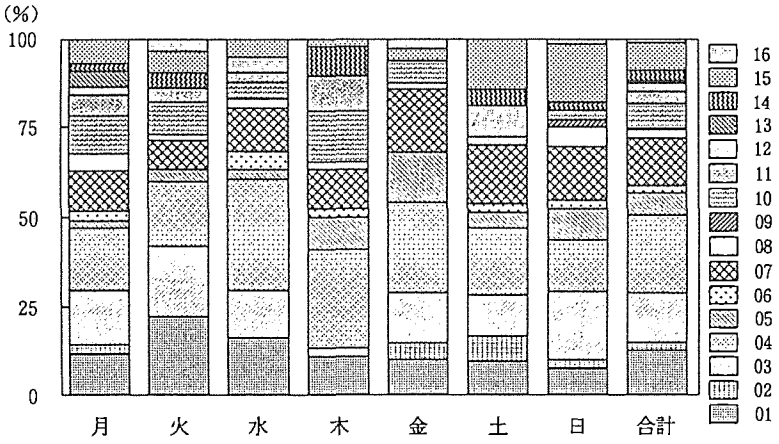
この報告書で分析に用いる標本は，上記の標本抽出で得られた1年間の標本のうち，4月～6月の3か月分（放送でいう1クール分）の364標本である。この標本数では，十分な統計的な処理には堪えないため，全体的な傾向をつかむための資料として用いることにする。

たとえば，［図2.2-14］，［図2.2-15］は，番組の分類[2]について，曜日ごとに時間による構成比をみたものである。合計の比率は，ほぼ両者とも似ているが，各曜日ごとの番組分類別構成比は，実際に放送されたもの（［図2.2-14］）と，3か月間の標本（［図2.2-15］）ではかなりの違いをみせている。これは，母集団の正しい反映とはいえない。分析にあたっては，このような点に注意しなければならない。

2）㈱ビデオ・リサーチ『テレビ視聴率季報』による。



［図 2.2-14］曜日別番組分類の内訳（母集団）



［図 2.2-15］曜日別番組分類の内訳（抽出標本）

（凡例）番組の分類：

01 報道	05 音楽	09 子供向け番組	13 コメディ
02 時事解説	06 クイズ・ゲーム	10 一般劇	14 劇場用映画
03 教育教養	07 芸能	11 時代劇	15 スポーツ
04 一般実用	08 マンガ	12 スリラー・アクション	16 その他

第３章　音声・画面文字の認定

「第１部第３章　調査の対象」に述べたように，この調査の対象は，８つの点から規定される。そのうちの，(5) 視聴可能であった，(6) 日本語の，(7) 音声および文字，という点については，その認定にあたって具体的な基準を設定する必要があった。以下に，それぞれの基準を記す。

１．何を視聴可能と認めるか

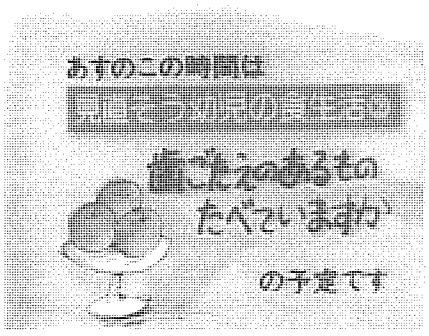
1.1 音声について

聞き取ることができると判断されたすべての音声を対象とする。どの音声が聞き取れ，また，聞き取れないかという判断は，担当者全員がすべての音声を聞き，文字化の可能性・妥当性を検討し，全員の合意が得られた場合にのみ下される（「第２部第４章　音声の文字化」参照）。

1.2 画面文字について

画面の文字が存在するその物理的な媒体ごとに，読み取り可能とする基準を設定した。

(1) テロップ，スーパーインポーズの文字は，すべて読み取り可能とする（ただし，画面の隅に表示される時刻表示を除く）。

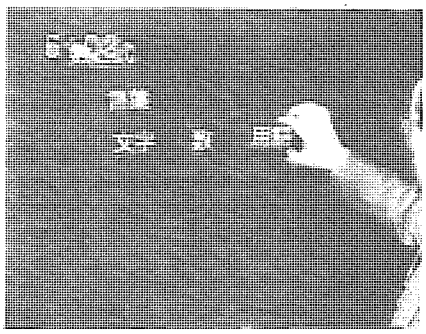


［写真 2.3-1］テロップの例（ＮＨＫ総合「おかあさんの勉強室」，1989年６月14日）

［写真 2.3-2］スーパーインポーズの例（ＮＨＫ教育「きょうの料理」，1989年４月12日）

(2) フリップ，ボードの文字は，最初の一回目の画面表示は無条件に読み取り可能とし，二回目以降は，「文字領域」の基準を満たしていれば読み取り可能とする。ただし，「文字の大きさ」は問わない。

［写真 2.3-3］フリップの例（フジテレビ「トークシャワー」，1989年5月8日）



［写真 2.3-4］ボードの例（ＮＨＫ教育「高校数学Ｉ」，1989年4月10日）

(3) セットの文字は，最初の一回目の画面表示は無条件に読み取り可能とし，二回目以降は，「文字領域」および「文字の大きさ」の基準を満たしていれば読み取り可能とする。

［写真 2.3-5］セットの例（ＮＨＫ総合「昭和の歌」，1989年5月3日）

(4) 実物の文字は，「文字領域」および「文字の大きさ」の基準を満たしていれば読み取り可能とする。

［写真 2.3-6］実物の例（日本テレビ「プロ野球デーゲームスペシャル」，1989年4月30日）

(5) 以上の基準を満たすもののうち，担当者全員が読み取ることができるものを対象とする。

(2)(3)の二回目以降と(4)については，「文字領域」という基準を設定した。文字領域とは，「文字が存在するためのよりどころとなる媒体」であり，具体的には，フリップ（パターン），ネームプレート，ボード，モニター画面，セット（背景），商品のパッケージ・容器，看板，本の表紙，新聞，ビンのラベルなどである。われわれは，この文字領域が，画面のタテもしくはヨコの長さの2分の1を超えていれば，読み取り可能であると解釈することにした。

(3)の二回目以降と(4)については，「文字の大きさ」という基準を設定した。すなわち，読み取り可能とする文字の大きさを，ビデオプリンタによるプリント上で，タテもしくはヨコの長さ6ミリ以上の文字を含む文字列，と規定した。これは，「テレビ受像器によって多少異なるが，人間が限られた時間内に画面から読み取れると考えられる文字の大きさは，一画面あたり18文字×12行（セイフティーゾーン内では16文字×10行）におさまる大きさ」[3]であり，それが，プリント上では，タテ7ミリ・ヨコ6ミリに相当するからである。

2．日本語か外国語か

ある音声・画面文字を日本語として扱うか，あるいは外国語として扱うかについて，以下のような基準を設けた（各例先頭（　）の数字は標本番号，以下同様）。

(1) 文脈から判断して，一つの発話全体あるいは画面文字列全体が外国語である場合には，対象としない。

(0030) b：ビジネスニ　ユトリ　ヒタチノ　イエス。
　　c：<u>＜外国語・Yes_I_think_so＞</u>[4]

(2) 日本語の発話・文字列の中に部分的にある（埋め込まれているような）外国語も，対象とはしない。

---

3)　NHKアートセンターからのご教示による。
4)　以下の例における＜ ＞等の記号の用法については69〜70ページの「データの凡例」を参照。

(0230) a：<外国語・deep__in__my__heart>　ワタシノ　ココロノ　オクソコデ　ワタシワ
<外国語・I__do__believe>デスネ　シンジル　イツカ　ワレワレガ　ショーリオ　オサメル　コトガ　デキルッテユー　コトオ。

(3) 外国語か日本語か文脈の上で判断できないものは，そこに含まれる固有名を除いて，対象としない（処理上は，その分かち書きに従って切り，固有名のみをとりだす）。

(0017)<不明・FOR__LIVE__PEOPLE>　アサヒビール
(0023)<不明・SONG__by>　杉本彩

3．何を音声・文字と認めるか

何が音声であり，文字であるのかについては，常識的な判断に従ったが，問題となるケースについては，以下のような基準を設けて判断した。

3.1 音声について

いわゆる「言語音」を「音声」とし，笑い声，叫び，うなり声，ため息，どよめき，くしゃみ，呟払い，舌打ちなどの「表情音」やハミングやスキャットなどの「遊戯音」は「非言語音」とし，音声とはみとめないことを基本とした。以下にあげるものは，とくに問題となるものであるが，ここでは音声としたものである。

(1) オノマトペ

(0039) a：ツメノ　アカノ　オト。
f：ゴシュッ。　キュッ。　？ドー／ダー？ハッ。
c：ナンダ？イ？　ソレワ。
a：コレワ　ドーユー　オトダ。
f：ゴシュッ。　キュッ。　オワ。
a：コレ　ナーニ。
f：ゴシュット　コ▲　コスッテ　センジテ　ノム。　キュッ。

(2) 掛 け 声

(0042) a：<畑を耕す気合いの声>　ホイッ。　ホイショ。　ヨッ。　……　ンショー。　ヘッ。　ンショ。
ンッコイショト。　ヘッ。　ヨイショ。　アッ。　アー。　アーツイ。　アッツイ。　アッツイ。

(3) あいづち

(0067) c：ゴジブンニワ　→チーサナ←　オコサンガ　イラッシャルデショ。
b：→ウン←。　ハイ。　ハイ。
c：ソレヨリモ　アノー　コレカラ　デナオシマスカラ　ヒトツ　ヨロシク　オネガイシマスッテユーネー＋

b：ンー。
c：＋アーユーノワ　アノ　ヒト＝　コ▲　＝ノ　クチカラ　キキタクナイッスネ。
b・e：ンー。
c：ナサケナイシネ。
b：ンー。

(4) 言いつぎ・遊びことば

(0068)b：イヨイヨ　ツメノ　ダンカイニ　キマシタ　リクルートジケンノ　ソーサカラデス。　エ　リクルートジケンデ　トーキョーチケントクソーブワ　モンブショーノ　オ　ゼンジムジカンオ　キョーゴゴ　オ　シューワイザイデ　キソシマシテ　イチレンノ　カンカイルートノ　ソーサオ　オエマシタ。

(5) 言い差し・言いづまり

(0149)d：フランスカクメー＝　ニヒャクメ▲　＝ニヒャクネン
(0317)b：エーガヒョーロンカノ　コモリデ▲　コモリノ　オバチャマ。

3.2 画面文字について

それが「文字」であるかどうかが問題となるものは多くはない。ここでは，以下の基準を設けるにとどめた。

(1) 商標などに用いられる合わせ文字やロゴなどは，文字列として読むことが可能であれば対象とする。

(2) 主に「天気予報」に用いられる，天気を表すマークの類は，文字（記号）として対象とする。

なお，文字であることが明らかではあっても，次のものは対象とはしなかった。

(3) ルビ

(4) テロップの背景やフリップ・ボード・セットの地などに一種の模様として用いられる文字列

第４章　音声の文字化

以下に，音声をどのように文字化したのか，その要領（細則）を記す。

1．一つの標本（５分）を１ファイルとして，カタカナ（全角）で文字化・入力する。

2．単位語（長い単位）の切れ目に“　”（空白）を入れる。文の終わりには句点をつける。「文」の認定はおおよそのものでよい（「第２部第１章　調査の手順」参照）。

3．原則として一人の話者のひとまとまりの発話を１レコード（１行）とし，話者が変わるたびに別レコードとする。

4．同一話者の発話の先頭には同一の記号（話者記号）とコロンを付与する（“ａ：”など）。一つの発話が複数の話者によって行われている（同時に発話している）場合には複数の話者記号を併記し（“ａ・ｂ：”），話者が多数の場合には“多：”とする。歌の場合は，話者記号の後に“（歌）”と記す。また，話者が不明の場合には“？：”とし，確定できない場合には前後を“？”で囲む（“？ａ？：”）。

(0063)ａ：ゴセイドーノ　チツジョオ　ミダス　コトニ　ナル。　ワカルナ。
　　ｂ：ワカリマス。　シカシ。
　　ａ：ワカッタナラ　オマエタチワ　マチカタノ　ブンニ　シタガッテ　コードースルコトダ。　ヨイナ。
　　ｂ：ハイ。
　　ｃ：ジャ　サガラサマ。
　　ａ：ウン。
　　ｄ：アレデ　ナットクナスッタデショーカ。

ただし，同一話者のひとつづきの発話でも，歌と歌でない発話，ナレーションとそうでない発話などに分かれる場合には，それぞれを別の発話としてもよい。複数の話者が，一つの文を分担して発話している場合も同様。

(0182)ｒ（歌）：ヨーキデ　ゲンキデ　イキイキト。
　　ｒ：プリーズ　シャチョー。
　　多（歌）：カ　トル　ハエ　トル　キンチョール。
　　ｒ（歌）：アソーレ<合いの手>。
(0052)ｍ・ｎ：ヤクルトノ
　　ｏ（歌）：コーヒタイム。　コーヒタイム。

逆に，一つの発話の中に，歌と歌でない部分があっても，両者が一つの文を構成しているなど，まとまりが強いと考えられる場合には，それぞれを別の発話にせず，注釈でその旨を記してもよい。

(0059)ア：ピントニ　ツヨク　イロガ　イー。オートフォーカスカメラニ　<ここから歌>　チャー。　フジカラアー＝　チャー　＝エイチジー。　<ここまで歌>　フジカラーエイチジー　シントージョー。

5．発話者（a）の途中で他者の発話（b）が入ったときは，ａの発話の切れ目を“＋”の記号を用いてつなぐ。

(0065)ａ：マー　イマーゲンザイ　テモトノ　トケーデ　ニジカンジューナナフンオ　ケーカシテイマス＝ト▲　＝カラ　アト＋
ｂ：ソーデス。
ａ：＋チョットー　サンプンデワ＋
ｂ：→ムリデショーネー←。
ａ：＋→ゴールニワ←　トドキソーモナイデスネー。

6．一つの単位語の中に，遊びことばや言い誤りなどが割り込んでいる場合には，その前後（の分けられた単位語）に“＝”を付ける。一つの単位語の途中に他者の発話が割り込んでいる場合も同様。

(0017)ａ：ダカラー　ドードートデスネー　コクミンニネ　アノ　コーユー　カンセズゼーオ　ドーニューシマスヨト　イカガデショーカト＝　ウー　＝ユー　コトオ　ソノ　トーテデスネ　デ　コクミンガ　アノー　センキョデモッテ　エー　ソレデ　ヨロシートユー　ジミントーオ　シジシタラ　コレワ　ドード▲　セーセードードート　ヤレバ　イー。
(0008)ｇ：＋マー　アノ　ハッカイニ　ナッテモ　キューカイニ　ナッテモ　アキラメナイデ　カンキャクセキニ　ズット　イラレル　ヤキュート＝＋
ｅ：ハー。
ｇ：＋＝ユーフーニ　カンガエテイタダケレバ　ヨイノデワナイノデショーカ。
(0053)ｂ：ソコラヘンマデ　ヒロゲテ＝＋
ｇ：エー。
ｂ：＋エー　＝イクワケデスネ。　ウーン。

7．標本が単位語の途中から始まったり単位語の途中で終わったりする場合，始まりは“△”，終わりは“▲”の記号で示す。発話が他の発話にさえぎられたりして完結しないでとぎれた場合，言い差しや言いづまりとなった場合も“▲”で示す。

(0200)ａ：△カラナンダロ。　ワカッテルトワ　オモーケドヨ　ヤサイナンカ　ダスンジャナイゾー。
(0206)ｅ：オンナワ　タフデナクチャネ　シゴトモ　コイモ　コナセヤ▲
(0120)ｉ：カミサント　フロエ　ハイッテワイカンナンテ　ソンナノ　ナイデス？ヨ？。
ｊ：<笑い>　ヤギューケノ　カクンニ。
ａ：ネー。　ノギワサンノ　ホー？ナンカ？　ドーナンデスカ。
ｉ：アナタ　イツモ　ハイッテ▲
ｊ：ワタシワ　アノ　ムスメト　ハイッテマス。
(0149)ｄ：フランスカクメー＝　ニヒャクメ▲　＝ニヒャクネン
(0317)ｂ：エーガヒョーロンカノ　コモリデ▲　コモリノ　オバチャマ。

ただし，言い誤り（言いさしていない）の場合はそのまま文字化する。

(0253) a：エーキョーガ デル コトオ エー デル コトモ ヨソーサレルト

8．ことばが聞きとれない箇所は，発話の長さに関係なく，“……”（サンテン2字）で表す。

(0092) c：シッカリシテクダサイヨネ。
b：ダレガダヨ。 ……。
c：キョー タノシク ノミマシタネ。
b：ヨッパラッテネーゾ オレワー マダー。 オマエヨー。
c：ソレワ ソーデス。 サケ ノンデ セーカク カワル ヤツワ サイテーデスヨネ。
b：サイテーダヨ。 ソーユー ヤツ イルジャネーカ。 ……。

9．文字化の不確定な箇所は，その前後を“？”で囲む。また，聞き取りの候補が複数ある部分は，“／”で区切り，その前後を“？”で囲む。その場合，発話していないようにも聞こえる箇所は，“φ”で示す。

(0254) a：シカシ ヒジカンセツデワ ビラント カンセツ？レツゲツ？ノ チョメーナ キョーショーカ。 アシユビデワ チューソクシシセツカンカンセツニ コツビランガ ミラレマシタ。
(0096) a：？デ／ネ？ イキ？ヤ／マ？ショーネ。
(0227) b：カントクニ イツモ シカラレマシタト →イッテ？イ／φ？マシタガ←。

10．音声が重なっている部分は，その始まりと終わりに，矢印“→ ←”を付け，その発話部分が他の発話と重なっていることを示す。どの発話と重なっているかは，情報として示すことはしない。

(0049) a：→モー キブンワ スッカリ オールデーズデスネ←。 ネー。
c：→？サイコーデシタ？←。
b：→ドーモ アリガトーゴザイマシタ←。 ハイ。
e：→…… ？スバラ／ナツカ？シーナ←。

11．笑いや歓声などは，＜笑い＞＜歓声＞のように示す。また，必要と思われる情報も注釈＜ ＞として示す。

(0054) b：→アノ← マー シクシャガネ＜指揮者＞ コー ヤッテ シャット カマエットネ

12．音を引き伸ばして歌っているときの音の長さは必ずしも実際の音声に忠実でなくともよい。

(0332)多（歌）：→アサヒーニ ニオーオー ヤマザークラー← ヤーマトーオノコワー コト アーゲテー ホーソ＜宝祚＞ノ リュー＜隆＞ →コッカーノ フク＜福＞ ヨロズーヨ ナガクー マモルベキー テイコクギカイー ヒラケータリー←。

第5章　単位語の認定（調査単位）

1．この調査で用いた単位

調査単位をどう設定するかという問題は，「語」とは何かという言語学的な問題と直結しているので，見方によってさまざまな答えがありうる。国語研究所のこれまでの語彙調査（「第1部第4章　1.1」参照）においても，下記のように，さまざまな調査単位が用いられてきた。

調査報告書	用いられた調査単位
『語彙調査―現代新聞用語の一例―』	（名前はないが，文節相当）
『現代語の語彙調査　婦人雑誌の用語』	α単位
『現代語の語彙調査　総合雑誌の用語』（前編・後編）	β単位
『現代雑誌九十種の用語用字』（Ⅰ～Ⅲ）	β単位
『電子計算機による新聞の語彙調査』（Ⅰ～Ⅳ）	長単位，短単位
『高校教科書の語彙調査』（Ⅰ，Ⅱ）	W単位，M単位
『中学校教科書の語彙調査』（Ⅰ，Ⅱ）	W単位，M単位
『雑誌用語の変遷』	長い単位

これらは文節（単語）相当の長い単位の系列（α単位，長単位，W単位，長い単位）と，形態素相当の短い単位の系列（β単位，短単位，M単位）の2つに大別できる。また，それぞれの中でも助詞・助動詞や記号類の扱い，あるいは，品詞の認定などに細かな違いがある。このように調査単位が一定しないのは，比較という観点からいうと好ましいことではないが，単位は調査目的にそって設定されるものであるから，その時々の都合で変わってくるのはやむを得ない。また，絶対的な言語単位というものもありえないだろうから，今後も修正・改定された単位が登場してくるにちがいない。

今回の調査では，文節相当の長い単位と形態素相当の短い単位の両方を調査単位としたが，調査の進行上，長い単位での作業が先行するので，以下，長い単位についての考え方をのべる。

文節という単位が文を想定して，つまり，文を直接構成する要素として設定されることはいうまでもない。したがって，まず文の認定を行い，そして文節を切り出すという手順で単位を決定していくことになる。しかし，文字言語とちがって，音声言語，それも原稿のない談話のような場合には，文という単位が明確に規定できない場合が出てくる。

(0056) a：アー　ナルホドネー　オット　カワイ　マニアウカー　ンー　マニアッタ　マニアッタ　マニアッタ

上の例のような場合，「オット　カワイ」を感嘆文とするか，それとも「カワイ」を後につづく「マニアウカー」の主語とみなすかによって文の認定がかわってくる。そのあとの「ンー」も，これだけで1語文とするか，次に続けるかが問題となる。しかし，どちらの解釈をとっても，

「カワイ」と「マニアウカー」，および「ンー」と「マニアッタ」は，切り離されて2単位となるのであって，単位を切り出す上では同じ結果を生ずる。したがって，今回の調査では，文の認定をある程度たなあげしても単位を切り出すことはできると考えた。音声言語では，言いさしや他人からの中断があったりして，文字言語からみると不完全な文が多い。そこで，単位を切り出す際には，この部分が文を構成するとしたらどのような成分となるかという見方で作業を進めた場合がある。また，画面の文字についても，CMにおける実物表示のように，体言の羅列やどのような順序で文字が並んでいるかわからないものがあったりして，こちらも必ずしも文を単位認定の出発点とはしていない。

ここで用いた長い単位は，国立国語研究所報告89『雑誌用語の変遷』(1987)で用いられた「長い単位」を下敷きにしている。ただし，いくつか変更した部分がある。

ひとつは，助動詞・助詞に準ずるものとして，「〜ている，〜てしまう」などのいわゆる補助動詞や「〜という，〜について」などの複合辞を含めていることである（詳細は本章「2．単位の切り方」参照)。これらは文を直接構成する成分とは認められず，文節という長い単位の規定にあてはまらないからである。

もうひとつは，固有名詞の範囲である。「長い単位」では，固有名詞と認めているのは，人名・地名・動植物名・組織・団体名であるが，この調査では，書名・題名・商品名・番組名・行事・歴史的出来事などもふくめている。これらの中には，明らかに句や文の体をなしているものがあるが，構文的機能としては体言であるので，1単位とした。例えば，「『吾輩は猫である』を読んだ。」の下線部は1単位として認めた。格助詞がつくことからもわかるように，体言の1文節として機能しているからである。ただし，ことわざ・標語・引用句などは体言的な成分であっても，固有名詞ではないので1単位とはしなかった。

また，今回の調査では音声言語と文字言語の両方を調査対象としたので，どちらにも適用できる単位をめざした。そのため，共通にあてはまる部分を中心に述べた。また，音声言語ではイントネーションやポーズなどが単位を決定する際に重要な役目をはたしている。これらは，作業上は暗黙のうちに活用されているが，今回の単位の規定に明示的に盛り込むことはできなかった。

2．単位の切り方（長い単位）

以下に単位の切り出し方を述べる。あげてある例は，作例，あるいは実際に調査で現れた例（一部改変したものもある）である。なお，単位の切れ続きを表すために，次のような記号を用いた。

| … 単位の切れ目を表す。

|| … 同上（該当する規則で着目している場合)。

— … 切らないことを表す。

＝ … 同上（該当する規則で着目している場合)。

これらの，単位の切れ目を表す記号は，例文の最初や最後および文頭・文末では特に必要のない限り省略した。

【A．定　　義】

文を構成する上で，かかり・うけなどの構文的な機能をになう，連続した，最小の構文的成分（＝文節）を，1単位とする。

【B．基本的な手順―構文的情報による規定】

B.0　以下の手順で単位を切り出す。

B.0.1　B.1〜B.7を適用し，構文的成分に相当する要素を取り出す。

B.0.2　取り出された要素について，さらにB.1〜B.7の規定を適用する。B.1〜B.7の規定が適用できなくなったときの要素が1単位となる。

B.0.3　B.1〜B.7の規定が適用できるかどうかまよう場合は，「C．意味情報による規定」，「D．単位の内部構造による規定」，「E．例外の取り扱い」を参照して決める。

B.1　主語・主題の前後で切る。

本が‖ある　　会社は‖9時からです

内容‖濃い｜ものに｜したい　　おなか‖いっぱいに｜なれる

東京は‖神田の｜うまれだ

B.2　述語の前後で切る。

いちごで｜ジャムを‖作る　　いい｜ものを‖選びたい

B.3　修飾成分の前後で切る。

B.3.1　連体修飾成分の前後で切る。

楽しい‖夏休み　　書きにくい‖字　　いつも‖読む‖新聞

大きな‖家　　その‖人

隠れた‖才能　　飛べない‖鳥

机の‖上　　日本と－いう‖国

B.3.2　連用修飾成分の前後で切る。

B.3.2.1　用言の表すできごとにかかわる事物を表すもの

学校へ‖行く　　映画を‖見る

B.3.2.2　用言の表すできごとの状態・ようす・程度・頻度・数量を表すもの

速く‖走った　　安っぽく‖見える

たいへん‖驚いた　　ときどき‖頭が｜痛く｜なる

5人‖来た　　三つ‖年を｜とった

B.3.2.3　用言の表すできごとの成立する場所・時間を表すもの

外で‖遊ぶ　　地下‖深くに　　空‖高く｜飛ぶ

今年‖生まれた　　4月19日‖最初の｜話題は

十両‖最初の｜取り組み

過去‖最高を｜記録　　日本‖最後の｜秘境

B.3.2.4　用言の表すできごとのテンス・アスペクトを表すもの

いずれ‖会いましょう　　やっと‖到着した

B.3.2.5　用言の表すできごとの原因・目的を表すもの

風邪で‖休んだ　　芝居を｜見に‖行く

B.3.2.6　用言の表す事態に対する態度や評価を表すもの

とても‖できません　　おそらく‖彼は｜来ないだろう

B.3.3　被修飾成分の前後で切る。

軽い‖石　　もっと‖知りたい

B.4　終止成分・引用成分の前後で切る。

花が‖咲いた　　買い物を‖しようと‖デパートへ｜行った

B.5　並立成分の前後で切る。

りんごと‖はちみつ　　塩‖こしょうを‖ふる

B.6　接続成分の前後で切る。

そして‖目を｜覚ました　　ご飯を‖食べ‖デザートも｜食べた

暑かったので‖窓を｜開けた

B.7　独立成分の前後で切る。

あ‖しまった　　おい‖こら‖やめなさい

【C．意味情報による規定】

C.1　固 有 名

固有名は，その内部が他の規定で切ることに該当しても切らない。

C.1.1　固有名とするもの。

C.1.1.1　人名（芸名，あだ名，しこ名もふくむ）

C.1.1.2　地名（国名，地域名など）

C.1.1.3　動植物名

C.1.1.4　建造物名（寺社，橋，駅など）

C.1.1.5　商品名

C.1.1.6　組織名（社名，会議，委員会など）

C.1.1.7　行事名（祭など）

C.1.1.8　歴史的出来事の名前（戦争，革命など）

C.1.1.8.1　歴史的出来事とみなす固有名については，慣用的に一定の名前で呼ばれるものにかぎる。

関ヶ原の＝戦い　　島原の＝乱　　大化の＝改新

C.1.1.9　題名（書名，番組名，映画の題名など）

C.1.1.9.1　主題と副題は切りはなす。

スタートレックファイブ‖新たなる未知へ　［映画の題＋副題］

歴史誕生‖配達されなかった－3通の－密書　［番組名＋その回のタイトル］

C.1.1.9.2「～の」の形で，司会者やキャスターの人名を冠したものは，それ全体が番組名であることが明らかな場合にのみ，それ全体を番組名とする。

桂三枝の＝ニュース・ディスク・イブニング

C.1.2　固有名としないもの。

C.1.2.1　単に材料・調理法を説明している料理名

じゃがいもの‖牛乳煮

ただし，命名が明らかな場合は固有名とする。

名付けて｜走れ＝フルーツ・ドライカレー

C.2　形式的な意味の体言（いわゆる形式名詞）は，その前後を切る。

声の｜する‖方を‖向く　　全部｜調べて｜あげた‖ところ

C.3　独立成分

C.3.1　擬音語・擬態語・かけ声・合いの手などは，できるだけひとつづきにする。

ケララケラケラケケラケラット‖うるさいぞー　［歌詞］

チョロチョロ＝チョロチョロして

エイエイ＝オー　［掛け声］　　火の＝用心　［夜回りの声］

火や｜薬品を｜使う｜時は｜キャー＝キャー｜言って

C.3.2　あいづちや副詞は，同じ要素の繰り返しの前後で切る。

うん‖うん　　えー‖えー‖えー　　さ‖さ　［さあ，さあ］

おや‖おや　　もっと‖もっと　　また‖また

ただし，単なる繰り返しではない場合（単独の場合と異なる用法）は，付ける。

さて＝さて　［驚きを表す場合］　　よく＝よく　［「よくよくの～」などの用法］

まず＝まず

【D．単位の内部構造による規定】

D.1　付属語をともなう自立語

D.1.1　付属語（その連続もふくむ）の直後で切る。

西側の‖首脳が‖アラファト議長と‖公邸で‖会うのは‖これが‖初めてで‖大きな｜意

味を‖持っております　[「～ておる」は切らない。F.2.1.6参照]

D.1.2　付属語の直後でも切らないもの

D.1.2.1　固有名（くわしくは，C.1を参照）

D.1.2.2「絵の具，天の川」などのような「～の～」の形で，意味的に分解すると，不自然なものは切らない。(E.1を参照)

D.1.2.3　分数を表す場合。

3分の＝1

D.1.3　付属語の範囲については，「F．補則」で定める。

D.2　連体修飾成分が体言連続の前の要素だけにかかっている場合は，前の要素の直後で切る。

政治家の｜疑惑‖解明　[政治家の疑惑を解明するという意味]

cf.　騒音の｜測定＝器　[騒音＋測定器]

D.3　文，あるいは節相当の体言連続（体言だけで終わっている文あるいは節）

D.3.1　主述関係・題述関係にあるものは切る。

カウント‖ワンツー　[野球のカウント]

スイッチオンで｜下ごしらえ‖オーケー

ロジャー・ムーア‖主演｜「死ぬのは奴らだ」

D.3.2　体言と体言とが補語的関係にある場合は切る。

アメリカで｜金鉱脈‖発見

D.3.3　D.3.1及びD.3.2に該当する場合でも，それをうける要素が前後にある場合は，文あるいは節相当にはならないので，その規定は適用しない。ただし，この項目に該当しても，D.7.2, D.7.4に相当すればそちらを優先する。

カウント＝ワンツーから｜投球が｜乱れた

アメリカで｜金鉱脈＝発見の｜ニュースが｜入った

男女＝一緒に｜授業を｜受ける

男女＝一緒の｜班で｜やっていく

雑誌‖一冊の‖ねだん　[D.7.2に相当するので切る]

D.3.3.1　ただし，状況を表す「で」や引用の「と」でうけている場合は切る。

5対0と｜大洋‖リードで｜迎えた｜巨人

コレラ患者‖発生と｜新聞が｜報じた

D.3.3.2　D.3.3に該当したものは，必ずしも体言連続なら付けるとはかぎらない。音声情報（イントネーション，アクセント，休止など）により，「カウント（主語）ワンツーに（連用修飾成分）なりました（述語)」あるいは「カウント＝ワンツーに（連用修飾成分）なりました（述語)」のどちらにもなりうる。

D.4　形式的な用言は，それにかかる要素と切り離さない。

D.4.1　体言，および，付属語をともなわない連用修飾成分（＝いわゆる副詞）に形式的な意味の「する，できる，なさる，いたす」がついた場合は，切らない。（サ変動詞とみとめられるもの）

インタビュー＝する　　びっくり＝する　　がくがく＝する

安心＝できる

ただし，次のような例は切る。

食べたり‖する　　食べなど‖する　　～なんか‖しない

どきっと‖する　　ほっと‖する

D.4.1.1　前の体言が連体修飾をうけている場合は，用言部分を切りはなす。

面白い｜話‖する｜人　　cf.面白く｜話＝する｜人

D.4.1.2　前の要素が付属語でおわっている場合は，切り離す。

ゲームしたり‖して｜遊ぶ　　脱税など‖して｜もうける

撤廃なんか‖しない

D.4.2　ただし，体言と主述関係を構成する「ある，ない」などとの間は切る。

信頼‖ある｜鑑別書が｜ついた｜確かな｜ダイヤです

ご心配‖なく　　理由‖なしで　　現金‖なしで｜買える

おとがめ‖なし

関係‖ありますね　　専門家が｜言うだけ‖あって

あの人‖あっての｜わたし

かっこ‖いい　　かっこ‖よく　　かっこ‖悪い　　気持ち‖いい

気持ち‖悪い　　仲‖よく

ただし，次のような固定的なものは付ける。

仕方＝ない　　一文＝なし

D.5　同格の関係にある体言連続

D.5.1　原則として切る。前後の要素が属性とその値（おおよそ固有名）のような関係，あるいは肩書きのような関係をもっていて，両者の間に相互に主述関係を想定できるもの。（一部はD.7.2.1にも相当）

新番組‖風雲－真田幸村

郷里‖鹿児島への｜転勤を｜希望している

ソビエトが｜短距離ミサイル‖ＳＳ２３を｜廃棄しない｜ことも｜ありえる

南海の｜若き｜エース‖吉田豊彦

４月７日‖金曜日　　藤波｜池田‖ふたりの｜被告

アメリカ｜メキシコ‖両国の｜警察は

上中下‖３冊　　財団法人‖日本ゲートボール協会

10番‖川口　［野球のアナウンス］

D.5.2 同格関係にある体言連続全体が固有名の場合は，切らない。(C.1を参照)

クイズ＝百点満点　　ホテル＝オークラ　　スーパー＝ヤオハン

D.6 商品名を含む体言連続

D.6.1 「会社名＋商品名（商品番号なども含む)」は，切らない。

シャネル＝ナンバーナインティー　　日航＝ＤＣ８型機

グリコ＝チーズの－国から　[「チーズの国から」が商品名]

D.6.2 「会社名＋種別名＋商品名」は，「会社名＋種別名」と「商品名」とに分ける。(D.5の同格の場合に相当)

森永＝クッキー‖クレマ　　ソニー＝ビデオカセット‖マスターＨＧ

D.6.3 「種別名＋商品名」は，切り離す。(D.5の同格の場合に相当)

麦芽100%生ビール‖サントリーモルツ

日立の｜ラップ・トップ・パソコン‖Ｂ１６ＬＸシリーズ

ＹＳ１１‖磐梯号

D.7 具体的な数量を表す自立語をふくむもの

D.7.1 前の要素に関する順序や番号を，直後の要素が表していて，おおよそ「ＡのＢ」といいかえができる場合は，切らない。(D.9.1.1も参照)

３月＝１日　　昨夜＝11時から　　西が丘団地＝第３号棟＝405号

D.7.2 前の要素の数量を直後の要素が計っている場合で，両者の間に，「～が～」の関係が想定できるものは切り離す。(B.1，B.2に該当)

フライパン‖ひとつで｜簡単に｜できる

じゃ｜グレープフルーツ‖半分だけ　　アナウンサー‖一本に｜賭けたいと

この｜道‖一筋に　　筆遣い‖ひとつ｜とってみても

D.7.2.1 前で列挙された要素式の個数を，直後の要素で数えている場合は，切る。(D.5の同格の場合に相当)　列挙された要素の内部を切るかどうかについては，D.8を参照。

藤波｜池田‖ふたりの｜被告

アメリカ｜メキシコ‖両国の｜警察は

上中下‖３冊

D.7.2.2 その要素全体をうける自立語がある場合は切りはなさない。

麦芽＝100%－生ビール [「生ビール」が「麦芽100%」全体を受けている]

D.7.2.3 固定的な言い方の場合は切りはなさない。

白＝一色の｜アルプススタンド

D.7.3 前の要素が，直後の要素で計量されるものの範囲を限定するようなものは，切りはなす。(分子・分母の関係や，「～当たり」の意味になるもの)

月‖２回　　２打数‖１安打　　一日‖８時間｜働く　　15戦‖８勝

１ドル‖96円75銭　　３個‖100円の｜お菓子

1人‖1万円の｜減税　　十両‖3場所め　　4月19日‖最初の｜話題は

D.7.4　前の要素が直後の要素の数量的側面を限定している場合は，切る。（B.3.2.2に該当）こちらは述語を連用的に修飾する場合。

20銭‖円安だ　　20年‖前だった

D.7.5　前の要素が，直後の数量を表す要素に連用的にかかる場合は，切る。

最高‖750ドルの｜減税　　推定‖1,000万人だ

合計‖1億円

D.8　並立関係にある構文的成分の前後で切る。

桃と‖みかん　　東京‖ロンドン‖ニューヨークの｜円相場

D.8.1　体言の並立

D.8.1.1　並立された体言は，原則としてそれぞれの要素の前後を切る。ただし，それぞれの要素が同等に並んでいて，並びの順序が重要な意味を持たず，その並立全体をうける（あるいは，並立全体にかかる）接辞や体言がない場合にかぎる。

これまでの｜日米貿易摩擦と｜いいますと｜そのー｜ま｜繊維や｜鉄鉱から‖牛肉‖オレンジまで‖ダンピングが｜対象でしたよね

高福祉‖高負担　　ワンストライク‖ワンボール

ワンナウト‖一二塁から

D.8.1.1.1　その並立全体にかかる接辞や体言のある場合は，切らない。

全－雑誌＝新聞　　各－大学＝短大

D.8.1.1.2　その並立全体をうける接辞や体言のある場合は，切らない。

日々｜変化＝発展－してますからね

特急列車の｜脱線＝転落－事故

東京＝大阪－間の｜距離は

酸素＝水素－混合気体

D.8.1.1.3　A（B，C）のように，複数の要素をまとめたものは切らない。

5月－8日＝9日｜全国の｜競艇場で｜一斉発売

日立の｜イエス・コンピュータ｜ハイタック－M620＝M630＝M640

D.8.1.1.4　並びの順序が固定している場合は切らない。

東京ドーム｜日本ハム＝近鉄は｜3対2で｜日本ハム｜1点｜リード

2日＝2晩　　上＝中＝下｜3冊　　今＝現在は　　解散＝総選挙を｜おやりになって

ワン＝エンド＝ワン　［野球のカウント］

D.9　意味的に段階性のある自立語が順を追って並んでいる場合

D.9.1　原則として，切らない。

D.9.1.1　各種の計量的単位（D.7.1も参照）

昭和63年＝8月＝8日　　身長｜1m＝85cmの｜選手

昨夜＝11時から｜大雨洪水警報が｜出されています

D.9.1.2 地名（国名＋都市名も）

ニュージーランド＝オークランドの｜大会で ［国名＋都市名］

東京都＝北区＝西が丘＝３の＝９の＝14

あて先などの切りかた。

東京都＝港区＝虎ノ門｜テレビ東京｜ちょっと－いい－話－係

［地名＋組織名（建物名）＋番組名と考え，名前の種類の変わるところで切る］

D.9.1.3 組織

国立国語研究所＝言語体系研究部＝第２研究室

D.9.1.4 電話番号

東京０３＝８３１＝０００５

電話番号が語呂あわせで発話されたときは，意味を持つ文脈のほうを優先させる。

６３４の｜いい‖パイー

［1181を「イーパイー」（良い牌）と言っているので，｜イーパイー｜とはしない］

D.10 文 脈

D.10.1 歌

D.10.1.1 歌における，音符の長さや休止符による，単位のきれつづきは，原則として無視する。

D.10.1.2 語調をととのえるための，部分的なくりかえしは切らない。

めん＝めん＝めがねの… ぽー＝ポークビッツ

D.10.1.2.1 くりかえされた部分が意味を持つ１単位になっていれば，それぞれを１単位とする。

ビーック‖ビック‖ビック‖ビック・カメラ

D.10.2 外国語の処理

D.10.2.1 外国語は，原則として対象としない。ただし，日本語か外国語かが文脈上判断できないものは，そこに含まれる固有名のみを対象とする。（「第２部第３章 音声・画面文字の認定」参照）

D.10.2.2 D.10.2.1の処理にあたっては分かち書きに従って切る。（画面文字の場合）

【E．例外の取り扱い】

E.1 例 外

E.1.1 助詞・助動詞の直後で切ると，意味的に不自然になるものは，切らない。意味的に不自然かどうかの判断は，E.1.2 による。

E.1.2 以上の規定で１単位かどうかまようものは，次にあげたものを典拠とする。

E.1.2.1 一般語について

『新潮国語辞典』（見出し・追込み見出しのみ。連語扱いのものは除く）

E.1.2.2 固有名のうち，歴史的できごとについて

上記辞典による。

【F．補　　則】

F.1　助詞・助動詞について

F.1.1　助詞・助動詞の範囲は，『現代語の助詞・助動詞』の目次にあがっているもの，および，以下のF.2であげるものとする[5]。

F.1.1.1　古語や方言の助詞・助動詞も適宜含める。

あかんのと－ちゃいまっか

F.1.1.2　F.2で助詞・助動詞相当としたものに丁寧形（たとえば，「について」に対する「につきまして」など）があれば，それも含む。

F.2　助詞・助動詞とみなすもの

F.2.1　助動詞相当のもの

F.2.1.1　肯定・否定の判断を表すもの

である　でない　ない（形容詞連用形につくもの）　でございます　ありません（形容詞連用形につくもの）　ございません（形容詞連用形につくもの）

F.2.1.2　当為などを表すもの

はずだ　わけだ　ものだ

F.2.1.2.1「はず（が）ない，わけ（が）ない」は，切る。

ただし，「はずではない，はずじゃない，わけではない，わけじゃない」は切らない。

F.2.1.2.2「わけ」が理由を表している場合は，助動詞相当としない。

その‖わけを｜聞きたい

そういう‖わけだから｜なんとか｜してください

F.2.1.2.3「ものだ」の範囲は，回想および感慨を表すものにかぎる。

むかし｜ここで｜よく｜遊んだ＝ものだ

思えば｜ずいぶん｜たくさん｜買った＝ものだ

F.2.1.3　許可・依頼・勧告を表すもの

て（も）いい　てください　てちょうだい　てほしい　ことだ（忠告，すすめ）

F.2.1.4　禁止・当然・義務を表すもの

てはいけない　てはならない　たらいけない　ないといけない　なければならない　なくてはならない　ねばならない　なければいけない　なきゃいけない　なくてはいけない

F.2.1.5　推量を表すもの

かもしれない　かもわからない

F.2.1.6　アスペクトを表すもの

ている（てる）　ておる（とる）　てある　てしまう（ちまう，ちゃう）　ておく（とく）

---

5)　F.2の助詞・助動詞とみなすものを決めるにあたっては，森田良行・松木正恵『日本語表現文型』（アルク，1989），国立国語研究所報告3『現代語の助詞・助動詞―用法と実例―』（1951）を参考にした。

てみる　ていく（てく）　てくる　ところだ

F.2.1.6.1　助動詞相当とはしない「ところだ」の例。

がんばってもらいたい‖ところです

F.2.1.6.2　注意する例

入院させて＝おけば‖おくほど

F.2.1.7　やりもらいを表すもの

てやる　てもらう　てくれる　てあげる　ていただく　てくださる

F.2.1.8　敬語に関するもの

お（ご）＋動詞連用形（あるいは漢語サ変語幹）＋になる，する，くださる，いただく，なさる，いたす，ねがう，申し上げる，あそばす，ある（「ごらん＝あれ」など）

F.2.2　助詞相当のもの

F.2.2.1　格助詞に相当するもの

において　をもって　でもって　として　について　にとって　につき（perの意味）

という（ちゅう，つー）　といった

F.2.2.1.1　格助詞相当でない「として」の例。

出たくないと‖して‖取材には｜応じませんでした

広島と‖しては‖負けられない

F.2.2.1.2　「という，といった」の「いう」が，実質的な「言う」の意味のときは，切る。

いつも｜お金がないと‖いう‖やつ

F.2.2.1.3　「という」「といった」には，「と」抜きの形もある。

ペースダウン＝いった‖ことに｜つながる

F.2.2.1.4　「〜あたり」の意味の「〜について」も助詞相当とする。

1匹について‖10万円

F.2.2.2　接続助詞に相当するもの

としたら　とすると　とすれば

としても　としては　といって（も）　とはいえ　とはいっても　とはいうものの

にもかかわらず　にしても　にしろ　にせよ　にしたって　にして　にしては

F.2.2.3　並立助詞に相当するもの

〜といい…といい（色といい‖形といい）

F.3　接辞（『雑誌用語の変遷』に従う）

F.3.1　前要素，中要素になるもので切り離さないもの

一　該　各　旧　計　現　故　昨　諸　新　当　同　某　まる　満　右　元　約　兼　対

F.3.2　後要素になるものは原則として付ける。

性　的　（助数詞）　etc.

自身　自体　そのもの　以外　etc.

F.3.2.1　後要素になっても切るもの。

F.3.2.1.1　２単位以上をうけるものは切る。(D.3.3 参照)

国会議員の｜資質‖そのものが‖問われる

いい｜こと‖ずくめじゃ　　この｜子‖たち　　この｜人‖たち〔「この人」＋「たち」〕

先頭｜あるいは｜第２‖集団

F.3.2.1.2　中要素となるものの直後につく成分が２単位になるもの。

第１試合の｜仙台育英高校‖対‖兵庫の｜尼崎北高校は

F.4　融合形の処理

F.4.1　融合形は，単位語のレベルでは，もとのかたちには戻さない。

F.4.2　融合形の中に単位の切れ目がある場合は，適当な位置で分割する。

何つったの　〔何て言ったの？〕　→　何‖つったの

F.5　談話情報

F.5.1　言い換え

F.5.1.1　言い換えられた結果，体言が連続した場合は切り離す。

この‖ハイテク‖高度技術の‖分野が

われわれの｜その｜商品を｜使っていただくのは‖奥様‖主婦でございますんで

F.5.2　挿入

F.5.2.1　単位の中に割り込んでいる要素は，その単位には含めない。適宜，位置を変える。

あの｜百‖ま‖六十度以上にね

→　あの‖ま‖百六十度以上にね〔発話者は「百六十度」と言うつもりだった〕

強攻策に｜出た｜現‖えー‖執行部｜に対する

→　えー‖現執行部｜に対する

わたしが｜やったのでは‖けっして‖ありません

→　けっして｜わたしが｜やったのでは－ありません

F.5.2.2　書かれた場合，(　) に入るような部分は切りはなす。

事務職員の｜○○太郎さん‖○○歳が‖頭から｜血を｜流して

F.5.3　一つの単位が複数の話者にまたがる場合もある。

a:えーと｜今日は‖３月２０……

b:７日です‖

F.5.4　助詞・助動詞が単独で用いられた場合

単位としては扱わないという意味で先頭に@をつける

@でしょ　　@だよね

F.6　画面における記号について

F.6.1　原則として記号は１つを１単位とする。

(『高校教科書の語彙調査Ⅱ』のW単位の規定にしたがう)

I‖&‖I　©‖1989

シャンプー‖・‖リンス［列挙］

F.6.1.1 小数点，位取りのカンマは切り出さず，それを含む単位の一部とする。

‖1＝.＝25倍‖　‖約1＝,＝800円‖

F.6.1.2 その記号がないときに，全体が1単位となるものの中に現れる記号は切り出さない。

‖政治＝・＝道義的責任‖　‖P＝.＝T＝.＝A＝.＝会費‖

F.6.1.3 語と同じようなよみ，働きをする記号（数字，アルファベットも含む）の連続は1単位とする。

‖5㎝‖　‖H_2O‖　‖ICBM‖

3．単位切りの例

(0066)「ルックルックこんにちは」
<音声，記号は話者>
k：ハイ。 ケサワ ユニューノ トケーニツイテデス。 ミナサン ナント イマヤ イチネンカンニ ユニューサレテイル トケートユーノワ コクサンノ ヤクニバイモ アルンダソーデス。 ビックリシマシタネー。 ソレデワ エー チョット ホンモノト ニセモノガネ イロイロト デマワッテルトユー コトナンデ コレオ チョット チェックシテミマショー。 コチラ ホンモノデスネ。 コレワ カリテキマシタ。 コチラ ニセモノ。 コレワ スタッフカラ アツメマシタ。 マズデスネ エー キョクタンニ ヤスイ モノトカ ソレカラ モッテミテ カルイ モノ コレワ ヨーチューイデス。 ソシテ ウデドケーノ バアイ ブレスレットノ ブブンニ チューモクシテクダサイ。 マズ アノ ニセモノノ バアイワデスネ ホンタイトノ コノ トリツケブブン ソレカラ ソレゾレノ トメガネガ カンタンニ デキテイマス。 コレ ウラオ カエストネ ヨク ワカルンデスネー。 ソレカラ コーユーフーニ ヨコニ マゲテミルト グニャグニャット ナッチャウンデスガ ホンモノワ コーユーフーニワ ナラナイデス。
<画面，数字は標本－レコード番号・媒体情報>
S0066-180 1,知っ得コーナー
S0066-190 2,知っ得コーナー 偽物チェッ㊫▲<㊫偽物チェック！>
S0066-190 1,たかとりじゅん
S0066-195 2,ミプロ輸入品情報センター ０３－９７１－６５７１ ニセモノ ホンモノ
S0066-200 2,ホンモノ
S0066-210 2,ニセモノ
S0066-230 2,ミプロ輸入品情報センター ０３－９７１－６５７１
S0066-240 1,次は … 稲川淳二の 日本一！ふるさと自慢

(0076)「イブニング・ネットワーク」
<音声>
a：サ ソレデワ ツズイテ シュトケンリポートデス。 エ トチノ カカクガ コートーシタ シュトケンデワ カミツノ カンワヤ トシセービノ タメ チカオ ユーコーニ リヨーショートユー トリクミガ カッパツニ ナッテキテイマス。 エ キョーワ トーキョーオ チューシント シタ コーシタ シュトケンノ チカカイハツノ ウゴキニツイテ オツタエイタシマス。 マズ ウ チカカイハツノ オー サイゼンセンニツイテノ リポート ゴランクダサイ。
c：トーキョートシンノ アカサカニ サンネンマエ トージョーシタ サンジューナナカイダテノ インテリジェントビルデス。 コノ ノッポビル ジツワ チカ オヨソ ニジューメートルノ トコロニモ ヒロイ クーカンオ モッテオリ チカリヨーデモ サイセンタンオ ハシッテイマス。 ココワ チカヨンカイ オフィーストシテ ツカワレテイル クーカントシテワ モットモ フカイ トコロニ アル モノノ ヒトツデス。
d：テンキガ ワカラナイトユー コトワ アリマスネ。 コー ヒルカ ヨルカ ワカラナイトカ ソーユー カンジ アリマスケド トクニ ココガ チカダカラ クラシニクイトカ シゴトガ シニクイトユー コトワ カンジナイデス。
c：コチラワ ヨコハマシナカクデス。 ケンセツチューノ コノ ジューナナカイダテノ マンショ

ンノ　チカサンカイニワ　ヘンデンショガ　セッチサレマス。　トーキョーデンリョクデワ　アラタニ　ヘンデンショオ　モーケヨート　アキチオ　サガシタモノノ　カミツシタ　チイキデワ　テキトーナ　トチワ　ミツカリマセンデシタ。　ソコデ　エランダノガ　マンションノ　チカデ　コーシタ　トコロニ　ヘンデンショガ　デキルノワ　メズラシー　コトデス。　トーキョーオ　チューシンニ　シュトケンデワ　イマ　ノコサレタ　クーカン　チカノ　カイハツ　コーソーガ　アイツイデ　ハッピョーサレテイマス。

＜画面＞

S0076-060 1,首都圏リポート
S0076-070 1,■　東京赤坂
S0076-080 4,Ｂ４　Ｂ３　Ｂ２　Ｂ１　1
S0076-080 1,報告　平岡潤六　首都圏部
S0076-090 1,社員は　…
S0076-100 1,■　横浜中区
S0076-110 4,ＵＲＢＡＮ＿ＧＥＯ＿ＧＲＩＤ　大深度地下鉄道構想
S0076-120 4,地下開発が　東京を　よみがえらせる　。
S0076-140 4,地下発電所　ジオフロント
S0076-150 4,大深度地下空間開発技術
S0076-160 1,地下都市開発構想（ 間組 ）

(0011)「第61回選抜高校野球大会」

＜音声＞

ｃ：→ゴバン←＋
ａ：→ワンナウト←　ランナーガ　セカンドニ　イキマシタ。
ｃ：＋ピッチャー　→ヤマダクン←。
ａ：→ゴバンノ　ピッチャーノ←　ヤマダ　サキホド　ヒダリホーコーニ　ヒットオ　ウチマシタ。　レフトマエノ　ヒットオ　ハナッテイル　ヤマダデス。　ニダスー　イチアンダ。　ランナーガ　セカンドニ　イキマシタノワ　コレガ　ヨンカイメ。　セカンドマデワ　ランナーガ　イクンデスガ　ナカナカ　サンルイニ　トータツスル　コトガ　デキマセン。　ソシテ　ホームワ　トーク　マダ　レーテンデス。
多：→……　ソレ　チャンスダ　チャンスダ　カットバセー。　チャンス　チャンス　トーホー。　チャンス　チャンス　トーホー←。
ａ：→サー　ピッチャーノ　コータイデスネ。　ワンボールオ　ナゲタ　トコロデ　ミハラカントク　ピッチャーオ　コータイサセマシタ。　イチバンノ　ホーガ←　イキマシタノデー　ヒダリピッチャーノ　トミナガ　ヒダリバッターデスカラ＋
ｂ：エー。
ａ：＋ココデ　トミナガ　ツカイマシタネ。
ｂ：ン。　アノー　ズイブン　アノー　ミハラサンノ　→ワタシ←＋
ａ：→エー←。
ｂ：＋ヨース　ミテマシタラ　カンガエテオラレマシタケドネ。
ａ：ハイ。
ｃ：キョートニシコーコーノ　ピッチャー　ヤマダクンニ　カワリマシテ＋
ａ：モ　トミナガトーシュワ　モ　イッカイカラ　ズーット　→カワグチト　ト←モニ＋
ｃ：＋→トミナガクン←。
ｂ：→エー←。
ａ：＋ブルペンデ　レンシューオ　シテオリマシタノデー＋
ｂ：モー　カタ→ソノモノワデスネ←。
ａ：＋→カンゼンニ　デキアガッテマスネー←。

＜画面＞

S0011-055 4,ＴＯＨＯ
S0011-060 1,山田喜久夫（ 3年 ）　打　11　安　2
S0011-060 4,ＴＯＨＯ
S0011-070 1,6回ウラ　京　2　－　0　東　Ｓ　0　Ｂ　0　Ｏ　1
S0011-071 4,ＴＯＨＯ
S0011-075 4,チャンス
S0011-076 4,京都西
S0011-080 1,冨永裕（ 3年 ）
S0011-082 4,京都西

第6章　見出し語の認定と集計

1．見出し語（集計単位）の定め方

単位切りの後，切り出された単位語について，同語異語判別の作業を行う。すなわち，同じ語とすべき単位語には同じ見出し語を，異なる語とすべき単位語には異なる見出し語を付与する作業である。この作業によって，語彙表に見出しとして載せるべき語の範囲とその数（異なり語数）が確定する。

実際の作業にあたっては，現代雑誌九十種の語彙調査の方針・作業規則[6]および「判別の実例一覧表」[7]と，雑誌『中央公論』の語彙調査[8]において新たに付け加えられた3つの規定に従った。

2．画面文字列の読み方

画面上の文字の読み方に複数の可能性があっても，上記の規定によって，同じ見出し語の範囲とされる場合には，そのうちの一つの読みに統一すればよい。たとえば，「ニホン」と「ニッポン」，「ハッテン」と「ハチテン」などは，それぞれ，「日本」「八点」という見出し語が付与されることに変わりはないから，どちらかの読みに決めればよい。その決め方は，『中央公論』の語彙調査の原則に従った。

文字をどう読むかで付与する見出し語が変わってしまうという場合にも，基本的には，『中央公論』の語彙調査の原則に従った。ただし，同一標本の対応する箇所で音声による「読み」があれば，それをその文字の読みとすることにした。

(0292)「火曜ナイター・巨人×広島」
<画面>
S0292-060, <投手防御率成績>　1　斎藤　巨　1．60　2　槇原　巨　1．98　3　西本　中　2．33　4　川口　広　2．57　5　大野　広　2．61　6　長冨　広　2．76
<音声>
a：→ハイ。　ウーン　セリーグワ←　トーシュセーセキ　ゲンザイ　サイトーガ　イッテンロクマル。　マキハラガ　イッテンキューハチ。　→マー　チームナイデノ　コノ　アラソイモ　→ハゲシーンデスネ←。

(0327)「いきいきセカンドらいふ」
<画面>
S0327-070, 質問　最近　天候の　せいか　家の　中が　ジメジメしています　．　家の　隅など　は　，カビ臭く　なってしまいました　．　梅雨明けに　家の　隅々を　掃除しようと　思いますが　，　何か　アドバイスを　お願いします　．
<音声>
a：→ソーデスネー←。　キョーノ　オー　ゴシツモンデゴザイマス。　エー　タマシノ　ナナジューニサイノ　ジョセーノ　カタデ　サイキン　テンコーガ　オチツカナイ　セーカ　ウチノ　ナカガ　ナントナク　ジメジメシテオリマス。　ウチノ　オー　スミナドワ　シッケガ　オーク

6)　国立国語研究所報告21『現代雑誌九十種の用語用字（第一分冊）　総記および語彙表』(1962)，pp.14-20
7)　国立国語研究所報告25『現代雑誌九十種の用語用字（第三分冊）　分析』(1964)，pp.301-330
8)　国立国語研究所報告89『雑誌用語の変遷』(1987)，pp.25-26

カビクサク　ナッテシマイマシタ。　デー　コノサイ　ツユアケニ　ウチノ　スミズミオ
ソージショート　オモイマスガ　ナニカ　アドバイスガ　アリマシタラ　オシエテクダサイ。
センザイナドデモ　キオツケル　コトガ　アッタラ　ゼヒ　オネガイシタイト　オモイマス。
エー　コーユー　ゴシツモンデゴザイマス。

(0290)「モーニングセンサー」

＜画面＞

CS0290-130,家族の　ライフステージ

CS0290-140,木下の　家　注文住宅の　木下工務店

＜音声＞

●CMS

g：スム　ヒトノ　ヒトガラガ　イエオ　ツクリマス。　カゾクノ　ライフステージ。　チューモンジュータクノ　キノシタコームテン。

●CME

標本(0292)は，アナウンサー（話者a）が画面に表示された文字を読んでいる（見て紹介している）もので，画面文字の「1. 60」には，アナウンサーの発話である「イッテンロクマル」をもとに，「いちてんろくまる」という読みが与えられる。標本(0327)では，画面に映し出されたテロップに対応する「投書」をアナウンサーが読んでいるもので，その際，画面文字の「家」は，すべて，「ウチ」と読まれていると解釈できる。したがって，この場合の「家」には，「いえ」ではなく「うち」という読み（見出し語）が与えられることになる。標本(0290)の場合には，(0327)にくらべて，画面文字と音声とは厳密には対応していない。しかし，同一の番組の同一の箇所（この場合はCM）の音声と画面文字であり，広い意味では「対応している」といってよいであろう。したがって，この場合の「家」には，「うち」ではなく「いえ」という読みを与えることになる。

このようなやり方には，たとえば，標本(0292)で，話者aが，「イッテンロクマル」とは別に「イッテンロクレイ」とか「イッテンロクゼロ」などとも発話していた場合にどうするか，という問題が生じ得る。そのような場合には，ビデオテープにより，実際の音声と画面との対応の仕方を確認して，もっとも適当な読みを付与することとした。

しかし，より本質的なことは，テレビ放送において，音声と画面との関係をどのようにみるかということである。もし，両者を，それぞれ，独立したものと考えるならば，このようなやり方をとる必要はない，というより，とるべきではないということになろう。その場合には，たとえば，標本(0327)では，画面には「いえ」のみが，音声には「うち」のみが現れたということになる。これは，音声と画面とは別々の作り手による，という側面を強調することになろう。しかし，「家」の読みに「イエ」を採用するのは，それが表内訓であるという（調査者側の）理由だけであり，実は「ウチ」と読ませたかったのかもしれない。画面が音声とは独立にあるのだとしても，その読みの決定は，従来の語彙調査と同様に，調査者が自ら立てた原則に従うしか方法がない。そこから導かれる音声と画面との違いというものは，かならずしも，確実なものとはいえないだろう。

3．集　計

3.1 集計の対象

音声および画面文字の中には，次にあげるように，調査対象とは認められたものの，そこに含まれる単位語あるいは単位語相当のものに，見出し語を付与できないというものが，少なからず，存在する。これらは，集計の対象とはしない。

(1) 単位語（音声・画面文字列）の一部が欠けているもの（下線部，以下同様）

(0334)「ＯＨ！エルくらぶ」
ｅ：チョット　ゴランイタダキタイト　オモイマス。
＜ざわめき＞
？：△テタト　オモーンデスガ　ドンナ　……。　＜ビデオはじまり＞

(0215)「中曽根前首相リクルートで証人喚問」
ａ：メーメーガ　カミアウト　フ▲　フタリデ　コレオ　イロンナ　ソーユー　ツキアイカンケー　ソノ　タニ　ツカワシテモラウト　オ　イチネンカンノ　オー　キカンニ　ソレオ　ツカッタト　ユー　コトデゴザイマスガ　マ　カ▲　ツイジノ　トコロニワ　ザンキンモ　ノコッテルト　ソー　ユー　コトノ　ヨシデアリマス。

(0278)「ヘルシークッキング」
ａ：ソレガ　マタ　ユルンデ＝　キテ▲　＝キテルノワ　モー　チョット　ムリナンデスネ。

(2) 文字化が確定できないもの

(0283)「プロ野球・大洋×阪神」
ａ：△ト　テンオ　クワエマシテ　ゴタイレーデス。　＜背後に歓声＞　イー　アタリ。　サードライナー。　マッショーメン。　マッショーメンノ　アタリデシタ。　シカシ＋
？：→……←。
ａ：＋→コノ　カイ　ゴランノヨーニ←　ニテンオ　クワエマシタ。　タイヨーガ　イッポーテキニ　リードオ　ウバッテイマス。

(0198)「ＮＨＫスペシャル・幕末転勤物語・150年前の家族日記」
ｂ：エート　カイセンワ　→アー　ソーデスカ。　ハイ。　ワカリマシタ。　……シマス←。

(0049)「ＭＡＬＴＡでナイト」
ａ：コトシノ　ハナシオ　シテルン？デス／……？。　→ナツニ　ムケ……←。

(0309)「椎名誠と怪しい探検隊」
ｃ：ツッタンダヨ　オレ。
ｂ：ヒラアジ。
ｃ：ソー。
？：ア　ドー　シマシタ。
？：オー。
ｂ：？ガーラ？＜吐二喇［トカラ］か臥蛇［ガダ］か＞デ　ツッタ　？ヤツ？。
？：ドー　シマシタ　アレ。
ｃ：カヌーン　ナカニ　イレッパナシ　……。

(3) 意味を確定できないもの

(0356)「天空戦記シュラト」
k：スイショーノマニ　ツージル　トビラワ　¥ソーマデ　フーインシタ。　オレオ　タオサナイ
カギリ　トビラワ　ゼッタイニ　ヒラカン。

なお，「文字化が確定できないもの」のうち，未確定部分が付属語部分に限られることが明らかな場合には，見出し語を与え，集計の対象とする。

(0049)「ＭＡＬＴＡでナイト」
a：コトシノ　ハナシオ　シテルン？デス／……？。　→ナツニ　ムケ……←。

(0144)「天才・たけしの元気が出るテレビ！！」
a：イマノ　ジブンノ　キモチオ　ウミニ　ムカッテ　フイテコイッテ　ユワレタ？カラ／φ？。

ただし，付属語部分に限られることが明らかでない場合には，集計の対象とはしない。

(0243)「パラダイスＧＯ　ＧＯ！！」
d：ソー　ソー。　ソー　ソー。　アノ　→サンニン　ヒトクミデネ←。
c：→グランプリ　アレモネ　オクッテネ←。
d：→ハイ←。　オク▲

3.2 集計の方法

一つの見出し語の使用（出現）頻度は，その見出し語にまとめられた単位語の数に等しい。その際，それぞれの単位語がどのような現れ方をしているかは，ふつう，考慮されない。新聞や雑誌の語彙調査において，活字の大きさや形が頻度にかかわる――同じ単位語でも活字のポイントが2倍であれば頻度も2倍とするなどという――ことはなかった。これについては，今回の調査でも，同様の方針をとった。

音声については，単位語が1回発話されるごとに，その見出し語の使用頻度に1を加える（1回として数える)。複数の話者が同時に（声をそろえて）発話した場合でも，1回と数える。語の発話時間，音声の声としての大きさ（音量)，強調の音調の有無などは集計に関与しない。

画面については，単位語が，継続して表示された一つの画面にある場合，その見出し語の使用頻度に1を加える。したがって，同じ画面が，画面の切り替えにより何度か現れれば，その回数だけくりかえし数えられる。画面すなわち語の表示時間，語を表す文字の大きさや形・色，画面における位置などは集計に関与しない。

なお，このような方針――単位語の数のみを出現頻度として集計すること――は伝統的なものであるが，唯一の方法というわけではない。たとえば，画面にかぎってみれば，画面上の単位語の表示時間を計量することは可能であり，その累計をもって見出し語の使用頻度とする方法も十分に考えられる。今回の調査では技術的にかなわなかったが，もし使用頻度を表示時間によって表すとすれば，従来「見出し語」と同義であった「集計単位」という用語の意味も変わってくるだろう。すなわち，「今回の語彙調査の集計単位は度数ではなく時間だ」という具合である。

第７章　データの形式と管理

現在までに得られているデータと，その形式について概略を記す。

１．機械可読媒体

機械可読形式の各種データについて書式を記す。便宜上，音声文字化データ・画面文字データなど，分析の直接の対象となる“言語データ”と，番組に関する情報・話者に関する情報など，言語データに付随する“付帯データ”に分けて述べる。

1.1 言語データ

1.1.1 音声文字化データ

文字化の規則（「第２部第４章　音声の文字化」参照）および単位切りの規則（「同第５章　単位語の認定」参照）にしたがって作成した音声文字化データ（以下“原文データ”と呼ぶ）から，プログラムにより１単位語を１レコードとする単語レコードを作成し，さらにＫＷＩＣ形式に加工した。次にＫＷＩＣを台帳として，よみ・代表形づけの作業を行った。その後，単語レコードの位置情報を利用して，よみ・代表形をＫＷＩＣから原文データに転写した。

〈データ例〉

原文データの例として，よみ・代表形（〈　〉内半角文字の部分）を付与したものを掲げる。

一標本を１ファイル，原則として一人の話者のひとまとまりの発話を１レコード（1行）とし，話者がかわるたびに別レコードとしている。

標本＃０００４　　：標本番号
「遊行見聞録」　　：番組名
６．４／５６．５　　：視聴率
●ＣＭＳ　　：ＣＭはじめ
＜外国語の歌＞
ａ：レディーニ〈れでぃぃ，レディー〉　シタテル〈したてる，仕立てる〉　マチ〈まち，町〉　ディースィーフォーレディース。
〈でぃぃしぃふぉおれでぃぃす，DCフォーレディース〉　ワシントンディースィー。〈わしんとんでぃぃしぃ，ワシントンDC〉　エイエヌエイ。
〈ええぇぬええ，ANA〉
◉ＣＭＥ　　：ＣＭおわり
＜ざわめき＞
ｃ：→ハイ〈はい，はい〉　ハイ←。〈はい，はい〉
ｂ：→ミナサン←〈みなさん，皆さん〉　コレオ〈これ，これ〉　シッテマスカ。〈しる，知る〉
ｃ：エ〈え，え〈感〉〉　ジュース。〈じゅうす，ジュース〉
ｈ：？エ／φ？〈X，X〉
ｅ：？エ／φ？〈X，X〉
ｄ：シロップ。〈しろっぷ，シロップ〉
ｃ：ナツバニ〈なつば，夏期〉　ムケテ＋〈むける，向ける〉
ｅ：ア。〈ああ，ああ〈感〉〉
ｃ：＋コノ〈この，この〉　コー〈こう，こう〉　カキゴーリデモ〈かきごおり，かき氷〉　→タベサセヨート〈たべる，食べる〉
……←。〈X，X〉
？ｅ／多？：→カキゴーリノ←。〈かきごおり，かき氷〉
ｂ：→ソー〈そう，そう〉　ソー〈そう，そう〉　ソー〈そう，そう〉　ソー←〈そう，そう〉　カキゴーリ。〈かきごおり，かき氷〉
チガウッ〈ちがう，違う〉　ツーノ＜と言うの＞。〈いう，言う〉

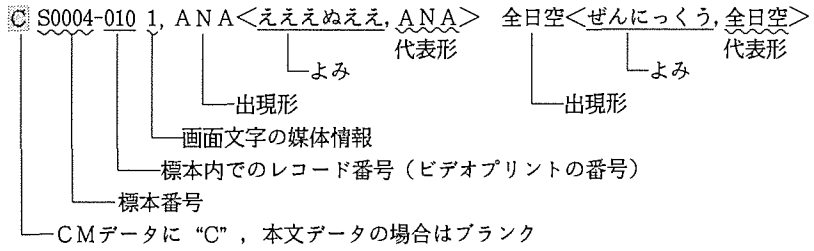
＜文字化データの凡例＞

“。”	文のおわり（句点）
“　”（空白）	単位語の切れ目
＋	発話の分断
＝	単位語の分断
△	単位語の途中からの標本開始
▲	単位語の途中での標本終了，または，言いさし・言いづまり
：	話し手の交替
→(文字列)←	音声の重なり部分
?(文字列)／(文字列)?	不確定なもの（“／”は候補が複数の場合）
……	聞き取れない部分
（歌）	歌の発話
＜＞（全角）	非言語音の注釈，担当者のコメント

1.1.2 画面文字データ

音声文字化データと同様にＫＷＩＣを作成，よみ・代表形を付与し，画面の原文データに転記した。

音声データと同様，一標本を１ファイルとする。原則としてビデオプリント１枚を１レコード（１行）とする。



<データ例>

CS0004-010, ＡＮＡ<えええぬええ, ANA> 全日空<ぜんにっくう, 全日空>
S0004-020, この<この, この> 夏<なつ, 夏> 発売<はつばい, 発売> クリスタル・ソイ<くりすたるそい, クリスタルソイ>
S0004-030, ニューヨーク醤油百景<にゅうよおくしょうゆひゃっけい, ニューヨーク醤油百景>
S0004-040, ヤオハン<やおはん, ヤオハン>
S0004-050, ヘルスパブ<へるすぱぶ, ヘルスパブ>
S0004-060, 昼の<ひる, 昼> コース<こおす, コース> 【<【, 【> 約1,800円<やくせんはっぴゃくえん, 約1,800円> 】<】, 】>
S0004-065, Shoyu<しょうゆ, 醤油>
S0004-070, ダラスＢＢＱ<だらすびいびいきゅう, ダラスBBQ(店名)>
S0004-080, 世界一の<せかいいち, 世界一> 手作り醤油の<てづくりしょうゆ, 手作り醤油> 秘密<ひみつ, 秘密>
S0004-090, ■<■, ■> 和歌山御坊市<わかやまごぼうし, 和歌山御坊市> 堀河屋<ほりかわや, 堀河屋>
S0004-100, 三ツ星醤油<みつぼししょうゆ, 三ツ星醤油> (<(, (> 900 ml<きゅうひゃくみりりっとる, 900 ml> 800円<はっぴゃくえん, 800円>)<),)>

<画面データの凡例>

“ ”（空白）	単位語の切れ目（文字列内のレイアウト的な空白は無視）
“_”	英字の単位語内の切れ目（アンダーバー）
⏎	改行（文字列の途中で行が移っている場合も同じ）
¶	“実物”の文字領域（「第2部第3章 音声・画面文字の認定」参照）の区切り
∵（文字列）∵	単位語の一部にある「文字の大きさ」の基準を満たさない文字列
?⊠（文字列)/(文字列)?	不確定な部分，“／”は候補が複数の場合
⊠……	読めない部分
＝	入力できない文字（ＪＩＳコード外，必要があれば注釈を添える）
<⊠～>	担当者による注釈やコメント
<⊠ルビ：～>	語のルビは注釈内で示す

<その他の凡例>

音声の文字化および文字情報の入力形式とは別に，データ処理や付加情報付与の過程において用いたおもな記号を示す。

@ ：本来助詞・助動詞相当の語が単独で用いられた場合に，その先頭に付与する（「@というような」「@とすると」「@でしょう」「@だね」など）。
$ ：単位切りについて再検討を要するもの
¥ ：見出し語についてＶＴＲなどでの確認の必要があるもの
●ＣＭＳ⏎ ：ＣＭのはじめ
●ＣＭＥ⏎ ：ＣＭのおわり
<⊠外> ：日本語文脈中に現れる外国語
<⊠不> ：文脈の種類が不明で外国語か日本語か判断のつかないもの

1.1.3 KWICデータ（音声・画面文字統合）

1.1.3.1 音声情報

1370C 0219 50 93 13> ※ チキンテ モトモト アマリ コー アブラッポクナイデショー。 ダカラ アゲテアッ あぶらっぽい, 脂っぽい

- レコードの区切り
- 話者番号
- キーワード
- 代表形
- よみ
- その語の始まる桁数（発話内での）
- 発話番号（行数）
- 位置情報
- 標本番号
- 1桁目　C：CM ／ 無印：本編　2桁目　S：画面情報 ／ 無印：音声情報
- 標本内通し番号

1.1.3.2 画面文字情報

1830CS0162-500 1 84 クレンジングウォッシュ 図※ 油性分の 洗浄過程 油を 包む 成分 LS 配合 図※ 中性の あぶら, 油

- キーワード
- よみ
- 代表形
- 画面情報について，レコード中の位置（桁数）
- 画面文字の媒体情報
- 標本内でのプリントの番号
- 標本番号
- 1桁目　C：CM ／ 無印：本編　2桁目　S：画面情報 ／ 無印：音声情報
- レコード内通し番号

<データ例>

2940C	0191	71	14036	ト シテルヨナッ。 コノ オヤジサンワネ	アブラニワ コダワッテルカラ ホント カラッ	あぶら,油
1890	0044	61	71 2	アルンデスヨネ。 ※ ア ドーブツセーノ	アブラノ ホーガ。 ※ エー。 ソーデスネ。	あぶら,油
1570	0212	51	32 2	サバニシロ+ ※ エー。 ※ +ヤッパリ	アブラノ ノッタ サカナデナイト+ ※ エー	あぶら,油
2420C	0326	39	10017	※ イマ ドレッシングワ ノンオイル。	アブラノ カワリニ カオリト フーミオ タッ	あぶら,油
510	0237	14	201 1	セージンビョーヤ ダイエットノ タイテキ	アブラヤ エンブンオ ヒカエテ コンナ オイ	あぶら,油
250	0237	8	86 1	イレテ。 ※ アッ チョット マッテ。	アブラワ カロリーガ タカク?ッ/φ?テ セ	あぶら,油
1020	0267	49	73 1	スネー←。 ※ →アー←。 ガッシクカラ	アブラエ →ソシテ← マタ デートマデ。 ※	あぶらえ,油絵
1060	0267	50	5 6	→ソシテ← マタ デートマデ。 ※ →	アブラエ 。 <笑い>← ※ ソー。 ※ ソ	あぶらえ,油絵
660	0267	37	34 1	ヤッテルンデスヨネ。 アブラエ。 ※ ア	アブラエオ 。 ※ ウン。 ※ デ ソコラヘ	あぶらえ,油絵
780	0267	41	5 1	ッテ カイタ コト アルンデスヨネ。 ※	アブラエオ 。 ※ アブラエオネ。 ※ アラ	あぶらえ,油絵
790	0267	42	5 6	アルンデスヨネ。 ※ アブラエオ。 ※	アブラエオネ 。 ※ アラー デ →ヒマナ←	あぶらえ,油絵
840	0267	43	73 1	ネ。 ※ アラー デ →ヒマナ← トキワ	アブラエナンカ カキニ クルワケ?デスカ?。	あぶらえ,油絵
4970	0044	162	34 2	テナイ タメニ ウラッカエスト+ ※ ア	アブラカスオー + ※ +ハイ。 アブラ→カ	あぶらかす,#油滓
4990	0044	163	26 1	※ ア アブラカスオー+ ※ +ハイ。	アブラ→カスオ トッテ?ヤル……ネ?←。 ※	あぶらかす,#油滓
1370C	0219	50	9513	> ※ チキンテ モトモト アマリ コー	アブラッポクナイデショー 。 ダカラ アゲテ	あぶらっぽい,脂っぽい
2130CS	0236-260	1	167	まごそう麺 手鞠形長そう麺 半長生そう麺	油不入りそう麺 切りそう麺 図※ ∵桃屋の∵	あぶらふいりそうめん,油不入りそ
240C	0008	7	115 4	イムノ カオリガ トッテモ フレッシュ。	アブラヨゴレガ サット オチテ スパヤイ ア	あぶらよごれ,油汚れ
4000	0227	97	83 2	スネ。 ※ ハイ。 ソノ マエニ タニノ	アプローチ 。	あぶろおち,アプローチ
1970	0111	28	312 1	。 ココワ ソ ココニ イクト チョット	アプローチガ ムズカシク ナリマスガ イヤー	あぶろおち,アプローチ
2180	0111	31	106 2	マノ イチカラワ ヨラナイデスヨー。 →	アプローチガ ← ムズカシーデス。 ※ →ウ	あぶろおち,アプローチ
810	S0080-190	2	382	救出 ！ 1歳の 男児 洗濯機に 落ちる	安倍幹事長 入院 D A 図※ 猿の アイド	あべかんじちょう,安部幹事長
1140	S0080-220	2	382	救出 ！ 1歳の 男児 洗濯機に 落ちる	安倍幹事長 入院 猿の アイドル ・ ジロー	あべかんじちょう,安部幹事長
4000	0072	21	243610	ニ ニューインシテイル ウ ジミントーノ	アベカンジチョーデスガ エ キューセーカンエ	あべかんじちょう,安部幹事長
4140	0072	21	296410	ーゴゴ タケシタソーリダイジンオ タズネ	アベカンジチョーノ ビョージョーニツイテ カ	あべかんじちょう,安部幹事長
1660	0103	10	2198 2	?エ/イ? キノーノ タケシタソーリト	アベカンジチョーノ カイダンデ ジンジワ レ	あべかんじちょう,安部幹事長

1.1.4 語種・品詞データ

語種	品詞（分類番号）	よ　み	代 表 形
G	1	あい	i
K	1	あい	愛
G	1	あいあい	アイアイ
G	1	あいいだ	アイーダ
G	1	あいいだえきすとら	アイーダエキストラ
G	1	あいおおしいゆう	ＩＯＣＵ
G	1	あいおわ	アイオワ
H	1	あいおわじたい	アイオワ自体
W	1	あいかた	相方
W	3	あいかわらず	相変わらず
W	1	あいくち	あいくち
K	1	あいけん	愛犬
K	1	あいこうしゃ	愛好者
K	1	あいこうしゃたち	愛好者達
K	1	あいこくうんどう	愛国運動
K	1	あいこくしん	愛国心
K	3	あいこくてき	愛国的
W	1	あいことば	合言葉
K	1	あいごかい	愛護会
K	1	あいさつ	挨拶

語種凡例：W: 和語，K: 漢語，G: 外来語，H: 混種語，?: 不明

1.2 付帯データ

1.2.1 番組情報に関するデータ

番組に関する基本的な情報はデータベースソフト“桐”によって管理している。データベースの項目として次のようなものをたてている。

標本番号，番組名，チャンネル，番組のジャンル，視聴率，日付，開始時刻（標本の），曜日，ＣＭ時間，標本時間（５分－ＣＭ時間）

以上を基本に，標本全体・番組本編・ＣＭそれぞれの延べ語数・異なり語数などを適宜付け加えている。

1.2.2 ＣＭ情報に関するデータ

ＣＭに関する基本的な情報も“桐”によって管理している。項目としてたてているものは次のとおり。

標本番号，日付，曜日，ＣＭ番号（標本内での出現順序），開始時点，終了時点，時間，商品名，会社名，商品分類

1.2.2.1 ＣＭの認定について

なお，テレビの番組本編とＣＭとは全く性質の異なる媒体である。それゆえ両者は区別して扱う必要がある。この調査でＣＭと認定する基準は次のとおり。

(1) いわゆるＣＦ（コマーシャル・フィルム）として放映されるものをＣＭとする。

(2) テレフォン・ショッピングの類もＣＭとする。

(3) 番組（特にワイドショーなど）中の，生コマーシャルもＣＭとする。

ただし，

(4) 番組案内はＣＭとしない。

1.2.3 話者情報に関するデータ

1.2.3.1 話者レコード

話者については登場する順に番号を付与している。このレコードは番号と話者記号との対照表である。

＜レコード例(S0004)＞

1●
2＜
3 a
4 c
5 b
6 h
7 e
8 d
9 ? e／多 ?
10 f
11 g
12 ? f／i ?
13 j

1.2.3.2 話者情報

話者に関する情報はデータベースソフト“桐”によって管理している。話者情報としてたてている主な項目は次のとおりである。

1. 標本番号
2. 話者記号……音声文字化データで個々の発話の話者に対して与えられている話者記号。当該の発話が他の人物と区別可能な話者によってなされたと判断された場合に付与される。アルファベット小文字（a，b，c，……）を使う。足りなくなったら，カタカナ（ア，イ，ウ，……）を使う。
3. 性　　別
4. 肩 書 き……次の“役割”が標本ごと－さらに厳密には場面ごと－に変化するものであるのに対し，職業などその話者個人がもつ変化することのない属性として付与しようとしたもの。職業の項目へ合併する予定。
5. 役　　割……標本－場面－の中での役割。アナウンサーである人物がニュース番組でニュースを伝えることもあれば，バラエティー番組の司会者として登場することもある。このように標本ごと，もしくは場面ごとに変化する各話者の役割を付与するもの。
6. 生　　年……主に9.，10.に挙げる二文献によった。
7. 年　　齢……標本採録時（1989年）での満年齢

8.出 身 地……主に9.，10.に挙げる二文献によった。

9.『タレント名鑑』
10.『テレビ・タレント人名事典』
これら二文献に記載があるかどうか。

11.他の情報源……上の2冊以外からの情報

12.職　　業……『テレビ・タレント人名事典』の記載（索引の部分）による。
同書以外の文献によるものには“＊”，作業者が独自に判断したものには“※”を付した。

13.C　　M……CMか否かの判別

14.年　　代……10歳ずつに区切ったときの年代

15.プロ／アマ……登場する話者が，アマチュア（一般人・視聴者など，放送サイドに関係のない者。以下“アマ”と略す）かプロフェッショナル（アナウンサー・タレントなど，放送サイド・メディア関係者。以下“プロ”と略す）かの区別を行なった。基準は以下の通りである。

×：アマ

○：プロ（画面に登場）

●：プロ（画面に登場したプロの話者のうち，さらに情報が得られれば判別可能と思われる人物）

△：プロ（声のみ）

▲：プロ（声のみのプロの話者のうち，さらに情報が得られれば判別可能と思われる人物）

判断は上記文献（9.，10.）に記載があるか否かを参考にしつつ，担当者が行っている。

1.2.4 プログラム群

ＫＷＩＣ作成用プログラム
付加情報マッチング用プログラム
話者情報マッチング用プログラム
単位切り修正用プログラム
一貫処理プログラム

データベースソフト　桐 Ver. 3（㈱管理工学研究所）
桐用一括処理プログラム

2．非機械可読媒体

プリントアウト，出版物など。

2.1 原データ

ビデオテープ（5分版［該当箇所のみ］－13巻（1週1巻），20分版［該当箇所＋前10分＋後5分］－208巻）

カセットテープ（文字化作業用－104巻）

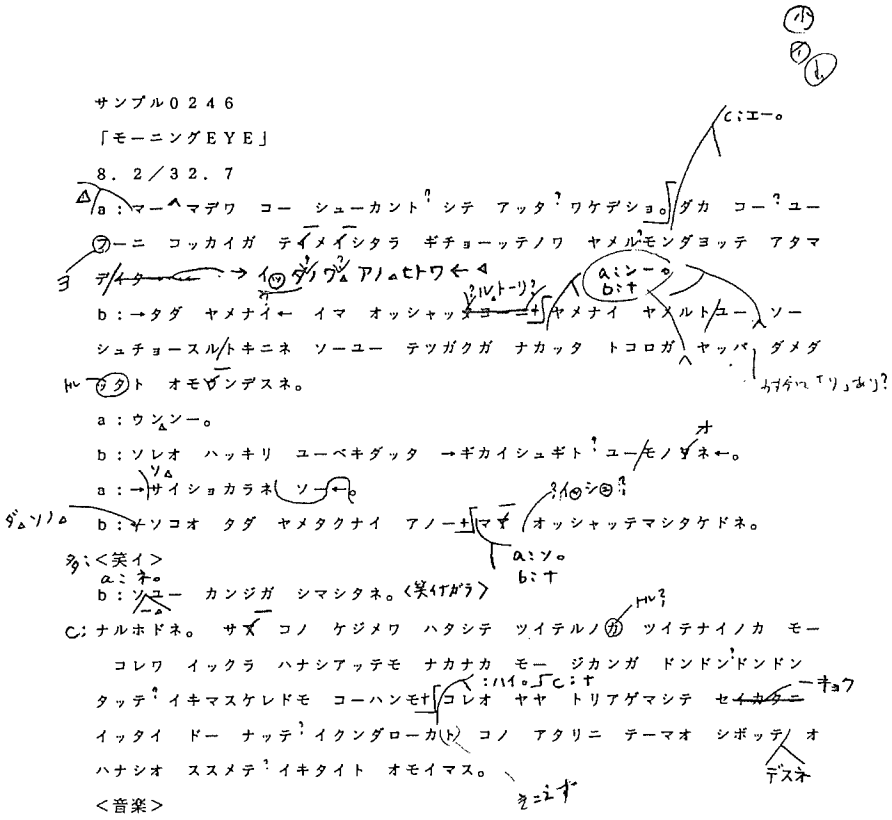
2.2 ビデオ予約等作業記録表

テレビ放送の用語調査　サンプリング記録（第 9週）

SAMPLE#	VIDEO#	年 月 日	曜	CH	開始時刻～終了時刻	TAPE#	予約	読順	回収	内容確認	代替#	番組名	録音
0225	1	1989. 5.28	日	1	3:30～ 3:50	33						（番組なし）	7/17
0226	1	1989. 5.28	日	4	10:35～10:55	33	5/25	5/25	5/29	5/29		巨人軍 アニメ 童夢くん	↓
0227	1	1989. 5.28	日	12	17:25～17:45	33						東都日動車レディス プロゴルフトーナメント	
0228	1	1989. 5.28	日	10	22:10～22:30	33						日曜映画劇場「スカーフェイス」（2ヶ国語）	
0229	1	1989. 5.29	月	6	5:25～ 5:45	33	〃	〃	〃	〃		（番組なし）	
0230	1	1989. 5.29	月	3	7:15～ 7:35	33	の	の	の	の		英語会話I「バースデー・プレゼント」	
0231	1	1989. 5.29	月	8	17:30～17:50	33						パラダイス GOGO!!	
0232	1	1989. 5.29	月	4	20:35～20:55	33						夜のトップテン	
0233	2	1989. 5.30	火	8	1:10～ 1:30	34						F1選抜第4戦メキシコグランプリ	
0234	2	1989. 5.30	火	3	9:45～10:05	34	5/26	5/26	6/2	6/2		レモンだいき	
0235	2	1989. 5.30	火	1	13:25～13:45	34						関東甲信越	
0236	2	1989. 5.30	火	6	18:15～18:35	34	石	石	石	石		テレポート	
0237	2	1989. 5.31	水	10	3:25～ 3:45	34	井	井	井	井		~~[illegible]~~ プレステージ「老師高談～」	
0238	2	1989. 5.31	水	12	7:25～ 7:45	34						アニメランド テレビ天の星	
0239	2	1989. 5.31	水	12	15:40～16:00	34						将式N	
0240	2	1989. 5.31	水	1	19:40～20:00	34						連想ゲーム	↓
0241	3	1989. 6. 1	木	3	1:35～ 1:55	35				6/5 小沼		（番組なし）	7/18
0242	3	1989. 6. 1	木	10	10:40～11:00	35	5/29	5/29	6/5	〃		新必殺仕事人国「ぎりぎりばばあ」	
0243	3	1989. 6. 1	木	8	17:40～18:00	35				〃		パラダイス GOGO!! /(CM)	
0244	3	1989. 6. 1	木	4	20:00～20:20	35	小	小	小	〃		5 プロ野球～東京ドーム 巨人 × 大洋	
0245	3	1989. 6. 2	金	6	4:20～ 4:40	35				〃		映画「丹下左膳 妖力満点」	
0246	3	1989. 6. 2	金	6	9:15～ 9:35	35	沼	沼	沼	〃		スーニンブ EYE	
0247	3	1989. 6. 2	金	1	14:30～14:50	35				〃		青春時代国「ちょっと早めの後半人生」	
0248	3	1989. 6. 2	金	4	23:15～23:35	35				〃		プロ野球ミニ情報	
0249	4	1989. 6. 3	土	10	1:50～ 2:10	36	5/29	5/31	6/5	6/5 山崎		PRESTAGE	
0250	4	1989. 6. 3	土	12	11:05～11:25	36	山崎	山崎	山崎	〃		現在！サイクルスポーツ	
0251	4	1989. 6. 3	土	3	12:15～12:35	36				〃		青春すくらんぶる	
0252	4	1989. 6. 3	土	8	21:45～22:05	36				〃		日ゴールデン洋画劇場 ザ・ダイハード 生の脱出（二ヶ国語）	↓

［写真 2.7-1］ビデオ予約等作業記録表（一部）

2.3 文字化台帳



サンプル０２４６

「モーニングＥＹＥ」

８．２／３２．７

a：マーマデワ コー シューカント シテ アッタ ワケデショ。ダカ コー ユー

ーニ コッカイガ テイメイシタラ ギチョーッテノワ ヤメルモンダヨッテ アタマ

デ → イワ アノヒトワ ←

b：→タダ ヤメナイ← イマ オッシャッ ヤメナイ ヤメルト ソー

シュチョースルトキニネ ソーユー テツガクガ ナカッタ トコロガ ヤッパ ダメダ

トオモウンデスネ。

a：ウンーー。

b：ソレオ ハッキリ ユーベキダッタ →ギカイシュギト ユーモノネ←。

a：→サイショカラネ ソー←。

b：→ソコオ タダ ヤメタクナイ アノー マ オッシャッテマシタケドネ。

a：ソ。

b：ナ

<笑イ>

a：ネ。

b：ソユー カンジガ シマシタネ。<笑イガラ>

c：ナルホドネ。 サ コノ ケジメワ ハタシテ ツイテルノカ ツイテナイノカ モー

コレワ イックラ ハナシアッテモ ナカナカ モー ジカンガ ドンドンドンドン

タッテ イキマスケレドモ コーハンモ コレオ ヤヤ トリアゲマシテ セ

：ハイ。 c：ナ

イッタイ ドー ナッテ イクンダローカト コノ アタリニ テーマオ シボッテ オ

ハナシオ ススメテ イキタイト オモイマス。

<音楽>

［写真 2.7-2］文字化台帳（一部）

2.4 ＫＷＩＣのプリントアウト数種

ＫＷＩＣ数種・後順ＫＷＩＣ

2.5 画面情報

ビデオプリンタによるプリント：約6,500枚（週ごとにファイリング）

2.6 番組情報付与のための資料

『ＴＶガイド』（東京ニュース通信社）1989年4月7日号〜1990年4月6日号　計52冊

2.7 話者情報付与のための文献

『'92日本タレント名鑑』（VIPタイムズ社　1992年3月）

『テレビ・タレント人名事典』（日外アソシエーツ株式会社　1992年10月）

『TVガイド臨時増刊　TVスター名鑑'93』（東京ニュース通信社　1993年10月）

『現代人名情報事典』（平凡社　1987年8月）

第　3　部

資　料　編

データの概要

1．調査対象

1989年4月2日(日)から同年7月1日(土)までの3か月間に，全国放送網のキー局である6放送局7つのチャンネル（ＮＨＫ総合・ＮＨＫ教育・日本テレビ・ＴＢＳ・フジテレビ・テレビ朝日・テレビ東京）が，0時から24時までの一日をとおして放送した，すべてのテレビ放送で，視聴可能であった，日本語の，音声および文字によって，表された語彙

2．調査方式

母集団となる放送を，5分の幅をもつ抽出単位に分割し，各週・曜日・時間帯・チャンネルごとに，それぞれ，標本数が等しくなるよう構成した集団からの無作為抽出

3．調査単位

単位語：長い単位（雑誌『中央公論』の語彙調査で用いられた「長い単位」をもとに，助詞・助動詞および固有名詞の範囲を拡張した単位）

見出し語：現代雑誌九十種の語彙調査および雑誌『中央公論』の語彙調査によって規定される語

集計の方法：

（音声）単位語が1回発話されるごとに，その見出し語の使用頻度に1を加える

（画面）単位語が，新たに継続して表示される一つの画面に現れた場合，その見出し語の使用頻度に1を加える

4．調査の規模

4.1 母集団　延べ放送時間数：2,184時間

延べ語数　音声：約5,700万語

画面：約1,500万語

4.2 抽出比　504分の1

4.3 標　本　総時間数：30時間20分

本編：96,832秒

ＣＭ：12,368秒

1標本の長さ：5分間

標 本 数：364

4.4 有効標本数　332

本編音声：331　　CM音声：134

本編画面：301　　CM画面：134

5．標本についての主な数値

5.1 延べ語数

全体：141,975

本編音声：103,081　　CM音声：9,235

本編画面：20,246　　CM画面：9,413

5.2 異なり語数

全体：26,033

本編音声：17,647　　CM音声：3,455

本編画面：7,970　　CM画面：3,591

5.3 語の密度（1分あたりの延べ語数，標本中央値）

本編音声：73.5　　ＣＭ音声：44.6

本編画面：8.2　　ＣＭ画面：42.0

5.4 語の密度（1分あたりの異なり語数，標本中央値）

本編音声：41.2　　ＣＭ音声：36.3

本編画面：6.4　　ＣＭ画面：31.2

標本一覧

調査において得られた364の標本（放送時間外の標本も含む）について，それらのもつ諸情報を，標本ごとに示す。

＜凡　例＞

標　本……標本番号（各標本に与えられた4桁の数字）

番 組 名……㈱ビデオ・リサーチ『テレビ視聴率速報』に記載された番組名による。

放送年月日(曜日)…放送年月日は新聞のテレビ欄などでの扱いにならい，午前5時を一日のはじまりとした。したがって，暦の上での位置付けと異なり，たとえば5月1日の午前2時から5分間採録された標本は4月30日の放送として扱われる。

採録時刻……標本を採録した時刻。24時制による。

チャンネル……関東地区でのチャンネルと放送局名

ジャンル……番組のジャンル。以下の8ジャンルを設定している（分類の詳細については「第4部第5章　番組のジャンル」を参照）。

1：報道系	5：バラエティー系
2：教育・教養系	6：ストーリー系
3：一般実用系	7：スポーツ系
4：音楽系	8：その他

本編秒数……1標本5分（300秒）のうち，本編部分の秒数

番組分数……当該番組全体の分数

視聴率1……局別世帯視聴率
視聴率2……総世帯視聴率
} 標本が放映された5分間における視聴率（㈱ビデオ・リサーチ『テレビ視聴率週報』）

本編話者数……本編部分に登場する話者の数。男性・女性・性別不明に分けて内訳も示す。

語　数……音声・画面それぞれの延べ語数・異なり語数

語の密度……音声・画面それぞれの，1分あたりの延べ・異なりの語数（語数／本編秒数×60）

ＣＭ語数……標本の中の，ＣＭ部分の延べ語数・異なり語数（音声・画面）。

語種・品詞……音声・画面それぞれ上段が延べ語数，下段が異なり語数。（ ）内は百分率。
語種は和（和語），漢（漢語），外（外来語），混（混種語），語種不明の内訳。
品詞は体の類，用の類，相の類，その他，品詞不明の内訳。

画面媒体……画面に現われた文字情報の，各媒体ごとの延べ語数・異なり語数。媒体の内訳は次の通り（詳細は「第4部第13章　画面文字の媒体」参照）。

1：テロップ，スーパーインポーズの類	3：セットの類
2：フリップ，ボードの類	4：実物の類

標本:０００１　番組名:「朝までスポーツ！」

語数	延べ	異なり	語の密度	延べ	異なり	CM語数	延べ	異なり
音声	453	242	音声	90.6	48.4	音声	-	-
画面	33	19	画面	6.6	3.8	画面	-	-

語種	和	漢	外	混	不明
音声	239(52.8)	66(14.6)	109(24.1)	39(8.6)	0(0.0)
	112(46.3)	50(20.7)	49(20.2)	31(12.8)	0(0.0)
画面	1(3.0)	7(21.2)	12(36.4)	5(15.2)	8(24.2)
	1(5.3)	4(21.1)	7(36.8)	5(26.3)	2(10.5)

品詞	体	用	相	他	不明
音声	255(56.3)	61(13.5)	79(17.4)	58(12.8)	0(0.0)
	150(62.0)	40(16.5)	39(16.1)	13(5.4)	0(0.0)
画面	25(75.8)	0(0.0)	0(0.0)	0(0.0)	8(24.2)
	17(89.5)	0(0.0)	0(0.0)	0(0.0)	2(10.5)

画面媒体(延/異)	1: 33/19	2: 0/ 0	3: 0/ 0	4: 0/ 0

放送年月日	1989年4月1日(土)
採録時刻	02:55〜03:00
チャンネル	4(日本テレビ)
ジャンル	スポーツ系
本編秒数	300
番組分数	171
視聴率１	1.0
視聴率２	8.4
本編話者数	3
	(男: 3 女: 0 不明: 0)

標本:０００２　番組名:「高校学校講座」

語数	延べ	異なり	語の密度	延べ	異なり	CM語数	延べ	異なり
音声	410	169	音声	82.0	33.8	音声	-	-
画面	36	32	画面	7.2	6.4	画面	-	-

語種	和	漢	外	混	不明
音声	270(65.9)	96(23.4)	27(6.6)	17(4.1)	0(0.0)
	98(58.0)	49(29.0)	6(3.6)	16(9.5)	0(0.0)
画面	1(2.8)	11(30.6)	6(16.7)	5(13.9)	13(36.1)
	1(3.1)	9(28.1)	6(18.8)	5(15.6)	11(34.4)

品詞	体	用	相	他	不明
音声	215(52.4)	90(22.0)	64(15.6)	41(10.0)	0(0.0)
	82(48.5)	48(28.4)	30(17.8)	9(5.3)	0(0.0)
画面	25(69.4)	0(0.0)	0(0.0)	0(0.0)	11(30.6)
	23(71.9)	0(0.0)	0(0.0)	0(0.0)	9(28.1)

画面媒体(延/異)	1: 23/21	2: 13/13	3: 0/ 0	4: 0/ 0

放送年月日	1989年4月2日(日)
採録時刻	06:20〜06:25
チャンネル	3(ＮＨＫ教育)
ジャンル	教育・教養系
本編秒数	300
番組分数	30
視聴率１	0.0
視聴率２	12.8
本編話者数	1
	(男: 1 女: 0 不明: 0)

標本:０００３　番組名:「ニュース」

語数	延べ	異なり	語の密度	延べ	異なり	CM語数	延べ	異なり
音声	352	255	音声	70.4	51.0	音声	-	-
画面	24	21	画面	4.8	4.2	画面	-	-

語種	和	漢	外	混	不明
音声	167(47.4)	116(33.0)	11(3.1)	58(16.5)	0(0.0)
	117(45.9)	90(35.3)	9(3.5)	39(15.3)	0(0.0)
画面	5(20.8)	9(37.5)	1(4.2)	4(16.7)	5(20.8)
	4(19.0)	9(42.9)	1(4.8)	4(19.0)	3(14.3)

品詞	体	用	相	他	不明
音声	244(69.3)	79(22.4)	27(7.7)	2(0.6)	0(0.0)
	175(68.6)	55(21.6)	24(9.4)	1(0.4)	0(0.0)
画面	19(79.2)	0(0.0)	0(0.0)	0(0.0)	5(20.8)
	18(85.7)	0(0.0)	0(0.0)	0(0.0)	3(14.3)

画面媒体(延/異)	1: 19/17	2: 0/ 0	3: 0/ 0	4: 5/ 4

放送年月日	1989年4月2日(日)
採録時刻	12:05〜12:10
チャンネル	1(ＮＨＫ総合)
ジャンル	報道系
本編秒数	300
番組分数	15
視聴率１	17.0
視聴率２	44.1
本編話者数	5
	(男: 5 女: 0 不明: 0)

標本:０００４　番組名:「遊行見聞録」

語 数	延べ	異なり	語の密度	延べ	異なり	CM語数	延べ	異なり
音声	541	291	音声	112.7	60.6	音声	6	6
画面	50	41	画面	10.4	8.5	画面	2	2

語 種	和	漢	外	混	不明
音声	376(69.5)	106(19.6)	22(4.1)	36(6.7)	1(0.2)
	182(62.5)	60(20.6)	17(5.8)	31(10.7)	1(0.3)
画面	14(28.0)	20(40.0)	4(8.0)	7(14.0)	5(10.0)
	10(24.4)	15(36.6)	4(9.8)	7(17.1)	5(12.2)
品 詞	体	用	相	他	不明
音声	279(51.6)	102(18.9)	98(18.1)	62(11.5)	0(0.0)
	164(56.4)	55(18.9)	50(17.2)	22(7.6)	0(0.0)
画面	40(80.0)	0(0.0)	5(10.0)	0(0.0)	5(10.0)
	34(82.9)	0(0.0)	2(4.9)	0(0.0)	5(12.2)

画面媒体(延/異)　1: 49/40　2: 0/ 0　3: 0/ 0　4: 1/ 1

放送年月日	1989年4月2日(日)
採録時刻	18:40〜18:45
チャンネル	10(テレビ朝日)
ジャンル	バラエティー系
本編秒数	288
番組分数	25
視聴率１	6.4
視聴率２	56.5
本編話者数	8
(男: 5 女: 3 不明: 0)	

標本:０００５　番組名:「ＣＢＳドキュメント」

語 数	延べ	異なり	語の密度	延べ	異なり	CM語数	延べ	異なり
音声	248	177	音声	49.6	35.4	音声	-	-
画面	80	58	画面	16.0	11.6	画面	-	-

語 種	和	漢	外	混	不明
音声	124(50.0)	85(34.3)	4(1.6)	35(14.1)	0(0.0)
	88(49.7)	59(33.3)	4(2.3)	26(14.7)	0(0.0)
画面	39(48.8)	18(22.5)	2(2.5)	5(6.3)	16(20.0)
	31(53.4)	15(25.9)	2(3.4)	5(8.6)	5(8.6)
品 詞	体	用	相	他	不明
音声	154(62.1)	61(24.6)	27(10.9)	6(2.4)	0(0.0)
	104(58.8)	49(27.7)	20(11.3)	4(2.3)	0(0.0)
画面	39(48.8)	18(22.5)	7(8.8)	0(0.0)	16(20.0)
	29(50.0)	17(29.3)	7(12.1)	0(0.0)	5(8.6)

画面媒体(延/異)　1: 80/58　2: 0/ 0　3: 0/ 0　4: 0/ 0

放送年月日	1989年4月2日(日)
採録時刻	00:20〜00:25
チャンネル	6(ＴＢＳ)
ジャンル	教育・教養系
本編秒数	300
番組分数	55
視聴率１	3.7
視聴率２	17.7
本編話者数	3
(男: 2 女: 1 不明: 0)	

標本:０００６　番組名:「ひらけ！ポンキッキ」

語 数	延べ	異なり	語の密度	延べ	異なり	CM語数	延べ	異なり
音声	84	52	音声	16.8	10.4	音声	-	-
画面	0	0	画面	0.0	0.0	画面	-	-

語 種	和	漢	外	混	不明
音声	67(79.8)	11(13.1)	6(7.1)	0(0.0)	0(0.0)
	40(76.9)	11(21.2)	1(1.9)	0(0.0)	0(0.0)
画面	0(0.0)	0(0.0)	0(0.0)	0(0.0)	0(0.0)
	0(0.0)	0(0.0)	0(0.0)	0(0.0)	0(0.0)
品 詞	体	用	相	他	不明
音声	39(46.4)	27(32.1)	15(17.9)	3(3.6)	0(0.0)
	23(44.2)	15(28.8)	11(21.2)	3(5.8)	0(0.0)
画面	0(0.0)	0(0.0)	0(0.0)	0(0.0)	0(0.0)
	0(0.0)	0(0.0)	0(0.0)	0(0.0)	0(0.0)

画面媒体(延/異)　1: 0/ 0　2: 0/ 0　3: 0/ 0　4: 0/ 0

放送年月日	1989年4月3日(月)
採録時刻	08:05〜08:10
チャンネル	8(フジテレビ)
ジャンル	一般実用系
本編秒数	300
番組分数	45
視聴率１	8.7
視聴率２	58.6
本編話者数	2
(男: 0 女: 1 不明: 1)	

標本:０００７　番組名:「時代劇アワー・十手無用」

語数	延べ	異なり	語の密度	延べ	異なり	CM語数	延べ	異なり
音声	176	130	音声	43.1	31.8	音声	61	49
画面	0	0	画面	0.0	0.0	画面	30	26

語種	和	漢	外	混	不明
音声	138(78.4)	31(17.6)	0(0.0)	6(3.4)	1(0.6)
	102(78.5)	21(16.2)	0(0.0)	6(4.6)	1(0.8)
画面	0(0.0)	0(0.0)	0(0.0)	0(0.0)	0(0.0)
	0(0.0)	0(0.0)	0(0.0)	0(0.0)	0(0.0)

品詞	体	用	相	他	不明
音声	90(51.1)	38(21.6)	26(14.8)	22(12.5)	0(0.0)
	63(48.5)	32(24.6)	20(15.4)	15(11.5)	0(0.0)
画面	0(0.0)	0(0.0)	0(0.0)	0(0.0)	0(0.0)
	0(0.0)	0(0.0)	0(0.0)	0(0.0)	0(0.0)

画面媒体(延/異)	1: 0/ 0	2: 0/ 0	3: 0/ 0	4: 0/ 0

放送年月日	1989年4月3日(月)
採録時刻	13:40〜13:45
チャンネル	12(テレビ東京)
ジャンル	ストーリー系
本編秒数	245
番組分数	55
視聴率１	6.3
視聴率２	47.0
本編話者数	6
(男: 4 女: 2 不明: 0)	

標本:０００８　番組名:「ニュースステーション」

語数	延べ	異なり	語の密度	延べ	異なり	CM語数	延べ	異なり
音声	288	167	音声	71.7	41.6	音声	57	45
画面	138	60	画面	34.4	14.9	画面	23	19

語種	和	漢	外	混	不明
音声	208(72.2)	42(14.6)	21(7.3)	17(5.9)	0(0.0)
	105(62.9)	33(19.8)	13(7.8)	16(9.6)	0(0.0)
画面	38(27.5)	30(21.7)	12(8.7)	21(15.2)	37(26.8)
	23(38.3)	18(30.0)	4(6.7)	10(16.7)	5(8.3)

品詞	体	用	相	他	不明
音声	123(42.7)	47(16.3)	56(19.4)	62(21.5)	0(0.0)
	83(49.7)	37(22.2)	31(18.6)	16(9.6)	0(0.0)
画面	90(65.2)	8(5.8)	2(1.4)	1(0.7)	37(26.8)
	44(73.3)	8(13.3)	2(3.3)	1(1.7)	5(8.3)

画面媒体(延/異)	1: 31/27	2: 104/31	3: 3/ 3	4: 0/ 0

放送年月日	1989年4月3日(月)
採録時刻	23:00〜23:05
チャンネル	10(テレビ朝日)
ジャンル	報道系
本編秒数	241
番組分数	75
視聴率１	20.7
視聴率２	48.2
本編話者数	5
(男: 5 女: 0 不明: 0)	

標本:０００９　番組名:「ふるさと発見」

語数	延べ	異なり	語の密度	延べ	異なり	CM語数	延べ	異なり
音声	294	162	音声	58.8	32.4	音声	-	-
画面	6	6	画面	1.2	1.2	画面	-	-

語種	和	漢	外	混	不明
音声	221(75.2)	43(14.6)	1(0.3)	29(9.9)	0(0.0)
	110(67.9)	31(19.1)	1(0.6)	20(12.3)	0(0.0)
画面	1(16.7)	0(0.0)	0(0.0)	5(83.3)	0(0.0)
	1(16.7)	0(0.0)	0(0.0)	5(83.3)	0(0.0)

品詞	体	用	相	他	不明
音声	121(41.2)	46(15.6)	66(22.4)	61(20.7)	0(0.0)
	81(50.0)	35(21.6)	31(19.1)	15(9.3)	0(0.0)
画面	6(100.0)	0(0.0)	0(0.0)	0(0.0)	0(0.0)
	6(100.0)	0(0.0)	0(0.0)	0(0.0)	0(0.0)

画面媒体(延/異)	1: 5/ 5	2: 0/ 0	3: 0/ 0	4: 1/ 1

放送年月日	1989年4月4日(火)
採録時刻	05:50〜05:55
チャンネル	12(テレビ東京)
ジャンル	教育・教養系
本編秒数	300
番組分数	30
視聴率１	0.2
視聴率２	6.4
本編話者数	4
(男: 2 女: 2 不明: 0)	

標本:００１０　番組名:「ホットライン」

語 数	延べ	異なり	語の密度	延べ	異なり	CM語数	延べ	異なり
音声	461	313	音声	92.2	62.6	音声	-	-
画面	143	53	画面	28.6	10.6	画面	-	-

語 種	和	漢	外	混	不明
音声	271(58.8)	105(22.8)	31(6.7)	53(11.5)	1(0.2)
	150(47.9)	92(29.4)	21(6.7)	49(15.7)	1(0.3)
画面	24(16.8)	57(39.9)	18(12.6)	23(16.1)	21(14.7)
	9(17.0)	21(39.6)	8(15.1)	13(24.5)	2(3.8)

品 詞	体	用	相	他	不明
音声	245(53.1)	65(14.1)	69(15.0)	82(17.8)	0(0.0)
	199(63.6)	51(16.3)	41(13.1)	22(7.0)	0(0.0)
画面	110(76.9)	8(5.6)	4(2.8)	0(0.0)	21(14.7)
	48(90.6)	2(3.8)	1(1.9)	0(0.0)	2(3.8)

画面媒体(延/異)　1: 121/44 2: 0/ 0 3: 1/ 1 4: 21/1

放送年月日	1989年4月4日(火)
採録時刻	07:05〜07:10
チャンネル	6(ＴＢＳ)
ジャンル	一般実用系
本編秒数	300
番組分数	90
視聴率１	4.6
視聴率２	43.3
本編話者数	8
	(男: 4 女: 3 不明: 1)

標本:００１１　番組名:「第６１回選抜高校野球大会」

語 数	延べ	異なり	語の密度	延べ	異なり	CM語数	延べ	異なり
音声	378	197	音声	75.6	39.4	音声	-	-
画面	152	24	画面	30.4	4.8	画面	-	-

語 種	和	漢	外	混	不明
音声	219(57.9)	58(15.3)	56(14.8)	42(11.1)	3(0.8)
	96(48.7)	43(21.8)	25(12.7)	32(16.2)	1(0.5)
画面	0(0.0)	86(56.6)	37(24.3)	16(10.5)	13(8.6)
	0(0.0)	12(50.0)	4(16.7)	4(16.7)	4(16.7)

品 詞	体	用	相	他	不明
音声	208(55.0)	70(18.5)	49(13.0)	51(13.5)	0(0.0)
	120(60.9)	41(20.8)	23(11.7)	13(6.6)	0(0.0)
画面	140(92.1)	0(0.0)	0(0.0)	0(0.0)	12(7.9)
	21(87.5)	0(0.0)	0(0.0)	0(0.0)	3(12.5)

画面媒体(延/異)　1: 134/21 2: 0/ 0 3: 0/ 0 4: 18/ 5

放送年月日	1989年4月4日(火)
採録時刻	12:35〜12:40
チャンネル	3(ＮＨＫ教育)
ジャンル	スポーツ系
本編秒数	300
番組分数	70
視聴率１	5.4
視聴率２	43.6
本編話者数	4
	(男: 3 女: 1 不明: 0)

標本:００１２　番組名:「ＮＨＫナイトニュース」

語 数	延べ	異なり	語の密度	延べ	異なり	CM語数	延べ	異なり
音声	343	234	音声	68.6	46.8	音声	-	-
画面	27	24	画面	5.4	4.8	画面	-	-

語 種	和	漢	外	混	不明
音声	161(46.9)	92(26.8)	35(10.2)	55(16.0)	0(0.0)
	94(40.2)	76(32.5)	20(8.5)	44(18.8)	0(0.0)
画面	2(7.4)	10(37.0)	3(11.1)	8(29.6)	4(14.8)
	2(8.3)	8(33.3)	3(12.5)	7(29.2)	4(16.7)

品 詞	体	用	相	他	不明
音声	201(58.6)	71(20.7)	37(10.8)	34(9.9)	0(0.0)
	142(60.7)	55(23.5)	27(11.5)	10(4.3)	0(0.0)
画面	21(77.8)	2(7.4)	0(0.0)	0(0.0)	4(14.8)
	18(75.0)	2(8.3)	0(0.0)	0(0.0)	4(16.7)

画面媒体(延/異)　1: 24/23 2: 0/ 0 3: 3/ 1 4: 0/ 0

放送年月日	1989年4月4日(火)
採録時刻	23:40〜23:45
チャンネル	1(ＮＨＫ総合)
ジャンル	報道系
本編秒数	300
番組分数	23
視聴率１	1.6
視聴率２	28.7
本編話者数	1
	(男: 1 女: 0 不明: 0)

標本:００１３　番組名:「ドラマ・女たちの狂騒曲」

語数	延べ	異なり	語の密度	延べ	異なり	CM語数	延べ	異なり
音声	175	111	音声	35.0	22.2	音声	-	-
画面	13	13	画面	2.6	2.6	画面	-	-

語種	和	漢	外	混	不明
音声	151(86.3)	17(9.7)	3(1.7)	4(2.3)	0(0.0)
	90(81.1)	15(13.5)	2(1.8)	4(3.6)	0(0.0)
画面	1(7.7)	11(84.6)	1(7.7)	0(0.0)	0(0.0)
	1(7.7)	11(84.6)	1(7.7)	0(0.0)	0(0.0)

品詞	体	用	相	他	不明
音声	84(48.0)	59(33.7)	24(13.7)	8(4.6)	0(0.0)
	52(46.8)	32(28.8)	21(18.9)	6(5.4)	0(0.0)
画面	13(100.0)	0(0.0)	0(0.0)	0(0.0)	0(0.0)
	13(100.0)	0(0.0)	0(0.0)	0(0.0)	0(0.0)

画面媒体(延/異)	1: 0/ 0	2: 0/ 0	3: 0/ 0	4: 13/13

放送年月日	1989年4月4日(火)
採録時刻	04:20〜04:25
チャンネル	8(フジテレビ)
ジャンル	ストーリー系
本編秒数	300
番組分数	105
視聴率１	1.0
視聴率２	2.8
本編話者数	4
	(男: 1 女: 3 不明: 0)

標本:００１４　番組名:「ワイドショー・ルックルックこんにちは」

語数	延べ	異なり	語の密度	延べ	異なり	CM語数	延べ	異なり
音声	344	196	音声	73.5	41.9	音声	21	18
画面	97	44	画面	20.7	9.4	画面	27	20

語種	和	漢	外	混	不明
音声	261(75.9)	51(14.8)	2(0.6)	30(8.7)	0(0.0)
	132(67.3)	40(20.4)	2(1.0)	22(11.2)	0(0.0)
画面	27(27.8)	39(40.2)	6(6.2)	18(18.6)	7(7.2)
	11(25.0)	16(36.4)	3(6.8)	8(18.2)	6(13.6)

品詞	体	用	相	他	不明
音声	159(46.2)	64(18.6)	49(14.2)	72(20.9)	0(0.0)
	105(53.6)	39(19.9)	30(15.3)	22(11.2)	0(0.0)
画面	88(90.7)	1(1.0)	0(0.0)	1(1.0)	7(7.2)
	36(81.8)	1(2.3)	0(0.0)	1(2.3)	6(13.6)

画面媒体(延/異)	1: 14/13	2: 64/21	3: 0/ 0	4: 19/10

放送年月日	1989年4月5日(水)
採録時刻	09:30〜09:35
チャンネル	4(日本テレビ)
ジャンル	一般実用系
本編秒数	281
番組分数	90
視聴率１	12.7
視聴率２	42.8
本編話者数	9
	(男: 5 女: 4 不明: 0)

標本:００１５　番組名:「おかあさんといっしょ」

語数	延べ	異なり	語の密度	延べ	異なり	CM語数	延べ	異なり
音声	158	78	音声	31.6	15.6	音声	-	-
画面	51	34	画面	10.2	6.8	画面	-	-

語種	和	漢	外	混	不明
音声	135(85.4)	9(5.7)	3(1.9)	11(7.0)	0(0.0)
	61(78.2)	8(10.3)	3(3.8)	6(7.7)	0(0.0)
画面	33(64.7)	12(23.5)	0(0.0)	2(3.9)	4(7.8)
	22(64.7)	8(23.5)	0(0.0)	2(5.9)	2(5.9)

品詞	体	用	相	他	不明
音声	73(46.2)	22(13.9)	47(29.7)	16(10.1)	0(0.0)
	43(55.1)	13(16.7)	15(19.2)	7(9.0)	0(0.0)
画面	32(62.7)	8(15.7)	8(15.7)	0(0.0)	3(5.9)
	24(70.6)	1(2.9)	8(23.5)	0(0.0)	1(2.9)

画面媒体(延/異)	1: 51/34	2: 0/ 0	3: 0/ 0	4: 0/ 0

放送年月日	1989年4月5日(水)
採録時刻	17:15〜17:20
チャンネル	3(ＮＨＫ教育)
ジャンル	一般実用系
本編秒数	300
番組分数	25
視聴率１	3.9
視聴率２	34.5
本編話者数	2
	(男: 1 女: 1 不明: 0)

標本:００１６　番組名:「春満開！！超人気ＮＥＷマンザイお笑スター総登場」

語 数	延べ	異なり	語の密度	延べ	異なり	ＣＭ語数	延べ	異なり
音声	545	205	音声	109.0	41.0	音声	-	-
画面	1	1	画面	0.2	0.2	画面	-	-

語 種	和	漢	外	混	不明
音声	430(78.9)	34(6.2)	50(9.2)	24(4.4)	7(1.3)
	141(68.8)	21(10.2)	20(9.8)	19(9.3)	4(2.0)
画面	0(0.0)	0(0.0)	0(0.0)	1(100.0)	0(0.0)
	0(0.0)	0(0.0)	0(0.0)	1(100.0)	0(0.0)

品 詞	体	用	相	他	不明
音声	223(40.9)	109(20.0)	78(14.3)	135(24.8)	0(0.0)
	92(44.9)	48(23.4)	35(17.1)	30(14.6)	0(0.0)
画面	1(100.0)	0(0.0)	0(0.0)	0(0.0)	0(0.0)
	1(100.0)	0(0.0)	0(0.0)	0(0.0)	0(0.0)

画面媒体(延/異)　1: 1/ 1　2: 0/ 0　3: 0/ 0　4: 0/ 0

放送年月日	1989年4月5日(水)
採録時刻	19:45～19:50
チャンネル	4(日本テレビ)
ジャンル	バラエティー系
本編秒数	300
番組分数	114
視聴率１	14.6
視聴率２	70.5
本編話者数	9
(男: 8 女: 1 不明: 0)	

標本:００１７　番組名:「ニュース最終版」

語 数	延べ	異なり	語の密度	延べ	異なり	ＣＭ語数	延べ	異なり
音声	341	149	音声	97.4	42.6	音声	61	52
画面	17	10	画面	4.9	2.9	画面	58	44

語 種	和	漢	外	混	不明
音声	235(68.9)	82(24.0)	2(0.6)	22(6.5)	0(0.0)
	81(54.4)	51(34.2)	2(1.3)	15(10.1)	0(0.0)
画面	4(23.5)	7(41.2)	1(5.9)	5(29.4)	0(0.0)
	2(20.0)	4(40.0)	1(10.0)	3(30.0)	0(0.0)

品 詞	体	用	相	他	不明
音声	143(41.9)	54(15.8)	66(19.4)	78(22.9)	0(0.0)
	78(52.3)	26(17.4)	26(17.4)	19(12.8)	0(0.0)
画面	13(76.5)	2(11.8)	2(11.8)	0(0.0)	0(0.0)
	8(80.0)	1(10.0)	1(10.0)	0(0.0)	0(0.0)

画面媒体(延/異)　1: 17/10　2: 0/ 0　3: 0/ 0　4: 0/ 0

放送年月日	1989年4月5日(水)
採録時刻	00:05～00:10
チャンネル	8(フジテレビ)
ジャンル	報道系
本編秒数	210
番組分数	90
視聴率１	4.2
視聴率２	23.4
本編話者数	2
(男: 2 女: 0 不明: 0)	

標本:００１８　番組名:「おかあさんの勉強室」

語 数	延べ	異なり	語の密度	延べ	異なり	ＣＭ語数	延べ	異なり
音声	458	222	音声	91.6	44.4	音声	-	-
画面	21	19	画面	4.2	3.8	画面	-	-

語 種	和	漢	外	混	不明
音声	323(70.5)	116(25.3)	1(0.2)	18(3.9)	0(0.0)
	131(59.0)	75(33.8)	1(0.5)	15(6.8)	0(0.0)
画面	5(23.8)	2(9.5)	2(9.5)	9(42.9)	3(14.3)
	5(26.3)	2(10.5)	2(10.5)	7(36.8)	3(15.8)

品 詞	体	用	相	他	不明
音声	222(48.5)	93(20.3)	93(20.3)	50(10.9)	0(0.0)
	118(53.2)	45(20.3)	41(18.5)	18(8.1)	0(0.0)
画面	18(85.7)	0(0.0)	0(0.0)	0(0.0)	3(14.3)
	16(84.2)	0(0.0)	0(0.0)	0(0.0)	3(15.8)

画面媒体(延/異)　1: 21/19　2: 0/ 0　3: 0/ 0　4: 0/ 0

放送年月日	1989年4月6日(木)
採録時刻	11:25～11:30
チャンネル	1(ＮＨＫ総合)
ジャンル	一般実用系
本編秒数	300
番組分数	25
視聴率１	5.5
視聴率２	23.3
本編話者数	5
(男: 1 女: 4 不明: 0)	

標本:００１９　番組名:「３年Ｂ組金八先生３」

語数	延べ	異なり	語の密度	延べ	異なり	CM語数	延べ	異なり
音声	371	217	音声	74.2	43.4	音声	-	-
画面	20	14	画面	4.0	2.8	画面	-	-

語種	和	漢	外	混	不明
音声	264(71.2)	78(21.0)	9(2.4)	19(5.1)	1(0.3)
	134(61.8)	56(25.8)	9(4.1)	17(7.8)	1(0.5)
画面	0(0.0)	11(55.0)	3(15.0)	3(15.0)	3(15.0)
	0(0.0)	7(50.0)	1(7.1)	3(21.4)	3(21.4)

品詞	体	用	相	他	不明
音声	174(46.9)	69(18.6)	73(19.7)	55(14.8)	0(0.0)
	114(52.5)	47(21.7)	36(16.6)	20(9.2)	0(0.0)
画面	17(85.0)	0(0.0)	0(0.0)	0(0.0)	3(15.0)
	11(78.6)	0(0.0)	0(0.0)	0(0.0)	3(21.4)

画面媒体(延/異)	1: 7/ 7	2: 0/ 0	3: 0/ 0	4: 13/ 7

放送年月日	1989年4月6日(木)
採録時刻	17:05〜17:10
チャンネル	6(ＴＢＳ)
ジャンル	ストーリー系
本編秒数	300
番組分数	60
視聴率１	8.7
視聴率２	29.1
本編話者数	17
(男: 10 女: 7 不明: 0)	

標本:００２０　番組名:「ワールド・ビジネスサテライト」

語数	延べ	異なり	語の密度	延べ	異なり	CM語数	延べ	異なり
音声	509	222	音声	101.8	44.4	音声	-	-
画面	67	47	画面	13.4	9.4	画面	-	-

語種	和	漢	外	混	不明
音声	355(69.7)	118(23.2)	13(2.6)	21(4.1)	2(0.4)
	114(51.4)	83(37.4)	8(3.6)	16(7.2)	1(0.5)
画面	5(7.5)	30(44.8)	2(3.0)	20(29.9)	10(14.9)
	3(6.4)	23(48.9)	2(4.3)	17(36.2)	2(4.3)

品詞	体	用	相	他	不明
音声	193(37.9)	68(13.4)	116(22.8)	130(25.5)	2(0.4)
	121(54.5)	36(16.2)	44(19.8)	20(9.0)	1(0.5)
画面	57(85.1)	0(0.0)	0(0.0)	0(0.0)	10(14.9)
	45(95.7)	0(0.0)	0(0.0)	0(0.0)	2(4.3)

画面媒体(延/異)	1: 6/ 6	2: 61/41	3: 0/ 0	4: 0/ 0

放送年月日	1989年4月6日(木)
採録時刻	23:55〜00:00
チャンネル	12(テレビ東京)
ジャンル	一般実用系
本編秒数	300
番組分数	45
視聴率１	0.5
視聴率２	24.7
本編話者数	4
(男: 3 女: 1 不明: 0)	

標本:００２１　番組名:「さわやかトゥディ」

語数	延べ	異なり	語の密度	延べ	異なり	CM語数	延べ	異なり
音声	374	214	音声	74.8	42.8	音声	-	-
画面	104	72	画面	20.8	14.4	画面	-	-

語種	和	漢	外	混	不明
音声	261(69.8)	64(17.1)	4(1.1)	45(12.0)	0(0.0)
	127(59.3)	53(24.8)	3(1.4)	31(14.5)	0(0.0)
画面	17(16.3)	33(31.7)	0(0.0)	19(18.3)	35(33.7)
	14(19.4)	29(40.3)	0(0.0)	16(22.2)	13(18.1)

品詞	体	用	相	他	不明
音声	160(42.8)	70(18.7)	58(15.5)	86(23.0)	0(0.0)
	113(52.8)	48(22.4)	35(16.4)	18(8.4)	0(0.0)
画面	61(58.7)	6(5.8)	2(1.9)	1(1.0)	34(32.7)
	53(73.6)	4(5.6)	2(2.8)	1(1.4)	12(16.7)

画面媒体(延/異)	1: 37/31	2: 44/28	3: 0/ 0	4: 23/16

放送年月日	1989年4月7日(金)
採録時刻	05:30〜05:35
チャンネル	10(テレビ朝日)
ジャンル	一般実用系
本編秒数	300
番組分数	30
視聴率１	0.5
視聴率２	3.8
本編話者数	3
(男: 1 女: 2 不明: 0)	

標本:００２２　番組名:「ＮＨＫ市民大学」

語 数	延べ	異なり	語の密度	延べ	異なり	ＣＭ語数	延べ	異なり
音声	397	203	音声	79.4	40.6	音声	－	－
画面	81	22	画面	16.2	4.4	画面	－	－

語 種	和	漢	外	混	不明
音声	319(80.4)	59(14.9)	1(0.3)	18(4.5)	0(0.0)
	145(71.4)	42(20.7)	1(0.5)	15(7.4)	0(0.0)
画面	81(100.0)	0(0.0)	0(0.0)	0(0.0)	0(0.0)
	22(100.0)	0(0.0)	0(0.0)	0(0.0)	0(0.0)

品 詞	体	用	相	他	不明
音声	193(48.6)	72(18.1)	62(15.6)	70(17.6)	0(0.0)
	108(53.2)	48(23.6)	32(15.8)	15(7.4)	0(0.0)
画面	49(60.5)	32(39.5)	0(0.0)	0(0.0)	0(0.0)
	16(72.7)	6(27.3)	0(0.0)	0(0.0)	0(0.0)

画面媒体(延/異)　1: 24/19　2: 57/21　3: 0/ 0　4: 0/ 0

放送年月日	1989年4月7日(金)
採録時刻	08:30～08:35
チャンネル	3(ＮＨＫ教育)
ジャンル	教育・教養系
本編秒数	300
番組分数	45
視聴率１	0.3
視聴率２	56.9
本編話者数	1
	(男: 1 女: 0 不明: 0)

標本:００２３　番組名:「医療最前線」

語 数	延べ	異なり	語の密度	延べ	異なり	ＣＭ語数	延べ	異なり
音声	167	132	音声	55.7	44.0	音声	109	70
画面	120	95	画面	40.0	31.7	画面	93	61

語 種	和	漢	外	混	不明
音声	90(53.9)	48(28.7)	9(5.4)	20(12.0)	0(0.0)
	65(49.2)	41(31.1)	9(6.8)	17(12.9)	0(0.0)
画面	26(21.7)	31(25.8)	10(8.3)	27(22.5)	26(21.7)
	22(23.2)	27(28.4)	9(9.5)	22(23.2)	15(15.8)

品 詞	体	用	相	他	不明
音声	100(59.9)	31(18.6)	29(17.4)	7(4.2)	0(0.0)
	78(59.1)	26(19.7)	22(16.7)	6(4.5)	0(0.0)
画面	91(75.8)	2(1.7)	1(0.8)	0(0.0)	26(21.7)
	77(81.1)	2(2.1)	1(1.1)	0(0.0)	15(15.8)

画面媒体(延/異)　1: 111/91　2: 7/ 7　3: 2/ 1　4: 0/ 0

放送年月日	1989年4月7日(金)
採録時刻	17:25～17:30
チャンネル	12(テレビ東京)
ジャンル	教育・教養系
本編秒数	180
番組分数	30
視聴率１	2.0
視聴率２	30.9
本編話者数	6
	(男: 6 女: 0 不明: 0)

標本:００２４　番組名:「ニュースステーション」

語 数	延べ	異なり	語の密度	延べ	異なり	ＣＭ語数	延べ	異なり
音声	198	155	音声	39.6	31.0	音声	－	－
画面	113	87	画面	22.6	17.4	画面	－	－

語 種	和	漢	外	混	不明
音声	120(60.6)	55(27.8)	11(5.6)	12(6.1)	0(0.0)
	87(56.1)	46(29.7)	10(6.5)	12(7.7)	0(0.0)
画面	50(44.2)	31(27.4)	12(10.6)	11(9.7)	9(8.0)
	42(48.3)	26(29.9)	6(6.9)	11(12.6)	2(2.3)

品 詞	体	用	相	他	不明
音声	125(63.1)	43(21.7)	27(13.6)	3(1.5)	0(0.0)
	96(61.9)	36(23.2)	20(12.9)	3(1.9)	0(0.0)
画面	70(61.9)	16(14.2)	15(13.3)	3(2.7)	9(8.0)
	54(62.1)	16(18.4)	14(16.1)	1(1.1)	2(2.3)

画面媒体(延/異)　1: 111/85　2: 0/ 0　3: 0/ 0　4: 2/ 2

放送年月日	1989年4月7日(金)
採録時刻	23:20～23:25
チャンネル	10(テレビ朝日)
ジャンル	報道系
本編秒数	300
番組分数	75
視聴率１	15.5
視聴率２	42.8
本編話者数	1
	(男: 1 女: 0 不明: 0)

標本:００２５　番組名:-

語数	延べ	異なり	語の密度	延べ	異なり	CM語数	延べ	異なり
音声	-	-	音声	-	-	音声	-	-
画面	-	-	画面	-	-	画面	-	-

語種	和	漢	外	混	不明
音声	-(-)	-(-)	-(-)	-(-)	-(-)
	-(-)	-(-)	-(-)	-(-)	-(-)
画面	-(-)	-(-)	-(-)	-(-)	-(-)
	-(-)	-(-)	-(-)	-(-)	-(-)

品詞	体	用	相	他	不明
音声	-(-)	-(-)	-(-)	-(-)	-(-)
	-(-)	-(-)	-(-)	-(-)	-(-)
画面	-(-)	-(-)	-(-)	-(-)	-(-)
	-(-)	-(-)	-(-)	-(-)	-(-)

画面媒体(延/異)	1: -/ -	2: -/ -	3: -/ -	4: -/ -

放送年月日	1989年4月7日(金)
採録時刻	04:45〜04:50
チャンネル	1(ＮＨＫ総合)
ジャンル	-
本編秒数	300
番組分数	-
視聴率１	-
視聴率２	-
本編話者数	-
(男: - 女: - 不明: -)	

標本:００２６　番組名:「第２回世界囲碁選手権富士通杯」

語数	延べ	異なり	語の密度	延べ	異なり	CM語数	延べ	異なり
音声	588	195	音声	117.6	39.0	音声	-	-
画面	44	25	画面	8.8	5.0	画面	-	-

語種	和	漢	外	混	不明
音声	511(86.9)	56(9.5)	2(0.3)	19(3.2)	0(0.0)
	144(73.8)	34(17.4)	2(1.0)	15(7.7)	0(0.0)
画面	2(4.5)	38(86.4)	0(0.0)	3(6.8)	1(2.3)
	1(4.0)	21(84.0)	0(0.0)	2(8.0)	1(4.0)

品詞	体	用	相	他	不明
音声	189(32.1)	124(21.1)	148(25.2)	127(21.6)	0(0.0)
	80(41.0)	56(28.7)	45(23.1)	14(7.2)	0(0.0)
画面	44(100.0)	0(0.0)	0(0.0)	0(0.0)	0(0.0)
	25(100.0)	0(0.0)	0(0.0)	0(0.0)	0(0.0)

画面媒体(延/異)	1: 1/ 1	2: 43/24	3: 0/ 0	4: 0/ 0

放送年月日	1989年4月8日(土)
採録時刻	09:00〜09:05
チャンネル	4(日本テレビ)
ジャンル	一般実用系
本編秒数	300
番組分数	55
視聴率１	1.0
視聴率２	47.3
本編話者数	4
(男: 2 女: 2 不明: 0)	

標本:００２７　番組名:「土曜ワイド・都会のタコツボ師」

語数	延べ	異なり	語の密度	延べ	異なり	CM語数	延べ	異なり
音声	78	65	音声	15.6	13.0	音声	-	-
画面	3	3	画面	0.6	0.6	画面	-	-

語種	和	漢	外	混	不明
音声	60(76.9)	13(16.7)	3(3.8)	2(2.6)	0(0.0)
	47(72.3)	13(20.0)	3(4.6)	2(3.1)	0(0.0)
画面	0(0.0)	2(66.7)	0(0.0)	1(33.3)	0(0.0)
	0(0.0)	2(66.7)	0(0.0)	1(33.3)	0(0.0)

品詞	体	用	相	他	不明
音声	31(39.7)	23(29.5)	14(17.9)	10(12.8)	0(0.0)
	28(43.1)	18(27.7)	12(18.5)	7(10.8)	0(0.0)
画面	3(100.0)	0(0.0)	0(0.0)	0(0.0)	0(0.0)
	3(100.0)	0(0.0)	0(0.0)	0(0.0)	0(0.0)

画面媒体(延/異)	1: 0/ 0	2: 0/ 0	3: 0/ 0	4: 3/ 3

放送年月日	1989年4月8日(土)
採録時刻	17:20〜17:25
チャンネル	8(フジテレビ)
ジャンル	ストーリー系
本編秒数	300
番組分数	114
視聴率１	14.4
視聴率２	44.6
本編話者数	5
(男: 5 女: 0 不明: 0)	

標本:００２８　番組名:「世界・ふしぎ発見！」

語 数	延べ	異なり	語の密度	延べ	異なり	CM語数	延べ	異なり
音声	354	222	音声	70.8	44.4	音声	-	-
画面	108	75	画面	21.6	15.0	画面	-	-

語 種	和	漢	外	混	不明
音声	230(65.0)	70(19.8)	31(8.8)	23(6.5)	0(0.0)
	135(60.8)	50(22.5)	19(8.6)	18(8.1)	0(0.0)
画面	9(8.3)	25(23.1)	21(19.4)	17(15.7)	36(33.3)
	9(12.0)	23(30.7)	18(24.0)	16(21.3)	9(12.0)
品 詞	体	用	相	他	不明
音声	189(53.4)	67(18.9)	67(18.9)	31(8.8)	0(0.0)
	122(55.0)	40(18.0)	41(18.5)	19(8.6)	0(0.0)
画面	66(61.1)	2(1.9)	4(3.7)	0(0.0)	36(33.3)
	60(80.0)	2(2.7)	4(5.3)	0(0.0)	9(12.0)
画面媒体(延/異)	1: 39/38	2: 69/40	3: 0/ 0	4: 0/ 0	

放送年月日	1989年4月8日(土)
採録時刻	21:15〜21:20
チャンネル	6(ＴＢＳ)
ジャンル	バラエティー系
本編秒数	300
番組分数	54
視聴率１	12.7
視聴率２	74.0
本編話者数	9
(男: 6 女: 3 不明: 0)	

標本:００２９　番組名:「大雨情報」

語 数	延べ	異なり	語の密度	延べ	異なり	CM語数	延べ	異なり
音声	222	80	音声	44.4	16.0	音声	-	-
画面	50	15	画面	10.0	3.0	画面	-	-

語 種	和	漢	外	混	不明
音声	128(57.7)	63(28.4)	1(0.5)	30(13.5)	0(0.0)
	40(50.0)	25(31.3)	1(1.3)	14(17.5)	0(0.0)
画面	7(14.0)	18(36.0)	0(0.0)	18(36.0)	7(14.0)
	2(13.3)	5(33.3)	0(0.0)	7(46.7)	1(6.7)
品 詞	体	用	相	他	不明
音声	126(56.8)	48(21.6)	20(9.0)	28(12.6)	0(0.0)
	49(61.3)	18(22.5)	7(8.8)	6(7.5)	0(0.0)
画面	43(86.0)	0(0.0)	0(0.0)	0(0.0)	7(14.0)
	14(93.3)	0(0.0)	0(0.0)	0(0.0)	1(6.7)
画面媒体(延/異)	1: 50/15	2: 0/ 0	3: 0/ 0	4: 0/ 0	

放送年月日	1989年4月8日(土)
採録時刻	01:00〜01:05
チャンネル	1(ＮＨＫ総合)
ジャンル	報道系
本編秒数	300
番組分数	86
視聴率１	0.3
視聴率２	19.9
本編話者数	1
(男: 1 女: 0 不明: 0)	

標本:００３０　番組名:「日曜囲碁対局」

語 数	延べ	異なり	語の密度	延べ	異なり	CM語数	延べ	異なり
音声	213	131	音声	60.6	37.3	音声	53	41
画面	117	77	画面	33.3	21.9	画面	32	26

語 種	和	漢	外	混	不明
音声	123(57.7)	45(21.1)	6(2.8)	39(18.3)	0(0.0)
	55(42.0)	36(27.5)	5(3.8)	35(26.7)	0(0.0)
画面	14(12.0)	55(47.0)	4(3.4)	37(31.6)	7(6.0)
	11(14.3)	33(42.9)	4(5.2)	25(32.5)	4(5.2)
品 詞	体	用	相	他	不明
音声	98(46.0)	41(19.2)	27(12.7)	47(22.1)	0(0.0)
	82(62.6)	22(16.8)	17(13.0)	10(7.6)	0(0.0)
画面	113(96.6)	0(0.0)	0(0.0)	0(0.0)	4(3.4)
	75(97.4)	0(0.0)	0(0.0)	0(0.0)	2(2.6)
画面媒体(延/異)	1: 60/43	2: 57/36	3: 0/ 0	4: 0/ 0	

放送年月日	1989年4月9日(日)
採録時刻	07:15〜07:20
チャンネル	12(テレビ東京)
ジャンル	一般実用系
本編秒数	211
番組分数	45
視聴率１	1.8
視聴率２	26.8
本編話者数	4
(男: 1 女: 3 不明: 0)	

標本:００３１　番組名:「歌謡びんびんハウス」

語数	延べ	異なり	語の密度	延べ	異なり	CM語数	延べ	異なり
音声	139	94	音声	39.5	26.7	音声	72	54
画面	29	27	画面	8.2	7.7	画面	97	73

語種	和	漢	外	混	不明
音声	115(82.7)	10(7.2)	5(3.6)	9(6.5)	0(0.0)
	75(79.8)	10(10.6)	3(3.2)	6(6.4)	0(0.0)
画面	9(31.0)	3(10.3)	4(13.8)	8(27.6)	5(17.2)
	8(29.6)	3(11.1)	3(11.1)	8(29.6)	5(18.5)
品詞	体	用	相	他	不明
音声	69(49.6)	34(24.5)	14(10.1)	22(15.8)	0(0.0)
	46(48.9)	23(24.5)	12(12.8)	13(13.8)	0(0.0)
画面	19(65.5)	4(13.8)	1(3.4)	0(0.0)	5(17.2)
	18(66.7)	3(11.1)	1(3.7)	0(0.0)	5(18.5)

画面媒体(延/異)　1: 17/17　2: 12/11　3: 0/ 0　4: 0/ 0

放送年月日	1989年4月9日(日)
採録時刻	14:10〜14:15
チャンネル	10(テレビ朝日)
ジャンル	音楽系
本編秒数	211
番組分数	70
視聴率１	6.8
視聴率２	41.6
本編話者数	7
	(男: 5 女: 2 不明: 0)

標本:００３２　番組名:「日曜劇場・日曜日には麻雀を」

語数	延べ	異なり	語の密度	延べ	異なり	CM語数	延べ	異なり
音声	100	86	音声	20.0	17.2	音声	-	-
画面	56	36	画面	11.2	7.2	画面	-	-

語種	和	漢	外	混	不明
音声	41(41.0)	31(31.0)	4(4.0)	23(23.0)	1(1.0)
	35(40.7)	28(32.6)	2(2.3)	20(23.3)	1(1.2)
画面	16(28.6)	16(28.6)	0(0.0)	11(19.6)	13(23.2)
	13(36.1)	13(36.1)	0(0.0)	7(19.4)	3(8.3)
品詞	体	用	相	他	不明
音声	67(67.0)	22(22.0)	9(9.0)	2(2.0)	0(0.0)
	55(64.0)	21(24.4)	8(9.3)	2(2.3)	0(0.0)
画面	31(55.4)	7(12.5)	7(12.5)	0(0.0)	11(19.6)
	22(61.1)	6(16.7)	6(16.7)	0(0.0)	2(5.6)

画面媒体(延/異)　1: 0/ 0　2: 0/ 0　3: 0/ 0　4: 56/36

放送年月日	1989年4月9日(日)
採録時刻	21:45〜21:50
チャンネル	6(ＴＢＳ)
ジャンル	ストーリー系
本編秒数	300
番組分数	54
視聴率１	15.7
視聴率２	73.6
本編話者数	1
	(男: 1 女: 0 不明: 0)

標本:００３３　番組名:-

語数	延べ	異なり	語の密度	延べ	異なり	CM語数	延べ	異なり
音声	-	-	音声	-	-	音声	-	-
画面	-	-	画面	-	-	画面	-	-

語種	和	漢	外	混	不明
音声	-(-)	-(-)	-(-)	-(-)	-(-)
	-(-)	-(-)	-(-)	-(-)	-(-)
画面	-(-)	-(-)	-(-)	-(-)	-(-)
	-(-)	-(-)	-(-)	-(-)	-(-)
品詞	体	用	相	他	不明
音声	-(-)	-(-)	-(-)	-(-)	-(-)
	-(-)	-(-)	-(-)	-(-)	-(-)
画面	-(-)	-(-)	-(-)	-(-)	-(-)
	-(-)	-(-)	-(-)	-(-)	-(-)

画面媒体(延/異)　1: -/ -　2: -/ -　3: -/ -　4: -/ -

放送年月日	1989年4月9日(日)
採録時刻	03:50〜03:55
チャンネル	8(フジテレビ)
ジャンル	-
本編秒数	300
番組分数	-
視聴率１	-
視聴率２	-
本編話者数	-
	(男: - 女: - 不明: -)

標本:００３４　番組名:「高等学校講座」

語 数	延べ	異なり	語の密度	延べ	異なり	CM語数	延べ	異なり
音声	294	125	音声	58.8	25.0	音声	-	-
画面	16	14	画面	3.2	2.8	画面	-	-

語 種	和	漢	外	混	不明
音声	212(72.1)	68(23.1)	7(2.4)	7(2.4)	0(0.0)
	87(69.6)	31(24.8)	3(2.4)	4(3.2)	0(0.0)
画面	2(12.5)	10(62.5)	1(6.3)	1(6.3)	2(12.5)
	2(14.3)	8(57.1)	1(7.1)	1(7.1)	2(14.3)

品 詞	体	用	相	他	不明
音声	130(44.2)	86(29.3)	61(20.7)	17(5.8)	0(0.0)
	55(44.0)	30(24.0)	28(22.4)	12(9.6)	0(0.0)
画面	15(93.8)	0(0.0)	0(0.0)	0(0.0)	1(6.3)
	13(92.9)	0(0.0)	0(0.0)	0(0.0)	1(7.1)

画面媒体(延/異)　1: 9/ 9　2: 7/ 7　3: 0/ 0　4: 0/ 0

放送年月日	1989年4月10日(月)
採録時刻	06:00〜06:05
チャンネル	3(ＮＨＫ教育)
ジャンル	教育・教養系
本編秒数	300
番組分数	30
視聴率１	0.3
視聴率２	16.8
本編話者数	1
(男: 1 女: 0 不明: 0)	

標本:００３５　番組名:「おもいッきりテレビ」

語 数	延べ	異なり	語の密度	延べ	異なり	CM語数	延べ	異なり
音声	204	155	音声	68.4	52.0	音声	53	50
画面	96	74	画面	32.2	24.8	画面	29	21

語 種	和	漢	外	混	不明
音声	107(52.5)	65(31.9)	5(2.5)	27(13.2)	0(0.0)
	68(43.9)	55(35.5)	5(3.2)	27(17.4)	0(0.0)
画面	11(11.5)	40(41.7)	1(1.0)	27(28.1)	17(17.7)
	9(12.2)	35(47.3)	1(1.4)	22(29.7)	7(9.5)

品 詞	体	用	相	他	不明
音声	120(58.8)	35(17.2)	23(11.3)	26(12.7)	0(0.0)
	103(66.5)	24(15.5)	20(12.9)	8(5.2)	0(0.0)
画面	72(75.0)	4(4.2)	3(3.1)	0(0.0)	17(17.7)
	61(82.4)	3(4.1)	3(4.1)	0(0.0)	7(9.5)

画面媒体(延/異)　1: 45/37　2: 22/17　3: 0/ 0　4: 29/28

放送年月日	1989年4月10日(月)
採録時刻	13:15〜13:20
チャンネル	4(日本テレビ)
ジャンル	バラエティー系
本編秒数	179
番組分数	115
視聴率１	5.5
視聴率２	36.4
本編話者数	6
(男: 3 女: 3 不明: 0)	

標本:００３６　番組名:「開局２５周年記念ドラマスペシャル・大風呂敷」

語 数	延べ	異なり	語の密度	延べ	異なり	CM語数	延べ	異なり
音声	342	217	音声	68.4	43.4	音声	-	-
画面	49	38	画面	9.8	7.6	画面	-	-

語 種	和	漢	外	混	不明
音声	179(52.3)	115(33.6)	6(1.8)	42(12.3)	0(0.0)
	97(44.7)	82(37.8)	5(2.3)	33(15.2)	0(0.0)
画面	6(12.2)	22(44.9)	2(4.1)	11(22.4)	8(16.3)
	6(15.8)	18(47.4)	2(5.3)	10(26.3)	2(5.3)

品 詞	体	用	相	他	不明
音声	196(57.3)	72(21.1)	41(12.0)	33(9.6)	0(0.0)
	119(54.8)	55(25.3)	28(12.9)	15(6.9)	0(0.0)
画面	31(63.3)	6(12.2)	4(8.2)	0(0.0)	8(16.3)
	26(68.4)	6(15.8)	4(10.5)	0(0.0)	2(5.3)

画面媒体(延/異)　1: 8/ 8　2: 0/ 0　3: 0/ 0　4: 41/32

放送年月日	1989年4月10日(月)
採録時刻	22:25〜22:30
チャンネル	12(テレビ東京)
ジャンル	ストーリー系
本編秒数	300
番組分数	171
視聴率１	13.0
視聴率２	69.0
本編話者数	11
(男: 11 女: 0 不明: 0)	

標本:００３７　番組名:「ノーカット世界名作劇場ポーランド映画傑作選・灰とダイヤモンド」

語数	延べ	異なり	語の密度	延べ	異なり	CM語数	延べ	異なり
音声	0	0	音声	0.0	0.0	音声	-	-
画面	70	59	画面	14.0	11.8	画面	-	-

語種	和	漢	外	混	不明
音声	0(0.0)	0(0.0)	0(0.0)	0(0.0)	0(0.0)
	0(0.0)	0(0.0)	0(0.0)	0(0.0)	0(0.0)
画面	31(44.3)	22(31.4)	4(5.7)	4(5.7)	9(12.9)
	27(45.8)	19(32.2)	4(6.8)	4(6.8)	5(8.5)

品詞	体	用	相	他	不明
音声	0(0.0)	0(0.0)	0(0.0)	0(0.0)	0(0.0)
	0(0.0)	0(0.0)	0(0.0)	0(0.0)	0(0.0)
画面	41(58.6)	8(11.4)	9(12.9)	3(4.3)	9(12.9)
	36(61.0)	8(13.6)	7(11.9)	3(5.1)	5(8.5)

画面媒体(延/異): 1: 70/59 2: 0/ 0 3: 0/ 0 4: 0/ 0

放送年月日	1989年4月10日(月)
採録時刻	04:10〜04:15
チャンネル	6(ＴＢＳ)
ジャンル	ストーリー系
本編秒数	300
番組分数	118
視聴率１	0.3
視聴率２	2.7
本編話者数	0
	(男: 0 女: 0 不明: 0)

標本:００３８　番組名:「ＮＮＮ昼のニュース」

語数	延べ	異なり	語の密度	延べ	異なり	CM語数	延べ	異なり
音声	274	205	音声	68.5	51.3	音声	57	51
画面	98	75	画面	24.5	18.8	画面	22	15

語種	和	漢	外	混	不明
音声	138(50.4)	89(32.5)	3(1.1)	44(16.1)	0(0.0)
	96(46.8)	70(34.1)	2(1.0)	37(18.0)	0(0.0)
画面	18(18.4)	31(31.6)	4(4.1)	20(20.4)	25(25.5)
	18(24.0)	28(37.3)	3(4.0)	19(25.3)	7(9.3)

品詞	体	用	相	他	不明
音声	173(63.1)	65(23.7)	27(9.9)	9(3.3)	0(0.0)
	133(64.9)	47(22.9)	19(9.3)	6(2.9)	0(0.0)
画面	67(68.4)	6(6.1)	0(0.0)	0(0.0)	25(25.5)
	62(82.7)	6(8.0)	0(0.0)	0(0.0)	7(9.3)

画面媒体(延/異): 1: 82/61 2: 16/14 3: 0/ 0 4: 0/ 0

放送年月日	1989年4月11日(火)
採録時刻	11:35〜11:40
チャンネル	4(日本テレビ)
ジャンル	報道系
本編秒数	240
番組分数	15
視聴率１	2.5
視聴率２	22.0
本編話者数	5
	(男: 4 女: 1 不明: 0)

標本:００３９　番組名:「欽どこＴＶ！！」

語数	延べ	異なり	語の密度	延べ	異なり	CM語数	延べ	異なり
音声	294	134	音声	84.0	38.3	音声	80	64
画面	122	50	画面	34.9	14.3	画面	65	55

語種	和	漢	外	混	不明
音声	265(90.1)	23(7.8)	1(0.3)	5(1.7)	0(0.0)
	117(87.3)	12(9.0)	1(0.7)	4(3.0)	0(0.0)
画面	56(45.9)	15(12.3)	2(1.6)	11(9.0)	38(31.1)
	21(42.0)	12(24.0)	2(4.0)	7(14.0)	8(16.0)

品詞	体	用	相	他	不明
音声	129(43.9)	50(17.0)	72(24.5)	43(14.6)	0(0.0)
	49(36.6)	24(17.9)	38(28.4)	23(17.2)	0(0.0)
画面	63(51.6)	12(9.8)	9(7.4)	0(0.0)	38(31.1)
	32(64.0)	7(14.0)	3(6.0)	0(0.0)	8(16.0)

画面媒体(延/異): 1: 39/32 2: 83/19 3: 0/ 0 4: 0/ 0

放送年月日	1989年4月11日(火)
採録時刻	12:20〜12:25
チャンネル	10(テレビ朝日)
ジャンル	バラエティー系
本編秒数	210
番組分数	55
視聴率１	2.8
視聴率２	37.8
本編話者数	7
	(男: 6 女: 1 不明: 0)

標本:００４０　番組名:「ＦＮＮスーパータイム」

語 数	延べ	異なり	語の密度	延べ	異なり	CM語数	延べ	異なり
音声	216	147	音声	61.7	42.0	音声	66	63
画面	53	44	画面	15.1	12.6	画面	68	48

語 種	和	漢	外	混	不明
音声	122(56.5)	25(11.6)	29(13.4)	40(18.5)	0(0.0)
	82(55.8)	22(15.0)	21(14.3)	22(15.0)	0(0.0)
画面	4(7.5)	20(37.7)	5(9.4)	9(17.0)	15(28.3)
	4(9.1)	18(40.9)	3(6.8)	8(18.2)	11(25.0)
品 詞	体	用	相	他	不明
音声	113(52.3)	40(18.5)	38(17.6)	25(11.6)	0(0.0)
	78(53.1)	29(19.7)	24(16.3)	16(10.9)	0(0.0)
画面	35(66.0)	1(1.9)	1(1.9)	1(1.9)	15(28.3)
	30(68.2)	1(2.3)	1(2.3)	1(2.3)	11(25.0)

画面媒体(延/異)　1: 53/44　2: 0/ 0　3: 0/ 0　4: 0/ 0

放送年月日	1989年4月11日(火)
採録時刻	18:45～18:50
チャンネル	8(フジテレビ)
ジャンル	報道系
本編秒数	210
番組分数	60
視聴率１	13.8
視聴率２	55.9
本編話者数	10
	(男: 6 女: 4 不明: 0)

標本:００４１　番組名:-

語 数	延べ	異なり	語の密度	延べ	異なり	CM語数	延べ	異なり
音声	-	-	音声	-	-	音声	-	-
画面	-	-	画面	-	-	画面	-	-

語 種	和	漢	外	混	不明
音声	-(-)	-(-)	-(-)	-(-)	-(-)
	-(-)	-(-)	-(-)	-(-)	-(-)
画面	-(-)	-(-)	-(-)	-(-)	-(-)
	-(-)	-(-)	-(-)	-(-)	-(-)
品 詞	体	用	相	他	不明
音声	-(-)	-(-)	-(-)	-(-)	-(-)
	-(-)	-(-)	-(-)	-(-)	-(-)
画面	-(-)	-(-)	-(-)	-(-)	-(-)
	-(-)	-(-)	-(-)	-(-)	-(-)

画面媒体(延/異)　1: -/ -　2: -/ -　3: -/ -　4: -/ -

放送年月日	1989年4月11日(火)
採録時刻	01:50～01:55
チャンネル	1(ＮＨＫ総合)
ジャンル	-
本編秒数	300
番組分数	-
視聴率１	-
視聴率２	-
本編話者数	-
	(男: - 女: - 不明: -)

標本:００４２　番組名:「理科教室小学校４年生」

語 数	延べ	異なり	語の密度	延べ	異なり	CM語数	延べ	異なり
音声	377	167	音声	75.4	33.4	音声	-	-
画面	6	4	画面	1.2	0.8	画面	-	-

語 種	和	漢	外	混	不明
音声	317(84.1)	25(6.6)	12(3.2)	23(6.1)	0(0.0)
	134(80.2)	20(12.0)	3(1.8)	10(6.0)	0(0.0)
画面	0(0.0)	0(0.0)	2(33.3)	4(66.7)	0(0.0)
	0(0.0)	0(0.0)	1(25.0)	3(75.0)	0(0.0)
品 詞	体	用	相	他	不明
音声	138(36.6)	74(19.6)	81(21.5)	84(22.3)	0(0.0)
	61(36.5)	40(24.0)	37(22.2)	29(17.4)	0(0.0)
画面	6(100.0)	0(0.0)	0(0.0)	0(0.0)	0(0.0)
	4(100.0)	0(0.0)	0(0.0)	0(0.0)	0(0.0)

画面媒体(延/異)　1: 3/ 3　2: 3/ 2　3: 0/ 0　4: 0/ 0

放送年月日	1989年4月12日(水)
採録時刻	11:30～11:35
チャンネル	3(ＮＨＫ教育)
ジャンル	教育・教養系
本編秒数	300
番組分数	15
視聴率１	1.7
視聴率２	19.7
本編話者数	3
	(男: 2 女: 0 不明: 1)

標本:００４３　番組名:「面白人間統計学！」

語数	延べ	異なり	語の密度	延べ	異なり	CM語数	延べ	異なり
音声	446	224	音声	92.6	46.5	音声	8	6
画面	44	40	画面	9.1	8.3	画面	23	18

語種	和	漢	外	混	不明
音声	314(70.4)	87(19.5)	5(1.1)	40(9.0)	0(0.0)
	134(59.8)	61(27.2)	4(1.8)	25(11.2)	0(0.0)
画面	9(20.5)	12(27.3)	0(0.0)	16(36.4)	7(15.9)
	9(22.5)	11(27.5)	0(0.0)	15(37.5)	5(12.5)

品詞	体	用	相	他	不明
音声	194(43.5)	79(17.7)	84(18.8)	89(20.0)	0(0.0)
	119(53.1)	40(17.9)	42(18.8)	23(10.3)	0(0.0)
画面	40(90.9)	0(0.0)	0(0.0)	0(0.0)	4(9.1)
	38(95.0)	0(0.0)	0(0.0)	0(0.0)	2(5.0)

画面媒体(延/異)	1: 14/11	2: 29/28	3: 0/ 0	4: 1/ 1

放送年月日	1989年4月12日(水)
採録時刻	17:30〜17:35
チャンネル	8(フジテレビ)
ジャンル	バラエティー系
本編秒数	289
番組分数	85
視聴率１	4.8
視聴率２	35.3
本編話者数	19
	(男: 8 女: 10 不明: 1)

標本:００４４　番組名:「きょうの料理」

語数	延べ	異なり	語の密度	延べ	異なり	CM語数	延べ	異なり
音声	609	206	音声	121.8	41.2	音声	-	-
画面	9	9	画面	1.8	1.8	画面	-	-

語種	和	漢	外	混	不明
音声	497(81.6)	71(11.7)	21(3.4)	19(3.1)	1(0.2)
	146(70.9)	38(18.4)	8(3.9)	13(6.3)	1(0.5)
画面	3(33.3)	4(44.4)	0(0.0)	2(22.2)	0(0.0)
	3(33.3)	4(44.4)	0(0.0)	2(22.2)	0(0.0)

品詞	体	用	相	他	不明
音声	205(33.7)	94(15.4)	133(21.8)	177(29.1)	0(0.0)
	91(44.2)	51(24.8)	46(22.3)	18(8.7)	0(0.0)
画面	8(88.9)	0(0.0)	1(11.1)	0(0.0)	0(0.0)
	8(88.9)	0(0.0)	1(11.1)	0(0.0)	0(0.0)

画面媒体(延/異)	1: 7/ 7	2: 0/ 0	3: 2/ 2	4: 0/ 0

放送年月日	1989年4月12日(水)
採録時刻	21:05〜21:10
チャンネル	3(ＮＨＫ教育)
ジャンル	一般実用系
本編秒数	300
番組分数	25
視聴率１	0.5
視聴率２	77.6
本編話者数	3
	(男: 2 女: 1 不明: 0)

標本:００４５　番組名:-

語数	延べ	異なり	語の密度	延べ	異なり	CM語数	延べ	異なり
音声	-	-	音声	-	-	音声	-	-
画面	-	-	画面	-	-	画面	-	-

語種	和	漢	外	混	不明
音声	-(-)	-(-)	-(-)	-(-)	-(-)
	-(-)	-(-)	-(-)	-(-)	-(-)
画面	-(-)	-(-)	-(-)	-(-)	-(-)
	-(-)	-(-)	-(-)	-(-)	-(-)

品詞	体	用	相	他	不明
音声	-(-)	-(-)	-(-)	-(-)	-(-)
	-(-)	-(-)	-(-)	-(-)	-(-)
画面	-(-)	-(-)	-(-)	-(-)	-(-)
	-(-)	-(-)	-(-)	-(-)	-(-)

画面媒体(延/異)	1: -/ -	2: -/ -	3: -/ -	4: -/ -

放送年月日	1989年4月13日(木)
採録時刻	05:45〜05:50
チャンネル	1(ＮＨＫ総合)
ジャンル	-
本編秒数	300
番組分数	-
視聴率１	-
視聴率２	-
本編話者数	-
	(男: - 女: - 不明: -)

標本:００４６　番組名:「朝の連続ドラマ・花ちりめん」

語 数	延べ	異なり	語の密度	延べ	異なり	CM語数	延べ	異なり
音声	145	86	音声	36.3	21.5	音声	51	42
画面	2	2	画面	0.5	0.5	画面	37	27

語 種	和	漢	外	混	不明
音声	121(83.4)	15(10.3)	0(0.0)	9(6.2)	0(0.0)
	70(81.4)	11(12.8)	0(0.0)	5(5.8)	0(0.0)
画面	0(0.0)	1(50.0)	0(0.0)	0(0.0)	1(50.0)
	0(0.0)	1(50.0)	0(0.0)	0(0.0)	1(50.0)
品 詞	体	用	相	他	不明
音声	66(45.5)	42(29.0)	27(18.6)	10(6.9)	0(0.0)
	38(44.2)	27(31.4)	13(15.1)	8(9.3)	0(0.0)
画面	1(50.0)	0(0.0)	0(0.0)	0(0.0)	1(50.0)
	1(50.0)	0(0.0)	0(0.0)	0(0.0)	1(50.0)
画面媒体(延/異)	1: 1/ 1	2: 0/ 0	3: 0/ 0	4: 1/ 1	

放送年月日	1989年4月13日(木)
採録時刻	10:10～10:15
チャンネル	4(日本テレビ)
ジャンル	ストーリー系
本編秒数	240
番組分数	25
視聴率1	6.2
視聴率2	20.2
本編話者数	5
	(男: 4 女: 1 不明: 0)

標本:００４７　番組名:「３年Ｂ組金八先生３」

語 数	延べ	異なり	語の密度	延べ	異なり	CM語数	延べ	異なり
音声	61	43	音声	22.2	15.6	音声	83	69
画面	114	105	画面	41.5	38.2	画面	113	81

語 種	和	漢	外	混	不明
音声	42(68.9)	7(11.5)	1(1.6)	11(18.0)	0(0.0)
	32(74.4)	6(14.0)	1(2.3)	4(9.3)	0(0.0)
画面	30(26.3)	34(29.8)	9(7.9)	29(25.4)	12(10.5)
	28(26.7)	32(30.5)	9(8.6)	26(24.8)	10(9.5)
品 詞	体	用	相	他	不明
音声	28(45.9)	20(32.8)	7(11.5)	6(9.8)	0(0.0)
	24(55.8)	11(25.6)	6(14.0)	2(4.7)	0(0.0)
画面	108(94.7)	0(0.0)	2(1.8)	0(0.0)	4(3.5)
	102(97.1)	0(0.0)	1(1.0)	0(0.0)	2(1.9)
画面媒体(延/異)	1: 114/105	2: 0/ 0	3: 0/ 0	4: 0/ 0	

放送年月日	1989年4月13日(木)
採録時刻	17:00～17:05
チャンネル	6(ＴＢＳ)
ジャンル	ストーリー系
本編秒数	165
番組分数	60
視聴率1	7.3
視聴率2	23.6
本編話者数	3
	(男: 1 女: 2 不明: 0)

標本:００４８　番組名:「ニュースステーション」

語 数	延べ	異なり	語の密度	延べ	異なり	CM語数	延べ	異なり
音声	256	177	音声	78.8	54.5	音声	70	62
画面	37	37	画面	11.4	11.4	画面	90	64

語 種	和	漢	外	混	不明
音声	127(49.6)	91(35.5)	11(4.3)	27(10.5)	0(0.0)
	82(46.3)	66(37.3)	6(3.4)	23(13.0)	0(0.0)
画面	18(48.6)	7(18.9)	2(5.4)	8(21.6)	2(5.4)
	18(48.6)	7(18.9)	2(5.4)	8(21.6)	2(5.4)
品 詞	体	用	相	他	不明
音声	161(62.9)	53(20.7)	16(6.3)	26(10.2)	0(0.0)
	116(65.5)	37(20.9)	15(8.5)	9(5.1)	0(0.0)
画面	27(73.0)	7(18.9)	1(2.7)	0(0.0)	2(5.4)
	27(73.0)	7(18.9)	1(2.7)	0(0.0)	2(5.4)
画面媒体(延/異)	1: 37/37	2: 0/ 0	3: 0/ 0	4: 0/ 0	

放送年月日	1989年4月13日(木)
採録時刻	22:45～22:50
チャンネル	10(テレビ朝日)
ジャンル	報道系
本編秒数	195
番組分数	78
視聴率1	12.3
視聴率2	67.5
本編話者数	3
	(男: 2 女: 1 不明: 0)

標本:００４９　番組名:「ＭＡＬＴＡでナイト」

語数	延べ	異なり	語の密度	延べ	異なり	CM語数	延べ	異なり
音声	48	35	音声	9.6	7.0	音声	-	-
画面	1	1	画面	0.2	0.2	画面	-	-

語種	和	漢	外	混	不明
音声	36(75.0)	6(12.5)	5(10.4)	1(2.1)	0(0.0)
	25(71.4)	4(11.4)	5(14.3)	1(2.9)	0(0.0)
画面	0(0.0)	0(0.0)	1(100.0)	0(0.0)	0(0.0)
	0(0.0)	0(0.0)	1(100.0)	0(0.0)	0(0.0)

品詞	体	用	相	他	不明
音声	18(37.5)	2(4.2)	12(25.0)	16(33.3)	0(0.0)
	15(42.9)	2(5.7)	9(25.7)	9(25.7)	0(0.0)
画面	1(100.0)	0(0.0)	0(0.0)	0(0.0)	0(0.0)
	1(100.0)	0(0.0)	0(0.0)	0(0.0)	0(0.0)

画面媒体(延/異)　1: 1/ 1　2: 0/ 0　3: 0/ 0　4: 0/ 0

放送年月日	1989年4月13日(木)
採録時刻	00:45〜00:50
チャンネル	12(テレビ東京)
ジャンル	音楽系
本編秒数	300
番組分数	30
視聴率１	0.7
視聴率２	12.1
本編話者数	5
(男: 3 女: 2 不明: 0)	

標本:００５０　番組名:「うたって・ゴー」

語数	延べ	異なり	語の密度	延べ	異なり	CM語数	延べ	異なり
音声	203	97	音声	40.6	19.4	音声	-	-
画面	112	77	画面	22.4	15.4	画面	-	-

語種	和	漢	外	混	不明
音声	138(68.0)	13(6.4)	46(22.7)	5(2.5)	1(0.5)
	69(71.1)	11(11.3)	12(12.4)	4(4.1)	1(1.0)
画面	65(58.0)	15(13.4)	10(8.9)	8(7.1)	14(12.5)
	40(51.9)	12(15.6)	10(13.0)	8(10.4)	7(9.1)

品詞	体	用	相	他	不明
音声	142(70.0)	29(14.3)	13(6.4)	19(9.4)	0(0.0)
	60(61.9)	14(14.4)	11(11.3)	12(12.4)	0(0.0)
画面	80(71.4)	11(9.8)	2(1.8)	8(7.1)	11(9.8)
	59(76.6)	5(6.5)	2(2.6)	7(9.1)	4(5.2)

画面媒体(延/異)　1: 112/77　2: 0/ 0　3: 0/ 0　4: 0/ 0

放送年月日	1989年4月14日(金)
採録時刻	09:40〜09:45
チャンネル	3(ＮＨＫ教育)
ジャンル	教育・教養系
本編秒数	300
番組分数	15
視聴率１	0.7
視聴率２	25.3
本編話者数	3
(男: 2 女: 1 不明: 0)	

標本:００５１　番組名:「幸せのとなり」

語数	延べ	異なり	語の密度	延べ	異なり	CM語数	延べ	異なり
音声	196	122	音声	39.2	24.4	音声	-	-
画面	62	51	画面	12.4	10.2	画面	-	-

語種	和	漢	外	混	不明
音声	158(80.6)	26(13.3)	3(1.5)	9(4.6)	0(0.0)
	88(72.1)	24(19.7)	2(1.6)	8(6.6)	0(0.0)
画面	20(32.3)	14(22.6)	1(1.6)	9(14.5)	18(29.0)
	20(39.2)	14(27.5)	1(2.0)	9(17.6)	7(13.7)

品詞	体	用	相	他	不明
音声	101(51.5)	60(30.6)	27(13.8)	8(4.1)	0(0.0)
	65(53.3)	33(27.0)	18(14.8)	6(4.9)	0(0.0)
画面	48(77.4)	0(0.0)	0(0.0)	0(0.0)	14(22.6)
	48(94.1)	0(0.0)	0(0.0)	0(0.0)	3(5.9)

画面媒体(延/異)　1: 62/51　2: 0/ 0　3: 0/ 0　4: 0/ 0

放送年月日	1989年4月14日(金)
採録時刻	13:05〜13:10
チャンネル	1(ＮＨＫ総合)
ジャンル	ストーリー系
本編秒数	300
番組分数	20
視聴率１	4.5
視聴率２	33.9
本編話者数	2
(男: 0 女: 2 不明: 0)	

標本:００５２　番組名:「今夜のみどころ」「風雲！真田幸村スペシャル」

語 数	延べ	異なり	語の密度	延べ	異なり	CM語数	延べ	異なり
音声	71	68	音声	23.7	22.7	音声	100	80
画面	50	48	画面	16.7	16.0	画面	109	86

語 種	和	漢	外	混	不明
音声	48(67.6)	13(18.3)	1(1.4)	8(11.3)	1(1.4)
	45(66.2)	13(19.1)	1(1.5)	8(11.8)	1(1.5)
画面	21(42.0)	2(4.0)	1(2.0)	23(46.0)	3(6.0)
	20(41.7)	2(4.2)	1(2.1)	22(45.8)	3(6.3)

品 詞	体	用	相	他	不明
音声	44(62.0)	16(22.5)	11(15.5)	0(0.0)	0(0.0)
	43(63.2)	16(23.5)	9(13.2)	0(0.0)	0(0.0)
画面	47(94.0)	1(2.0)	1(2.0)	0(0.0)	1(2.0)
	45(93.8)	1(2.1)	1(2.1)	0(0.0)	1(2.1)

画面媒体(延/異)	1: 50/48	2: 0/ 0	3: 0/ 0	4: 0/ 0

放送年月日	1989年4月14日(金)
採録時刻	20:00〜20:05
チャンネル	12(テレビ東京)
ジャンル	その他
本編秒数	180
番組分数	108
視聴率１	9.1
視聴率２	65.7
本編話者数	10
(男: 8 女: 2 不明: 0)	

標本:００５３　番組名:「ＰＲＥ・ＳＴＡＧＥ１」

語 数	延べ	異なり	語の密度	延べ	異なり	CM語数	延べ	異なり
音声	616	208	音声	123.2	41.6	音声	-	-
画面	13	13	画面	2.6	2.6	画面	-	-

語 種	和	漢	外	混	不明
音声	455(73.9)	74(12.0)	58(9.4)	29(4.7)	0(0.0)
	137(65.9)	37(17.8)	17(8.2)	17(8.2)	0(0.0)
画面	3(23.1)	4(30.8)	2(15.4)	4(30.8)	0(0.0)
	3(23.1)	4(30.8)	2(15.4)	4(30.8)	0(0.0)

品 詞	体	用	相	他	不明
音声	228(37.0)	136(22.1)	145(23.5)	107(17.4)	0(0.0)
	97(46.6)	47(22.6)	43(20.7)	21(10.1)	0(0.0)
画面	13(100.0)	0(0.0)	0(0.0)	0(0.0)	0(0.0)
	13(100.0)	0(0.0)	0(0.0)	0(0.0)	0(0.0)

画面媒体(延/異)	1: 0/ 0	2: 13/13	3: 0/ 0	4: 0/ 0

放送年月日	1989年4月14日(金)
採録時刻	02:30〜02:35
チャンネル	10(テレビ朝日)
ジャンル	バラエティー系
本編秒数	300
番組分数	230
視聴率１	2.8
視聴率２	7.4
本編話者数	8
(男: 4 女: 4 不明: 0)	

標本:００５４　番組名:「奥さま広場」

語 数	延べ	異なり	語の密度	延べ	異なり	CM語数	延べ	異なり
音声	141	82	音声	40.1	23.3	音声	76	66
画面	37	37	画面	10.5	10.5	画面	50	45

語 種	和	漢	外	混	不明
音声	109(77.3)	21(14.9)	2(1.4)	9(6.4)	0(0.0)
	54(65.9)	17(20.7)	2(2.4)	9(11.0)	0(0.0)
画面	7(18.9)	12(32.4)	5(13.5)	5(13.5)	8(21.6)
	7(18.9)	12(32.4)	5(13.5)	5(13.5)	8(21.6)

品 詞	体	用	相	他	不明
音声	38(27.0)	21(14.9)	39(27.7)	43(30.5)	0(0.0)
	36(43.9)	16(19.5)	19(23.2)	11(13.4)	0(0.0)
画面	30(81.1)	1(2.7)	0(0.0)	0(0.0)	6(16.2)
	30(81.1)	1(2.7)	0(0.0)	0(0.0)	6(16.2)

画面媒体(延/異)	1: 37/37	2: 0/ 0	3: 0/ 0	4: 0/ 0

放送年月日	1989年4月15日(土)
採録時刻	07:55〜08:00
チャンネル	6(ＴＢＳ)
ジャンル	一般実用系
本編秒数	211
番組分数	15
視聴率１	6.5
視聴率２	56.0
本編話者数	9
(男: 4 女: 5 不明: 0)	

標本:００５５　番組名:「ヒットスタジオ・演歌」

語数	延べ	異なり	語の密度	延べ	異なり	CM語数	延べ	異なり
音声	176	118	音声	46.9	31.5	音声	60	45
画面	20	12	画面	5.3	3.2	画面	45	35

語種	和	漢	外	混	不明
音声	134(76.1)	17(9.7)	7(4.0)	18(10.2)	0(0.0)
	82(69.5)	12(10.2)	7(5.9)	17(14.4)	0(0.0)
画面	6(30.0)	0(0.0)	2(10.0)	4(20.0)	8(40.0)
	5(41.7)	0(0.0)	2(16.7)	3(25.0)	2(16.7)

品詞	体	用	相	他	不明
音声	97(55.1)	24(13.6)	27(15.3)	28(15.9)	0(0.0)
	76(64.4)	20(16.9)	13(11.0)	9(7.6)	0(0.0)
画面	12(60.0)	0(0.0)	0(0.0)	0(0.0)	8(40.0)
	10(83.3)	0(0.0)	0(0.0)	0(0.0)	2(16.7)

画面媒体(延/異): 1: 20/12 2: 0/ 0 3: 0/ 0 4: 0/ 0

放送年月日	1989年4月15日(土)
採録時刻	14:00〜14:05
チャンネル	8(フジテレビ)
ジャンル	音楽系
本編秒数	225
番組分数	30
視聴率１	5.5
視聴率２	36.1
本編話者数	5
(男: 1 女: 4 不明: 0)	

標本:００５６　番組名:「土曜ナイター・巨人×広島」

語数	延べ	異なり	語の密度	延べ	異なり	CM語数	延べ	異なり
音声	371	199	音声	102.6	55.0	音声	19	16
画面	224	57	画面	61.9	15.8	画面	55	36

語種	和	漢	外	混	不明
音声	273(73.6)	51(13.7)	23(6.2)	24(6.5)	0(0.0)
	116(58.3)	41(20.6)	21(10.6)	21(10.6)	0(0.0)
画面	17(7.6)	91(40.6)	49(21.9)	32(14.3)	35(15.6)
	7(12.3)	19(33.3)	13(22.8)	15(26.3)	3(5.3)

品詞	体	用	相	他	不明
音声	167(45.0)	44(11.9)	74(19.9)	86(23.2)	0(0.0)
	121(60.8)	30(15.1)	32(16.1)	16(8.0)	0(0.0)
画面	189(84.4)	0(0.0)	0(0.0)	0(0.0)	35(15.6)
	54(94.7)	0(0.0)	0(0.0)	0(0.0)	3(5.3)

画面媒体(延/異): 1: 156/35 2: 0/ 0 3: 0/ 0 4: 68/3

放送年月日	1989年4月15日(土)
採録時刻	19:35〜19:40
チャンネル	4(日本テレビ)
ジャンル	スポーツ系
本編秒数	217
番組分数	132
視聴率１	23.4
視聴率２	74.9
本編話者数	4
(男: 4 女: 0 不明: 0)	

標本:００５７　番組名:「サタデーナイトＣＬＵＢ・ハロームービーズ・ミスターマム」

語数	延べ	異なり	語の密度	延べ	異なり	CM語数	延べ	異なり
音声	295	193	音声	59.0	38.6	音声	-	-
画面	0	0	画面	0.0	0.0	画面	-	-

語種	和	漢	外	混	不明
音声	220(74.6)	38(12.9)	24(8.1)	13(4.4)	0(0.0)
	137(71.0)	29(15.0)	15(7.8)	12(6.2)	0(0.0)
画面	0(0.0)	0(0.0)	0(0.0)	0(0.0)	0(0.0)
	0(0.0)	0(0.0)	0(0.0)	0(0.0)	0(0.0)

品詞	体	用	相	他	不明
音声	126(42.7)	67(22.7)	60(20.3)	42(14.2)	0(0.0)
	90(46.6)	47(24.4)	38(19.7)	18(9.3)	0(0.0)
画面	0(0.0)	0(0.0)	0(0.0)	0(0.0)	0(0.0)
	0(0.0)	0(0.0)	0(0.0)	0(0.0)	0(0.0)

画面媒体(延/異): 1: 0/ 0 2: 0/ 0 3: 0/ 0 4: 0/ 0

放送年月日	1989年4月15日(土)
採録時刻	02:15〜02:20
チャンネル	10(テレビ朝日)
ジャンル	ストーリー系
本編秒数	300
番組分数	145
視聴率１	0.9
視聴率２	10.0
本編話者数	9
(男: 2 女: 6 不明: 1)	

標本:００５８　番組名:「タイム・アイ」

語 数	延べ	異なり	語の密度	延べ	異なり	CM語数	延べ	異なり
音声	562	231	音声	124.9	51.3	音声	17	17
画面	58	39	画面	12.9	8.7	画面	9	9

語 種	和	漢	外	混	不明
音声	421(74.9)	112(19.9)	5(0.9)	24(4.3)	0(0.0)
	131(56.7)	75(32.5)	3(1.3)	22(9.5)	0(0.0)
画面	2(3.4)	29(50.0)	3(5.2)	7(12.1)	17(29.3)
	2(5.1)	25(64.1)	1(2.6)	7(17.9)	4(10.3)
品 詞	体	用	相	他	不明
音声	201(35.8)	87(15.5)	103(18.3)	171(30.4)	0(0.0)
	121(52.4)	45(19.5)	47(20.3)	18(7.8)	0(0.0)
画面	42(72.4)	0(0.0)	0(0.0)	0(0.0)	16(27.6)
	36(92.3)	0(0.0)	0(0.0)	0(0.0)	3(7.7)
画面媒体(延/異)	1: 3/ 3	2: 53/36	3: 2/ 1	4: 0/ 0	

放送年月日	1989年4月16日(日)
採録時刻	10:20〜10:25
チャンネル	12(テレビ東京)
ジャンル	報道系
本編秒数	270
番組分数	30
視聴率1	1.1
視聴率2	48.4
本編話者数	4
(男: 3 女: 1 不明: 0)	

標本:００５９　番組名:「フジテレビ赤丸チェック」

語 数	延べ	異なり	語の密度	延べ	異なり	CM語数	延べ	異なり
音声	158	117	音声	69.7	51.6	音声	124	102
画面	23	18	画面	10.1	7.9	画面	169	123

語 種	和	漢	外	混	不明
音声	93(58.9)	41(25.9)	0(0.0)	24(15.2)	0(0.0)
	67(57.3)	31(26.5)	0(0.0)	19(16.2)	0(0.0)
画面	2(8.7)	6(26.1)	3(13.0)	10(43.5)	2(8.7)
	2(11.1)	4(22.2)	3(16.7)	7(38.9)	2(11.1)
品 詞	体	用	相	他	不明
音声	90(57.0)	27(17.1)	21(13.3)	20(12.7)	0(0.0)
	68(58.1)	22(18.8)	14(12.0)	13(11.1)	0(0.0)
画面	20(87.0)	1(4.3)	0(0.0)	0(0.0)	2(8.7)
	15(83.3)	1(5.6)	0(0.0)	0(0.0)	2(11.1)
画面媒体(延/異)	1: 17/12	2: 0/ 0	3: 0/ 0	4: 6/ 6	

放送年月日	1989年4月16日(日)
採録時刻	12:55〜13:00
チャンネル	8(フジテレビ)
ジャンル	その他
本編秒数	136
番組分数	5
視聴率1	5.3
視聴率2	52.2
本編話者数	11
(男: 8 女: 3 不明: 0)	

標本:００６０　番組名:「ＩＡＡＦ・第三回ワールドカップマラソンミラノ大会・男子」

語 数	延べ	異なり	語の密度	延べ	異なり	CM語数	延べ	異なり
音声	228	142	音声	76.0	47.3	音声	52	42
画面	38	29	画面	12.7	9.7	画面	54	34

語 種	和	漢	外	混	不明
音声	110(48.2)	42(18.4)	41(18.0)	35(15.4)	0(0.0)
	57(40.1)	32(22.5)	27(19.0)	26(18.3)	0(0.0)
画面	2(5.3)	12(31.6)	8(21.1)	5(13.2)	11(28.9)
	2(6.9)	12(41.4)	7(24.1)	5(17.2)	3(10.3)
品 詞	体	用	相	他	不明
音声	121(53.1)	32(14.0)	41(18.0)	34(14.9)	0(0.0)
	86(60.6)	20(14.1)	23(16.2)	13(9.2)	0(0.0)
画面	28(73.7)	0(0.0)	0(0.0)	0(0.0)	10(26.3)
	27(93.1)	0(0.0)	0(0.0)	0(0.0)	2(6.9)
画面媒体(延/異)	1: 38/29	2: 0/ 0	3: 0/ 0	4: 0/ 0	

放送年月日	1989年4月16日(日)
採録時刻	23:30〜23:35
チャンネル	4(日本テレビ)
ジャンル	スポーツ系
本編秒数	180
番組分数	141
視聴率1	13.7
視聴率2	34.0
本編話者数	3
(男: 3 女: 0 不明: 0)	

標本:００６１　番組名:-

語数	延べ	異なり	語の密度	延べ	異なり	CM語数	延べ	異なり
音声	-	-	音声	-	-	音声	-	-
画面	-	-	画面	-	-	画面	-	-

語種	和	漢	外	混	不明
音声	-(-)	-(-)	-(-)	-(-)	-(-)
	-(-)	-(-)	-(-)	-(-)	-(-)
画面	-(-)	-(-)	-(-)	-(-)	-(-)
	-(-)	-(-)	-(-)	-(-)	-(-)

品詞	体	用	相	他	不明
音声	-(-)	-(-)	-(-)	-(-)	-(-)
	-(-)	-(-)	-(-)	-(-)	-(-)
画面	-(-)	-(-)	-(-)	-(-)	-(-)
	-(-)	-(-)	-(-)	-(-)	-(-)

画面媒体(延/異)	1: -/ -	2: -/ -	3: -/ -	4: -/ -

放送年月日	1989年4月17日(月)
採録時刻	05:55〜06:00
チャンネル	1(ＮＨＫ総合)
ジャンル	-
本編秒数	300
番組分数	-
視聴率１	-
視聴率２	-
本編話者数	-
(男: - 女: - 不明: -)	

標本:００６２　番組名:「テレビ体操」

語数	延べ	異なり	語の密度	延べ	異なり	CM語数	延べ	異なり
音声	288	104	音声	57.6	20.8	音声	-	-
画面	8	8	画面	1.6	1.6	画面	-	-

語種	和	漢	外	混	不明
音声	237(82.3)	44(15.3)	1(0.3)	6(2.1)	0(0.0)
	82(78.8)	17(16.3)	1(1.0)	4(3.8)	0(0.0)
画面	1(12.5)	1(12.5)	1(12.5)	4(50.0)	1(12.5)
	1(12.5)	1(12.5)	1(12.5)	4(50.0)	1(12.5)

品詞	体	用	相	他	不明
音声	130(45.1)	84(29.2)	47(16.3)	27(9.4)	0(0.0)
	50(48.1)	32(30.8)	17(16.3)	5(4.8)	0(0.0)
画面	8(100.0)	0(0.0)	0(0.0)	0(0.0)	0(0.0)
	8(100.0)	0(0.0)	0(0.0)	0(0.0)	0(0.0)

画面媒体(延/異)	1: 8/ 8	2: 0/ 0	3: 0/ 0	4: 0/ 0

放送年月日	1989年4月17日(月)
採録時刻	06:30〜06:35
チャンネル	3(ＮＨＫ教育)
ジャンル	一般実用系
本編秒数	300
番組分数	10
視聴率１	1.0
視聴率２	30.1
本編話者数	1
(男: 1 女: 0 不明: 0)	

標本:００６３　番組名:「大岡越前」

語数	延べ	異なり	語の密度	延べ	異なり	CM語数	延べ	異なり
音声	294	179	音声	58.8	35.8	音声	-	-
画面	35	30	画面	7.0	6.0	画面	-	-

語種	和	漢	外	混	不明
音声	239(81.3)	34(11.6)	0(0.0)	21(7.1)	0(0.0)
	137(76.5)	27(15.1)	0(0.0)	15(8.4)	0(0.0)
画面	4(11.4)	12(34.3)	3(8.6)	5(14.3)	11(31.4)
	4(13.3)	12(40.0)	2(6.7)	5(16.7)	7(23.3)

品詞	体	用	相	他	不明
音声	133(45.2)	85(28.9)	45(15.3)	31(10.5)	0(0.0)
	88(49.2)	45(25.1)	27(15.1)	19(10.6)	0(0.0)
画面	21(60.0)	3(8.6)	0(0.0)	0(0.0)	11(31.4)
	20(66.7)	3(10.0)	0(0.0)	0(0.0)	7(23.3)

画面媒体(延/異)	1: 35/30	2: 0/ 0	3: 0/ 0	4: 0/ 0

放送年月日	1989年4月17日(月)
採録時刻	16:10〜16:15
チャンネル	6(ＴＢＳ)
ジャンル	ストーリー系
本編秒数	300
番組分数	55
視聴率１	10.5
視聴率２	30.0
本編話者数	10
(男: 6 女: 4 不明: 0)	

標本:００６４　番組名:「高等学校講座」

語 数	延べ	異なり	語の密度	延べ	異なり	CM語数	延べ	異なり
音声	278	191	音声	55.6	38.2	音声	-	-
画面	22	18	画面	4.4	3.6	画面	-	-

語 種	和	漢	外	混	不明
音声	166(59.7)	69(24.8)	0(0.0)	43(15.5)	0(0.0)
	105(55.0)	54(28.3)	0(0.0)	32(16.8)	0(0.0)
画面	3(13.6)	5(22.7)	0(0.0)	8(36.4)	6(27.3)
	3(16.7)	5(27.8)	0(0.0)	8(44.4)	2(11.1)

品 詞	体	用	相	他	不明
音声	169(60.8)	67(24.1)	30(10.8)	12(4.3)	0(0.0)
	111(58.1)	52(27.2)	18(9.4)	10(5.2)	0(0.0)
画面	14(63.6)	2(9.1)	0(0.0)	0(0.0)	6(27.3)
	14(77.8)	2(11.1)	0(0.0)	0(0.0)	2(11.1)

画面媒体(延/異)	1: 22/18	2: 0/ 0	3: 0/ 0	4: 0/ 0

放送年月日	1989年4月17日(月)
採録時刻	23:15〜23:20
チャンネル	3(ＮＨＫ教育)
ジャンル	教育・教養系
本編秒数	300
番組分数	30
視聴率１	0.3
視聴率２	43.9
本編話者数	1
(男: 1 女: 0 不明: 0)	

標本:００６５　番組名:「ボストン・マラソン」

語 数	延べ	異なり	語の密度	延べ	異なり	CM語数	延べ	異なり
音声	364	207	音声	72.8	41.4	音声	-	-
画面	13	12	画面	2.6	2.4	画面	-	-

語 種	和	漢	外	混	不明
音声	214(58.8)	58(15.9)	44(12.1)	48(13.2)	0(0.0)
	105(50.7)	41(19.8)	26(12.6)	35(16.9)	0(0.0)
画面	0(0.0)	3(23.1)	3(23.1)	5(38.5)	2(15.4)
	0(0.0)	3(25.0)	2(16.7)	5(41.7)	2(16.7)

品 詞	体	用	相	他	不明
音声	185(50.8)	55(15.1)	74(20.3)	50(13.7)	0(0.0)
	124(59.9)	35(16.9)	36(17.4)	12(5.8)	0(0.0)
画面	11(84.6)	0(0.0)	0(0.0)	0(0.0)	2(15.4)
	10(83.3)	0(0.0)	0(0.0)	0(0.0)	2(16.7)

画面媒体(延/異)	1: 13/12	2: 0/ 0	3: 0/ 0	4: 0/ 0

放送年月日	1989年4月17日(月)
採録時刻	03:15〜03:20
チャンネル	12(テレビ東京)
ジャンル	スポーツ系
本編秒数	300
番組分数	185
視聴率１	0.5
視聴率２	6.0
本編話者数	2
(男: 2 女: 0 不明: 0)	

標本:００６６　番組名:「ワイドショー・ルックルックこんにちは」

語 数	延べ	異なり	語の密度	延べ	異なり	CM語数	延べ	異なり
音声	449	232	音声	94.2	48.7	音声	8	8
画面	85	38	画面	17.8	8.0	画面	2	2

語 種	和	漢	外	混	不明
音声	339(75.5)	76(16.9)	7(1.6)	27(6.0)	0(0.0)
	145(62.5)	59(25.4)	7(3.0)	21(9.1)	0(0.0)
画面	34(40.0)	17(20.0)	0(0.0)	22(25.9)	12(14.1)
	14(36.8)	9(23.7)	0(0.0)	10(26.3)	5(13.2)

品 詞	体	用	相	他	不明
音声	193(43.0)	84(18.7)	102(22.7)	70(15.6)	0(0.0)
	117(50.4)	51(22.0)	44(19.0)	20(8.6)	0(0.0)
画面	71(83.5)	2(2.4)	0(0.0)	0(0.0)	12(14.1)
	31(81.6)	2(5.3)	0(0.0)	0(0.0)	5(13.2)

画面媒体(延/異)	1: 67/31	2: 17/13	3: 0/ 0	4: 1/ 1

放送年月日	1989年4月18日(火)
採録時刻	09:15〜09:20
チャンネル	4(日本テレビ)
ジャンル	一般実用系
本編秒数	286
番組分数	90
視聴率１	7.7
視聴率２	34.5
本編話者数	8
(男: 7 女: 1 不明: 0)	

標本:００６７　番組名:「こんにちは２時」

語数	延べ	異なり	語の密度	延べ	異なり	CM語数	延べ	異なり
音声	576	222	音声	136.1	52.4	音声	38	29
画面	2	2	画面	0.5	0.5	画面	51	39

語種	和	漢	外	混	不明
音声	472(81.9)	79(13.7)	7(1.2)	18(3.1)	0(0.0)
	145(65.3)	55(24.8)	6(2.7)	16(7.2)	0(0.0)
画面	1(50.0)	0(0.0)	0(0.0)	1(50.0)	0(0.0)
	1(50.0)	0(0.0)	0(0.0)	1(50.0)	0(0.0)

品詞	体	用	相	他	不明
音声	184(31.9)	104(18.1)	125(21.7)	163(28.3)	0(0.0)
	103(46.4)	52(23.4)	46(20.7)	21(9.5)	0(0.0)
画面	2(100.0)	0(0.0)	0(0.0)	0(0.0)	0(0.0)
	2(100.0)	0(0.0)	0(0.0)	0(0.0)	0(0.0)

画面媒体(延/異)　1: 2/ 2　2: 0/ 0　3: 0/ 0　4: 0/ 0

放送年月日	1989年4月18日(火)
採録時刻	14:20〜14:25
チャンネル	10(テレビ朝日)
ジャンル	一般実用系
本編秒数	254
番組分数	50
視聴率１	8.8
視聴率２	25.9
本編話者数	7
	(男: 5 女: 2 不明: 0)

標本:００６８　番組名:「ニュースコープ」

語数	延べ	異なり	語の密度	延べ	異なり	CM語数	延べ	異なり
音声	348	260	音声	69.6	52.0	音声	-	-
画面	75	67	画面	15.0	13.4	画面	-	-

語種	和	漢	外	混	不明
音声	153(44.0)	134(38.5)	8(2.3)	53(15.2)	0(0.0)
	102(39.2)	107(41.2)	6(2.3)	45(17.3)	0(0.0)
画面	11(14.7)	29(38.7)	7(9.3)	22(29.3)	6(8.0)
	10(14.9)	27(40.3)	5(7.5)	21(31.3)	4(6.0)

品詞	体	用	相	他	不明
音声	230(66.1)	81(23.3)	21(6.0)	16(4.6)	0(0.0)
	173(66.5)	62(23.8)	19(7.3)	6(2.3)	0(0.0)
画面	67(89.3)	2(2.7)	0(0.0)	0(0.0)	6(8.0)
	61(91.0)	2(3.0)	0(0.0)	0(0.0)	4(6.0)

画面媒体(延/異)　1: 69/63　2: 0/ 0　3: 2/ 1　4: 4/ 3

放送年月日	1989年4月18日(火)
採録時刻	18:30〜18:35
チャンネル	6(ＴＢＳ)
ジャンル	報道系
本編秒数	300
番組分数	30
視聴率１	7.5
視聴率２	43.7
本編話者数	14
	(男: 12 女: 2 不明: 0)

標本:００６９　番組名:-

語数	延べ	異なり	語の密度	延べ	異なり	CM語数	延べ	異なり
音声	-	-	音声	-	-	音声	-	-
画面	-	-	画面	-	-	画面	-	-

語種	和	漢	外	混	不明
音声	-(-)	-(-)	-(-)	-(-)	-(-)
	-(-)	-(-)	-(-)	-(-)	-(-)
画面	-(-)	-(-)	-(-)	-(-)	-(-)
	-(-)	-(-)	-(-)	-(-)	-(-)

品詞	体	用	相	他	不明
音声	-(-)	-(-)	-(-)	-(-)	-(-)
	-(-)	-(-)	-(-)	-(-)	-(-)
画面	-(-)	-(-)	-(-)	-(-)	-(-)
	-(-)	-(-)	-(-)	-(-)	-(-)

画面媒体(延/異)　1: -/ -　2: -/ -　3: -/ -　4: -/ -

放送年月日	1989年4月18日(火)
採録時刻	02:05〜02:10
チャンネル	1(ＮＨＫ総合)
ジャンル	-
本編秒数	300
番組分数	-
視聴率１	-
視聴率２	-
本編話者数	-
	(男: - 女: - 不明: -)

標本:００７０　番組名:「おはよう！ナイスデイ」

語 数	延べ	異なり	語の密度	延べ	異なり	CM語数	延べ	異なり
音声	136	94	音声	106.0	73.2	音声	172	138
画面	31	26	画面	24.2	20.3	画面	181	134

語 種	和	漢	外	混	不明
音声	92(67.6)	29(21.3)	7(5.1)	6(4.4)	2(1.5)
	55(58.5)	25(26.6)	6(6.4)	6(6.4)	2(2.1)
画面	6(19.4)	12(38.7)	3(9.7)	7(22.6)	3(9.7)
	6(23.1)	10(38.5)	3(11.5)	4(15.4)	3(11.5)

品 詞	体	用	相	他	不明
音声	55(40.4)	18(13.2)	28(20.6)	35(25.7)	0(0.0)
	48(51.1)	16(17.0)	21(22.3)	9(9.6)	0(0.0)
画面	28(90.3)	2(6.5)	0(0.0)	0(0.0)	1(3.2)
	23(88.5)	2(7.7)	0(0.0)	0(0.0)	1(3.8)

画面媒体(延/異)　1: 21/19　2: 6/ 6　3: 4/ 1　4: 0/ 0

放送年月日	1989年4月19日(水)
採録時刻	09:50〜09:55
チャンネル	8(フジテレビ)
ジャンル	一般実用系
本編秒数	77
番組分数	85
視聴率1	5.5
視聴率2	25.9
本編話者数	3
	(男: 2 女: 1 不明: 0)

標本:００７１　番組名:「世界地理」

語 数	延べ	異なり	語の密度	延べ	異なり	CM語数	延べ	異なり
音声	422	204	音声	84.4	40.8	音声	-	-
画面	18	16	画面	3.6	3.2	画面	-	-

語 種	和	漢	外	混	不明
音声	326(77.3)	47(11.1)	16(3.8)	33(7.8)	0(0.0)
	134(65.7)	36(17.6)	7(3.4)	27(13.2)	0(0.0)
画面	0(0.0)	0(0.0)	7(38.9)	9(50.0)	2(11.1)
	0(0.0)	0(0.0)	6(37.5)	8(50.0)	2(12.5)

品 詞	体	用	相	他	不明
音声	165(39.1)	71(16.8)	79(18.7)	107(25.4)	0(0.0)
	108(52.9)	40(19.6)	41(20.1)	15(7.4)	0(0.0)
画面	16(88.9)	0(0.0)	0(0.0)	0(0.0)	2(11.1)
	14(87.5)	0(0.0)	0(0.0)	0(0.0)	2(12.5)

画面媒体(延/異)　1: 18/16　2: 0/ 0　3: 0/ 0　4: 0/ 0

放送年月日	1989年4月19日(水)
採録時刻	13:45〜13:50
チャンネル	3(ＮＨＫ教育)
ジャンル	教育・教養系
本編秒数	300
番組分数	20
視聴率1	0.2
視聴率2	29.6
本編話者数	2
	(男: 1 女: 1 不明: 0)

標本:００７２　番組名:「ニュースシャトル」

語 数	延べ	異なり	語の密度	延べ	異なり	CM語数	延べ	異なり
音声	408	259	音声	81.6	51.8	音声	-	-
画面	50	39	画面	10.0	7.8	画面	-	-

語 種	和	漢	外	混	不明
音声	225(55.1)	123(30.1)	8(2.0)	51(12.5)	1(0.2)
	116(44.8)	99(38.2)	6(2.3)	37(14.3)	1(0.4)
画面	11(22.0)	14(28.0)	3(6.0)	8(16.0)	14(28.0)
	11(28.2)	13(33.3)	2(5.1)	8(20.5)	5(12.8)

品 詞	体	用	相	他	不明
音声	235(57.6)	76(18.6)	35(8.6)	62(15.2)	0(0.0)
	176(68.0)	46(17.8)	22(8.5)	15(5.8)	0(0.0)
画面	32(64.0)	4(8.0)	0(0.0)	0(0.0)	14(28.0)
	30(76.9)	4(10.3)	0(0.0)	0(0.0)	5(12.8)

画面媒体(延/異)　1: 49/39　2: 0/ 0　3: 0/ 0　4: 1/ 1

放送年月日	1989年4月19日(水)
採録時刻	18:00〜18:05
チャンネル	10(テレビ朝日)
ジャンル	報道系
本編秒数	300
番組分数	50
視聴率1	2.9
視聴率2	29.3
本編話者数	8
	(男: 3 女: 5 不明: 0)

標本:００７３　番組名:「テレビ映画傑作シリーズ・アイ・スパイ」

語数	延べ	異なり	語の密度	延べ	異なり	CM語数	延べ	異なり
音声	162	125	音声	44.4	34.2	音声	35	32
画面	15	11	画面	4.1	3.0	画面	17	16

語種	和	漢	外	混	不明
音声	116(71.6)	24(14.8)	8(4.9)	14(8.6)	0(0.0)
	85(68.0)	22(17.6)	7(5.6)	11(8.8)	0(0.0)
画面	0(0.0)	4(26.7)	4(26.7)	6(40.0)	1(6.7)
	0(0.0)	2(18.2)	3(27.3)	5(45.5)	1(9.1)
品詞	体	用	相	他	不明
音声	92(56.8)	35(21.6)	22(13.6)	13(8.0)	0(0.0)
	67(53.6)	30(24.0)	19(15.2)	9(7.2)	0(0.0)
画面	14(93.3)	0(0.0)	0(0.0)	0(0.0)	1(6.7)
	10(90.9)	0(0.0)	0(0.0)	0(0.0)	1(9.1)
画面媒体(延/異)	1: 13/10	2: 0/ 0	3: 0/ 0	4: 2/ 1	

放送年月日	1989年4月19日(水)
採録時刻	02:45〜02:50
チャンネル	12(テレビ東京)
ジャンル	ストーリー系
本編秒数	219
番組分数	55
視聴率１	0.0
視聴率２	4.4
本編話者数	5
(男: 3 女: 2 不明: 0)	

標本:００７４　番組名:「ホットライン」

語数	延べ	異なり	語の密度	延べ	異なり	CM語数	延べ	異なり
音声	469	301	音声	93.8	60.2	音声	-	-
画面	37	33	画面	7.4	6.6	画面	-	-

語種	和	漢	外	混	不明
音声	251(53.5)	125(26.7)	19(4.1)	71(15.1)	3(0.6)
	141(46.8)	93(30.9)	14(4.7)	50(16.6)	3(1.0)
画面	4(10.8)	12(32.4)	6(16.2)	7(18.9)	8(21.6)
	4(12.1)	12(36.4)	5(15.2)	7(21.2)	5(15.2)
品詞	体	用	相	他	不明
音声	277(59.1)	104(22.2)	38(8.1)	50(10.7)	0(0.0)
	188(62.5)	70(23.3)	26(8.6)	17(5.6)	0(0.0)
画面	27(73.0)	2(5.4)	0(0.0)	0(0.0)	8(21.6)
	26(78.8)	2(6.1)	0(0.0)	0(0.0)	5(15.2)
画面媒体(延/異)	1: 34/31	2: 0/ 0	3: 2/ 1	4: 1/ 1	

放送年月日	1989年4月20日(木)
採録時刻	08:00〜08:05
チャンネル	6(ＴＢＳ)
ジャンル	一般実用系
本編秒数	300
番組分数	90
視聴率１	6.1
視聴率２	54.0
本編話者数	7
(男: 5 女: 2 不明: 0)	

標本:００７５　番組名:「おもいッきりテレビ」

語数	延べ	異なり	語の密度	延べ	異なり	CM語数	延べ	異なり
音声	689	246	音声	137.8	49.2	音声	-	-
画面	96	37	画面	19.2	7.4	画面	-	-

語種	和	漢	外	混	不明
音声	550(79.8)	110(16.0)	5(0.7)	24(3.5)	0(0.0)
	169(68.7)	54(22.0)	5(2.0)	18(7.3)	0(0.0)
画面	62(64.6)	14(14.6)	0(0.0)	12(12.5)	8(8.3)
	22(59.5)	9(24.3)	0(0.0)	5(13.5)	1(2.7)
品詞	体	用	相	他	不明
音声	279(40.5)	145(21.0)	145(21.0)	120(17.4)	0(0.0)
	125(50.8)	46(18.7)	48(19.5)	27(11.0)	0(0.0)
画面	45(46.9)	29(30.2)	13(13.5)	1(1.0)	8(8.3)
	18(48.6)	10(27.0)	7(18.9)	1(2.7)	1(2.7)
画面媒体(延/異)	1: 0/ 0	2: 96/37	3: 0/ 0	4: 0/ 0	

放送年月日	1989年4月20日(木)
採録時刻	12:45〜12:50
チャンネル	4(日本テレビ)
ジャンル	バラエティー系
本編秒数	300
番組分数	115
視聴率１	6.6
視聴率２	37.9
本編話者数	6
(男: 3 女: 3 不明: 0)	

標本:００７６　番組名:「イブニングネットワーク」

語 数	延べ	異なり	語の密度	延べ	異なり	CM語数	延べ	異なり
音声	390	284	音声	78.0	56.8	音声	-	-
画面	77	64	画面	15.4	12.8	画面	-	-

語 種	和	漢	外	混	不明
音声	189(48.5)	138(35.4)	11(2.8)	50(12.8)	2(0.5)
	129(45.4)	99(34.9)	8(2.8)	46(16.2)	2(0.7)
画面	9(11.7)	30(39.0)	2(2.6)	20(26.0)	16(20.8)
	9(14.1)	28(43.8)	2(3.1)	18(28.1)	7(10.9)

品 詞	体	用	相	他	不明
音声	246(63.1)	90(23.1)	46(11.8)	8(2.1)	0(0.0)
	176(62.0)	67(23.6)	35(12.3)	6(2.1)	0(0.0)
画面	55(71.4)	3(3.9)	3(3.9)	0(0.0)	16(20.8)
	51(79.7)	3(4.7)	3(4.7)	0(0.0)	7(10.9)

画面媒体(延/異)　1: 58/45　2: 0/ 0　3: 0/ 0　4: 19/19

放送年月日	1989年4月20日(木)
採録時刻	18:10〜18:15
チャンネル	1(ＮＨＫ総合)
ジャンル	報道系
本編秒数	300
番組分数	60
視聴率１	5.7
視聴率２	35.9
本編話者数	6
	(男: 4 女: 2 不明: 0)

標本:００７７　番組名:「木曜映画劇場・ピラミッド」

語 数	延べ	異なり	語の密度	延べ	異なり	CM語数	延べ	異なり
音声	123	99	音声	24.6	19.8	音声	-	-
画面	0	0	画面	0.0	0.0	画面	-	-

語 種	和	漢	外	混	不明
音声	75(61.0)	25(20.3)	10(8.1)	13(10.6)	0(0.0)
	58(58.6)	25(25.3)	4(4.0)	12(12.1)	0(0.0)
画面	0(0.0)	0(0.0)	0(0.0)	0(0.0)	0(0.0)
	0(0.0)	0(0.0)	0(0.0)	0(0.0)	0(0.0)

品 詞	体	用	相	他	不明
音声	63(51.2)	28(22.8)	22(17.9)	10(8.1)	0(0.0)
	52(52.5)	26(26.3)	15(15.2)	6(6.1)	0(0.0)
画面	0(0.0)	0(0.0)	0(0.0)	0(0.0)	0(0.0)
	0(0.0)	0(0.0)	0(0.0)	0(0.0)	0(0.0)

画面媒体(延/異)　1: 0/ 0　2: 0/ 0　3: 0/ 0　4: 0/ 0

放送年月日	1989年4月20日(木)
採録時刻	04:25〜04:30
チャンネル	8(フジテレビ)
ジャンル	ストーリー系
本編秒数	300
番組分数	70
視聴率１	1.5
視聴率２	3.8
本編話者数	4
	(男: 3 女: 1 不明: 0)

標本:００７８　番組名:「新・パパこげてるョ！」

語 数	延べ	異なり	語の密度	延べ	異なり	CM語数	延べ	異なり
音声	417	184	音声	83.4	36.8	音声	-	-
画面	152	114	画面	30.4	22.8	画面	-	-

語 種	和	漢	外	混	不明
音声	341(81.8)	36(8.6)	28(6.7)	12(2.9)	0(0.0)
	143(77.7)	20(10.9)	13(7.1)	8(4.3)	0(0.0)
画面	44(28.9)	30(19.7)	20(13.2)	27(17.8)	31(20.4)
	37(32.5)	29(25.4)	15(13.2)	23(20.2)	10(8.8)

品 詞	体	用	相	他	不明
音声	160(38.4)	78(18.7)	92(22.1)	87(20.9)	0(0.0)
	84(45.7)	35(19.0)	40(21.7)	25(13.6)	0(0.0)
画面	110(72.4)	8(5.3)	7(4.6)	0(0.0)	27(17.8)
	96(84.2)	5(4.4)	7(6.1)	0(0.0)	6(5.3)

画面媒体(延/異)　1: 152/114　2: 0/ 0　3: 0/ 0　4: 0/ 0

放送年月日	1989年4月21日(金)
採録時刻	08:50〜08:55
チャンネル	12(テレビ東京)
ジャンル	ストーリー系
本編秒数	300
番組分数	30
視聴率１	0.9
視聴率２	43.0
本編話者数	10
	(男: 7 女: 3 不明: 0)

標本:００７９　番組名:「バラエティー生活笑百科」

語数	延べ	異なり	語の密度	延べ	異なり	CM語数	延べ	異なり
音声	646	235	音声	129.2	47.0	音声	-	-
画面	66	22	画面	13.2	4.4	画面	-	-

語種	和	漢	外	混	不明
音声	491(76.0)	98(15.2)	13(2.0)	43(6.7)	1(0.2)
	152(64.7)	48(20.4)	8(3.4)	26(11.1)	1(0.4)
画面	17(25.8)	29(43.9)	0(0.0)	6(9.1)	14(21.2)
	8(36.4)	9(40.9)	0(0.0)	2(9.1)	3(13.6)

品詞	体	用	相	他	不明
音声	261(40.4)	111(17.2)	135(20.9)	139(21.5)	0(0.0)
	122(51.9)	45(19.1)	44(18.7)	24(10.2)	0(0.0)
画面	33(50.0)	1(1.5)	18(27.3)	0(0.0)	14(21.2)
	15(68.2)	1(4.5)	3(13.6)	0(0.0)	3(13.6)

画面媒体(延/異)	1: 7/ 7	2: 58/18	3: 1/ 1	4: 0/ 0

放送年月日	1989年4月21日(金)
採録時刻	16:20〜16:25
チャンネル	1(ＮＨＫ総合)
ジャンル	バラエティー系
本編秒数	300
番組分数	25
視聴率１	0.7
視聴率２	23.5
本編話者数	7
(男: 6 女: 1 不明: 0)	

標本:００８０　番組名:「今晩は・ＷＡＤＡです」

語数	延べ	異なり	語の密度	延べ	異なり	CM語数	延べ	異なり
音声	447	245	音声	89.4	49.0	音声	-	-
画面	135	53	画面	27.0	10.6	画面	-	-

語種	和	漢	外	混	不明
音声	325(72.7)	85(19.0)	13(2.9)	24(5.4)	0(0.0)
	150(61.2)	61(24.9)	11(4.5)	23(9.4)	0(0.0)
画面	29(21.5)	61(45.2)	16(11.9)	15(11.1)	14(10.4)
	14(26.4)	21(39.6)	7(13.2)	7(13.2)	4(7.5)

品詞	体	用	相	他	不明
音声	198(44.3)	82(18.3)	80(17.9)	87(19.5)	0(0.0)
	137(55.9)	48(19.6)	39(15.9)	21(8.6)	0(0.0)
画面	115(85.2)	2(1.5)	4(3.0)	0(0.0)	14(10.4)
	47(88.7)	1(1.9)	1(1.9)	0(0.0)	4(7.5)

画面媒体(延/異)	1: 37/32	2: 95/33	3: 0/ 0	4: 3/ 3

放送年月日	1989年4月21日(金)
採録時刻	19:00〜19:05
チャンネル	6(ＴＢＳ)
ジャンル	一般実用系
本編秒数	300
番組分数	30
視聴率１	8.8
視聴率２	56.1
本編話者数	6
(男: 3 女: 3 不明: 0)	

標本:００８１　番組名:「ニュース最終版」

語数	延べ	異なり	語の密度	延べ	異なり	CM語数	延べ	異なり
音声	554	207	音声	110.8	41.4	音声	-	-
画面	8	8	画面	1.6	1.6	画面	-	-

語種	和	漢	外	混	不明
音声	434(78.3)	83(15.0)	4(0.7)	33(6.0)	0(0.0)
	127(61.4)	54(26.1)	3(1.4)	23(11.1)	0(0.0)
画面	6(75.0)	1(12.5)	0(0.0)	1(12.5)	0(0.0)
	6(75.0)	1(12.5)	0(0.0)	1(12.5)	0(0.0)

品詞	体	用	相	他	不明
音声	205(37.0)	90(16.2)	142(25.6)	117(21.1)	0(0.0)
	109(52.7)	37(17.9)	37(17.9)	24(11.6)	0(0.0)
画面	8(100.0)	0(0.0)	0(0.0)	0(0.0)	0(0.0)
	8(100.0)	0(0.0)	0(0.0)	0(0.0)	0(0.0)

画面媒体(延/異)	1: 8/ 8	2: 0/ 0	3: 0/ 0	4: 0/ 0

放送年月日	1989年4月21日(金)
採録時刻	00:15〜00:20
チャンネル	8(フジテレビ)
ジャンル	報道系
本編秒数	300
番組分数	90
視聴率１	4.6
視聴率２	23.0
本編話者数	4
(男: 3 女: 1 不明: 0)	

標本:００８２　番組名:「みんな地球人」

語 数	延べ	異なり	語の密度	延べ	異なり	CM語数	延べ	異なり
音声	293	218	音声	58.6	43.6	音声	-	-
画面	30	28	画面	6.0	5.6	画面	-	-

語 種	和	漢	外	混	不明
音声	226(77.1)	44(15.0)	3(1.0)	20(6.8)	0(0.0)
	156(71.6)	42(19.3)	3(1.4)	17(7.8)	0(0.0)
画面	14(46.7)	8(26.7)	0(0.0)	3(10.0)	5(16.7)
	13(46.4)	8(28.6)	0(0.0)	2(7.1)	5(17.9)

品 詞	体	用	相	他	不明
音声	169(57.7)	58(19.8)	47(16.0)	19(6.5)	0(0.0)
	115(52.8)	51(23.4)	40(18.3)	12(5.5)	0(0.0)
画面	17(56.7)	4(13.3)	4(13.3)	0(0.0)	5(16.7)
	15(53.6)	4(14.3)	4(14.3)	0(0.0)	5(17.9)

画面媒体(延/異)	1: 10/10	2: 0/ 0	3: 0/ 0	4: 20/19

放送年月日	1989年4月22日(土)
採録時刻	11:20〜11:25
チャンネル	3(ＮＨＫ教育)
ジャンル	教育・教養系
本編秒数	300
番組分数	15
視聴率１	1.3
視聴率２	20.6
本編話者数	20
	(男: 14 女: 6 不明: 0)

標本:００８３　番組名:「アイドル共和国」

語 数	延べ	異なり	語の密度	延べ	異なり	CM語数	延べ	異なり
音声	171	87	音声	57.0	29.0	音声	75	66
画面	3	1	画面	1.0	0.3	画面	84	55

語 種	和	漢	外	混	不明
音声	109(63.7)	13(7.6)	44(25.7)	5(2.9)	0(0.0)
	64(73.6)	10(11.5)	8(9.2)	5(5.7)	0(0.0)
画面	0(0.0)	0(0.0)	3(100.0)	0(0.0)	0(0.0)
	0(0.0)	0(0.0)	1(100.0)	0(0.0)	0(0.0)

品 詞	体	用	相	他	不明
音声	94(55.0)	18(10.5)	25(14.6)	34(19.9)	0(0.0)
	41(47.1)	15(17.2)	17(19.5)	14(16.1)	0(0.0)
画面	3(100.0)	0(0.0)	0(0.0)	0(0.0)	0(0.0)
	1(100.0)	0(0.0)	0(0.0)	0(0.0)	0(0.0)

画面媒体(延/異)	1: 1/ 1	2: 0/ 0	3: 2/ 1	4: 0/ 0

放送年月日	1989年4月22日(土)
採録時刻	15:45〜15:50
チャンネル	10(テレビ朝日)
ジャンル	バラエティー系
本編秒数	180
番組分数	55
視聴率１	4.0
視聴率２	29.3
本編話者数	8
	(男: 6 女: 1 不明: 1)

標本:００８４　番組名:「鶴ちゃんのブッツン５」

語 数	延べ	異なり	語の密度	延べ	異なり	CM語数	延べ	異なり
音声	116	63	音声	34.1	18.5	音声	50	44
画面	15	15	画面	4.4	4.4	画面	36	33

語 種	和	漢	外	混	不明
音声	96(82.8)	8(6.9)	6(5.2)	6(5.2)	0(0.0)
	48(76.2)	5(7.9)	4(6.3)	6(9.5)	0(0.0)
画面	0(0.0)	8(53.3)	1(6.7)	2(13.3)	4(26.7)
	0(0.0)	8(53.3)	1(6.7)	2(13.3)	4(26.7)

品 詞	体	用	相	他	不明
音声	56(48.3)	32(27.6)	6(5.2)	22(19.0)	0(0.0)
	30(47.6)	17(27.0)	4(6.3)	12(19.0)	0(0.0)
画面	10(66.7)	0(0.0)	1(6.7)	0(0.0)	4(26.7)
	10(66.7)	0(0.0)	1(6.7)	0(0.0)	4(26.7)

画面媒体(延/異)	1: 15/15	2: 0/ 0	3: 0/ 0	4: 0/ 0

放送年月日	1989年4月22日(土)
採録時刻	18:20〜18:25
チャンネル	4(日本テレビ)
ジャンル	バラエティー系
本編秒数	204
番組分数	80
視聴率１	9.2
視聴率２	53.1
本編話者数	4
	(男: 1 女: 3 不明: 0)

標本:００８５　番組名:-

語数	延べ	異なり	語の密度	延べ	異なり	CM語数	延べ	異なり
音声	-	-	音声	-	-	音声	-	-
画面	-	-	画面	-	-	画面	-	-

語種	和	漢	外	混	不明
音声	-(-)	-(-)	-(-)	-(-)	-(-)
	-(-)	-(-)	-(-)	-(-)	-(-)
画面	-(-)	-(-)	-(-)	-(-)	-(-)
	-(-)	-(-)	-(-)	-(-)	-(-)

品詞	体	用	相	他	不明
音声	-(-)	-(-)	-(-)	-(-)	-(-)
	-(-)	-(-)	-(-)	-(-)	-(-)
画面	-(-)	-(-)	-(-)	-(-)	-(-)
	-(-)	-(-)	-(-)	-(-)	-(-)

画面媒体(延/異)	1: -/ -	2: -/ -	3: -/ -	4: -/ -

放送年月日	1989年4月22日(土)
採録時刻	00:30〜00:35
チャンネル	3(ＮＨＫ教育)
ジャンル	-
本編秒数	300
番組分数	-
視聴率１	-
視聴率２	-
本編話者数	-
(男: - 女: - 不明: -)	

標本:００８６　番組名:「そこが知りたいアンコール特バン超！高級品の世界」

語数	延べ	異なり	語の密度	延べ	異なり	CM語数	延べ	異なり
音声	360	191	音声	72.0	38.2	音声	-	-
画面	51	37	画面	10.2	7.4	画面	-	-

語種	和	漢	外	混	不明
音声	289(80.3)	48(13.3)	1(0.3)	22(6.1)	0(0.0)
	138(72.3)	38(19.9)	1(0.5)	14(7.3)	0(0.0)
画面	13(25.5)	7(13.7)	1(2.0)	17(33.3)	13(25.5)
	13(35.1)	7(18.9)	1(2.7)	11(29.7)	5(13.5)

品詞	体	用	相	他	不明
音声	155(43.1)	74(20.6)	68(18.9)	63(17.5)	0(0.0)
	87(45.5)	46(24.1)	38(19.9)	20(10.5)	0(0.0)
画面	35(68.6)	3(5.9)	1(2.0)	0(0.0)	12(23.5)
	29(78.4)	3(8.1)	1(2.7)	0(0.0)	4(10.8)

画面媒体(延/異)	1: 45/35	2: 0/ 0	3: 0/ 0	4: 6/ 3

放送年月日	1989年4月23日(日)
採録時刻	11:00〜11:05
チャンネル	6(ＴＢＳ)
ジャンル	教育・教養系
本編秒数	300
番組分数	60
視聴率１	2.9
視聴率２	45.7
本編話者数	7
(男: 6 女: 1 不明: 0)	

標本:００８７　番組名:「日曜スペシャル名湯！秘湯！日本の温泉ベスト１０１」

語数	延べ	異なり	語の密度	延べ	異なり	CM語数	延べ	異なり
音声	329	208	音声	65.8	41.6	音声	-	-
画面	56	37	画面	11.2	7.4	画面	-	-

語種	和	漢	外	混	不明
音声	216(65.7)	71(21.6)	6(1.8)	36(10.9)	0(0.0)
	135(64.9)	46(22.1)	3(1.4)	24(11.5)	0(0.0)
画面	8(14.3)	14(25.0)	1(1.8)	25(44.6)	8(14.3)
	7(18.9)	9(24.3)	1(2.7)	16(43.2)	4(10.8)

品詞	体	用	相	他	不明
音声	162(49.2)	72(21.9)	68(20.7)	27(8.2)	0(0.0)
	113(54.3)	42(20.2)	33(15.9)	20(9.6)	0(0.0)
画面	45(80.4)	2(3.6)	1(1.8)	0(0.0)	8(14.3)
	30(81.1)	2(5.4)	1(2.7)	0(0.0)	4(10.8)

画面媒体(延/異)	1: 54/37	2: 0/ 0	3: 0/ 0	4: 2/ 1

放送年月日	1989年4月23日(日)
採録時刻	16:05〜16:10
チャンネル	8(フジテレビ)
ジャンル	バラエティー系
本編秒数	300
番組分数	85
視聴率１	8.8
視聴率２	43.2
本編話者数	6
(男: 3 女: 3 不明: 0)	

標本:００８８　番組名:「ＮＨＫスペシャル・国境を越えた和解上海列車事故補償交渉の記録」

語 数	延べ	異なり	語の密度	延べ	異なり	ＣＭ語数	延べ	異なり
音声	283	194	音声	56.6	38.8	音声	-	-
画面	19	11	画面	3.8	2.2	画面	-	-

語 種	和	漢	外	混	不明
音声	167(59.0)	94(33.2)	5(1.8)	17(6.0)	0(0.0)
	100(51.5)	74(38.1)	3(1.5)	17(8.8)	0(0.0)
画面	1(5.3)	7(36.8)	0(0.0)	7(36.8)	4(21.1)
	1(9.1)	4(36.4)	0(0.0)	4(36.4)	2(18.2)

品 詞	体	用	相	他	不明
音声	153(54.1)	77(27.2)	40(14.1)	13(4.6)	0(0.0)
	106(54.6)	49(25.3)	31(16.0)	8(4.1)	0(0.0)
画面	15(78.9)	0(0.0)	0(0.0)	0(0.0)	4(21.1)
	9(81.8)	0(0.0)	0(0.0)	0(0.0)	2(18.2)

画面媒体(延/異)	1: 19/11	2: 0/ 0	3: 0/ 0	4: 0/ 0

放送年月日	1989年4月23日(日)
採録時刻	21:10〜21:15
チャンネル	1(ＮＨＫ総合)
ジャンル	教育・教養系
本編秒数	300
番組分数	60
視聴率１	8.5
視聴率２	76.6
本編話者数	7
(男: 5 女: 2 不明: 0)	

標本:００８９　番組名:-

語 数	延べ	異なり	語の密度	延べ	異なり	ＣＭ語数	延べ	異なり
音声	-	-	音声	-	-	音声	-	-
画面	-	-	画面	-	-	画面	-	-

語 種	和	漢	外	混	不明
音声	-(-)	-(-)	-(-)	-(-)	-(-)
	-(-)	-(-)	-(-)	-(-)	-(-)
画面	-(-)	-(-)	-(-)	-(-)	-(-)
	-(-)	-(-)	-(-)	-(-)	-(-)

品 詞	体	用	相	他	不明
音声	-(-)	-(-)	-(-)	-(-)	-(-)
	-(-)	-(-)	-(-)	-(-)	-(-)
画面	-(-)	-(-)	-(-)	-(-)	-(-)
	-(-)	-(-)	-(-)	-(-)	-(-)

画面媒体(延/異)	1: -/ -	2: -/ -	3: -/ -	4: -/ -

放送年月日	1989年4月23日(日)
採録時刻	04:05〜04:10
チャンネル	10(テレビ朝日)
ジャンル	-
本編秒数	300
番組分数	-
視聴率１	-
視聴率２	-
本編話者数	-
(男: - 女: - 不明: -)	

標本:００９０　番組名:「新五捕物帳」

語 数	延べ	異なり	語の密度	延べ	異なり	ＣＭ語数	延べ	異なり
音声	120	85	音声	29.9	21.2	音声	49	39
画面	12	9	画面	3.0	2.2	画面	30	24

語 種	和	漢	外	混	不明
音声	92(76.7)	12(10.0)	1(0.8)	12(10.0)	3(2.5)
	63(74.1)	11(12.9)	1(1.2)	8(9.4)	2(2.4)
画面	1(8.3)	6(50.0)	0(0.0)	3(25.0)	2(16.7)
	1(11.1)	4(44.4)	0(0.0)	2(22.2)	2(22.2)

品 詞	体	用	相	他	不明
音声	68(56.7)	20(16.7)	15(12.5)	17(14.2)	0(0.0)
	47(55.3)	15(17.6)	12(14.1)	11(12.9)	0(0.0)
画面	10(83.3)	0(0.0)	0(0.0)	0(0.0)	2(16.7)
	7(77.8)	0(0.0)	0(0.0)	0(0.0)	2(22.2)

画面媒体(延/異)	1: 10/ 8	2: 0/ 0	3: 0/ 0	4: 2/ 1

放送年月日	1989年4月24日(月)
採録時刻	10:30〜10:35
チャンネル	4(日本テレビ)
ジャンル	ストーリー系
本編秒数	241
番組分数	53
視聴率１	3.6
視聴率２	17.8
本編話者数	10
(男: 8 女: 2 不明: 0)	

標本:００９１　番組名:「ニュース日経夕刊」

語数	延べ	異なり	語の密度	延べ	異なり	CM語数	延べ	異なり
音声	252	216	音声	62.7	53.8	音声	56	39
画面	32	30	画面	8.0	7.5	画面	11	7

語種	和	漢	外	混	不明
音声	89(35.3)	88(34.9)	10(4.0)	65(25.8)	0(0.0)
	64(29.6)	83(38.4)	9(4.2)	60(27.8)	0(0.0)
画面	3(9.4)	17(53.1)	3(9.4)	9(28.1)	0(0.0)
	3(10.0)	15(50.0)	3(10.0)	9(30.0)	0(0.0)

品詞	体	用	相	他	不明
音声	168(66.7)	58(23.0)	13(5.2)	13(5.2)	0(0.0)
	150(69.4)	49(22.7)	11(5.1)	6(2.8)	0(0.0)
画面	31(96.9)	1(3.1)	0(0.0)	0(0.0)	0(0.0)
	29(96.7)	1(3.3)	0(0.0)	0(0.0)	0(0.0)

画面媒体(延/異)	1: 16/15	2: 0/ 0	3: 2/ 2	4: 14/13

放送年月日	1989年4月24日(月)
採録時刻	15:30〜15:35
チャンネル	12(テレビ東京)
ジャンル	報道系
本編秒数	241
番組分数	10
視聴率1	1.1
視聴率2	34.1
本編話者数	2
(男: 1 女: 1 不明: 0)	

標本:００９２　番組名:「志村けんのだいじょうぶだぁ」

語数	延べ	異なり	語の密度	延べ	異なり	CM語数	延べ	異なり
音声	370	136	音声	74.0	27.2	音声	-	-
画面	0	0	画面	0.0	0.0	画面	-	-

語種	和	漢	外	混	不明
音声	292(78.9)	56(15.1)	9(2.4)	12(3.2)	1(0.3)
	103(75.7)	17(12.5)	7(5.1)	8(5.9)	1(0.7)
画面	0(0.0)	0(0.0)	0(0.0)	0(0.0)	0(0.0)
	0(0.0)	0(0.0)	0(0.0)	0(0.0)	0(0.0)

品詞	体	用	相	他	不明
音声	154(41.6)	76(20.5)	60(16.2)	80(21.6)	0(0.0)
	59(43.4)	30(22.1)	26(19.1)	21(15.4)	0(0.0)
画面	0(0.0)	0(0.0)	0(0.0)	0(0.0)	0(0.0)
	0(0.0)	0(0.0)	0(0.0)	0(0.0)	0(0.0)

画面媒体(延/異)	1: 0/ 0	2: 0/ 0	3: 0/ 0	4: 0/ 0

放送年月日	1989年4月24日(月)
採録時刻	20:15〜20:20
チャンネル	8(フジテレビ)
ジャンル	バラエティー系
本編秒数	300
番組分数	54
視聴率1	21.2
視聴率2	77.6
本編話者数	4
(男: 2 女: 2 不明: 0)	

標本:００９３　番組名:-

語数	延べ	異なり	語の密度	延べ	異なり	CM語数	延べ	異なり
音声	-	-	音声	-	-	音声	-	-
画面	-	-	画面	-	-	画面	-	-

語種	和	漢	外	混	不明
音声	-(-)	-(-)	-(-)	-(-)	-(-)
	-(-)	-(-)	-(-)	-(-)	-(-)
画面	-(-)	-(-)	-(-)	-(-)	-(-)
	-(-)	-(-)	-(-)	-(-)	-(-)

品詞	体	用	相	他	不明
音声	-(-)	-(-)	-(-)	-(-)	-(-)
	-(-)	-(-)	-(-)	-(-)	-(-)
画面	-(-)	-(-)	-(-)	-(-)	-(-)
	-(-)	-(-)	-(-)	-(-)	-(-)

画面媒体(延/異)	1: -/ -	2: -/ -	3: -/ -	4: -/ -

放送年月日	1989年4月24日(月)
採録時刻	01:35〜01:40
チャンネル	3(NHK教育)
ジャンル	-
本編秒数	300
番組分数	-
視聴率1	-
視聴率2	-
本編話者数	-
(男: - 女: - 不明: -)	

標本:００９４　番組名:「やじうまワイド」

語 数	延べ	異なり	語の密度	延べ	異なり	CM語数	延べ	異なり
音声	407	307	音声	116.3	87.7	音声	51	39
画面	38	29	画面	10.9	8.3	画面	23	21

語 種	和	漢	外	混	不明
音声	238(58.5)	93(22.9)	27(6.6)	48(11.8)	1(0.2)
	149(48.5)	85(27.7)	25(8.1)	47(15.3)	1(0.3)
画面	10(26.3)	12(31.6)	2(5.3)	5(13.2)	9(23.7)
	7(24.1)	9(31.0)	2(6.9)	5(17.2)	6(20.7)
品 詞	体	用	相	他	不明
音声	209(51.4)	76(18.7)	57(14.0)	65(16.0)	0(0.0)
	186(60.6)	57(18.6)	42(13.7)	22(7.2)	0(0.0)
画面	26(68.4)	0(0.0)	1(2.6)	2(5.3)	9(23.7)
	21(72.4)	0(0.0)	1(3.4)	1(3.4)	6(20.7)
画面媒体(延/異)	1: 3/ 3	2: 1/ 1	3: 4/ 4	4: 30/21	

放送年月日	1989年4月25日(火)
採録時刻	07:40〜07:45
チャンネル	10(テレビ朝日)
ジャンル	一般実用系
本編秒数	210
番組分数	90
視聴率1	7.7
視聴率2	57.9
本編話者数	5
(男: 4 女: 1 不明: 0)	

標本:００９５　番組名:「ＴＢＳ６」

語 数	延べ	異なり	語の密度	延べ	異なり	CM語数	延べ	異なり
音声	135	113	音声	66.9	56.0	音声	163	104
画面	48	27	画面	23.8	13.4	画面	185	104

語 種	和	漢	外	混	不明
音声	84(62.2)	18(13.3)	5(3.7)	26(19.3)	2(1.5)
	68(60.2)	17(15.0)	5(4.4)	22(19.5)	1(0.9)
画面	15(31.3)	7(14.6)	0(0.0)	20(41.7)	6(12.5)
	10(37.0)	3(11.1)	0(0.0)	12(44.4)	2(7.4)
品 詞	体	用	相	他	不明
音声	76(56.3)	29(21.5)	22(16.3)	8(5.9)	0(0.0)
	64(56.6)	24(21.2)	18(15.9)	7(6.2)	0(0.0)
画面	42(87.5)	0(0.0)	0(0.0)	0(0.0)	6(12.5)
	25(92.6)	0(0.0)	0(0.0)	0(0.0)	2(7.4)
画面媒体(延/異)	1: 38/27	2: 10/10	3: 0/ 0	4: 0/ 0	

放送年月日	1989年4月25日(火)
採録時刻	15:55〜16:00
チャンネル	6(ＴＢＳ)
ジャンル	その他
本編秒数	121
番組分数	5
視聴率1	6.8
視聴率2	21.4
本編話者数	12
(男: 4 女: 8 不明: 0)	

標本:００９６　番組名:「浪漫街道」

語 数	延べ	異なり	語の密度	延べ	異なり	CM語数	延べ	異なり
音声	419	213	音声	83.8	42.6	音声	-	-
画面	30	23	画面	6.0	4.6	画面	-	-

語 種	和	漢	外	混	不明
音声	302(72.1)	81(19.3)	22(5.3)	8(1.9)	6(1.4)
	141(66.2)	52(24.4)	10(4.7)	8(3.8)	2(0.9)
画面	12(40.0)	1(3.3)	3(10.0)	2(6.7)	12(40.0)
	11(47.8)	1(4.3)	3(13.0)	2(8.7)	6(26.1)
品 詞	体	用	相	他	不明
音声	213(50.8)	99(23.6)	84(20.0)	23(5.5)	0(0.0)
	114(53.5)	50(23.5)	41(19.2)	8(3.8)	0(0.0)
画面	9(30.0)	5(16.7)	4(13.3)	0(0.0)	12(40.0)
	8(34.8)	5(21.7)	4(17.4)	0(0.0)	6(26.1)
画面媒体(延/異)	1: 30/23	2: 0/ 0	3: 0/ 0	4: 0/ 0	

放送年月日	1989年4月25日(火)
採録時刻	22:15〜22:20
チャンネル	12(テレビ東京)
ジャンル	教育・教養系
本編秒数	300
番組分数	30
視聴率1	1.1
視聴率2	63.5
本編話者数	3
(男: 2 女: 1 不明: 0)	

標本:００９７　番組名:-

語数	延べ	異なり	語の密度	延べ	異なり	CM語数	延べ	異なり
音声	-	-	音声	-	-	音声	-	-
画面	-	-	画面	-	-	画面	-	-

語種	和	漢	外	混	不明
音声	-(-)	-(-)	-(-)	-(-)	-(-)
	-(-)	-(-)	-(-)	-(-)	-(-)
画面	-(-)	-(-)	-(-)	-(-)	-(-)
	-(-)	-(-)	-(-)	-(-)	-(-)
品詞	体	用	相	他	不明
音声	-(-)	-(-)	-(-)	-(-)	-(-)
	-(-)	-(-)	-(-)	-(-)	-(-)
画面	-(-)	-(-)	-(-)	-(-)	-(-)
	-(-)	-(-)	-(-)	-(-)	-(-)
画面媒体(延/異)	1: -/ -	2: -/ -	3: -/ -	4: -/ -	

放送年月日	1989年4月25日(火)
採録時刻	01:05〜01:10
チャンネル	1(ＮＨＫ総合)
ジャンル	-
本編秒数	300
番組分数	-
視聴率１	-
視聴率２	-
本編話者数	-
(男: - 女: - 不明: -)	

標本:００９８　番組名:「ワイドショー・ルックルックこんにちは」

語数	延べ	異なり	語の密度	延べ	異なり	CM語数	延べ	異なり
音声	323	206	音声	80.4	51.3	音声	49	36
画面	56	53	画面	13.9	13.2	画面	64	53

語種	和	漢	外	混	不明
音声	200(61.9)	60(18.6)	18(5.6)	45(13.9)	0(0.0)
	115(55.8)	43(20.9)	13(6.3)	35(17.0)	0(0.0)
画面	16(28.6)	19(33.9)	3(5.4)	10(17.9)	8(14.3)
	16(30.2)	19(35.8)	3(5.7)	10(18.9)	5(9.4)
品詞	体	用	相	他	不明
音声	165(51.1)	66(20.4)	47(14.6)	45(13.9)	0(0.0)
	116(56.3)	43(20.9)	30(14.6)	17(8.3)	0(0.0)
画面	38(67.9)	8(14.3)	2(3.6)	0(0.0)	8(14.3)
	38(71.7)	8(15.1)	2(3.8)	0(0.0)	5(9.4)
画面媒体(延/異)	1: 51/48	2: 5/ 5	3: 0/ 0	4: 0/ 0	

放送年月日	1989年4月26日(水)
採録時刻	09:45〜09:50
チャンネル	4(日本テレビ)
ジャンル	一般実用系
本編秒数	241
番組分数	90
視聴率１	6.4
視聴率２	27.2
本編話者数	6
(男: 4 女: 2 不明: 0)	

標本:００９９　番組名:「大草原の小さな家」

語数	延べ	異なり	語の密度	延べ	異なり	CM語数	延べ	異なり
音声	199	135	音声	39.8	27.0	音声	-	-
画面	0	0	画面	0.0	0.0	画面	-	-

語種	和	漢	外	混	不明
音声	159(79.9)	23(11.6)	8(4.0)	9(4.5)	0(0.0)
	98(72.6)	23(17.0)	6(4.4)	8(5.9)	0(0.0)
画面	0(0.0)	0(0.0)	0(0.0)	0(0.0)	0(0.0)
	0(0.0)	0(0.0)	0(0.0)	0(0.0)	0(0.0)
品詞	体	用	相	他	不明
音声	87(43.7)	44(22.1)	50(25.1)	18(9.0)	0(0.0)
	63(46.7)	31(23.0)	30(22.2)	11(8.1)	0(0.0)
画面	0(0.0)	0(0.0)	0(0.0)	0(0.0)	0(0.0)
	0(0.0)	0(0.0)	0(0.0)	0(0.0)	0(0.0)
画面媒体(延/異)	1: 0/ 0	2: 0/ 0	3: 0/ 0	4: 0/ 0	

放送年月日	1989年4月26日(水)
採録時刻	17:45〜17:50
チャンネル	1(ＮＨＫ総合)
ジャンル	ストーリー系
本編秒数	300
番組分数	45
視聴率１	7.3
視聴率２	36.6
本編話者数	6
(男: 2 女: 4 不明: 0)	

標本:０１００　番組名:「英語会話」

語 数	延べ	異なり	語の密度	延べ	異なり	CM語数	延べ	異なり
音声	0	0	音声	0.0	0.0	音声	-	-
画面	0	0	画面	0.0	0.0	画面	-	-

語 種	和	漢	外	混	不明
音声	0(0.0)	0(0.0)	0(0.0)	0(0.0)	0(0.0)
	0(0.0)	0(0.0)	0(0.0)	0(0.0)	0(0.0)
画面	0(0.0)	0(0.0)	0(0.0)	0(0.0)	0(0.0)
	0(0.0)	0(0.0)	0(0.0)	0(0.0)	0(0.0)
品 詞	体	用	相	他	不明
音声	0(0.0)	0(0.0)	0(0.0)	0(0.0)	0(0.0)
	0(0.0)	0(0.0)	0(0.0)	0(0.0)	0(0.0)
画面	0(0.0)	0(0.0)	0(0.0)	0(0.0)	0(0.0)
	0(0.0)	0(0.0)	0(0.0)	0(0.0)	0(0.0)
画面媒体(延/異)	1: 0/ 0	2: 0/ 0	3: 0/ 0	4: 0/ 0	

放送年月日	1989年4月26日(水)
採録時刻	23:35〜23:40
チャンネル	3(ＮＨＫ教育)
ジャンル	教育・教養系
本編秒数	300
番組分数	30
視聴率１	0.0
視聴率２	30.3
本編話者数	0
(男: 0 女: 0 不明: 0)	

標本:０１０１　番組名:-

語 数	延べ	異なり	語の密度	延べ	異なり	CM語数	延べ	異なり
音声	-	-	音声	-	-	音声	-	-
画面	-	-	画面	-	-	画面	-	-

語 種	和	漢	外	混	不明
音声	-(-)	-(-)	-(-)	-(-)	-(-)
	-(-)	-(-)	-(-)	-(-)	-(-)
画面	-(-)	-(-)	-(-)	-(-)	-(-)
	-(-)	-(-)	-(-)	-(-)	-(-)
品 詞	体	用	相	他	不明
音声	-(-)	-(-)	-(-)	-(-)	-(-)
	-(-)	-(-)	-(-)	-(-)	-(-)
画面	-(-)	-(-)	-(-)	-(-)	-(-)
	-(-)	-(-)	-(-)	-(-)	-(-)
画面媒体(延/異)	1: -/ -	2: -/ -	3: -/ -	4: -/ -	

放送年月日	1989年4月27日(木)
採録時刻	05:25〜05:30
チャンネル	8(フジテレビ)
ジャンル	-
本編秒数	300
番組分数	-
視聴率１	-
視聴率２	-
本編話者数	-
(男: - 女: - 不明: -)	

標本:０１０２　番組名:「ルンルンあさ６生情報」

語 数	延べ	異なり	語の密度	延べ	異なり	CM語数	延べ	異なり
音声	312	209	音声	78.0	52.3	音声	65	46
画面	138	87	画面	34.5	21.8	画面	53	46

語 種	和	漢	外	混	不明
音声	171(54.8)	101(32.4)	4(1.3)	36(11.5)	0(0.0)
	95(45.5)	80(38.3)	4(1.9)	30(14.4)	0(0.0)
画面	24(17.4)	43(31.2)	1(0.7)	17(12.3)	53(38.4)
	23(26.4)	36(41.4)	1(1.1)	14(16.1)	13(14.9)
品 詞	体	用	相	他	不明
音声	193(61.9)	62(19.9)	22(7.1)	35(11.2)	0(0.0)
	140(67.0)	41(19.6)	15(7.2)	13(6.2)	0(0.0)
画面	81(58.7)	3(2.2)	1(0.7)	0(0.0)	53(38.4)
	70(80.5)	3(3.4)	1(1.1)	0(0.0)	13(14.9)
画面媒体(延/異)	1: 118/70	2: 0/ 0	3: 2/ 2	4: 18/1	

放送年月日	1989年4月27日(木)
採録時刻	06:10〜06:15
チャンネル	4(日本テレビ)
ジャンル	一般実用系
本編秒数	240
番組分数	45
視聴率１	3.5
視聴率２	19.3
本編話者数	3
(男: 2 女: 1 不明: 0)	

標本:０１０３　番組名:「ＡＮＮニュース」

語数	延べ	異なり	語の密度	延べ	異なり	ＣＭ語数	延べ	異なり
音声	168	121	音声	56.0	40.3	音声	102	80
画面	39	32	画面	13.0	10.7	画面	86	59

語種	和	漢	外	混	不明
音声	80(47.6)	58(34.5)	2(1.2)	28(16.7)	0(0.0)
	50(41.3)	45(37.2)	2(1.7)	24(19.8)	0(0.0)
画面	7(17.9)	15(38.5)	4(10.3)	9(23.1)	4(10.3)
	5(15.6)	15(46.9)	2(6.3)	8(25.0)	2(6.3)

品詞	体	用	相	他	不明
音声	112(66.7)	36(21.4)	16(9.5)	4(2.4)	0(0.0)
	80(66.1)	27(22.3)	12(9.9)	2(1.7)	0(0.0)
画面	30(76.9)	1(2.6)	4(10.3)	0(0.0)	4(10.3)
	27(84.4)	1(3.1)	2(6.3)	0(0.0)	2(6.3)

画面媒体(延/異)　1: 37/31　2: 0/ 0　3: 2/ 2　4: 0/ 0

放送年月日	1989年4月27日(木)
採録時刻	14:55〜15:00
チャンネル	10(テレビ朝日)
ジャンル	報道系
本編秒数	180
番組分数	5
視聴率１	2.7
視聴率２	26.2
本編話者数	4
(男: 4 女: 0 不明: 0)	

標本:０１０４　番組名:「ザ・ベストテン」

語数	延べ	異なり	語の密度	延べ	異なり	ＣＭ語数	延べ	異なり
音声	118	98	音声	30.8	25.6	音声	54	45
画面	81	66	画面	21.1	17.2	画面	59	43

語種	和	漢	外	混	不明
音声	80(67.8)	26(22.0)	0(0.0)	12(10.2)	0(0.0)
	69(70.4)	20(20.4)	0(0.0)	9(9.2)	0(0.0)
画面	54(66.7)	14(17.3)	1(1.2)	5(6.2)	7(8.6)
	47(71.2)	11(16.7)	1(1.5)	4(6.1)	3(4.5)

品詞	体	用	相	他	不明
音声	64(54.2)	29(24.6)	21(17.8)	4(3.4)	0(0.0)
	50(51.0)	28(28.6)	17(17.3)	3(3.1)	0(0.0)
画面	46(56.8)	20(24.7)	8(9.9)	0(0.0)	7(8.6)
	37(56.1)	19(28.8)	7(10.6)	0(0.0)	3(4.5)

画面媒体(延/異)　1: 81/66　2: 0/ 0　3: 0/ 0　4: 0/ 0

放送年月日	1989年4月27日(木)
採録時刻	21:40〜21:45
チャンネル	6(ＴＢＳ)
ジャンル	音楽系
本編秒数	230
番組分数	54
視聴率１	11.6
視聴率２	73.8
本編話者数	3
(男: 2 女: 1 不明: 0)	

標本:０１０５　番組名:「夜の時代劇・大江戸捜査網」

語数	延べ	異なり	語の密度	延べ	異なり	ＣＭ語数	延べ	異なり
音声	83	72	音声	16.6	14.4	音声	-	-
画面	3	3	画面	0.6	0.6	画面	-	-

語種	和	漢	外	混	不明
音声	61(73.5)	7(8.4)	0(0.0)	13(15.7)	2(2.4)
	52(72.2)	7(9.7)	0(0.0)	12(16.7)	1(1.4)
画面	1(33.3)	0(0.0)	0(0.0)	2(66.7)	0(0.0)
	1(33.3)	0(0.0)	0(0.0)	2(66.7)	0(0.0)

品詞	体	用	相	他	不明
音声	50(60.2)	19(22.9)	12(14.5)	2(2.4)	0(0.0)
	42(58.3)	19(26.4)	9(12.5)	2(2.8)	0(0.0)
画面	3(100.0)	0(0.0)	0(0.0)	0(0.0)	0(0.0)
	3(100.0)	0(0.0)	0(0.0)	0(0.0)	0(0.0)

画面媒体(延/異)　1: 0/ 0　2: 0/ 0　3: 0/ 0　4: 3/ 3

放送年月日	1989年4月27日(木)
採録時刻	02:40〜02:45
チャンネル	12(テレビ東京)
ジャンル	ストーリー系
本編秒数	300
番組分数	60
視聴率１	1.0
視聴率２	6.2
本編話者数	8
(男: 5 女: 3 不明: 0)	

標本:０１０６　番組名:「３分クッキング」

語 数	延べ	異なり	語の密度	延べ	異なり	CM語数	延べ	異なり
音声	451	188	音声	100.2	41.8	音声	25	25
画面	7	7	画面	1.6	1.6	画面	2	2

語 種	和	漢	外	混	不明
音声	382(84.7)	49(10.9)	3(0.7)	17(3.8)	0(0.0)
	130(69.1)	39(20.7)	3(1.6)	16(8.5)	0(0.0)
画面	3(42.9)	1(14.3)	1(14.3)	2(28.6)	0(0.0)
	3(42.9)	1(14.3)	1(14.3)	2(28.6)	0(0.0)

品 詞	体	用	相	他	不明
音声	166(36.8)	63(14.0)	98(21.7)	124(27.5)	0(0.0)
	96(51.1)	34(18.1)	44(23.4)	14(7.4)	0(0.0)
画面	7(100.0)	0(0.0)	0(0.0)	0(0.0)	0(0.0)
	7(100.0)	0(0.0)	0(0.0)	0(0.0)	0(0.0)

画面媒体(延/異)	1: 7/ 7	2: 0/ 0	3: 0/ 0	4: 0/ 0

放送年月日	1989年4月28日(金)
採録時刻	11:45〜11:50
チャンネル	4(日本テレビ)
ジャンル	一般実用系
本編秒数	270
番組分数	10
視聴率１	6.4
視聴率２	23.5
本編話者数	2
(男: 0 女: 2 不明: 0)	

標本:０１０７　番組名:「欽どこＴＶ！！」

語 数	延べ	異なり	語の密度	延べ	異なり	CM語数	延べ	異なり
音声	432	182	音声	123.4	52.0	音声	174	93
画面	19	15	画面	5.4	4.3	画面	26	23

語 種	和	漢	外	混	不明
音声	367(85.0)	47(10.9)	6(1.4)	12(2.8)	0(0.0)
	131(72.0)	35(19.2)	6(3.3)	10(5.5)	0(0.0)
画面	4(21.1)	0(0.0)	9(47.4)	4(21.1)	2(10.5)
	4(26.7)	0(0.0)	5(33.3)	4(26.7)	2(13.3)

品 詞	体	用	相	他	不明
音声	162(37.5)	76(17.6)	73(16.9)	121(28.0)	0(0.0)
	82(45.1)	44(24.2)	32(17.6)	24(13.2)	0(0.0)
画面	16(84.2)	1(5.3)	0(0.0)	0(0.0)	2(10.5)
	12(80.0)	1(6.7)	0(0.0)	0(0.0)	2(13.3)

画面媒体(延/異)	1: 14/12	2: 3/ 3	3: 0/ 0	4: 2/ 1

放送年月日	1989年4月28日(金)
採録時刻	12:30〜12:35
チャンネル	10(テレビ朝日)
ジャンル	バラエティー系
本編秒数	210
番組分数	55
視聴率１	5.6
視聴率２	40.1
本編話者数	6
(男: 6 女: 0 不明: 0)	

標本:０１０８　番組名:「ニュース最終版」

語 数	延べ	異なり	語の密度	延べ	異なり	CM語数	延べ	異なり
音声	302	199	音声	60.6	39.9	音声	0	0
画面	106	91	画面	21.3	18.3	画面	0	0

語 種	和	漢	外	混	不明
音声	153(50.7)	94(31.1)	5(1.7)	50(16.6)	0(0.0)
	100(50.3)	62(31.2)	4(2.0)	33(16.6)	0(0.0)
画面	27(25.5)	34(32.1)	14(13.2)	19(17.9)	12(11.3)
	26(28.6)	32(35.2)	10(11.0)	19(20.9)	4(4.4)

品 詞	体	用	相	他	不明
音声	174(57.6)	68(22.5)	43(14.2)	17(5.6)	0(0.0)
	111(55.8)	49(24.6)	31(15.6)	8(4.0)	0(0.0)
画面	78(73.6)	6(5.7)	10(9.4)	0(0.0)	12(11.3)
	72(79.1)	6(6.6)	9(9.9)	0(0.0)	4(4.4)

画面媒体(延/異)	1: 105/91	2: 0/ 0	3: 1/ 1	4: 0/ 0

放送年月日	1989年4月28日(金)
採録時刻	23:45〜23:50
チャンネル	8(フジテレビ)
ジャンル	報道系
本編秒数	299
番組分数	90
視聴率１	7.0
視聴率２	33.8
本編話者数	10
(男: 8 女: 2 不明: 0)	

標本:０１０９　番組名:「金曜スペシャル・要録画！今から間に合うGW・大情報源」

語数	延べ	異なり	語の密度	延べ	異なり	CM語数	延べ	異なり
音声	304	223	音声	60.8	44.6	音声	-	-
画面	264	150	画面	52.8	30.0	画面	-	-

語種	和	漢	外	混	不明
音声	181(59.5)	56(18.4)	45(14.8)	22(7.2)	0(0.0)
	110(49.3)	51(22.9)	41(18.4)	21(9.4)	0(0.0)
画面	49(18.6)	61(23.1)	25(9.5)	16(6.1)	113(42.8)
	35(23.3)	58(38.7)	19(12.7)	16(10.7)	22(14.7)

品詞	体	用	相	他	不明
音声	189(62.2)	43(14.1)	53(17.4)	19(6.3)	0(0.0)
	142(63.7)	36(16.1)	34(15.2)	11(4.9)	0(0.0)
画面	131(49.6)	8(3.0)	12(4.5)	0(0.0)	113(42.8)
	109(72.7)	8(5.3)	11(7.3)	0(0.0)	22(14.7)

画面媒体(延/異)　1: 120/75 2: 81/23 3: 0/ 0 4: 63/5

放送年月日	1989年4月28日(金)
採録時刻	00:55〜01:00
チャンネル	6(ＴＢＳ)
ジャンル	バラエティー系
本編秒数	300
番組分数	120
視聴率１	3.7
視聴率２	17.6
本編話者数	3
	(男: 3 女: 0 不明: 0)

標本:０１１０　番組名:「ＮＨＫモーニングワイド・第２部」

語数	延べ	異なり	語の密度	延べ	異なり	CM語数	延べ	異なり
音声	407	296	音声	81.4	59.2	音声	-	-
画面	219	76	画面	43.8	15.2	画面	-	-

語種	和	漢	外	混	不明
音声	235(57.7)	104(25.6)	19(4.7)	49(12.0)	0(0.0)
	148(50.0)	90(30.4)	15(5.1)	43(14.5)	0(0.0)
画面	25(11.4)	42(19.2)	10(4.6)	14(6.4)	128(58.4)
	22(28.9)	26(34.2)	6(7.9)	11(14.5)	11(14.5)

品詞	体	用	相	他	不明
音声	252(61.9)	82(20.1)	46(11.3)	27(6.6)	0(0.0)
	198(66.9)	52(17.6)	33(11.1)	13(4.4)	0(0.0)
画面	88(40.2)	0(0.0)	3(1.4)	0(0.0)	128(58.4)
	64(84.2)	0(0.0)	1(1.3)	0(0.0)	11(14.5)

画面媒体(延/異)　1: 216/74 2: 1/ 1 3: 0/ 0 4: 2/ 2

放送年月日	1989年4月29日(土)
採録時刻	08:10〜08:15
チャンネル	1(ＮＨＫ総合)
ジャンル	報道系
本編秒数	300
番組分数	75
視聴率１	26.8
視聴率２	42.3
本編話者数	11
	(男: 6 女: 5 不明: 0)

標本:０１１１　番組名:「石亭レディスゴルフトーナメント」

語数	延べ	異なり	語の密度	延べ	異なり	CM語数	延べ	異なり
音声	268	164	音声	67.0	41.0	音声	22	22
画面	70	38	画面	17.5	9.5	画面	36	30

語種	和	漢	外	混	不明
音声	156(58.2)	33(12.3)	51(19.0)	26(9.7)	2(0.7)
	85(51.8)	21(12.8)	34(20.7)	23(14.0)	1(0.6)
画面	5(7.1)	25(35.7)	9(12.9)	29(41.4)	2(2.9)
	3(7.9)	13(34.2)	5(13.2)	15(39.5)	2(5.3)

品詞	体	用	相	他	不明
音声	137(51.1)	47(17.5)	53(19.8)	31(11.6)	0(0.0)
	87(53.0)	36(22.0)	30(18.3)	11(6.7)	0(0.0)
画面	70(100.0)	0(0.0)	0(0.0)	0(0.0)	0(0.0)
	38(100.0)	0(0.0)	0(0.0)	0(0.0)	0(0.0)

画面媒体(延/異)　1: 70/38 2: 0/ 0 3: 0/ 0 4: 0/ 0

放送年月日	1989年4月29日(土)
採録時刻	16:35〜16:40
チャンネル	12(テレビ東京)
ジャンル	スポーツ系
本編秒数	240
番組分数	84
視聴率１	3.1
視聴率２	34.6
本編話者数	3
	(男: 3 女: 0 不明: 0)

標本:０１１２　番組名:「N響アワー」

語 数	延べ	異なり	語の密度	延べ	異なり	CM語数	延べ	異なり
音声	0	0	音声	0.0	0.0	音声	-	-
画面	155	108	画面	31.0	21.6	画面	-	-

語 種	和	漢	外	混	不明
音声	0(0.0)	0(0.0)	0(0.0)	0(0.0)	0(0.0)
	0(0.0)	0(0.0)	0(0.0)	0(0.0)	0(0.0)
画面	57(36.8)	46(29.7)	8(5.2)	23(14.8)	21(13.5)
	42(38.9)	40(37.0)	4(3.7)	17(15.7)	5(4.6)
品 詞	体	用	相	他	不明
音声	0(0.0)	0(0.0)	0(0.0)	0(0.0)	0(0.0)
	0(0.0)	0(0.0)	0(0.0)	0(0.0)	0(0.0)
画面	91(58.7)	28(18.1)	15(9.7)	0(0.0)	21(13.5)
	76(70.4)	20(18.5)	7(6.5)	0(0.0)	5(4.6)
画面媒体(延/異)	1: 155/108	2: 0/ 0	3: 0/ 0	4: 0/ 0	

放送年月日	1989年4月29日(土)
採録時刻	19:20〜19:25
チャンネル	3(NHK教育)
ジャンル	音楽系
本編秒数	300
番組分数	60
視聴率１	0.1
視聴率２	63.9
本編話者数	0
(男: 0 女: 0 不明: 0)	

標本:０１１３　番組名:「パラダイス・スキー」

語 数	延べ	異なり	語の密度	延べ	異なり	CM語数	延べ	異なり
音声	237	185	音声	47.4	37.0	音声	-	-
画面	218	112	画面	43.6	22.4	画面	-	-

語 種	和	漢	外	混	不明
音声	142(59.9)	40(16.9)	28(11.8)	27(11.4)	0(0.0)
	106(57.3)	38(20.5)	22(11.9)	19(10.3)	0(0.0)
画面	20(9.2)	70(32.1)	11(5.0)	37(17.0)	80(36.7)
	12(10.7)	46(41.1)	11(9.8)	27(24.1)	16(14.3)
品 詞	体	用	相	他	不明
音声	129(54.4)	51(21.5)	47(19.8)	10(4.2)	0(0.0)
	105(56.8)	41(22.2)	34(18.4)	5(2.7)	0(0.0)
画面	130(59.6)	5(2.3)	1(0.5)	3(1.4)	79(36.2)
	92(82.1)	2(1.8)	1(0.9)	2(1.8)	15(13.4)
画面媒体(延/異)	1: 216/110	2: 0/ 0	3: 0/ 0	4: 2/ 2	

放送年月日	1989年4月29日(土)
採録時刻	00:25〜00:30
チャンネル	12(テレビ東京)
ジャンル	スポーツ系
本編秒数	300
番組分数	30
視聴率１	0.8
視聴率２	20.4
本編話者数	4
(男: 2 女: 2 不明: 0)	

標本:０１１４　番組名:「オリジナルコンサート・私たちの創った音楽」

語 数	延べ	異なり	語の密度	延べ	異なり	CM語数	延べ	異なり
音声	201	122	音声	57.2	34.7	音声	50	44
画面	26	20	画面	7.4	5.7	画面	36	33

語 種	和	漢	外	混	不明
音声	141(70.1)	33(16.4)	15(7.5)	11(5.5)	1(0.5)
	77(63.1)	24(19.7)	10(8.2)	10(8.2)	1(0.8)
画面	4(15.4)	7(26.9)	3(11.5)	6(23.1)	6(23.1)
	3(15.0)	5(25.0)	2(10.0)	6(30.0)	4(20.0)
品 詞	体	用	相	他	不明
音声	90(44.8)	39(19.4)	35(17.4)	37(18.4)	0(0.0)
	65(53.3)	22(18.0)	21(17.2)	14(11.5)	0(0.0)
画面	21(80.8)	0(0.0)	0(0.0)	0(0.0)	5(19.2)
	17(85.0)	0(0.0)	0(0.0)	0(0.0)	3(15.0)
画面媒体(延/異)	1: 25/20	2: 0/ 0	3: 1/ 1	4: 0/ 0	

放送年月日	1989年4月30日(日)
採録時刻	07:30〜07:35
チャンネル	10(テレビ朝日)
ジャンル	音楽系
本編秒数	211
番組分数	30
視聴率１	2.7
視聴率２	30.2
本編話者数	3
(男: 0 女: 3 不明: 0)	

標本:０１１５　番組名:「プロ野球デーゲームスペシャルロッテ×日本ハム」

語数	延べ	異なり	語の密度	延べ	異なり	CM語数	延べ	異なり
音声	225	158	音声	45.0	31.6	音声	-	-
画面	123	79	画面	24.6	15.8	画面	-	-

語種	和	漢	外	混	不明
音声	121(53.8)	58(25.8)	21(9.3)	25(11.1)	0(0.0)
	76(48.1)	44(27.8)	16(10.1)	22(13.9)	0(0.0)
画面	8(6.5)	63(51.2)	10(8.1)	25(20.3)	17(13.8)
	7(8.9)	33(41.8)	6(7.6)	23(29.1)	10(12.7)

品詞	体	用	相	他	不明
音声	142(63.1)	46(20.4)	25(11.1)	12(5.3)	0(0.0)
	102(64.6)	35(22.2)	15(9.5)	6(3.8)	0(0.0)
画面	103(83.7)	3(2.4)	0(0.0)	0(0.0)	17(13.8)
	66(83.5)	3(3.8)	0(0.0)	0(0.0)	10(12.7)

画面媒体(延/異)　1: 70/60　2: 0/ 0　3: 0/ 0　4: 53/23

放送年月日	1989年4月30日(日)
採録時刻	15:05〜15:10
チャンネル	4(日本テレビ)
ジャンル	スポーツ系
本編秒数	300
番組分数	115
視聴率１	5.0
視聴率２	33.0
本編話者数	5
	(男: 3 女: 2 不明: 0)

標本:０１１６　番組名:「日曜特集・新世界紀行」

語数	延べ	異なり	語の密度	延べ	異なり	CM語数	延べ	異なり
音声	261	195	音声	52.2	39.0	音声	-	-
画面	37	31	画面	7.4	6.2	画面	-	-

語種	和	漢	外	混	不明
音声	171(65.5)	58(22.2)	11(4.2)	21(8.0)	0(0.0)
	128(65.6)	48(24.6)	6(3.1)	13(6.7)	0(0.0)
画面	12(32.4)	9(24.3)	2(5.4)	5(13.5)	9(24.3)
	12(38.7)	9(29.0)	2(6.5)	5(16.1)	3(9.7)

品詞	体	用	相	他	不明
音声	161(61.7)	50(19.2)	41(15.7)	9(3.4)	0(0.0)
	126(64.6)	38(19.5)	25(12.8)	6(3.1)	0(0.0)
画面	21(56.8)	6(16.2)	1(2.7)	0(0.0)	9(24.3)
	21(67.7)	6(19.4)	1(3.2)	0(0.0)	3(9.7)

画面媒体(延/異)　1: 37/31　2: 0/ 0　3: 0/ 0　4: 0/ 0

放送年月日	1989年4月30日(日)
採録時刻	20:30〜20:35
チャンネル	6(ＴＢＳ)
ジャンル	教育・教養系
本編秒数	300
番組分数	54
視聴率１	8.0
視聴率２	77.6
本編話者数	3
	(男: 3 女: 0 不明: 0)

標本:０１１７　番組名:-

語数	延べ	異なり	語の密度	延べ	異なり	CM語数	延べ	異なり
音声	-	-	音声	-	-	音声	-	-
画面	-	-	画面	-	-	画面	-	-

語種	和	漢	外	混	不明
音声	-(-)	-(-)	-(-)	-(-)	-(-)
	-(-)	-(-)	-(-)	-(-)	-(-)
画面	-(-)	-(-)	-(-)	-(-)	-(-)
	-(-)	-(-)	-(-)	-(-)	-(-)

品詞	体	用	相	他	不明
音声	-(-)	-(-)	-(-)	-(-)	-(-)
	-(-)	-(-)	-(-)	-(-)	-(-)
画面	-(-)	-(-)	-(-)	-(-)	-(-)
	-(-)	-(-)	-(-)	-(-)	-(-)

画面媒体(延/異)　1: -/ -　2: -/ -　3: -/ -　4: -/ -

放送年月日	1989年4月30日(日)
採録時刻	02:35〜02:40
チャンネル	1(ＮＨＫ総合)
ジャンル	-
本編秒数	300
番組分数	-
視聴率１	-
視聴率２	-
本編話者数	-
	(男: - 女: - 不明: -)

標本:０１１８　番組名:「はてなはてな」

語 数	延べ	異なり	語の密度	延べ	異なり	CM語数	延べ	異なり
音声	213	106	音声	42.6	21.2	音声	-	-
画面	8	4	画面	1.6	0.8	画面	-	-

語 種	和	漢	外	混	不明
音声	191(89.7)	14(6.6)	1(0.5)	7(3.3)	0(0.0)
	91(85.8)	10(9.4)	1(0.9)	4(3.8)	0(0.0)
画面	4(50.0)	2(25.0)	0(0.0)	0(0.0)	2(25.0)
	1(25.0)	2(50.0)	0(0.0)	0(0.0)	1(25.0)

品 詞	体	用	相	他	不明
音声	101(47.4)	43(20.2)	33(15.5)	36(16.9)	0(0.0)
	43(40.6)	27(25.5)	19(17.9)	17(16.0)	0(0.0)
画面	2(25.0)	0(0.0)	0(0.0)	4(50.0)	2(25.0)
	2(50.0)	0(0.0)	0(0.0)	1(25.0)	1(25.0)

画面媒体(延/異) 1: 0/ 0 2: 0/ 0 3: 0/ 0 4: 8/ 4

放送年月日	1989年5月1日(月)
採録時刻	09:05～09:10
チャンネル	3(ＮＨＫ教育)
ジャンル	教育・教養系
本編秒数	300
番組分数	15
視聴率１	2.2
視聴率２	43.9
本編話者数	3
(男: 2 女: 1 不明: 0)	

標本:０１１９　番組名:「タイム３」

語 数	延べ	異なり	語の密度	延べ	異なり	CM語数	延べ	異なり
音声	483	255	音声	96.6	51.0	音声	-	-
画面	145	91	画面	29.0	18.2	画面	-	-

語 種	和	漢	外	混	不明
音声	329(68.1)	91(18.8)	20(4.1)	43(8.9)	0(0.0)
	141(55.3)	67(26.3)	11(4.3)	36(14.1)	0(0.0)
画面	28(19.3)	55(37.9)	3(2.1)	24(16.6)	35(24.1)
	22(24.2)	39(42.9)	1(1.1)	22(24.2)	7(7.7)

品 詞	体	用	相	他	不明
音声	240(49.7)	94(19.5)	79(16.4)	70(14.5)	0(0.0)
	155(60.8)	48(18.8)	35(13.7)	17(6.7)	0(0.0)
画面	102(70.3)	1(0.7)	5(3.4)	2(1.4)	35(24.1)
	79(86.8)	1(1.1)	3(3.3)	1(1.1)	7(7.7)

画面媒体(延/異) 1: 145/91 2: 0/ 0 3: 0/ 0 4: 0/ 0

放送年月日	1989年5月1日(月)
採録時刻	15:10～15:15
チャンネル	8(フジテレビ)
ジャンル	一般実用系
本編秒数	300
番組分数	55
視聴率１	9.3
視聴率２	34.6
本編話者数	11
(男: 6 女: 5 不明: 0)	

標本:０１２０　番組名:「スター爆笑Ｑ＆Ａ」

語 数	延べ	異なり	語の密度	延べ	異なり	CM語数	延べ	異なり
音声	530	251	音声	106.0	50.2	音声	-	-
画面	37	34	画面	7.4	6.8	画面	-	-

語 種	和	漢	外	混	不明
音声	409(77.2)	89(16.8)	7(1.3)	23(4.3)	2(0.4)
	164(65.3)	59(23.5)	6(2.4)	21(8.4)	1(0.4)
画面	8(21.6)	10(27.0)	1(2.7)	8(21.6)	10(27.0)
	7(20.6)	10(29.4)	1(2.9)	8(23.5)	8(23.5)

品 詞	体	用	相	他	不明
音声	199(37.5)	91(17.2)	104(19.6)	136(25.7)	0(0.0)
	129(51.4)	46(18.3)	43(17.1)	33(13.1)	0(0.0)
画面	22(59.5)	2(5.4)	3(8.1)	0(0.0)	10(27.0)
	21(61.8)	2(5.9)	3(8.8)	0(0.0)	8(23.5)

画面媒体(延/異) 1: 30/29 2: 7/ 6 3: 0/ 0 4: 0/ 0

放送年月日	1989年5月1日(月)
採録時刻	22:30～22:35
チャンネル	4(日本テレビ)
ジャンル	バラエティー系
本編秒数	300
番組分数	52
視聴率１	11.1
視聴率２	57.4
本編話者数	15
(男: 12 女: 3 不明: 0)	

標本:０１２１　番組名:「ＬＡ　ＬＡＷ７人の弁護士」

語数	延べ	異なり	語の密度	延べ	異なり	ＣＭ語数	延べ	異なり
音声	467	295	音声	93.4	59.0	音声	-	-
画面	0	0	画面	0.0	0.0	画面	-	-

語種	和	漢	外	混	不明
音声	335(71.7)	74(15.8)	25(5.4)	33(7.1)	0(0.0)
	185(62.7)	59(20.0)	22(7.5)	29(9.8)	0(0.0)
画面	0(0.0)	0(0.0)	0(0.0)	0(0.0)	0(0.0)
	0(0.0)	0(0.0)	0(0.0)	0(0.0)	0(0.0)

品詞	体	用	相	他	不明
音声	255(54.6)	111(23.8)	75(16.1)	26(5.6)	0(0.0)
	167(56.6)	70(23.7)	39(13.2)	19(6.4)	0(0.0)
画面	0(0.0)	0(0.0)	0(0.0)	0(0.0)	0(0.0)
	0(0.0)	0(0.0)	0(0.0)	0(0.0)	0(0.0)

画面媒体(延/異)　1: 0/ 0　2: 0/ 0　3: 0/ 0　4: 0/ 0

放送年月日	1989年5月1日(月)
採録時刻	03:05〜03:10
チャンネル	8(フジテレビ)
ジャンル	ストーリー系
本編秒数	300
番組分数	55
視聴率１	0.3
視聴率２	2.6
本編話者数	10
(男: 3 女: 7 不明: 0)	

標本:０１２２　番組名:「内田忠男モーニングショー」

語数	延べ	異なり	語の密度	延べ	異なり	ＣＭ語数	延べ	異なり
音声	475	215	音声	95.0	43.0	音声	-	-
画面	23	18	画面	4.6	3.6	画面	-	-

語種	和	漢	外	混	不明
音声	353(74.3)	71(14.9)	4(0.8)	47(9.9)	0(0.0)
	124(57.7)	52(24.2)	4(1.9)	35(16.3)	0(0.0)
画面	8(34.8)	10(43.5)	0(0.0)	3(13.0)	2(8.7)
	6(33.3)	7(38.9)	0(0.0)	3(16.7)	2(11.1)

品詞	体	用	相	他	不明
音声	172(36.2)	111(23.4)	101(21.3)	91(19.2)	0(0.0)
	109(50.7)	43(20.0)	39(18.1)	24(11.2)	0(0.0)
画面	16(69.6)	5(21.7)	0(0.0)	0(0.0)	2(8.7)
	13(72.2)	3(16.7)	0(0.0)	0(0.0)	2(11.1)

画面媒体(延/異)　1: 21/16　2: 0/ 0　3: 0/ 0　4: 2/ 2

放送年月日	1989年5月2日(火)
採録時刻	08:35〜08:40
チャンネル	10(テレビ朝日)
ジャンル	一般実用系
本編秒数	300
番組分数	60
視聴率１	6.4
視聴率２	49.4
本編話者数	7
(男: 4 女: 3 不明: 0)	

標本:０１２３　番組名:「理科２年」

語数	延べ	異なり	語の密度	延べ	異なり	ＣＭ語数	延べ	異なり
音声	238	124	音声	47.6	24.8	音声	-	-
画面	18	18	画面	3.6	3.6	画面	-	-

語種	和	漢	外	混	不明
音声	117(49.2)	91(38.2)	7(2.9)	22(9.2)	1(0.4)
	69(55.6)	38(30.6)	4(3.2)	12(9.7)	1(0.8)
画面	3(16.7)	7(38.9)	4(22.2)	3(16.7)	1(5.6)
	3(16.7)	7(38.9)	4(22.2)	3(16.7)	1(5.6)

品詞	体	用	相	他	不明
音声	142(59.7)	60(25.2)	21(8.8)	15(6.3)	0(0.0)
	72(58.1)	36(29.0)	11(8.9)	5(4.0)	0(0.0)
画面	18(100.0)	0(0.0)	0(0.0)	0(0.0)	0(0.0)
	18(100.0)	0(0.0)	0(0.0)	0(0.0)	0(0.0)

画面媒体(延/異)　1: 18/18　2: 0/ 0　3: 0/ 0　4: 0/ 0

放送年月日	1989年5月2日(火)
採録時刻	13:25〜13:30
チャンネル	3(ＮＨＫ教育)
ジャンル	教育・教養系
本編秒数	300
番組分数	20
視聴率１	0.4
視聴率２	41.6
本編話者数	2
(男: 1 女: 1 不明: 0)	

標本:０１２４　番組名:「ただいま！ＰＣランド」

語 数	延べ	異なり	語の密度	延べ	異なり	ＣＭ語数	延べ	異なり
音声	529	252	音声	105.8	50.4	音声	－	－
画面	64	45	画面	12.8	9.0	画面	－	－

語 種	和	漢	外	混	不明
音声	357(67.5)	66(12.5)	65(12.3)	40(7.6)	1(0.2)
	145(57.5)	44(17.5)	34(13.5)	28(11.1)	1(0.4)
画面	6(9.4)	9(14.1)	17(26.6)	10(15.6)	22(34.4)
	5(11.1)	7(15.6)	15(33.3)	9(20.0)	9(20.0)

品 詞	体	用	相	他	不明
音声	247(46.7)	102(19.3)	87(16.4)	93(17.6)	0(0.0)
	131(52.0)	52(20.6)	48(19.0)	21(8.3)	0(0.0)
画面	38(59.4)	3(4.7)	2(3.1)	0(0.0)	21(32.8)
	33(73.3)	2(4.4)	2(4.4)	0(0.0)	8(17.8)

画面媒体(延/異)　1: 64/45　2: 0/ 0　3: 0/ 0　4: 0/ 0

放送年月日	1989年5月2日(火)
採録時刻	18:15～18:20
チャンネル	12(テレビ東京)
ジャンル	バラエティー系
本編秒数	300
番組分数	25
視聴率１	5.4
視聴率２	34.5
本編話者数	8
(男: 5 女: 3 不明: 0)	

標本:０１２５　番組名:「ＭＴＶジャパン・ヘッドバンガーズ」

語 数	延べ	異なり	語の密度	延べ	異なり	ＣＭ語数	延べ	異なり
音声	0	0	音声	0.0	0.0	音声	42	36
画面	117	69	画面	29.3	17.3	画面	98	77

語 種	和	漢	外	混	不明
音声	0(0.0)	0(0.0)	0(0.0)	0(0.0)	0(0.0)
	0(0.0)	0(0.0)	0(0.0)	0(0.0)	0(0.0)
画面	43(36.8)	8(6.8)	21(17.9)	9(7.7)	36(30.8)
	30(43.5)	8(11.6)	14(20.3)	8(11.6)	9(13.0)

品 詞	体	用	相	他	不明
音声	0(0.0)	0(0.0)	0(0.0)	0(0.0)	0(0.0)
	0(0.0)	0(0.0)	0(0.0)	0(0.0)	0(0.0)
画面	45(38.5)	16(13.7)	12(10.3)	8(6.8)	36(30.8)
	31(44.9)	14(20.3)	10(14.5)	5(7.2)	9(13.0)

画面媒体(延/異)　1: 117/69　2: 0/ 0　3: 0/ 0　4: 0/ 0

放送年月日	1989年5月2日(火)
採録時刻	04:35～04:40
チャンネル	6(ＴＢＳ)
ジャンル	音楽系
本編秒数	240
番組分数	115
視聴率１	0.1
視聴率２	3.0
本編話者数	0
(男: 0 女: 0 不明: 0)	

標本:０１２６　番組名:「昭和の歌」

語 数	延べ	異なり	語の密度	延べ	異なり	ＣＭ語数	延べ	異なり
音声	166	127	音声	33.2	25.4	音声	－	－
画面	150	121	画面	30.0	24.2	画面	－	－

語 種	和	漢	外	混	不明
音声	122(73.5)	16(9.6)	13(7.8)	15(9.0)	0(0.0)
	90(70.9)	12(9.4)	11(8.7)	14(11.0)	0(0.0)
画面	96(64.0)	21(14.0)	12(8.0)	17(11.3)	4(2.7)
	75(62.0)	16(13.2)	10(8.3)	17(14.0)	3(2.5)

品 詞	体	用	相	他	不明
音声	111(66.9)	37(22.3)	18(10.8)	0(0.0)	0(0.0)
	82(64.6)	31(24.4)	14(11.0)	0(0.0)	0(0.0)
画面	102(68.0)	28(18.7)	15(10.0)	1(0.7)	4(2.7)
	81(66.9)	24(19.8)	12(9.9)	1(0.8)	3(2.5)

画面媒体(延/異)　1: 147/118　2: 0/ 0　3: 3/ 3　4: 0/ 0

放送年月日	1989年5月3日(水)
採録時刻	10:15～10:20
チャンネル	1(ＮＨＫ総合)
ジャンル	音楽系
本編秒数	300
番組分数	120
視聴率１	16.9
視聴率２	39.7
本編話者数	7
(男: 6 女: 1 不明: 0)	

標本:０１２７　番組名:「青春家族」

語数	延べ	異なり	語の密度	延べ	異なり	CM語数	延べ	異なり
音声	254	163	音声	50.8	32.6	音声	-	-
画面	29	27	画面	5.8	5.4	画面	-	-

語種	和	漢	外	混	不明
音声	193(76.0)	39(15.4)	7(2.8)	15(5.9)	0(0.0)
	113(69.3)	32(19.6)	6(3.7)	12(7.4)	0(0.0)
画面	9(31.0)	13(44.8)	1(3.4)	0(0.0)	6(20.7)
	9(33.3)	13(48.1)	1(3.7)	0(0.0)	4(14.8)

品詞	体	用	相	他	不明
音声	128(50.4)	54(21.3)	47(18.5)	25(9.8)	0(0.0)
	77(47.2)	41(25.2)	32(19.6)	13(8.0)	0(0.0)
画面	18(62.1)	4(13.8)	1(3.4)	0(0.0)	6(20.7)
	18(66.7)	4(14.8)	1(3.7)	0(0.0)	4(14.8)

画面媒体(延/異): 1: 0/ 0 2: 0/ 0 3: 0/ 0 4: 29/27

放送年月日	1989年5月3日(水)
採録時刻	12:50～12:55
チャンネル	1(ＮＨＫ総合)
ジャンル	ストーリー系
本編秒数	300
番組分数	15
視聴率１	10.2
視聴率２	47.8
本編話者数	7
(男: 3 女: 4 不明: 0)	

標本:０１２８　番組名:「テレビコラム」

語数	延べ	異なり	語の密度	延べ	異なり	CM語数	延べ	異なり
音声	340	221	音声	68.0	44.2	音声	-	-
画面	43	28	画面	8.6	5.6	画面	-	-

語種	和	漢	外	混	不明
音声	188(55.3)	106(31.2)	11(3.2)	35(10.3)	0(0.0)
	101(45.7)	80(36.2)	10(4.5)	30(13.6)	0(0.0)
画面	5(11.6)	20(46.5)	3(7.0)	5(11.6)	10(23.3)
	4(14.3)	14(50.0)	2(7.1)	4(14.3)	4(14.3)

品詞	体	用	相	他	不明
音声	195(57.4)	70(20.6)	45(13.2)	30(8.8)	0(0.0)
	125(56.6)	49(22.2)	37(16.7)	10(4.5)	0(0.0)
画面	32(74.4)	0(0.0)	1(2.3)	0(0.0)	10(23.3)
	23(82.1)	0(0.0)	1(3.6)	0(0.0)	4(14.3)

画面媒体(延/異): 1: 17/14 2: 26/14 3: 0/ 0 4: 0/ 0

放送年月日	1989年5月3日(水)
採録時刻	20:55～21:00
チャンネル	3(ＮＨＫ教育)
ジャンル	教育・教養系
本編秒数	300
番組分数	15
視聴率１	1.1
視聴率２	66.0
本編話者数	1
(男: 1 女: 0 不明: 0)	

標本:０１２９　番組名:「東京音楽祭情報」

語数	延べ	異なり	語の密度	延べ	異なり	CM語数	延べ	異なり
音声	27	26	音声	9.3	9.0	音声	65	61
画面	47	45	画面	16.2	15.5	画面	145	111

語種	和	漢	外	混	不明
音声	16(59.3)	7(25.9)	2(7.4)	2(7.4)	0(0.0)
	15(57.7)	7(26.9)	2(7.7)	2(7.7)	0(0.0)
画面	3(6.4)	14(29.8)	10(21.3)	13(27.7)	7(14.9)
	3(6.7)	14(31.1)	10(22.2)	13(28.9)	5(11.1)

品詞	体	用	相	他	不明
音声	17(63.0)	5(18.5)	2(7.4)	3(11.1)	0(0.0)
	17(65.4)	5(19.2)	2(7.7)	2(7.7)	0(0.0)
画面	41(87.2)	1(2.1)	0(0.0)	0(0.0)	5(10.6)
	41(91.1)	1(2.2)	0(0.0)	0(0.0)	3(6.7)

画面媒体(延/異): 1: 46/44 2: 1/ 1 3: 0/ 0 4: 0/ 0

放送年月日	1989年5月3日(水)
採録時刻	00:50～00:55
チャンネル	6(ＴＢＳ)
ジャンル	一般実用系
本編秒数	174
番組分数	10
視聴率１	1.2
視聴率２	14.6
本編話者数	1
(男: 0 女: 1 不明: 0)	

標本:０１３０　番組名:「ワイドショー・ルックルックこんにちは」

語 数	延べ	異なり	語の密度	延べ	異なり	CM語数	延べ	異なり
音声	517	254	音声	103.4	50.8	音声	-	-
画面	66	32	画面	13.2	6.4	画面	-	-

語 種	和	漢	外	混	不明
音声	372(72.0)	100(19.3)	4(0.8)	41(7.9)	0(0.0)
	151(59.4)	75(29.5)	4(1.6)	24(9.4)	0(0.0)
画面	21(31.8)	17(25.8)	0(0.0)	17(25.8)	11(16.7)
	8(25.0)	11(34.4)	0(0.0)	10(31.3)	3(9.4)
品 詞	体	用	相	他	不明
音声	225(43.5)	100(19.3)	106(20.5)	86(16.6)	0(0.0)
	135(53.1)	48(18.9)	50(19.7)	21(8.3)	0(0.0)
画面	46(69.7)	1(1.5)	9(13.6)	0(0.0)	10(15.2)
	26(81.3)	1(3.1)	3(9.4)	0(0.0)	2(6.3)

画面媒体(延/異)　1: 48/19　2: 7/ 7　3: 0/ 0　4: 11/11

放送年月日	1989年5月4日(木)
採録時刻	09:10〜09:15
チャンネル	4(日本テレビ)
ジャンル	一般実用系
本編秒数	300
番組分数	90
視聴率１	9.8
視聴率２	43.8
本編話者数	17
	(男: 10 女: 7 不明: 0)

標本:０１３１　番組名:「タイム３」

語 数	延べ	異なり	語の密度	延べ	異なり	CM語数	延べ	異なり
音声	497	243	音声	99.4	48.6	音声	-	-
画面	33	21	画面	6.6	4.2	画面	-	-

語 種	和	漢	外	混	不明
音声	375(75.5)	68(13.7)	18(3.6)	36(7.2)	0(0.0)
	149(61.3)	53(21.8)	14(5.8)	27(11.1)	0(0.0)
画面	5(15.2)	6(18.2)	7(21.2)	9(27.3)	6(18.2)
	3(14.3)	5(23.8)	2(9.5)	7(33.3)	4(19.0)
品 詞	体	用	相	他	不明
音声	195(39.2)	79(15.9)	117(23.5)	106(21.3)	0(0.0)
	132(54.3)	42(17.3)	50(20.6)	19(7.8)	0(0.0)
画面	25(75.8)	2(6.1)	0(0.0)	0(0.0)	6(18.2)
	16(76.2)	1(4.8)	0(0.0)	0(0.0)	4(19.0)

画面媒体(延/異)　1: 29/21　2: 0/ 0　3: 4/ 1　4: 0/ 0

放送年月日	1989年5月4日(木)
採録時刻	15:15〜15:20
チャンネル	8(フジテレビ)
ジャンル	一般実用系
本編秒数	300
番組分数	55
視聴率１	5.5
視聴率２	39.7
本編話者数	8
	(男: 5 女: 3 不明: 0)

標本:０１３２　番組名:「続・三匹が斬る！」

語 数	延べ	異なり	語の密度	延べ	異なり	CM語数	延べ	異なり
音声	385	238	音声	77.0	47.6	音声	-	-
画面	0	0	画面	0.0	0.0	画面	-	-

語 種	和	漢	外	混	不明
音声	280(72.7)	78(20.3)	0(0.0)	25(6.5)	2(0.5)
	164(68.9)	53(22.3)	0(0.0)	19(8.0)	2(0.8)
画面	0(0.0)	0(0.0)	0(0.0)	0(0.0)	0(0.0)
	0(0.0)	0(0.0)	0(0.0)	0(0.0)	0(0.0)
品 詞	体	用	相	他	不明
音声	191(49.6)	79(20.5)	78(20.3)	37(9.6)	0(0.0)
	123(51.7)	48(20.2)	44(18.5)	23(9.7)	0(0.0)
画面	0(0.0)	0(0.0)	0(0.0)	0(0.0)	0(0.0)
	0(0.0)	0(0.0)	0(0.0)	0(0.0)	0(0.0)

画面媒体(延/異)　1: 0/ 0　2: 0/ 0　3: 0/ 0　4: 0/ 0

放送年月日	1989年5月4日(木)
採録時刻	20:05〜20:10
チャンネル	10(テレビ朝日)
ジャンル	ストーリー系
本編秒数	300
番組分数	54
視聴率１	8.3
視聴率２	62.8
本編話者数	17
	(男: 14 女: 3 不明: 0)

標本:０１３３　番組名:「ロックＴＶ」

語数	延べ	異なり	語の密度	延べ	異なり	ＣＭ語数	延べ	異なり
音声	388	173	音声	77.6	34.6	音声	-	-
画面	0	0	画面	0.0	0.0	画面	-	-

語種	和	漢	外	混	不明
音声	299(77.1)	45(11.6)	32(8.2)	12(3.1)	0(0.0)
	125(72.3)	27(15.6)	12(6.9)	9(5.2)	0(0.0)
画面	0(0.0)	0(0.0)	0(0.0)	0(0.0)	0(0.0)
	0(0.0)	0(0.0)	0(0.0)	0(0.0)	0(0.0)

品詞	体	用	相	他	不明
音声	157(40.5)	69(17.8)	87(22.4)	75(19.3)	0(0.0)
	84(48.6)	36(20.8)	32(18.5)	21(12.1)	0(0.0)
画面	0(0.0)	0(0.0)	0(0.0)	0(0.0)	0(0.0)
	0(0.0)	0(0.0)	0(0.0)	0(0.0)	0(0.0)

画面媒体(延/異)	1: 0/ 0	2: 0/ 0	3: 0/ 0	4: 0/ 0

放送年月日	1989年5月4日(木)
採録時刻	01:25〜01:30
チャンネル	12(テレビ東京)
ジャンル	音楽系
本編秒数	300
番組分数	30
視聴率１	0.8
視聴率２	8.4
本編話者数	4
(男: 3 女: 1 不明: 0)	

標本:０１３４　番組名:「誘われて二人旅」

語数	延べ	異なり	語の密度	延べ	異なり	ＣＭ語数	延べ	異なり
音声	475	213	音声	95.0	42.6	音声	-	-
画面	20	16	画面	4.0	3.2	画面	-	-

語種	和	漢	外	混	不明
音声	366(77.1)	63(13.3)	10(2.1)	36(7.6)	0(0.0)
	147(69.0)	40(18.8)	5(2.3)	21(9.9)	0(0.0)
画面	6(30.0)	3(15.0)	0(0.0)	10(50.0)	1(5.0)
	4(25.0)	3(18.8)	0(0.0)	8(50.0)	1(6.3)

品詞	体	用	相	他	不明
音声	175(36.8)	79(16.6)	100(21.1)	121(25.5)	0(0.0)
	98(46.0)	50(23.5)	41(19.2)	24(11.3)	0(0.0)
画面	17(85.0)	2(10.0)	0(0.0)	0(0.0)	1(5.0)
	13(81.3)	2(12.5)	0(0.0)	0(0.0)	1(6.3)

画面媒体(延/異)	1: 20/16	2: 0/ 0	3: 0/ 0	4: 0/ 0

放送年月日	1989年5月5日(金)
採録時刻	09:35〜09:40
チャンネル	10(テレビ朝日)
ジャンル	一般実用系
本編秒数	300
番組分数	25
視聴率１	3.7
視聴率２	37.5
本編話者数	8
(男: 6 女: 2 不明: 0)	

標本:０１３５　番組名:「レニングラード・バレエ・白鳥の湖」

語数	延べ	異なり	語の密度	延べ	異なり	ＣＭ語数	延べ	異なり
音声	0	0	音声	0.0	0.0	音声	-	-
画面	2	2	画面	0.4	0.4	画面	-	-

語種	和	漢	外	混	不明
音声	0(0.0)	0(0.0)	0(0.0)	0(0.0)	0(0.0)
	0(0.0)	0(0.0)	0(0.0)	0(0.0)	0(0.0)
画面	0(0.0)	0(0.0)	1(50.0)	1(50.0)	0(0.0)
	0(0.0)	0(0.0)	1(50.0)	1(50.0)	0(0.0)

品詞	体	用	相	他	不明
音声	0(0.0)	0(0.0)	0(0.0)	0(0.0)	0(0.0)
	0(0.0)	0(0.0)	0(0.0)	0(0.0)	0(0.0)
画面	2(100.0)	0(0.0)	0(0.0)	0(0.0)	0(0.0)
	2(100.0)	0(0.0)	0(0.0)	0(0.0)	0(0.0)

画面媒体(延/異)	1: 2/ 2	2: 0/ 0	3: 0/ 0	4: 0/ 0

放送年月日	1989年5月5日(金)
採録時刻	14:25〜14:30
チャンネル	3(ＮＨＫ教育)
ジャンル	音楽系
本編秒数	300
番組分数	130
視聴率１	0.9
視聴率２	39.4
本編話者数	0
(男: 0 女: 0 不明: 0)	

標本:０１３６　番組名:「ＪＮＮニュースデスク’８９」「新・び・じ・ん」

語 数	延べ	異なり	語の密度	延べ	異なり	ＣＭ語数	延べ	異なり
音声	95	67	音声	95.0	67.0	音声	158	126
画面	16	15	画面	16.0	15.0	画面	152	104

語 種	和	漢	外	混	不明
音声	64(67.4)	16(16.8)	1(1.1)	13(13.7)	1(1.1)
	39(58.2)	15(22.4)	1(1.5)	11(16.4)	1(1.5)
画面	3(18.8)	4(25.0)	2(12.5)	6(37.5)	1(6.3)
	3(20.0)	3(20.0)	2(13.3)	6(40.0)	1(6.7)
品 詞	体	用	相	他	不明
音声	40(42.1)	20(21.1)	20(21.1)	15(15.8)	0(0.0)
	33(49.3)	14(20.9)	11(16.4)	9(13.4)	0(0.0)
画面	14(87.5)	0(0.0)	2(12.5)	0(0.0)	0(0.0)
	13(86.7)	0(0.0)	2(13.3)	0(0.0)	0(0.0)
画面媒体(延/異)	1: 15/14	2: 0/ 0	3: 1/ 1	4: 0/ 0	

放送年月日	1989年5月5日(金)
採録時刻	22:50〜22:55
チャンネル	6(ＴＢＳ)
ジャンル	報道系
本編秒数	60
番組分数	60
視聴率１	3.4
視聴率２	59.3
本編話者数	7
(男: 2 女: 5 不明: 0)	

標本:０１３７　番組名:「ジャストポップアップ」

語 数	延べ	異なり	語の密度	延べ	異なり	ＣＭ語数	延べ	異なり
音声	68	64	音声	13.6	12.8	音声	-	-
画面	4	3	画面	0.8	0.6	画面	-	-

語 種	和	漢	外	混	不明
音声	48(70.6)	13(19.1)	1(1.5)	6(8.8)	0(0.0)
	47(73.4)	11(17.2)	1(1.6)	5(7.8)	0(0.0)
画面	0(0.0)	0(0.0)	4(100.0)	0(0.0)	0(0.0)
	0(0.0)	0(0.0)	3(100.0)	0(0.0)	0(0.0)
品 詞	体	用	相	他	不明
音声	38(55.9)	25(36.8)	5(7.4)	0(0.0)	0(0.0)
	35(54.7)	25(39.1)	4(6.3)	0(0.0)	0(0.0)
画面	4(100.0)	0(0.0)	0(0.0)	0(0.0)	0(0.0)
	3(100.0)	0(0.0)	0(0.0)	0(0.0)	0(0.0)
画面媒体(延/異)	1: 4/ 3	2: 0/ 0	3: 0/ 0	4: 0/ 0	

放送年月日	1989年5月5日(金)
採録時刻	00:40〜00:45
チャンネル	1(ＮＨＫ総合)
ジャンル	音楽系
本編秒数	300
番組分数	55
視聴率１	1.9
視聴率２	19.9
本編話者数	1
(男: 1 女: 0 不明: 0)	

標本:０１３８　番組名:「現代の顔」

語 数	延べ	異なり	語の密度	延べ	異なり	ＣＭ語数	延べ	異なり
音声	565	210	音声	113.0	42.0	音声	-	-
画面	14	9	画面	2.8	1.8	画面	-	-

語 種	和	漢	外	混	不明
音声	379(67.1)	130(23.0)	19(3.4)	36(6.4)	1(0.2)
	118(56.2)	53(25.2)	14(6.7)	24(11.4)	1(0.5)
画面	0(0.0)	4(28.6)	0(0.0)	2(14.3)	8(57.1)
	0(0.0)	3(33.3)	0(0.0)	2(22.2)	4(44.4)
品 詞	体	用	相	他	不明
音声	234(41.4)	116(20.5)	103(18.2)	111(19.6)	1(0.2)
	105(50.0)	38(18.1)	44(21.0)	22(10.5)	1(0.5)
画面	6(42.9)	0(0.0)	0(0.0)	0(0.0)	8(57.1)
	5(55.6)	0(0.0)	0(0.0)	0(0.0)	4(44.4)
画面媒体(延/異)	1: 14/ 9	2: 0/ 0	3: 0/ 0	4: 0/ 0	

放送年月日	1989年5月6日(土)
採録時刻	06:35〜06:40
チャンネル	4(日本テレビ)
ジャンル	報道系
本編秒数	300
番組分数	15
視聴率１	3.4
視聴率２	26.7
本編話者数	2
(男: 2 女: 0 不明: 0)	

標本:０１３９　番組名:「と―んでもない！？」

語数	延べ	異なり	語の密度	延べ	異なり	CM語数	延べ	異なり
音声	413	224	音声	82.6	44.8	音声	-	-
画面	152	108	画面	30.4	21.6	画面	-	-

語種	和	漢	外	混	不明
音声	306(74.1)	55(13.3)	10(2.4)	42(10.2)	0(0.0)
	145(64.7)	41(18.3)	6(2.7)	32(14.3)	0(0.0)
画面	58(38.2)	32(21.1)	0(0.0)	40(26.3)	22(14.5)
	46(42.6)	26(24.1)	0(0.0)	23(21.3)	13(12.0)

品詞	体	用	相	他	不明
音声	178(43.1)	73(17.7)	90(21.8)	72(17.4)	0(0.0)
	125(55.8)	41(18.3)	41(18.3)	17(7.6)	0(0.0)
画面	125(82.2)	10(6.6)	1(0.7)	0(0.0)	16(10.5)
	90(83.3)	9(8.3)	1(0.9)	0(0.0)	8(7.4)

画面媒体(延/異)	1: 66/53	2: 38/19	3: 0/ 0	4: 48/45

放送年月日	1989年5月6日(土)
採録時刻	13:10〜13:15
チャンネル	8(フジテレビ)
ジャンル	バラエティー系
本編秒数	300
番組分数	85
視聴率１	7.1
視聴率２	49.1
本編話者数	6
(男: 1 女: 5 不明: 0)	

標本:０１４０　番組名:「ザッツ談」

語数	延べ	異なり	語の密度	延べ	異なり	CM語数	延べ	異なり
音声	632	243	音声	126.4	48.6	音声	-	-
画面	0	0	画面	0.0	0.0	画面	-	-

語種	和	漢	外	混	不明
音声	491(77.7)	82(13.0)	28(4.4)	31(4.9)	0(0.0)
	155(63.8)	51(21.0)	15(6.2)	22(9.1)	0(0.0)
画面	0(0.0)	0(0.0)	0(0.0)	0(0.0)	0(0.0)
	0(0.0)	0(0.0)	0(0.0)	0(0.0)	0(0.0)

品詞	体	用	相	他	不明
音声	256(40.5)	94(14.9)	167(26.4)	115(18.2)	0(0.0)
	126(51.9)	44(18.1)	44(18.1)	29(11.9)	0(0.0)
画面	0(0.0)	0(0.0)	0(0.0)	0(0.0)	0(0.0)
	0(0.0)	0(0.0)	0(0.0)	0(0.0)	0(0.0)

画面媒体(延/異)	1: 0/ 0	2: 0/ 0	3: 0/ 0	4: 0/ 0

放送年月日	1989年5月6日(土)
採録時刻	22:35〜22:40
チャンネル	12(テレビ東京)
ジャンル	バラエティー系
本編秒数	300
番組分数	25
視聴率１	4.5
視聴率２	65.2
本編話者数	4
(男: 1 女: 3 不明: 0)	

標本:０１４１　番組名:-

語数	延べ	異なり	語の密度	延べ	異なり	CM語数	延べ	異なり
音声	-	-	音声	-	-	音声	-	-
画面	-	-	画面	-	-	画面	-	-

語種	和	漢	外	混	不明
音声	-(-)	-(-)	-(-)	-(-)	-(-)
	-(-)	-(-)	-(-)	-(-)	-(-)
画面	-(-)	-(-)	-(-)	-(-)	-(-)
	-(-)	-(-)	-(-)	-(-)	-(-)

品詞	体	用	相	他	不明
音声	-(-)	-(-)	-(-)	-(-)	-(-)
	-(-)	-(-)	-(-)	-(-)	-(-)
画面	-(-)	-(-)	-(-)	-(-)	-(-)
	-(-)	-(-)	-(-)	-(-)	-(-)

画面媒体(延/異)	1: -/ -	2: -/ -	3: -/ -	4: -/ -

放送年月日	1989年5月7日(日)
採録時刻	05:15〜05:20
チャンネル	10(テレビ朝日)
ジャンル	-
本編秒数	300
番組分数	-
視聴率１	-
視聴率２	-
本編話者数	-
(男: - 女: - 不明: -)	

標本:０１４２　番組名:「日曜囲碁対局」

語 数	延べ	異なり	語の密度	延べ	異なり	CM語数	延べ	異なり
音声	382	149	音声	76.4	29.8	音声	-	-
画面	273	20	画面	54.6	4.0	画面	-	-

語 種	和	漢	外	混	不明
音声	284(74.3)	84(22.0)	1(0.3)	13(3.4)	0(0.0)
	104(69.8)	33(22.1)	1(0.7)	11(7.4)	0(0.0)
画面	28(10.3)	210(76.9)	0(0.0)	35(12.8)	0(0.0)
	2(10.0)	15(75.0)	0(0.0)	3(15.0)	0(0.0)
品 詞	体	用	相	他	不明
音声	176(46.1)	54(14.1)	72(18.8)	80(20.9)	0(0.0)
	70(47.0)	33(22.1)	31(20.8)	15(10.1)	0(0.0)
画面	273(100.0)	0(0.0)	0(0.0)	0(0.0)	0(0.0)
	20(100.0)	0(0.0)	0(0.0)	0(0.0)	0(0.0)

画面媒体(延/異) 1: 0/ 0 2: 273/20 3: 0/ 0 4: 0/ 0

放送年月日	1989年5月7日(日)
採録時刻	07:45～07:50
チャンネル	12(テレビ東京)
ジャンル	一般実用系
本編秒数	300
番組分数	45
視聴率１	2.6
視聴率２	36.7
本編話者数	4
	(男: 2 女: 2 不明: 0)

標本:０１４３　番組名:「第３８回全日本バレーボール選手権大会男子決勝・新日鉄×富士」

語 数	延べ	異なり	語の密度	延べ	異なり	CM語数	延べ	異なり
音声	463	215	音声	92.6	43.0	音声	-	-
画面	168	31	画面	33.6	6.2	画面	-	-

語 種	和	漢	外	混	不明
音声	311(67.2)	68(14.7)	52(11.2)	32(6.9)	0(0.0)
	117(54.4)	47(21.9)	27(12.6)	24(11.2)	0(0.0)
画面	39(23.2)	81(48.2)	0(0.0)	2(1.2)	46(27.4)
	11(35.5)	13(41.9)	0(0.0)	2(6.5)	5(16.1)
品 詞	体	用	相	他	不明
音声	220(47.5)	83(17.9)	74(16.0)	86(18.6)	0(0.0)
	124(57.7)	48(22.3)	28(13.0)	15(7.0)	0(0.0)
画面	122(72.6)	0(0.0)	0(0.0)	0(0.0)	46(27.4)
	26(83.9)	0(0.0)	0(0.0)	0(0.0)	5(16.1)

画面媒体(延/異) 1: 116/12 2: 0/ 0 3: 0/ 0 4: 52/2

放送年月日	1989年5月7日(日)
採録時刻	14:15～14:20
チャンネル	6(ＴＢＳ)
ジャンル	スポーツ系
本編秒数	300
番組分数	84
視聴率１	7.7
視聴率２	52.8
本編話者数	2
	(男: 2 女: 0 不明: 0)

標本:０１４４　番組名:「天才・たけしの元気が出るテレビ！！」

語 数	延べ	異なり	語の密度	延べ	異なり	CM語数	延べ	異なり
音声	305	173	音声	76.3	43.3	音声	41	27
画面	16	14	画面	4.0	3.5	画面	60	44

語 種	和	漢	外	混	不明
音声	214(70.2)	60(19.7)	12(3.9)	19(6.2)	0(0.0)
	116(67.1)	35(20.2)	6(3.5)	16(9.2)	0(0.0)
画面	3(18.8)	5(31.3)	0(0.0)	5(31.3)	3(18.8)
	3(21.4)	5(35.7)	0(0.0)	5(35.7)	1(7.1)
品 詞	体	用	相	他	不明
音声	142(46.6)	74(24.3)	43(14.1)	46(15.1)	0(0.0)
	84(48.6)	44(25.4)	27(15.6)	18(10.4)	0(0.0)
画面	12(75.0)	1(6.3)	0(0.0)	0(0.0)	3(18.8)
	12(85.7)	1(7.1)	0(0.0)	0(0.0)	1(7.1)

画面媒体(延/異) 1: 10/10 2: 2/ 2 3: 3/ 1 4: 1/ 1

放送年月日	1989年5月7日(日)
採録時刻	20:25～20:30
チャンネル	4(日本テレビ)
ジャンル	バラエティー系
本編秒数	240
番組分数	54
視聴率１	14.4
視聴率２	83.5
本編話者数	9
	(男: 4 女: 5 不明: 0)

標本:０１４５　番組名:-

語数	延べ	異なり	語の密度	延べ	異なり	CM語数	延べ	異なり
音声	-	-	音声	-	-	音声	-	-
画面	-	-	画面	-	-	画面	-	-

語種	和	漢	外	混	不明
音声	-(-)	-(-)	-(-)	-(-)	-(-)
	-(-)	-(-)	-(-)	-(-)	-(-)
画面	-(-)	-(-)	-(-)	-(-)	-(-)
	-(-)	-(-)	-(-)	-(-)	-(-)

品詞	体	用	相	他	不明
音声	-(-)	-(-)	-(-)	-(-)	-(-)
	-(-)	-(-)	-(-)	-(-)	-(-)
画面	-(-)	-(-)	-(-)	-(-)	-(-)
	-(-)	-(-)	-(-)	-(-)	-(-)

画面媒体(延/異)	1: -/ -	2: -/ -	3: -/ -	4: -/ -

放送年月日	1989年5月7日(日)
採録時刻	03:10〜03:15
チャンネル	1(ＮＨＫ総合)
ジャンル	-
本編秒数	300
番組分数	-
視聴率１	-
視聴率２	-
本編話者数	-
(男: - 女: - 不明: -)	

標本:０１４６　番組名:「モーニングコール」

語数	延べ	異なり	語の密度	延べ	異なり	CM語数	延べ	異なり
音声	533	269	音声	106.6	53.8	音声	-	-
画面	211	86	画面	42.2	17.2	画面	-	-

語種	和	漢	外	混	不明
音声	363(68.1)	100(18.8)	27(5.1)	43(8.1)	0(0.0)
	141(52.4)	77(28.6)	17(6.3)	34(12.6)	0(0.0)
画面	45(21.3)	80(37.9)	9(4.3)	31(14.7)	46(21.8)
	29(33.7)	31(36.0)	5(5.8)	13(15.1)	8(9.3)

品詞	体	用	相	他	不明
音声	254(47.7)	82(15.4)	78(14.6)	119(22.3)	0(0.0)
	166(61.7)	44(16.4)	34(12.6)	25(9.3)	0(0.0)
画面	162(76.8)	0(0.0)	4(1.9)	0(0.0)	45(21.3)
	77(89.5)	0(0.0)	2(2.3)	0(0.0)	7(8.1)

画面媒体(延/異)	1: 20/19	2: 190/69	3: 1/ 1	4: 0/ 0

放送年月日	1989年5月8日(月)
採録時刻	07:10〜07:15
チャンネル	8(フジテレビ)
ジャンル	報道系
本編秒数	300
番組分数	70
視聴率１	3.3
視聴率２	52.0
本編話者数	6
(男: 4 女: 2 不明: 0)	

標本:０１４７　番組名:「おかあさんといっしょ」

語数	延べ	異なり	語の密度	延べ	異なり	CM語数	延べ	異なり
音声	195	95	音声	39.0	19.0	音声	-	-
画面	4	4	画面	0.8	0.8	画面	-	-

語種	和	漢	外	混	不明
音声	165(84.6)	18(9.2)	8(4.1)	4(2.1)	0(0.0)
	79(83.2)	10(10.5)	3(3.2)	3(3.2)	0(0.0)
画面	1(25.0)	0(0.0)	0(0.0)	2(50.0)	1(25.0)
	1(25.0)	0(0.0)	0(0.0)	2(50.0)	1(25.0)

品詞	体	用	相	他	不明
音声	62(31.8)	45(23.1)	41(21.0)	47(24.1)	0(0.0)
	34(35.8)	21(22.1)	22(23.2)	18(18.9)	0(0.0)
画面	4(100.0)	0(0.0)	0(0.0)	0(0.0)	0(0.0)
	4(100.0)	0(0.0)	0(0.0)	0(0.0)	0(0.0)

画面媒体(延/異)	1: 4/ 4	2: 0/ 0	3: 0/ 0	4: 0/ 0

放送年月日	1989年5月8日(月)
採録時刻	17:10〜17:15
チャンネル	3(ＮＨＫ教育)
ジャンル	一般実用系
本編秒数	300
番組分数	25
視聴率１	2.1
視聴率２	29.4
本編話者数	5
(男: 2 女: 3 不明: 0)	

標本:０１４８　番組名:「教師びんびん物語Ⅱ」

語 数	延べ	異なり	語の密度	延べ	異なり	CM語数	延べ	異なり
音声	265	164	音声	61.6	38.1	音声	9	9
画面	170	164	画面	39.5	38.1	画面	14	13

語 種	和	漢	外	混	不明
音声	193(72.8)	39(14.7)	2(0.8)	30(11.3)	1(0.4)
	117(71.3)	26(15.9)	2(1.2)	18(11.0)	1(0.6)
画面	50(29.4)	42(24.7)	17(10.0)	35(20.6)	26(15.3)
	50(30.5)	39(23.8)	17(10.4)	34(20.7)	24(14.6)
品 詞	体	用	相	他	不明
音声	124(46.8)	59(22.3)	45(17.0)	37(14.0)	0(0.0)
	79(48.2)	44(26.8)	24(14.6)	17(10.4)	0(0.0)
画面	162(95.3)	0(0.0)	0(0.0)	0(0.0)	8(4.7)
	158(96.3)	0(0.0)	0(0.0)	0(0.0)	6(3.7)
画面媒体(延/異)	1: 170/164	2: 0/ 0	3: 0/ 0	4: 0/ 0	

放送年月日	1989年5月8日(月)
採録時刻	21:00〜21:05
チャンネル	8(フジテレビ)
ジャンル	ストーリー系
本編秒数	258
番組分数	54
視聴率1	20.7
視聴率2	68.0
本編話者数	4
	(男: 2 女: 2 不明: 0)

標本:０１４９　番組名:「ぱらだいむ' ８９・仕切り直せ！日本の政治」

語 数	延べ	異なり	語の密度	延べ	異なり	CM語数	延べ	異なり
音声	477	241	音声	95.4	48.2	音声	-	-
画面	18	14	画面	3.6	2.8	画面	-	-

語 種	和	漢	外	混	不明
音声	332(69.6)	113(23.7)	10(2.1)	21(4.4)	1(0.2)
	132(54.8)	82(34.0)	7(2.9)	19(7.9)	1(0.4)
画面	2(11.1)	7(38.9)	0(0.0)	8(44.4)	1(5.6)
	2(14.3)	5(35.7)	0(0.0)	6(42.9)	1(7.1)
品 詞	体	用	相	他	不明
音声	195(40.9)	89(18.7)	105(22.0)	87(18.2)	1(0.2)
	127(52.7)	44(18.3)	48(19.9)	21(8.7)	1(0.4)
画面	18(100.0)	0(0.0)	0(0.0)	0(0.0)	0(0.0)
	14(100.0)	0(0.0)	0(0.0)	0(0.0)	0(0.0)
画面媒体(延/異)	1: 6/ 6	2: 12/10	3: 0/ 0	4: 0/ 0	

放送年月日	1989年5月8日(月)
採録時刻	02:50〜02:55
チャンネル	4(日本テレビ)
ジャンル	報道系
本編秒数	300
番組分数	145
視聴率1	0.8
視聴率2	4.9
本編話者数	5
	(男: 4 女: 1 不明: 0)

標本:０１５０　番組名:「奥さま劇場・さよならを教えて」

語 数	延べ	異なり	語の密度	延べ	異なり	CM語数	延べ	異なり
音声	273	185	音声	54.6	37.0	音声	-	-
画面	3	2	画面	0.6	0.4	画面	-	-

語 種	和	漢	外	混	不明
音声	201(73.6)	43(15.8)	9(3.3)	20(7.3)	0(0.0)
	130(70.3)	30(16.2)	8(4.3)	17(9.2)	0(0.0)
画面	0(0.0)	0(0.0)	2(66.7)	1(33.3)	0(0.0)
	0(0.0)	0(0.0)	1(50.0)	1(50.0)	0(0.0)
品 詞	体	用	相	他	不明
音声	131(48.0)	57(20.9)	54(19.8)	31(11.4)	0(0.0)
	84(45.4)	42(22.7)	39(21.1)	20(10.8)	0(0.0)
画面	3(100.0)	0(0.0)	0(0.0)	0(0.0)	0(0.0)
	2(100.0)	0(0.0)	0(0.0)	0(0.0)	0(0.0)
画面媒体(延/異)	1: 0/ 0	2: 0/ 0	3: 0/ 0	4: 3/ 2	

放送年月日	1989年5月9日(火)
採録時刻	10:40〜10:45
チャンネル	6(ＴＢＳ)
ジャンル	ストーリー系
本編秒数	300
番組分数	55
視聴率1	2.6
視聴率2	21.2
本編話者数	9
	(男: 4 女: 5 不明: 0)

標本:０１５１　番組名:「関東甲信越ネットワーク」

語数	延べ	異なり	語の密度	延べ	異なり	CM語数	延べ	異なり
音声	427	265	音声	85.4	53.0	音声	-	-
画面	29	29	画面	5.8	5.8	画面	-	-

語種	和	漢	外	混	不明
音声	250(58.5)	112(26.2)	23(5.4)	42(9.8)	0(0.0)
	136(51.3)	84(31.7)	16(6.0)	29(10.9)	0(0.0)
画面	4(13.8)	9(31.0)	1(3.4)	8(27.6)	7(24.1)
	4(13.8)	9(31.0)	1(3.4)	8(27.6)	7(24.1)

品詞	体	用	相	他	不明
音声	218(51.1)	83(19.4)	73(17.1)	53(12.4)	0(0.0)
	153(57.7)	54(20.4)	41(15.5)	17(6.4)	0(0.0)
画面	18(62.1)	3(10.3)	0(0.0)	1(3.4)	7(24.1)
	18(62.1)	3(10.3)	0(0.0)	1(3.4)	7(24.1)

画面媒体(延/異)	1: 29/29	2: 0/ 0	3: 0/ 0	4: 0/ 0

放送年月日	1989年5月9日(火)
採録時刻	13:30〜13:35
チャンネル	1(ＮＨＫ総合)
ジャンル	教育・教養系
本編秒数	300
番組分数	15
視聴率１	4.1
視聴率２	34.3
本編話者数	12
(男: 11 女: 1 不明: 0)	

標本:０１５２　番組名:「火曜スーパーワイド市原悦子の七つの顔の女」

語数	延べ	異なり	語の密度	延べ	異なり	CM語数	延べ	異なり
音声	256	133	音声	51.2	26.6	音声	-	-
画面	14	11	画面	2.8	2.2	画面	-	-

語種	和	漢	外	混	不明
音声	185(72.3)	45(17.6)	2(0.8)	24(9.4)	0(0.0)
	88(66.2)	30(22.6)	2(1.5)	13(9.8)	0(0.0)
画面	2(14.3)	7(50.0)	1(7.1)	4(28.6)	0(0.0)
	2(18.2)	4(36.4)	1(9.1)	4(36.4)	0(0.0)

品詞	体	用	相	他	不明
音声	118(46.1)	35(13.7)	52(20.3)	51(19.9)	0(0.0)
	65(48.9)	24(18.0)	27(20.3)	17(12.8)	0(0.0)
画面	14(100.0)	0(0.0)	0(0.0)	0(0.0)	0(0.0)
	11(100.0)	0(0.0)	0(0.0)	0(0.0)	0(0.0)

画面媒体(延/異)	1: 14/11	2: 0/ 0	3: 0/ 0	4: 0/ 0

放送年月日	1989年5月9日(火)
採録時刻	20:50〜20:55
チャンネル	10(テレビ朝日)
ジャンル	ストーリー系
本編秒数	300
番組分数	108
視聴率１	12.6
視聴率２	72.3
本編話者数	7
(男: 4 女: 3 不明: 0)	

標本:０１５３　番組名:-

語数	延べ	異なり	語の密度	延べ	異なり	CM語数	延べ	異なり
音声	-	-	音声	-	-	音声	-	-
画面	-	-	画面	-	-	画面	-	-

語種	和	漢	外	混	不明
音声	-(-)	-(-)	-(-)	-(-)	-(-)
	-(-)	-(-)	-(-)	-(-)	-(-)
画面	-(-)	-(-)	-(-)	-(-)	-(-)
	-(-)	-(-)	-(-)	-(-)	-(-)

品詞	体	用	相	他	不明
音声	-(-)	-(-)	-(-)	-(-)	-(-)
	-(-)	-(-)	-(-)	-(-)	-(-)
画面	-(-)	-(-)	-(-)	-(-)	-(-)
	-(-)	-(-)	-(-)	-(-)	-(-)

画面媒体(延/異)	1: -/ -	2: -/ -	3: -/ -	4: -/ -

放送年月日	1989年5月9日(火)
採録時刻	04:15〜04:20
チャンネル	3(ＮＨＫ教育)
ジャンル	-
本編秒数	300
番組分数	-
視聴率１	-
視聴率２	-
本編話者数	-
(男: - 女: - 不明: -)	

標本:０１５４　番組名:「ＯＨ！キッチン家族」

語 数	延べ	異なり	語の密度	延べ	異なり	ＣＭ語数	延べ	異なり
音声	426	152	音声	106.5	38.0	音声	44	41
画面	40	28	画面	10.0	7.0	画面	80	56

語 種	和	漢	外	混	不明
音声	341(80.0)	42(9.9)	27(6.3)	13(3.1)	3(0.7)
	101(66.4)	24(15.8)	17(11.2)	9(5.9)	1(0.7)
画面	6(15.0)	4(10.0)	10(25.0)	3(7.5)	17(42.5)
	5(17.9)	4(14.3)	10(35.7)	3(10.7)	6(21.4)

品 詞	体	用	相	他	不明
音声	142(33.3)	73(17.1)	79(18.5)	132(31.0)	0(0.0)
	70(46.1)	24(15.8)	38(25.0)	20(13.2)	0(0.0)
画面	23(57.5)	0(0.0)	0(0.0)	0(0.0)	17(42.5)
	22(78.6)	0(0.0)	0(0.0)	0(0.0)	6(21.4)

画面媒体(延/異)	1: 40/28	2: 0/ 0	3: 0/ 0	4: 0/ 0

放送年月日	1989年5月10日(水)
採録時刻	08:40〜08:45
チャンネル	12(テレビ東京)
ジャンル	ストーリー系
本編秒数	240
番組分数	30
視聴率１	1.4
視聴率２	46.5
本編話者数	5
	(男: 2 女: 3 不明: 0)

標本:０１５５　番組名:「こんにちは２時」

語 数	延べ	異なり	語の密度	延べ	異なり	ＣＭ語数	延べ	異なり
音声	462	189	音声	131.4	53.7	音声	69	60
画面	26	12	画面	7.4	3.4	画面	69	40

語 種	和	漢	外	混	不明
音声	355(76.8)	60(13.0)	4(0.9)	43(9.3)	0(0.0)
	121(64.0)	40(21.2)	3(1.6)	25(13.2)	0(0.0)
画面	5(19.2)	5(19.2)	0(0.0)	8(30.8)	8(30.8)
	3(25.0)	3(25.0)	0(0.0)	4(33.3)	2(16.7)

品 詞	体	用	相	他	不明
音声	178(38.5)	60(13.0)	94(20.3)	130(28.1)	0(0.0)
	96(50.8)	31(16.4)	42(22.2)	20(10.6)	0(0.0)
画面	18(69.2)	0(0.0)	0(0.0)	0(0.0)	8(30.8)
	10(83.3)	0(0.0)	0(0.0)	0(0.0)	2(16.7)

画面媒体(延/異)	1: 26/12	2: 0/ 0	3: 0/ 0	4: 0/ 0

放送年月日	1989年5月10日(水)
採録時刻	14:30〜14:35
チャンネル	10(テレビ朝日)
ジャンル	一般実用系
本編秒数	211
番組分数	50
視聴率１	4.7
視聴率２	25.8
本編話者数	4
	(男: 3 女: 1 不明: 0)

標本:０１５６　番組名:「イブニングネットワーク」

語 数	延べ	異なり	語の密度	延べ	異なり	ＣＭ語数	延べ	異なり
音声	340	234	音声	68.0	46.8	音声	-	-
画面	26	25	画面	5.2	5.0	画面	-	-

語 種	和	漢	外	混	不明
音声	205(60.3)	96(28.2)	10(2.9)	29(8.5)	0(0.0)
	119(50.9)	80(34.2)	8(3.4)	27(11.5)	0(0.0)
画面	9(34.6)	7(26.9)	1(3.8)	6(23.1)	3(11.5)
	8(32.0)	7(28.0)	1(4.0)	6(24.0)	3(12.0)

品 詞	体	用	相	他	不明
音声	177(52.1)	80(23.5)	61(17.9)	22(6.5)	0(0.0)
	140(59.8)	49(20.9)	36(15.4)	9(3.8)	0(0.0)
画面	18(69.2)	3(11.5)	2(7.7)	0(0.0)	3(11.5)
	18(72.0)	2(8.0)	2(8.0)	0(0.0)	3(12.0)

画面媒体(延/異)	1: 17/17	2: 4/ 4	3: 0/ 0	4: 5/ 4

放送年月日	1989年5月10日(水)
採録時刻	18:35〜18:40
チャンネル	1(ＮＨＫ総合)
ジャンル	報道系
本編秒数	300
番組分数	60
視聴率１	13.8
視聴率２	44.2
本編話者数	8
	(男: 2 女: 6 不明: 0)

標本:０１５７　番組名:-

語数	延べ	異なり	語の密度	延べ	異なり	CM語数	延べ	異なり
音声	-	-	音声	-	-	音声	-	-
画面	-	-	画面	-	-	画面	-	-

語種	和	漢	外	混	不明
音声	-(-)	-(-)	-(-)	-(-)	-(-)
	-(-)	-(-)	-(-)	-(-)	-(-)
画面	-(-)	-(-)	-(-)	-(-)	-(-)
	-(-)	-(-)	-(-)	-(-)	-(-)

品詞	体	用	相	他	不明
音声	-(-)	-(-)	-(-)	-(-)	-(-)
	-(-)	-(-)	-(-)	-(-)	-(-)
画面	-(-)	-(-)	-(-)	-(-)	-(-)
	-(-)	-(-)	-(-)	-(-)	-(-)

画面媒体(延/異)	1: -/ -	2: -/ -	3: -/ -	4: -/ -

放送年月日	1989年5月10日(水)
採録時刻	02:10〜02:15
チャンネル	3(ＮＨＫ教育)
ジャンル	-
本編秒数	300
番組分数	-
視聴率１	-
視聴率２	-
本編話者数	-
(男: - 女: - 不明: -)	

標本:０１５８　番組名:「天気予報」

語数	延べ	異なり	語の密度	延べ	異なり	CM語数	延べ	異なり
音声	198	136	音声	72.0	49.5	音声	97	60
画面	141	68	画面	51.3	24.7	画面	116	64

語種	和	漢	外	混	不明
音声	120(60.6)	55(27.8)	4(2.0)	19(9.6)	0(0.0)
	75(55.1)	39(28.7)	4(2.9)	18(13.2)	0(0.0)
画面	38(27.0)	34(24.1)	3(2.1)	17(12.1)	49(34.8)
	17(25.0)	28(41.2)	1(1.5)	11(16.2)	11(16.2)

品詞	体	用	相	他	不明
音声	118(59.6)	33(16.7)	42(21.2)	5(2.5)	0(0.0)
	80(58.8)	21(15.4)	32(23.5)	3(2.2)	0(0.0)
画面	92(65.2)	0(0.0)	0(0.0)	0(0.0)	49(34.8)
	57(83.8)	0(0.0)	0(0.0)	0(0.0)	11(16.2)

画面媒体(延/異)	1: 141/68	2: 0/ 0	3: 0/ 0	4: 0/ 0

放送年月日	1989年5月11日(木)
採録時刻	11:55〜12:00
チャンネル	12(テレビ東京)
ジャンル	報道系
本編秒数	165
番組分数	5
視聴率１	0.7
視聴率２	31.6
本編話者数	3
(男: 0 女: 3 不明: 0)	

標本:０１５９　番組名:「愛の劇場・おめでた」

語数	延べ	異なり	語の密度	延べ	異なり	CM語数	延べ	異なり
音声	315	148	音声	70.0	32.9	音声	33	28
画面	1	1	画面	0.2	0.2	画面	16	14

語種	和	漢	外	混	不明
音声	259(82.2)	38(12.1)	3(1.0)	15(4.8)	0(0.0)
	110(74.3)	26(17.6)	1(0.7)	11(7.4)	0(0.0)
画面	1(100.0)	0(0.0)	0(0.0)	0(0.0)	0(0.0)
	1(100.0)	0(0.0)	0(0.0)	0(0.0)	0(0.0)

品詞	体	用	相	他	不明
音声	108(34.3)	52(16.5)	65(20.6)	90(28.6)	0(0.0)
	60(40.5)	37(25.0)	27(18.2)	24(16.2)	0(0.0)
画面	0(0.0)	1(100.0)	0(0.0)	0(0.0)	0(0.0)
	0(0.0)	1(100.0)	0(0.0)	0(0.0)	0(0.0)

画面媒体(延/異)	1: 1/ 1	2: 0/ 0	3: 0/ 0	4: 0/ 0

放送年月日	1989年5月11日(木)
採録時刻	13:20〜13:25
チャンネル	6(ＴＢＳ)
ジャンル	ストーリー系
本編秒数	270
番組分数	30
視聴率１	16.9
視聴率２	45.8
本編話者数	7
(男: 4 女: 3 不明: 0)	

標本:０１６０　番組名:「木曜スペシャル・世界の爆笑芸大賞！第１弾」

語 数	延べ	異なり	語の密度	延べ	異なり	CM語数	延べ	異なり
音声	483	207	音声	96.6	41.4	音声	-	-
画面	1	1	画面	0.2	0.2	画面	-	-

語 種	和	漢	外	混	不明
音声	357(73.9)	67(13.9)	23(4.8)	29(6.0)	7(1.4)
	133(64.3)	34(16.4)	16(7.7)	20(9.7)	4(1.9)
画面	0(0.0)	0(0.0)	0(0.0)	1(100.0)	0(0.0)
	0(0.0)	0(0.0)	0(0.0)	1(100.0)	0(0.0)

品 詞	体	用	相	他	不明
音声	203(42.0)	95(19.7)	86(17.8)	99(20.5)	0(0.0)
	95(45.9)	45(21.7)	41(19.8)	26(12.6)	0(0.0)
画面	1(100.0)	0(0.0)	0(0.0)	0(0.0)	0(0.0)
	1(100.0)	0(0.0)	0(0.0)	0(0.0)	0(0.0)

画面媒体(延/異)　1: 0/ 0　2: 0/ 0　3: 1/ 1　4: 0/ 0

放送年月日	1989年5月11日(木)
採録時刻	19:40〜19:45
チャンネル	4(日本テレビ)
ジャンル	バラエティー系
本編秒数	300
番組分数	84
視聴率１	11.9
視聴率２	69.8
本編話者数	7
	(男: 4 女: 3 不明: 0)

標本:０１６１　番組名:「シネスイッチ」

語 数	延べ	異なり	語の密度	延べ	異なり	CM語数	延べ	異なり
音声	118	97	音声	46.9	38.5	音声	82	73
画面	84	76	画面	33.4	30.2	画面	115	93

語 種	和	漢	外	混	不明
音声	48(40.7)	24(20.3)	19(16.1)	27(22.9)	0(0.0)
	38(39.2)	23(23.7)	15(15.5)	21(21.6)	0(0.0)
画面	31(36.9)	27(32.1)	13(15.5)	8(9.5)	5(6.0)
	26(34.2)	26(34.2)	11(14.5)	8(10.5)	5(6.6)

品 詞	体	用	相	他	不明
音声	80(67.8)	19(16.1)	14(11.9)	5(4.2)	0(0.0)
	65(67.0)	17(17.5)	11(11.3)	4(4.1)	0(0.0)
画面	60(71.4)	16(19.0)	3(3.6)	0(0.0)	5(6.0)
	55(72.4)	13(17.1)	3(3.9)	0(0.0)	5(6.6)

画面媒体(延/異)　1: 82/74　2: 0/ 0　3: 0/ 0　4: 2/ 2

放送年月日	1989年5月11日(木)
採録時刻	01:10〜01:15
チャンネル	8(フジテレビ)
ジャンル	一般実用系
本編秒数	151
番組分数	5
視聴率１	2.1
視聴率２	9.2
本編話者数	1
	(男: 0 女: 1 不明: 0)

標本:０１６２　番組名:「ひらけ！ポンキッキ」

語 数	延べ	異なり	語の密度	延べ	異なり	CM語数	延べ	異なり
音声	43	42	音声	41.0	40.0	音声	228	170
画面	17	15	画面	16.2	14.3	画面	245	172

語 種	和	漢	外	混	不明
音声	17(39.5)	10(23.3)	5(11.6)	11(25.6)	0(0.0)
	16(38.1)	10(23.8)	5(11.9)	11(26.2)	0(0.0)
画面	2(11.8)	6(35.3)	4(23.5)	5(29.4)	0(0.0)
	2(13.3)	5(33.3)	4(26.7)	4(26.7)	0(0.0)

品 詞	体	用	相	他	不明
音声	33(76.7)	6(14.0)	4(9.3)	0(0.0)	0(0.0)
	32(76.2)	6(14.3)	4(9.5)	0(0.0)	0(0.0)
画面	17(100.0)	0(0.0)	0(0.0)	0(0.0)	0(0.0)
	15(100.0)	0(0.0)	0(0.0)	0(0.0)	0(0.0)

画面媒体(延/異)　1: 16/15　2: 0/ 0　3: 1/ 1　4: 0/ 0

放送年月日	1989年5月12日(金)
採録時刻	08:25〜08:30
チャンネル	8(フジテレビ)
ジャンル	一般実用系
本編秒数	63
番組分数	45
視聴率１	7.5
視聴率２	60.3
本編話者数	6
	(男: 2 女: 4 不明: 0)

標本:０１６３　番組名:「レディス４」

語数	延べ	異なり	語の密度	延べ	異なり	CM語数	延べ	異なり
音声	597	303	音声	119.4	60.6	音声	-	-
画面	37	27	画面	7.4	5.4	画面	-	-

語種	和	漢	外	混	不明
音声	449(75.2)	83(13.9)	20(3.4)	45(7.5)	0(0.0)
	192(63.4)	63(20.8)	11(3.6)	37(12.2)	0(0.0)
画面	3(8.1)	6(16.2)	4(10.8)	8(21.6)	16(43.2)
	2(7.4)	6(22.2)	3(11.1)	8(29.6)	8(29.6)

品詞	体	用	相	他	不明
音声	270(45.2)	84(14.1)	112(18.8)	131(21.9)	0(0.0)
	178(58.7)	54(17.8)	45(14.9)	26(8.6)	0(0.0)
画面	21(56.8)	0(0.0)	0(0.0)	0(0.0)	16(43.2)
	19(70.4)	0(0.0)	0(0.0)	0(0.0)	8(29.6)

画面媒体(延/異)	1: 36/27	2: 0/ 0	3: 0/ 0	4: 1/ 1

放送年月日	1989年5月12日(金)
採録時刻	16:45〜16:50
チャンネル	12(テレビ東京)
ジャンル	一般実用系
本編秒数	300
番組分数	55
視聴率１	1.8
視聴率２	36.4
本編話者数	9
(男: 6 女: 3 不明: 0)	

標本:０１６４　番組名:「ミュージックステーション」

語数	延べ	異なり	語の密度	延べ	異なり	CM語数	延べ	異なり
音声	343	172	音声	68.6	34.4	音声	-	-
画面	7	7	画面	1.4	1.4	画面	-	-

語種	和	漢	外	混	不明
音声	266(77.6)	33(9.6)	26(7.6)	17(5.0)	1(0.3)
	119(69.2)	20(11.6)	20(11.6)	12(7.0)	1(0.6)
画面	2(28.6)	3(42.9)	1(14.3)	1(14.3)	0(0.0)
	2(28.6)	3(42.9)	1(14.3)	1(14.3)	0(0.0)

品詞	体	用	相	他	不明
音声	134(39.1)	53(15.5)	84(24.5)	72(21.0)	0(0.0)
	82(47.7)	34(19.8)	33(19.2)	23(13.4)	0(0.0)
画面	7(100.0)	0(0.0)	0(0.0)	0(0.0)	0(0.0)
	7(100.0)	0(0.0)	0(0.0)	0(0.0)	0(0.0)

画面媒体(延/異)	1: 7/ 7	2: 0/ 0	3: 0/ 0	4: 0/ 0

放送年月日	1989年5月12日(金)
採録時刻	20:20〜20:25
チャンネル	10(テレビ朝日)
ジャンル	音楽系
本編秒数	300
番組分数	54
視聴率１	7.2
視聴率２	75.1
本編話者数	3
(男: 2 女: 1 不明: 0)	

標本:０１６５　番組名:「ＭＴＶジャパン・ゴールド」

語数	延べ	異なり	語の密度	延べ	異なり	CM語数	延べ	異なり
音声	443	180	音声	88.6	36.0	音声	-	-
画面	5	5	画面	1.0	1.0	画面	-	-

語種	和	漢	外	混	不明
音声	328(74.0)	62(14.0)	23(5.2)	30(6.8)	0(0.0)
	112(62.2)	35(19.4)	13(7.2)	20(11.1)	0(0.0)
画面	0(0.0)	0(0.0)	2(40.0)	1(20.0)	2(40.0)
	0(0.0)	0(0.0)	2(40.0)	1(20.0)	2(40.0)

品詞	体	用	相	他	不明
音声	170(38.4)	83(18.7)	123(27.8)	67(15.1)	0(0.0)
	88(48.9)	35(19.4)	39(21.7)	18(10.0)	0(0.0)
画面	3(60.0)	0(0.0)	0(0.0)	0(0.0)	2(40.0)
	3(60.0)	0(0.0)	0(0.0)	0(0.0)	2(40.0)

画面媒体(延/異)	1: 5/ 5	2: 0/ 0	3: 0/ 0	4: 0/ 0

放送年月日	1989年5月12日(金)
採録時刻	03:00〜03:05
チャンネル	6(ＴＢＳ)
ジャンル	音楽系
本編秒数	300
番組分数	70
視聴率１	0.5
視聴率２	4.7
本編話者数	2
(男: 1 女: 1 不明: 0)	

標本:０１６６　番組名:「実戦！ゲートボール」

語 数	延べ	異なり	語の密度	延べ	異なり	CM語数	延べ	異なり
音声	267	186	音声	88.0	61.3	音声	69	63
画面	147	113	画面	48.5	37.3	画面	54	49

語 種	和	漢	外	混	不明
音声	153(57.3)	59(22.1)	14(5.2)	41(15.4)	0(0.0)
	97(52.2)	46(24.7)	7(3.8)	36(19.4)	0(0.0)
画面	16(10.9)	38(25.9)	13(8.8)	40(27.2)	40(27.2)
	16(14.2)	36(31.9)	11(9.7)	33(29.2)	17(15.0)

品 詞	体	用	相	他	不明
音声	145(54.3)	38(14.2)	37(13.9)	47(17.6)	0(0.0)
	111(59.7)	33(17.7)	22(11.8)	20(10.8)	0(0.0)
画面	103(70.1)	2(1.4)	1(0.7)	1(0.7)	40(27.2)
	92(81.4)	2(1.8)	1(0.9)	1(0.9)	17(15.0)

画面媒体(延/異)　1: 140/106　2: 0/ 0　3: 0/ 0　4: 7/ 7

放送年月日	1989年5月13日(土)
採録時刻	06:25〜06:30
チャンネル	4(日本テレビ)
ジャンル	スポーツ系
本編秒数	182
番組分数	30
視聴率１	1.9
視聴率２	22.4
本編話者数	9
	(男: 4 女: 5 不明: 0)

標本:０１６７　番組名:「青春すくらんぶる」

語 数	延べ	異なり	語の密度	延べ	異なり	CM語数	延べ	異なり
音声	337	203	音声	67.4	40.6	音声	-	-
画面	38	32	画面	7.6	6.4	画面	-	-

語 種	和	漢	外	混	不明
音声	241(71.5)	53(15.7)	17(5.0)	25(7.4)	1(0.3)
	131(64.5)	38(18.7)	14(6.9)	19(9.4)	1(0.5)
画面	8(21.1)	10(26.3)	4(10.5)	11(28.9)	5(13.2)
	7(21.9)	10(31.3)	4(12.5)	8(25.0)	3(9.4)

品 詞	体	用	相	他	不明
音声	159(47.2)	69(20.5)	41(12.2)	67(19.9)	1(0.3)
	107(52.7)	43(21.2)	30(14.8)	22(10.8)	1(0.5)
画面	32(84.2)	1(2.6)	0(0.0)	0(0.0)	5(13.2)
	28(87.5)	1(3.1)	0(0.0)	0(0.0)	3(9.4)

画面媒体(延/異)　1: 25/22　2: 3/ 3　3: 6/ 6　4: 4/ 4

放送年月日	1989年5月13日(土)
採録時刻	12:00〜12:05
チャンネル	3(ＮＨＫ教育)
ジャンル	教育・教養系
本編秒数	300
番組分数	30
視聴率１	0.1
視聴率２	31.7
本編話者数	13
	(男: 11 女: 2 不明: 0)

標本:０１６８　番組名:「ＮＨＫスペシャル・外国人労働者激突討論開国か鎖国か」

語 数	延べ	異なり	語の密度	延べ	異なり	CM語数	延べ	異なり
音声	386	220	音声	77.2	44.0	音声	-	-
画面	22	16	画面	4.4	3.2	画面	-	-

語 種	和	漢	外	混	不明
音声	259(67.1)	98(25.4)	6(1.6)	22(5.7)	1(0.3)
	122(55.5)	71(32.3)	4(1.8)	22(10.0)	1(0.5)
画面	3(13.6)	4(18.2)	1(4.5)	8(36.4)	6(27.3)
	3(18.8)	3(18.8)	1(6.3)	7(43.8)	2(12.5)

品 詞	体	用	相	他	不明
音声	187(48.4)	74(19.2)	70(18.1)	54(14.0)	1(0.3)
	119(54.1)	44(20.0)	40(18.2)	16(7.3)	1(0.5)
画面	16(72.7)	0(0.0)	0(0.0)	0(0.0)	6(27.3)
	14(87.5)	0(0.0)	0(0.0)	0(0.0)	2(12.5)

画面媒体(延/異)　1: 20/15　2: 2/ 1　3: 0/ 0　4: 0/ 0

放送年月日	1989年5月13日(土)
採録時刻	21:20〜21:25
チャンネル	1(ＮＨＫ総合)
ジャンル	報道系
本編秒数	300
番組分数	60
視聴率１	5.0
視聴率２	73.6
本編話者数	7
	(男: 4 女: 3 不明: 0)

標本:０１６９　番組名:「平成名物ＴＶ・トンガリ編」

語数	延べ	異なり	語の密度	延べ	異なり	ＣＭ語数	延べ	異なり
音声	737	296	音声	147.4	59.2	音声	-	-
画面	117	75	画面	23.4	15.0	画面	-	-

語種	和	漢	外	混	不明
音声	585(79.4)	84(11.4)	12(1.6)	48(6.5)	8(1.1)
	203(68.6)	55(18.6)	8(2.7)	27(9.1)	3(1.0)
画面	84(71.8)	12(10.3)	6(5.1)	11(9.4)	4(3.4)
	46(61.3)	10(13.3)	5(6.7)	10(13.3)	4(5.3)

品詞	体	用	相	他	不明
音声	319(43.3)	132(17.9)	148(20.1)	136(18.5)	2(0.3)
	151(51.0)	58(19.6)	61(20.6)	25(8.4)	1(0.3)
画面	63(53.8)	34(29.1)	17(14.5)	0(0.0)	3(2.6)
	46(61.3)	20(26.7)	6(8.0)	0(0.0)	3(4.0)

画面媒体(延/異)　1: 2/ 2　2: 115/73　3: 0/ 0　4: 0/ 0

放送年月日	1989年5月13日(土)
採録時刻	04:40〜04:45
チャンネル	6(ＴＢＳ)
ジャンル	バラエティー系
本編秒数	300
番組分数	120
視聴率１	0.3
視聴率２	3.7
本編話者数	4
	(男: 4 女: 0 不明: 0)

標本:０１７０　番組名:「機動刑事ジバン」

語数	延べ	異なり	語の密度	延べ	異なり	ＣＭ語数	延べ	異なり
音声	202	132	音声	46.3	30.2	音声	32	23
画面	2	2	画面	0.5	0.5	画面	27	25

語種	和	漢	外	混	不明
音声	134(66.3)	38(18.8)	21(10.4)	9(4.5)	0(0.0)
	90(68.2)	26(19.7)	8(6.1)	8(6.1)	0(0.0)
画面	2(100.0)	0(0.0)	0(0.0)	0(0.0)	0(0.0)
	2(100.0)	0(0.0)	0(0.0)	0(0.0)	0(0.0)

品詞	体	用	相	他	不明
音声	113(55.9)	38(18.8)	37(18.3)	14(6.9)	0(0.0)
	71(53.8)	29(22.0)	21(15.9)	11(8.3)	0(0.0)
画面	1(50.0)	1(50.0)	0(0.0)	0(0.0)	0(0.0)
	1(50.0)	1(50.0)	0(0.0)	0(0.0)	0(0.0)

画面媒体(延/異)　1: 1/ 1　2: 0/ 0　3: 0/ 0　4: 1/ 1

放送年月日	1989年5月14日(日)
採録時刻	08:20〜08:25
チャンネル	10(テレビ朝日)
ジャンル	ストーリー系
本編秒数	262
番組分数	30
視聴率１	7.5
視聴率２	38.4
本編話者数	8
	(男: 7 女: 1 不明: 0)

標本:０１７１　番組名:「大相撲夏場所・８日目」

語数	延べ	異なり	語の密度	延べ	異なり	ＣＭ語数	延べ	異なり
音声	387	198	音声	77.4	39.6	音声	-	-
画面	63	50	画面	12.6	10.0	画面	-	-

語種	和	漢	外	混	不明
音声	257(66.4)	75(19.4)	0(0.0)	55(14.2)	0(0.0)
	115(58.1)	49(24.7)	0(0.0)	34(17.2)	0(0.0)
画面	23(36.5)	18(28.6)	0(0.0)	12(19.0)	10(15.9)
	21(42.0)	15(30.0)	0(0.0)	11(22.0)	3(6.0)

品詞	体	用	相	他	不明
音声	225(58.1)	63(16.3)	41(10.6)	58(15.0)	0(0.0)
	133(67.2)	35(17.7)	18(9.1)	12(6.1)	0(0.0)
画面	54(85.7)	0(0.0)	0(0.0)	0(0.0)	9(14.3)
	48(96.0)	0(0.0)	0(0.0)	0(0.0)	2(4.0)

画面媒体(延/異)　1: 13/11　2: 0/ 0　3: 0/ 0　4: 50/43

放送年月日	1989年5月14日(日)
採録時刻	15:25〜15:30
チャンネル	1(ＮＨＫ総合)
ジャンル	スポーツ系
本編秒数	300
番組分数	180
視聴率１	3.7
視聴率２	39.3
本編話者数	8
	(男: 7 女: 1 不明: 0)

標本:０１７２　番組名:「芸術劇場・ミュージック・フランセーズ・フランス室内楽の精華」

語 数	延べ	異なり	語の密度	延べ	異なり	CM語数	延べ	異なり
音声	0	0	音声	0.0	0.0	音声	-	-
画面	10	10	画面	2.0	2.0	画面	-	-

語 種	和	漢	外	混	不明
音声	0(0.0)	0(0.0)	0(0.0)	0(0.0)	0(0.0)
	0(0.0)	0(0.0)	0(0.0)	0(0.0)	0(0.0)
画面	0(0.0)	0(0.0)	8(80.0)	2(20.0)	0(0.0)
	0(0.0)	0(0.0)	8(80.0)	2(20.0)	0(0.0)
品 詞	体	用	相	他	不明
音声	0(0.0)	0(0.0)	0(0.0)	0(0.0)	0(0.0)
	0(0.0)	0(0.0)	0(0.0)	0(0.0)	0(0.0)
画面	10(100.0)	0(0.0)	0(0.0)	0(0.0)	0(0.0)
	10(100.0)	0(0.0)	0(0.0)	0(0.0)	0(0.0)
画面媒体(延/異)	1: 10/10	2: 0/ 0	3: 0/ 0	4: 0/ 0	

放送年月日	1989年5月14日(日)
採録時刻	23:50〜23:55
チャンネル	3(ＮＨＫ教育)
ジャンル	音楽系
本編秒数	300
番組分数	103
視聴率１	0.7
視聴率２	28.5
本編話者数	0
(男: 0 女: 0 不明: 0)	

標本:０１７３　番組名:-

語 数	延べ	異なり	語の密度	延べ	異なり	CM語数	延べ	異なり
音声	-	-	音声	-	-	音声	-	-
画面	-	-	画面	-	-	画面	-	-

語 種	和	漢	外	混	不明
音声	-(-)	-(-)	-(-)	-(-)	-(-)
	-(-)	-(-)	-(-)	-(-)	-(-)
画面	-(-)	-(-)	-(-)	-(-)	-(-)
	-(-)	-(-)	-(-)	-(-)	-(-)
品 詞	体	用	相	他	不明
音声	-(-)	-(-)	-(-)	-(-)	-(-)
	-(-)	-(-)	-(-)	-(-)	-(-)
画面	-(-)	-(-)	-(-)	-(-)	-(-)
	-(-)	-(-)	-(-)	-(-)	-(-)
画面媒体(延/異)	1: -/ -	2: -/ -	3: -/ -	4: -/ -	

放送年月日	1989年5月14日(日)
採録時刻	03:55〜04:00
チャンネル	12(テレビ東京)
ジャンル	-
本編秒数	300
番組分数	-
視聴率１	-
視聴率２	-
本編話者数	-
(男: - 女: - 不明: -)	

標本:０１７４　番組名:「生島ヒロシのおいしいフライパン」

語 数	延べ	異なり	語の密度	延べ	異なり	CM語数	延べ	異なり
音声	540	246	音声	108.0	49.2	音声	-	-
画面	18	17	画面	3.6	3.4	画面	-	-

語 種	和	漢	外	混	不明
音声	407(75.4)	74(13.7)	9(1.7)	50(9.3)	0(0.0)
	147(59.8)	58(23.6)	6(2.4)	35(14.2)	0(0.0)
画面	2(11.1)	2(11.1)	1(5.6)	10(55.6)	3(16.7)
	2(11.8)	2(11.8)	1(5.9)	9(52.9)	3(17.6)
品 詞	体	用	相	他	不明
音声	211(39.1)	73(13.5)	111(20.6)	145(26.9)	0(0.0)
	129(52.4)	35(14.2)	55(22.4)	27(11.0)	0(0.0)
画面	15(83.3)	0(0.0)	0(0.0)	0(0.0)	3(16.7)
	14(82.4)	0(0.0)	0(0.0)	0(0.0)	3(17.6)
画面媒体(延/異)	1: 16/16	2: 0/ 0	3: 0/ 0	4: 2/ 2	

放送年月日	1989年5月15日(月)
採録時刻	10:05〜10:10
チャンネル	8(フジテレビ)
ジャンル	一般実用系
本編秒数	300
番組分数	85
視聴率１	3.4
視聴率２	21.5
本編話者数	7
(男: 4 女: 3 不明: 0)	

標本:０１７５　番組名:「アンコールアワー・明日はアタシの風が吹く」

語数	延べ	異なり	語の密度	延べ	異なり	CM語数	延べ	異なり
音声	251	143	音声	50.2	28.6	音声	-	-
画面	0	0	画面	0.0	0.0	画面	-	-

語種	和	漢	外	混	不明
音声	194(77.3)	40(15.9)	3(1.2)	14(5.6)	0(0.0)
	103(72.0)	25(17.5)	2(1.4)	13(9.1)	0(0.0)
画面	0(0.0)	0(0.0)	0(0.0)	0(0.0)	0(0.0)
	0(0.0)	0(0.0)	0(0.0)	0(0.0)	0(0.0)

品詞	体	用	相	他	不明
音声	115(45.8)	50(19.9)	38(15.1)	48(19.1)	0(0.0)
	63(44.1)	36(25.2)	26(18.2)	18(12.6)	0(0.0)
画面	0(0.0)	0(0.0)	0(0.0)	0(0.0)	0(0.0)
	0(0.0)	0(0.0)	0(0.0)	0(0.0)	0(0.0)

画面媒体(延/異)　1: 0/ 0　2: 0/ 0　3: 0/ 0　4: 0/ 0

放送年月日	1989年5月15日(月)
採録時刻	16:40～16:45
チャンネル	4(日本テレビ)
ジャンル	ストーリー系
本編秒数	300
番組分数	55
視聴率１	4.4
視聴率２	31.5
本編話者数	11
	(男: 4 女: 7 不明: 0)

標本:０１７６　番組名:「ファッション通信」

語数	延べ	異なり	語の密度	延べ	異なり	CM語数	延べ	異なり
音声	207	151	音声	41.4	30.2	音声	-	-
画面	16	10	画面	3.2	2.0	画面	-	-

語種	和	漢	外	混	不明
音声	81(39.1)	48(23.2)	48(23.2)	30(14.5)	0(0.0)
	55(36.4)	40(26.5)	38(25.2)	18(11.9)	0(0.0)
画面	0(0.0)	0(0.0)	15(93.8)	1(6.3)	0(0.0)
	0(0.0)	0(0.0)	9(90.0)	1(10.0)	0(0.0)

品詞	体	用	相	他	不明
音声	127(61.4)	43(20.8)	35(16.9)	2(1.0)	0(0.0)
	90(59.6)	30(19.9)	29(19.2)	2(1.3)	0(0.0)
画面	16(100.0)	0(0.0)	0(0.0)	0(0.0)	0(0.0)
	10(100.0)	0(0.0)	0(0.0)	0(0.0)	0(0.0)

画面媒体(延/異)　1: 16/10　2: 0/ 0　3: 0/ 0　4: 0/ 0

放送年月日	1989年5月15日(月)
採録時刻	22:05～22:10
チャンネル	12(テレビ東京)
ジャンル	一般実用系
本編秒数	300
番組分数	30
視聴率１	3.6
視聴率２	61.0
本編話者数	1
	(男: 0 女: 1 不明: 0)

標本:０１７７　番組名:「ＳＯＵＮＤ　ＷＥＡＴＨＥＲ」

語数	延べ	異なり	語の密度	延べ	異なり	CM語数	延べ	異なり
音声	146	116	音声	29.2	23.2	音声	-	-
画面	66	38	画面	13.2	7.6	画面	-	-

語種	和	漢	外	混	不明
音声	104(71.2)	27(18.5)	10(6.8)	5(3.4)	0(0.0)
	82(70.7)	20(17.2)	9(7.8)	5(4.3)	0(0.0)
画面	38(57.6)	10(15.2)	3(4.5)	6(9.1)	9(13.6)
	15(39.5)	9(23.7)	2(5.3)	6(15.8)	6(15.8)

品詞	体	用	相	他	不明
音声	76(52.1)	49(33.6)	16(11.0)	5(3.4)	0(0.0)
	61(52.6)	37(31.9)	14(12.1)	4(3.4)	0(0.0)
画面	51(77.3)	6(9.1)	0(0.0)	1(1.5)	8(12.1)
	27(71.1)	5(13.2)	0(0.0)	1(2.6)	5(13.2)

画面媒体(延/異)　1: 66/38　2: 0/ 0　3: 0/ 0　4: 0/ 0

放送年月日	1989年5月16日(火)
採録時刻	05:10～05:15
チャンネル	8(フジテレビ)
ジャンル	報道系
本編秒数	300
番組分数	5
視聴率１	0.5
視聴率２	2.7
本編話者数	3
	(男: 3 女: 0 不明: 0)

標本:０１７８　番組名:「おかあさんの勉強室」

語 数	延べ	異なり	語の密度	延べ	異なり	CM語数	延べ	異なり
音声	410	199	音声	82.0	39.8	音声	-	-
画面	49	37	画面	9.8	7.4	画面	-	-

語 種	和	漢	外	混	不明
音声	298(72.7)	77(18.8)	5(1.2)	30(7.3)	0(0.0)
	119(59.8)	53(26.6)	4(2.0)	23(11.6)	0(0.0)
画面	17(34.7)	11(22.4)	0(0.0)	15(30.6)	6(12.2)
	11(29.7)	9(24.3)	0(0.0)	12(32.4)	5(13.5)

品 詞	体	用	相	他	不明
音声	187(45.6)	77(18.8)	85(20.7)	61(14.9)	0(0.0)
	102(51.3)	39(19.6)	38(19.1)	20(10.1)	0(0.0)
画面	47(95.9)	0(0.0)	0(0.0)	0(0.0)	2(4.1)
	35(94.6)	0(0.0)	0(0.0)	0(0.0)	2(5.4)

画面媒体(延/異)	1: 20/18	2: 17/13	3: 0/ 0	4: 12/ 9

放送年月日	1989年5月16日(火)
採録時刻	11:10～11:15
チャンネル	1(ＮＨＫ総合)
ジャンル	一般実用系
本編秒数	300
番組分数	25
視聴率１	1.4
視聴率２	16.8
本編話者数	4
(男: 3 女: 1 不明: 0)	

標本:０１７９　番組名:「大岡越前」

語 数	延べ	異なり	語の密度	延べ	異なり	CM語数	延べ	異なり
音声	260	127	音声	52.0	25.4	音声	-	-
画面	2	1	画面	0.4	0.2	画面	-	-

語 種	和	漢	外	混	不明
音声	228(87.7)	22(8.5)	1(0.4)	9(3.5)	0(0.0)
	103(81.1)	14(11.0)	1(0.8)	9(7.1)	0(0.0)
画面	2(100.0)	0(0.0)	0(0.0)	0(0.0)	0(0.0)
	1(100.0)	0(0.0)	0(0.0)	0(0.0)	0(0.0)

品 詞	体	用	相	他	不明
音声	114(43.8)	47(18.1)	35(13.5)	64(24.6)	0(0.0)
	62(48.8)	28(22.0)	19(15.0)	18(14.2)	0(0.0)
画面	2(100.0)	0(0.0)	0(0.0)	0(0.0)	0(0.0)
	1(100.0)	0(0.0)	0(0.0)	0(0.0)	0(0.0)

画面媒体(延/異)	1: 0/ 0	2: 0/ 0	3: 0/ 0	4: 2/ 1

放送年月日	1989年5月16日(火)
採録時刻	16:15～16:20
チャンネル	6(ＴＢＳ)
ジャンル	ストーリー系
本編秒数	300
番組分数	55
視聴率１	9.0
視聴率２	25.8
本編話者数	12
(男: 9 女: 3 不明: 0)	

標本:０１８０　番組名:「高等学校講座」

語 数	延べ	異なり	語の密度	延べ	異なり	CM語数	延べ	異なり
音声	272	128	音声	54.4	25.6	音声	-	-
画面	30	19	画面	6.0	3.8	画面	-	-

語 種	和	漢	外	混	不明
音声	195(71.7)	57(21.0)	5(1.8)	15(5.5)	0(0.0)
	80(62.5)	33(25.8)	5(3.9)	10(7.8)	0(0.0)
画面	6(20.0)	12(40.0)	11(36.7)	0(0.0)	1(3.3)
	4(21.1)	7(36.8)	7(36.8)	0(0.0)	1(5.3)

品 詞	体	用	相	他	不明
音声	135(49.6)	58(21.3)	33(12.1)	46(16.9)	0(0.0)
	72(56.3)	33(25.8)	14(10.9)	9(7.0)	0(0.0)
画面	27(90.0)	2(6.7)	0(0.0)	0(0.0)	1(3.3)
	17(89.5)	1(5.3)	0(0.0)	0(0.0)	1(5.3)

画面媒体(延/異)	1: 14/11	2: 16/ 8	3: 0/ 0	4: 0/ 0

放送年月日	1989年5月16日(火)
採録時刻	19:25～19:30
チャンネル	3(ＮＨＫ教育)
ジャンル	教育・教養系
本編秒数	300
番組分数	30
視聴率１	0.1
視聴率２	69.8
本編話者数	2
(男: 1 女: 1 不明: 0)	

標本:０１８１　番組名:「水野晴郎の特選シネマ・新・ウィークエンド」

語数	延べ	異なり	語の密度	延べ	異なり	CM語数	延べ	異なり
音声	382	212	音声	76.4	42.4	音声	-	-
画面	1	1	画面	0.2	0.2	画面	-	-

語種	和	漢	外	混	不明
音声	300(78.5)	42(11.0)	17(4.5)	14(3.7)	9(2.4)
	163(76.9)	28(13.2)	8(3.8)	12(5.7)	1(0.5)
画面	0(0.0)	1(100.0)	0(0.0)	0(0.0)	0(0.0)
	0(0.0)	1(100.0)	0(0.0)	0(0.0)	0(0.0)

品詞	体	用	相	他	不明
音声	168(44.0)	115(30.1)	67(17.5)	32(8.4)	0(0.0)
	95(44.8)	64(30.2)	41(19.3)	12(5.7)	0(0.0)
画面	1(100.0)	0(0.0)	0(0.0)	0(0.0)	0(0.0)
	1(100.0)	0(0.0)	0(0.0)	0(0.0)	0(0.0)

画面媒体(延/異): 1: 1/ 1 2: 0/ 0 3: 0/ 0 4: 0/ 0

放送年月日	1989年5月16日(火)
採録時刻	03:20〜03:25
チャンネル	4(日本テレビ)
ジャンル	ストーリー系
本編秒数	300
番組分数	110
視聴率１	0.7
視聴率２	3.2
本編話者数	3
(男: 3 女: 0 不明: 0)	

標本:０１８２　番組名:「モーニングセンサー」

語数	延べ	異なり	語の密度	延べ	異なり	CM語数	延べ	異なり
音声	217	162	音声	86.8	64.8	音声	113	83
画面	35	32	画面	14.0	12.8	画面	91	78

語種	和	漢	外	混	不明
音声	112(51.6)	71(32.7)	15(6.9)	19(8.8)	0(0.0)
	74(45.7)	60(37.0)	9(5.6)	19(11.7)	0(0.0)
画面	8(22.9)	11(31.4)	3(8.6)	10(28.6)	3(8.6)
	7(21.9)	11(34.4)	2(6.3)	9(28.1)	3(9.4)

品詞	体	用	相	他	不明
音声	124(57.1)	48(22.1)	27(12.4)	18(8.3)	0(0.0)
	98(60.5)	35(21.6)	22(13.6)	7(4.3)	0(0.0)
画面	23(65.7)	6(17.1)	3(8.6)	0(0.0)	3(8.6)
	20(62.5)	6(18.8)	3(9.4)	0(0.0)	3(9.4)

画面媒体(延/異): 1: 29/28 2: 2/ 2 3: 3/ 3 4: 1/ 1

放送年月日	1989年5月17日(水)
採録時刻	06:55〜07:00
チャンネル	10(テレビ朝日)
ジャンル	報道系
本編秒数	150
番組分数	60
視聴率１	3.2
視聴率２	46.6
本編話者数	7
(男: 3 女: 4 不明: 0)	

標本:０１８３　番組名:「スクランブル３」

語数	延べ	異なり	語の密度	延べ	異なり	CM語数	延べ	異なり
音声	324	221	音声	81.0	55.3	音声	34	31
画面	87	66	画面	21.8	16.5	画面	32	29

語種	和	漢	外	混	不明
音声	200(61.7)	59(18.2)	14(4.3)	49(15.1)	2(0.6)
	114(51.6)	49(22.2)	11(5.0)	45(20.4)	2(0.9)
画面	18(20.7)	20(23.0)	6(6.9)	27(31.0)	16(18.4)
	12(18.2)	18(27.3)	5(7.6)	22(33.3)	9(13.6)

品詞	体	用	相	他	不明
音声	178(54.9)	65(20.1)	37(11.4)	44(13.6)	0(0.0)
	139(62.9)	39(17.6)	28(12.7)	15(6.8)	0(0.0)
画面	65(74.7)	5(5.7)	1(1.1)	0(0.0)	16(18.4)
	52(78.8)	4(6.1)	1(1.5)	0(0.0)	9(13.6)

画面媒体(延/異): 1: 81/60 2: 0/ 0 3: 0/ 0 4: 6/ 6

放送年月日	1989年5月17日(水)
採録時刻	15:35〜15:40
チャンネル	4(日本テレビ)
ジャンル	バラエティー系
本編秒数	240
番組分数	45
視聴率１	2.4
視聴率２	36.9
本編話者数	12
(男: 7 女: 5 不明: 0)	

標本:０１８４　番組名:「ＮＨＫニュース・トゥデー」

語 数	延べ	異なり	語の密度	延べ	異なり	ＣＭ語数	延べ	異なり
音声	434	272	音声	86.8	54.4	音声	-	-
画面	24	23	画面	4.8	4.6	画面	-	-

語 種	和	漢	外	混	不明
音声	246(56.7)	114(26.3)	17(3.9)	57(13.1)	0(0.0)
	138(50.7)	87(32.0)	9(3.3)	38(14.0)	0(0.0)
画面	7(29.2)	9(37.5)	2(8.3)	6(25.0)	0(0.0)
	7(30.4)	9(39.1)	2(8.7)	5(21.7)	0(0.0)

品 詞	体	用	相	他	不明
音声	241(55.5)	86(19.8)	48(11.1)	59(13.6)	0(0.0)
	165(60.7)	63(23.2)	28(10.3)	16(5.9)	0(0.0)
画面	17(70.8)	4(16.7)	2(8.3)	1(4.2)	0(0.0)
	16(69.6)	4(17.4)	2(8.7)	1(4.3)	0(0.0)

画面媒体(延/異)　1: 24/23　2: 0/ 0　3: 0/ 0　4: 0/ 0

放送年月日	1989年5月17日(水)
採録時刻	21:50〜21:55
チャンネル	1(ＮＨＫ総合)
ジャンル	報道系
本編秒数	300
番組分数	90
視聴率１	18.4
視聴率２	69.5
本編話者数	7
(男: 6 女: 1 不明: 0)	

標本:０１８５　番組名:「大相撲ダイジェスト・１１日目」

語 数	延べ	異なり	語の密度	延べ	異なり	ＣＭ語数	延べ	異なり
音声	485	204	音声	103.6	43.6	音声	15	15
画面	36	30	画面	7.7	6.4	画面	23	22

語 種	和	漢	外	混	不明
音声	405(83.5)	53(10.9)	2(0.4)	25(5.2)	0(0.0)
	156(76.5)	30(14.7)	2(1.0)	16(7.8)	0(0.0)
画面	13(36.1)	8(22.2)	0(0.0)	15(41.7)	0(0.0)
	13(43.3)	6(20.0)	0(0.0)	11(36.7)	0(0.0)

品 詞	体	用	相	他	不明
音声	261(53.8)	95(19.6)	45(9.3)	84(17.3)	0(0.0)
	121(59.3)	50(24.5)	27(13.2)	6(2.9)	0(0.0)
画面	36(100.0)	0(0.0)	0(0.0)	0(0.0)	0(0.0)
	30(100.0)	0(0.0)	0(0.0)	0(0.0)	0(0.0)

画面媒体(延/異)　1: 36/30　2: 0/ 0　3: 0/ 0　4: 0/ 0

放送年月日	1989年5月17日(水)
採録時刻	00:00〜00:05
チャンネル	10(テレビ朝日)
ジャンル	スポーツ系
本編秒数	281
番組分数	30
視聴率１	10.0
視聴率２	25.3
本編話者数	7
(男: 7 女: 0 不明: 0)	

標本:０１８６　番組名:「ホットライン」

語 数	延べ	異なり	語の密度	延べ	異なり	ＣＭ語数	延べ	異なり
音声	372	236	音声	93.0	59.0	音声	33	25
画面	77	55	画面	19.3	13.8	画面	39	21

語 種	和	漢	外	混	不明
音声	261(70.2)	74(19.9)	6(1.6)	31(8.3)	0(0.0)
	142(60.2)	61(25.8)	5(2.1)	28(11.9)	0(0.0)
画面	33(42.9)	11(14.3)	3(3.9)	12(15.6)	18(23.4)
	27(49.1)	10(18.2)	2(3.6)	12(21.8)	4(7.3)

品 詞	体	用	相	他	不明
音声	195(52.4)	62(16.7)	54(14.5)	61(16.4)	0(0.0)
	148(62.7)	41(17.4)	31(13.1)	16(6.8)	0(0.0)
画面	59(76.6)	1(1.3)	0(0.0)	0(0.0)	17(22.1)
	51(92.7)	1(1.8)	0(0.0)	0(0.0)	3(5.5)

画面媒体(延/異)　1: 76/54　2: 0/ 0　3: 1/ 1　4: 0/ 0

放送年月日	1989年5月18日(木)
採録時刻	07:20〜07:25
チャンネル	6(ＴＢＳ)
ジャンル	一般実用系
本編秒数	240
番組分数	90
視聴率１	6.2
視聴率２	56.0
本編話者数	7
(男: 4 女: 3 不明: 0)	

標本:０１８７　番組名:「２時のロードショー・友を送る歌」

語数	延べ	異なり	語の密度	延べ	異なり	CM語数	延べ	異なり
音声	131	97	音声	43.7	32.3	音声	53	45
画面	2	2	画面	0.7	0.7	画面	63	49

語種	和	漢	外	混	不明
音声	109(83.2)	15(11.5)	1(0.8)	6(4.6)	0(0.0)
	77(79.4)	14(14.4)	1(1.0)	5(5.2)	0(0.0)
画面	1(50.0)	0(0.0)	0(0.0)	1(50.0)	0(0.0)
	1(50.0)	0(0.0)	0(0.0)	1(50.0)	0(0.0)

品詞	体	用	相	他	不明
音声	60(45.8)	34(26.0)	26(19.8)	11(8.4)	0(0.0)
	45(46.4)	27(27.8)	19(19.6)	6(6.2)	0(0.0)
画面	2(100.0)	0(0.0)	0(0.0)	0(0.0)	0(0.0)
	2(100.0)	0(0.0)	0(0.0)	0(0.0)	0(0.0)

画面媒体(延/異)	1: 0/ 0	2: 0/ 0	3: 0/ 0	4: 2/ 2

放送年月日	1989年5月18日(木)
採録時刻	14:50〜14:55
チャンネル	12(テレビ東京)
ジャンル	ストーリー系
本編秒数	180
番組分数	85
視聴率１	2.8
視聴率２	23.2
本編話者数	8
	(男: 5 女: 3 不明: 0)

標本:０１８８　番組名:「クイズなっとく歴史館」

語数	延べ	異なり	語の密度	延べ	異なり	CM語数	延べ	異なり
音声	393	241	音声	78.6	48.2	音声	-	-
画面	94	62	画面	18.8	12.4	画面	-	-

語種	和	漢	外	混	不明
音声	256(65.1)	81(20.6)	12(3.1)	44(11.2)	0(0.0)
	137(56.8)	60(24.9)	7(2.9)	37(15.4)	0(0.0)
画面	18(19.1)	31(33.0)	3(3.2)	25(26.6)	17(18.1)
	14(22.6)	21(33.9)	2(3.2)	18(29.0)	7(11.3)

品詞	体	用	相	他	不明
音声	212(53.9)	77(19.6)	59(15.0)	45(11.5)	0(0.0)
	131(54.4)	53(22.0)	38(15.8)	19(7.9)	0(0.0)
画面	74(78.7)	3(3.2)	0(0.0)	0(0.0)	17(18.1)
	53(85.5)	2(3.2)	0(0.0)	0(0.0)	7(11.3)

画面媒体(延/異)	1: 78/50	2: 10/ 9	3: 4/ 2	4: 2/ 2

放送年月日	1989年5月18日(木)
採録時刻	19:05〜19:10
チャンネル	8(フジテレビ)
ジャンル	バラエティー系
本編秒数	300
番組分数	54
視聴率１	8.1
視聴率２	56.2
本編話者数	17
	(男: 14 女: 3 不明: 0)

標本:０１８９　番組名:-

語数	延べ	異なり	語の密度	延べ	異なり	CM語数	延べ	異なり
音声	-	-	音声	-	-	音声	-	-
画面	-	-	画面	-	-	画面	-	-

語種	和	漢	外	混	不明
音声	-(-)	-(-)	-(-)	-(-)	-(-)
	-(-)	-(-)	-(-)	-(-)	-(-)
画面	-(-)	-(-)	-(-)	-(-)	-(-)
	-(-)	-(-)	-(-)	-(-)	-(-)

品詞	体	用	相	他	不明
音声	-(-)	-(-)	-(-)	-(-)	-(-)
	-(-)	-(-)	-(-)	-(-)	-(-)
画面	-(-)	-(-)	-(-)	-(-)	-(-)
	-(-)	-(-)	-(-)	-(-)	-(-)

画面媒体(延/異)	1: -/ -	2: -/ -	3: -/ -	4: -/ -

放送年月日	1989年5月18日(木)
採録時刻	01:30〜01:35
チャンネル	3(ＮＨＫ教育)
ジャンル	-
本編秒数	300
番組分数	-
視聴率１	-
視聴率２	-
本編話者数	-
	(男: - 女: - 不明: -)

標本:０１９０　番組名:「カルチャーワールド９０」

語 数	延べ	異なり	語の密度	延べ	異なり	ＣＭ語数	延べ	異なり
音声	498	262	音声	99.6	52.4	音声	-	-
画面	83	66	画面	16.6	13.2	画面	-	-

語 種	和	漢	外	混	不明
音声	349(70.1)	90(18.1)	31(6.2)	28(5.6)	0(0.0)
	157(59.9)	61(23.3)	20(7.6)	24(9.2)	0(0.0)
画面	48(57.8)	11(13.3)	7(8.4)	6(7.2)	11(13.3)
	36(54.5)	11(16.7)	7(10.6)	6(9.1)	6(9.1)
品 詞	体	用	相	他	不明
音声	231(46.4)	81(16.3)	113(22.7)	73(14.7)	0(0.0)
	141(53.8)	51(19.5)	51(19.5)	19(7.3)	0(0.0)
画面	49(59.0)	16(19.3)	6(7.2)	1(1.2)	11(13.3)
	40(60.6)	13(19.7)	6(9.1)	1(1.5)	6(9.1)
画面媒体(延/異)	1: 77/64	2: 1/ 1	3: 0/ 0	4: 5/ 2	

放送年月日	1989年5月19日(金)
採録時刻	10:55～11:00
チャンネル	12(テレビ東京)
ジャンル	一般実用系
本編秒数	300
番組分数	90
視聴率１	0.3
視聴率２	16.9
本編話者数	4
(男: 3 女: 1 不明: 0)	

標本:０１９１　番組名:「ハーイ！ＴＢＳです」

語 数	延べ	異なり	語の密度	延べ	異なり	ＣＭ語数	延べ	異なり
音声	137	110	音声	67.4	54.1	音声	156	123
画面	30	22	画面	14.8	10.8	画面	129	97

語 種	和	漢	外	混	不明
音声	84(61.3)	32(23.4)	6(4.4)	15(10.9)	0(0.0)
	65(59.1)	28(25.5)	4(3.6)	13(11.8)	0(0.0)
画面	2(6.7)	7(23.3)	4(13.3)	14(46.7)	3(10.0)
	2(9.1)	5(22.7)	3(13.6)	9(40.9)	3(13.6)
品 詞	体	用	相	他	不明
音声	78(56.9)	25(18.2)	19(13.9)	15(10.9)	0(0.0)
	65(59.1)	21(19.1)	14(12.7)	10(9.1)	0(0.0)
画面	27(90.0)	0(0.0)	0(0.0)	0(0.0)	3(10.0)
	19(86.4)	0(0.0)	0(0.0)	0(0.0)	3(13.6)
画面媒体(延/異)	1: 26/21	2: 0/ 0	3: 4/ 1	4: 0/ 0	

放送年月日	1989年5月19日(金)
採録時刻	16:55～17:00
チャンネル	6(ＴＢＳ)
ジャンル	その他
本編秒数	122
番組分数	5
視聴率１	4.5
視聴率２	28.1
本編話者数	9
(男: 1 女: 8 不明: 0)	

標本:０１９２　番組名:「ミュージックステーション」

語 数	延べ	異なり	語の密度	延べ	異なり	ＣＭ語数	延べ	異なり
音声	219	152	音声	43.8	30.4	音声	-	-
画面	47	35	画面	9.4	7.0	画面	-	-

語 種	和	漢	外	混	不明
音声	163(74.4)	21(9.6)	20(9.1)	15(6.8)	0(0.0)
	112(73.7)	15(9.9)	11(7.2)	14(9.2)	0(0.0)
画面	17(36.2)	13(27.7)	2(4.3)	8(17.0)	7(14.9)
	13(37.1)	11(31.4)	1(2.9)	8(22.9)	2(5.7)
品 詞	体	用	相	他	不明
音声	115(52.5)	53(24.2)	31(14.2)	20(9.1)	0(0.0)
	76(50.0)	36(23.7)	26(17.1)	14(9.2)	0(0.0)
画面	34(72.3)	5(10.6)	1(2.1)	0(0.0)	7(14.9)
	28(80.0)	4(11.4)	1(2.9)	0(0.0)	2(5.7)
画面媒体(延/異)	1: 47/35	2: 0/ 0	3: 0/ 0	4: 0/ 0	

放送年月日	1989年5月19日(金)
採録時刻	20:40～20:45
チャンネル	10(テレビ朝日)
ジャンル	音楽系
本編秒数	300
番組分数	54
視聴率１	11.1
視聴率２	74.5
本編話者数	6
(男: 5 女: 1 不明: 0)	

標本:０１９３　番組名:「金曜スポーツ深夜族」

語数	延べ	異なり	語の密度	延べ	異なり	CM語数	延べ	異なり
音声	472	228	音声	94.4	45.6	音声	-	-
画面	24	12	画面	4.8	2.4	画面	-	-

語種	和	漢	外	混	不明
音声	338(71.6)	27(5.7)	74(15.7)	32(6.8)	1(0.2)
	130(57.0)	24(10.5)	49(21.5)	24(10.5)	1(0.4)
画面	0(0.0)	11(45.8)	7(29.2)	4(16.7)	2(8.3)
	0(0.0)	6(50.0)	3(25.0)	2(16.7)	1(8.3)

品詞	体	用	相	他	不明
音声	181(38.3)	64(13.6)	94(19.9)	133(28.2)	0(0.0)
	119(52.2)	46(20.2)	38(16.7)	25(11.0)	0(0.0)
画面	22(91.7)	0(0.0)	0(0.0)	0(0.0)	2(8.3)
	11(91.7)	0(0.0)	0(0.0)	0(0.0)	1(8.3)

画面媒体(延/異)	1: 8/ 7	2: 0/ 0	3: 0/ 0	4: 16/ 5

放送年月日	1989年5月19日(金)
採録時刻	03:45〜03:50
チャンネル	4(日本テレビ)
ジャンル	スポーツ系
本編秒数	300
番組分数	120
視聴率１	0.3
視聴率２	3.0
本編話者数	2
	(男: 2 女: 0 不明: 0)

標本:０１９４　番組名:「くらしの経済セミナー」

語数	延べ	異なり	語の密度	延べ	異なり	CM語数	延べ	異なり
音声	442	185	音声	88.4	37.0	音声	-	-
画面	78	59	画面	15.6	11.8	画面	-	-

語種	和	漢	外	混	不明
音声	290(65.6)	106(24.0)	14(3.2)	32(7.2)	0(0.0)
	90(48.6)	60(32.4)	11(5.9)	24(13.0)	0(0.0)
画面	11(14.1)	33(42.3)	8(10.3)	6(7.7)	20(25.6)
	11(18.6)	29(49.2)	7(11.9)	6(10.2)	6(10.2)

品詞	体	用	相	他	不明
音声	186(42.1)	91(20.6)	69(15.6)	96(21.7)	0(0.0)
	98(53.0)	47(25.4)	27(14.6)	13(7.0)	0(0.0)
画面	49(62.8)	6(7.7)	2(2.6)	1(1.3)	20(25.6)
	44(74.6)	6(10.2)	2(3.4)	1(1.7)	6(10.2)

画面媒体(延/異)	1: 7/ 7	2: 71/52	3: 0/ 0	4: 0/ 0

放送年月日	1989年5月20日(土)
採録時刻	09:20〜09:25
チャンネル	1(ＮＨＫ総合)
ジャンル	一般実用系
本編秒数	300
番組分数	60
視聴率１	7.3
視聴率２	42.4
本編話者数	2
	(男: 1 女: 1 不明: 0)

標本:０１９５　番組名:「とーんでもない！？」

語数	延べ	異なり	語の密度	延べ	異なり	CM語数	延べ	異なり
音声	463	239	音声	115.8	59.8	音声	61	56
画面	23	21	画面	5.8	5.3	画面	77	53

語種	和	漢	外	混	不明
音声	326(70.4)	58(12.5)	26(5.6)	50(10.8)	3(0.6)
	147(61.5)	42(17.6)	20(8.4)	28(11.7)	2(0.8)
画面	3(13.0)	3(13.0)	2(8.7)	10(43.5)	5(21.7)
	3(14.3)	3(14.3)	2(9.5)	10(47.6)	3(14.3)

品詞	体	用	相	他	不明
音声	190(41.0)	86(18.6)	91(19.7)	96(20.7)	0(0.0)
	127(53.1)	45(18.8)	40(16.7)	27(11.3)	0(0.0)
画面	19(82.6)	0(0.0)	0(0.0)	0(0.0)	4(17.4)
	19(90.5)	0(0.0)	0(0.0)	0(0.0)	2(9.5)

画面媒体(延/異)	1: 19/19	2: 0/ 0	3: 0/ 0	4: 4/ 4

放送年月日	1989年5月20日(土)
採録時刻	13:00〜13:05
チャンネル	8(フジテレビ)
ジャンル	バラエティー系
本編秒数	240
番組分数	55
視聴率１	3.8
視聴率２	48.7
本編話者数	9
	(男: 5 女: 4 不明: 0)

標本:０１９６　番組名:「討論・時代を読む」

語 数	延べ	異なり	語の密度	延べ	異なり	CM語数	延べ	異なり
音声	616	214	音声	123.2	42.8	音声	-	-
画面	0	0	画面	0.0	0.0	画面	-	-

語 種	和	漢	外	混	不明
音声	466(75.6)	115(18.7)	17(2.8)	18(2.9)	0(0.0)
	107(50.0)	79(36.9)	14(6.5)	14(6.5)	0(0.0)
画面	0(0.0)	0(0.0)	0(0.0)	0(0.0)	0(0.0)
	0(0.0)	0(0.0)	0(0.0)	0(0.0)	0(0.0)

品 詞	体	用	相	他	不明
音声	208(33.8)	95(15.4)	118(19.2)	195(31.7)	0(0.0)
	111(51.9)	38(17.8)	43(20.1)	22(10.3)	0(0.0)
画面	0(0.0)	0(0.0)	0(0.0)	0(0.0)	0(0.0)
	0(0.0)	0(0.0)	0(0.0)	0(0.0)	0(0.0)

画面媒体(延/異)　1: 0/ 0　2: 0/ 0　3: 0/ 0　4: 0/ 0

放送年月日	1989年5月20日(土)
採録時刻	21:35〜21:40
チャンネル	3(ＮＨＫ教育)
ジャンル	報道系
本編秒数	300
番組分数	90
視聴率１	0.0
視聴率２	67.0
本編話者数	2
(男: 2 女: 0 不明: 0)	

標本:０１９７　番組名:-

語 数	延べ	異なり	語の密度	延べ	異なり	CM語数	延べ	異なり
音声	-	-	音声	-	-	音声	-	-
画面	-	-	画面	-	-	画面	-	-

語 種	和	漢	外	混	不明
音声	-(-)	-(-)	-(-)	-(-)	-(-)
	-(-)	-(-)	-(-)	-(-)	-(-)
画面	-(-)	-(-)	-(-)	-(-)	-(-)
	-(-)	-(-)	-(-)	-(-)	-(-)

品 詞	体	用	相	他	不明
音声	-(-)	-(-)	-(-)	-(-)	-(-)
	-(-)	-(-)	-(-)	-(-)	-(-)
画面	-(-)	-(-)	-(-)	-(-)	-(-)
	-(-)	-(-)	-(-)	-(-)	-(-)

画面媒体(延/異)　1: -/ -　2: -/ -　3: -/ -　4: -/ -

放送年月日	1989年5月20日(土)
採録時刻	00:10〜00:15
チャンネル	3(ＮＨＫ教育)
ジャンル	-
本編秒数	300
番組分数	-
視聴率１	-
視聴率２	-
本編話者数	-
(男: - 女: - 不明: -)	

標本:０１９８　番組名:「ＮＨＫスペシャル・幕末転勤物語・１５０年前の家族日記」

語 数	延べ	異なり	語の密度	延べ	異なり	CM語数	延べ	異なり
音声	270	190	音声	54.0	38.0	音声	-	-
画面	45	42	画面	9.0	8.4	画面	-	-

語 種	和	漢	外	混	不明
音声	163(60.4)	63(23.3)	2(0.7)	40(14.8)	2(0.7)
	104(54.7)	51(26.8)	2(1.1)	32(16.8)	1(0.5)
画面	13(28.9)	4(8.9)	1(2.2)	19(42.2)	8(17.8)
	13(31.0)	4(9.5)	1(2.4)	17(40.5)	7(16.7)

品 詞	体	用	相	他	不明
音声	164(60.7)	52(19.3)	41(15.2)	13(4.8)	0(0.0)
	119(62.6)	41(21.6)	21(11.1)	9(4.7)	0(0.0)
画面	40(88.9)	0(0.0)	0(0.0)	0(0.0)	5(11.1)
	38(90.5)	0(0.0)	0(0.0)	0(0.0)	4(9.5)

画面媒体(延/異)　1: 32/31　2: 7/ 7　3: 0/ 0　4: 6/ 4

放送年月日	1989年5月21日(日)
採録時刻	10:00〜10:05
チャンネル	1(ＮＨＫ総合)
ジャンル	教育・教養系
本編秒数	300
番組分数	60
視聴率１	5.4
視聴率２	39.7
本編話者数	11
(男: 10 女: 1 不明: 0)	

標本:０１９９　番組名:「日曜イベントアワー・プロ野球・ダイエー×西武」

語数	延べ	異なり	語の密度	延べ	異なり	CM語数	延べ	異なり
音声	367	206	音声	81.6	45.8	音声	6	6
画面	199	57	画面	44.2	12.7	画面	14	13

語種	和	漢	外	混	不明
音声	248(67.6)	42(11.4)	40(10.9)	37(10.1)	0(0.0)
	115(55.8)	34(16.5)	28(13.6)	29(14.1)	0(0.0)
画面	19(9.5)	88(44.2)	38(19.1)	14(7.0)	40(20.1)
	9(15.8)	33(57.9)	6(10.5)	2(3.5)	7(12.3)

品詞	体	用	相	他	不明
音声	212(57.8)	52(14.2)	56(15.3)	47(12.8)	0(0.0)
	128(62.1)	33(16.0)	29(14.1)	16(7.8)	0(0.0)
画面	159(79.9)	0(0.0)	0(0.0)	0(0.0)	40(20.1)
	50(87.7)	0(0.0)	0(0.0)	0(0.0)	7(12.3)

画面媒体(延/異): 1: 167/51 2: 0/ 0 3: 0/ 0 4: 32/1

放送年月日	1989年5月21日(日)
採録時刻	15:20〜15:25
チャンネル	12(テレビ東京)
ジャンル	スポーツ系
本編秒数	270
番組分数	116
視聴率１	5.2
視聴率２	41.6
本編話者数	5
(男: 4 女: 1 不明: 0)	

標本:０２００　番組名:「キテレツ大百科」

語数	延べ	異なり	語の密度	延べ	異なり	CM語数	延べ	異なり
音声	265	150	音声	53.0	30.0	音声	-	-
画面	0	0	画面	0.0	0.0	画面	-	-

語種	和	漢	外	混	不明
音声	205(77.4)	33(12.5)	4(1.5)	23(8.7)	0(0.0)
	110(73.3)	24(16.0)	2(1.3)	14(9.3)	0(0.0)
画面	0(0.0)	0(0.0)	0(0.0)	0(0.0)	0(0.0)
	0(0.0)	0(0.0)	0(0.0)	0(0.0)	0(0.0)

品詞	体	用	相	他	不明
音声	112(42.3)	50(18.9)	52(19.6)	51(19.2)	0(0.0)
	69(46.0)	28(18.7)	29(19.3)	24(16.0)	0(0.0)
画面	0(0.0)	0(0.0)	0(0.0)	0(0.0)	0(0.0)
	0(0.0)	0(0.0)	0(0.0)	0(0.0)	0(0.0)

画面媒体(延/異): 1: 0/ 0 2: 0/ 0 3: 0/ 0 4: 0/ 0

放送年月日	1989年5月21日(日)
採録時刻	19:15〜19:20
チャンネル	8(フジテレビ)
ジャンル	ストーリー系
本編秒数	300
番組分数	30
視聴率１	14.7
視聴率２	67.0
本編話者数	9
(男: 6 女: 3 不明: 0)	

標本:０２０１　番組名:-

語数	延べ	異なり	語の密度	延べ	異なり	CM語数	延べ	異なり
音声	-	-	音声	-	-	音声	-	-
画面	-	-	画面	-	-	画面	-	-

語種	和	漢	外	混	不明
音声	-(-)	-(-)	-(-)	-(-)	-(-)
	-(-)	-(-)	-(-)	-(-)	-(-)
画面	-(-)	-(-)	-(-)	-(-)	-(-)
	-(-)	-(-)	-(-)	-(-)	-(-)

品詞	体	用	相	他	不明
音声	-(-)	-(-)	-(-)	-(-)	-(-)
	-(-)	-(-)	-(-)	-(-)	-(-)
画面	-(-)	-(-)	-(-)	-(-)	-(-)
	-(-)	-(-)	-(-)	-(-)	-(-)

画面媒体(延/異): 1: -/ - 2: -/ - 3: -/ - 4: -/ -

放送年月日	1989年5月22日(月)
採録時刻	05:00〜05:05
チャンネル	4(日本テレビ)
ジャンル	-
本編秒数	300
番組分数	-
視聴率１	-
視聴率２	-
本編話者数	-
(男: - 女: - 不明: -)	

標本:０２０２　番組名:「モーニングセンサー」

語 数	延べ	異なり	語の密度	延べ	異なり	CM語数	延べ	異なり
音声	385	260	音声	85.2	57.6	音声	33	20
画面	43	39	画面	9.5	8.6	画面	31	21

語 種	和	漢	外	混	不明
音声	174(45.2)	138(35.8)	24(6.2)	49(12.7)	0(0.0)
	94(36.2)	110(42.3)	14(5.4)	42(16.2)	0(0.0)
画面	5(11.6)	21(48.8)	8(18.6)	5(11.6)	4(9.3)
	5(12.8)	21(53.8)	6(15.4)	5(12.8)	2(5.1)
品 詞	体	用	相	他	不明
音声	231(60.0)	83(21.6)	34(8.8)	37(9.6)	0(0.0)
	169(65.0)	55(21.2)	23(8.8)	13(5.0)	0(0.0)
画面	37(86.0)	1(2.3)	1(2.3)	0(0.0)	4(9.3)
	35(89.7)	1(2.6)	1(2.6)	0(0.0)	2(5.1)
画面媒体(延/異)	1: 42/39	2: 0/ 0	3: 1/ 1	4: 0/ 0	

放送年月日	1989年5月22日(月)
採録時刻	06:15〜06:20
チャンネル	10(テレビ朝日)
ジャンル	報道系
本編秒数	271
番組分数	60
視聴率１	1.5
視聴率２	23.4
本編話者数	4
(男: 1 女: 3 不明: 0)	

標本:０２０３　番組名:「３時にあいましょう」

語 数	延べ	異なり	語の密度	延べ	異なり	CM語数	延べ	異なり
音声	452	245	音声	112.5	61.0	音声	48	39
画面	30	20	画面	7.5	5.0	画面	39	28

語 種	和	漢	外	混	不明
音声	307(67.9)	67(14.8)	33(7.3)	45(10.0)	0(0.0)
	125(51.0)	57(23.3)	26(10.6)	37(15.1)	0(0.0)
画面	0(0.0)	3(10.0)	10(33.3)	6(20.0)	11(36.7)
	0(0.0)	3(15.0)	9(45.0)	4(20.0)	4(20.0)
品 詞	体	用	相	他	不明
音声	190(42.0)	70(15.5)	89(19.7)	103(22.8)	0(0.0)
	143(58.4)	45(18.4)	34(13.9)	23(9.4)	0(0.0)
画面	19(63.3)	0(0.0)	0(0.0)	0(0.0)	11(36.7)
	16(80.0)	0(0.0)	0(0.0)	0(0.0)	4(20.0)
画面媒体(延/異)	1: 28/19	2: 1/ 1	3: 0/ 0	4: 1/ 1	

放送年月日	1989年5月22日(月)
採録時刻	15:40〜15:45
チャンネル	6(ＴＢＳ)
ジャンル	一般実用系
本編秒数	241
番組分数	55
視聴率１	11.2
視聴率２	31.2
本編話者数	5
(男: 2 女: 3 不明: 0)	

標本:０２０４　番組名:「乱歩賞作家サスペンス・仮面の欲望」

語 数	延べ	異なり	語の密度	延べ	異なり	CM語数	延べ	異なり
音声	252	158	音声	50.4	31.6	音声	-	-
画面	0	0	画面	0.0	0.0	画面	-	-

語 種	和	漢	外	混	不明
音声	198(78.6)	41(16.3)	4(1.6)	9(3.6)	0(0.0)
	111(70.3)	34(21.5)	4(2.5)	9(5.7)	0(0.0)
画面	0(0.0)	0(0.0)	0(0.0)	0(0.0)	0(0.0)
	0(0.0)	0(0.0)	0(0.0)	0(0.0)	0(0.0)
品 詞	体	用	相	他	不明
音声	106(42.1)	63(25.0)	39(15.5)	44(17.5)	0(0.0)
	75(47.5)	37(23.4)	24(15.2)	22(13.9)	0(0.0)
画面	0(0.0)	0(0.0)	0(0.0)	0(0.0)	0(0.0)
	0(0.0)	0(0.0)	0(0.0)	0(0.0)	0(0.0)
画面媒体(延/異)	1: 0/ 0	2: 0/ 0	3: 0/ 0	4: 0/ 0	

放送年月日	1989年5月22日(月)
採録時刻	22:10〜22:15
チャンネル	8(フジテレビ)
ジャンル	ストーリー系
本編秒数	300
番組分数	54
視聴率１	20.6
視聴率２	64.6
本編話者数	7
(男: 4 女: 3 不明: 0)	

標本:０２０５　番組名:「ＰＲＥ・ＳＴＡＧＥ２」

語数	延べ	異なり	語の密度	延べ	異なり	ＣＭ語数	延べ	異なり
音声	301	165	音声	100.3	55.0	音声	71	59
画面	45	30	画面	15.0	10.0	画面	92	74

語種	和	漢	外	混	不明
音声	222(73.8)	46(15.3)	7(2.3)	26(8.6)	0(0.0)
	100(60.6)	39(23.6)	6(3.6)	20(12.1)	0(0.0)
画面	4(8.9)	18(40.0)	2(4.4)	10(22.2)	11(24.4)
	3(10.0)	14(46.7)	2(6.7)	8(26.7)	3(10.0)

品詞	体	用	相	他	不明
音声	118(39.2)	49(16.3)	58(19.3)	76(25.2)	0(0.0)
	84(50.9)	34(20.6)	27(16.4)	20(12.1)	0(0.0)
画面	34(75.6)	0(0.0)	0(0.0)	0(0.0)	11(24.4)
	27(90.0)	0(0.0)	0(0.0)	0(0.0)	3(10.0)

画面媒体(延/異)　1: 2/ 2　2: 43/29　3: 0/ 0　4: 0/ 0

放送年月日	1989年5月22日(月)
採録時刻	04:00〜04:05
チャンネル	10(テレビ朝日)
ジャンル	バラエティー系
本編秒数	180
番組分数	150
視聴率１	1.6
視聴率２	2.0
本編話者数	7
	(男: 6 女: 1 不明: 0)

標本:０２０６　番組名:「奥さま劇場・さよならを教えて・最終回」

語数	延べ	異なり	語の密度	延べ	異なり	ＣＭ語数	延べ	異なり
音声	188	124	音声	47.0	31.0	音声	38	37
画面	0	0	画面	0.0	0.0	画面	50	35

語種	和	漢	外	混	不明
音声	141(75.0)	31(16.5)	7(3.7)	9(4.8)	0(0.0)
	89(71.8)	21(16.9)	6(4.8)	8(6.5)	0(0.0)
画面	0(0.0)	0(0.0)	0(0.0)	0(0.0)	0(0.0)
	0(0.0)	0(0.0)	0(0.0)	0(0.0)	0(0.0)

品詞	体	用	相	他	不明
音声	85(45.2)	44(23.4)	39(20.7)	20(10.6)	0(0.0)
	62(50.0)	26(21.0)	25(20.2)	11(8.9)	0(0.0)
画面	0(0.0)	0(0.0)	0(0.0)	0(0.0)	0(0.0)
	0(0.0)	0(0.0)	0(0.0)	0(0.0)	0(0.0)

画面媒体(延/異)　1: 0/ 0　2: 0/ 0　3: 0/ 0　4: 0/ 0

放送年月日	1989年5月23日(火)
採録時刻	10:25〜10:30
チャンネル	6(ＴＢＳ)
ジャンル	ストーリー系
本編秒数	240
番組分数	55
視聴率１	3.3
視聴率２	24.5
本編話者数	6
	(男: 1 女: 5 不明: 0)

標本:０２０７　番組名:「ぼくの絵わたしの絵」

語数	延べ	異なり	語の密度	延べ	異なり	ＣＭ語数	延べ	異なり
音声	0	0	音声	0.0	0.0	音声	-	-
画面	65	51	画面	13.0	10.2	画面	-	-

語種	和	漢	外	混	不明
音声	0(0.0)	0(0.0)	0(0.0)	0(0.0)	0(0.0)
	0(0.0)	0(0.0)	0(0.0)	0(0.0)	0(0.0)
画面	23(35.4)	20(30.8)	3(4.6)	15(23.1)	4(6.2)
	19(37.3)	12(23.5)	3(5.9)	13(25.5)	4(7.8)

品詞	体	用	相	他	不明
音声	0(0.0)	0(0.0)	0(0.0)	0(0.0)	0(0.0)
	0(0.0)	0(0.0)	0(0.0)	0(0.0)	0(0.0)
画面	64(98.5)	0(0.0)	0(0.0)	0(0.0)	1(1.5)
	50(98.0)	0(0.0)	0(0.0)	0(0.0)	1(2.0)

画面媒体(延/異)　1: 65/51　2: 0/ 0　3: 0/ 0　4: 0/ 0

放送年月日	1989年5月23日(火)
採録時刻	13:55〜14:00
チャンネル	3(ＮＨＫ教育)
ジャンル	教育・教養系
本編秒数	300
番組分数	5
視聴率１	0.6
視聴率２	32.7
本編話者数	0
	(男: 0 女: 0 不明: 0)

標本:０２０８　番組名:「ＮＨＫニュース・トゥデー」

語 数	延べ	異なり	語の密度	延べ	異なり	ＣＭ語数	延べ	異なり
音声	247	151	音声	49.4	30.2	音声	－	－
画面	201	120	画面	40.2	24.0	画面	－	－

語 種	和	漢	外	混	不明
音声	146(59.1)	54(21.9)	18(7.3)	29(11.7)	0(0.0)
	74(49.0)	46(30.5)	8(5.3)	23(15.2)	0(0.0)
画面	33(16.4)	99(49.3)	22(10.9)	35(17.4)	12(6.0)
	26(21.7)	56(46.7)	8(6.7)	26(21.7)	4(3.3)
品 詞	体	用	相	他	不明
音声	130(52.6)	43(17.4)	42(17.0)	32(13.0)	0(0.0)
	92(60.9)	23(15.2)	24(15.9)	12(7.9)	0(0.0)
画面	151(75.1)	23(11.4)	13(6.5)	2(1.0)	12(6.0)
	82(68.3)	21(17.5)	11(9.2)	2(1.7)	4(3.3)
画面媒体(延/異)	1: 107/84	2: 94/36	3: 0/ 0	4: 0/ 0	

放送年月日	1989年5月23日(火)
採録時刻	21:25～21:30
チャンネル	1(ＮＨＫ総合)
ジャンル	報道系
本編秒数	300
番組分数	60
視聴率１	11.5
視聴率２	72.0
本編話者数	6
	(男: 5 女: 1 不明: 0)

標本:０２０９　番組名:「微笑女図鑑」

語 数	延べ	異なり	語の密度	延べ	異なり	ＣＭ語数	延べ	異なり
音声	427	223	音声	85.4	44.6	音声	－	－
画面	36	33	画面	7.2	6.6	画面	－	－

語 種	和	漢	外	混	不明
音声	295(69.1)	77(18.0)	23(5.4)	32(7.5)	0(0.0)
	128(57.4)	52(23.3)	20(9.0)	23(10.3)	0(0.0)
画面	3(8.3)	10(27.8)	4(11.1)	8(22.2)	11(30.6)
	3(9.1)	10(30.3)	4(12.1)	8(24.2)	8(24.2)
品 詞	体	用	相	他	不明
音声	206(48.2)	99(23.2)	98(23.0)	24(5.6)	0(0.0)
	123(55.2)	46(20.6)	41(18.4)	13(5.8)	0(0.0)
画面	23(63.9)	1(2.8)	1(2.8)	0(0.0)	11(30.6)
	23(69.7)	1(3.0)	1(3.0)	0(0.0)	8(24.2)
画面媒体(延/異)	1: 34/31	2: 0/ 0	3: 0/ 0	4: 2/ 2	

放送年月日	1989年5月23日(火)
採録時刻	02:20～02:25
チャンネル	4(日本テレビ)
ジャンル	バラエティー系
本編秒数	300
番組分数	55
視聴率１	1.8
視聴率２	7.0
本編話者数	8
	(男: 2 女: 6 不明: 0)

標本:０２１０　番組名:「株式ニュース」

語 数	延べ	異なり	語の密度	延べ	異なり	ＣＭ語数	延べ	異なり
音声	243	135	音声	96.6	53.6	音声	103	91
画面	560	401	画面	222.5	159.3	画面	149	106

語 種	和	漢	外	混	不明
音声	169(69.5)	29(11.9)	0(0.0)	44(18.1)	1(0.4)
	77(57.0)	23(17.0)	0(0.0)	34(25.2)	1(0.7)
画面	10(1.8)	275(49.1)	14(2.5)	204(36.4)	57(10.2)
	10(2.5)	235(58.6)	14(3.5)	130(32.4)	12(3.0)
品 詞	体	用	相	他	不明
音声	100(41.2)	38(15.6)	46(18.9)	59(24.3)	0(0.0)
	75(55.6)	26(19.3)	22(16.3)	12(8.9)	0(0.0)
画面	509(90.9)	1(0.2)	0(0.0)	0(0.0)	50(8.9)
	395(98.5)	1(0.2)	0(0.0)	0(0.0)	5(1.2)
画面媒体(延/異)	1: 10/10	2: 545/387	3: 5/ 5	4: 0/ 0	

放送年月日	1989年5月24日(水)
採録時刻	11:50～11:55
チャンネル	12(テレビ東京)
ジャンル	一般実用系
本編秒数	151
番組分数	15
視聴率１	1.2
視聴率２	23.5
本編話者数	3
	(男: 1 女: 2 不明: 0)

標本:０２１１　番組名:「おもいっきりテレビ」

語数	延べ	異なり	語の密度	延べ	異なり	CM語数	延べ	異なり
音声	200	114	音声	99.2	56.5	音声	164	121
画面	163	95	画面	80.8	47.1	画面	186	142

語種	和	漢	外	混	不明
音声	150(75.0)	32(16.0)	6(3.0)	12(6.0)	0(0.0)
	71(62.3)	25(21.9)	6(5.3)	12(10.5)	0(0.0)
画面	31(19.0)	39(23.9)	7(4.3)	20(12.3)	66(40.5)
	27(28.4)	29(30.5)	5(5.3)	16(16.8)	18(18.9)

品詞	体	用	相	他	不明
音声	86(43.0)	39(19.5)	24(12.0)	51(25.5)	0(0.0)
	55(48.2)	27(23.7)	15(13.2)	17(14.9)	0(0.0)
画面	99(60.7)	5(3.1)	3(1.8)	0(0.0)	56(34.4)
	80(84.2)	4(4.2)	3(3.2)	0(0.0)	8(8.4)

画面媒体(延/異)　1: 112/74　2: 50/21　3: 0/ 0　4: 1/ 1

放送年月日	1989年5月24日(水)
採録時刻	13:50〜13:55
チャンネル	4(日本テレビ)
ジャンル	バラエティー系
本編秒数	121
番組分数	115
視聴率１	3.5
視聴率２	29.1
本編話者数	8
	(男: 3 女: 5 不明: 0)

標本:０２１２　番組名:「村野武憲のくいしんぼう！万才・ミニガイド」

語数	延べ	異なり	語の密度	延べ	異なり	CM語数	延べ	異なり
音声	201	103	音声	100.5	51.5	音声	84	74
画面	25	22	画面	12.5	11.0	画面	110	85

語種	和	漢	外	混	不明
音声	160(79.6)	29(14.4)	3(1.5)	9(4.5)	0(0.0)
	71(68.9)	23(22.3)	3(2.9)	6(5.8)	0(0.0)
画面	6(24.0)	6(24.0)	3(12.0)	6(24.0)	4(16.0)
	5(22.7)	6(27.3)	2(9.1)	6(27.3)	3(13.6)

品詞	体	用	相	他	不明
音声	81(40.3)	33(16.4)	44(21.9)	43(21.4)	0(0.0)
	52(50.5)	21(20.4)	18(17.5)	12(11.7)	0(0.0)
画面	21(84.0)	0(0.0)	0(0.0)	0(0.0)	4(16.0)
	19(86.4)	0(0.0)	0(0.0)	0(0.0)	3(13.6)

画面媒体(延/異)　1: 25/22　2: 0/ 0　3: 0/ 0　4: 0/ 0

放送年月日	1989年5月24日(水)
採録時刻	22:55〜23:00
チャンネル	8(フジテレビ)
ジャンル	一般実用系
本編秒数	120
番組分数	8
視聴率１	9.0
視聴率２	47.0
本編話者数	5
	(男: 3 女: 2 不明: 0)

標本:０２１３　番組名:「夜の時代劇・大江戸捜査網」

語数	延べ	異なり	語の密度	延べ	異なり	CM語数	延べ	異なり
音声	114	87	音声	25.1	19.1	音声	28	28
画面	15	14	画面	3.3	3.1	画面	14	14

語種	和	漢	外	混	不明
音声	95(83.3)	13(11.4)	1(0.9)	3(2.6)	2(1.8)
	70(80.5)	11(12.6)	1(1.1)	3(3.4)	2(2.3)
画面	1(6.7)	3(20.0)	5(33.3)	3(20.0)	3(20.0)
	1(7.1)	3(21.4)	4(28.6)	3(21.4)	3(21.4)

品詞	体	用	相	他	不明
音声	55(48.2)	33(28.9)	16(14.0)	10(8.8)	0(0.0)
	42(48.3)	22(25.3)	14(16.1)	9(10.3)	0(0.0)
画面	12(80.0)	0(0.0)	0(0.0)	0(0.0)	3(20.0)
	11(78.6)	0(0.0)	0(0.0)	0(0.0)	3(21.4)

画面媒体(延/異)　1: 15/14　2: 0/ 0　3: 0/ 0　4: 0/ 0

放送年月日	1989年5月24日(水)
採録時刻	03:25〜03:30
チャンネル	12(テレビ東京)
ジャンル	ストーリー系
本編秒数	273
番組分数	60
視聴率１	0.0
視聴率２	2.0
本編話者数	5
	(男: 4 女: 1 不明: 0)

標本:０２１４　番組名:「街かどテレビ１１００」

語 数	延べ	異なり	語の密度	延べ	異なり	CM語数	延べ	異なり
音声	429	212	音声	85.8	42.4	音声	-	-
画面	77	49	画面	15.4	9.8	画面	-	-

語 種	和	漢	外	混	不明
音声	320(74.6)	51(11.9)	9(2.1)	49(11.4)	0(0.0)
	133(62.7)	36(17.0)	7(3.3)	36(17.0)	0(0.0)
画面	12(15.6)	22(28.6)	0(0.0)	24(31.2)	19(24.7)
	9(18.4)	14(28.6)	0(0.0)	17(34.7)	9(18.4)

品 詞	体	用	相	他	不明
音声	190(44.3)	64(14.9)	81(18.9)	94(21.9)	0(0.0)
	117(55.2)	36(17.0)	35(16.5)	24(11.3)	0(0.0)
画面	56(72.7)	2(2.6)	0(0.0)	0(0.0)	19(24.7)
	38(77.6)	2(4.1)	0(0.0)	0(0.0)	9(18.4)

画面媒体(延/異) 1: 19/14 2: 40/28 3: 4/ 2 4: 14/14

放送年月日	1989年5月25日(木)
採録時刻	11:05〜11:10
チャンネル	6(ＴＢＳ)
ジャンル	音楽系
本編秒数	300
番組分数	35
視聴率１	3.9
視聴率２	21.3
本編話者数	11
	(男: 4 女: 7 不明: 0)

標本:０２１５　番組名:「中曽根前首相リクルートで証人喚問」

語 数	延べ	異なり	語の密度	延べ	異なり	CM語数	延べ	異なり
音声	246	135	音声	81.5	44.8	音声	97	86
画面	7	7	画面	2.3	2.3	画面	131	99

語 種	和	漢	外	混	不明
音声	170(69.1)	51(20.7)	3(1.2)	22(8.9)	0(0.0)
	77(57.0)	40(29.6)	3(2.2)	15(11.1)	0(0.0)
画面	2(28.6)	2(28.6)	0(0.0)	3(42.9)	0(0.0)
	2(28.6)	2(28.6)	0(0.0)	3(42.9)	0(0.0)

品 詞	体	用	相	他	不明
音声	127(51.6)	43(17.5)	41(16.7)	35(14.2)	0(0.0)
	75(55.6)	28(20.7)	22(16.3)	10(7.4)	0(0.0)
画面	7(100.0)	0(0.0)	0(0.0)	0(0.0)	0(0.0)
	7(100.0)	0(0.0)	0(0.0)	0(0.0)	0(0.0)

画面媒体(延/異) 1: 6/ 6 2: 0/ 0 3: 1/ 1 4: 0/ 0

放送年月日	1989年5月25日(木)
採録時刻	14:05〜14:10
チャンネル	10(テレビ朝日)
ジャンル	報道系
本編秒数	181
番組分数	160
視聴率１	1.4
視聴率２	31.5
本編話者数	7
	(男: 7 女: 0 不明: 0)

標本:０２１６　番組名:「きょうの健康」

語 数	延べ	異なり	語の密度	延べ	異なり	CM語数	延べ	異なり
音声	501	185	音声	100.2	37.0	音声	-	-
画面	79	47	画面	15.8	9.4	画面	-	-

語 種	和	漢	外	混	不明
音声	337(67.3)	111(22.2)	13(2.6)	40(8.0)	0(0.0)
	106(57.3)	55(29.7)	4(2.2)	20(10.8)	0(0.0)
画面	4(5.1)	46(58.2)	2(2.5)	12(15.2)	15(19.0)
	3(6.4)	29(61.7)	1(2.1)	8(17.0)	6(12.8)

品 詞	体	用	相	他	不明
音声	204(40.7)	101(20.2)	70(14.0)	126(25.1)	0(0.0)
	88(47.6)	53(28.6)	30(16.2)	14(7.6)	0(0.0)
画面	65(82.3)	0(0.0)	0(0.0)	0(0.0)	14(17.7)
	42(89.4)	0(0.0)	0(0.0)	0(0.0)	5(10.6)

画面媒体(延/異) 1: 8/ 8 2: 71/41 3: 0/ 0 4: 0/ 0

放送年月日	1989年5月25日(木)
採録時刻	21:30〜21:35
チャンネル	3(ＮＨＫ教育)
ジャンル	一般実用系
本編秒数	300
番組分数	15
視聴率１	0.5
視聴率２	74.8
本編話者数	2
	(男: 1 女: 1 不明: 0)

標本:０２１７　番組名:-

語数	延べ	異なり	語の密度	延べ	異なり	CM語数	延べ	異なり
音声	-	-	音声	-	-	音声	-	-
画面	-	-	画面	-	-	画面	-	-

語種	和	漢	外	混	不明
音声	-(-)	-(-)	-(-)	-(-)	-(-)
	-(-)	-(-)	-(-)	-(-)	-(-)
画面	-(-)	-(-)	-(-)	-(-)	-(-)
	-(-)	-(-)	-(-)	-(-)	-(-)

品詞	体	用	相	他	不明
音声	-(-)	-(-)	-(-)	-(-)	-(-)
	-(-)	-(-)	-(-)	-(-)	-(-)
画面	-(-)	-(-)	-(-)	-(-)	-(-)
	-(-)	-(-)	-(-)	-(-)	-(-)

画面媒体(延/異)　1: -/ -　2: -/ -　3: -/ -　4: -/ -

放送年月日	1989年5月25日(木)
採録時刻	04:55〜05:00
チャンネル	1(ＮＨＫ総合)
ジャンル	-
本編秒数	300
番組分数	-
視聴率１	-
視聴率２	-
本編話者数	-
(男: - 女: - 不明: -)	

標本:０２１８　番組名:「おはようジャーナル」

語数	延べ	異なり	語の密度	延べ	異なり	CM語数	延べ	異なり
音声	395	199	音声	79.0	39.8	音声	-	-
画面	7	7	画面	1.4	1.4	画面	-	-

語種	和	漢	外	混	不明
音声	286(72.4)	88(22.3)	5(1.3)	16(4.1)	0(0.0)
	129(64.8)	52(26.1)	3(1.5)	15(7.5)	0(0.0)
画面	1(14.3)	2(28.6)	0(0.0)	2(28.6)	2(28.6)
	1(14.3)	2(28.6)	0(0.0)	2(28.6)	2(28.6)

品詞	体	用	相	他	不明
音声	197(49.9)	84(21.3)	57(14.4)	57(14.4)	0(0.0)
	109(54.8)	38(19.1)	38(19.1)	14(7.0)	0(0.0)
画面	5(71.4)	0(0.0)	0(0.0)	0(0.0)	2(28.6)
	5(71.4)	0(0.0)	0(0.0)	0(0.0)	2(28.6)

画面媒体(延/異)　1: 7/ 7　2: 0/ 0　3: 0/ 0　4: 0/ 0

放送年月日	1989年5月26日(金)
採録時刻	08:45〜08:50
チャンネル	1(ＮＨＫ総合)
ジャンル	一般実用系
本編秒数	300
番組分数	60
視聴率１	12.2
視聴率２	50.2
本編話者数	1
(男: 1 女: 0 不明: 0)	

標本:０２１９　番組名:「名門！第三野球部」

語数	延べ	異なり	語の密度	延べ	異なり	CM語数	延べ	異なり
音声	99	85	音声	28.3	24.3	音声	99	56
画面	101	84	画面	28.9	24.0	画面	76	45

語種	和	漢	外	混	不明
音声	66(66.7)	20(20.2)	6(6.1)	7(7.1)	0(0.0)
	53(62.4)	19(22.4)	6(7.1)	7(8.2)	0(0.0)
画面	48(47.5)	17(16.8)	10(9.9)	13(12.9)	13(12.9)
	38(45.2)	17(20.2)	10(11.9)	12(14.3)	7(8.3)

品詞	体	用	相	他	不明
音声	58(58.6)	20(20.2)	16(16.2)	5(5.1)	0(0.0)
	51(60.0)	16(18.8)	15(17.6)	3(3.5)	0(0.0)
画面	70(69.3)	12(11.9)	8(7.9)	0(0.0)	11(10.9)
	64(76.2)	9(10.7)	6(7.1)	0(0.0)	5(6.0)

画面媒体(延/異)　1: 101/84　2: 0/ 0　3: 0/ 0　4: 0/ 0

放送年月日	1989年5月26日(金)
採録時刻	16:30〜16:35
チャンネル	8(フジテレビ)
ジャンル	ストーリー系
本編秒数	210
番組分数	30
視聴率１	3.8
視聴率２	32.0
本編話者数	10
(男: 7 女: 3 不明: 0)	

標本:０２２０　番組名:「書道に親しむ」

語 数	延べ	異なり	語の密度	延べ	異なり	CM語数	延べ	異なり
音声	508	220	音声	101.6	44.0	音声	-	-
画面	18	18	画面	3.6	3.6	画面	-	-

語 種	和	漢	外	混	不明
音声	395(77.8)	99(19.5)	2(0.4)	12(2.4)	0(0.0)
	145(65.9)	63(28.6)	2(0.9)	10(4.5)	0(0.0)
画面	0(0.0)	14(77.8)	2(11.1)	0(0.0)	2(11.1)
	0(0.0)	14(77.8)	2(11.1)	0(0.0)	2(11.1)

品 詞	体	用	相	他	不明
音声	207(40.7)	68(13.4)	94(18.5)	139(27.4)	0(0.0)
	119(54.1)	37(16.8)	41(18.6)	23(10.5)	0(0.0)
画面	16(88.9)	0(0.0)	0(0.0)	0(0.0)	2(11.1)
	16(88.9)	0(0.0)	0(0.0)	0(0.0)	2(11.1)

画面媒体(延/異)	1: 3/ 3	2: 15/15	3: 0/ 0	4: 0/ 0

放送年月日	1989年5月26日(金)
採録時刻	18:05〜18:10
チャンネル	3(ＮＨＫ教育)
ジャンル	一般実用系
本編秒数	300
番組分数	30
視聴率１	0.3
視聴率２	34.1
本編話者数	2
(男: 1 女: 1 不明: 0)	

標本:０２２１　番組名:「朝まで生テレビ！」

語 数	延べ	異なり	語の密度	延べ	異なり	CM語数	延べ	異なり
音声	523	287	音声	104.6	57.4	音声	-	-
画面	35	34	画面	7.0	6.8	画面	-	-

語 種	和	漢	外	混	不明
音声	367(70.2)	114(21.8)	4(0.8)	38(7.3)	0(0.0)
	166(57.8)	83(28.9)	4(1.4)	34(11.8)	0(0.0)
画面	7(20.0)	6(17.1)	0(0.0)	20(57.1)	2(5.7)
	7(20.6)	6(17.6)	0(0.0)	19(55.9)	2(5.9)

品 詞	体	用	相	他	不明
音声	240(45.9)	99(18.9)	84(16.1)	100(19.1)	0(0.0)
	161(56.1)	62(21.6)	44(15.3)	20(7.0)	0(0.0)
画面	33(94.3)	0(0.0)	0(0.0)	0(0.0)	2(5.7)
	32(94.1)	0(0.0)	0(0.0)	0(0.0)	2(5.9)

画面媒体(延/異)	1: 34/34	2: 0/ 0	3: 1/ 1	4: 0/ 0

放送年月日	1989年5月26日(金)
採録時刻	01:15〜01:20
チャンネル	10(テレビ朝日)
ジャンル	報道系
本編秒数	300
番組分数	230
視聴率１	2.4
視聴率２	12.7
本編話者数	6
(男: 4 女: 1 不明: 1)	

標本:０２２２　番組名:「こころの旅にっぽん」

語 数	延べ	異なり	語の密度	延べ	異なり	CM語数	延べ	異なり
音声	227	190	音声	50.6	42.4	音声	22	22
画面	21	19	画面	4.7	4.2	画面	4	4

語 種	和	漢	外	混	不明
音声	141(62.1)	52(22.9)	9(4.0)	25(11.0)	0(0.0)
	113(59.5)	46(24.2)	6(3.2)	25(13.2)	0(0.0)
画面	2(9.5)	5(23.8)	0(0.0)	11(52.4)	3(14.3)
	2(10.5)	5(26.3)	0(0.0)	10(52.6)	2(10.5)

品 詞	体	用	相	他	不明
音声	121(53.3)	62(27.3)	31(13.7)	13(5.7)	0(0.0)
	104(54.7)	50(26.3)	26(13.7)	10(5.3)	0(0.0)
画面	18(85.7)	0(0.0)	0(0.0)	0(0.0)	3(14.3)
	17(89.5)	0(0.0)	0(0.0)	0(0.0)	2(10.5)

画面媒体(延/異)	1: 17/15	2: 0/ 0	3: 0/ 0	4: 4/ 4

放送年月日	1989年5月27日(土)
採録時刻	06:45〜06:50
チャンネル	12(テレビ東京)
ジャンル	教育・教養系
本編秒数	269
番組分数	15
視聴率１	0.7
視聴率２	29.7
本編話者数	7
(男: 3 女: 4 不明: 0)	

標本:０２２３　番組名:「サスペンス傑作劇場・密漁夫婦」

語数	延べ	異なり	語の密度	延べ	異なり	CM語数	延べ	異なり
音声	267	156	音声	53.4	31.2	音声	-	-
画面	0	0	画面	0.0	0.0	画面	-	-

語種	和	漢	外	混	不明
音声	207(77.5)	41(15.4)	0(0.0)	18(6.7)	1(0.4)
	114(73.1)	28(17.9)	0(0.0)	13(8.3)	1(0.6)
画面	0(0.0)	0(0.0)	0(0.0)	0(0.0)	0(0.0)
	0(0.0)	0(0.0)	0(0.0)	0(0.0)	0(0.0)

品詞	体	用	相	他	不明
音声	131(49.1)	64(24.0)	53(19.9)	19(7.1)	0(0.0)
	74(47.4)	38(24.4)	33(21.2)	11(7.1)	0(0.0)
画面	0(0.0)	0(0.0)	0(0.0)	0(0.0)	0(0.0)
	0(0.0)	0(0.0)	0(0.0)	0(0.0)	0(0.0)

画面媒体(延/異)	1: 0/ 0	2: 0/ 0	3: 0/ 0	4: 0/ 0

放送年月日	1989年5月27日(土)
採録時刻	12:10〜12:15
チャンネル	4(日本テレビ)
ジャンル	ストーリー系
本編秒数	300
番組分数	110
視聴率１	6.0
視聴率２	30.2
本編話者数	8
	(男: 6 女: 2 不明: 0)

標本:０２２４　番組名:「気象情報」

語数	延べ	異なり	語の密度	延べ	異なり	CM語数	延べ	異なり
音声	193	127	音声	77.2	50.8	音声	140	96
画面	217	50	画面	86.8	20.0	画面	103	78

語種	和	漢	外	混	不明
音声	133(68.9)	37(19.2)	3(1.6)	20(10.4)	0(0.0)
	76(59.8)	33(26.0)	1(0.8)	17(13.4)	0(0.0)
画面	51(23.5)	35(16.1)	1(0.5)	14(6.5)	116(53.5)
	21(42.0)	16(32.0)	1(2.0)	7(14.0)	5(10.0)

品詞	体	用	相	他	不明
音声	103(53.4)	49(25.4)	33(17.1)	8(4.1)	0(0.0)
	71(55.9)	27(21.3)	25(19.7)	4(3.1)	0(0.0)
画面	97(44.7)	0(0.0)	4(1.8)	0(0.0)	116(53.5)
	44(88.0)	0(0.0)	1(2.0)	0(0.0)	5(10.0)

画面媒体(延/異)	1: 57/35	2: 160/16	3: 0/ 0	4: 0/ 0

放送年月日	1989年5月27日(土)
採録時刻	18:55〜19:00
チャンネル	6(ＴＢＳ)
ジャンル	報道系
本編秒数	150
番組分数	5
視聴率１	13.2
視聴率２	52.1
本編話者数	4
	(男: 2 女: 2 不明: 0)

標本:０２２５　番組名:-

語数	延べ	異なり	語の密度	延べ	異なり	CM語数	延べ	異なり
音声	-	-	音声	-	-	音声	-	-
画面	-	-	画面	-	-	画面	-	-

語種	和	漢	外	混	不明
音声	-(-)	-(-)	-(-)	-(-)	-(-)
	-(-)	-(-)	-(-)	-(-)	-(-)
画面	-(-)	-(-)	-(-)	-(-)	-(-)
	-(-)	-(-)	-(-)	-(-)	-(-)

品詞	体	用	相	他	不明
音声	-(-)	-(-)	-(-)	-(-)	-(-)
	-(-)	-(-)	-(-)	-(-)	-(-)
画面	-(-)	-(-)	-(-)	-(-)	-(-)
	-(-)	-(-)	-(-)	-(-)	-(-)

画面媒体(延/異)	1: -/ -	2: -/ -	3: -/ -	4: -/ -

放送年月日	1989年5月27日(土)
採録時刻	03:40〜03:45
チャンネル	1(ＮＨＫ総合)
ジャンル	-
本編秒数	300
番組分数	-
視聴率１	-
視聴率２	-
本編話者数	-
	(男: - 女: - 不明: -)

標本:０２２６　番組名:「ミラクル・ジャイアンツ童夢くん」

語 数	延べ	異なり	語の密度	延べ	異なり	CM語数	延べ	異なり
音声	225	163	音声	45.0	32.6	音声	-	-
画面	11	9	画面	2.2	1.8	画面	-	-

語 種	和	漢	外	混	不明
音声	129(57.3)	46(20.4)	25(11.1)	25(11.1)	0(0.0)
	95(58.3)	37(22.7)	12(7.4)	19(11.7)	0(0.0)
画面	2(18.2)	3(27.3)	4(36.4)	0(0.0)	2(18.2)
	2(22.2)	2(22.2)	3(33.3)	0(0.0)	2(22.2)
品 詞	体	用	相	他	不明
音声	130(57.8)	50(22.2)	28(12.4)	17(7.6)	0(0.0)
	92(56.4)	37(22.7)	23(14.1)	11(6.7)	0(0.0)
画面	8(72.7)	1(9.1)	0(0.0)	0(0.0)	2(18.2)
	6(66.7)	1(11.1)	0(0.0)	0(0.0)	2(22.2)
画面媒体(延/異)	1: 4/ 4	2: 0/ 0	3: 0/ 0	4: 7/ 5	

放送年月日	1989年5月28日(日)
採録時刻	10:45〜10:50
チャンネル	4(日本テレビ)
ジャンル	ストーリー系
本編秒数	300
番組分数	30
視聴率1	4.9
視聴率2	40.6
本編話者数	17
	(男: 13 女: 4 不明: 0)

標本:０２２７　番組名:「東部自動車レディースプロゴルフトーナメント・最終日」

語 数	延べ	異なり	語の密度	延べ	異なり	CM語数	延べ	異なり
音声	391	209	音声	78.2	41.8	音声	-	-
画面	67	33	画面	13.4	6.6	画面	-	-

語 種	和	漢	外	混	不明
音声	261(66.8)	52(13.3)	47(12.0)	29(7.4)	2(0.5)
	111(53.1)	40(19.1)	35(16.7)	22(10.5)	1(0.5)
画面	7(10.4)	14(20.9)	6(9.0)	22(32.8)	18(26.9)
	5(15.2)	8(24.2)	5(15.2)	11(33.3)	4(12.1)
品 詞	体	用	相	他	不明
音声	175(44.8)	65(16.6)	82(21.0)	69(17.6)	0(0.0)
	120(57.4)	35(16.7)	41(19.6)	13(6.2)	0(0.0)
画面	51(76.1)	0(0.0)	0(0.0)	0(0.0)	16(23.9)
	31(93.9)	0(0.0)	0(0.0)	0(0.0)	2(6.1)
画面媒体(延/異)	1: 63/29	2: 0/ 0	3: 0/ 0	4: 4/ 4	

放送年月日	1989年5月28日(日)
採録時刻	17:35〜17:40
チャンネル	12(テレビ東京)
ジャンル	スポーツ系
本編秒数	300
番組分数	84
視聴率1	9.9
視聴率2	45.9
本編話者数	4
	(男: 3 女: 1 不明: 0)

標本:０２２８　番組名:「日曜洋画劇場・スカーフェイス」

語 数	延べ	異なり	語の密度	延べ	異なり	CM語数	延べ	異なり
音声	231	130	音声	46.2	26.0	音声	-	-
画面	0	0	画面	0.0	0.0	画面	-	-

語 種	和	漢	外	混	不明
音声	180(77.9)	23(10.0)	19(8.2)	9(3.9)	0(0.0)
	96(73.8)	20(15.4)	7(5.4)	7(5.4)	0(0.0)
画面	0(0.0)	0(0.0)	0(0.0)	0(0.0)	0(0.0)
	0(0.0)	0(0.0)	0(0.0)	0(0.0)	0(0.0)
品 詞	体	用	相	他	不明
音声	120(51.9)	66(28.6)	21(9.1)	24(10.4)	0(0.0)
	60(46.2)	43(33.1)	14(10.8)	13(10.0)	0(0.0)
画面	0(0.0)	0(0.0)	0(0.0)	0(0.0)	0(0.0)
	0(0.0)	0(0.0)	0(0.0)	0(0.0)	0(0.0)
画面媒体(延/異)	1: 0/ 0	2: 0/ 0	3: 0/ 0	4: 0/ 0	

放送年月日	1989年5月28日(日)
採録時刻	22:20〜22:25
チャンネル	10(テレビ朝日)
ジャンル	ストーリー系
本編秒数	300
番組分数	142
視聴率1	14.5
視聴率2	58.6
本編話者数	4
	(男: 4 女: 0 不明: 0)

標本:０２２９　　番組名:-

語数	延べ	異なり	語の密度	延べ	異なり	CM語数	延べ	異なり
音声	-	-	音声	-	-	音声	-	-
画面	-	-	画面	-	-	画面	-	-

語種	和	漢	外	混	不明
音声	-(-)	-(-)	-(-)	-(-)	-(-)
	-(-)	-(-)	-(-)	-(-)	-(-)
画面	-(-)	-(-)	-(-)	-(-)	-(-)
	-(-)	-(-)	-(-)	-(-)	-(-)
品詞	体	用	相	他	不明
音声	-(-)	-(-)	-(-)	-(-)	-(-)
	-(-)	-(-)	-(-)	-(-)	-(-)
画面	-(-)	-(-)	-(-)	-(-)	-(-)
	-(-)	-(-)	-(-)	-(-)	-(-)
画面媒体(延/異)	1: -/ -	2: -/ -	3: -/ -	4: -/ -	

放送年月日	1989年5月29日(月)
採録時刻	05:35〜05:40
チャンネル	6(ＴＢＳ)
ジャンル	-
本編秒数	300
番組分数	-
視聴率１	-
視聴率２	-
本編話者数	-
(男: - 女: - 不明: -)	

標本:０２３０　　番組名:「英語会話」

語数	延べ	異なり	語の密度	延べ	異なり	CM語数	延べ	異なり
音声	159	84	音声	31.8	16.8	音声	-	-
画面	15	14	画面	3.0	2.8	画面	-	-

語種	和	漢	外	混	不明
音声	133(83.6)	19(11.9)	5(3.1)	2(1.3)	0(0.0)
	66(78.6)	11(13.1)	5(6.0)	2(2.4)	0(0.0)
画面	3(20.0)	3(20.0)	1(6.7)	4(26.7)	4(26.7)
	3(21.4)	3(21.4)	1(7.1)	4(28.6)	3(21.4)
品詞	体	用	相	他	不明
音声	74(46.5)	39(24.5)	25(15.7)	21(13.2)	0(0.0)
	40(47.6)	20(23.8)	16(19.0)	8(9.5)	0(0.0)
画面	9(60.0)	0(0.0)	1(6.7)	1(6.7)	4(26.7)
	9(64.3)	0(0.0)	1(7.1)	1(7.1)	3(21.4)
画面媒体(延/異)	1: 15/14	2: 0/ 0	3: 0/ 0	4: 0/ 0	

放送年月日	1989年5月29日(月)
採録時刻	07:25〜07:30
チャンネル	3(ＮＨＫ教育)
ジャンル	教育・教養系
本編秒数	300
番組分数	30
視聴率１	0.2
視聴率２	53.1
本編話者数	1
(男: 1 女: 0 不明: 0)	

標本:０２３１　　番組名:「パラダイスＧＯ　ＧＯ！！」

語数	延べ	異なり	語の密度	延べ	異なり	CM語数	延べ	異なり
音声	340	175	音声	81.9	42.2	音声	39	37
画面	87	36	画面	21.0	8.7	画面	38	35

語種	和	漢	外	混	不明
音声	252(74.1)	52(15.3)	14(4.1)	21(6.2)	1(0.3)
	122(69.7)	30(17.1)	7(4.0)	15(8.6)	1(0.6)
画面	14(16.1)	18(20.7)	2(2.3)	22(25.3)	31(35.6)
	10(27.8)	7(19.4)	2(5.6)	13(36.1)	4(11.1)
品詞	体	用	相	他	不明
音声	154(45.3)	68(20.0)	50(14.7)	68(20.0)	0(0.0)
	85(48.6)	36(20.6)	31(17.7)	23(13.1)	0(0.0)
画面	57(65.5)	0(0.0)	0(0.0)	0(0.0)	30(34.5)
	33(91.7)	0(0.0)	0(0.0)	0(0.0)	3(8.3)
画面媒体(延/異)	1: 57/31	2: 30/10	3: 0/ 0	4: 0/ 0	

放送年月日	1989年5月29日(月)
採録時刻	17:40〜17:45
チャンネル	8(フジテレビ)
ジャンル	バラエティー系
本編秒数	249
番組分数	55
視聴率１	3.2
視聴率２	38.7
本編話者数	14
(男: 6 女: 8 不明: 0)	

標本:０２３２　番組名:「歌のトップテン」

語 数	延べ	異なり	語の密度	延べ	異なり	CM語数	延べ	異なり
音声	259	164	音声	51.8	32.8	音声	-	-
画面	27	22	画面	5.4	4.4	画面	-	-

語 種	和	漢	外	混	不明
音声	206(79.5)	36(13.9)	9(3.5)	8(3.1)	0(0.0)
	116(70.7)	32(19.5)	9(5.5)	7(4.3)	0(0.0)
画面	2(7.4)	19(70.4)	3(11.1)	3(11.1)	0(0.0)
	1(4.5)	15(68.2)	3(13.6)	3(13.6)	0(0.0)

品 詞	体	用	相	他	不明
音声	112(43.2)	54(20.8)	41(15.8)	52(20.1)	0(0.0)
	82(50.0)	39(23.8)	24(14.6)	19(11.6)	0(0.0)
画面	27(100.0)	0(0.0)	0(0.0)	0(0.0)	0(0.0)
	22(100.0)	0(0.0)	0(0.0)	0(0.0)	0(0.0)

画面媒体(延/異)	1: 13/ 9	2: 0/ 0	3: 14/14	4: 0/ 0

放送年月日	1989年5月29日(月)
採録時刻	20:45～20:50
チャンネル	4(日本テレビ)
ジャンル	音楽系
本編秒数	300
番組分数	54
視聴率１	13.9
視聴率２	74.3
本編話者数	5
(男: 2 女: 3 不明: 0)	

標本:０２３３　番組名:「Ｆ１世界選手権・第４戦メキシコグランプリ」

語 数	延べ	異なり	語の密度	延べ	異なり	CM語数	延べ	異なり
音声	399	191	音声	79.8	38.2	音声	-	-
画面	24	10	画面	4.8	2.0	画面	-	-

語 種	和	漢	外	混	不明
音声	208(52.1)	45(11.3)	107(26.8)	39(9.8)	0(0.0)
	92(48.2)	31(16.2)	43(22.5)	25(13.1)	0(0.0)
画面	3(12.5)	4(16.7)	17(70.8)	0(0.0)	0(0.0)
	1(10.0)	2(20.0)	7(70.0)	0(0.0)	0(0.0)

品 詞	体	用	相	他	不明
音声	228(57.1)	51(12.8)	55(13.8)	65(16.3)	0(0.0)
	110(57.6)	37(19.4)	30(15.7)	14(7.3)	0(0.0)
画面	24(100.0)	0(0.0)	0(0.0)	0(0.0)	0(0.0)
	10(100.0)	0(0.0)	0(0.0)	0(0.0)	0(0.0)

画面媒体(延/異)	1: 12/ 6	2: 0/ 0	3: 0/ 0	4: 12/ 4

放送年月日	1989年5月29日(月)
採録時刻	01:20～01:25
チャンネル	8(フジテレビ)
ジャンル	スポーツ系
本編秒数	300
番組分数	85
視聴率１	1.9
視聴率２	7.6
本編話者数	2
(男: 2 女: 0 不明: 0)	

標本:０２３４　番組名:「しぜんだいすき」

語 数	延べ	異なり	語の密度	延べ	異なり	CM語数	延べ	異なり
音声	235	113	音声	47.0	22.6	音声	-	-
画面	21	20	画面	4.2	4.0	画面	-	-

語 種	和	漢	外	混	不明
音声	207(88.1)	18(7.7)	0(0.0)	10(4.3)	0(0.0)
	98(86.7)	12(10.6)	0(0.0)	3(2.7)	0(0.0)
画面	7(33.3)	4(19.0)	1(4.8)	5(23.8)	4(19.0)
	7(35.0)	4(20.0)	1(5.0)	5(25.0)	3(15.0)

品 詞	体	用	相	他	不明
音声	83(35.3)	46(19.6)	56(23.8)	50(21.3)	0(0.0)
	37(32.7)	30(26.5)	28(24.8)	18(15.9)	0(0.0)
画面	17(81.0)	0(0.0)	0(0.0)	0(0.0)	4(19.0)
	17(85.0)	0(0.0)	0(0.0)	0(0.0)	3(15.0)

画面媒体(延/異)	1: 21/20	2: 0/ 0	3: 0/ 0	4: 0/ 0

放送年月日	1989年5月30日(火)
採録時刻	09:55～10:00
チャンネル	3(ＮＨＫ教育)
ジャンル	教育・教養系
本編秒数	300
番組分数	15
視聴率１	1.0
視聴率２	21.5
本編話者数	2
(男: 0 女: 2 不明: 0)	

標本:０２３５　番組名:「関東甲信越ネットワーク」

語数	延べ	異なり	語の密度	延べ	異なり	CM語数	延べ	異なり
音声	343	241	音声	68.6	48.2	音声	-	-
画面	95	71	画面	19.0	14.2	画面	-	-

語種	和	漢	外	混	不明
音声	186(54.2)	124(36.2)	5(1.5)	28(8.2)	0(0.0)
	117(48.5)	97(40.2)	3(1.2)	24(10.0)	0(0.0)
画面	13(13.7)	45(47.4)	2(2.1)	11(11.6)	24(25.3)
	12(16.9)	41(57.7)	1(1.4)	10(14.1)	7(9.9)

品詞	体	用	相	他	不明
音声	196(57.1)	77(22.4)	41(12.0)	29(8.5)	0(0.0)
	146(60.6)	49(20.3)	33(13.7)	13(5.4)	0(0.0)
画面	67(70.5)	3(3.2)	1(1.1)	0(0.0)	24(25.3)
	60(84.5)	3(4.2)	1(1.4)	0(0.0)	7(9.9)

画面媒体(延/異): 1: 90/66 2: 0/ 0 3: 0/ 0 4: 5/ 5

放送年月日	1989年5月30日(火)
採録時刻	13:35〜13:40
チャンネル	1(ＮＨＫ総合)
ジャンル	教育・教養系
本編秒数	300
番組分数	15
視聴率１	3.2
視聴率２	34.4
本編話者数	5
	(男: 5 女: 0 不明: 0)

標本:０２３６　番組名:「テレポートＴＢＳ６」

語数	延べ	異なり	語の密度	延べ	異なり	CM語数	延べ	異なり
音声	241	151	音声	95.8	60.0	音声	110	98
画面	131	71	画面	52.1	28.2	画面	188	139

語種	和	漢	外	混	不明
音声	162(67.2)	40(16.6)	12(5.0)	27(11.2)	0(0.0)
	82(54.3)	33(21.9)	12(7.9)	24(15.9)	0(0.0)
画面	16(12.2)	58(44.3)	5(3.8)	12(9.2)	40(30.5)
	15(21.1)	36(50.7)	5(7.0)	8(11.3)	7(9.9)

品詞	体	用	相	他	不明
音声	110(45.6)	45(18.7)	40(16.6)	46(19.1)	0(0.0)
	82(54.3)	34(22.5)	21(13.9)	14(9.3)	0(0.0)
画面	89(67.9)	0(0.0)	1(0.8)	1(0.8)	40(30.5)
	62(87.3)	0(0.0)	1(1.4)	1(1.4)	7(9.9)

画面媒体(延/異): 1: 72/45 2: 58/28 3: 1/ 1 4: 0/ 0

放送年月日	1989年5月30日(火)
採録時刻	18:25〜18:30
チャンネル	6(ＴＢＳ)
ジャンル	報道系
本編秒数	151
番組分数	30
視聴率１	8.2
視聴率２	43.3
本編話者数	8
	(男: 6 女: 2 不明: 0)

標本:０２３７　番組名:「ＰＲＥ・ＳＴＡＧＥ２」

語数	延べ	異なり	語の密度	延べ	異なり	CM語数	延べ	異なり
音声	367	201	音声	73.4	40.2	音声	-	-
画面	10	10	画面	2.0	2.0	画面	-	-

語種	和	漢	外	混	不明
音声	244(66.5)	82(22.3)	22(6.0)	19(5.2)	0(0.0)
	105(52.2)	66(32.8)	13(6.5)	17(8.5)	0(0.0)
画面	4(40.0)	4(40.0)	0(0.0)	1(10.0)	1(10.0)
	4(40.0)	4(40.0)	0(0.0)	1(10.0)	1(10.0)

品詞	体	用	相	他	不明
音声	170(46.3)	61(16.6)	73(19.9)	63(17.2)	0(0.0)
	108(53.7)	34(16.9)	40(19.9)	19(9.5)	0(0.0)
画面	7(70.0)	1(10.0)	0(0.0)	1(10.0)	1(10.0)
	7(70.0)	1(10.0)	0(0.0)	1(10.0)	1(10.0)

画面媒体(延/異): 1: 4/ 4 2: 2/ 2 3: 1/ 1 4: 3/ 3

放送年月日	1989年5月30日(火)
採録時刻	03:35〜03:40
チャンネル	10(テレビ朝日)
ジャンル	バラエティー系
本編秒数	300
番組分数	110
視聴率１	0.7
視聴率２	3.1
本編話者数	8
	(男: 2 女: 6 不明: 0)

標本:０２３８　番組名:「アニメランド・ラ・セーヌの星」

語 数	延べ	異なり	語の密度	延べ	異なり	CM語数	延べ	異なり
音声	147	102	音声	29.4	20.4	音声	-	-
画面	0	0	画面	0.0	0.0	画面	-	-

語 種	和	漢	外	混	不明
音声	101(68.7)	21(14.3)	14(9.5)	11(7.5)	0(0.0)
	74(72.5)	17(16.7)	4(3.9)	7(6.9)	0(0.0)
画面	0(0.0)	0(0.0)	0(0.0)	0(0.0)	0(0.0)
	0(0.0)	0(0.0)	0(0.0)	0(0.0)	0(0.0)

品 詞	体	用	相	他	不明
音声	87(59.2)	36(24.5)	12(8.2)	12(8.2)	0(0.0)
	53(52.0)	30(29.4)	10(9.8)	9(8.8)	0(0.0)
画面	0(0.0)	0(0.0)	0(0.0)	0(0.0)	0(0.0)
	0(0.0)	0(0.0)	0(0.0)	0(0.0)	0(0.0)

画面媒体(延/異)　1: 0/ 0　2: 0/ 0　3: 0/ 0　4: 0/ 0

放送年月日	1989年5月31日(水)
採録時刻	07:35～07:40
チャンネル	12(テレビ東京)
ジャンル	ストーリー系
本編秒数	300
番組分数	55
視聴率１	4.0
視聴率２	57.9
本編話者数	6
(男: 4 女: 2 不明: 0)	

標本:０２３９　番組名:「株式ニュース」

語 数	延べ	異なり	語の密度	延べ	異なり	CM語数	延べ	異なり
音声	226	136	音声	75.8	45.6	音声	92	85
画面	557	408	画面	186.7	136.8	画面	178	115

語 種	和	漢	外	混	不明
音声	161(71.2)	28(12.4)	7(3.1)	30(13.3)	0(0.0)
	81(59.6)	23(16.9)	4(2.9)	28(20.6)	0(0.0)
画面	12(2.2)	266(47.8)	21(3.8)	205(36.8)	53(9.5)
	12(2.9)	228(55.9)	21(5.1)	128(31.4)	19(4.7)

品 詞	体	用	相	他	不明
音声	104(46.0)	38(16.8)	35(15.5)	49(21.7)	0(0.0)
	78(57.4)	26(19.1)	21(15.4)	11(8.1)	0(0.0)
画面	510(91.6)	0(0.0)	0(0.0)	1(0.2)	46(8.3)
	395(96.8)	0(0.0)	0(0.0)	1(0.2)	12(2.9)

画面媒体(延/異)　1: 77/52　2: 475/353　3: 5/ 5　4: 0/ 0

放送年月日	1989年5月31日(水)
採録時刻	15:50～15:55
チャンネル	12(テレビ東京)
ジャンル	一般実用系
本編秒数	179
番組分数	15
視聴率１	1.2
視聴率２	29.5
本編話者数	11
(男: 6 女: 5 不明: 0)	

標本:０２４０　番組名:「連想ゲーム」

語 数	延べ	異なり	語の密度	延べ	異なり	CM語数	延べ	異なり
音声	378	176	音声	75.6	35.2	音声	-	-
画面	741	50	画面	148.2	10.0	画面	-	-

語 種	和	漢	外	混	不明
音声	247(65.3)	60(15.9)	26(6.9)	45(11.9)	0(0.0)
	82(46.6)	46(26.1)	20(11.4)	28(15.9)	0(0.0)
画面	75(10.1)	637(86.0)	4(0.5)	15(2.0)	10(1.3)
	12(24.0)	23(46.0)	4(8.0)	10(20.0)	1(2.0)

品 詞	体	用	相	他	不明
音声	193(51.1)	19(5.0)	42(11.1)	124(32.8)	0(0.0)
	136(77.3)	11(6.3)	14(8.0)	15(8.5)	0(0.0)
画面	731(98.7)	0(0.0)	0(0.0)	0(0.0)	10(1.3)
	49(98.0)	0(0.0)	0(0.0)	0(0.0)	1(2.0)

画面媒体(延/異)　1: 21/12　2: 720/38　3: 0/ 0　4: 0/ 0

放送年月日	1989年5月31日(水)
採録時刻	19:50～19:55
チャンネル	1(ＮＨＫ総合)
ジャンル	バラエティー系
本編秒数	300
番組分数	30
視聴率１	11.5
視聴率２	71.8
本編話者数	13
(男: 7 女: 6 不明: 0)	

標本:０２４１　番組名:-

語数	延べ	異なり	語の密度	延べ	異なり	CM語数	延べ	異なり
音声	-	-	音声	-	-	音声	-	-
画面	-	-	画面	-	-	画面	-	-

語種	和	漢	外	混	不明
音声	-(-)	-(-)	-(-)	-(-)	-(-)
	-(-)	-(-)	-(-)	-(-)	-(-)
画面	-(-)	-(-)	-(-)	-(-)	-(-)
	-(-)	-(-)	-(-)	-(-)	-(-)

品詞	体	用	相	他	不明
音声	-(-)	-(-)	-(-)	-(-)	-(-)
	-(-)	-(-)	-(-)	-(-)	-(-)
画面	-(-)	-(-)	-(-)	-(-)	-(-)
	-(-)	-(-)	-(-)	-(-)	-(-)

画面媒体(延/異)	1: -/ -	2: -/ -	3: -/ -	4: -/ -

放送年月日	1989年5月31日(水)
採録時刻	01:45〜01:50
チャンネル	3(ＮＨＫ教育)
ジャンル	-
本編秒数	300
番組分数	-
視聴率１	-
視聴率２	-
本編話者数	-
(男: - 女: - 不明: -)	

標本:０２４２　番組名:「新・必殺仕事人」

語数	延べ	異なり	語の密度	延べ	異なり	CM語数	延べ	異なり
音声	272	183	音声	54.4	36.6	音声	-	-
画面	2	2	画面	0.4	0.4	画面	-	-

語種	和	漢	外	混	不明
音声	219(80.5)	37(13.6)	0(0.0)	16(5.9)	0(0.0)
	136(74.3)	31(16.9)	0(0.0)	16(8.7)	0(0.0)
画面	1(50.0)	1(50.0)	0(0.0)	0(0.0)	0(0.0)
	1(50.0)	1(50.0)	0(0.0)	0(0.0)	0(0.0)

品詞	体	用	相	他	不明
音声	129(47.4)	62(22.8)	45(16.5)	36(13.2)	0(0.0)
	88(48.1)	43(23.5)	33(18.0)	19(10.4)	0(0.0)
画面	2(100.0)	0(0.0)	0(0.0)	0(0.0)	0(0.0)
	2(100.0)	0(0.0)	0(0.0)	0(0.0)	0(0.0)

画面媒体(延/異)	1: 0/ 0	2: 0/ 0	3: 0/ 0	4: 2/ 2

放送年月日	1989年6月1日(木)
採録時刻	10:50〜10:55
チャンネル	10(テレビ朝日)
ジャンル	ストーリー系
本編秒数	300
番組分数	60
視聴率１	3.7
視聴率２	16.5
本編話者数	9
(男: 7 女: 2 不明: 0)	

標本:０２４３　番組名:「パラダイスＧＯ　ＧＯ！！」

語数	延べ	異なり	語の密度	延べ	異なり	CM語数	延べ	異なり
音声	167	116	音声	94.5	65.7	音声	144	117
画面	128	122	画面	72.5	69.1	画面	166	134

語種	和	漢	外	混	不明
音声	106(63.5)	23(13.8)	14(8.4)	24(14.4)	0(0.0)
	63(54.3)	22(19.0)	12(10.3)	19(16.4)	0(0.0)
画面	24(18.8)	22(17.2)	31(24.2)	32(25.0)	19(14.8)
	24(19.7)	22(18.0)	31(25.4)	31(25.4)	14(11.5)

品詞	体	用	相	他	不明
音声	81(48.5)	30(18.0)	24(14.4)	32(19.2)	0(0.0)
	68(58.6)	20(17.2)	17(14.7)	11(9.5)	0(0.0)
画面	113(88.3)	0(0.0)	2(1.6)	0(0.0)	13(10.2)
	112(91.8)	0(0.0)	2(1.6)	0(0.0)	8(6.6)

画面媒体(延/異)	1: 118/112	2: 10/10	3: 0/ 0	4: 0/ 0

放送年月日	1989年6月1日(木)
採録時刻	17:50〜17:55
チャンネル	8(フジテレビ)
ジャンル	バラエティー系
本編秒数	106
番組分数	55
視聴率１	3.0
視聴率２	29.9
本編話者数	16
(男: 9 女: 7 不明: 0)	

標本:０２４４　番組名:「木曜ナイター・巨人×大洋」

語 数	延べ	異なり	語の密度	延べ	異なり	ＣＭ語数	延べ	異なり
音声	242	154	音声	67.9	43.2	音声	54	47
画面	307	81	画面	86.1	22.7	画面	28	24

語 種	和	漢	外	混	不明
音声	160(66.1)	37(15.3)	19(7.9)	26(10.7)	0(0.0)
	87(56.5)	28(18.2)	17(11.0)	22(14.3)	0(0.0)
画面	23(7.5)	126(41.0)	57(18.6)	33(10.7)	68(22.1)
	15(18.5)	36(44.4)	5(6.2)	17(21.0)	8(9.9)
品 詞	体	用	相	他	不明
音声	131(54.1)	35(14.5)	37(15.3)	39(16.1)	0(0.0)
	94(61.0)	25(16.2)	21(13.6)	14(9.1)	0(0.0)
画面	239(77.9)	0(0.0)	0(0.0)	0(0.0)	68(22.1)
	73(90.1)	0(0.0)	0(0.0)	0(0.0)	8(9.9)
画面媒体(延/異)	1: 292/80	2: 0/ 0	3: 0/ 0	4: 15/ 2	

放送年月日	1989年6月1日(木)
採録時刻	20:10～20:15
チャンネル	4(日本テレビ)
ジャンル	スポーツ系
本編秒数	214
番組分数	127
視聴率１	25.0
視聴率２	72.1
本編話者数	4
	(男: 3 女: 1 不明: 0)

標本:０２４５　番組名:「ミッドナイトシアター・丹下左膳妖刀濡れ燕」

語 数	延べ	異なり	語の密度	延べ	異なり	ＣＭ語数	延べ	異なり
音声	153	126	音声	33.1	27.3	音声	18	14
画面	2	2	画面	0.4	0.4	画面	10	10

語 種	和	漢	外	混	不明
音声	95(62.1)	41(26.8)	0(0.0)	13(8.5)	4(2.6)
	74(58.7)	36(28.6)	0(0.0)	12(9.5)	4(3.2)
画面	1(50.0)	0(0.0)	0(0.0)	1(50.0)	0(0.0)
	1(50.0)	0(0.0)	0(0.0)	1(50.0)	0(0.0)
品 詞	体	用	相	他	不明
音声	96(62.7)	36(23.5)	11(7.2)	9(5.9)	1(0.7)
	78(61.9)	30(23.8)	9(7.1)	8(6.3)	1(0.8)
画面	2(100.0)	0(0.0)	0(0.0)	0(0.0)	0(0.0)
	2(100.0)	0(0.0)	0(0.0)	0(0.0)	0(0.0)
画面媒体(延/異)	1: 0/ 0	2: 0/ 0	3: 0/ 0	4: 2/ 2	

放送年月日	1989年6月1日(木)
採録時刻	04:30～04:35
チャンネル	6(ＴＢＳ)
ジャンル	ストーリー系
本編秒数	277
番組分数	75
視聴率１	0.3
視聴率２	0.3
本編話者数	12
	(男: 9 女: 3 不明: 0)

標本:０２４６　番組名:「モーニングＥＹＥ」

語 数	延べ	異なり	語の密度	延べ	異なり	ＣＭ語数	延べ	異なり
音声	394	204	音声	98.5	51.0	音声	62	46
画面	26	21	画面	6.5	5.3	画面	36	28

語 種	和	漢	外	混	不明
音声	287(72.8)	68(17.3)	1(0.3)	38(9.6)	0(0.0)
	127(62.3)	55(27.0)	1(0.5)	21(10.3)	0(0.0)
画面	7(26.9)	6(23.1)	2(7.7)	7(26.9)	4(15.4)
	5(23.8)	5(23.8)	2(9.5)	6(28.6)	3(14.3)
品 詞	体	用	相	他	不明
音声	172(43.7)	77(19.5)	76(19.3)	69(17.5)	0(0.0)
	109(53.4)	39(19.1)	36(17.6)	20(9.8)	0(0.0)
画面	17(65.4)	2(7.7)	3(11.5)	0(0.0)	4(15.4)
	15(71.4)	1(4.8)	2(9.5)	0(0.0)	3(14.3)
画面媒体(延/異)	1: 26/21	2: 0/ 0	3: 0/ 0	4: 0/ 0	

放送年月日	1989年6月2日(金)
採録時刻	09:25～09:30
チャンネル	6(ＴＢＳ)
ジャンル	一般実用系
本編秒数	240
番組分数	85
視聴率１	8.2
視聴率２	32.7
本編話者数	7
	(男: 5 女: 2 不明: 0)

標本:０２４７　番組名:「妻と夫の実年時代」

語数	延べ	異なり	語の密度	延べ	異なり	CM語数	延べ	異なり
音声	532	189	音声	106.4	37.8	音声	-	-
画面	3	3	画面	0.6	0.6	画面	-	-

語種	和	漢	外	混	不明
音声	453(85.2)	54(10.2)	2(0.4)	23(4.3)	0(0.0)
	131(69.3)	40(21.2)	2(1.1)	16(8.5)	0(0.0)
画面	0(0.0)	0(0.0)	0(0.0)	2(66.7)	1(33.3)
	0(0.0)	0(0.0)	0(0.0)	2(66.7)	1(33.3)

品詞	体	用	相	他	不明
音声	183(34.4)	74(13.9)	124(23.3)	151(28.4)	0(0.0)
	92(48.7)	32(16.9)	44(23.3)	21(11.1)	0(0.0)
画面	3(100.0)	0(0.0)	0(0.0)	0(0.0)	0(0.0)
	3(100.0)	0(0.0)	0(0.0)	0(0.0)	0(0.0)

画面媒体(延/異): 1: 2/ 2 2: 0/ 0 3: 0/ 0 4: 1/ 1

放送年月日	1989年6月2日(金)
採録時刻	14:40〜14:45
チャンネル	1(ＮＨＫ総合)
ジャンル	報道系
本編秒数	300
番組分数	30
視聴率１	1.1
視聴率２	28.3
本編話者数	5
(男: 2 女: 3 不明: 0)	

標本:０２４８　番組名:「プロ野球ミニ情報」

語数	延べ	異なり	語の密度	延べ	異なり	CM語数	延べ	異なり
音声	143	95	音声	52.0	34.5	音声	78	70
画面	100	76	画面	36.4	27.6	画面	120	91

語種	和	漢	外	混	不明
音声	92(64.3)	35(24.5)	3(2.1)	13(9.1)	0(0.0)
	61(64.2)	21(22.1)	3(3.2)	10(10.5)	0(0.0)
画面	17(17.0)	33(33.0)	5(5.0)	25(25.0)	20(20.0)
	14(18.4)	31(40.8)	4(5.3)	21(27.6)	6(7.9)

品詞	体	用	相	他	不明
音声	67(46.9)	27(18.9)	31(21.7)	18(12.6)	0(0.0)
	45(47.4)	18(18.9)	22(23.2)	10(10.5)	0(0.0)
画面	78(78.0)	0(0.0)	2(2.0)	0(0.0)	20(20.0)
	68(89.5)	0(0.0)	2(2.6)	0(0.0)	6(7.9)

画面媒体(延/異): 1: 98/74 2: 0/ 0 3: 0/ 0 4: 2/ 2

放送年月日	1989年6月2日(金)
採録時刻	23:25〜23:30
チャンネル	4(日本テレビ)
ジャンル	スポーツ系
本編秒数	165
番組分数	6
視聴率１	5.1
視聴率２	42.1
本編話者数	3
(男: 3 女: 0 不明: 0)	

標本:０２４９　番組名:「ＰＲＥ・ＳＴＡＧＥ１」

語数	延べ	異なり	語の密度	延べ	異なり	CM語数	延べ	異なり
音声	226	130	音声	103.5	59.5	音声	56	53
画面	119	83	画面	54.5	38.0	画面	83	70

語種	和	漢	外	混	不明
音声	148(65.5)	40(17.7)	16(7.1)	22(9.7)	0(0.0)
	72(55.4)	30(23.1)	8(6.2)	20(15.4)	0(0.0)
画面	21(17.6)	37(31.1)	10(8.4)	17(14.3)	34(28.6)
	17(20.5)	35(42.2)	7(8.4)	14(16.9)	10(12.0)

品詞	体	用	相	他	不明
音声	101(44.7)	36(15.9)	32(14.2)	57(25.2)	0(0.0)
	73(56.2)	21(16.2)	22(16.9)	14(10.8)	0(0.0)
画面	69(58.0)	9(7.6)	3(2.5)	4(3.4)	34(28.6)
	59(71.1)	9(10.8)	2(2.4)	3(3.6)	10(12.0)

画面媒体(延/異): 1: 5/ 2 2: 109/80 3: 5/ 2 4: 0/ 0

放送年月日	1989年6月2日(金)
採録時刻	02:00〜02:05
チャンネル	10(テレビ朝日)
ジャンル	バラエティー系
本編秒数	131
番組分数	190
視聴率１	1.0
視聴率２	5.1
本編話者数	5
(男: 4 女: 1 不明: 0)	

標本:０２５０　番組名:「独占！サイクル・スポーツ」

語 数	延べ	異なり	語の密度	延べ	異なり	CM語数	延べ	異なり
音声	534	249	音声	118.7	55.3	音声	13	13
画面	93	40	画面	20.7	8.9	画面	23	23

語 種	和	漢	外	混	不明
音声	370(69.3)	93(17.4)	25(4.7)	46(8.6)	0(0.0)
	133(53.4)	61(24.5)	15(6.0)	40(16.1)	0(0.0)
画面	3(3.2)	16(17.2)	0(0.0)	35(37.6)	39(41.9)
	3(7.5)	10(25.0)	0(0.0)	20(50.0)	7(17.5)

品 詞	体	用	相	他	不明
音声	198(37.1)	86(16.1)	124(23.2)	126(23.6)	0(0.0)
	127(51.0)	45(18.1)	53(21.3)	24(9.6)	0(0.0)
画面	53(57.0)	0(0.0)	0(0.0)	1(1.1)	39(41.9)
	32(80.0)	0(0.0)	0(0.0)	1(2.5)	7(17.5)

画面媒体(延/異)	1: 88/40	2: 0/ 0	3: 5/ 1	4: 0/ 0

放送年月日	1989年6月3日(土)
採録時刻	11:15〜11:20
チャンネル	12(テレビ東京)
ジャンル	スポーツ系
本編秒数	270
番組分数	30
視聴率１	1.0
視聴率２	23.3
本編話者数	5
(男: 2 女: 3 不明: 0)	

標本:０２５１　番組名:「青春すくらんぶる」

語 数	延べ	異なり	語の密度	延べ	異なり	CM語数	延べ	異なり
音声	626	226	音声	125.2	45.2	音声	－	－
画面	39	26	画面	7.8	5.2	画面	－	－

語 種	和	漢	外	混	不明
音声	476(76.0)	118(18.8)	4(0.6)	28(4.5)	0(0.0)
	130(57.5)	72(31.9)	4(1.8)	20(8.8)	0(0.0)
画面	6(15.4)	11(28.2)	4(10.3)	5(12.8)	13(33.3)
	6(23.1)	6(23.1)	4(15.4)	5(19.2)	5(19.2)

品 詞	体	用	相	他	不明
音声	220(35.1)	115(18.4)	157(25.1)	134(21.4)	0(0.0)
	112(49.6)	48(21.2)	46(20.4)	20(8.8)	0(0.0)
画面	27(69.2)	1(2.6)	0(0.0)	0(0.0)	11(28.2)
	22(84.6)	1(3.8)	0(0.0)	0(0.0)	3(11.5)

画面媒体(延/異)	1: 39/26	2: 0/ 0	3: 0/ 0	4: 0/ 0

放送年月日	1989年6月3日(土)
採録時刻	12:25〜12:30
チャンネル	3(ＮＨＫ教育)
ジャンル	教育・教養系
本編秒数	300
番組分数	30
視聴率１	0.0
視聴率２	40.3
本編話者数	8
(男: 3 女: 5 不明: 0)	

標本:０２５２　番組名:「ゴールデン洋画劇場・ザ・ダイバー炎の脱出」

語 数	延べ	異なり	語の密度	延べ	異なり	CM語数	延べ	異なり
音声	144	91	音声	34.4	21.8	音声	29	27
画面	20	15	画面	4.8	3.6	画面	34	30

語 種	和	漢	外	混	不明
音声	108(75.0)	20(13.9)	9(6.3)	7(4.9)	0(0.0)
	58(63.7)	17(18.7)	9(9.9)	7(7.7)	0(0.0)
画面	3(15.0)	8(40.0)	6(30.0)	3(15.0)	0(0.0)
	3(20.0)	3(20.0)	6(40.0)	3(20.0)	0(0.0)

品 詞	体	用	相	他	不明
音声	55(38.2)	43(29.9)	16(11.1)	30(20.8)	0(0.0)
	45(49.5)	25(27.5)	11(12.1)	10(11.0)	0(0.0)
画面	18(90.0)	2(10.0)	0(0.0)	0(0.0)	0(0.0)
	13(86.7)	2(13.3)	0(0.0)	0(0.0)	0(0.0)

画面媒体(延/異)	1: 20/15	2: 0/ 0	3: 0/ 0	4: 0/ 0

放送年月日	1989年6月3日(土)
採録時刻	21:55〜22:00
チャンネル	8(フジテレビ)
ジャンル	ストーリー系
本編秒数	251
番組分数	112
視聴率１	12.9
視聴率２	72.9
本編話者数	8
(男: 7 女: 1 不明: 0)	

標本:０２５３　番組名:「ニュース」「屋上カメラの映像と音楽」

語数	延べ	異なり	語の密度	延べ	異なり	CM語数	延べ	異なり
音声	159	111	音声	31.8	22.2	音声	-	-
画面	28	25	画面	5.6	5.0	画面	-	-

語種	和	漢	外	混	不明
音声	66(41.5)	62(39.0)	6(3.8)	25(15.7)	0(0.0)
	41(36.9)	45(40.5)	6(5.4)	19(17.1)	0(0.0)
画面	6(21.4)	11(39.3)	2(7.1)	4(14.3)	5(17.9)
	6(24.0)	10(40.0)	2(8.0)	4(16.0)	3(12.0)
品詞	体	用	相	他	不明
音声	92(57.9)	44(27.7)	12(7.5)	11(6.9)	0(0.0)
	62(55.9)	33(29.7)	12(10.8)	4(3.6)	0(0.0)
画面	21(75.0)	2(7.1)	1(3.6)	0(0.0)	4(14.3)
	20(80.0)	2(8.0)	1(4.0)	0(0.0)	2(8.0)
画面媒体(延/異)	1: 28/25	2: 0/ 0	3: 0/ 0	4: 0/ 0	

放送年月日	1989年6月4日(日)
採録時刻	05:40〜05:45
チャンネル	1(ＮＨＫ総合)
ジャンル	報道系
本編秒数	300
番組分数	30
視聴率１	0.9
視聴率２	4.1
本編話者数	3
(男: 3 女: 0 不明: 0)	

標本:０２５４　番組名:「話題の医学」

語数	延べ	異なり	語の密度	延べ	異なり	CM語数	延べ	異なり
音声	234	164	音声	46.8	32.8	音声	-	-
画面	365	106	画面	73.0	21.2	画面	-	-

語種	和	漢	外	混	不明
音声	77(32.9)	96(41.0)	13(5.6)	48(20.5)	0(0.0)
	46(28.0)	80(48.8)	6(3.7)	32(19.5)	0(0.0)
画面	14(3.8)	232(63.6)	15(4.1)	35(9.6)	69(18.9)
	11(10.4)	70(66.0)	4(3.8)	12(11.3)	9(8.5)
品詞	体	用	相	他	不明
音声	148(63.2)	55(23.5)	22(9.4)	9(3.8)	0(0.0)
	113(68.9)	31(18.9)	14(8.5)	6(3.7)	0(0.0)
画面	283(77.5)	8(2.2)	5(1.4)	0(0.0)	69(18.9)
	86(81.1)	6(5.7)	5(4.7)	0(0.0)	9(8.5)
画面媒体(延/異)	1: 365/106	2: 0/ 0	3: 0/ 0	4: 0/ 0	

放送年月日	1989年6月4日(日)
採録時刻	06:05〜06:10
チャンネル	12(テレビ東京)
ジャンル	一般実用系
本編秒数	300
番組分数	15
視聴率１	0.0
視聴率２	9.2
本編話者数	1
(男: 1 女: 0 不明: 0)	

標本:０２５５　番組名:「ザ・テレビ演芸」

語数	延べ	異なり	語の密度	延べ	異なり	CM語数	延べ	異なり
音声	309	169	音声	94.6	51.7	音声	74	68
画面	9	8	画面	2.8	2.4	画面	123	97

語種	和	漢	外	混	不明
音声	229(74.1)	49(15.9)	11(3.6)	20(6.5)	0(0.0)
	110(65.1)	35(20.7)	8(4.7)	16(9.5)	0(0.0)
画面	3(33.3)	1(11.1)	2(22.2)	3(33.3)	0(0.0)
	3(37.5)	1(12.5)	2(25.0)	2(25.0)	0(0.0)
品詞	体	用	相	他	不明
音声	135(43.7)	55(17.8)	74(23.9)	45(14.6)	0(0.0)
	86(50.9)	27(16.0)	36(21.3)	20(11.8)	0(0.0)
画面	9(100.0)	0(0.0)	0(0.0)	0(0.0)	0(0.0)
	8(100.0)	0(0.0)	0(0.0)	0(0.0)	0(0.0)
画面媒体(延/異)	1: 9/ 8	2: 0/ 0	3: 0/ 0	4: 0/ 0	

放送年月日	1989年6月4日(日)
採録時刻	15:00〜15:05
チャンネル	10(テレビ朝日)
ジャンル	バラエティー系
本編秒数	196
番組分数	55
視聴率１	5.0
視聴率２	37.9
本編話者数	5
(男: 4 女: 1 不明: 0)	

標本:０２５６　番組名:「聴力障害者の時間」

語 数	延べ	異なり	語の密度	延べ	異なり	CM語数	延べ	異なり
音声	236	139	音声	47.2	27.8	音声	-	-
画面	3	3	画面	0.6	0.6	画面	-	-

語 種	和	漢	外	混	不明
音声	150(63.6)	49(20.8)	11(4.7)	25(10.6)	1(0.4)
	76(54.7)	35(25.2)	7(5.0)	20(14.4)	1(0.7)
画面	1(33.3)	0(0.0)	1(33.3)	1(33.3)	0(0.0)
	1(33.3)	0(0.0)	1(33.3)	1(33.3)	0(0.0)
品 詞	体	用	相	他	不明
音声	118(50.0)	60(25.4)	49(20.8)	9(3.8)	0(0.0)
	71(51.1)	37(26.6)	24(17.3)	7(5.0)	0(0.0)
画面	3(100.0)	0(0.0)	0(0.0)	0(0.0)	0(0.0)
	3(100.0)	0(0.0)	0(0.0)	0(0.0)	0(0.0)

画面媒体(延/異)　1: 3/ 3　2: 0/ 0　3: 0/ 0　4: 0/ 0

放送年月日	1989年6月4日(日)
採録時刻	18:50〜18:55
チャンネル	3(ＮＨＫ教育)
ジャンル	一般実用系
本編秒数	300
番組分数	20
視聴率１	0.5
視聴率２	55.9
本編話者数	5
(男: 2 女: 3 不明: 0)	

標本:０２５７　番組名:「彼女が水着に着がえたらに連れてって」

語 数	延べ	異なり	語の密度	延べ	異なり	CM語数	延べ	異なり
音声	387	196	音声	77.4	39.2	音声	-	-
画面	8	7	画面	1.6	1.4	画面	-	-

語 種	和	漢	外	混	不明
音声	297(76.7)	45(11.6)	24(6.2)	21(5.4)	0(0.0)
	129(65.8)	27(13.8)	22(11.2)	18(9.2)	0(0.0)
画面	0(0.0)	0(0.0)	2(25.0)	2(25.0)	4(50.0)
	0(0.0)	0(0.0)	1(14.3)	2(28.6)	4(57.1)
品 詞	体	用	相	他	不明
音声	187(48.3)	86(22.2)	83(21.4)	31(8.0)	0(0.0)
	106(54.1)	47(24.0)	34(17.3)	9(4.6)	0(0.0)
画面	4(50.0)	0(0.0)	0(0.0)	0(0.0)	4(50.0)
	3(42.9)	0(0.0)	0(0.0)	0(0.0)	4(57.1)

画面媒体(延/異)　1: 8/ 7　2: 0/ 0　3: 0/ 0　4: 0/ 0

放送年月日	1989年6月4日(日)
採録時刻	01:40〜01:45
チャンネル	8(フジテレビ)
ジャンル	バラエティー系
本編秒数	300
番組分数	55
視聴率１	1.2
視聴率２	4.7
本編話者数	2
(男: 2 女: 0 不明: 0)	

標本:０２５８　番組名:「朝の連続ドラマ・花ちりめん」

語 数	延べ	異なり	語の密度	延べ	異なり	CM語数	延べ	異なり
音声	215	136	音声	43.0	27.2	音声	-	-
画面	7	6	画面	1.4	1.2	画面	-	-

語 種	和	漢	外	混	不明
音声	171(79.5)	27(12.6)	0(0.0)	17(7.9)	0(0.0)
	105(77.2)	20(14.7)	0(0.0)	11(8.1)	0(0.0)
画面	3(42.9)	2(28.6)	0(0.0)	2(28.6)	0(0.0)
	3(50.0)	1(16.7)	0(0.0)	2(33.3)	0(0.0)
品 詞	体	用	相	他	不明
音声	109(50.7)	46(21.4)	36(16.7)	24(11.2)	0(0.0)
	63(46.3)	35(25.7)	25(18.4)	13(9.6)	0(0.0)
画面	7(100.0)	0(0.0)	0(0.0)	0(0.0)	0(0.0)
	6(100.0)	0(0.0)	0(0.0)	0(0.0)	0(0.0)

画面媒体(延/異)　1: 2/ 2　2: 0/ 0　3: 0/ 0　4: 5/ 4

放送年月日	1989年6月5日(月)
採録時刻	10:35〜10:40
チャンネル	4(日本テレビ)
ジャンル	ストーリー系
本編秒数	300
番組分数	25
視聴率１	2.3
視聴率２	16.3
本編話者数	8
(男: 4 女: 4 不明: 0)	

標本:０２５９　番組名:「親子ゲーム」

語数	延べ	異なり	語の密度	延べ	異なり	CM語数	延べ	異なり
音声	127	114	音声	62.0	55.6	音声	133	96
画面	47	34	画面	22.9	16.6	画面	204	135

語種	和	漢	外	混	不明
音声	78(61.4)	27(21.3)	7(5.5)	15(11.8)	0(0.0)
	68(59.6)	25(21.9)	7(6.1)	14(12.3)	0(0.0)
画面	4(8.5)	11(23.4)	7(14.9)	17(36.2)	8(17.0)
	3(8.8)	10(29.4)	5(14.7)	12(35.3)	4(11.8)
品詞	体	用	相	他	不明
音声	82(64.6)	24(18.9)	19(15.0)	2(1.6)	0(0.0)
	75(65.8)	23(20.2)	14(12.3)	2(1.8)	0(0.0)
画面	39(83.0)	0(0.0)	0(0.0)	0(0.0)	8(17.0)
	30(88.2)	0(0.0)	0(0.0)	0(0.0)	4(11.8)
画面媒体(延/異)	1: 46/34	2: 0/ 0	3: 1/ 1	4: 0/ 0	

放送年月日	1989年6月5日(月)
採録時刻	17:55〜18:00
チャンネル	6(ＴＢＳ)
ジャンル	ストーリー系
本編秒数	123
番組分数	60
視聴率１	9.8
視聴率２	35.8
本編話者数	19
	(男: 8 女: 11 不明: 0)

標本:０２６０　番組名:「ニュースステーション」

語数	延べ	異なり	語の密度	延べ	異なり	CM語数	延べ	異なり
音声	423	221	音声	84.6	44.2	音声	-	-
画面	101	75	画面	20.2	15.0	画面	-	-

語種	和	漢	外	混	不明
音声	284(67.1)	85(20.1)	5(1.2)	49(11.6)	0(0.0)
	123(55.7)	57(25.8)	5(2.3)	36(16.3)	0(0.0)
画面	23(22.8)	48(47.5)	2(2.0)	26(25.7)	2(2.0)
	10(13.3)	37(49.3)	2(2.7)	25(33.3)	1(1.3)
品詞	体	用	相	他	不明
音声	195(46.1)	111(26.2)	75(17.7)	42(9.9)	0(0.0)
	115(52.0)	57(25.8)	36(16.3)	13(5.9)	0(0.0)
画面	80(79.2)	11(10.9)	2(2.0)	6(5.9)	2(2.0)
	65(86.7)	5(6.7)	2(2.7)	2(2.7)	1(1.3)
画面媒体(延/異)	1: 101/75	2: 0/ 0	3: 0/ 0	4: 0/ 0	

放送年月日	1989年6月5日(月)
採録時刻	22:40〜22:45
チャンネル	10(テレビ朝日)
ジャンル	報道系
本編秒数	300
番組分数	78
視聴率１	25.7
視聴率２	62.3
本編話者数	18
	(男: 12 女: 6 不明: 0)

標本:０２６１　番組名:「ノーカット世界名作劇場・カサノバ」

語数	延べ	異なり	語の密度	延べ	異なり	CM語数	延べ	異なり
音声	6	6	音声	1.2	1.2	音声	-	-
画面	57	42	画面	11.4	8.4	画面	-	-

語種	和	漢	外	混	不明
音声	2(33.3)	2(33.3)	1(16.7)	1(16.7)	0(0.0)
	2(33.3)	2(33.3)	1(16.7)	1(16.7)	0(0.0)
画面	8(14.0)	13(22.8)	14(24.6)	6(10.5)	16(28.1)
	8(19.0)	11(26.2)	13(31.0)	5(11.9)	5(11.9)
品詞	体	用	相	他	不明
音声	4(66.7)	1(16.7)	1(16.7)	0(0.0)	0(0.0)
	4(66.7)	1(16.7)	1(16.7)	0(0.0)	0(0.0)
画面	39(68.4)	2(3.5)	0(0.0)	0(0.0)	16(28.1)
	35(83.3)	2(4.8)	0(0.0)	0(0.0)	5(11.9)
画面媒体(延/異)	1: 57/42	2: 0/ 0	3: 0/ 0	4: 0/ 0	

放送年月日	1989年6月6日(火)
採録時刻	05:05〜05:10
チャンネル	6(ＴＢＳ)
ジャンル	ストーリー系
本編秒数	300
番組分数	155
視聴率１	1.3
視聴率２	3.0
本編話者数	1
	(男: 1 女: 0 不明: 0)

標本:０２６２　番組名:「モーニングコール」

語 数	延べ	異なり	語の密度	延べ	異なり	CM語数	延べ	異なり
音声	443	321	音声	97.4	70.5	音声	16	14
画面	54	41	画面	11.9	9.0	画面	3	3

語 種	和	漢	外	混	不明
音声	260(58.7)	111(25.1)	20(4.5)	52(11.7)	0(0.0)
	165(51.4)	93(29.0)	14(4.4)	49(15.3)	0(0.0)
画面	13(24.1)	14(25.9)	5(9.3)	13(24.1)	9(16.7)
	11(26.8)	11(26.8)	3(7.3)	12(29.3)	4(9.8)
品 詞	体	用	相	他	不明
音声	254(57.3)	94(21.2)	48(10.8)	47(10.6)	0(0.0)
	202(62.9)	66(20.6)	40(12.5)	13(4.0)	0(0.0)
画面	42(77.8)	3(5.6)	0(0.0)	0(0.0)	9(16.7)
	35(85.4)	2(4.9)	0(0.0)	0(0.0)	4(9.8)
画面媒体(延/異)	1: 44/37	2: 6/ 4	3: 0/ 0	4: 4/ 4	

放送年月日	1989年6月6日(火)
採録時刻	07:00〜07:05
チャンネル	8(フジテレビ)
ジャンル	報道系
本編秒数	273
番組分数	70
視聴率1	4.3
視聴率2	46.1
本編話者数	7
(男: 1 女: 6 不明: 0)	

標本:０２６３　番組名:「婦人百科」

語 数	延べ	異なり	語の密度	延べ	異なり	CM語数	延べ	異なり
音声	510	187	音声	102.0	37.4	音声	-	-
画面	17	12	画面	3.4	2.4	画面	-	-

語 種	和	漢	外	混	不明
音声	404(79.2)	63(12.4)	25(4.9)	18(3.5)	0(0.0)
	132(70.6)	32(17.1)	13(7.0)	10(5.3)	0(0.0)
画面	3(17.6)	11(64.7)	2(11.8)	1(5.9)	0(0.0)
	3(25.0)	6(50.0)	2(16.7)	1(8.3)	0(0.0)
品 詞	体	用	相	他	不明
音声	181(35.5)	101(19.8)	129(25.3)	99(19.4)	0(0.0)
	79(42.2)	52(27.8)	43(23.0)	13(7.0)	0(0.0)
画面	17(100.0)	0(0.0)	0(0.0)	0(0.0)	0(0.0)
	12(100.0)	0(0.0)	0(0.0)	0(0.0)	0(0.0)
画面媒体(延/異)	1: 0/ 0	2: 17/12	3: 0/ 0	4: 0/ 0	

放送年月日	1989年6月6日(火)
採録時刻	16:50〜16:55
チャンネル	3(ＮＨＫ教育)
ジャンル	一般実用系
本編秒数	300
番組分数	30
視聴率1	0.6
視聴率2	23.8
本編話者数	2
(男: 0 女: 2 不明: 0)	

標本:０２６４　番組名:「７時のニュース・天気予報」

語 数	延べ	異なり	語の密度	延べ	異なり	CM語数	延べ	異なり
音声	361	238	音声	72.2	47.6	音声	-	-
画面	40	35	画面	8.0	7.0	画面	-	-

語 種	和	漢	外	混	不明
音声	156(43.2)	140(38.8)	13(3.6)	51(14.1)	1(0.3)
	90(37.8)	102(42.9)	6(2.5)	39(16.4)	1(0.4)
画面	4(10.0)	22(55.0)	1(2.5)	9(22.5)	4(10.0)
	4(11.4)	20(57.1)	1(2.9)	8(22.9)	2(5.7)
品 詞	体	用	相	他	不明
音声	213(59.0)	97(26.9)	38(10.5)	13(3.6)	0(0.0)
	144(60.5)	60(25.2)	26(10.9)	8(3.4)	0(0.0)
画面	31(77.5)	3(7.5)	2(5.0)	0(0.0)	4(10.0)
	28(80.0)	3(8.6)	2(5.7)	0(0.0)	2(5.7)
画面媒体(延/異)	1: 39/34	2: 0/ 0	3: 0/ 0	4: 1/ 1	

放送年月日	1989年6月6日(火)
採録時刻	19:10〜19:15
チャンネル	1(ＮＨＫ総合)
ジャンル	報道系
本編秒数	300
番組分数	27
視聴率1	17.7
視聴率2	59.3
本編話者数	9
(男: 6 女: 3 不明: 0)	

標本:０２６５　番組名:「サウンドスポット」

語数	延べ	異なり	語の密度	延べ	異なり	CM語数	延べ	異なり
音声	78	60	音声	19.5	15.0	音声	55	48
画面	24	12	画面	6.0	3.0	画面	74	61

語種	和	漢	外	混	不明
音声	54(69.2)	14(17.9)	5(6.4)	5(6.4)	0(0.0)
	46(76.7)	4(6.7)	5(8.3)	5(8.3)	0(0.0)
画面	3(12.5)	2(8.3)	9(37.5)	10(41.7)	0(0.0)
	2(16.7)	1(8.3)	4(33.3)	5(41.7)	0(0.0)

品詞	体	用	相	他	不明
音声	32(41.0)	22(28.2)	20(25.6)	4(5.1)	0(0.0)
	27(45.0)	19(31.7)	11(18.3)	3(5.0)	0(0.0)
画面	24(100.0)	0(0.0)	0(0.0)	0(0.0)	0(0.0)
	12(100.0)	0(0.0)	0(0.0)	0(0.0)	0(0.0)

画面媒体(延/異): 1: 24/12 2: 0/ 0 3: 0/ 0 4: 0/ 0

放送年月日	1989年6月6日(火)
採録時刻	04:50〜04:55
チャンネル	4(日本テレビ)
ジャンル	音楽系
本編秒数	240
番組分数	3
視聴率１	0.7
視聴率２	1.7
本編話者数	2
(男: 0 女: 2 不明: 0)	

標本:０２６６　番組名:「ビジネスマンＮＥＷＳ」

語数	延べ	異なり	語の密度	延べ	異なり	CM語数	延べ	異なり
音声	393	276	音声	78.6	55.2	音声	-	-
画面	120	68	画面	24.0	13.6	画面	-	-

語種	和	漢	外	混	不明
音声	184(46.8)	111(28.2)	28(7.1)	70(17.8)	0(0.0)
	99(35.9)	98(35.5)	25(9.1)	54(19.6)	0(0.0)
画面	16(13.3)	35(29.2)	7(5.8)	28(23.3)	34(28.3)
	10(14.7)	25(36.8)	4(5.9)	20(29.4)	9(13.2)

品詞	体	用	相	他	不明
音声	237(60.3)	86(21.9)	42(10.7)	28(7.1)	0(0.0)
	188(68.1)	53(19.2)	26(9.4)	9(3.3)	0(0.0)
画面	83(69.2)	2(1.7)	1(0.8)	0(0.0)	34(28.3)
	56(82.4)	2(2.9)	1(1.5)	0(0.0)	9(13.2)

画面媒体(延/異): 1: 96/50 2: 0/ 0 3: 0/ 0 4: 24/20

放送年月日	1989年6月7日(水)
採録時刻	06:50〜06:55
チャンネル	12(テレビ東京)
ジャンル	報道系
本編秒数	300
番組分数	60
視聴率１	1.7
視聴率２	41.0
本編話者数	5
(男: 3 女: 2 不明: 0)	

標本:０２６７　番組名:「気まぐれ紀行」

語数	延べ	異なり	語の密度	延べ	異なり	CM語数	延べ	異なり
音声	537	212	音声	107.4	42.4	音声	-	-
画面	26	23	画面	5.2	4.6	画面	-	-

語種	和	漢	外	混	不明
音声	415(77.3)	70(13.0)	10(1.9)	42(7.8)	0(0.0)
	145(68.4)	37(17.5)	3(1.4)	27(12.7)	0(0.0)
画面	9(34.6)	7(26.9)	1(3.8)	6(23.1)	3(11.5)
	8(34.8)	6(26.1)	1(4.3)	5(21.7)	3(13.0)

品詞	体	用	相	他	不明
音声	255(47.5)	86(16.0)	98(18.2)	98(18.2)	0(0.0)
	111(52.4)	45(21.2)	35(16.5)	21(9.9)	0(0.0)
画面	23(88.5)	0(0.0)	0(0.0)	0(0.0)	3(11.5)
	20(87.0)	0(0.0)	0(0.0)	0(0.0)	3(13.0)

画面媒体(延/異): 1: 25/22 2: 0/ 0 3: 0/ 0 4: 1/ 1

放送年月日	1989年6月7日(水)
採録時刻	12:15〜12:20
チャンネル	12(テレビ東京)
ジャンル	バラエティー系
本編秒数	300
番組分数	60
視聴率１	0.9
視聴率２	40.5
本編話者数	8
(男: 1 女: 7 不明: 0)	

標本:０２６８　番組名:「パワーアップナイター・西武×ロッテ」

語 数	延べ	異なり	語の密度	延べ	異なり	CM語数	延べ	異なり
音声	400	204	音声	93.4	47.6	音声	65	27
画面	166	42	画面	38.8	9.8	画面	30	22

語 種	和	漢	外	混	不明
音声	262(65.5)	58(14.5)	38(9.5)	42(10.5)	0(0.0)
	101(49.5)	45(22.1)	25(12.3)	33(16.2)	0(0.0)
画面	12(7.2)	60(36.1)	46(27.7)	18(10.8)	30(18.1)
	4(9.5)	17(40.5)	7(16.7)	9(21.4)	5(11.9)
品 詞	体	用	相	他	不明
音声	203(50.8)	77(19.3)	66(16.5)	54(13.5)	0(0.0)
	113(55.4)	41(20.1)	36(17.6)	14(6.9)	0(0.0)
画面	136(81.9)	0(0.0)	0(0.0)	0(0.0)	30(18.1)
	37(88.1)	0(0.0)	0(0.0)	0(0.0)	5(11.9)
画面媒体(延/異)	1: 145/37	2: 0/ 0	3: 0/ 0	4: 21/1	

放送年月日	1989年6月7日(水)
採録時刻	19:55〜20:00
チャンネル	10(テレビ朝日)
ジャンル	スポーツ系
本編秒数	257
番組分数	112
視聴率１	3.9
視聴率２	69.9
本編話者数	6
	(男: 5 女: 1 不明: 0)

標本:０２６９　番組名:「おはよう天気」

語 数	延べ	異なり	語の密度	延べ	異なり	CM語数	延べ	異なり
音声	266	164	音声	53.2	32.8	音声	−	−
画面	153	88	画面	30.6	17.6	画面	−	−

語 種	和	漢	外	混	不明
音声	145(54.5)	71(26.7)	16(6.0)	33(12.4)	1(0.4)
	73(44.5)	45(27.4)	16(9.8)	29(17.7)	1(0.6)
画面	12(7.8)	42(27.5)	20(13.1)	15(9.8)	64(41.8)
	12(13.6)	36(40.9)	20(22.7)	15(17.0)	5(5.7)
品 詞	体	用	相	他	不明
音声	178(66.9)	57(21.4)	24(9.0)	7(2.6)	0(0.0)
	116(70.7)	29(17.7)	17(10.4)	2(1.2)	0(0.0)
画面	89(58.2)	0(0.0)	0(0.0)	0(0.0)	64(41.8)
	83(94.3)	0(0.0)	0(0.0)	0(0.0)	5(5.7)
画面媒体(延/異)	1: 151/86	2: 2/ 2	3: 0/ 0	4: 0/ 0	

放送年月日	1989年6月8日(木)
採録時刻	05:20〜05:25
チャンネル	4(日本テレビ)
ジャンル	報道系
本編秒数	300
番組分数	45
視聴率１	2.6
視聴率２	3.4
本編話者数	1
	(男: 0 女: 1 不明: 0)

標本:０２７０　番組名:「テレビコラム」

語 数	延べ	異なり	語の密度	延べ	異なり	CM語数	延べ	異なり
音声	561	216	音声	112.2	43.2	音声	−	−
画面	12	10	画面	2.4	2.0	画面	−	−

語 種	和	漢	外	混	不明
音声	427(76.1)	91(16.2)	20(3.6)	23(4.1)	0(0.0)
	138(63.9)	58(26.9)	7(3.2)	13(6.0)	0(0.0)
画面	6(50.0)	2(16.7)	2(16.7)	2(16.7)	0(0.0)
	5(50.0)	2(20.0)	1(10.0)	2(20.0)	0(0.0)
品 詞	体	用	相	他	不明
音声	257(45.8)	146(26.0)	104(18.5)	54(9.6)	0(0.0)
	98(45.4)	60(27.8)	44(20.4)	14(6.5)	0(0.0)
画面	11(91.7)	1(8.3)	0(0.0)	0(0.0)	0(0.0)
	9(90.0)	1(10.0)	0(0.0)	0(0.0)	0(0.0)
画面媒体(延/異)	1: 12/10	2: 0/ 0	3: 0/ 0	4: 0/ 0	

放送年月日	1989年6月8日(木)
採録時刻	08:55〜09:00
チャンネル	3(ＮＨＫ教育)
ジャンル	教育・教養系
本編秒数	300
番組分数	15
視聴率１	0.1
視聴率２	40.8
本編話者数	1
	(男: 1 女: 0 不明: 0)

標本:０２７１　番組名:「名作ドラマシリーズ・ガンコおやじに敬礼！」

語数	延べ	異なり	語の密度	延べ	異なり	CM語数	延べ	異なり
音声	128	97	音声	36.6	27.7	音声	88	69
画面	1	1	画面	0.3	0.3	画面	77	59

語種	和	漢	外	混	不明
音声	107(83.6)	13(10.2)	0(0.0)	8(6.3)	0(0.0)
	79(81.4)	12(12.4)	0(0.0)	6(6.2)	0(0.0)
画面	0(0.0)	0(0.0)	0(0.0)	0(0.0)	1(100.0)
	0(0.0)	0(0.0)	0(0.0)	0(0.0)	1(100.0)

品詞	体	用	相	他	不明
音声	56(43.8)	34(26.6)	25(19.5)	13(10.2)	0(0.0)
	41(42.3)	28(28.9)	19(19.6)	9(9.3)	0(0.0)
画面	1(100.0)	0(0.0)	0(0.0)	0(0.0)	0(0.0)
	1(100.0)	0(0.0)	0(0.0)	0(0.0)	0(0.0)

画面媒体(延/異)　1:　0/ 0　2:　0/ 0　3:　0/ 0　4:　1/ 1

放送年月日	1989年6月8日(木)
採録時刻	14:45～14:50
チャンネル	6(ＴＢＳ)
ジャンル	ストーリー系
本編秒数	210
番組分数	55
視聴率１	6.2
視聴率２	27.1
本編話者数	10
(男: 6 女: 4 不明: 0)	

標本:０２７２　番組名:「木曜劇場・ハートに火をつけて！」

語数	延べ	異なり	語の密度	延べ	異なり	CM語数	延べ	異なり
音声	153	98	音声	30.6	19.6	音声	-	-
画面	0	0	画面	0.0	0.0	画面	-	-

語種	和	漢	外	混	不明
音声	130(85.0)	14(9.2)	0(0.0)	9(5.9)	0(0.0)
	76(77.6)	14(14.3)	0(0.0)	8(8.2)	0(0.0)
画面	0(0.0)	0(0.0)	0(0.0)	0(0.0)	0(0.0)
	0(0.0)	0(0.0)	0(0.0)	0(0.0)	0(0.0)

品詞	体	用	相	他	不明
音声	56(36.6)	29(19.0)	28(18.3)	40(26.1)	0(0.0)
	46(46.9)	19(19.4)	17(17.3)	16(16.3)	0(0.0)
画面	0(0.0)	0(0.0)	0(0.0)	0(0.0)	0(0.0)
	0(0.0)	0(0.0)	0(0.0)	0(0.0)	0(0.0)

画面媒体(延/異)　1:　0/ 0　2:　0/ 0　3:　0/ 0　4:　0/ 0

放送年月日	1989年6月8日(木)
採録時刻	23:10～23:15
チャンネル	8(フジテレビ)
ジャンル	ストーリー系
本編秒数	300
番組分数	54
視聴率１	21.8
視聴率２	51.7
本編話者数	6
(男: 4 女: 2 不明: 0)	

標本:０２７３　番組名:-

語数	延べ	異なり	語の密度	延べ	異なり	CM語数	延べ	異なり
音声	-	-	音声	-	-	音声	-	-
画面	-	-	画面	-	-	画面	-	-

語種	和	漢	外	混	不明
音声	-(-)	-(-)	-(-)	-(-)	-(-)
	-(-)	-(-)	-(-)	-(-)	-(-)
画面	-(-)	-(-)	-(-)	-(-)	-(-)
	-(-)	-(-)	-(-)	-(-)	-(-)

品詞	体	用	相	他	不明
音声	-(-)	-(-)	-(-)	-(-)	-(-)
	-(-)	-(-)	-(-)	-(-)	-(-)
画面	-(-)	-(-)	-(-)	-(-)	-(-)
	-(-)	-(-)	-(-)	-(-)	-(-)

画面媒体(延/異)　1:　-/ -　2:　-/ -　3:　-/ -　4:　-/ -

放送年月日	1989年6月8日(木)
採録時刻	03:30～03:35
チャンネル	1(ＮＨＫ総合)
ジャンル	-
本編秒数	300
番組分数	-
視聴率１	-
視聴率２	-
本編話者数	-
(男: - 女: - 不明: -)	

標本:０２７４　番組名:「ルンルンあさ６生情報」

語 数	延べ	異なり	語の密度	延べ	異なり	CM語数	延べ	異なり
音声	178	133	音声	87.5	65.4	音声	140	119
画面	110	76	画面	54.1	37.4	画面	175	131

語 種	和	漢	外	混	不明
音声	97(54.5)	48(27.0)	4(2.2)	28(15.7)	1(0.6)
	64(48.1)	41(30.8)	3(2.3)	24(18.0)	1(0.8)
画面	12(10.9)	40(36.4)	5(4.5)	15(13.6)	38(34.5)
	12(15.8)	32(42.1)	5(6.6)	13(17.1)	14(18.4)

品 詞	体	用	相	他	不明
音声	110(61.8)	31(17.4)	20(11.2)	17(9.6)	0(0.0)
	92(69.2)	23(17.3)	13(9.8)	5(3.8)	0(0.0)
画面	75(68.2)	1(0.9)	0(0.0)	0(0.0)	34(30.9)
	65(85.5)	1(1.3)	0(0.0)	0(0.0)	10(13.2)

画面媒体(延/異) 1: 108/74 2: 0/ 0 3: 2/ 2 4: 0/ 0

放送年月日	1989年6月9日(金)
採録時刻	06:40〜06:45
チャンネル	4(日本テレビ)
ジャンル	一般実用系
本編秒数	122
番組分数	45
視聴率１	7.0
視聴率２	32.3
本編話者数	3
	(男: 2 女: 1 不明: 0)

標本:０２７５　番組名:「欽どこＴＶ！！」

語 数	延べ	異なり	語の密度	延べ	異なり	CM語数	延べ	異なり
音声	311	176	音声	88.9	50.3	音声	134	89
画面	29	26	画面	8.3	7.4	画面	25	23

語 種	和	漢	外	混	不明
音声	255(82.0)	37(11.9)	6(1.9)	13(4.2)	0(0.0)
	127(72.2)	33(18.8)	4(2.3)	12(6.8)	0(0.0)
画面	5(17.2)	7(24.1)	4(13.8)	6(20.7)	7(24.1)
	5(19.2)	7(26.9)	4(15.4)	5(19.2)	5(19.2)

品 詞	体	用	相	他	不明
音声	107(34.4)	71(22.8)	67(21.5)	66(21.2)	0(0.0)
	74(42.0)	46(26.1)	34(19.3)	22(12.5)	0(0.0)
画面	20(69.0)	1(3.4)	2(6.9)	0(0.0)	6(20.7)
	19(73.1)	1(3.8)	2(7.7)	0(0.0)	4(15.4)

画面媒体(延/異) 1: 13/12 2: 0/ 0 3: 0/ 0 4: 16/16

放送年月日	1989年6月9日(金)
採録時刻	12:40〜12:45
チャンネル	10(テレビ朝日)
ジャンル	バラエティー系
本編秒数	210
番組分数	55
視聴率１	5.9
視聴率２	45.7
本編話者数	6
	(男: 6 女: 0 不明: 0)

標本:０２７６　番組名:「極めるII」

語 数	延べ	異なり	語の密度	延べ	異なり	CM語数	延べ	異なり
音声	78	63	音声	22.3	18.0	音声	47	36
画面	22	19	画面	6.3	5.4	画面	48	34

語 種	和	漢	外	混	不明
音声	62(79.5)	14(17.9)	1(1.3)	1(1.3)	0(0.0)
	47(74.6)	14(22.2)	1(1.6)	1(1.6)	0(0.0)
画面	8(36.4)	6(27.3)	4(18.2)	3(13.6)	1(4.5)
	7(36.8)	5(26.3)	4(21.1)	2(10.5)	1(5.3)

品 詞	体	用	相	他	不明
音声	47(60.3)	22(28.2)	9(11.5)	0(0.0)	0(0.0)
	34(54.0)	20(31.7)	9(14.3)	0(0.0)	0(0.0)
画面	18(81.8)	2(9.1)	1(4.5)	0(0.0)	1(4.5)
	15(78.9)	2(10.5)	1(5.3)	0(0.0)	1(5.3)

画面媒体(延/異) 1: 22/19 2: 0/ 0 3: 0/ 0 4: 0/ 0

放送年月日	1989年6月9日(金)
採録時刻	22:00〜22:05
チャンネル	12(テレビ東京)
ジャンル	教育・教養系
本編秒数	210
番組分数	30
視聴率１	1.7
視聴率２	67.1
本編話者数	2
	(男: 0 女: 2 不明: 0)

標本:０２７７　番組名:「ジャストポップアップ」

語数	延べ	異なり	語の密度	延べ	異なり	CM語数	延べ	異なり
音声	197	104	音声	39.4	20.8	音声	-	-
画面	240	136	画面	48.0	27.2	画面	-	-

語種	和	漢	外	混	不明
音声	145(73.6)	24(12.2)	20(10.2)	8(4.1)	0(0.0)
	68(65.4)	18(17.3)	11(10.6)	7(6.7)	0(0.0)
画面	65(27.1)	50(20.8)	44(18.3)	16(6.7)	65(27.1)
	42(30.9)	42(30.9)	28(20.6)	15(11.0)	9(6.6)

品詞	体	用	相	他	不明
音声	70(35.5)	29(14.7)	39(19.8)	59(29.9)	0(0.0)
	51(49.0)	17(16.3)	21(20.2)	15(14.4)	0(0.0)
画面	128(53.3)	28(11.7)	15(6.3)	4(1.7)	65(27.1)
	95(69.9)	19(14.0)	10(7.4)	3(2.2)	9(6.6)

画面媒体(延/異)	1: 238/134	2: 0/ 0	3: 1/ 1	4: 1/ 1

放送年月日	1989年6月9日(金)
採録時刻	00:35〜00:40
チャンネル	1(ＮＨＫ総合)
ジャンル	音楽系
本編秒数	300
番組分数	55
視聴率１	1.0
視聴率２	15.0
本編話者数	5
	(男: 4 女: 1 不明: 0)

標本:０２７８　番組名:「ヘルシークッキング」

語数	延べ	異なり	語の密度	延べ	異なり	CM語数	延べ	異なり
音声	410	162	音声	82.0	32.4	音声	-	-
画面	17	14	画面	3.4	2.8	画面	-	-

語種	和	漢	外	混	不明
音声	349(85.1)	48(11.7)	1(0.2)	12(2.9)	0(0.0)
	126(77.8)	27(16.7)	1(0.6)	8(4.9)	0(0.0)
画面	6(35.3)	8(47.1)	0(0.0)	1(5.9)	2(11.8)
	6(42.9)	6(42.9)	0(0.0)	1(7.1)	1(7.1)

品詞	体	用	相	他	不明
音声	144(35.1)	77(18.8)	92(22.4)	97(23.7)	0(0.0)
	68(42.0)	39(24.1)	34(21.0)	21(13.0)	0(0.0)
画面	12(70.6)	3(17.6)	0(0.0)	0(0.0)	2(11.8)
	10(71.4)	3(21.4)	0(0.0)	0(0.0)	1(7.1)

画面媒体(延/異)	1: 17/14	2: 0/ 0	3: 0/ 0	4: 0/ 0

放送年月日	1989年6月10日(土)
採録時刻	07:50〜07:55
チャンネル	8(フジテレビ)
ジャンル	一般実用系
本編秒数	300
番組分数	15
視聴率１	2.5
視聴率２	54.4
本編話者数	2
	(男: 1 女: 1 不明: 0)

標本:０２７９　番組名:「スーパースター勢揃い！ついにベールを脱ぐ超大作２２６の全貌」

語数	延べ	異なり	語の密度	延べ	異なり	CM語数	延べ	異なり
音声	170	119	音声	48.6	34.0	音声	61	54
画面	19	19	画面	5.4	5.4	画面	79	65

語種	和	漢	外	混	不明
音声	129(75.9)	25(14.7)	2(1.2)	13(7.6)	1(0.6)
	84(70.6)	22(18.5)	2(1.7)	10(8.4)	1(0.8)
画面	5(26.3)	3(15.8)	2(10.5)	3(15.8)	6(31.6)
	5(26.3)	3(15.8)	2(10.5)	3(15.8)	6(31.6)

品詞	体	用	相	他	不明
音声	76(44.7)	44(25.9)	41(24.1)	9(5.3)	0(0.0)
	61(51.3)	28(23.5)	24(20.2)	6(5.0)	0(0.0)
画面	12(63.2)	1(5.3)	1(5.3)	0(0.0)	5(26.3)
	12(63.2)	1(5.3)	1(5.3)	0(0.0)	5(26.3)

画面媒体(延/異)	1: 19/19	2: 0/ 0	3: 0/ 0	4: 0/ 0

放送年月日	1989年6月10日(土)
採録時刻	16:00〜16:05
チャンネル	6(ＴＢＳ)
ジャンル	バラエティー系
本編秒数	210
番組分数	54
視聴率１	10.1
視聴率２	34.0
本編話者数	7
	(男: 5 女: 2 不明: 0)

標本:０２８０　番組名:「土曜倶楽部」

語 数	延べ	異なり	語の密度	延べ	異なり	CM語数	延べ	異なり
音声	413	196	音声	82.6	39.2	音声	-	-
画面	34	27	画面	6.8	5.4	画面	-	-

語 種	和	漢	外	混	不明
音声	324(78.5)	49(11.9)	15(3.6)	25(6.1)	0(0.0)
	133(67.9)	36(18.4)	10(5.1)	17(8.7)	0(0.0)
画面	15(44.1)	8(23.5)	6(17.6)	5(14.7)	0(0.0)
	13(48.1)	7(25.9)	3(11.1)	4(14.8)	0(0.0)

品 詞	体	用	相	他	不明
音声	158(38.3)	67(16.2)	117(28.3)	71(17.2)	0(0.0)
	88(44.9)	35(17.9)	54(27.6)	19(9.7)	0(0.0)
画面	27(79.4)	6(17.6)	1(2.9)	0(0.0)	0(0.0)
	21(77.8)	5(18.5)	1(3.7)	0(0.0)	0(0.0)

画面媒体(延/異): 1: 28/22 2: 6/ 5 3: 0/ 0 4: 0/ 0

放送年月日	1989年6月10日(土)
採録時刻	23:05～23:10
チャンネル	3(ＮＨＫ教育)
ジャンル	教育・教養系
本編秒数	300
番組分数	60
視聴率１	2.1
視聴率２	58.9
本編話者数	10
	(男: 7 女: 3 不明: 0)

標本:０２８１　番組名:「特捜刑事マイアミ・バイス」

語 数	延べ	異なり	語の密度	延べ	異なり	CM語数	延べ	異なり
音声	223	147	音声	44.6	29.4	音声	-	-
画面	5	5	画面	1.0	1.0	画面	-	-

語 種	和	漢	外	混	不明
音声	158(70.9)	27(12.1)	20(9.0)	13(5.8)	5(2.2)
	102(69.4)	19(12.9)	11(7.5)	12(8.2)	3(2.0)
画面	1(20.0)	1(20.0)	3(60.0)	0(0.0)	0(0.0)
	1(20.0)	1(20.0)	3(60.0)	0(0.0)	0(0.0)

品 詞	体	用	相	他	不明
音声	119(53.4)	60(26.9)	36(16.1)	8(3.6)	0(0.0)
	73(49.7)	40(27.2)	26(17.7)	8(5.4)	0(0.0)
画面	5(100.0)	0(0.0)	0(0.0)	0(0.0)	0(0.0)
	5(100.0)	0(0.0)	0(0.0)	0(0.0)	0(0.0)

画面媒体(延/異): 1: 5/ 5 2: 0/ 0 3: 0/ 0 4: 0/ 0

放送年月日	1989年6月10日(土)
採録時刻	01:55～02:00
チャンネル	12(テレビ東京)
ジャンル	ストーリー系
本編秒数	300
番組分数	55
視聴率１	1.3
視聴率２	12.6
本編話者数	6
	(男: 5 女: 1 不明: 0)

標本:０２８２　番組名:「将棋の時間」

語 数	延べ	異なり	語の密度	延べ	異なり	CM語数	延べ	異なり
音声	468	177	音声	93.6	35.4	音声	-	-
画面	248	22	画面	49.6	4.4	画面	-	-

語 種	和	漢	外	混	不明
音声	331(70.7)	78(16.7)	1(0.2)	55(11.8)	3(0.6)
	101(57.1)	38(21.5)	1(0.6)	34(19.2)	3(1.7)
画面	24(9.7)	224(90.3)	0(0.0)	0(0.0)	0(0.0)
	4(18.2)	18(81.8)	0(0.0)	0(0.0)	0(0.0)

品 詞	体	用	相	他	不明
音声	189(40.4)	72(15.4)	88(18.8)	117(25.0)	2(0.4)
	93(52.5)	32(18.1)	31(17.5)	19(10.7)	2(1.1)
画面	248(100.0)	0(0.0)	0(0.0)	0(0.0)	0(0.0)
	22(100.0)	0(0.0)	0(0.0)	0(0.0)	0(0.0)

画面媒体(延/異): 1: 0/ 0 2: 248/22 3: 0/ 0 4: 0/ 0

放送年月日	1989年6月11日(日)
採録時刻	11:40～11:45
チャンネル	3(ＮＨＫ教育)
ジャンル	一般実用系
本編秒数	300
番組分数	105
視聴率１	3.7
視聴率２	51.5
本編話者数	4
	(男: 2 女: 2 不明: 0)

標本:０２８３　番組名:「プロ野球・大洋×阪神」

語数	延べ	異なり	語の密度	延べ	異なり	CM語数	延べ	異なり
音声	200	138	音声	57.1	39.4	音声	67	59
画面	109	39	画面	31.1	11.1	画面	73	59

語種	和	漢	外	混	不明
音声	99(49.5)	45(22.5)	21(10.5)	35(17.5)	0(0.0)
	60(43.5)	32(23.2)	15(10.9)	31(22.5)	0(0.0)
画面	7(6.4)	42(38.5)	30(27.5)	11(10.1)	19(17.4)
	4(10.3)	15(38.5)	9(23.1)	8(20.5)	3(7.7)

品詞	体	用	相	他	不明
音声	131(65.5)	39(19.5)	17(8.5)	13(6.5)	0(0.0)
	91(65.9)	27(19.6)	14(10.1)	6(4.3)	0(0.0)
画面	90(82.6)	0(0.0)	0(0.0)	0(0.0)	19(17.4)
	36(92.3)	0(0.0)	0(0.0)	0(0.0)	3(7.7)

画面媒体(延/異)	1: 99/36	2: 0/ 0	3: 0/ 0	4: 10/ 4

放送年月日	1989年6月11日(日)
採録時刻	14:35〜14:40
チャンネル	6(ＴＢＳ)
ジャンル	スポーツ系
本編秒数	210
番組分数	84
視聴率１	8.0
視聴率２	42.5
本編話者数	4
(男: 3 女: 1 不明: 0)	

標本:０２８４　番組名:「クイズヒントでピント」

語数	延べ	異なり	語の密度	延べ	異なり	CM語数	延べ	異なり
音声	402	238	音声	89.3	52.9	音声	29	13
画面	203	44	画面	45.1	9.8	画面	4	3

語種	和	漢	外	混	不明
音声	263(65.4)	72(17.9)	25(6.2)	38(9.5)	4(1.0)
	135(56.7)	52(21.8)	16(6.7)	31(13.0)	4(1.7)
画面	28(13.8)	133(65.5)	2(1.0)	35(17.2)	5(2.5)
	14(31.8)	15(34.1)	1(2.3)	12(27.3)	2(4.5)

品詞	体	用	相	他	不明
音声	207(51.5)	51(12.7)	60(14.9)	83(20.6)	1(0.2)
	142(59.7)	36(15.1)	34(14.3)	25(10.5)	1(0.4)
画面	192(94.6)	6(3.0)	0(0.0)	0(0.0)	5(2.5)
	39(88.6)	3(6.8)	0(0.0)	0(0.0)	2(4.5)

画面媒体(延/異)	1: 6/ 6	2: 197/40	3: 0/ 0	4: 0/ 0

放送年月日	1989年6月11日(日)
採録時刻	19:30〜19:35
チャンネル	10(テレビ朝日)
ジャンル	バラエティー系
本編秒数	270
番組分数	30
視聴率１	6.4
視聴率２	65.1
本編話者数	11
(男: 5 女: 6 不明: 0)	

標本:０２８５　番組名:-

語数	延べ	異なり	語の密度	延べ	異なり	CM語数	延べ	異なり
音声	-	-	音声	-	-	音声	-	-
画面	-	-	画面	-	-	画面	-	-

語種	和	漢	外	混	不明
音声	-(-)	-(-)	-(-)	-(-)	-(-)
	-(-)	-(-)	-(-)	-(-)	-(-)
画面	-(-)	-(-)	-(-)	-(-)	-(-)
	-(-)	-(-)	-(-)	-(-)	-(-)

品詞	体	用	相	他	不明
音声	-(-)	-(-)	-(-)	-(-)	-(-)
	-(-)	-(-)	-(-)	-(-)	-(-)
画面	-(-)	-(-)	-(-)	-(-)	-(-)
	-(-)	-(-)	-(-)	-(-)	-(-)

画面媒体(延/異)	1: -/ -	2: -/ -	3: -/ -	4: -/ -

放送年月日	1989年6月11日(日)
採録時刻	02:25〜02:30
チャンネル	4(日本テレビ)
ジャンル	-
本編秒数	300
番組分数	-
視聴率１	-
視聴率２	-
本編話者数	-
(男: - 女: - 不明: -)	

標本:０２８６　番組名:「青春家族」

語 数	延べ	異なり	語の密度	延べ	異なり	CM語数	延べ	異なり
音声	304	161	音声	60.8	32.2	音声	-	-
画面	54	54	画面	10.8	10.8	画面	-	-

語 種	和	漢	外	混	不明
音声	249(81.9)	38(12.5)	2(0.7)	15(4.9)	0(0.0)
	113(70.2)	34(21.1)	2(1.2)	12(7.5)	0(0.0)
画面	13(24.1)	19(35.2)	1(1.9)	15(27.8)	6(11.1)
	13(24.1)	19(35.2)	1(1.9)	15(27.8)	6(11.1)

品 詞	体	用	相	他	不明
音声	118(38.8)	53(17.4)	72(23.7)	61(20.1)	0(0.0)
	80(49.7)	30(18.6)	33(20.5)	18(11.2)	0(0.0)
画面	53(98.1)	0(0.0)	0(0.0)	0(0.0)	1(1.9)
	53(98.1)	0(0.0)	0(0.0)	0(0.0)	1(1.9)

画面媒体(延/異) 1: 54/54 2: 0/ 0 3: 0/ 0 4: 0/ 0

放送年月日	1989年6月12日(月)
採録時刻	08:15〜08:20
チャンネル	1(ＮＨＫ総合)
ジャンル	ストーリー系
本編秒数	300
番組分数	15
視聴率１	31.9
視聴率２	59.8
本編話者数	8
	(男: 4 女: 4 不明: 0)

標本:０２８７　番組名:「お天気チャンネル」

語 数	延べ	異なり	語の密度	延べ	異なり	CM語数	延べ	異なり
音声	238	159	音声	95.2	63.6	音声	123	100
画面	52	47	画面	20.8	18.8	画面	123	97

語 種	和	漢	外	混	不明
音声	159(66.8)	38(16.0)	12(5.0)	29(12.2)	0(0.0)
	91(57.2)	33(20.8)	9(5.7)	26(16.4)	0(0.0)
画面	6(11.5)	10(19.2)	6(11.5)	19(36.5)	11(21.2)
	6(12.8)	10(21.3)	5(10.6)	18(38.3)	8(17.0)

品 詞	体	用	相	他	不明
音声	119(50.0)	48(20.2)	35(14.7)	36(15.1)	0(0.0)
	92(57.9)	33(20.8)	24(15.1)	10(6.3)	0(0.0)
画面	40(76.9)	0(0.0)	1(1.9)	0(0.0)	11(21.2)
	38(80.9)	0(0.0)	1(2.1)	0(0.0)	8(17.0)

画面媒体(延/異) 1: 51/46 2: 0/ 0 3: 0/ 0 4: 1/ 1

放送年月日	1989年6月12日(月)
採録時刻	16:25〜16:30
チャンネル	8(フジテレビ)
ジャンル	一般実用系
本編秒数	150
番組分数	30
視聴率１	3.2
視聴率２	33.2
本編話者数	16
	(男: 9 女: 7 不明: 0)

標本:０２８８　番組名:「ゴールデンナイター・ヤクルト×巨人」

語 数	延べ	異なり	語の密度	延べ	異なり	CM語数	延べ	異なり
音声	295	154	音声	73.8	38.5	音声	19	17
画面	129	39	画面	32.3	9.8	画面	18	17

語 種	和	漢	外	混	不明
音声	209(70.8)	38(12.9)	33(11.2)	15(5.1)	0(0.0)
	92(59.7)	30(19.5)	20(13.0)	12(7.8)	0(0.0)
画面	7(5.4)	47(36.4)	37(28.7)	15(11.6)	23(17.8)
	3(7.7)	14(35.9)	9(23.1)	10(25.6)	3(7.7)

品 詞	体	用	相	他	不明
音声	151(51.2)	62(21.0)	46(15.6)	36(12.2)	0(0.0)
	89(57.8)	27(17.5)	22(14.3)	16(10.4)	0(0.0)
画面	106(82.2)	0(0.0)	0(0.0)	0(0.0)	23(17.8)
	36(92.3)	0(0.0)	0(0.0)	0(0.0)	3(7.7)

画面媒体(延/異) 1: 113/33 2: 0/ 0 3: 0/ 0 4: 16/ 7

放送年月日	1989年6月12日(月)
採録時刻	20:35〜20:40
チャンネル	10(テレビ朝日)
ジャンル	スポーツ系
本編秒数	240
番組分数	141
視聴率１	28.9
視聴率２	77.7
本編話者数	7
	(男: 6 女: 1 不明: 0)

標本:０２８９　番組名:「＊」

語数	延べ	異なり	語の密度	延べ	異なり	CM語数	延べ	異なり
音声	17	11	音声	3.4	2.2	音声	-	-
画面	5	4	画面	1.0	0.8	画面	-	-

語種	和	漢	外	混	不明
音声	1(5.9)	4(23.5)	4(23.5)	8(47.1)	0(0.0)
	1(9.1)	3(27.3)	1(9.1)	6(54.5)	0(0.0)
画面	2(40.0)	0(0.0)	1(20.0)	2(40.0)	0(0.0)
	2(50.0)	0(0.0)	1(25.0)	1(25.0)	0(0.0)

品詞	体	用	相	他	不明
音声	16(94.1)	1(5.9)	0(0.0)	0(0.0)	0(0.0)
	10(90.9)	1(9.1)	0(0.0)	0(0.0)	0(0.0)
画面	4(80.0)	1(20.0)	0(0.0)	0(0.0)	0(0.0)
	3(75.0)	1(25.0)	0(0.0)	0(0.0)	0(0.0)

画面媒体(延/異)　1: 5/ 4　2: 0/ 0　3: 0/ 0　4: 0/ 0

放送年月日	1989年6月13日(火)
採録時刻	05:35〜05:40
チャンネル	8(フジテレビ)
ジャンル	その他
本編秒数	300
番組分数	-
視聴率１	0.5
視聴率２	4.8
本編話者数	1
(男: 0 女: 1 不明: 0)	

標本:０２９０　番組名:「モーニングセンサー」

語数	延べ	異なり	語の密度	延べ	異なり	CM語数	延べ	異なり
音声	164	110	音声	81.3	54.5	音声	116	88
画面	141	51	画面	69.9	25.3	画面	94	70

語種	和	漢	外	混	不明
音声	97(59.1)	44(26.8)	5(3.0)	18(11.0)	0(0.0)
	57(51.8)	33(30.0)	5(4.5)	15(13.6)	0(0.0)
画面	31(22.0)	45(31.9)	5(3.5)	21(14.9)	39(27.7)
	17(33.3)	13(25.5)	5(9.8)	11(21.6)	5(9.8)

品詞	体	用	相	他	不明
音声	110(67.1)	20(12.2)	19(11.6)	15(9.1)	0(0.0)
	73(66.4)	16(14.5)	13(11.8)	8(7.3)	0(0.0)
画面	99(70.2)	1(0.7)	2(1.4)	0(0.0)	39(27.7)
	44(86.3)	1(2.0)	1(2.0)	0(0.0)	5(9.8)

画面媒体(延/異)　1: 140/50　2: 0/ 0　3: 1/ 1　4: 0/ 0

放送年月日	1989年6月13日(火)
採録時刻	06:40〜06:45
チャンネル	10(テレビ朝日)
ジャンル	報道系
本編秒数	121
番組分数	60
視聴率１	2.5
視聴率２	35.4
本編話者数	3
(男: 1 女: 2 不明: 0)	

標本:０２９１　番組名:「産業セミナー」

語数	延べ	異なり	語の密度	延べ	異なり	CM語数	延べ	異なり
音声	595	211	音声	119.0	42.2	音声	-	-
画面	41	22	画面	8.2	4.4	画面	-	-

語種	和	漢	外	混	不明
音声	479(80.5)	95(16.0)	7(1.2)	11(1.8)	3(0.5)
	139(65.9)	56(26.5)	5(2.4)	9(4.3)	2(0.9)
画面	4(9.8)	27(65.9)	2(4.9)	2(4.9)	6(14.6)
	4(18.2)	12(54.5)	2(9.1)	2(9.1)	2(9.1)

品詞	体	用	相	他	不明
音声	201(33.8)	70(11.8)	136(22.9)	187(31.4)	1(0.2)
	99(46.9)	42(19.9)	47(22.3)	22(10.4)	1(0.5)
画面	35(85.4)	0(0.0)	0(0.0)	0(0.0)	6(14.6)
	20(90.9)	0(0.0)	0(0.0)	0(0.0)	2(9.1)

画面媒体(延/異)　1: 8/ 8　2: 33/16　3: 0/ 0　4: 0/ 0

放送年月日	1989年6月13日(火)
採録時刻	12:55〜13:00
チャンネル	3(ＮＨＫ教育)
ジャンル	一般実用系
本編秒数	300
番組分数	30
視聴率１	0.0
視聴率２	38.4
本編話者数	3
(男: 3 女: 0 不明: 0)	

標本:０２９２　番組名:「火曜ナイター・巨人×広島」

語 数	延べ	異なり	語の密度	延べ	異なり	CM語数	延べ	異なり
音声	526	266	音声	105.2	53.2	音声	-	-
画面	236	86	画面	47.2	17.2	画面	-	-

語 種	和	漢	外	混	不明
音声	362(68.8)	90(17.1)	30(5.7)	43(8.2)	1(0.2)
	143(53.8)	69(25.9)	23(8.6)	30(11.3)	1(0.4)
画面	31(13.1)	96(40.7)	36(15.3)	25(10.6)	48(20.3)
	17(19.8)	39(45.3)	5(5.8)	17(19.8)	8(9.3)

品 詞	体	用	相	他	不明
音声	221(42.0)	75(14.3)	116(22.1)	114(21.7)	0(0.0)
	150(56.4)	35(13.2)	58(21.8)	23(8.6)	0(0.0)
画面	188(79.7)	0(0.0)	0(0.0)	0(0.0)	48(20.3)
	78(90.7)	0(0.0)	0(0.0)	0(0.0)	8(9.3)

画面媒体(延/異)　1: 226/81　2: 0/ 0　3: 0/ 0　4: 10/ 8

放送年月日	1989年6月13日(火)
採録時刻	19:40〜19:45
チャンネル	4(日本テレビ)
ジャンル	スポーツ系
本編秒数	300
番組分数	112
視聴率1	21.2
視聴率2	72.1
本編話者数	3
	(男: 2 女: 1 不明: 0)

標本:０２９３　番組名:「夜の時代劇・大江戸捜査網」

語 数	延べ	異なり	語の密度	延べ	異なり	CM語数	延べ	異なり
音声	116	84	音声	24.9	18.0	音声	22	19
画面	92	90	画面	19.7	19.3	画面	19	15

語 種	和	漢	外	混	不明
音声	98(84.5)	10(8.6)	0(0.0)	8(6.9)	0(0.0)
	70(83.3)	9(10.7)	0(0.0)	5(6.0)	0(0.0)
画面	18(19.6)	28(30.4)	3(3.3)	30(32.6)	13(14.1)
	18(20.0)	28(31.1)	3(3.3)	30(33.3)	11(12.2)

品 詞	体	用	相	他	不明
音声	58(50.0)	18(15.5)	24(20.7)	16(13.8)	0(0.0)
	42(50.0)	16(19.0)	15(17.9)	11(13.1)	0(0.0)
画面	86(93.5)	0(0.0)	0(0.0)	0(0.0)	6(6.5)
	86(95.6)	0(0.0)	0(0.0)	0(0.0)	4(4.4)

画面媒体(延/異)　1: 90/88　2: 0/ 0　3: 0/ 0　4: 2/ 2

放送年月日	1989年6月13日(火)
採録時刻	03:00〜03:05
チャンネル	12(テレビ東京)
ジャンル	ストーリー系
本編秒数	280
番組分数	60
視聴率1	0.3
視聴率2	4.3
本編話者数	11
	(男: 8 女: 3 不明: 0)

標本:０２９４　番組名:「おかあさんの勉強室」

語 数	延べ	異なり	語の密度	延べ	異なり	CM語数	延べ	異なり
音声	581	229	音声	116.2	45.8	音声	-	-
画面	28	25	画面	5.6	5.0	画面	-	-

語 種	和	漢	外	混	不明
音声	459(79.0)	74(12.7)	25(4.3)	22(3.8)	1(0.2)
	144(62.9)	51(22.3)	15(6.6)	18(7.9)	1(0.4)
画面	6(21.4)	6(21.4)	1(3.6)	15(53.6)	0(0.0)
	6(24.0)	6(24.0)	1(4.0)	12(48.0)	0(0.0)

品 詞	体	用	相	他	不明
音声	205(35.3)	87(15.0)	156(26.9)	133(22.9)	0(0.0)
	124(54.1)	44(19.2)	42(18.3)	19(8.3)	0(0.0)
画面	27(96.4)	0(0.0)	1(3.6)	0(0.0)	0(0.0)
	24(96.0)	0(0.0)	1(4.0)	0(0.0)	0(0.0)

画面媒体(延/異)　1: 27/25　2: 0/ 0　3: 1/ 1　4: 0/ 0

放送年月日	1989年6月14日(水)
採録時刻	11:25〜11:30
チャンネル	1(ＮＨＫ総合)
ジャンル	一般実用系
本編秒数	300
番組分数	25
視聴率1	1.7
視聴率2	14.4
本編話者数	4
	(男: 2 女: 2 不明: 0)

標本:０２９５　番組名:「金子信雄の楽しい夕食」

語数	延べ	異なり	語の密度	延べ	異なり	CM語数	延べ	異なり
音声	451	184	音声	90.2	36.8	音声	-	-
画面	59	41	画面	11.8	8.2	画面	-	-

語種	和	漢	外	混	不明
音声	354(78.5)	67(14.9)	4(0.9)	26(5.8)	0(0.0)
	123(66.8)	39(21.2)	4(2.2)	18(9.8)	0(0.0)
画面	18(30.5)	21(35.6)	3(5.1)	10(16.9)	7(11.9)
	17(41.5)	11(26.8)	3(7.3)	6(14.6)	4(9.8)

品詞	体	用	相	他	不明
音声	174(38.6)	77(17.1)	121(26.8)	79(17.5)	0(0.0)
	94(51.1)	36(19.6)	41(22.3)	13(7.1)	0(0.0)
画面	42(71.2)	4(6.8)	6(10.2)	0(0.0)	7(11.9)
	31(75.6)	3(7.3)	3(7.3)	0(0.0)	4(9.8)

画面媒体(延/異)　1: 59/41　2: 0/ 0　3: 0/ 0　4: 0/ 0

放送年月日	1989年6月14日(水)
採録時刻	13:05〜13:10
チャンネル	10(テレビ朝日)
ジャンル	一般実用系
本編秒数	300
番組分数	15
視聴率1	7.3
視聴率2	35.6
本編話者数	3
(男: 1 女: 2 不明: 0)	

標本:０２９６　番組名:「ＪＮＮニュースデスク '８９」

語数	延べ	異なり	語の密度	延べ	異なり	CM語数	延べ	異なり
音声	428	274	音声	85.6	54.8	音声	-	-
画面	135	54	画面	27.0	10.8	画面	-	-

語種	和	漢	外	混	不明
音声	205(47.9)	103(24.1)	62(14.5)	58(13.6)	0(0.0)
	113(41.2)	74(27.0)	36(13.1)	51(18.6)	0(0.0)
画面	22(16.3)	84(62.2)	17(12.6)	11(8.1)	1(0.7)
	15(27.8)	18(33.3)	11(20.4)	9(16.7)	1(1.9)

品詞	体	用	相	他	不明
音声	291(68.0)	71(16.6)	38(8.9)	28(6.5)	0(0.0)
	198(72.3)	42(15.3)	22(8.0)	12(4.4)	0(0.0)
画面	135(100.0)	0(0.0)	0(0.0)	0(0.0)	0(0.0)
	54(100.0)	0(0.0)	0(0.0)	0(0.0)	0(0.0)

画面媒体(延/異)　1: 88/27　2: 0/ 0　3: 0/ 0　4: 47/32

放送年月日	1989年6月14日(水)
採録時刻	22:35〜22:40
チャンネル	6(ＴＢＳ)
ジャンル	報道系
本編秒数	300
番組分数	54
視聴率1	2.4
視聴率2	56.4
本編話者数	4
(男: 4 女: 0 不明: 0)	

標本:０２９７　番組名:-

語数	延べ	異なり	語の密度	延べ	異なり	CM語数	延べ	異なり
音声	-	-	音声	-	-	音声	-	-
画面	-	-	画面	-	-	画面	-	-

語種	和	漢	外	混	不明
音声	-(-)	-(-)	-(-)	-(-)	-(-)
	-(-)	-(-)	-(-)	-(-)	-(-)
画面	-(-)	-(-)	-(-)	-(-)	-(-)
	-(-)	-(-)	-(-)	-(-)	-(-)

品詞	体	用	相	他	不明
音声	-(-)	-(-)	-(-)	-(-)	-(-)
	-(-)	-(-)	-(-)	-(-)	-(-)
画面	-(-)	-(-)	-(-)	-(-)	-(-)
	-(-)	-(-)	-(-)	-(-)	-(-)

画面媒体(延/異)　1: -/ -　2: -/ -　3: -/ -　4: -/ -

放送年月日	1989年6月14日(水)
採録時刻	04:20〜04:25
チャンネル	3(ＮＨＫ教育)
ジャンル	-
本編秒数	300
番組分数	-
視聴率1	-
視聴率2	-
本編話者数	-
(男: - 女: - 不明: -)	

標本:０２９８　番組名:「ひらけ！ポンキッキ」

語 数	延べ	異なり	語の密度	延べ	異なり	CM語数	延べ	異なり
音声	216	98	音声	61.7	28.0	音声	70	56
画面	64	37	画面	18.3	10.6	画面	55	42

語 種	和	漢	外	混	不明
音声	163(75.5)	35(16.2)	10(4.6)	8(3.7)	0(0.0)
	79(80.6)	9(9.2)	5(5.1)	5(5.1)	0(0.0)
画面	21(32.8)	27(42.2)	5(7.8)	5(7.8)	6(9.4)
	17(45.9)	9(24.3)	5(13.5)	3(8.1)	3(8.1)
品 詞	体	用	相	他	不明
音声	106(49.1)	29(13.4)	40(18.5)	41(19.0)	0(0.0)
	44(44.9)	18(18.4)	20(20.4)	16(16.3)	0(0.0)
画面	45(70.3)	6(9.4)	5(7.8)	2(3.1)	6(9.4)
	23(62.2)	5(13.5)	4(10.8)	2(5.4)	3(8.1)
画面媒体(延/異)	1: 64/37	2: 0/ 0	3: 0/ 0	4: 0/ 0	

放送年月日	1989年6月15日(木)
採録時刻	08:10〜08:15
チャンネル	8(フジテレビ)
ジャンル	一般実用系
本編秒数	210
番組分数	45
視聴率１	7.9
視聴率２	58.8
本編話者数	4
	(男: 2 女: 2 不明: 0)

標本:０２９９　番組名:「気まぐれ紀行」

語 数	延べ	異なり	語の密度	延べ	異なり	CM語数	延べ	異なり
音声	345	185	音声	76.7	41.1	音声	21	14
画面	18	18	画面	4.0	4.0	画面	21	20

語 種	和	漢	外	混	不明
音声	266(77.1)	42(12.2)	7(2.0)	30(8.7)	0(0.0)
	139(75.1)	29(15.7)	5(2.7)	12(6.5)	0(0.0)
画面	4(22.2)	2(11.1)	2(11.1)	7(38.9)	3(16.7)
	4(22.2)	2(11.1)	2(11.1)	7(38.9)	3(16.7)
品 詞	体	用	相	他	不明
音声	150(43.5)	58(16.8)	72(20.9)	65(18.8)	0(0.0)
	90(48.6)	34(18.4)	38(20.5)	23(12.4)	0(0.0)
画面	15(83.3)	0(0.0)	0(0.0)	0(0.0)	3(16.7)
	15(83.3)	0(0.0)	0(0.0)	0(0.0)	3(16.7)
画面媒体(延/異)	1: 13/13	2: 0/ 0	3: 0/ 0	4: 5/ 5	

放送年月日	1989年6月15日(木)
採録時刻	12:00〜12:05
チャンネル	12(テレビ東京)
ジャンル	バラエティー系
本編秒数	270
番組分数	60
視聴率１	1.2
視聴率２	31.7
本編話者数	7
	(男: 3 女: 4 不明: 0)

標本:０３００　番組名:「木曜スペシャル私が撮った！スター秘ビデオ大賞」

語 数	延べ	異なり	語の密度	延べ	異なり	CM語数	延べ	異なり
音声	499	235	音声	99.8	47.0	音声	-	-
画面	64	60	画面	12.8	12.0	画面	-	-

語 種	和	漢	外	混	不明
音声	390(78.2)	74(14.8)	14(2.8)	17(3.4)	4(0.8)
	158(67.2)	50(21.3)	9(3.8)	16(6.8)	2(0.9)
画面	24(37.5)	8(12.5)	7(10.9)	15(23.4)	10(15.6)
	24(40.0)	8(13.3)	7(11.7)	15(25.0)	6(10.0)
品 詞	体	用	相	他	不明
音声	217(43.5)	74(14.8)	88(17.6)	117(23.4)	3(0.6)
	120(51.1)	37(15.7)	43(18.3)	34(14.5)	1(0.4)
画面	51(79.7)	4(6.3)	0(0.0)	0(0.0)	9(14.1)
	51(85.0)	4(6.7)	0(0.0)	0(0.0)	5(8.3)
画面媒体(延/異)	1: 64/60	2: 0/ 0	3: 0/ 0	4: 0/ 0	

放送年月日	1989年6月15日(木)
採録時刻	20:35〜20:40
チャンネル	4(日本テレビ)
ジャンル	バラエティー系
本編秒数	300
番組分数	84
視聴率１	20.9
視聴率２	73.5
本編話者数	10
	(男: 7 女: 3 不明: 0)

標本:０３０１　番組名:-

語数	延べ	異なり	語の密度	延べ	異なり	CM語数	延べ	異なり
音声	-	-	音声	-	-	音声	-	-
画面	-	-	画面	-	-	画面	-	-

語種	和	漢	外	混	不明
音声	-(-)	-(-)	-(-)	-(-)	-(-)
	-(-)	-(-)	-(-)	-(-)	-(-)
画面	-(-)	-(-)	-(-)	-(-)	-(-)
	-(-)	-(-)	-(-)	-(-)	-(-)
品詞	体	用	相	他	不明
音声	-(-)	-(-)	-(-)	-(-)	-(-)
	-(-)	-(-)	-(-)	-(-)	-(-)
画面	-(-)	-(-)	-(-)	-(-)	-(-)
	-(-)	-(-)	-(-)	-(-)	-(-)
画面媒体(延/異)	1: -/ -	2: -/ -	3: -/ -	4: -/ -	

放送年月日	1989年6月15日(木)
採録時刻	02:00〜02:05
チャンネル	1(ＮＨＫ総合)
ジャンル	-
本編秒数	300
番組分数	-
視聴率１	-
視聴率２	-
本編話者数	-
(男: - 女: - 不明: -)	

標本:０３０２　番組名:「ワイドショー・ルックルックこんにちは」

語数	延べ	異なり	語の密度	延べ	異なり	CM語数	延べ	異なり
音声	462	245	音声	92.4	49.0	音声	-	-
画面	63	33	画面	12.6	6.6	画面	-	-

語種	和	漢	外	混	不明
音声	335(72.5)	75(16.2)	6(1.3)	45(9.7)	1(0.2)
	155(63.3)	52(21.2)	5(2.0)	32(13.1)	1(0.4)
画面	8(12.7)	20(31.7)	2(3.2)	14(22.2)	19(30.2)
	4(12.1)	10(30.3)	2(6.1)	9(27.3)	8(24.2)
品詞	体	用	相	他	不明
音声	218(47.2)	79(17.1)	106(22.9)	59(12.8)	0(0.0)
	124(50.6)	56(22.9)	46(18.8)	19(7.8)	0(0.0)
画面	40(63.5)	5(7.9)	0(0.0)	0(0.0)	18(28.6)
	25(75.8)	1(3.0)	0(0.0)	0(0.0)	7(21.2)
画面媒体(延/異)	1: 62/32	2: 1/ 1	3: 0/ 0	4: 0/ 0	

放送年月日	1989年6月16日(金)
採録時刻	09:10〜09:15
チャンネル	4(日本テレビ)
ジャンル	一般実用系
本編秒数	300
番組分数	90
視聴率１	9.0
視聴率２	42.1
本編話者数	7
(男: 4 女: 3 不明: 0)	

標本:０３０３　番組名:「ＥＴＶ８・人体・生理学からの最新報告」

語数	延べ	異なり	語の密度	延べ	異なり	CM語数	延べ	異なり
音声	476	202	音声	95.2	40.4	音声	-	-
画面	17	14	画面	3.4	2.8	画面	-	-

語種	和	漢	外	混	不明
音声	313(65.8)	126(26.5)	4(0.8)	33(6.9)	0(0.0)
	89(44.1)	84(41.6)	4(2.0)	25(12.4)	0(0.0)
画面	2(11.8)	3(17.6)	2(11.8)	7(41.2)	3(17.6)
	1(7.1)	3(21.4)	2(14.3)	6(42.9)	2(14.3)
品詞	体	用	相	他	不明
音声	189(39.7)	78(16.4)	81(17.0)	128(26.9)	0(0.0)
	117(57.9)	36(17.8)	34(16.8)	15(7.4)	0(0.0)
画面	14(82.4)	0(0.0)	0(0.0)	0(0.0)	3(17.6)
	12(85.7)	0(0.0)	0(0.0)	0(0.0)	2(14.3)
画面媒体(延/異)	1: 17/14	2: 0/ 0	3: 0/ 0	4: 0/ 0	

放送年月日	1989年6月16日(金)
採録時刻	15:15〜15:20
チャンネル	3(ＮＨＫ教育)
ジャンル	教育・教養系
本編秒数	300
番組分数	45
視聴率１	0.3
視聴率２	33.0
本編話者数	2
(男: 2 女: 0 不明: 0)	

標本:０３０４　番組名:「美術紀行」

語 数	延べ	異なり	語の密度	延べ	異なり	CM語数	延べ	異なり
音声	282	187	音声	56.4	37.4	音声	-	-
画面	10	7	画面	2.0	1.4	画面	-	-

語 種	和	漢	外	混	不明
音声	154(54.6)	82(29.1)	20(7.1)	26(9.2)	0(0.0)
	99(52.9)	60(32.1)	7(3.7)	21(11.2)	0(0.0)
画面	6(60.0)	3(30.0)	1(10.0)	0(0.0)	0(0.0)
	3(42.9)	3(42.9)	1(14.3)	0(0.0)	0(0.0)
品 詞	体	用	相	他	不明
音声	160(56.7)	69(24.5)	47(16.7)	6(2.1)	0(0.0)
	107(57.2)	46(24.6)	31(16.6)	3(1.6)	0(0.0)
画面	6(60.0)	4(40.0)	0(0.0)	0(0.0)	0(0.0)
	5(71.4)	2(28.6)	0(0.0)	0(0.0)	0(0.0)
画面媒体(延/異)	1: 10/ 7	2: 0/ 0	3: 0/ 0	4: 0/ 0	

放送年月日	1989年6月16日(金)
採録時刻	20:25～20:30
チャンネル	1(ＮＨＫ総合)
ジャンル	教育・教養系
本編秒数	300
番組分数	45
視聴率１	3.3
視聴率２	73.7
本編話者数	2
	(男: 1 女: 1 不明: 0)

標本:０３０５　番組名:「冗談画報Ⅱ」

語 数	延べ	異なり	語の密度	延べ	異なり	CM語数	延べ	異なり
音声	560	202	音声	112.0	40.4	音声	-	-
画面	0	0	画面	0.0	0.0	画面	-	-

語 種	和	漢	外	混	不明
音声	430(76.8)	71(12.7)	15(2.7)	43(7.7)	1(0.2)
	127(62.9)	40(19.8)	9(4.5)	25(12.4)	1(0.5)
画面	0(0.0)	0(0.0)	0(0.0)	0(0.0)	0(0.0)
	0(0.0)	0(0.0)	0(0.0)	0(0.0)	0(0.0)
品 詞	体	用	相	他	不明
音声	361(64.5)	73(13.0)	81(14.5)	45(8.0)	0(0.0)
	119(58.9)	41(20.3)	30(14.9)	12(5.9)	0(0.0)
画面	0(0.0)	0(0.0)	0(0.0)	0(0.0)	0(0.0)
	0(0.0)	0(0.0)	0(0.0)	0(0.0)	0(0.0)
画面媒体(延/異)	1: 0/ 0	2: 0/ 0	3: 0/ 0	4: 0/ 0	

放送年月日	1989年6月16日(金)
採録時刻	03:45～03:50
チャンネル	8(フジテレビ)
ジャンル	バラエティー系
本編秒数	300
番組分数	30
視聴率１	1.7
視聴率２	3.1
本編話者数	1
	(男: 1 女: 0 不明: 0)

標本:０３０６　番組名:「ＪＮＮニュース」

語 数	延べ	異なり	語の密度	延べ	異なり	CM語数	延べ	異なり
音声	391	268	音声	78.2	53.6	音声	-	-
画面	49	44	画面	9.8	8.8	画面	-	-

語 種	和	漢	外	混	不明
音声	179(45.8)	132(33.8)	18(4.6)	62(15.9)	0(0.0)
	93(34.7)	109(40.7)	15(5.6)	51(19.0)	0(0.0)
画面	7(14.3)	18(36.7)	6(12.2)	13(26.5)	5(10.2)
	7(15.9)	16(36.4)	6(13.6)	13(29.5)	2(4.5)
品 詞	体	用	相	他	不明
音声	235(60.1)	80(20.5)	26(6.6)	50(12.8)	0(0.0)
	179(66.8)	63(23.5)	16(6.0)	10(3.7)	0(0.0)
画面	39(79.6)	4(8.2)	1(2.0)	0(0.0)	5(10.2)
	37(84.1)	4(9.1)	1(2.3)	0(0.0)	2(4.5)
画面媒体(延/異)	1: 40/36	2: 0/ 0	3: 1/ 1	4: 8/ 8	

放送年月日	1989年6月17日(土)
採録時刻	11:45～11:50
チャンネル	6(ＴＢＳ)
ジャンル	報道系
本編秒数	300
番組分数	15
視聴率１	6.0
視聴率２	23.6
本編話者数	6
	(男: 4 女: 2 不明: 0)

標本:０３０７　番組名:「土曜競馬中継・さくらんぼＳ・水上特別」

語数	延べ	異なり	語の密度	延べ	異なり	ＣＭ語数	延べ	異なり
音声	330	189	音声	81.5	46.7	音声	50	39
画面	112	60	画面	27.7	14.8	画面	56	36

語種	和	漢	外	混	不明
音声	150(45.5)	84(25.5)	34(10.3)	60(18.2)	2(0.6)
	79(41.8)	52(27.5)	16(8.5)	41(21.7)	1(0.5)
画面	15(13.4)	50(44.6)	19(17.0)	19(17.0)	9(8.0)
	11(18.3)	23(38.3)	13(21.7)	11(18.3)	2(3.3)

品詞	体	用	相	他	不明
音声	211(63.9)	48(14.5)	42(12.7)	27(8.2)	2(0.6)
	127(67.2)	27(14.3)	26(13.8)	8(4.2)	1(0.5)
画面	103(92.0)	0(0.0)	0(0.0)	0(0.0)	9(8.0)
	58(96.7)	0(0.0)	0(0.0)	0(0.0)	2(3.3)

画面媒体(延/異)　1: 111/59 2: 0/ 0 3: 0/ 0 4: 1/ 1

放送年月日	1989年6月17日(土)
採録時刻	15:20〜15:25
チャンネル	12(テレビ東京)
ジャンル	スポーツ系
本編秒数	243
番組分数	90
視聴率１	2.5
視聴率２	35.7
本編話者数	3
(男: 1 女: 2 不明: 0)	

標本:０３０８　番組名:「暴れん坊将軍Ⅲ」

語数	延べ	異なり	語の密度	延べ	異なり	ＣＭ語数	延べ	異なり
音声	202	119	音声	40.4	23.8	音声	-	-
画面	0	0	画面	0.0	0.0	画面	-	-

語種	和	漢	外	混	不明
音声	167(82.7)	16(7.9)	1(0.5)	16(7.9)	2(1.0)
	92(77.3)	12(10.1)	1(0.8)	12(10.1)	2(1.7)
画面	0(0.0)	0(0.0)	0(0.0)	0(0.0)	0(0.0)
	0(0.0)	0(0.0)	0(0.0)	0(0.0)	0(0.0)

品詞	体	用	相	他	不明
音声	101(50.0)	51(25.2)	29(14.4)	21(10.4)	0(0.0)
	57(47.9)	29(24.4)	19(16.0)	14(11.8)	0(0.0)
画面	0(0.0)	0(0.0)	0(0.0)	0(0.0)	0(0.0)
	0(0.0)	0(0.0)	0(0.0)	0(0.0)	0(0.0)

画面媒体(延/異)　1: 0/ 0 2: 0/ 0 3: 0/ 0 4: 0/ 0

放送年月日	1989年6月17日(土)
採録時刻	20:20〜20:25
チャンネル	10(テレビ朝日)
ジャンル	ストーリー系
本編秒数	300
番組分数	54
視聴率１	14.6
視聴率２	76.0
本編話者数	5
(男: 4 女: 1 不明: 0)	

標本:０３０９　番組名:「椎名誠と怪しい探検隊」

語数	延べ	異なり	語の密度	延べ	異なり	ＣＭ語数	延べ	異なり
音声	227	181	音声	64.9	51.7	音声	89	66
画面	149	119	画面	42.6	34.0	画面	50	41

語種	和	漢	外	混	不明
音声	147(64.8)	39(17.2)	7(3.1)	34(15.0)	0(0.0)
	112(61.9)	34(18.8)	7(3.9)	28(15.5)	0(0.0)
画面	19(12.8)	45(30.2)	14(9.4)	41(27.5)	30(20.1)
	15(12.6)	43(36.1)	14(11.8)	33(27.7)	14(11.8)

品詞	体	用	相	他	不明
音声	120(52.9)	48(21.1)	44(19.4)	15(6.6)	0(0.0)
	100(55.2)	36(19.9)	33(18.2)	12(6.6)	0(0.0)
画面	121(81.2)	3(2.0)	0(0.0)	0(0.0)	25(16.8)
	107(89.9)	3(2.5)	0(0.0)	0(0.0)	9(7.6)

画面媒体(延/異)　1: 144/116 2: 0/ 0 3: 0/ 0 4: 5/ 5

放送年月日	1989年6月18日(日)
採録時刻	05:55〜06:00
チャンネル	4(日本テレビ)
ジャンル	教育・教養系
本編秒数	210
番組分数	30
視聴率１	1.4
視聴率２	9.1
本編話者数	19
(男: 11 女: 8 不明: 0)	

標本:０３１０　番組名:「サンデープロジェクト」

語数	延べ	異なり	語の密度	延べ	異なり	CM語数	延べ	異なり
音声	482	274	音声	96.7	55.0	音声	0	0
画面	32	24	画面	6.4	4.8	画面	1	1

語種	和	漢	外	混	不明
音声	290(60.2)	131(27.2)	8(1.7)	53(11.0)	0(0.0)
	132(48.2)	92(33.6)	7(2.6)	43(15.7)	0(0.0)
画面	8(25.0)	6(18.8)	3(9.4)	8(25.0)	7(21.9)
	7(29.2)	6(25.0)	2(8.3)	6(25.0)	3(12.5)

品詞	体	用	相	他	不明
音声	259(53.7)	83(17.2)	51(10.6)	89(18.5)	0(0.0)
	183(66.8)	52(19.0)	26(9.5)	13(4.7)	0(0.0)
画面	24(75.0)	1(3.1)	0(0.0)	0(0.0)	7(21.9)
	20(83.3)	1(4.2)	0(0.0)	0(0.0)	3(12.5)

画面媒体(延/異)	1: 31/23	2: 0/ 0	3: 0/ 0	4: 1/ 1

放送年月日	1989年6月18日(日)
採録時刻	10:00～10:05
チャンネル	10(テレビ朝日)
ジャンル	一般実用系
本編秒数	299
番組分数	105
視聴率１	5.6
視聴率２	42.9
本編話者数	6
(男: 4 女: 2 不明: 0)	

標本:０３１１　番組名:「アッコにおまかせ！」

語数	延べ	異なり	語の密度	延べ	異なり	CM語数	延べ	異なり
音声	413	192	音声	118.0	54.9	音声	149	93
画面	15	12	画面	4.3	3.4	画面	33	25

語種	和	漢	外	混	不明
音声	301(72.9)	69(16.7)	18(4.4)	25(6.1)	0(0.0)
	127(66.1)	39(20.3)	9(4.7)	17(8.9)	0(0.0)
画面	1(6.7)	4(26.7)	0(0.0)	10(66.7)	0(0.0)
	1(8.3)	4(33.3)	0(0.0)	7(58.3)	0(0.0)

品詞	体	用	相	他	不明
音声	186(45.0)	55(13.3)	59(14.3)	113(27.4)	0(0.0)
	102(53.1)	32(16.7)	36(18.8)	22(11.5)	0(0.0)
画面	15(100.0)	0(0.0)	0(0.0)	0(0.0)	0(0.0)
	12(100.0)	0(0.0)	0(0.0)	0(0.0)	0(0.0)

画面媒体(延/異)	1: 3/ 3	2: 11/10	3: 1/ 1	4: 0/ 0

放送年月日	1989年6月18日(日)
採録時刻	12:30～12:35
チャンネル	6(ＴＢＳ)
ジャンル	バラエティー系
本編秒数	210
番組分数	69
視聴率１	18.4
視聴率２	49.6
本編話者数	7
(男: 5 女: 2 不明: 0)	

標本:０３１２　番組名:「名人劇場・いい湯だナ放浪記　お湯も涙も暖かい」

語数	延べ	異なり	語の密度	延べ	異なり	CM語数	延べ	異なり
音声	227	126	音声	56.8	31.5	音声	67	53
画面	11	6	画面	2.8	1.5	画面	56	42

語種	和	漢	外	混	不明
音声	182(80.2)	24(10.6)	2(0.9)	19(8.4)	0(0.0)
	88(69.8)	20(15.9)	2(1.6)	16(12.7)	0(0.0)
画面	0(0.0)	4(36.4)	0(0.0)	7(63.6)	0(0.0)
	0(0.0)	2(33.3)	0(0.0)	4(66.7)	0(0.0)

品詞	体	用	相	他	不明
音声	98(43.2)	26(11.5)	32(14.1)	71(31.3)	0(0.0)
	66(52.4)	18(14.3)	22(17.5)	20(15.9)	0(0.0)
画面	11(100.0)	0(0.0)	0(0.0)	0(0.0)	0(0.0)
	6(100.0)	0(0.0)	0(0.0)	0(0.0)	0(0.0)

画面媒体(延/異)	1: 2/ 2	2: 0/ 0	3: 0/ 0	4: 9/ 4

放送年月日	1989年6月18日(日)
採録時刻	21:05～21:10
チャンネル	8(フジテレビ)
ジャンル	バラエティー系
本編秒数	240
番組分数	54
視聴率１	6.0
視聴率２	74.6
本編話者数	9
(男: 5 女: 4 不明: 0)	

標本:０３１３　番組名:-

語数	延べ	異なり	語の密度	延べ	異なり	CM語数	延べ	異なり
音声	-	-	音声	-	-	音声	-	-
画面	-	-	画面	-	-	画面	-	-

語種	和	漢	外	混	不明
音声	-(-)	-(-)	-(-)	-(-)	-(-)
	-(-)	-(-)	-(-)	-(-)	-(-)
画面	-(-)	-(-)	-(-)	-(-)	-(-)
	-(-)	-(-)	-(-)	-(-)	-(-)
品詞	体	用	相	他	不明
音声	-(-)	-(-)	-(-)	-(-)	-(-)
	-(-)	-(-)	-(-)	-(-)	-(-)
画面	-(-)	-(-)	-(-)	-(-)	-(-)
	-(-)	-(-)	-(-)	-(-)	-(-)
画面媒体(延/異)	1: -/ -	2: -/ -	3: -/ -	4: -/ -	

放送年月日	1989年6月18日(日)
採録時刻	00:25〜00:30
チャンネル	1(ＮＨＫ総合)
ジャンル	-
本編秒数	300
番組分数	-
視聴率１	-
視聴率２	-
本編話者数	-
(男: - 女: - 不明: -)	

標本:０３１４　番組名:「マンガのひろば・新・ど根性ガエル」

語数	延べ	異なり	語の密度	延べ	異なり	CM語数	延べ	異なり
音声	424	189	音声	84.8	37.8	音声	-	-
画面	12	6	画面	2.4	1.2	画面	-	-

語種	和	漢	外	混	不明
音声	331(78.1)	35(8.3)	19(4.5)	39(9.2)	0(0.0)
	139(73.5)	26(13.8)	5(2.6)	19(10.1)	0(0.0)
画面	8(66.7)	4(33.3)	0(0.0)	0(0.0)	0(0.0)
	4(66.7)	2(33.3)	0(0.0)	0(0.0)	0(0.0)
品詞	体	用	相	他	不明
音声	198(46.7)	56(13.2)	66(15.6)	104(24.5)	0(0.0)
	91(48.1)	32(16.9)	31(16.4)	35(18.5)	0(0.0)
画面	12(100.0)	0(0.0)	0(0.0)	0(0.0)	0(0.0)
	6(100.0)	0(0.0)	0(0.0)	0(0.0)	0(0.0)
画面媒体(延/異)	1: 0/ 0	2: 0/ 0	3: 0/ 0	4: 12/ 6	

放送年月日	1989年6月19日(月)
採録時刻	08:15〜08:20
チャンネル	12(テレビ東京)
ジャンル	ストーリー系
本編秒数	300
番組分数	15
視聴率１	2.7
視聴率２	61.4
本編話者数	7
(男: 2 女: 5 不明: 0)	

標本:０３１５　番組名:「あしたへジャンプ」

語数	延べ	異なり	語の密度	延べ	異なり	CM語数	延べ	異なり
音声	222	145	音声	44.4	29.0	音声	-	-
画面	9	9	画面	1.8	1.8	画面	-	-

語種	和	漢	外	混	不明
音声	160(72.1)	37(16.7)	2(0.9)	23(10.4)	0(0.0)
	106(73.1)	24(16.6)	2(1.4)	13(9.0)	0(0.0)
画面	4(44.4)	2(22.2)	0(0.0)	3(33.3)	0(0.0)
	4(44.4)	2(22.2)	0(0.0)	3(33.3)	0(0.0)
品詞	体	用	相	他	不明
音声	117(52.7)	47(21.2)	40(18.0)	18(8.1)	0(0.0)
	74(51.0)	34(23.4)	27(18.6)	10(6.9)	0(0.0)
画面	9(100.0)	0(0.0)	0(0.0)	0(0.0)	0(0.0)
	9(100.0)	0(0.0)	0(0.0)	0(0.0)	0(0.0)
画面媒体(延/異)	1: 9/ 9	2: 0/ 0	3: 0/ 0	4: 0/ 0	

放送年月日	1989年6月19日(月)
採録時刻	14:00〜14:05
チャンネル	3(ＮＨＫ教育)
ジャンル	教育・教養系
本編秒数	300
番組分数	15
視聴率１	1.9
視聴率２	35.8
本編話者数	9
(男: 9 女: 0 不明: 0)	

標本:０３１６　番組名:「ニュース最終版」

語 数	延べ	異なり	語の密度	延べ	異なり	CM語数	延べ	異なり
音声	270	194	音声	98.2	70.5	音声	37	34
画面	67	52	画面	24.4	18.9	画面	38	34

語 種	和	漢	外	混	不明
音声	150(55.6)	57(21.1)	26(9.6)	35(13.0)	2(0.7)
	94(48.5)	45(23.2)	22(11.3)	31(16.0)	2(1.0)
画面	6(9.0)	30(44.8)	7(10.4)	20(29.9)	4(6.0)
	6(11.5)	22(42.3)	5(9.6)	17(32.7)	2(3.8)
品 詞	体	用	相	他	不明
音声	147(54.4)	41(15.2)	31(11.5)	51(18.9)	0(0.0)
	120(61.9)	31(16.0)	23(11.9)	20(10.3)	0(0.0)
画面	59(88.1)	2(3.0)	2(3.0)	0(0.0)	4(6.0)
	46(88.5)	2(3.8)	2(3.8)	0(0.0)	2(3.8)

画面媒体(延/異)　1: 55/43　2: 0/ 0　3: 0/ 0　4: 12/ 9

放送年月日	1989年6月19日(月)
採録時刻	23:15～23:20
チャンネル	8(フジテレビ)
ジャンル	報道系
本編秒数	165
番組分数	90
視聴率１	5.0
視聴率２	34.7
本編話者数	3
(男: 3 女: 0 不明: 0)	

標本:０３１７　番組名:「ＰＲＥ・ＳＴＡＧＥ１」

語 数	延べ	異なり	語の密度	延べ	異なり	CM語数	延べ	異なり
音声	562	258	音声	112.4	51.6	音声	-	-
画面	14	14	画面	2.8	2.8	画面	-	-

語 種	和	漢	外	混	不明
音声	406(72.2)	88(15.7)	10(1.8)	58(10.3)	0(0.0)
	148(57.4)	59(22.9)	10(3.9)	41(15.9)	0(0.0)
画面	3(21.4)	3(21.4)	1(7.1)	6(42.9)	1(7.1)
	3(21.4)	3(21.4)	1(7.1)	6(42.9)	1(7.1)
品 詞	体	用	相	他	不明
音声	240(42.7)	88(15.7)	116(20.6)	118(21.0)	0(0.0)
	144(55.8)	42(16.3)	42(16.3)	30(11.6)	0(0.0)
画面	14(100.0)	0(0.0)	0(0.0)	0(0.0)	0(0.0)
	14(100.0)	0(0.0)	0(0.0)	0(0.0)	0(0.0)

画面媒体(延/異)　1: 10/10　2: 3/ 3　3: 0/ 0　4: 1/ 1

放送年月日	1989年6月19日(月)
採録時刻	01:10～01:15
チャンネル	10(テレビ朝日)
ジャンル	バラエティー系
本編秒数	300
番組分数	60
視聴率１	3.8
視聴率２	13.5
本編話者数	10
(男: 4 女: 6 不明: 0)	

標本:０３１８　番組名:「はばたけ６年」

語 数	延べ	異なり	語の密度	延べ	異なり	CM語数	延べ	異なり
音声	223	135	音声	44.6	27.0	音声	-	-
画面	9	9	画面	1.8	1.8	画面	-	-

語 種	和	漢	外	混	不明
音声	180(80.7)	34(15.2)	0(0.0)	9(4.0)	0(0.0)
	107(79.3)	23(17.0)	0(0.0)	5(3.7)	0(0.0)
画面	5(55.6)	2(22.2)	0(0.0)	1(11.1)	1(11.1)
	5(55.6)	2(22.2)	0(0.0)	1(11.1)	1(11.1)
品 詞	体	用	相	他	不明
音声	115(51.6)	52(23.3)	36(16.1)	20(9.0)	0(0.0)
	69(51.1)	37(27.4)	19(14.1)	10(7.4)	0(0.0)
画面	6(66.7)	2(22.2)	0(0.0)	0(0.0)	1(11.1)
	6(66.7)	2(22.2)	0(0.0)	0(0.0)	1(11.1)

画面媒体(延/異)　1: 6/ 6　2: 0/ 0　3: 0/ 0　4: 3/ 3

放送年月日	1989年6月20日(火)
採録時刻	10:55～11:00
チャンネル	3(ＮＨＫ教育)
ジャンル	教育・教養系
本編秒数	300
番組分数	15
視聴率１	2.1
視聴率２	23.3
本編話者数	8
(男: 4 女: 4 不明: 0)	

標本:０３１９　番組名:「ペリーヌ物語」

語数	延べ	異なり	語の密度	延べ	異なり	CM語数	延べ	異なり
音声	94	65	音声	23.5	16.3	音声	46	39
画面	0	0	画面	0.0	0.0	画面	31	26

語種	和	漢	外	混	不明
音声	67(71.3)	10(10.6)	14(14.9)	3(3.2)	0(0.0)
	51(78.5)	9(13.8)	2(3.1)	3(4.6)	0(0.0)
画面	0(0.0)	0(0.0)	0(0.0)	0(0.0)	0(0.0)
	0(0.0)	0(0.0)	0(0.0)	0(0.0)	0(0.0)
品詞	体	用	相	他	不明
音声	40(42.6)	31(33.0)	13(13.8)	10(10.6)	0(0.0)
	25(38.5)	20(30.8)	11(16.9)	9(13.8)	0(0.0)
画面	0(0.0)	0(0.0)	0(0.0)	0(0.0)	0(0.0)
	0(0.0)	0(0.0)	0(0.0)	0(0.0)	0(0.0)
画面媒体(延/異)	1: 0/ 0	2: 0/ 0	3: 0/ 0	4: 0/ 0	

放送年月日	1989年6月20日(火)
採録時刻	17:10〜17:15
チャンネル	12(テレビ東京)
ジャンル	ストーリー系
本編秒数	240
番組分数	30
視聴率１	0.0
視聴率２	26.3
本編話者数	3
(男: 1 女: 2 不明: 0)	

標本:０３２０　番組名:「ＮＨＫニュース・トゥデー」

語数	延べ	異なり	語の密度	延べ	異なり	CM語数	延べ	異なり
音声	363	247	音声	72.6	49.4	音声	-	-
画面	212	78	画面	42.4	15.6	画面	-	-

語種	和	漢	外	混	不明
音声	155(42.7)	99(27.3)	61(16.8)	46(12.7)	2(0.6)
	108(43.7)	65(26.3)	36(14.6)	37(15.0)	1(0.4)
画面	30(14.2)	132(62.3)	12(5.7)	15(7.1)	23(10.8)
	21(26.9)	29(37.2)	8(10.3)	14(17.9)	6(7.7)
品詞	体	用	相	他	不明
音声	262(72.2)	66(18.2)	28(7.7)	7(1.9)	0(0.0)
	174(70.4)	49(19.8)	19(7.7)	5(2.0)	0(0.0)
画面	191(90.1)	0(0.0)	0(0.0)	0(0.0)	21(9.9)
	73(93.6)	0(0.0)	0(0.0)	0(0.0)	5(6.4)
画面媒体(延/異)	1: 135/57	2: 0/ 0	3: 0/ 0	4: 77/3	

放送年月日	1989年6月20日(火)
採録時刻	21:45〜21:50
チャンネル	1(ＮＨＫ総合)
ジャンル	報道系
本編秒数	300
番組分数	60
視聴率１	14.0
視聴率２	73.2
本編話者数	8
(男: 5 女: 3 不明: 0)	

標本:０３２１　番組名:「１１ＰＭナイター・巨人×大洋」

語数	延べ	異なり	語の密度	延べ	異なり	CM語数	延べ	異なり
音声	349	193	音声	83.4	46.1	音声	36	33
画面	120	53	画面	28.7	12.7	画面	48	36

語種	和	漢	外	混	不明
音声	216(61.9)	52(14.9)	57(16.3)	24(6.9)	0(0.0)
	107(55.4)	42(21.8)	26(13.5)	18(9.3)	0(0.0)
画面	6(5.0)	58(48.3)	25(20.8)	15(12.5)	16(13.3)
	6(11.3)	27(50.9)	7(13.2)	6(11.3)	7(13.2)
品詞	体	用	相	他	不明
音声	190(54.4)	62(17.8)	57(16.3)	40(11.5)	0(0.0)
	115(59.6)	37(19.2)	28(14.5)	13(6.7)	0(0.0)
画面	104(86.7)	0(0.0)	0(0.0)	0(0.0)	16(13.3)
	46(86.8)	0(0.0)	0(0.0)	0(0.0)	7(13.2)
画面媒体(延/異)	1: 113/51	2: 0/ 0	3: 0/ 0	4: 7/ 4	

放送年月日	1989年6月20日(火)
採録時刻	00:15〜00:20
チャンネル	4(日本テレビ)
ジャンル	スポーツ系
本編秒数	251
番組分数	60
視聴率１	3.7
視聴率２	19.0
本編話者数	4
(男: 3 女: 1 不明: 0)	

標本:０３２２　番組名:「ホットライン」

語 数	延べ	異なり	語の密度	延べ	異なり	CM語数	延べ	異なり
音声	328	172	音声	72.4	37.9	音声	13	9
画面	69	60	画面	15.2	13.2	画面	4	4

語 種	和	漢	外	混	不明
音声	253(77.1)	48(14.6)	13(4.0)	14(4.3)	0(0.0)
	116(67.4)	39(22.7)	7(4.1)	10(5.8)	0(0.0)
画面	26(37.7)	18(26.1)	8(11.6)	11(15.9)	6(8.7)
	25(41.7)	18(30.0)	5(8.3)	11(18.3)	1(1.7)
品 詞	体	用	相	他	不明
音声	126(38.4)	59(18.0)	74(22.6)	69(21.0)	0(0.0)
	80(46.5)	38(22.1)	37(21.5)	17(9.9)	0(0.0)
画面	47(68.1)	12(17.4)	4(5.8)	0(0.0)	6(8.7)
	43(71.7)	12(20.0)	4(6.7)	0(0.0)	1(1.7)

画面媒体(延/異)　1: 66/59　2: 0/ 0　3: 3/ 1　4: 0/ 0

放送年月日	1989年6月21日(水)
採録時刻	07:45〜07:50
チャンネル	6(ＴＢＳ)
ジャンル	一般実用系
本編秒数	272
番組分数	90
視聴率１	4.5
視聴率２	58.6
本編話者数	4
(男: 2 女: 2 不明: 0)	

標本:０３２３　番組名:「レディス４」

語 数	延べ	異なり	語の密度	延べ	異なり	CM語数	延べ	異なり
音声	425	230	音声	94.1	50.9	音声	12	12
画面	33	26	画面	7.3	5.8	画面	11	9

語 種	和	漢	外	混	不明
音声	299(70.4)	87(20.5)	8(1.9)	31(7.3)	0(0.0)
	128(55.7)	68(29.6)	8(3.5)	26(11.3)	0(0.0)
画面	12(36.4)	9(27.3)	1(3.0)	8(24.2)	3(9.1)
	9(34.6)	6(23.1)	1(3.8)	7(26.9)	3(11.5)
品 詞	体	用	相	他	不明
音声	204(48.0)	61(14.4)	91(21.4)	69(16.2)	0(0.0)
	139(60.4)	37(16.1)	38(16.5)	16(7.0)	0(0.0)
画面	27(81.8)	4(12.1)	0(0.0)	0(0.0)	2(6.1)
	21(80.8)	3(11.5)	0(0.0)	0(0.0)	2(7.7)

画面媒体(延/異)　1: 14/14　2: 1/ 1　3: 0/ 0　4: 18/11

放送年月日	1989年6月21日(水)
採録時刻	16:00〜16:05
チャンネル	12(テレビ東京)
ジャンル	一般実用系
本編秒数	271
番組分数	55
視聴率１	2.0
視聴率２	25.7
本編話者数	6
(男: 2 女: 4 不明: 0)	

標本:０３２４　番組名:「トゥナイト」

語 数	延べ	異なり	語の密度	延べ	異なり	CM語数	延べ	異なり
音声	383	171	音声	127.0	56.7	音声	75	68
画面	71	45	画面	23.5	14.9	画面	120	76

語 種	和	漢	外	混	不明
音声	266(69.5)	75(19.6)	10(2.6)	32(8.4)	0(0.0)
	90(52.6)	50(29.2)	8(4.7)	23(13.5)	0(0.0)
画面	8(11.3)	34(47.9)	5(7.0)	13(18.3)	11(15.5)
	5(11.1)	25(55.6)	1(2.2)	10(22.2)	4(8.9)
品 詞	体	用	相	他	不明
音声	157(41.0)	64(16.7)	58(15.1)	104(27.2)	0(0.0)
	89(52.0)	29(17.0)	33(19.3)	20(11.7)	0(0.0)
画面	53(74.6)	4(5.6)	3(4.2)	0(0.0)	11(15.5)
	36(80.0)	2(4.4)	3(6.7)	0(0.0)	4(8.9)

画面媒体(延/異)　1: 4/ 3　2: 66/43　3: 1/ 1　4: 0/ 0

放送年月日	1989年6月21日(水)
採録時刻	23:40〜23:45
チャンネル	10(テレビ朝日)
ジャンル	バラエティー系
本編秒数	181
番組分数	55
視聴率１	10.2
視聴率２	27.6
本編話者数	5
(男: 3 女: 2 不明: 0)	

標本:０３２５　番組名:-

語数	延べ	異なり	語の密度	延べ	異なり	CM語数	延べ	異なり
音声	-	-	音声	-	-	音声	-	-
画面	-	-	画面	-	-	画面	-	-

語種	和	漢	外	混	不明
音声	-(-)	-(-)	-(-)	-(-)	-(-)
	-(-)	-(-)	-(-)	-(-)	-(-)
画面	-(-)	-(-)	-(-)	-(-)	-(-)
	-(-)	-(-)	-(-)	-(-)	-(-)
品詞	体	用	相	他	不明
音声	-(-)	-(-)	-(-)	-(-)	-(-)
	-(-)	-(-)	-(-)	-(-)	-(-)
画面	-(-)	-(-)	-(-)	-(-)	-(-)
	-(-)	-(-)	-(-)	-(-)	-(-)
画面媒体(延/異)	1: -/ -	2: -/ -	3: -/ -	4: -/ -	

放送年月日	1989年6月22日(木)
採録時刻	05:25〜05:30
チャンネル	3(ＮＨＫ教育)
ジャンル	-
本編秒数	300
番組分数	-
視聴率１	-
視聴率２	-
本編話者数	-
(男: - 女: - 不明: -)	

標本:０３２６　番組名:「新鮮卓急便」

語数	延べ	異なり	語の密度	延べ	異なり	CM語数	延べ	異なり
音声	177	140	音声	54.5	43.1	音声	91	72
画面	72	49	画面	22.2	15.1	画面	92	67

語種	和	漢	外	混	不明
音声	98(55.4)	42(23.7)	4(2.3)	30(16.9)	3(1.7)
	75(53.6)	35(25.0)	3(2.1)	25(17.9)	2(1.4)
画面	11(15.3)	25(34.7)	6(8.3)	15(20.8)	15(20.8)
	9(18.4)	18(36.7)	5(10.2)	10(20.4)	7(14.3)
品詞	体	用	相	他	不明
音声	114(64.4)	33(18.6)	26(14.7)	4(2.3)	0(0.0)
	89(63.6)	24(17.1)	23(16.4)	4(2.9)	0(0.0)
画面	57(79.2)	0(0.0)	0(0.0)	0(0.0)	15(20.8)
	42(85.7)	0(0.0)	0(0.0)	0(0.0)	7(14.3)
画面媒体(延/異)	1: 65/46	2: 0/ 0	3: 1/ 1	4: 6/ 4	

放送年月日	1989年6月22日(木)
採録時刻	11:35〜11:40
チャンネル	6(ＴＢＳ)
ジャンル	一般実用系
本編秒数	195
番組分数	5
視聴率１	3.1
視聴率２	21.0
本編話者数	5
(男: 1 女: 4 不明: 0)	

標本:０３２７　番組名:「いきいきセカンドらいふ」

語数	延べ	異なり	語の密度	延べ	異なり	CM語数	延べ	異なり
音声	538	221	音声	107.6	44.2	音声	-	-
画面	31	25	画面	6.2	5.0	画面	-	-

語種	和	漢	外	混	不明
音声	443(82.3)	67(12.5)	4(0.7)	24(4.5)	0(0.0)
	152(68.8)	46(20.8)	3(1.4)	20(9.0)	0(0.0)
画面	17(54.8)	5(16.1)	1(3.2)	3(9.7)	5(16.1)
	14(56.0)	5(20.0)	1(4.0)	3(12.0)	2(8.0)
品詞	体	用	相	他	不明
音声	198(36.8)	92(17.1)	117(21.7)	131(24.3)	0(0.0)
	113(51.1)	46(20.8)	44(19.9)	18(8.1)	0(0.0)
画面	20(64.5)	5(16.1)	1(3.2)	0(0.0)	5(16.1)
	17(68.0)	5(20.0)	1(4.0)	0(0.0)	2(8.0)
画面媒体(延/異)	1: 31/25	2: 0/ 0	3: 0/ 0	4: 0/ 0	

放送年月日	1989年6月22日(木)
採録時刻	15:35〜15:40
チャンネル	1(ＮＨＫ総合)
ジャンル	一般実用系
本編秒数	300
番組分数	20
視聴率１	1.1
視聴率２	34.9
本編話者数	2
(男: 1 女: 1 不明: 0)	

標本:０３２８　番組名:「木曜ゴールデンドラマ・夫の遺言」

語 数	延べ	異なり	語の密度	延べ	異なり	CM語数	延べ	異なり
音声	149	94	音声	37.6	23.7	音声	50	45
画面	0	0	画面	0.0	0.0	画面	47	42

語 種	和	漢	外	混	不明
音声	123(82.6)	15(10.1)	1(0.7)	7(4.7)	3(2.0)
	76(80.9)	10(10.6)	1(1.1)	5(5.3)	2(2.1)
画面	0(0.0)	0(0.0)	0(0.0)	0(0.0)	0(0.0)
	0(0.0)	0(0.0)	0(0.0)	0(0.0)	0(0.0)

品 詞	体	用	相	他	不明
音声	66(44.3)	41(27.5)	24(16.1)	18(12.1)	0(0.0)
	44(46.8)	27(28.7)	15(16.0)	8(8.5)	0(0.0)
画面	0(0.0)	0(0.0)	0(0.0)	0(0.0)	0(0.0)
	0(0.0)	0(0.0)	0(0.0)	0(0.0)	0(0.0)

画面媒体(延/異)	1: 0/ 0	2: 0/ 0	3: 0/ 0	4: 0/ 0

放送年月日	1989年6月22日(木)
採録時刻	21:15〜21:20
チャンネル	4(日本テレビ)
ジャンル	ストーリー系
本編秒数	238
番組分数	109
視聴率１	15.0
視聴率２	79.7
本編話者数	5
(男: 1 女: 4 不明: 0)	

標本:０３２９　番組名:「ミッドナイトアートシアター・追想のオリアナ」

語 数	延べ	異なり	語の密度	延べ	異なり	CM語数	延べ	異なり
音声	71	65	音声	43.0	39.4	音声	150	119
画面	21	20	画面	12.7	12.1	画面	167	129

語 種	和	漢	外	混	不明
音声	27(38.0)	16(22.5)	10(14.1)	17(23.9)	1(1.4)
	25(38.5)	14(21.5)	10(15.4)	15(23.1)	1(1.5)
画面	4(19.0)	3(14.3)	7(33.3)	5(23.8)	2(9.5)
	4(20.0)	3(15.0)	6(30.0)	5(25.0)	2(10.0)

品 詞	体	用	相	他	不明
音声	47(66.2)	13(18.3)	8(11.3)	2(2.8)	1(1.4)
	43(66.2)	11(16.9)	8(12.3)	2(3.1)	1(1.5)
画面	18(85.7)	1(4.8)	0(0.0)	0(0.0)	2(9.5)
	17(85.0)	1(5.0)	0(0.0)	0(0.0)	2(10.0)

画面媒体(延/異)	1: 20/20	2: 0/ 0	3: 0/ 0	4: 1/ 1

放送年月日	1989年6月22日(木)
採録時刻	01:15〜01:20
チャンネル	8(フジテレビ)
ジャンル	ストーリー系
本編秒数	99
番組分数	103
視聴率１	2.2
視聴率２	10.6
本編話者数	3
(男: 1 女: 2 不明: 0)	

標本:０３３０　番組名:「天気予報」

語 数	延べ	異なり	語の密度	延べ	異なり	CM語数	延べ	異なり
音声	76	61	音声	76.0	61.0	音声	220	180
画面	46	33	画面	46.0	33.0	画面	229	175

語 種	和	漢	外	混	不明
音声	45(59.2)	21(27.6)	0(0.0)	10(13.2)	0(0.0)
	32(52.5)	19(31.1)	0(0.0)	10(16.4)	0(0.0)
画面	13(28.3)	17(37.0)	4(8.7)	3(6.5)	9(19.6)
	13(39.4)	14(42.4)	2(6.1)	3(9.1)	1(3.0)

品 詞	体	用	相	他	不明
音声	51(67.1)	16(21.1)	7(9.2)	2(2.6)	0(0.0)
	41(67.2)	11(18.0)	7(11.5)	2(3.3)	0(0.0)
画面	37(80.4)	0(0.0)	0(0.0)	0(0.0)	9(19.6)
	32(97.0)	0(0.0)	0(0.0)	0(0.0)	1(3.0)

画面媒体(延/異)	1: 46/33	2: 0/ 0	3: 0/ 0	4: 0/ 0

放送年月日	1989年6月23日(金)
採録時刻	11:55〜12:00
チャンネル	4(日本テレビ)
ジャンル	報道系
本編秒数	60
番組分数	5
視聴率１	5.8
視聴率２	31.3
本編話者数	2
(男: 0 女: 2 不明: 0)	

標本:０３３１　番組名:「愛の劇場・鎌倉ペンション物語」

語数	延べ	異なり	語の密度	延べ	異なり	CM語数	延べ	異なり
音声	136	99	音声	34.1	24.9	音声	66	51
画面	13	13	画面	3.3	3.3	画面	28	22

語種	和	漢	外	混	不明
音声	105(77.2)	17(12.5)	6(4.4)	7(5.1)	1(0.7)
	72(72.7)	15(15.2)	4(4.0)	7(7.1)	1(1.0)
画面	1(7.7)	12(92.3)	0(0.0)	0(0.0)	0(0.0)
	1(7.7)	12(92.3)	0(0.0)	0(0.0)	0(0.0)

品詞	体	用	相	他	不明
音声	60(44.1)	22(16.2)	33(24.3)	21(15.4)	0(0.0)
	47(47.5)	18(18.2)	22(22.2)	12(12.1)	0(0.0)
画面	13(100.0)	0(0.0)	0(0.0)	0(0.0)	0(0.0)
	13(100.0)	0(0.0)	0(0.0)	0(0.0)	0(0.0)

画面媒体(延/異)　1: 0/ 0　2: 0/ 0　3: 0/ 0　4: 13/13

放送年月日	1989年6月23日(金)
採録時刻	13:10〜13:15
チャンネル	6(ＴＢＳ)
ジャンル	ストーリー系
本編秒数	239
番組分数	30
視聴率１	11.8
視聴率２	40.6
本編話者数	8
	(男: 5 女: 3 不明: 0)

標本:０３３２　番組名:「歴史誕生」

語数	延べ	異なり	語の密度	延べ	異なり	CM語数	延べ	異なり
音声	267	187	音声	53.4	37.4	音声	-	-
画面	53	49	画面	10.6	9.8	画面	-	-

語種	和	漢	外	混	不明
音声	148(55.4)	96(36.0)	4(1.5)	19(7.1)	0(0.0)
	100(53.5)	64(34.2)	4(2.1)	19(10.2)	0(0.0)
画面	12(22.6)	22(41.5)	3(5.7)	12(22.6)	4(7.5)
	11(22.4)	19(38.8)	3(6.1)	12(24.5)	4(8.2)

品詞	体	用	相	他	不明
音声	149(55.8)	57(21.3)	34(12.7)	27(10.1)	0(0.0)
	102(54.5)	47(25.1)	23(12.3)	15(8.0)	0(0.0)
画面	41(77.4)	5(9.4)	4(7.5)	1(1.9)	2(3.8)
	37(75.5)	5(10.2)	4(8.2)	1(2.0)	2(4.1)

画面媒体(延/異)　1: 20/20　2: 0/ 0　3: 0/ 0　4: 33/29

放送年月日	1989年6月23日(金)
採録時刻	22:00〜22:05
チャンネル	1(ＮＨＫ総合)
ジャンル	教育・教養系
本編秒数	300
番組分数	45
視聴率１	8.0
視聴率２	67.7
本編話者数	10
	(男: 10 女: 0 不明: 0)

標本:０３３３　番組名:「ケントのＰＣミッドナイト」

語数	延べ	異なり	語の密度	延べ	異なり	CM語数	延べ	異なり
音声	382	255	音声	76.4	51.0	音声	-	-
画面	78	56	画面	15.6	11.2	画面	-	-

語種	和	漢	外	混	不明
音声	241(63.1)	84(22.0)	20(5.2)	37(9.7)	0(0.0)
	132(51.8)	71(27.8)	19(7.5)	33(12.9)	0(0.0)
画面	4(5.1)	21(26.9)	11(14.1)	19(24.4)	23(29.5)
	4(7.1)	18(32.1)	7(12.5)	16(28.6)	11(19.6)

品詞	体	用	相	他	不明
音声	176(46.1)	84(22.0)	83(21.7)	39(10.2)	0(0.0)
	144(56.5)	54(21.2)	39(15.3)	18(7.1)	0(0.0)
画面	55(70.5)	0(0.0)	0(0.0)	0(0.0)	23(29.5)
	45(80.4)	0(0.0)	0(0.0)	0(0.0)	11(19.6)

画面媒体(延/異)　1: 28/25　2: 0/ 0　3: 1/ 1　4: 49/40

放送年月日	1989年6月23日(金)
採録時刻	00:50〜00:55
チャンネル	12(テレビ東京)
ジャンル	バラエティー系
本編秒数	300
番組分数	30
視聴率１	0.9
視聴率２	18.0
本編話者数	3
	(男: 2 女: 1 不明: 0)

標本:０３３４　番組名:「ＯＨ！エルくらぶ」

語 数	延べ	異なり	語の密度	延べ	異なり	ＣＭ語数	延べ	異なり
音声	335	180	音声	67.0	36.0	音声	-	-
画面	31	28	画面	6.2	5.6	画面	-	-

語 種	和	漢	外	混	不明
音声	234(69.9)	64(19.1)	10(3.0)	27(8.1)	0(0.0)
	102(56.7)	48(26.7)	9(5.0)	21(11.7)	0(0.0)
画面	2(6.5)	14(45.2)	0(0.0)	6(19.4)	9(29.0)
	2(7.1)	14(50.0)	0(0.0)	6(21.4)	6(21.4)

品 詞	体	用	相	他	不明
音声	140(41.8)	49(14.6)	72(21.5)	74(22.1)	0(0.0)
	103(57.2)	31(17.2)	29(16.1)	17(9.4)	0(0.0)
画面	21(67.7)	0(0.0)	1(3.2)	0(0.0)	9(29.0)
	21(75.0)	0(0.0)	1(3.6)	0(0.0)	6(21.4)

画面媒体(延/異)　1: 31/28　2: 0/ 0　3: 0/ 0　4: 0/ 0

放送年月日	1989年6月24日(土)
採録時刻	10:35～10:40
チャンネル	10(テレビ朝日)
ジャンル	一般実用系
本編秒数	300
番組分数	75
視聴率１	3.5
視聴率２	31.1
本編話者数	12
(男: 6 女: 6 不明: 0)	

標本:０３３５　番組名:「くらしの経済セミナー」

語 数	延べ	異なり	語の密度	延べ	異なり	ＣＭ語数	延べ	異なり
音声	402	241	音声	80.4	48.2	音声	-	-
画面	32	32	画面	6.4	6.4	画面	-	-

語 種	和	漢	外	混	不明
音声	263(65.4)	79(19.7)	15(3.7)	45(11.2)	0(0.0)
	125(51.9)	68(28.2)	12(5.0)	36(14.9)	0(0.0)
画面	2(6.3)	6(18.8)	4(12.5)	18(56.3)	2(6.3)
	2(6.3)	6(18.8)	4(12.5)	18(56.3)	2(6.3)

品 詞	体	用	相	他	不明
音声	215(53.5)	64(15.9)	71(17.7)	52(12.9)	0(0.0)
	153(63.5)	43(17.8)	35(14.5)	10(4.1)	0(0.0)
画面	30(93.8)	0(0.0)	0(0.0)	0(0.0)	2(6.3)
	30(93.8)	0(0.0)	0(0.0)	0(0.0)	2(6.3)

画面媒体(延/異)　1: 11/11　2: 19/19　3: 0/ 0　4: 2/ 2

放送年月日	1989年6月24日(土)
採録時刻	16:05～16:10
チャンネル	3(ＮＨＫ教育)
ジャンル	一般実用系
本編秒数	300
番組分数	55
視聴率１	1.1
視聴率２	38.9
本編話者数	6
(男: 5 女: 0 不明: 1)	

標本:０３３６　番組名:「ＦＮＮニュース・あすの天気」

語 数	延べ	異なり	語の密度	延べ	異なり	ＣＭ語数	延べ	異なり
音声	144	106	音声	57.2	42.1	音声	84	78
画面	62	44	画面	24.6	17.5	画面	225	167

語 種	和	漢	外	混	不明
音声	60(41.7)	60(41.7)	2(1.4)	22(15.3)	0(0.0)
	37(34.9)	48(45.3)	2(1.9)	19(17.9)	0(0.0)
画面	17(27.4)	21(33.9)	2(3.2)	14(22.6)	8(12.9)
	10(22.7)	13(29.5)	1(2.3)	13(29.5)	7(15.9)

品 詞	体	用	相	他	不明
音声	101(70.1)	32(22.2)	10(6.9)	1(0.7)	0(0.0)
	75(70.8)	21(19.8)	9(8.5)	1(0.9)	0(0.0)
画面	50(80.6)	2(3.2)	2(3.2)	0(0.0)	8(12.9)
	33(75.0)	2(4.5)	2(4.5)	0(0.0)	7(15.9)

画面媒体(延/異)　1: 62/44　2: 0/ 0　3: 0/ 0　4: 0/ 0

放送年月日	1989年6月24日(土)
採録時刻	20:55～21:00
チャンネル	8(フジテレビ)
ジャンル	報道系
本編秒数	151
番組分数	6
視聴率１	11.1
視聴率２	77.5
本編話者数	8
(男: 6 女: 2 不明: 0)	

標本:０３３７　番組名:「ＣＢＳイブニングニュース」

語数	延べ	異なり	語の密度	延べ	異なり	ＣＭ語数	延べ	異なり
音声	343	245	音声	71.2	50.9	音声	3	3
画面	0	0	画面	0.0	0.0	画面	1	1

語種	和	漢	外	混	不明
音声	144(42.0)	139(40.5)	7(2.0)	53(15.5)	0(0.0)
	92(37.6)	101(41.2)	7(2.9)	45(18.4)	0(0.0)
画面	0(0.0)	0(0.0)	0(0.0)	0(0.0)	0(0.0)
	0(0.0)	0(0.0)	0(0.0)	0(0.0)	0(0.0)

品詞	体	用	相	他	不明
音声	219(63.8)	86(25.1)	36(10.5)	2(0.6)	0(0.0)
	157(64.1)	59(24.1)	27(11.0)	2(0.8)	0(0.0)
画面	0(0.0)	0(0.0)	0(0.0)	0(0.0)	0(0.0)
	0(0.0)	0(0.0)	0(0.0)	0(0.0)	0(0.0)

画面媒体(延/異)　1: 0/ 0　2: 0/ 0　3: 0/ 0　4: 0/ 0

放送年月日	1989年6月25日(日)
採録時刻	05:30〜05:35
チャンネル	6(ＴＢＳ)
ジャンル	報道系
本編秒数	289
番組分数	26
視聴率１	1.0
視聴率２	3.8
本編話者数	2
	(男: 1 女: 1 不明: 0)

標本:０３３８　番組名:「関東甲信越小さな旅」

語数	延べ	異なり	語の密度	延べ	異なり	ＣＭ語数	延べ	異なり
音声	293	184	音声	58.6	36.8	音声	-	-
画面	43	29	画面	8.6	5.8	画面	-	-

語種	和	漢	外	混	不明
音声	228(77.8)	39(13.3)	7(2.4)	19(6.5)	0(0.0)
	123(66.8)	37(20.1)	6(3.3)	18(9.8)	0(0.0)
画面	4(9.3)	10(23.3)	3(7.0)	11(25.6)	15(34.9)
	4(13.8)	8(27.6)	2(6.9)	9(31.0)	6(20.7)

品詞	体	用	相	他	不明
音声	149(50.9)	49(16.7)	62(21.2)	33(11.3)	0(0.0)
	110(59.8)	30(16.3)	33(17.9)	11(6.0)	0(0.0)
画面	28(65.1)	0(0.0)	0(0.0)	0(0.0)	15(34.9)
	23(79.3)	0(0.0)	0(0.0)	0(0.0)	6(20.7)

画面媒体(延/異)　1: 43/29　2: 0/ 0　3: 0/ 0　4: 0/ 0

放送年月日	1989年6月25日(日)
採録時刻	07:55〜08:00
チャンネル	1(ＮＨＫ総合)
ジャンル	教育・教養系
本編秒数	300
番組分数	29
視聴率１	16.5
視聴率２	34.9
本編話者数	10
	(男: 9 女: 1 不明: 0)

標本:０３３９　番組名:「プロ野球・大洋×広島」

語数	延べ	異なり	語の密度	延べ	異なり	ＣＭ語数	延べ	異なり
音声	73	57	音声	52.8	41.2	音声	128	106
画面	81	53	画面	58.6	38.3	画面	167	129

語種	和	漢	外	混	不明
音声	33(45.2)	16(21.9)	9(12.3)	15(20.5)	0(0.0)
	26(45.6)	12(21.1)	8(14.0)	11(19.3)	0(0.0)
画面	20(24.7)	29(35.8)	14(17.3)	5(6.2)	13(16.0)
	14(26.4)	22(41.5)	8(15.1)	5(9.4)	4(7.5)

品詞	体	用	相	他	不明
音声	53(72.6)	8(11.0)	6(8.2)	6(8.2)	0(0.0)
	39(68.4)	8(14.0)	5(8.8)	5(8.8)	0(0.0)
画面	68(84.0)	0(0.0)	0(0.0)	0(0.0)	13(16.0)
	49(92.5)	0(0.0)	0(0.0)	0(0.0)	4(7.5)

画面媒体(延/異)　1: 57/33　2: 0/ 0　3: 0/ 0　4: 24/23

放送年月日	1989年6月25日(日)
採録時刻	14:10〜14:15
チャンネル	8(フジテレビ)
ジャンル	スポーツ系
本編秒数	83
番組分数	115
視聴率１	8.4
視聴率２	37.4
本編話者数	3
	(男: 2 女: 1 不明: 0)

標本:０３４０　番組名:「芸術劇場・サイモン　フレストンオルガン演奏会」

語 数	延べ	異なり	語の密度	延べ	異なり	CM語数	延べ	異なり
音声	0	0	音声	0.0	0.0	音声	-	-
画面	0	0	画面	0.0	0.0	画面	-	-

語 種	和	漢	外	混	不明
音声	0(0.0)	0(0.0)	0(0.0)	0(0.0)	0(0.0)
	0(0.0)	0(0.0)	0(0.0)	0(0.0)	0(0.0)
画面	0(0.0)	0(0.0)	0(0.0)	0(0.0)	0(0.0)
	0(0.0)	0(0.0)	0(0.0)	0(0.0)	0(0.0)
品 詞	体	用	相	他	不明
音声	0(0.0)	0(0.0)	0(0.0)	0(0.0)	0(0.0)
	0(0.0)	0(0.0)	0(0.0)	0(0.0)	0(0.0)
画面	0(0.0)	0(0.0)	0(0.0)	0(0.0)	0(0.0)
	0(0.0)	0(0.0)	0(0.0)	0(0.0)	0(0.0)
画面媒体(延/異)	1: 0/ 0	2: 0/ 0	3: 0/ 0	4: 0/ 0	

放送年月日	1989年6月25日(日)
採録時刻	22:55～23:00
チャンネル	3(ＮＨＫ教育)
ジャンル	音楽系
本編秒数	300
番組分数	83
視聴率１	0.3
視聴率２	58.3
本編話者数	0
(男: 0 女: 0 不明: 0)	

標本:０３４１　番組名:-

語 数	延べ	異なり	語の密度	延べ	異なり	CM語数	延べ	異なり
音声	-	-	音声	-	-	音声	-	-
画面	-	-	画面	-	-	画面	-	-

語 種	和	漢	外	混	不明
音声	-(-)	-(-)	-(-)	-(-)	-(-)
	-(-)	-(-)	-(-)	-(-)	-(-)
画面	-(-)	-(-)	-(-)	-(-)	-(-)
	-(-)	-(-)	-(-)	-(-)	-(-)
品 詞	体	用	相	他	不明
音声	-(-)	-(-)	-(-)	-(-)	-(-)
	-(-)	-(-)	-(-)	-(-)	-(-)
画面	-(-)	-(-)	-(-)	-(-)	-(-)
	-(-)	-(-)	-(-)	-(-)	-(-)
画面媒体(延/異)	1: -/ -	2: -/ -	3: -/ -	4: -/ -	

放送年月日	1989年6月25日(日)
採録時刻	04:00～04:05
チャンネル	4(日本テレビ)
ジャンル	-
本編秒数	300
番組分数	-
視聴率１	-
視聴率２	-
本編話者数	-
(男: - 女: - 不明: -)	

標本:０３４２　番組名:「誘われて二人旅」

語 数	延べ	異なり	語の密度	延べ	異なり	CM語数	延べ	異なり
音声	241	157	音声	74.2	48.3	音声	89	65
画面	85	73	画面	26.2	22.5	画面	68	55

語 種	和	漢	外	混	不明
音声	200(83.0)	23(9.5)	5(2.1)	13(5.4)	0(0.0)
	120(76.4)	20(12.7)	5(3.2)	12(7.6)	0(0.0)
画面	19(22.4)	21(24.7)	11(12.9)	17(20.0)	17(20.0)
	19(26.0)	20(27.4)	10(13.7)	16(21.9)	8(11.0)
品 詞	体	用	相	他	不明
音声	90(37.3)	46(19.1)	57(23.7)	48(19.9)	0(0.0)
	69(43.9)	33(21.0)	38(24.2)	17(10.8)	0(0.0)
画面	72(84.7)	0(0.0)	1(1.2)	0(0.0)	12(14.1)
	68(93.2)	0(0.0)	1(1.4)	0(0.0)	4(5.5)
画面媒体(延/異)	1: 85/73	2: 0/ 0	3: 0/ 0	4: 0/ 0	

放送年月日	1989年6月26日(月)
採録時刻	09:50～09:55
チャンネル	10(テレビ朝日)
ジャンル	教育・教養系
本編秒数	195
番組分数	25
視聴率１	3.9
視聴率２	29.3
本編話者数	5
(男: 2 女: 3 不明: 0)	

標本:０３４３　番組名:「あひるのクワック」

語数	延べ	異なり	語の密度	延べ	異なり	CM語数	延べ	異なり
音声	300	162	音声	60.0	32.4	音声	-	-
画面	0	0	画面	0.0	0.0	画面	-	-

語種	和	漢	外	混	不明
音声	225(75.0)	41(13.7)	19(6.3)	15(5.0)	0(0.0)
	114(70.4)	30(18.5)	10(6.2)	8(4.9)	0(0.0)
画面	0(0.0)	0(0.0)	0(0.0)	0(0.0)	0(0.0)
	0(0.0)	0(0.0)	0(0.0)	0(0.0)	0(0.0)

品詞	体	用	相	他	不明
音声	139(46.3)	70(23.3)	54(18.0)	37(12.3)	0(0.0)
	73(45.1)	38(23.5)	32(19.8)	19(11.7)	0(0.0)
画面	0(0.0)	0(0.0)	0(0.0)	0(0.0)	0(0.0)
	0(0.0)	0(0.0)	0(0.0)	0(0.0)	0(0.0)

画面媒体(延/異): 1: 0/ 0 2: 0/ 0 3: 0/ 0 4: 0/ 0

放送年月日	1989年6月26日(月)
採録時刻	17:05〜17:10
チャンネル	12(テレビ東京)
ジャンル	ストーリー系
本編秒数	300
番組分数	30
視聴率１	1.5
視聴率２	26.4
本編話者数	6
(男: 5 女: 1 不明: 0)	

標本:０３４４　番組名:「高等学校講座」

語数	延べ	異なり	語の密度	延べ	異なり	CM語数	延べ	異なり
音声	347	112	音声	69.4	22.4	音声	-	-
画面	34	23	画面	6.8	4.6	画面	-	-

語種	和	漢	外	混	不明
音声	210(60.5)	66(19.0)	35(10.1)	36(10.4)	0(0.0)
	66(58.9)	21(18.8)	9(8.0)	16(14.3)	0(0.0)
画面	4(11.8)	18(52.9)	1(2.9)	0(0.0)	11(32.4)
	4(17.4)	9(39.1)	1(4.3)	0(0.0)	9(39.1)

品詞	体	用	相	他	不明
音声	170(49.0)	92(26.5)	63(18.2)	22(6.3)	0(0.0)
	57(50.9)	28(25.0)	17(15.2)	10(8.9)	0(0.0)
画面	29(85.3)	1(2.9)	0(0.0)	0(0.0)	4(11.8)
	20(87.0)	1(4.3)	0(0.0)	0(0.0)	2(8.7)

画面媒体(延/異): 1: 27/22 2: 7/ 4 3: 0/ 0 4: 0/ 0

放送年月日	1989年6月26日(月)
採録時刻	19:25〜19:30
チャンネル	3(ＮＨＫ教育)
ジャンル	教育・教養系
本編秒数	300
番組分数	30
視聴率１	0.7
視聴率２	62.2
本編話者数	1
(男: 1 女: 0 不明: 0)	

標本:０３４５　番組名:「ＰＲＥ・ＳＴＡＧＥ２」

語数	延べ	異なり	語の密度	延べ	異なり	CM語数	延べ	異なり
音声	494	216	音声	119.0	52.0	音声	27	25
画面	94	59	画面	22.7	14.2	画面	31	27

語種	和	漢	外	混	不明
音声	386(78.1)	52(10.5)	16(3.2)	40(8.1)	0(0.0)
	143(66.2)	29(13.4)	11(5.1)	33(15.3)	0(0.0)
画面	39(41.5)	19(20.2)	8(8.5)	20(21.3)	8(8.5)
	26(44.1)	11(18.6)	5(8.5)	12(20.3)	5(8.5)

品詞	体	用	相	他	不明
音声	179(36.2)	103(20.9)	106(21.5)	106(21.5)	0(0.0)
	110(50.9)	46(21.3)	40(18.5)	20(9.3)	0(0.0)
画面	62(66.0)	19(20.2)	5(5.3)	0(0.0)	8(8.5)
	39(66.1)	11(18.6)	4(6.8)	0(0.0)	5(8.5)

画面媒体(延/異): 1: 30/27 2: 64/32 3: 0/ 0 4: 0/ 0

放送年月日	1989年6月26日(月)
採録時刻	03:05〜03:10
チャンネル	10(テレビ朝日)
ジャンル	バラエティー系
本編秒数	249
番組分数	150
視聴率１	1.6
視聴率２	4.2
本編話者数	6
(男: 5 女: 1 不明: 0)	

標本:０３４６　番組名:「ズームイン！！朝！」

語 数	延べ	異なり	語の密度	延べ	異なり	CM語数	延べ	異なり
音声	384	198	音声	96.0	49.5	音声	24	21
画面	89	62	画面	22.3	15.5	画面	34	27

語 種	和	漢	外	混	不明
音声	268(69.8)	67(17.4)	21(5.5)	27(7.0)	1(0.3)
	122(61.6)	43(21.7)	6(3.0)	26(13.1)	1(0.5)
画面	20(22.5)	23(25.8)	5(5.6)	15(16.9)	26(29.2)
	17(27.4)	17(27.4)	4(6.5)	14(22.6)	10(16.1)

品 詞	体	用	相	他	不明
音声	183(47.7)	53(13.8)	75(19.5)	73(19.0)	0(0.0)
	112(56.6)	28(14.1)	41(20.7)	17(8.6)	0(0.0)
画面	58(65.2)	3(3.4)	2(2.2)	1(1.1)	25(28.1)
	48(77.4)	2(3.2)	2(3.2)	1(1.6)	9(14.5)

画面媒体(延/異)	1: 73/52	2: 0/ 0	3: 0/ 0	4: 16/10

放送年月日	1989年6月27日(火)
採録時刻	07:15〜07:20
チャンネル	4(日本テレビ)
ジャンル	一般実用系
本編秒数	240
番組分数	90
視聴率１	16.5
視聴率２	54.1
本編話者数	6
(男: 4 女: 2 不明: 0)	

標本:０３４７　番組名:「私、単身赴任します」

語 数	延べ	異なり	語の密度	延べ	異なり	CM語数	延べ	異なり
音声	85	66	音声	42.5	33.0	音声	184	143
画面	14	13	画面	7.0	6.5	画面	113	71

語 種	和	漢	外	混	不明
音声	69(81.2)	12(14.1)	1(1.2)	2(2.4)	1(1.2)
	50(75.8)	12(18.2)	1(1.5)	2(3.0)	1(1.5)
画面	5(35.7)	4(28.6)	2(14.3)	3(21.4)	0(0.0)
	5(38.5)	3(23.1)	2(15.4)	3(23.1)	0(0.0)

品 詞	体	用	相	他	不明
音声	38(44.7)	12(14.1)	18(21.2)	17(20.0)	0(0.0)
	31(47.0)	11(16.7)	15(22.7)	9(13.6)	0(0.0)
画面	12(85.7)	2(14.3)	0(0.0)	0(0.0)	0(0.0)
	11(84.6)	2(15.4)	0(0.0)	0(0.0)	0(0.0)

画面媒体(延/異)	1: 14/13	2: 0/ 0	3: 0/ 0	4: 0/ 0

放送年月日	1989年6月27日(火)
採録時刻	13:55〜14:00
チャンネル	6(ＴＢＳ)
ジャンル	ストーリー系
本編秒数	120
番組分数	15
視聴率１	5.7
視聴率２	33.5
本編話者数	9
(男: 3 女: 6 不明: 0)	

標本:０３４８　番組名:「ＮＨＫニュース・トゥデー」

語 数	延べ	異なり	語の密度	延べ	異なり	CM語数	延べ	異なり
音声	427	247	音声	85.4	49.4	音声	-	-
画面	74	58	画面	14.8	11.6	画面	-	-

語 種	和	漢	外	混	不明
音声	272(63.7)	115(26.9)	8(1.9)	32(7.5)	0(0.0)
	137(55.5)	79(32.0)	7(2.8)	24(9.7)	0(0.0)
画面	2(2.7)	39(52.7)	4(5.4)	16(21.6)	13(17.6)
	2(3.4)	32(55.2)	2(3.4)	15(25.9)	7(12.1)

品 詞	体	用	相	他	不明
音声	223(52.2)	84(19.7)	59(13.8)	61(14.3)	0(0.0)
	147(59.5)	50(20.2)	34(13.8)	16(6.5)	0(0.0)
画面	60(81.1)	1(1.4)	0(0.0)	0(0.0)	13(17.6)
	50(86.2)	1(1.7)	0(0.0)	0(0.0)	7(12.1)

画面媒体(延/異)	1: 28/19	2: 33/28	3: 0/ 0	4: 13/13

放送年月日	1989年6月27日(火)
採録時刻	21:20〜21:25
チャンネル	1(ＮＨＫ総合)
ジャンル	報道系
本編秒数	300
番組分数	60
視聴率１	11.1
視聴率２	76.3
本編話者数	9
(男: 3 女: 6 不明: 0)	

標本:０３４９　番組名:「ガイド」

語数	延べ	異なり	語の密度	延べ	異なり	CM語数	延べ	異なり
音声	-	-	音声	-	-	音声	224	170
画面	-	-	画面	-	-	画面	296	196

語種	和	漢	外	混	不明
音声	-(-)	-(-)	-(-)	-(-)	-(-)
	-(-)	-(-)	-(-)	-(-)	-(-)
画面	-(-)	-(-)	-(-)	-(-)	-(-)
	-(-)	-(-)	-(-)	-(-)	-(-)
品詞	体	用	相	他	不明
音声	-(-)	-(-)	-(-)	-(-)	-(-)
	-(-)	-(-)	-(-)	-(-)	-(-)
画面	-(-)	-(-)	-(-)	-(-)	-(-)
	-(-)	-(-)	-(-)	-(-)	-(-)
画面媒体(延/異)	1: -/ -	2: -/ -	3: -/ -	4: -/ -	

放送年月日	1989年6月27日(火)
採録時刻	01:05〜01:10
チャンネル	12(テレビ東京)
ジャンル	その他
本編秒数	0
番組分数	5
視聴率1	0.1
視聴率2	10.6
本編話者数	-
(男: - 女: - 不明: -)	

標本:０３５０　番組名:「生島ヒロシのおいしいフライパン」

語数	延べ	異なり	語の密度	延べ	異なり	CM語数	延べ	異なり
音声	607	228	音声	121.4	45.6	音声	-	-
画面	45	36	画面	9.0	7.2	画面	-	-

語種	和	漢	外	混	不明
音声	444(73.1)	70(11.5)	55(9.1)	36(5.9)	2(0.3)
	146(64.0)	42(18.4)	17(7.5)	22(9.6)	1(0.4)
画面	5(11.1)	7(15.6)	8(17.8)	10(22.2)	15(33.3)
	5(13.9)	7(19.4)	7(19.4)	10(27.8)	7(19.4)
品詞	体	用	相	他	不明
音声	226(37.2)	90(14.8)	151(24.9)	140(23.1)	0(0.0)
	112(49.1)	40(17.5)	51(22.4)	25(11.0)	0(0.0)
画面	30(66.7)	0(0.0)	1(2.2)	0(0.0)	14(31.1)
	29(80.6)	0(0.0)	1(2.8)	0(0.0)	6(16.7)
画面媒体(延/異)	1: 45/36	2: 0/ 0	3: 0/ 0	4: 0/ 0	

放送年月日	1989年6月28日(水)
採録時刻	10:15〜10:20
チャンネル	8(フジテレビ)
ジャンル	一般実用系
本編秒数	300
番組分数	85
視聴率1	5.2
視聴率2	26.4
本編話者数	7
(男: 5 女: 2 不明: 0)	

標本:０３５１　番組名:「パオパオチャンネル」

語数	延べ	異なり	語の密度	延べ	異なり	CM語数	延べ	異なり
音声	455	204	音声	121.3	54.4	音声	49	39
画面	151	111	画面	40.3	29.6	画面	58	56

語種	和	漢	外	混	不明
音声	344(75.6)	67(14.7)	18(4.0)	23(5.1)	3(0.7)
	125(61.3)	49(24.0)	11(5.4)	18(8.8)	1(0.5)
画面	28(18.5)	44(29.1)	17(11.3)	33(21.9)	29(19.2)
	26(23.4)	34(30.6)	15(13.5)	23(20.7)	13(11.7)
品詞	体	用	相	他	不明
音声	172(37.8)	77(16.9)	88(19.3)	118(25.9)	0(0.0)
	105(51.5)	41(20.1)	37(18.1)	21(10.3)	0(0.0)
画面	120(79.5)	3(2.0)	1(0.7)	1(0.7)	26(17.2)
	96(86.5)	3(2.7)	1(0.9)	1(0.9)	10(9.0)
画面媒体(延/異)	1: 86/81	2: 61/33	3: 2/ 1	4: 2/ 1	

放送年月日	1989年6月28日(水)
採録時刻	17:45〜17:50
チャンネル	10(テレビ朝日)
ジャンル	バラエティー系
本編秒数	225
番組分数	50
視聴率1	3.6
視聴率2	43.4
本編話者数	4
(男: 1 女: 3 不明: 0)	

標本:０３５２　番組名:「中国語講座」

語 数	延べ	異なり	語の密度	延べ	異なり	CM語数	延べ	異なり
音声	208	101	音声	41.6	20.2	音声	-	-
画面	27	23	画面	5.4	4.6	画面	-	-

語 種	和	漢	外	混	不明
音声	148(71.2)	50(24.0)	2(1.0)	8(3.8)	0(0.0)
	61(60.4)	33(32.7)	2(2.0)	5(5.0)	0(0.0)
画面	8(29.6)	10(37.0)	3(11.1)	2(7.4)	4(14.8)
	8(34.8)	9(39.1)	2(8.7)	2(8.7)	2(8.7)

品 詞	体	用	相	他	不明
音声	98(47.1)	32(15.4)	21(10.1)	57(27.4)	0(0.0)
	57(56.4)	20(19.8)	13(12.9)	11(10.9)	0(0.0)
画面	18(66.7)	3(11.1)	2(7.4)	0(0.0)	4(14.8)
	16(69.6)	3(13.0)	2(8.7)	0(0.0)	2(8.7)

画面媒体(延/異)　1: 23/19　2: 0/ 0　3: 0/ 0　4: 4/ 4

放送年月日	1989年6月28日(水)
採録時刻	18:55〜19:00
チャンネル	3(ＮＨＫ教育)
ジャンル	教育・教養系
本編秒数	300
番組分数	30
視聴率１	0.3
視聴率２	61.5
本編話者数	3
(男: 1 女: 2 不明: 0)	

標本:０３５３　番組名:-

語 数	延べ	異なり	語の密度	延べ	異なり	CM語数	延べ	異なり
音声	-	-	音声	-	-	音声	-	-
画面	-	-	画面	-	-	画面	-	-

語 種	和	漢	外	混	不明
音声	-(-)	-(-)	-(-)	-(-)	-(-)
	-(-)	-(-)	-(-)	-(-)	-(-)
画面	-(-)	-(-)	-(-)	-(-)	-(-)
	-(-)	-(-)	-(-)	-(-)	-(-)

品 詞	体	用	相	他	不明
音声	-(-)	-(-)	-(-)	-(-)	-(-)
	-(-)	-(-)	-(-)	-(-)	-(-)
画面	-(-)	-(-)	-(-)	-(-)	-(-)
	-(-)	-(-)	-(-)	-(-)	-(-)

画面媒体(延/異)　1: -/ -　2: -/ -　3: -/ -　4: -/ -

放送年月日	1989年6月28日(水)
採録時刻	00:35〜00:40
チャンネル	1(ＮＨＫ総合)
ジャンル	-
本編秒数	300
番組分数	-
視聴率１	-
視聴率２	-
本編話者数	-
(男: - 女: - 不明: -)	

標本:０３５４　番組名:「ルンルンあさ６生情報」

語 数	延べ	異なり	語の密度	延べ	異なり	CM語数	延べ	異なり
音声	220	166	音声	73.3	55.3	音声	92	81
画面	75	48	画面	25.0	16.0	画面	84	65

語 種	和	漢	外	混	不明
音声	135(61.4)	61(27.7)	1(0.5)	23(10.5)	0(0.0)
	96(57.8)	49(29.5)	1(0.6)	20(12.0)	0(0.0)
画面	20(26.7)	15(20.0)	0(0.0)	16(21.3)	24(32.0)
	19(39.6)	11(22.9)	0(0.0)	14(29.2)	4(8.3)

品 詞	体	用	相	他	不明
音声	140(63.6)	43(19.5)	28(12.7)	9(4.1)	0(0.0)
	109(65.7)	31(18.7)	20(12.0)	6(3.6)	0(0.0)
画面	51(68.0)	0(0.0)	0(0.0)	0(0.0)	24(32.0)
	44(91.7)	0(0.0)	0(0.0)	0(0.0)	4(8.3)

画面媒体(延/異)　1: 68/43　2: 2/ 2　3: 0/ 0　4: 5/ 3

放送年月日	1989年6月29日(木)
採録時刻	06:00〜06:05
チャンネル	4(日本テレビ)
ジャンル	一般実用系
本編秒数	180
番組分数	45
視聴率１	2.9
視聴率２	13.0
本編話者数	3
(男: 2 女: 1 不明: 0)	

標本:０３５５　番組名:「水戸黄門」

語数	延べ	異なり	語の密度	延べ	異なり	CM語数	延べ	異なり
音声	244	150	音声	48.8	30.0	音声	-	-
画面	0	0	画面	0.0	0.0	画面	-	-

語種	和	漢	外	混	不明
音声	190(77.9)	27(11.1)	0(0.0)	25(10.2)	2(0.8)
	115(76.7)	23(15.3)	0(0.0)	11(7.3)	1(0.7)
画面	0(0.0)	0(0.0)	0(0.0)	0(0.0)	0(0.0)
	0(0.0)	0(0.0)	0(0.0)	0(0.0)	0(0.0)

品詞	体	用	相	他	不明
音声	139(57.0)	68(27.9)	20(8.2)	17(7.0)	0(0.0)
	76(50.7)	48(32.0)	15(10.0)	11(7.3)	0(0.0)
画面	0(0.0)	0(0.0)	0(0.0)	0(0.0)	0(0.0)
	0(0.0)	0(0.0)	0(0.0)	0(0.0)	0(0.0)

画面媒体(延/異): 1: 0/ 0 2: 0/ 0 3: 0/ 0 4: 0/ 0

放送年月日	1989年6月29日(木)
採録時刻	16:40〜16:45
チャンネル	6(ＴＢＳ)
ジャンル	ストーリー系
本編秒数	300
番組分数	55
視聴率１	10.5
視聴率２	29.5
本編話者数	7
	(男: 6 女: 1 不明: 0)

標本:０３５６　番組名:「天空戦記シュラト」

語数	延べ	異なり	語の密度	延べ	異なり	CM語数	延べ	異なり
音声	131	116	音声	32.6	28.9	音声	39	34
画面	120	102	画面	29.9	25.4	画面	43	26

語種	和	漢	外	混	不明
音声	80(61.1)	27(20.6)	10(7.6)	11(8.4)	3(2.3)
	72(62.1)	26(22.4)	5(4.3)	11(9.5)	2(1.7)
画面	42(35.0)	24(20.0)	10(8.3)	23(19.2)	21(17.5)
	39(38.2)	22(21.6)	10(9.8)	18(17.6)	13(12.7)

品詞	体	用	相	他	不明
音声	73(55.7)	37(28.2)	19(14.5)	0(0.0)	2(1.5)
	64(55.2)	35(30.2)	16(13.8)	0(0.0)	1(0.9)
画面	91(75.8)	11(9.2)	5(4.2)	0(0.0)	13(10.8)
	83(81.4)	10(9.8)	4(3.9)	0(0.0)	5(4.9)

画面媒体(延/異): 1: 120/102 2: 0/ 0 3: 0/ 0 4: 0/ 0

放送年月日	1989年6月29日(木)
採録時刻	19:00〜19:05
チャンネル	12(テレビ東京)
ジャンル	ストーリー系
本編秒数	241
番組分数	30
視聴率１	5.5
視聴率２	47.9
本編話者数	8
	(男: 4 女: 3 不明: 1)

標本:０３５７　番組名:「木曜映画劇場・ＢＭＸ　アドベンチャー」

語数	延べ	異なり	語の密度	延べ	異なり	CM語数	延べ	異なり
音声	126	64	音声	41.3	21.0	音声	75	58
画面	0	0	画面	0.0	0.0	画面	68	56

語種	和	漢	外	混	不明
音声	99(78.6)	20(15.9)	4(3.2)	3(2.4)	0(0.0)
	46(71.9)	12(18.8)	4(6.3)	2(3.1)	0(0.0)
画面	0(0.0)	0(0.0)	0(0.0)	0(0.0)	0(0.0)
	0(0.0)	0(0.0)	0(0.0)	0(0.0)	0(0.0)

品詞	体	用	相	他	不明
音声	44(34.9)	30(23.8)	22(17.5)	30(23.8)	0(0.0)
	25(39.1)	14(21.9)	11(17.2)	14(21.9)	0(0.0)
画面	0(0.0)	0(0.0)	0(0.0)	0(0.0)	0(0.0)
	0(0.0)	0(0.0)	0(0.0)	0(0.0)	0(0.0)

画面媒体(延/異): 1: 0/ 0 2: 0/ 0 3: 0/ 0 4: 0/ 0

放送年月日	1989年6月29日(木)
採録時刻	04:35〜04:40
チャンネル	8(フジテレビ)
ジャンル	ストーリー系
本編秒数	183
番組分数	92
視聴率１	1.0
視聴率２	3.2
本編話者数	10
	(男: 8 女: 2 不明: 0)

標本:０３５８　番組名:「ホットライン」

語 数	延べ	異なり	語の密度	延べ	異なり	CM語数	延べ	異なり
音声	357	200	音声	102.0	57.1	音声	49	39
画面	115	40	画面	32.9	11.4	画面	32	27

語 種	和	漢	外	混	不明
音声	262(73.4)	57(16.0)	18(5.0)	20(5.6)	0(0.0)
	128(64.0)	43(21.5)	11(5.5)	18(9.0)	0(0.0)
画面	27(23.5)	34(29.6)	8(7.0)	4(3.5)	42(36.5)
	11(27.5)	15(37.5)	4(10.0)	4(10.0)	6(15.0)

品 詞	体	用	相	他	不明
音声	172(48.2)	54(15.1)	46(12.9)	85(23.8)	0(0.0)
	111(55.5)	39(19.5)	28(14.0)	22(11.0)	0(0.0)
画面	73(63.5)	0(0.0)	0(0.0)	0(0.0)	42(36.5)
	34(85.0)	0(0.0)	0(0.0)	0(0.0)	6(15.0)

画面媒体(延/異)　1: 111/39　2: 0/ 0　3: 1/ 1　4: 3/ 2

放送年月日	1989年6月30日(金)
採録時刻	07:35〜07:40
チャンネル	6(ＴＢＳ)
ジャンル	一般実用系
本編秒数	210
番組分数	90
視聴率１	6.7
視聴率２	56.8
本編話者数	5
	(男: 3 女: 2 不明: 0)

標本:０３５９　番組名:「ひるのプレゼント」

語 数	延べ	異なり	語の密度	延べ	異なり	CM語数	延べ	異なり
音声	558	261	音声	111.6	52.2	音声	-	-
画面	55	40	画面	11.0	8.0	画面	-	-

語 種	和	漢	外	混	不明
音声	428(76.7)	95(17.0)	3(0.5)	32(5.7)	0(0.0)
	160(61.3)	70(26.8)	3(1.1)	28(10.7)	0(0.0)
画面	11(20.0)	15(27.3)	5(9.1)	13(23.6)	11(20.0)
	10(25.0)	13(32.5)	4(10.0)	8(20.0)	5(12.5)

品 詞	体	用	相	他	不明
音声	206(36.9)	108(19.4)	115(20.6)	129(23.1)	0(0.0)
	135(51.7)	54(20.7)	47(18.0)	25(9.6)	0(0.0)
画面	40(72.7)	1(1.8)	3(5.5)	0(0.0)	11(20.0)
	31(77.5)	1(2.5)	3(7.5)	0(0.0)	5(12.5)

画面媒体(延/異)　1: 52/39　2: 0/ 0　3: 3/ 1　4: 0/ 0

放送年月日	1989年6月30日(金)
採録時刻	12:40〜12:45
チャンネル	1(ＮＨＫ総合)
ジャンル	バラエティー系
本編秒数	300
番組分数	25
視聴率１	7.7
視聴率２	41.2
本編話者数	9
	(男: 5 女: 4 不明: 0)

標本:０３６０　番組名:「ＮＮＮニュースプラス１」

語 数	延べ	異なり	語の密度	延べ	異なり	CM語数	延べ	異なり
音声	445	241	音声	89.0	48.2	音声	-	-
画面	86	66	画面	17.2	13.2	画面	-	-

語 種	和	漢	外	混	不明
音声	346(77.8)	54(12.1)	6(1.3)	38(8.5)	1(0.2)
	154(63.9)	51(21.2)	6(2.5)	29(12.0)	1(0.4)
画面	24(27.9)	14(16.3)	2(2.3)	28(32.6)	18(20.9)
	20(30.3)	14(21.2)	2(3.0)	22(33.3)	8(12.1)

品 詞	体	用	相	他	不明
音声	197(44.3)	77(17.3)	88(19.8)	83(18.7)	0(0.0)
	142(58.9)	47(19.5)	35(14.5)	17(7.1)	0(0.0)
画面	64(74.4)	3(3.5)	2(2.3)	0(0.0)	17(19.8)
	54(81.8)	3(4.5)	2(3.0)	0(0.0)	7(10.6)

画面媒体(延/異)　1: 50/38　2: 17/17　3: 0/ 0　4: 19/18

放送年月日	1989年6月30日(金)
採録時刻	18:45〜18:50
チャンネル	4(日本テレビ)
ジャンル	報道系
本編秒数	300
番組分数	60
視聴率１	7.1
視聴率２	42.3
本編話者数	3
	(男: 2 女: 1 不明: 0)

標本:０３６１　番組名:「テレビ寺小屋」

語数	延べ	異なり	語の密度	延べ	異なり	CM語数	延べ	異なり
音声	473	208	音声	94.6	41.6	音声	-	-
画面	57	46	画面	11.4	9.2	画面	-	-

語種	和	漢	外	混	不明
音声	355(75.1)	65(13.7)	19(4.0)	34(7.2)	0(0.0)
	142(68.3)	38(18.3)	11(5.3)	17(8.2)	0(0.0)
画面	10(17.5)	12(21.1)	10(17.5)	13(22.8)	12(21.1)
	10(21.7)	9(19.6)	8(17.4)	11(23.9)	8(17.4)

品詞	体	用	相	他	不明
音声	198(41.9)	109(23.0)	102(21.6)	64(13.5)	0(0.0)
	109(52.4)	48(23.1)	33(15.9)	18(8.7)	0(0.0)
画面	42(73.7)	3(5.3)	0(0.0)	0(0.0)	12(21.1)
	35(76.1)	3(6.5)	0(0.0)	0(0.0)	8(17.4)

画面媒体(延/異)	1: 55/44	2: 0/ 0	3: 2/ 2	4: 0/ 0

放送年月日	1989年6月31日(土)
採録時刻	05:50〜05:55
チャンネル	8(フジテレビ)
ジャンル	一般実用系
本編秒数	300
番組分数	30
視聴率１	0.6
視聴率２	9.5
本編話者数	12
(男: 6 女: 6 不明: 0)	

標本:０３６２　番組名:「こどもの発達相談」

語数	延べ	異なり	語の密度	延べ	異なり	CM語数	延べ	異なり
音声	623	238	音声	124.6	47.6	音声	-	-
画面	4	4	画面	0.8	0.8	画面	-	-

語種	和	漢	外	混	不明
音声	478(76.7)	117(18.8)	8(1.3)	20(3.2)	0(0.0)
	139(58.4)	80(33.6)	4(1.7)	15(6.3)	0(0.0)
画面	0(0.0)	3(75.0)	0(0.0)	1(25.0)	0(0.0)
	0(0.0)	3(75.0)	0(0.0)	1(25.0)	0(0.0)

品詞	体	用	相	他	不明
音声	244(39.2)	111(17.8)	108(17.3)	160(25.7)	0(0.0)
	132(55.5)	52(21.8)	39(16.4)	15(6.3)	0(0.0)
画面	4(100.0)	0(0.0)	0(0.0)	0(0.0)	0(0.0)
	4(100.0)	0(0.0)	0(0.0)	0(0.0)	0(0.0)

画面媒体(延/異)	1: 0/ 0	2: 1/ 1	3: 0/ 0	4: 3/ 3

放送年月日	1989年6月31日(土)
採録時刻	08:20〜08:25
チャンネル	3(ＮＨＫ教育)
ジャンル	一般実用系
本編秒数	300
番組分数	30
視聴率１	0.7
視聴率２	58.1
本編話者数	4
(男: 0 女: 4 不明: 0)	

標本:０３６３　番組名:「土曜アンコール劇場・白い人魚の美女」

語数	延べ	異なり	語の密度	延べ	異なり	CM語数	延べ	異なり
音声	121	93	音声	35.6	27.4	音声	65	57
画面	0	0	画面	0.0	0.0	画面	107	79

語種	和	漢	外	混	不明
音声	87(71.9)	22(18.2)	2(1.7)	10(8.3)	0(0.0)
	65(69.9)	17(18.3)	2(2.2)	9(9.7)	0(0.0)
画面	0(0.0)	0(0.0)	0(0.0)	0(0.0)	0(0.0)
	0(0.0)	0(0.0)	0(0.0)	0(0.0)	0(0.0)

品詞	体	用	相	他	不明
音声	70(57.9)	22(18.2)	16(13.2)	13(10.7)	0(0.0)
	52(55.9)	20(21.5)	12(12.9)	9(9.7)	0(0.0)
画面	0(0.0)	0(0.0)	0(0.0)	0(0.0)	0(0.0)
	0(0.0)	0(0.0)	0(0.0)	0(0.0)	0(0.0)

画面媒体(延/異)	1: 0/ 0	2: 0/ 0	3: 0/ 0	4: 0/ 0

放送年月日	1989年6月31日(土)
採録時刻	14:15〜14:20
チャンネル	10(テレビ朝日)
ジャンル	ストーリー系
本編秒数	204
番組分数	95
視聴率１	13.7
視聴率２	33.1
本編話者数	8
(男: 7 女: 1 不明: 0)	

標本:０３６４　　番組名:「土曜スペシャル・尼寺物語　黒髪を断った女たちの２４時」

語 数	延べ	異なり	語の密度	延べ	異なり	ＣＭ語数	延べ	異なり
音声	293	183	音声	58.6	36.6	音声	－	－
画面	3	3	画面	0.6	0.6	画面	－	－

語 種	和	漢	外	混	不明
音声	224(76.5)	53(18.1)	0(0.0)	15(5.1)	1(0.3)
	126(68.9)	42(23.0)	0(0.0)	14(7.7)	1(0.5)
画面	0(0.0)	2(66.7)	0(0.0)	1(33.3)	0(0.0)
	0(0.0)	2(66.7)	0(0.0)	1(33.3)	0(0.0)

品 詞	体	用	相	他	不明
音声	147(50.2)	78(26.6)	48(16.4)	20(6.8)	0(0.0)
	95(51.9)	49(26.8)	28(15.3)	11(6.0)	0(0.0)
画面	3(100.0)	0(0.0)	0(0.0)	0(0.0)	0(0.0)
	3(100.0)	0(0.0)	0(0.0)	0(0.0)	0(0.0)

画面媒体(延/異)　1:　3/ 3　2:　0/ 0　3:　0/ 0　4:　0/ 0

放送年月日	1989年6月31日(土)
採録時刻	20:40～20:45
チャンネル	12(テレビ東京)
ジャンル	バラエティー系
本編秒数	300
番組分数	84
視聴率１	5.3
視聴率２	73.1
本編話者数	3
(男: 1 女: 2 不明: 0)	

第　4　部

分　析　編

第１章　分析の目的・方法・問題点

１．分析の位置づけ

「第１部第２章　調査の目的」に述べたように，われわれは，この調査を，テレビ放送の語彙を対象とする，予備的・探索的な調査であると位置づけている。われわれはテレビ放送の語彙について多くを知らず，したがって，（推測統計学的に）確認すべき「仮説」ももちあわせていない。この調査は，むしろ，そのような「仮説」を発見するための，試行錯誤である。そのことは，「第２部　方法編」の内容においてもすでに明らかであるが，同時に，ここで行う「分析」においても，そのあり方を規定するものである。

２．分析の単位

ここでの分析は，原則として，抽出単位としての５分間の標本，具体的には，「第３部　標本一覧」の 364 の標本を単位として行う（分析項目により実際に対象とする標本の数は異なるが，それについては本章「5.2 欠損値」を参照）。抽出単位である標本が分析の単位となるのは，標本抽出調査ではあたりまえのことではあるが，われわれが，具体的な語彙の分析にとりかかる前に，それを行おうとするのには，ほかにも，いくつかの理由がある。まず，上述したように，予備的・探索的な段階にあっては，標本の概要をつかんでおくことが重要であると考えたからである。また，これまでの文字言語の語彙調査にくらべて，標本そのものが，その語彙にかかわると考えられる，きわめて多くの側面（情報）をそなえており，それらの諸側面にどのような特徴がみられるかを明らかにする必要があると考えたからである。さらに，おそらくはテレビ放送の多様性を反映したものと思われるが，ここでの標本には，著しい多様性がみとめられ，そのような多様性の背景を探ることが必要であると考えたからである。つまりは，標本のどのような側面がその語彙のあり方とどのようなかかわりをもつかを知らなければ，たとえば「～チャンネルの語彙」といったまとめ方が適切であるのかどうか，ということを判断することもできず，したがって，抽出単位を超えた語彙の分析も適切にはできない，と考えたからである。

なお，話者，視聴行動，画面文字の媒体についての分析では，個々の標本を単位とした分析（だけ）ではなく，すべての標本から取り出した，話者，視聴者，媒体を単位とする分析を行っている。

３．分析の目的

ここでの分析は，第一に，テレビ放送において，その言語内的な側面が，それぞれ，どのような特徴をもっているのかを探ること，第二に，テレビ放送において，言語外的な側面と言語内的な側面とが，それぞれ，どのようにかかわっているのかを探ることを，直接の目的とする。

ただし，ここでいう言語内的および言語外的な側面とは，「第３部　標本一覧」に掲げた，各標本についての諸情報をさす。前者は，語の密度（単位時間あたりの延べ語数・異なり語数），語種構成，品詞構成といった，語彙にかかわる情報であり，後者は，本編かＣＭか，音声か画面かという情報と，「第２部第７章　データの形式と管理」で「付帯データ」と呼んだ，番組のジャ

ンル・チャンネル・放送時間帯・放送曜日・番組の長さ（放送分数）・視聴率・話者・画面文字の媒体といった情報である。なお，話者については，「標本一覧」だけではなく，別に作成した「話者一覧」（「第2部第7章1.2.3　話者情報に関するデータ」参照）の情報をも利用する。また，「標本一覧」にはない言語外的側面として，ＮＨＫの「国民生活時間調査」の「テレビ視聴行動」にかかわる情報をとりだし，利用する。

これらの情報を用いながら，「第4部第2章　標本全体」では，この調査で得たすべての標本をひとまとまりの対象として，その語の密度，語種構成，品詞構成を集計・比較し，それらをとおして，テレビ放送の語彙を特徴づける。また，同じく「第3章　本編とＣＭ」から「第13章画面文字の媒体」までの各分析では，上述の11の言語外的側面と，語の密度，語種構成，品詞構成という言語内的側面との関連を探り，テレビ放送の語彙をさまざまな角度から特徴づける。

とはいえ，ここでの分析は，標本一覧・話者一覧その他の情報をすべて利用し尽くしているわけではない。［表4.1-1］は，ここであつかうことのできた「分析項目」を言語外的な側面として表し，それぞれが，言語内的な側面のいずれとの関連をみたものかを示している（話者，視聴行動，画面文字の媒体の分析では，語の密度（だけ）ではなく語彙量を求めている）。これを見ればわかるように，ここでの分析では，言語外的な側面と言語内的な側面との，想定できる組み合わせのすべてに注目しているわけではない。たとえば，番組の長さという言語外的な側面については，それに応じて語の密度という言語内的な側面にどのような差異がみられるかという点にのみ注目し，語種構成・品詞構成上の差異についてはとくに注目してはいない。このようなことは，当該の観点の有意味性によるものではなく，単に，今回の分析ではあつかう余裕がなかったということによるものであり，すべて，今後の課題として残されているものである。

［表4.1-1］「分析」における言語内的側面と言語外的側面との関係

言語内的側面 ＼ 言語外的側面	語の密度				語種構成				品詞構成			
	本編		ＣＭ		本編		ＣＭ		本編		ＣＭ	
	音声	画面	音声	画面	音声	画面	音声	画面	音声	画面	音声	画面
4.2　標本全体	○	○	○	○	○				○			
4.3　本編とＣＭ	○	○	○	○								
4.4　音声と画面	○	○	○	○								
4.5　番組のジャンル	○	○			○				○			
4.6　チャンネル	○	○										
4.7　放送時間帯	○	○										
4.8　放送曜日	○	○										
4.9　番組の長さ	○	○										
4.10 視聴率	○	○	○	○	○				○			
4.11 話　　者	○				○				○			
4.12 視聴行動	○	○										
4.13 画面文字の媒体		○		○		○				○		

4．分析の方法

ここでの分析では，主に，「探索的データ解析」という統計学の考え方とその基本的な方法を参考にしている[1]。われわれが「探索的データ解析」に注目したのは，それが，データ数が十分でなく，また，その母集団における分布型も仮定できないような状況，すなわち，探索的な段階においてデータの構造・特徴をさぐるという，われわれの目的に沿うものであったからである。とくに，われわれは，後に予定する具体的な語・語彙の分析のためにも，データ（364の標本とその諸情報）の「分布を概観すること」を目的としており，探索的データ解析は，そのことにおいて，とくに有効であると考えられたからである。以下，探索的データ解析の考え方・方法について，簡単に紹介する。なお，実際のデータ処理には，「探索的データ解析」の機能をもつパソコン用ソフトとして，『多変量解析ソフト　ＨＡＬＢＡＵ』（現代数学社）を使用した。

4.1 バッチ

探索的データ解析では，解析の対象となるひとまとまりのデータを，「（分布型など）いくつかの仮定を要する推測統計学における無作為標本と区別」[2]して，「バッチ」とよぶ。「第3部　標

［表 4.1-2］表形式による標本一覧（一部）

標本番号	番　組　名	チャンネル	ジャンル	視聴率	曜日	時刻	音声本編延べ語数	音声本編1分あたり延べ語数	本　編話者数	番組分数	…
0001	「朝までスポーツ！」	4	7	1.0	6	02:55	453	90.6	3	171	
0002	「高校学校講座」	3	2	0.0	7	06:20	410	82.0	1	30	
0003	「ニュース」	1	1	17.0	7	12:05	352	70.4	5	15	
0004	「遊行見聞録」	10	5	6.4	7	18:40	541	112.7	8	25	
0005	「ＣＢＳドキュメント」	6	2	3.7	7	00:20	248	49.6	3	55	
0006	「ひらけ！ポンキッキ」	8	3	8.7	1	08:05	84	16.8	2	45	
0007	「時代劇アワー・十手無用」	12	6	6.3	1	13:40	176	43.1	6	55	
0008	「ニュースステーション」	10	1	20.7	1	23:00	288	71.7	5	75	
0009	「ふるさと発見」	12	2	0.2	2	05:50	294	58.8	4	30	
0010	「ホットライン」	6	3	4.6	2	07:05	461	92.2	8	90	
0011	「第61回選抜高校野球大会」	3	7	5.4	2	12:35	378	75.6	4	70	
0012	「ＮＨＫナイトニュース」	1	1	1.6	2	23:40	343	68.6	1	23	
0013	「ドラマ・女たちの狂騒曲」	8	6	1.0	2	04:20	175	35.0	4	105	
0014	「ワイドショー…」	4	3	12.7	3	09:30	344	73.5	9	0	
0015	「おかあさんといっしょ」	3	3	3.9	3	17:15	158	31.6	2	25	
0016	「…お笑スター総登場」	4	5	14.6	3	19:45	545	109.0	9	114	
0017	「ニュース最終版」	8	1	4.2	3	00:05	341	97.4	2	90	
0018	「おかあさんの勉強室」	1	3	5.5	4	11:25	458	91.6	5	25	
0019	「３年Ｂ組金八先生３」	6	6	8.7	4	17:05	371	74.2	17	60	
0020	「ワールド・ビジネスサテライト」	12	3	0.5	4	23:55	509	101.8	4	45	
⋮											
⋮											

1）「探索的データ解析」（Exploratory Data Analysis）の概要については，
　　渡部洋他『探索的データ解析入門－データの構造を探る－』（朝倉書店，1985）
　　奥野忠一『文部省認定社会通信教育　現代統計実務講座　探索的データ解析法』（実務教育研究所，1988）
などを参照されたい。なお，われわれが「探索的データ解析」を参考とするにあたっては，島村直己言語教育研究部第一研究室長の教示によるところが大きい。

2）『探索的データ解析入門』，p.7

本一覧」では，各標本の情報が，標本ごとに示されているが，それは，［表4.1-2］のような表形式にすることもできる。このような表の縦1列のデータが，一つのバッチであり，一つのバッチを構成する個々の標本の値が「データ」である。「第4部第2章　標本全体」では，語の密度，語種構成，品詞構成という言語内的な側面に関するバッチを対象に，それらに含まれるデータがどのような分布をなしているかを概観する。また，「同第3章　本編とCM」以降の各項目では，言語外的な側面を表すバッチと言語内的な側面を表すバッチとの関連をさぐり，必要に応じて，複数のバッチを比較する。たとえば，チャンネルと，本編における音声の語の密度（以下，本章でのみ，「本編における音声の」を省略して単に「語の密度」という）との関連をさぐろうとする場合（「同第6章　チャンネル」参照）には，［表4.1-2］の「チャンネル」のバッチと「音声本編1分あたり延べ語数」（＝語の密度）のバッチとを対象として，両者の関連をさぐり，場合により，各チャンネルごとに語の密度のバッチを再構成（下位区分）して，複数のチャンネルのバッチを比較することになる。

4.2 要約値としての平均値と中央値

データ（標本）のもつある側面（情報）について，それをかいつまんで（要約して）知りたいとき，一般に行われるのは平均値（算術平均）を求めることである。平均値は単純な計算で手軽に求めることができ，しかも，分布の中心を表すもっとも有効な指標（統計量）であるといわれている。いま，われわれの得た標本で，ＮＨＫ教育とＴＢＳとの語の密度のバッチを，平均値により比較してみると，前者が63.4語，後者が63.9語と，ほとんど差がない。平均値でみるかぎり，語の密度という点においては，ＮＨＫ教育とＴＢＳとの間には差がないようにみえる（母集団平均値に差がないということではない）。

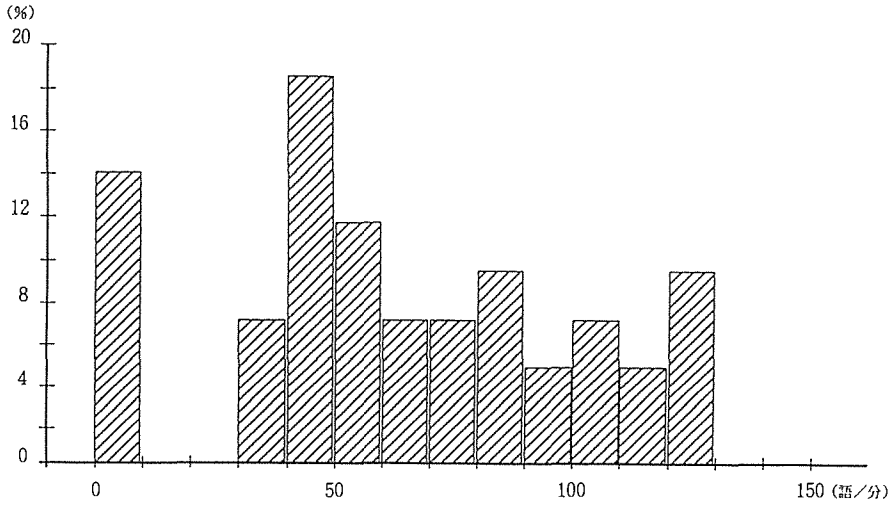
しかし，よく知られているように，「平均値は大小両極端の少数のデータの影響を受けやすく」[3]，「分布の位置」の「要約値」（これをとくに「代表値」という）としては安定していない，すなわち，「抵抗性」が低い[4]といわれる。探索的データ解析では，抵抗性の高い代表値として，中央値を用いる。そこで，この二つのバッチについて，中央値を求めてみると，ＮＨＫ教育が58.8語，ＴＢＳが67.2語となり，両者の語の密度の間には，1分あたり8語余りの差のあることがわかる。

もちろん，代表値として，平均値を用いるか中央値を用いるか（あるいは最頻値を用いるか）ということは，「極端なデータが含まれてはいないか，またある一部の範囲にデータが集中するなどの分布の歪みは見られないか，といった諸点について吟味する過程を経て，初めて決めることができる」[5]。分布の歪みの検討には，一般に，ヒストグラムが用いられることが多い。そこで，両バッチの分布の形をヒストグラムでみてみると，［図4.1-1］［図4.1-2］のようになる。

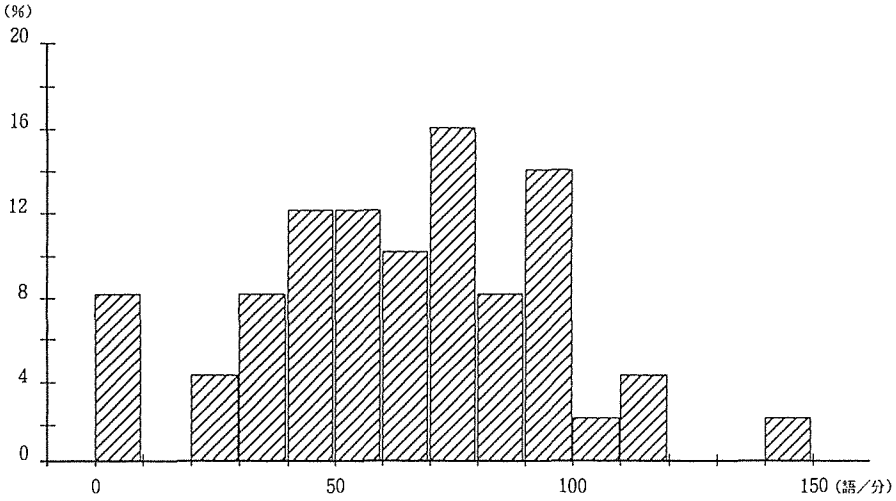
二つのヒストグラムを見比べてみると，おおまかにいって，ＮＨＫ教育は，右に長く裾を引く分布形であるのに対して，ＴＢＳは，山の頂点がほぼ中央にあり，ＮＨＫ教育に比べれば，より

3）『探索的データ解析入門』，p.7
4）同書，p.2
5）同書，p.9

対称的な分布形をしている。ＮＨＫ教育のような歪んだ分布の場合には，平均値が裾の方に引き寄せられることが知られている。したがって，ＮＨＫ教育の分布の位置の要約値としては，平均値よりも中央値の方が適当であるといえる。平均値は分布の歪みの影響を受けやすく，探索的データ解析は，そのような影響を受けにくい中央値を，代表値としているのである[6]。



［図 4.1-1］ＮＨＫ教育の語の密度の相対度数分布



［図 4.1-2］ＴＢＳの語の密度の相対度数分布

6)　『探索的データ解析入門』，p.17

4.3 幹葉表示

分布の形をみようとするとき，探索的データ解析では，ヒストグラムに比べて簡便で，かつ，階級幅の手直しや外れ値（後述 4.5）の有無の検討のしやすい「幹葉（みきは）表示」[7]を用いる。いま，両者の分布を幹葉表示にしてみると，［図4.1-3］［図4.1-4］のようになる（小数部第1位を四捨五入）。

0＊	000000
1＊	
2＊	
3＊	229
4＊	12345778
5＊	46899
6＊	789
7＊	569
8＊	0234
9＊	45
10＊	022
11＊	29
12＊	2355

［図4.1-3］ＮＨＫ教育の語の密度の幹葉表示

0＊	0019
1＊	
2＊	02
3＊	1347
4＊	03799
5＊	0225579
6＊	1277
7＊	001122478
8＊	6699
9＊	2334569
10＊	2
11＊	38
12＊	
13＊	
14＊	7

［図4.1-4］ＴＢＳの語の密度の幹葉表示

幹葉表示は，「得られたデータを直接書き出していくことによって，そのままデータの分布を概観できるように工夫された手法である」[8]。それは，ヒストグラムと同じようにデータを各階級に区切り，階級の十（以上）の位の数字を縦に並べて階級（「幹」）を表し，その線をはさんだ右側に，データ（「葉」）を一の位の数字で書き出すものである。たとえば，語の密度が32語という標本については，階級“3＊”の右側に“2”を一つ書き出せばよい。一つの階級の各データは，小さいものから大きいものへと順に配列すれば，よりみやすい。幹葉表示は，「葉の数」によってデータの分布形を概観できるとともに，ヒストグラムと違って，個々のデータの値を同時にみることができるという利点をもつ。これによって，たとえば，ＮＨＫ教育では0語の標本が多いこと，ＴＢＳには147語という大きな値の標本があることなどを知ることができる。また，とくに，二つのバッチを比べる場合には，［図4.1-5］のような「背中合わせ幹葉表示」[9]という方法もある。

ＮＨＫ教育		ＴＢＳ
000000	0＊	0019
	1＊	
	2＊	02
922	3＊	1347
87754321	4＊	03799
99864	5＊	0225579
987	6＊	1277
965	7＊	001122478
4320	8＊	6699
54	9＊	2334569
220	10＊	2
92	11＊	38
5532	12＊	
	13＊	
	14＊	7

［図4.1-5］ＮＨＫ教育とＴＢＳの，語の密度の背中合わせ幹葉表示

7） 『探索的データ解析入門』，pp.9-13
8） 同書，p.11
9） 同書，p.13

なお，幹葉表示はデータ数が300以内のバッチに適しており，それを超える場合にはヒストグラムを用いることが勧められている[10]。ここでの分析では，そのような理由から，ヒストグラムを用いたところも多い。

4.4 五数要約と箱型図

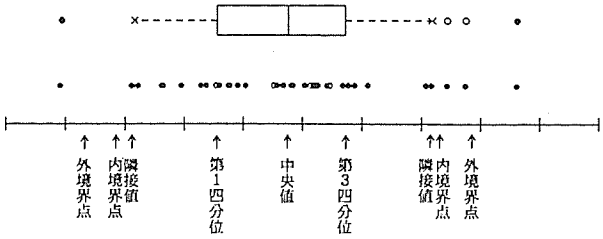
探索的データ解析は，また，分布の概要を，順位にもとづいたいくつかの数値によって要約する。「五数要約値」[11]は，その代表的なもので，最小値，第1四分位（最小値と中央値との中央値，「下ヒンジ」とも），中央値，第3四分位（中央値と最大値との中央値，「上ヒンジ」とも），最大値の5つからなる。［表4.1-3］に，ＮＨＫ教育とＴＢＳ，それにＮＨＫ総合を加えた3つのチャンネルの，語の密度の五数要約値を示す。

［表4.1-3］ＮＨＫ総合，ＮＨＫ教育，ＴＢＳの五数要約値

	最小値	第1四分位	中央値	第3四分位	最大値	四分位偏差	標本数
ＮＨＫ総合	13.6	52.8	71.3	85.4	129.2	16.3	38
ＮＨＫ教育	0.0	41.6	58.8	93.6	125.2	26.0	43
ＴＢＳ	0.0	45.9	67.2	88.8	147.4	21.5	50

これらによって，分布の範囲（“最大値－最小値”），分布の位置（中央値），分布のちらばり（散布度）などを概観することができる。分布のちらばりは，「四分位範囲」（“第3四分位－第1四分位”）によってよく表される（表中の「四分位偏差」は，『多変量解析ソフト　ＨＡＬＢＡＵ』の出力であり，四分位範囲の2分の1の値である）。四分位範囲は，また，外れ値を操作的に定めることにも役に立つ。

探索的データ解析は，この五数要約値を「箱型図」[12]という図に表し，分布の概要を視覚的に把握する方法をもっている。探索的データ解析は，データを視覚的に表現することにおいても有効である。［図4.1-6］に，箱型図と五数要約値との関係を，ＮＨＫ総合のバッチを例として，図示する[13]。

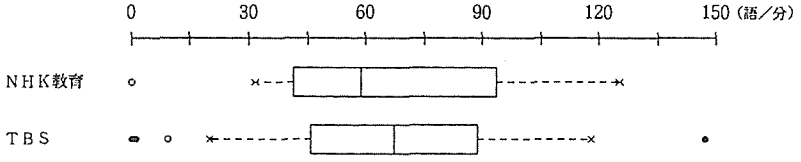


［図4.1-6］ＮＨＫ総合における語の密度の値と箱型図との関係

10）『探索的データ解析入門』，p.13
11）同書，p.24
12）同書，pp.33-37「箱型図」は「箱ひげ図」ともいわれるが，両者は厳密には異なるので，ここでは，同書に従い，「箱型図」という用語を使う。
13）同書，p.35の「図3.2　箱型図の作成法」を参考にした。

箱の左右端は，それぞれ第1四分位・第3四分位であり，箱の長さが四分位範囲を表す。箱の中の縦線は中央値を表している。箱から出る「ヒゲ」は，「内境界点」にもっとも近い観測値（「隣接値」）まで伸びている。内境界点とは，第1・第3四分位に，それぞれ，一定の値を加減した値であり，その外側に，さらに一定の値を加減した「外境界点」がある。内境界点より外側のデータが外れ値とされるもので，内境界点から外境界点までの間にあるデータを「外側値」（○），外境界点より外側のデータを「極外値」（●）とよぶ。ここで，内境界点・外境界点の設定は，固定的なものではなく，分析の目的・対象などによって，変更し得るものである[14]。この「分析編」では，外れ値をややゆるやかに認めたいこともあり，第1・第3四分位に，それぞれ，0.75四分位範囲を加減したものを内境界点，1四分位範囲を加減したものを外境界点としている[15]。

いま，先の二つのバッチを箱型図に表すと，［図4.1-7］のようになる。このように，複数のバッチの箱型図を同じスケールで表示したものを「平行箱型図」という[16]。



［図4.1-7］ＮＨＫ教育とＴＢＳの語の密度の平行箱型図

これにより，分布の位置を表す中央値はＴＢＳの方が大きいこと，四分位範囲はＮＨＫ教育の方が大きいこと，ＮＨＫ教育は，箱の中の中央値が第1四分位方向に寄っていることから，中央部が左にかたよって右に長く裾を引く分布形であること，ＴＢＳは，中央値が箱のほぼ中央にあることから，対称的な分布形であること，ＮＨＫ教育には外側値のみがみられるのに対して，ＴＢＳには両方向に極外値がみられること，などを観察することができる。

4.5 外れ値の検討

探索的データ解析では，「何らかの原因によってバッチ全体の傾向から大きく逸脱したデータ」[17]を「外れ値」とよぶ。分布の概要をみようとするときには，中央値や箱型図の箱の位置（データの半数が入っている）が，まずは，注目されるが，探索的な段階ではとくに，そのような全体の傾向からは遠く離れた値を示すデータ（標本），すなわち，外れ値にも，十分な注意が払われなければならない。ただし，何を外れ値とするかは，「そのデータに関する専門分野でのさまざま

14） 『探索的データ解析入門』，p.42
15） 高木廣文他『ＨＡＬＢＡＵによるデータ解析入門』（現代数学社，1989），p.71
16） 『探索的データ解析入門』，p.43
17） 同書，p.12

な知識，経験，さらに対象としているデータ以外の情報の検討を通して」[18]決められるものである。前述の箱型図においては，外れ値としての「外側値」「極外値」を操作的に決定しているが，これらは，よりくわしい検討をとおして，外れ値であるかどうかの判断がなされるべきものである。

ここで，［図4.1-7］において操作的に外れ値とされている標本に注目してみる。ＮＨＫ教育の場合には，以下の，語の密度0語の6標本が外側値とされている（括弧内は標本番号）。

(0100)「英語会話」

(0112)「Ｎ響アワー」

(0135)「レニングラード・バレエ・白鳥の湖」

(0172)「芸術劇場・ミュージック・フランセーズ・フランス室内楽の精華」

(0207)「ぼくの絵わたしの絵」

(0340)「芸術劇場・サイモンフレストンオルガン演奏会」

ＴＢＳでは，以下の，語の密度0語の2標本，

(0037)「ノーカット世界名作劇場ポーランド映画傑作選・灰とダイヤモンド」

(0125)「ＭＴＶジャパン・ヘッドバンガーズ」

以下の，語の密度1.2語の1標本，

(0261)「ノーカット世界名作劇場・カサノバ」

および，以下の，語の密度147.4語の1標本が極外値とされ，

(0169)「平成名物ＴＶ・トンガリ編」

また，以下の，語の密度9.3語の1標本が外側値とされている。

(0129)「東京音楽祭情報」

おおまかにいって，語の密度の小さい方の外れ値とされたものには，音声の入らない演奏会やバレエの中継，外国語の字幕映画が多い。語の密度を考える場合，この種の番組の処理については，なんらかの考慮が必要であると考えられるが，そのような考えは，外れ値の検討によって，見出されるものである。

4.6 その他

探索的データ解析には，このほか，時系列データなどの「ならし」（平均値を用いる「移動平均法」にくらべて抵抗性の高い「移動中央値法」による）や，データの「再表現」，「残差の分析」「中央値精練法による二元分類データの分析」「ss比」「ルートグラム」など，いろいろな解析の手法がある。ただし，これらの手法は，ここでの分析では利用しなかったので，紹介は省略する[19]。

なお，一部の分析では，探索的データ解析の方法以外に，母集団の分布型に制限されない解析手法であるχ^2検定などを採用したところもある。

---

18)　『探索的データ解析入門』，p.42

19)　詳しくは，前掲『探索的データ解析入門』『探索的データ解析法』を参照されたい。

5．問 題 点

5.1 標 本 数

ここでの分析において，われわれが直接の対象とする標本の数は，全体で364，本編の分析では，後述するように，331である。これは，探索的データ解析の手法を用いるとしても，けっして十分な数とはいえない。とくに，本章「3．分析の目的」に述べた個個の言語外的な側面を，さらにそれを構成する要素にまで分けて，その言語内的な側面についての分布などにおいて比較しようとすると，標本数の少なさは決定的である。たとえば，上述の，チャンネルごとの語の密度を比較しようとする場合，各チャンネルの標本数は，有効標本に限れば，もっとも少ないＮＨＫ総合で38，もっとも多いテレビ朝日でも51である。これを，さらに，たとえば番組のジャンルが報道系の標本に限定してチャンネル間の比較を行おうとすると，もっとも多いＮＨＫ総合でも14標本，テレビ東京では4標本である。このように，言語外的な側面をより明確にし，比較のための条件を統制しようとすると，標本数がそれに堪えないという場合が少なくない。以降の各章では，そのような場合の分析は，今後の課題として，保留されていることが多い。

5.2 欠 損 値

ここでの分析では，調査で得られた364の標本を対象とすることはすでに述べた。しかし，標本の中には，放送時間外にあたったために，なんらの音声・画面文字もないという（俗にいう「砂嵐」の画面の）ものが32標本あった。とくに，一日の放送時間が短いＮＨＫ総合およびＮＨＫ教育に，そのような標本が多い。また，本編の語彙に注目するような場合，5分間の標本がすべてＣＭであり，本編の放送がまったくないという標本が1つあった（標本番号349）。これも，本編についていえば「砂嵐」と同じもので，いわば放送なしの標本といえる。同じことは，ＣＭの語彙に注目する場合に，本編のみで占められＣＭの放送がまったくないという標本についても，いえることである。このように，5分の間に放送（音声および画面文字を伝える時間）そのものがなかったという標本は，当然，そこでの語彙量が“0”ということになるが，それは，実際の放送があるにもかかわらず語彙量が“0”であった標本（たとえば，演奏会の中継など）とは，当然，性質の異なるものである。

そこで，ここでの分析では，まったく放送のなかった標本（「砂嵐」）については，いわゆる「欠損値」としてあつかい，データから除くこととした。また，本編のみを問題とする場合には，「砂嵐」と本編の放送がまったくなかった標本（ＣＭのみの標本）とを欠損値としてあつかい，残りの331標本を対象とすることにした。同様に，ＣＭのみをあつかう場合には，「砂嵐」とＣＭの放送がまったくなかった標本（本編のみの標本）とを欠損値としてあつかい，残りの134標本を対象とすることにした。

5.3 語の密度

ここでの分析においては，多くの分析項目で，言語内的な側面の一つとしての「語の密度」というものに注目する。語の密度とは，すでに述べたように，単位時間（1分）あたりの延べ語数

および異なり語数の値である。

われわれの得た標本は，すべて，5分間の長さをもつが，それらには，本編の放送とCMの放送とがまじったものも多い。したがって，たとえば，5分間のうち本編の放送が3分間あった標本と，5分間全体が本編の放送であった標本とで，両者の本編の語数を，そのまま，くらべることはできない。

そこで，われわれは，両者の本編の語数を，それぞれの標本における本編の時間で割ることにより，どちらも，1分あたりの語数，すなわち，語の密度に換算することにした。これにより，本編の語彙を，CMの影響を排除して，検討していくことができるはずである（CMの語彙をみる場合には，同様にして，CMの語の密度を算出することにより，本編の影響を排除できる）。

しかし，延べ語数・異なり語数を1分あたりに換算するということは，1分ごとの平均値を求める，ということである。前述したように，平均値は，代表値として抵抗性が低く，外れ値の影響をうけやすい。もし，5分という範囲においても，1分ごとにみれば，語数の極端に多い1分と極端に少ない1分とがあるのがふつうであるなら，1分あたりの換算は適切でないことになる。

これらの問題を解決するためには，そもそも，標本抽出の段階からそのための工夫（すべての放送を録画してから，本編とCMとを分け，その上で標本を抽出する，など）が必要である。残念ながら，今回の調査では，そこまでの配慮をすることができなかった。今後の課題とし，いまは，この，語の密度という考え方を採用していくこととする。

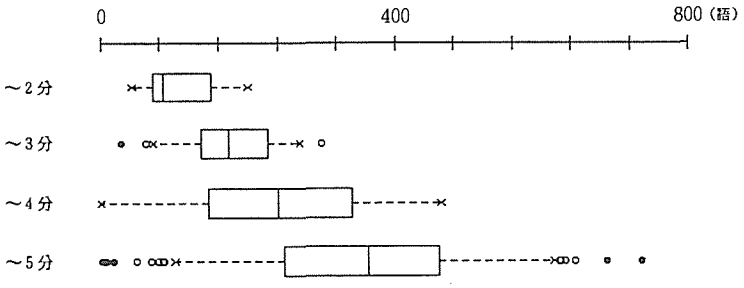
ただし，われわれの得た標本で，語の密度，すなわち，1分あたりに換算した語数というものが，どの程度の過誤を含んでいそうか，ということについては，あらかじめ，知っておくべきであろう。そこで，これらの標本について，それぞれの本編時間とそこで得られた延べ語数との関係をみることにした。いま，すべての標本を，そこにおける本編時間によって，2分以内，2分超3分以内，3分超4分以内，4分超5分以内の，4つのグループに分け（2分以内は標本数が少ないため，1分ごとに分けることはしない），それぞれのグループに属する標本の本編の延べ語数について，音声と画面それぞれの五数要約値を求め（[表4.1-4]［表4.1-5]），さらに，平行箱型図に示す（[図4.1-8]［図4.1-9]）。

［表4.1-4］本編時間による延べ語数の五数要約値（音声）

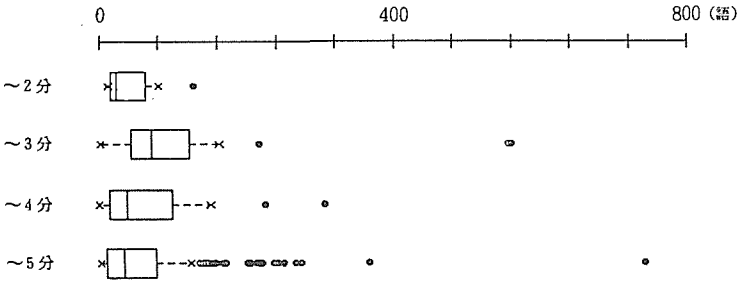
本編時間	最小値	第1四分位	中央値	第3四分位	最大値	四分位偏差	標本数
～2分	43.0	72.0	85.0	151.5	201.0	39.8	9
～3分	27.0	136.5	174.5	226.0	301.0	44.8	30
～4分	0.0	145.0	241.0	341.0	463.0	98.0	55
～5分	0.0	247.5	364.0	459.5	737.0	106.0	237

［表4.1-5］本編時間による延べ語数の五数要約値（画面）

本編時間	最小値	第1四分位	中央値	第3四分位	最大値	四分位偏差	標本数
～2分	14.0	16.5	25.0	63.5	128.0	23.5	9
～3分	2.0	43.5	71.0	122.8	560.0	39.6	30
～4分	0.0	15.0	37.0	98.0	307.0	41.5	55
～5分	0.0	9.0	32.0	74.5	741.0	32.8	237



［図 4.1-8］本編時間と延べ語数との関係（音声）



［図 4.1-9］本編時間と延べ語数との関係（画面）

音声の場合（［図 4.1-8］）には，本編時間が長くなるにつれて，その延べ語数の中央値も大きくなっており，両者は，おおむね，比例的な関係にあるといってよいだろう。音声の場合には，語の密度を求めても，重大な過誤には結びつかないものと考えられる。

一方，画面の場合（［図 4.1-9］）には，2分以内から2分超3分以内にかけては，延べ語数の中央値も大きくなるが，3分超4分以内，4分超5分以内の中央値は，むしろ，逆に小さくなっていく。画面では，本編時間とその延べ語数との間に，音声のような比例的な関係はみとめられない。これは，なぜだろうか。

いま，画面で，もっとも延べ語数の中央値が大きかった2分超3分以内の標本を，［表 4.1-6］に掲げる。

［表 4.1-6］をみて，まず，気づくことは，番組分数が5～6分の番組が多い，ということである。民間放送の5分番組というのは，CMがかならず入ることを考えれば，実際には，ここでみるように，2～3分番組ということになるのであろう。そのような番組は，各チャンネルの番組案内（0059「フジテレビ赤丸チェック」，0191「ハーイ！TBSです」など），ニュースや天気予報（0103「ANNニュース」，0336「FNNニュース・あすの天気」など），映画やプロ野球の情報提供番組（0161「シネスイッチ」，0248「プロ野球ミニ情報」）などであり，その性格上，画面の語数が多いと予想される番組である。

［表 4.1-6］本編時間 2 分超 3 分以内の標本

サンプル番号	番　組　名	本編時間(秒)	チャンネル	番組分数	開始時刻	画面本編延べ語数
0023	「医療最前線」	180	12	30	17:25	120
0035	「おもいッきりテレビ」	179	4	115	13:15	96
0047	「３年Ｂ組金八先生３」	165	6	60	17:00	114
0052	「風雲！真田幸村スペシャル」	180	12	108	20:00	50
0059	「フジテレビ赤丸チェック」	136	8	5	12:55	23
0060	「IAAF・第三回ワールドカップマラソンミラノ大会・男子」	180	4	141	23:30	38
0083	「アイドル共和国」	180	10	55	15:45	3
0095	「ＴＢＳ６」	121	6	5	15:55	48
0103	「ＡＮＮニュース」	180	10	5	14:55	39
0129	「東京音楽祭情報」	174	6	10	00:50	47
0158	「天気予報」	165	12	5	11:55	141
0161	「シネスイッチ」	151	8	5	01:10	84
0182	「モーニングセンサー」	150	10	60	06:55	35
0187	「２時のロードショー」	180	12	85	14:50	2
0191	「ハーイ！TBSです」	122	6	5	16:55	30
0205	「ＰＲＥ・ＳＴＡＧＥ２」	180	10	150	04:00	45
0210	「株式ニュース」	151	12	15	11:50	560
0211	「おもいッきりテレビ」	121	4	115	13:50	163
0224	「気象情報」	150	6	5	18:55	217
0236	「テレポートＴＢＳ６」	151	6	30	18:25	131
0239	「株式ニュース」	179	12	15	15:50	557
0248	「プロ野球ミニ情報」	165	4	6	23:25	100
0249	「ＰＲＥ・ＳＴＡＧＥ１」	131	10	190	02:00	119
0259	「親子ゲーム」	123	6	60	17:55	47
0274	「ルンルンあさ６生情報」	122	4	45	06:40	110
0287	「お天気チャンネル」	150	8	30	16:25	52
0290	「モーニングセンサー」	121	10	60	06:40	141
0316	「ニュース最終版」	165	8	90	23:15	67
0336	「ＦＮＮニュース・あすの天気」	151	8	6	20:55	62
0354	「ルンルンあさ６生情報」	180	4	45	06:00	75

また，番組分数と開始時刻とをあわせみると，番組の開始か，あるいは，終了時にとられた標本が多いことにも気づく。たとえば，0023「医療最前線」という標本は，17:00 に開始された 30 分番組の最後の５分，0047「３年Ｂ組金八先生３」という標本は，17:00 に開始された 60 分番組の最初の５分がとられたものと考えられる。これらの場合にも，民間放送の場合にはＣＭが挿入される可能性が高いから，標本における実際の本編時間は，２～３分ということになるのであろう。そして，番組の開始・終了時というのは，番組制作上のクレジット（出演者，スタッフ，スポンサー，その他の情報）が表示される場合が多く，そのことが，これらの標本の画面の語数を多くしているものと考えられるのである。実際，［表 4.1-6］でも，0047「３年Ｂ組金八先生３」，0052「風雲！真田幸村スペシャル」が開始時のクレジット，0023「医療最前線」，0211「おもいッきりテレビ」，0236「テレポートＴＢＳ６」，0259「親子ゲーム」，0274「ルンルンあさ６生情報」，0287「お天気チャンネル」が終了時のクレジットを放送している。

このような事情が生じたのは，標本の抽出時刻を，各時刻の０分，５分，……55 分というように，５分刻みで固定したからだと考えられる。もし，抽出開始時刻を無作為にとれば，たとえ，

民放の5分番組でも，あるいは，番組の開始・終了時であっても，そこにおける本編とCMとの時間の割合は，このように一定になる，すなわち，本編が2～3分の標本として集中する，ということはなかったものと考えられる。

このような特別の事情をもつ標本が全体に占める割合は，さほど大きくはないものと考えられるが（先の5つのグループでも，4分超5分以内の標本が237と，全体の7割を越えている），画面の語彙に関する分析においては，十分に，注意する必要があろう。

第２章　標本全体

１．語の密度

1.1 テレビ放送において，どのくらいの語が発せられているか

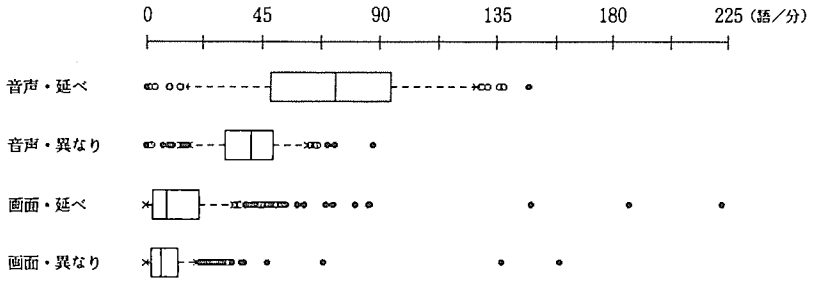
テレビ放送では，どのくらいの語が音声として話され，あるいは，画面の文字として映されているのだろうか。この，語彙の量的な実態についての問いは，語彙がどのように使われているかという，質的な問いとともに，今回の用語調査のもっとも基本的な調査項目である。

先の問いに一応の答えを与えるのが，語の密度（１分あたりの語彙量）である。［表 4.2-1］には，本編について，平均値（単純平均）・中央値などいくつかの基本的統計量をしめした。［図 4.2-1］は，その箱型図である。

分布の代表値としては，中央値を選んだ。［表 4.2-1］によると，１分あたりの語数は，音声では，延べで 73.5 語，異なりで 41.2 語である。画面文字では，延べで 8.2 語，異なりで 6.4 語である。中央値を選んだのは，分布の型が必ずしも正規分布ではないからである。

［表 4.2-1］語の密度（本編）

	最小値	第１四分位	中央値	平均値	第３四分位	最大値	四分位偏差	標本数
音声・延べ	0.0	48.6	73.5	70.9	94.1	147.4	22.8	331
音声・異なり	0.0	31.0	41.2	39.4	49.5	87.7	9.3	331
画面・延べ	0.0	2.8	8.2	15.7	21.0	222.5	9.1	331
画面・異なり	0.0	2.2	6.4	9.7	12.8	159.3	5.3	331

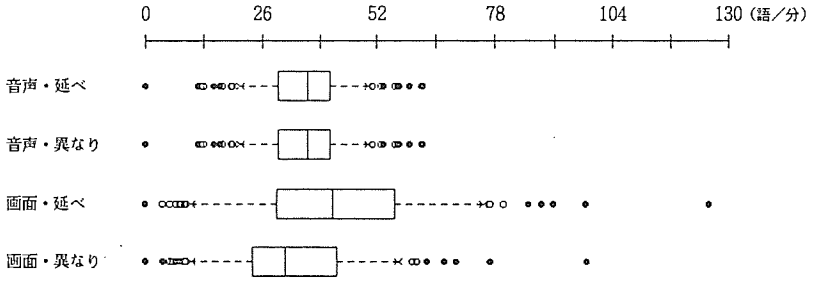


［図 4.2-1］語の密度（本編）

次に，［表 4.2-2］では，ＣＭについて同様に語の密度についての基本統計量をしめした。［図 4.2-2］は，その箱型図である。ＣＭにおいては，どの変数も分布のタイプがごくおおまかに言って正規分布であり，中央値と平均値がほぼ同じ値をしめしている。１分あたりの語数（中央値）は，音声では，延べで 44.6 語，異なりで 36.3 語である。画面文字においては，延べで 42.0 語，異なりで 31.2 語となっている。

［表 4.2-2］語の密度（ＣＭ）

	最小値	第１四分位	中央値	平均値	第３四分位	最大値	四分位偏差	標本数
音声・延べ	0.0	34.6	44.6	44.3	52.2	116.0	8.8	134
音声・異なり	0.0	29.5	36.3	35.6	41.4	62.2	6.0	134
画面・延べ	0.0	29.1	42.0	42.7	56.3	125.5	13.6	134
画面・異なり	0.0	23.7	31.2	33.0	42.8	98.2	9.6	134



［図 4.2-2］語の密度（ＣＭ）

1.2 音声の語の密度が大きい（あるいは小さい）標本の特徴

音声の語の密度が大きい（小さい）標本は，どのようなものか具体的にみてみよう。［表 4.2-3］に密度の大きかったもの，［表 4.2-4］に小さかったものをあげた。

［表 4.2-3］音声で語の密度の大きかった標本（延べ語数で 120 語／分以上）

標本番号	分 類	番 組 名	語の密度（延べ・異なり）	
0169	バラエティー	「平成名物ＴＶ・トンガリ編」	147.4	59.2
0075	バラエティー	「おもいッきりテレビ」	137.8	49.2
0067	一般実用	「こんにちは２時」	136.1	52.4
0155	一般実用	「こんにちは２時」	131.4	53.7
0079	バラエティー	「バラエティー生活笑百科」	129.2	47
0324	バラエティー	「トゥナイト」	127	56.7
0140	バラエティー	「ザッツ談」	126.4	48.6
0251	教育・教養	「青春すくらんぶる」	125.2	45.2
0058	報 道	「タイム・アイ」	124.9	51.3
0362	一般実用	「こどもの発達相談」	124.6	47.6
0107	バラエティー	「欽どこＴＶ!!」	123.4	52
0196	報 道	「討論・時代を読む」	123.2	42.8
0053	バラエティー	「ＰＲＥ・ＳＴＡＧＥ１」	123.2	41.6
0044	一般実用	「きょうの料理」	121.8	41.2
0350	一般実用	「生島ヒロシのおいしいフライパン」	121.4	45.6
0351	バラエティー	「パオパオチャンネル」	121.3	54.4

［表 4.2-4］音声で語の密度の小さかった標本（延べ語数で 10 語／分以下）

標本番号	分　類	番　組　名	語の密度（延べ・異なり）	
0100	教育・教養	「英語会話」	0	0
0340	音　　楽	「芸術劇場・サイモン・フレストンオルガン演奏会」	0	0
0135	音　　楽	「レニングラード・バレエ・白鳥の湖」	0	0
0172	音　　楽	「芸術劇場・ミュージック・フランセーズ・フランス室内楽の精華」	0	0
0207	教育・教養	「ぼくの絵わたしの絵」	0	0
0037	ストーリー	「ノーカット世界名作劇場ポーランド映画傑作選・灰とダイヤモンド」	0	0
0125	音　　楽	「ＭＴＶジャパン・ヘッドバンガーズ」	0	0
0112	音　　楽	「Ｎ響アワー」	0	0
0261	ストーリー	「ノーカット世界名作劇場・カサノバ」	1.2	1.2
0289	そ の 他	「＊」	3.4	2.2
0129	一般実用	「東京音楽祭情報」	9.3	9
0049	音　　楽	「ＭＡＬＴＡでナイト」	9.6	7

大きかった標本は討論や対談のほか，ジャンルでいえばバラエティー番組が目立つ（番組のジャンルについては，「第4部第5章　番組のジャンル」を参照）。

小さかった標本には，音楽・バレエのように，もともと音声を必要としない番組のほか，実際には音声はあったが，調査の方針により，調査対象としなかったものもある。例えば，外国語で放映された映画や語学講座の外国語部分などがそうである。

1.3 画面文字の語の密度が大きい（あるいは小さい）標本の特徴

次に，画面文字の語の密度が大きい（あるいは小さい）標本をみてみよう。［表 4.2-5］に大きかった標本を，［表 4.2-6］に小さかった標本をあげた。やや意外なのは文字による語の密度の大きい方の上位をニュースなどの報道番組がしめているわけではないことである。報道番組の語の密度は，延べで 14 語ほどで，それほど大きいわけでもない。語の密度が大きかった標本の中には，「第4部第1章　分析の目的・方法・問題点」の「5.3　語の密度」で言及されているように，番組分数の短い情報提供型の番組（「気象情報」「天気予報」）や，番組の開始時あるいは終了時の5分間にあたった標本に現れたクレジットが採られたもの（「ルンルンあさ6生情報」「おもいッきりテレビ」）がある。番組分類としては，これといった傾向はないようであるが，コミュニケーション的な観点からみると，主として情報提供型の番組が多いようだ。その典型は「株式ニュース」であろう。

一方，語の密度の小さい方は，圧倒的にドラマ（アニメを含む）が多い。ドラマでは，ストーリーを担うのは，もっぱら音声言語であって，文字言語は補助的手段になっているからであろう。このことにより，文字による語の密度という指標は，テレビ放送において，情報提供型の番組とストーリー系の番組とを区別するはたらきをもっているといえよう。

［表 4.2-5］画面文字による語の密度の大きかった標本（延べ語数で 50 語／分以上）

標本番号	分 類	番 組 名	語の密度（延べ・異なり）	
0210	一般実用	「株式ニュース」	222.5	159.3
0239	一般実用	「株式ニュース」	186.7	136.8
0240	バラエティー	「連想ゲーム」	148.2	10
0224	報 道	「気象情報」	86.8	20
0244	スポーツ	「木曜ナイター・巨人×大洋」	86.1	22.7
0211	バラエティー	「おもいッきりテレビ」	80.8	47.1
0254	一般実用	「話題の医学」	73	21.2
0243	バラエティー	「パラダイスＧＯ　ＧＯ!!」	72.5	69.1
0290	報 道	「モーニングセンサー」	69.9	25.3
0056	スポーツ	「土曜ナイター・巨人×広島」	61.9	15.8
0339	スポーツ	「プロ野球・大洋×広島」	58.6	38.3
0142	一般実用	「日曜囲碁対局」	54.6	4
0249	バラエティー	「ＰＲＥ・ＳＴＡＧＥ１」	54.5	38
0274	一般実用	「ルンルンあさ６生情報」	54.1	37.4
0109	バラエティー	「金曜スペシャル・要録画！今から間に合うＧＷ・大情報源」	52.8	30
0236	報 道	「テレポートＴＢＳ６」	52.1	28.2
0158	報 道	「天気予報」	51.3	24.7

［表 4.2-6］画面文字による語の密度の小さかった標本（延べ語数 0 語／分）

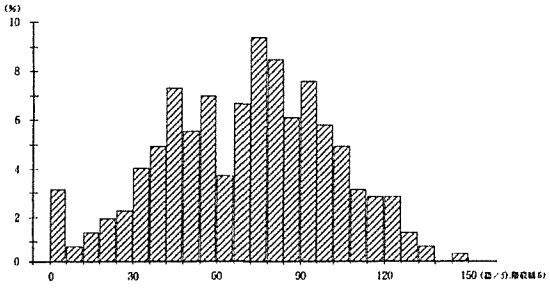
標本番号	分 類	番 組 名
0100	教育・教養	「英語会話」
0340	音 楽	「芸術劇場・サイモン・フレストンオルガン演奏会」
0006	一般実用	「ひらけ！ポンキッキ」
0319	ストーリー	「ペリーヌ物語」
0077	ストーリー	「木曜映画劇場・ピラミッド」
0238	ストーリー	「アニメランド・ラ・セーヌの星」
0272	ストーリー	「木曜劇場・ハートに火をつけて！」
0363	ストーリー	「土曜アンコール劇場・白い人魚の美女」
0328	ストーリー	「木曜ゴールデンドラマ・夫の遺言」
0099	ストーリー	「大草原の小さな家」
0308	ストーリー	「暴れん坊将軍Ⅲ」
0357	ストーリー	「木曜映画劇場・ＢＭＸ　アドベンチャー」
0007	ストーリー	「時代劇アワー・十手無用」
0228	ストーリー	「日曜洋画劇場・スカーフェイス」
0206	ストーリー	「奥さま劇場・さよならを教えて・最終回」
0355	ストーリー	「水戸黄門」
0175	ストーリー	「アンコールアワー・明日はアタシの風が吹く」
0204	ストーリー	「乱歩賞作家サスペンス・仮面の欲望」
0200	ストーリー	「キテレツ大百科」
0223	ストーリー	「サスペンス傑作劇場・密漁夫婦」
0057	ストーリー	「サタデーナイトＣＬＵＢ・ハロームービーズ・ミスターマム」
0340	ストーリー	「あひるのクワック」
0337	報 道	「ＣＢＳイブニングニュース」
0092	バラエティー	「志村けんのだいじょうぶだぁ」
0132	ストーリー	「続・三匹が斬る！」
0133	音 楽	「ロックＴＶ」
0121	ストーリー	「ＬＡ　ＬＡＷ７人の弁護士」
0305	バラエティー	「冗談画報Ⅱ」
0196	報 道	「討論・時代を読む」
0140	バラエティー	「ザッツ談」

2．各変数の語数の分布の記述

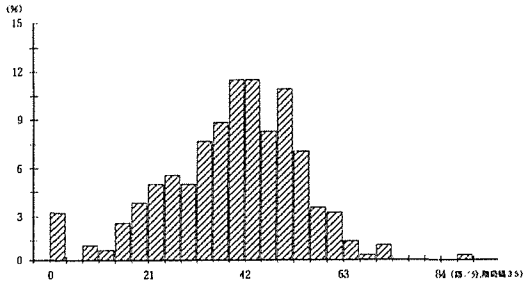
以下に各変数についての分布のようすを示す。なお，ヒストグラムの階級の幅は，原則として，探索的データ解析の方法によって設定している[20]。

2.1 音声・本編・延べ語数

［図4.2-3］からは，分布のほぼ中央部分がへこんでおり，左右に山があることが認められる。この2つの山は，番組のジャンルと関連があって，低い方の山はドラマなどのストーリー系の番組によって，高い方の山は主に一般実用系および報道系の番組との対応が認められる。つまり，2つの正規分布が重なった形が［図4.2-3］なのではないかという仮説をたてることができる。なお，ジャンルと語の密度の分布との関係については，詳しくは「第4部第5章　番組のジャンル」を参照。



［図4.2-3］語の密度の分布（本編・音声・延べ語数）



［図4.2-4］語の密度の分布（本編・音声・異なり語数）

2.2 音声・本編・異なり語数

おおまかにいうと，正規分布のようである（［図4.2-4］）。延べ語数と異なり語数とで，分布のタイプが違っていることは興味深いことである。この現象の意味を考えてみよう。たとえば，異なり語数では分布の幅（横軸のスケール）が小さくなっているため，延べ語数の分布で見られた2つの山が圧縮されて目立たなくなっている，という説明が考えられる。これを確かめるためには，標本の時間をもっと長くして，異なり語数の分布の幅を大きくとって分布を見てみなければならないだろう。しかし，音声・CMや画面文字（本編，CMとも）における語の密度の分布を見てみると，異なり語数において分布の幅が小さくなっているにもかかわらず，分布の形がいちじるしく変わっているわけではないので，分布の形が変わることに対する上記の説明は説得力があるとはいえない。

2.1で分布に2つの山ができるのは，ジャンルの違いによるところが大きいと書いたが，この違いが，異なり語数の分布にあっても，反映されていれば，やはり分布の形は同じになるはずである。そうでないということは，延べ語数と異なり語数との関係がジャンルによって異なるのではないかということが予想される。そこで，ジャンル別に語の密度について，異なり語数を延べ語数で割った値を調べてみた（［表4.2-7］）。

20）『探索的データ解析入門』，pp.13-16

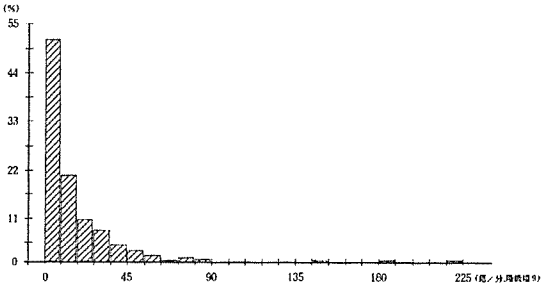
［表 4.2-7］ジャンル別の「語の密度（異なり語数）／語の密度（延べ語数）」の値

ジャンル	最小値	第1四分位	中央値	平均値	第3四分位	最大値	四分位偏差	標本数
報　道	0.4	0.6	0.7	0.6	0.7	0.9	0.1	52
教育教養	0.0	0.5	0.5	0.6	0.7	0.8	0.1	42
一般実用	0.3	0.4	0.5	0.5	0.6	1.0	0.1	72
音　楽	0.0	0.1	0.6	0.5	0.7	0.9	0.3	20
バラエティー	0.3	0.5	0.5	0.5	0.6	0.8	0.1	51
ストーリー	0.0	0.6	0.6	0.7	0.7	1.0	0.1	63
スポーツ	0.4	0.5	0.5	0.6	0.6	0.8	0.1	26
そ の 他	0.7	0.7	0.8	0.8	0.9	1.0	0.1	5

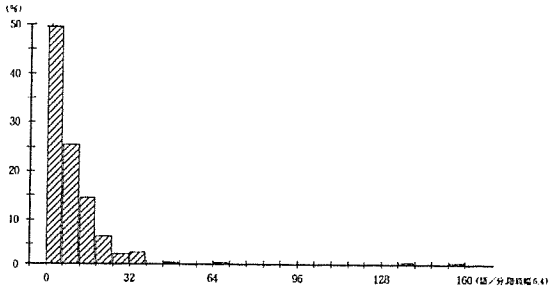
［表 4.2-7］によれば，延べ語数において，値が高い方の山を形作っていた，報道と一般実用とではk／nの値がかなり違っていることがわかる。すなわち，延べ語数における報道の山は，異なり語数においても，比較的高いところに位置するのに対して，一般実用の山は異なり語数において，中程度の山になることがわかる。この，ジャンルによるk／n値のばらつきが，延べ語数の分布における2つの山を異なり語数においては解消したのだといえる。

2.3 画面文字・本編・延べ語数および異なり語数

いわゆるL字型分布を示す（［図 4.2-5, 6］）。語の密度の分布において，L字型分布を示すのは，外来語の分布と画面文字・本編のこの2つの変数だけである。少ない方にかたよって分布している一方で，最大値が延べ語数で 222.5 と非常に高い。音声・本編では，最大値が 147.4 である。言語情報を発信する能力という意味では，画面文字の方が音声よりも可能性を持っているといえよう（ただし，受け手が理解できるかどうかはまた別の問題である）。



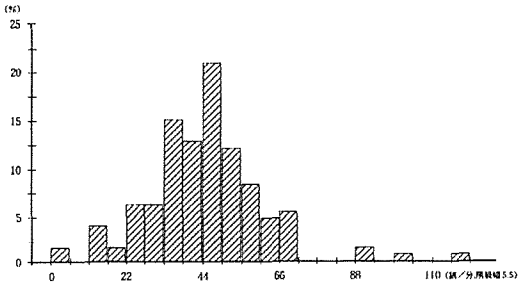
［図 4.2-5］語の密度の分布（本編・画面文字・延べ語数）



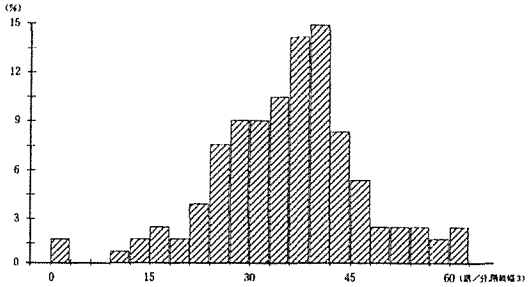
［図 4.2-6］語の密度の分布（本編・画面文字・異なり語数）

2.4 音声・CM・延べ語数および異なり語数

両方とも正規分布に近いようであるが，延べ語数の分布はいくぶん右すそが長い（［図4.2-7, 8］）。CMの場合は，本編と違って延べ語数の分布に2つの山は認められない。これは，本編にあったようなジャンルの区別がないということとも関連する。CMは本編とくらべると量的に等質だということがいえる。



[図 4.2-7] 語の密度の分布（CM・音声・延べ語数）

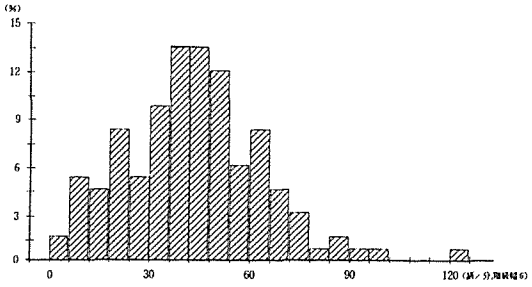


[図 4.2-8] 語の密度の分布（CM・音声・異なり語数）

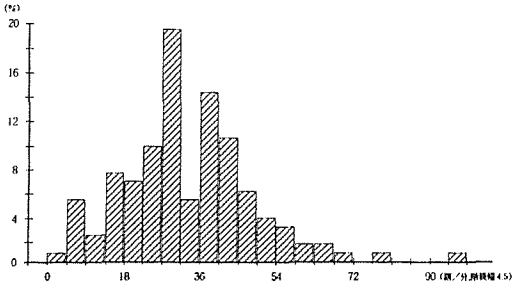
また，[表 4.2-2] にあるように，CMにおける語の密度の最小値はそれぞれの変数ですべて 0 であるが，これは標本の中に，CM時間が 1 秒しかなかったものがごく少数あったからである。15 秒以上CM時間を含む標本においては，最小値はどの変数においても 0 ではない。つまり，CMでは必ず言語情報を発することが重要なポイントであることがわかる。ドラマにおける情景描写・心理描写，あるいは音楽のように言語のいらない場面というのはテレビでは珍しくないが，CMが映像や音楽だけで構成されることはないようだ。

2.5 画面・CM・延べ語数および異なり語数

延べ語数はやや右すそが長い 1 つの山の分布を示している（[図 4.2-9]）。異なり語数は，同様に右に伸びた分布である。あるいは，山が 2 つあるようにも認められる（[図 4.2-10]）。画面における語の密度の分布が本編では，延べ語数・異なり語数とも分布が低い値に集中していた（[図 4.2-5, 6]）のとくらべると，CMでは分布が相対的に高い方に位置している。CMにおける文字の役割を窺い知ることができる。



[図 4.2-9] 語の密度の分布（CM・画面文字・延べ語数）



[図 4.2-10] 語の密度の分布（CM・画面文字・異なり語数）

3．語種と品詞の割合の分布

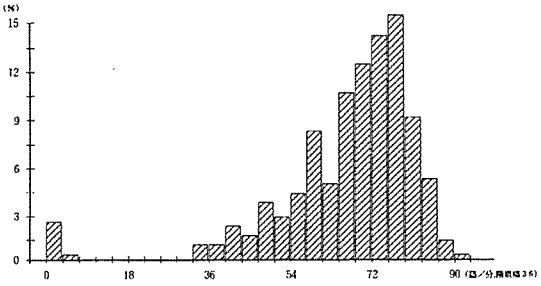
本編の音声・画面，ＣＭの音声・画面のそれぞれについて，語種および品詞の各カテゴリーの分布を概観する。

3.1 語種の割合の分布

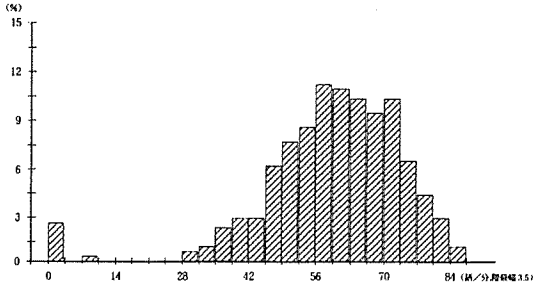
和語・漢語・外来語・混種語のそれぞれについて延べ語数と異なり語数とにわけて，分布のようすを示す。

3.1.1 和　語

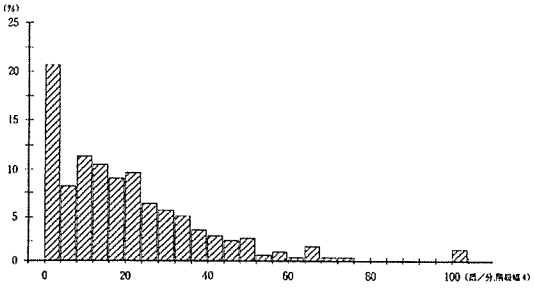
本編・音声では，分布が比率の高い方に集中しているのに対して，本編・画面ではその逆に低い方に集まっている。ＣＭ・音声はきれいな正規分布である。ＣＭ・画面は他の分布と違って50%以下の低い方に集まっているが，形はゆるやかな正規分布のようにも見える。音声と画面とを比べてみると，音声の方がより割合の高い部分に集中している。延べ語数と異なり語数とではどの変数も分布の形はほぼ同じである。([図 4.2-11～18])



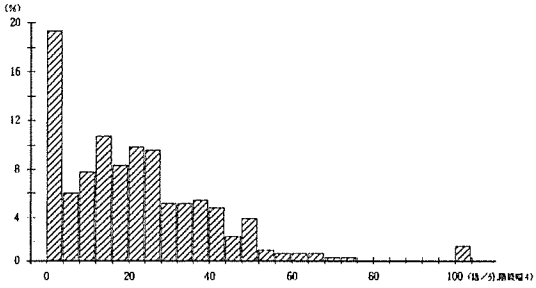
[図 4.2-11] 和語の割合の分布（本編・音声・延べ語数）



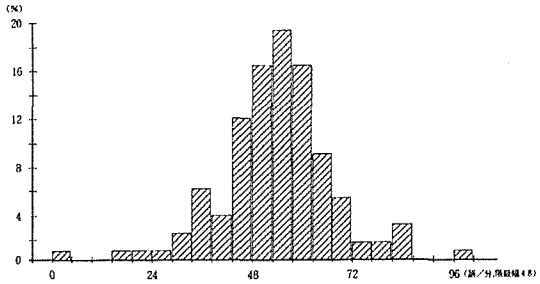
[図 4.2-12] 和語の割合の分布（本編・音声・異なり語数）



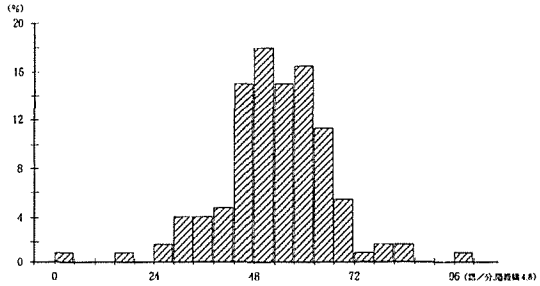
[図 4.2-13] 和語の割合の分布（本編・画面文字・延べ語数）



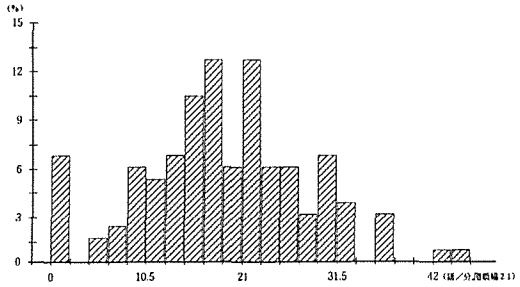
[図 4.2-14] 和語の割合の分布（本編・画面文字・異なり語数）



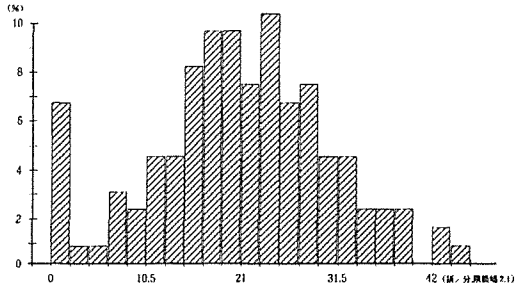
[図 4.2-15] 和語の割合の分布（CM・音声・延べ語数）



[図 4.2-16] 和語の割合の分布（CM・音声・異なり語数）



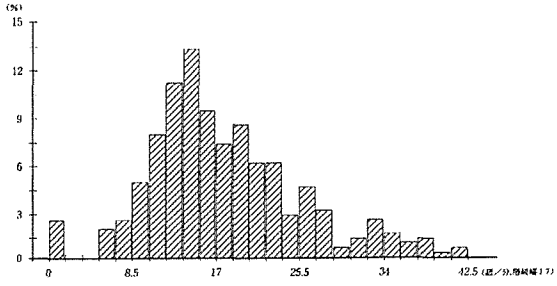
[図 4.2-17] 和語の割合の分布（CM・画面文字・延べ語数）



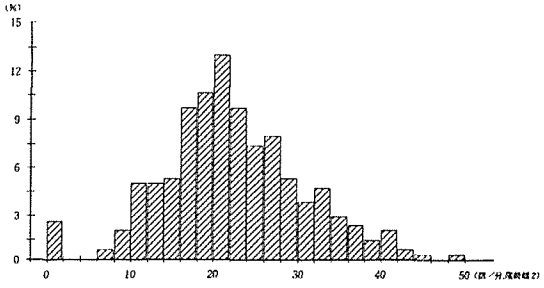
[図 4.2-18] 和語の割合の分布（CM・画面文字・異なり語数）

3.1.2 漢　　語

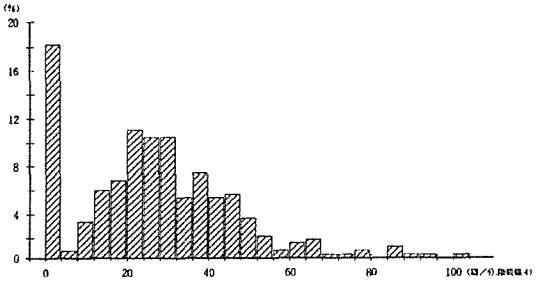
本編は音声・画面ともやや右に長い山を作っているが，画面の分布は0のところに集中していることと，100%近いところまでずっと分布が見られることが特徴的である。CMにおいては，音声よりも画面の方がいくぶん高い位置に分布している。延べ語数と異なり語数とではどの変数もほぼ同じ分布の形を示している。([図 4.2-19～26])



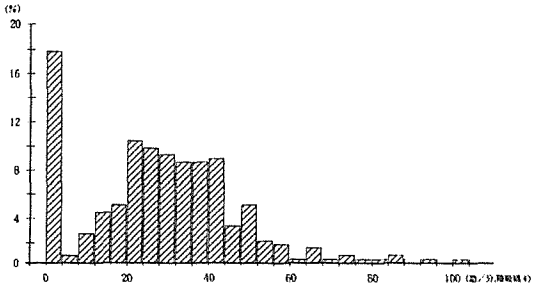
[図 4.2-19] 漢語の割合の分布（本編・音声・延べ語数）



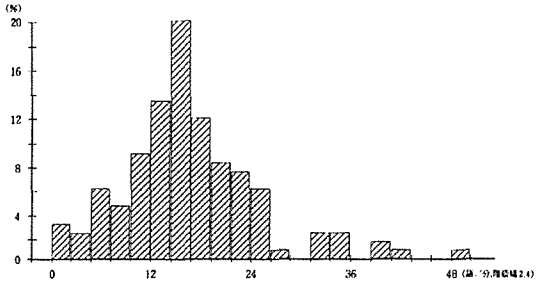
[図 4.2-20] 漢語の割合の分布（本編・音声・異なり語数）



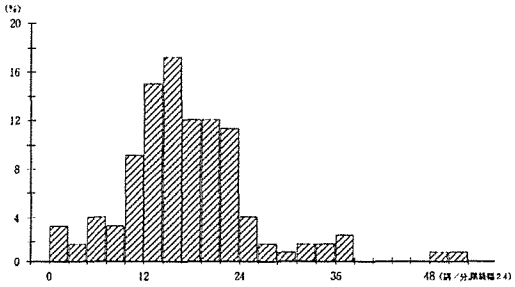
[図 4.2-21] 漢語の割合の分布（本編・画面文字・延べ語数）



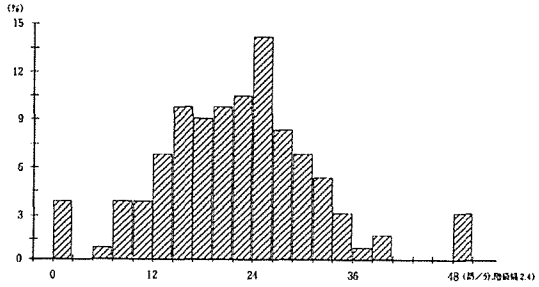
[図 4.2-22] 漢語の割合の分布（本編・画面文字・異なり語数）



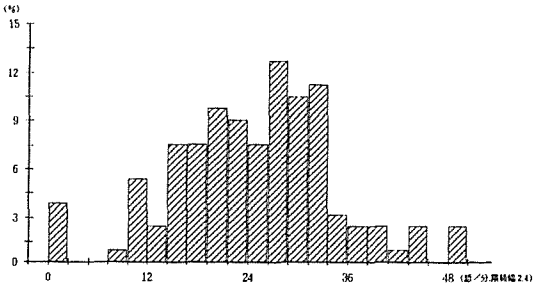
[図 4.2-23] 漢語の割合の分布（CM・音声・延べ語数）



[図 4.2-24] 漢語の割合の分布（CM・音声・異なり語数）



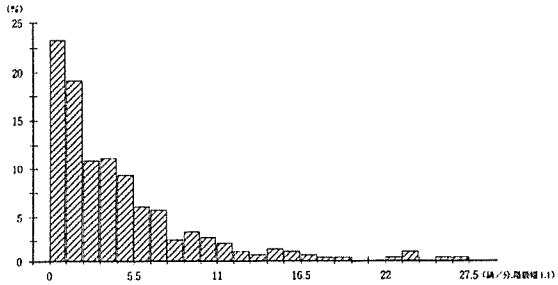
[図 4.2-25] 漢語の割合の分布（CM・画面文字・延べ語数）



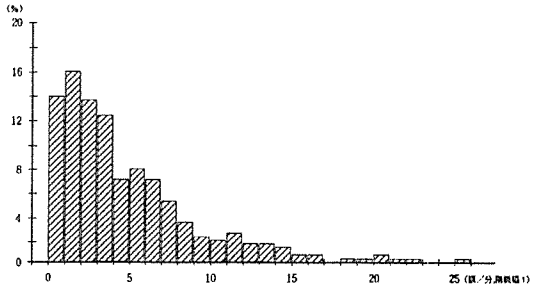
[図 4.2-26] 漢語の割合の分布（CM・画面文字・異なり語数）

3.1.3 外 来 語

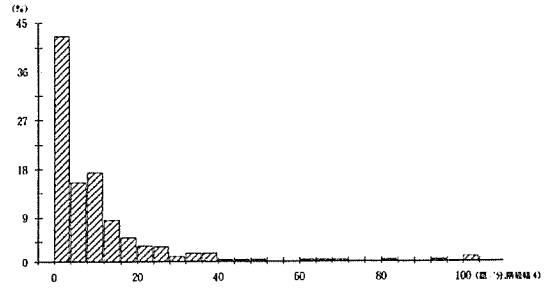
本編とCMとで分布のようすが大きく異なる。本編ではいわゆるL字型分布，CMではおおまかにいって山が一つの正規分布である。本編，CMとも画面での分布の方が右すそが長い。音声よりも画面の方が外来語の割合の多い標本があったことがわかる。延べ語数と異なり語数とではどの変数もほぼ同じ分布の形を示している。([図 4.2-27〜34])



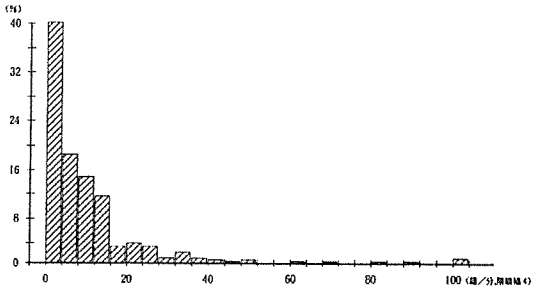
[図 4.2-27] 外来語の割合の分布（本編・音声・延べ語数）



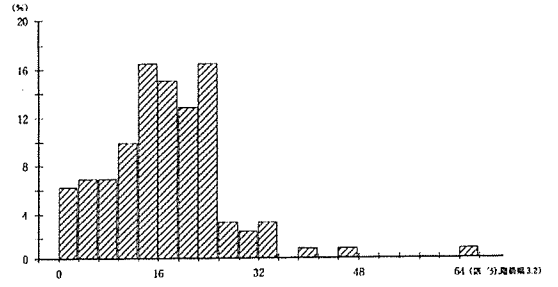
[図 4.2-28] 外来語の割合の分布（本編・音声・異なり語数）



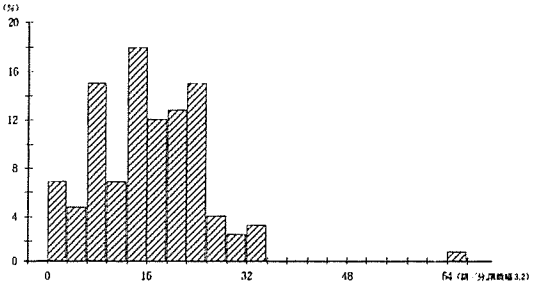
[図 4.2-29] 外来語の割合の分布（本編・画面文字・延べ語数）



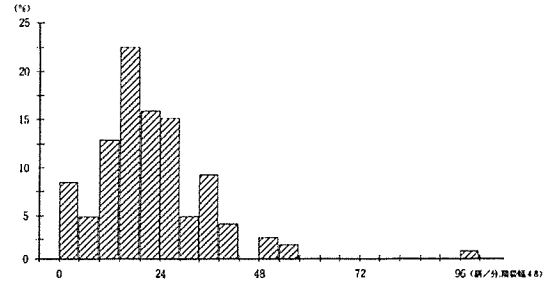
[図 4.2-30] 外来語の割合の分布（本編・画面文字・異なり語数）



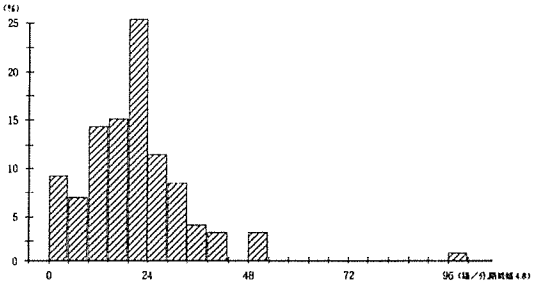
[図 4.2-31] 外来語の割合の分布（ＣＭ・音声・延べ語数）



[図 4.2-32] 外来語の割合の分布（ＣＭ・音声・異なり語数）



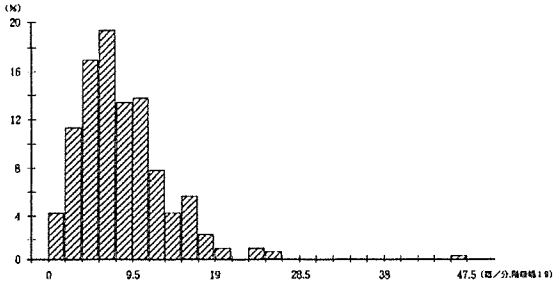
[図 4.2-33] 外来語の割合の分布（ＣＭ・画面文字・延べ語数）



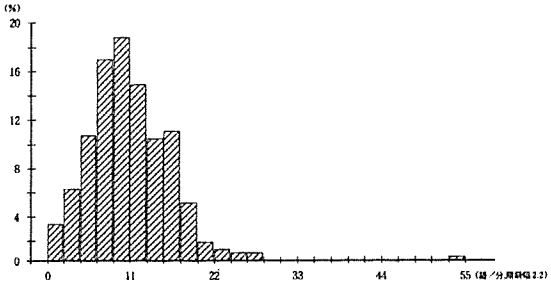
[図 4.2-34] 外来語の割合の分布（ＣＭ・画面文字・異なり語数）

3.1.4 混 種 語

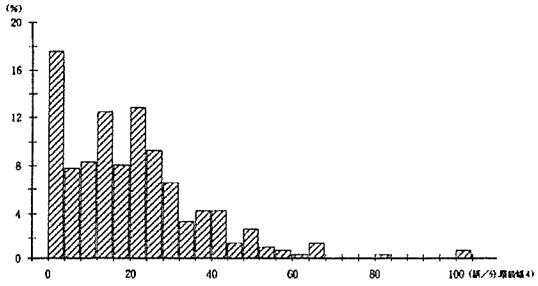
本編・音声の分布は正規分布的，本編・画面はややＬ字型のような分布である。ＣＭも音声・画面とも正規分布的である。音声よりも画面の方が割合が高い方に多く分布している。延べ語数と異なり語数とではどの変数もほぼ同じ分布の形を示している。([図 4.2-35〜42])



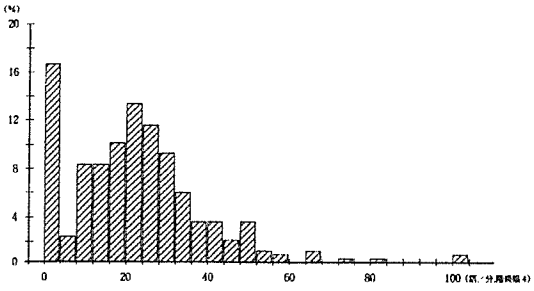
[図 4.2-35] 混種語の割合の分布（本編・音声・延べ語数）



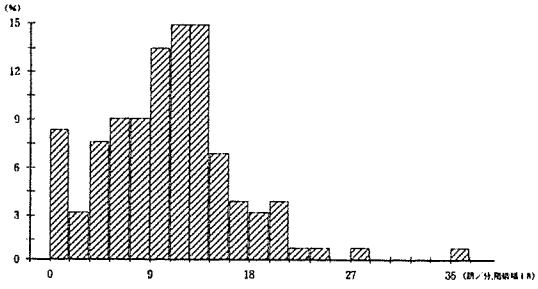
[図 4.2-36] 混種語の割合の分布（本編・音声・異なり語数）



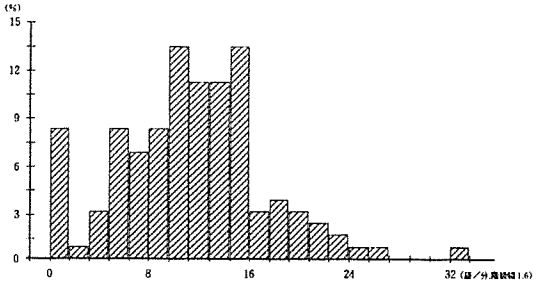
[図 4.2-37] 混種語の割合の分布（本編・画面文字・延べ語数）



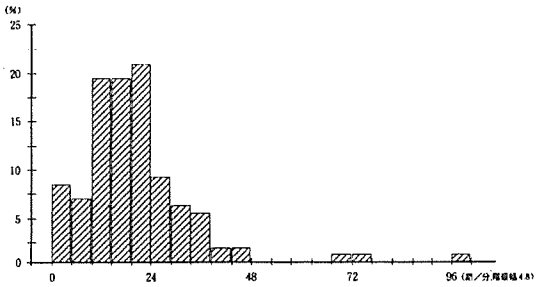
[図 4.2-38] 混種語の割合の分布（本編・画面文字・異なり語数）



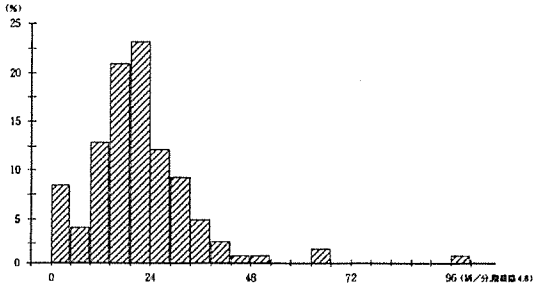
[図 4.2-39] 混種語の割合の分布（ＣＭ・音声・延べ語数）



[図 4.2-40] 混種語の割合の分布（ＣＭ・音声・異なり語数）



[図 4.2-41] 混種語の割合の分布（CM・画面文字・延べ語数）

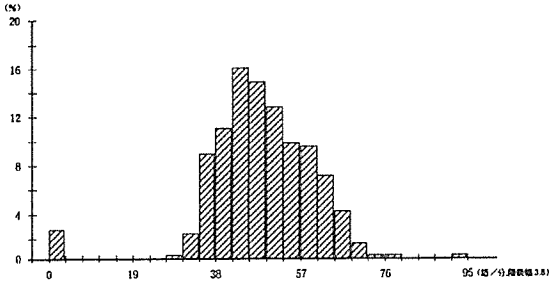


[図 4.2-42] 混種語の割合の分布（CM・画面文字・異なり語数）

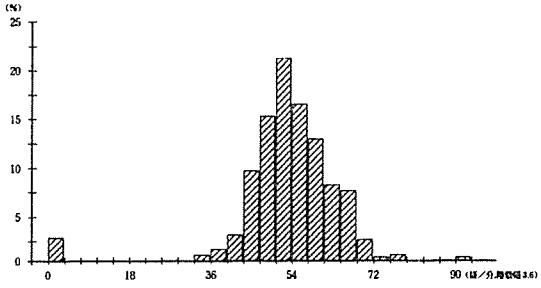
3.2　品詞の割合の分布

3.2.1 体 の 類

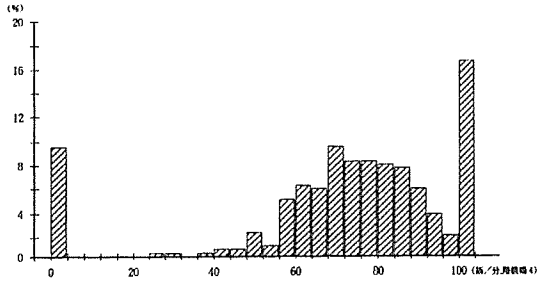
本編・音声はほぼ50%あたりに山があるのに対して，本編・画面では，それが70〜80%付近にずれているほかに，0%，100%にも突出が見られる。CMは音声・画面ともそれほど変りないようで，70〜80%あたりに高い山がある。([図 4.2-43〜50])



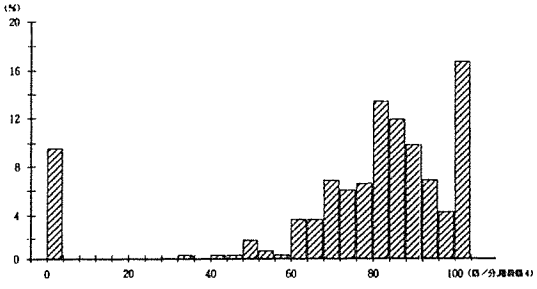
[図 4.2-43] 体の類の割合の分布（本編・音声・延べ語数）



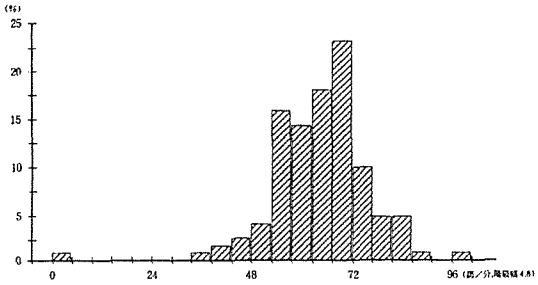
[図 4.2-44] 体の類の割合の分布（本編・音声・異なり語数）



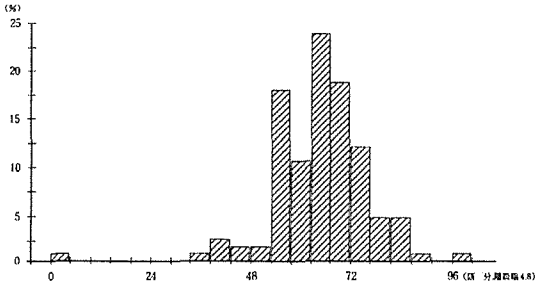
[図 4.2-45] 体の類の割合の分布（本編・画面文字・延べ語数）



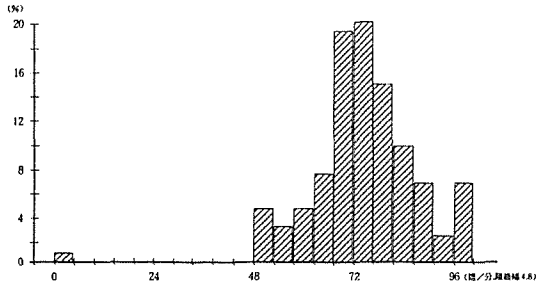
[図 4.2-46] 体の類の割合の分布（本編・画面文字・異なり語数）



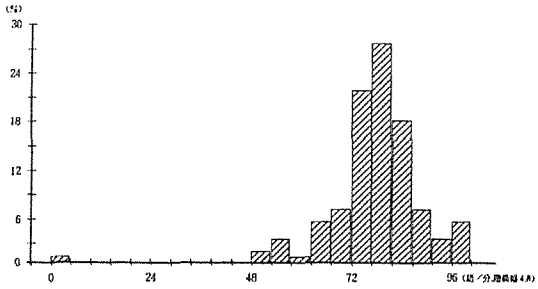
[図 4.2-47] 体の類の割合の分布（CM・音声・延べ語数）



[図 4.2-48] 体の類の割合の分布（CM・音声・異なり語数）



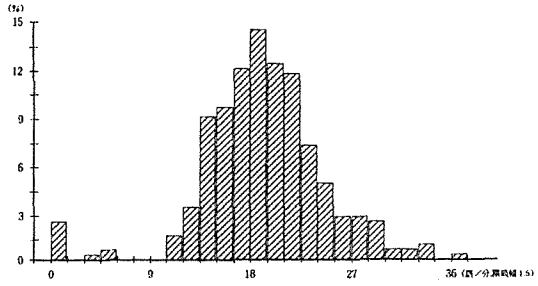
[図 4.2-49] 体の類の割合の分布（CM・画面文字・延べ語数）



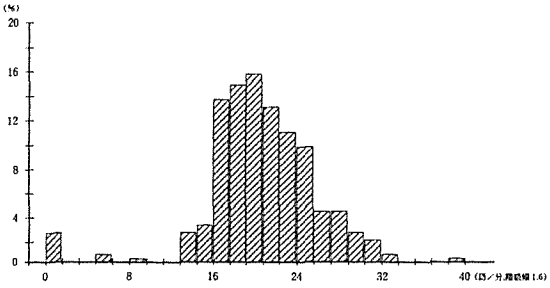
[図 4.2-50] 体の類の割合の分布（CM・画面文字・異なり語数）

3.2.2 用 の 類

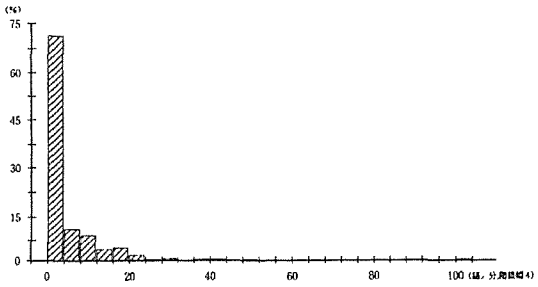
音声は，正規分布的，画面はL字型分布的である（もっとも本編・画面とCM・画面とではその集中の度合が異なる）。（[図 4.2-51～58]）



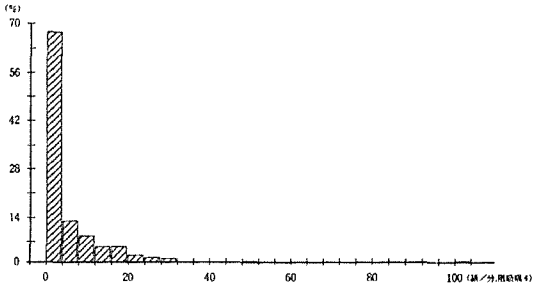
[図 4.2-51] 用の類の割合の分布（本編・音声・延べ語数）



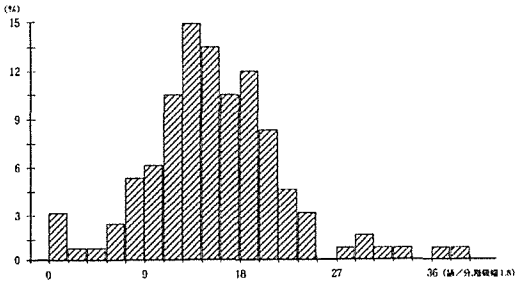
[図 4.2-52] 用の類の割合の分布（本編・音声・異なり語数）



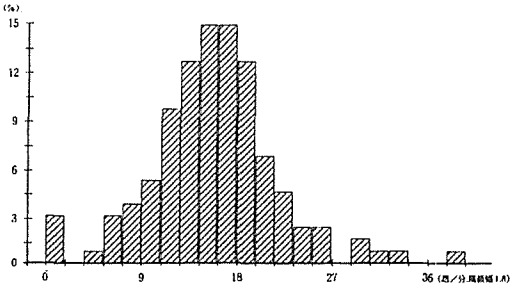
[図 4.2-53] 用の類の割合の分布（本編・画面文字・延べ語数）



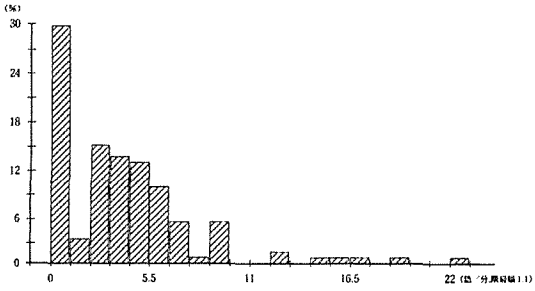
[図 4.2-54] 用の類の割合の分布（本編・画面文字・異なり語数）



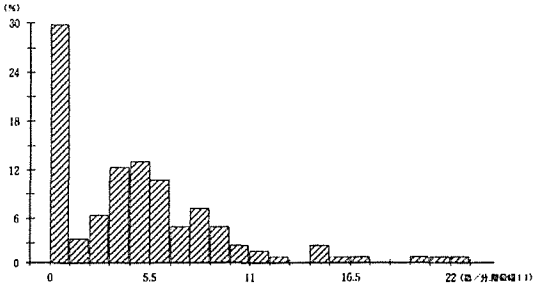
[図 4.2-55] 用の類の割合の分布（ＣＭ・音声・延べ語数）



[図 4.2-56] 用の類の割合の分布（ＣＭ・音声・異なり語数）



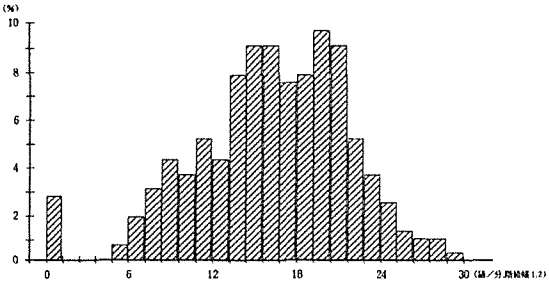
[図 4.2-57] 用の類の割合の分布（ＣＭ・画面文字・延べ語数）



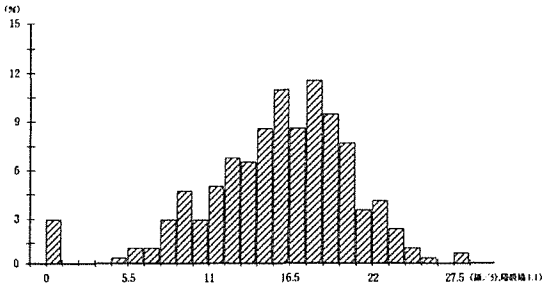
[図 4.2-58] 用の類の割合の分布（ＣＭ・画面文字・異なり語数）

3.2.3 相 の 類

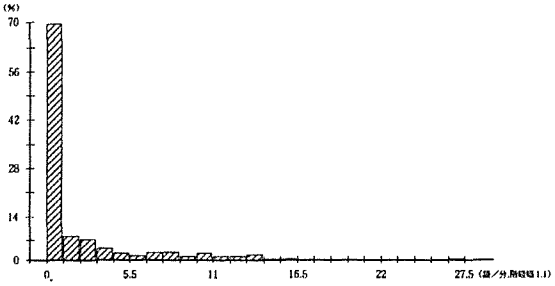
これも用の類と同じく，音声は正規分布的，画面はＬ字型分布的である。音声はその傾向がはっきりしているが，ＣＭではいくぶん形はくずれている。([図 4.2-59〜66])



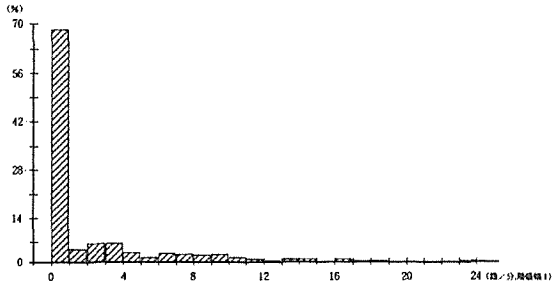
[図 4.2-59] 相の類の割合の分布（本編・音声・延べ語数）



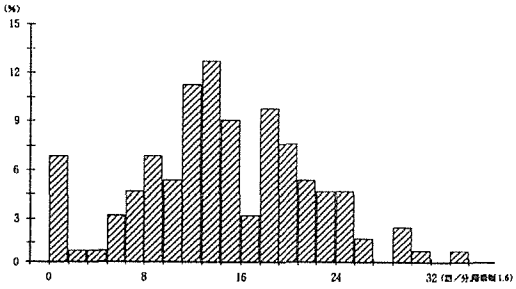
[図 4.2-60] 相の類の割合の分布（本編・音声・異なり語数）



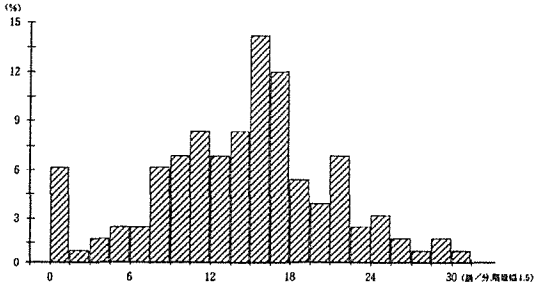
[図 4.2-61] 相の類の割合の分布（本編・画面文字・延べ語数）



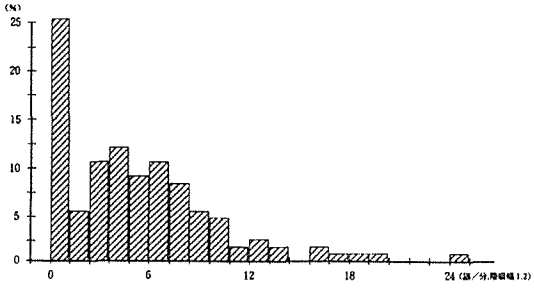
[図 4.2-62] 相の類の割合の分布（本編・画面文字・異なり語数）



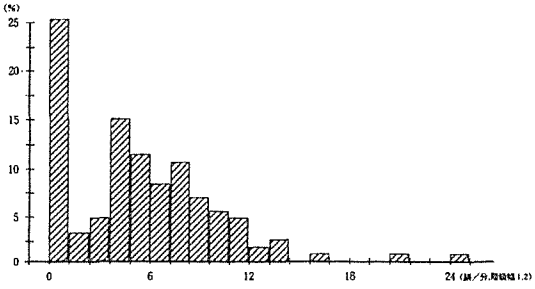
[図 4.2-63] 相の類の割合の分布（CM・音声・延べ語数）



[図 4.2-64] 相の類の割合の分布（CM・音声・異なり語数）



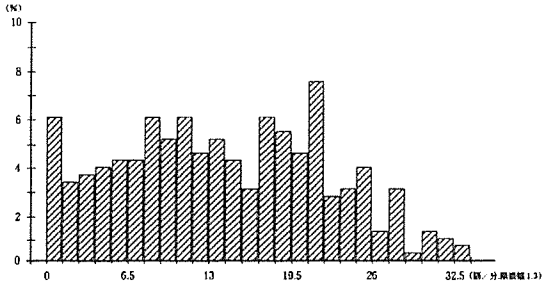
[図 4.2-65] 相の類の割合の分布（CM・画面文字・延べ語数）



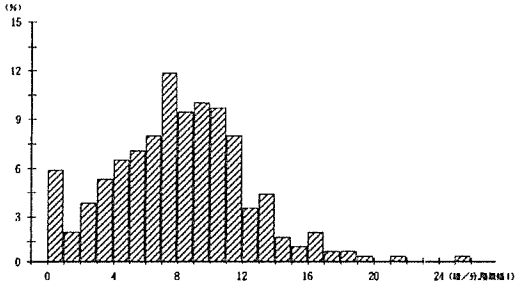
[図 4.2-66] 相の類の割合の分布（CM・画面文字・異なり語数）

3.2.4 その他の類

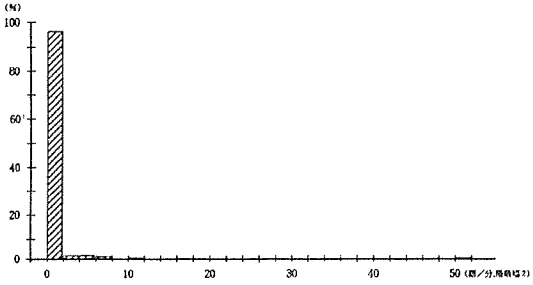
音声に比べると，画面において割合が非常に低い。ほとんどが0％のところに集中していることがわかる。また，体・用・相の類では，延べ語数と異なり語数との分布の形がほとんど同じであったが，その他の類では本編・音声においてそれが異なっている。本編・音声・延べ語数の分布は，とくにどこに山があるという形の分布ではなく大体一様に分布している［図4.2-67］。それと対照的に異なり語数の方は山のある分布で，どちらかというと正規分布にちかい（［図4.2-68］）。これは，その他の類は，接続詞・感動詞であるので，使用回数は多くても異なりでは少なくなるという事情を反映しているものと思われる。また，CM音声と画面の両方ともL字型分布をしている点も特徴的である。（［図4.2-69〜74］）



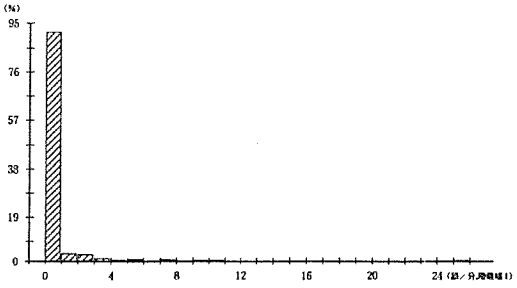
［図4.2-67］その他の類の割合の分布（本編・音声・延べ語数）



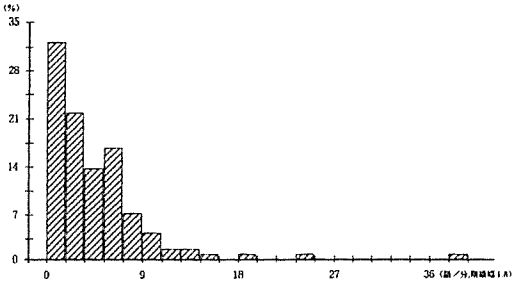
［図4.2-68］その他の類の割合の分布（本編・音声・異なり語数）



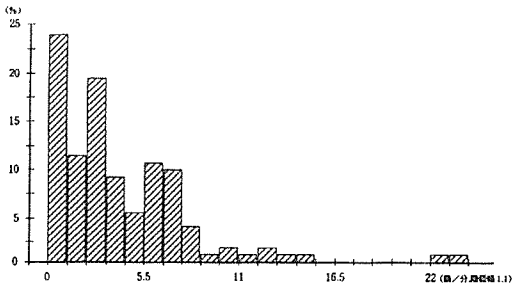
［図4.2-69］その他の類の割合の分布（本編・画面文字・延べ語数）



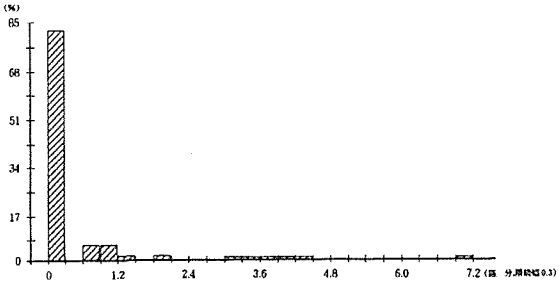
［図4.2-70］その他の類の割合の分布（本編・画面文字・異なり語数）



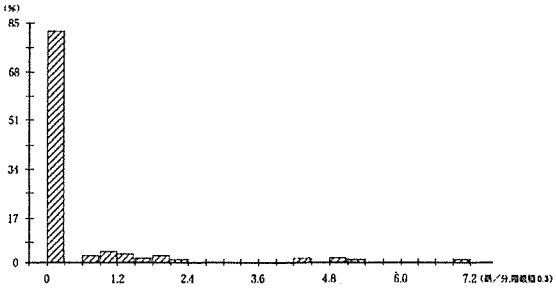
［図4.2-71］その他の類の割合の分布（CM・音声・延べ語数）



［図4.2-72］その他の類の割合の分布（CM・音声・異なり語数）



[図 4.2-73] その他の類の割合の分布（CM・画面文字・延べ語数）



[図 4.2-74] その他の類の割合の分布（CM・画面文字・異なり語数）

4. ま と め

テレビ放送において1分間あたりに話され，あるいは，表示される語の量は，音声・本編では73.5語（延べ），41.2語（異なり），画面文字では，8.2語（延べ），6.4語（異なり）であった。

語の密度の大きい番組は，音声ではバラエティー番組，画面文字では情報番組，語の密度の小さい番組は，音声では音楽番組，画面文字ではドラマであった。

分布の型では，音声・本編の延べ語数において，2つの山が認められるのが特徴的である。この2つの山は番組のジャンルと密接な関係があることがわかった。画面文字はいわゆるL字型分布をしめている。

語種別の分布では，和語・漢語・外来語・混種語がそれぞれ，分布の位置および型において異なったすがたを見せている。また，品詞別では，その他の類の分布がほかと違って，延べ語数で一様な分布を見せているのが特徴的である。

第３章　本編とＣＭ

１．本編とＣＭ

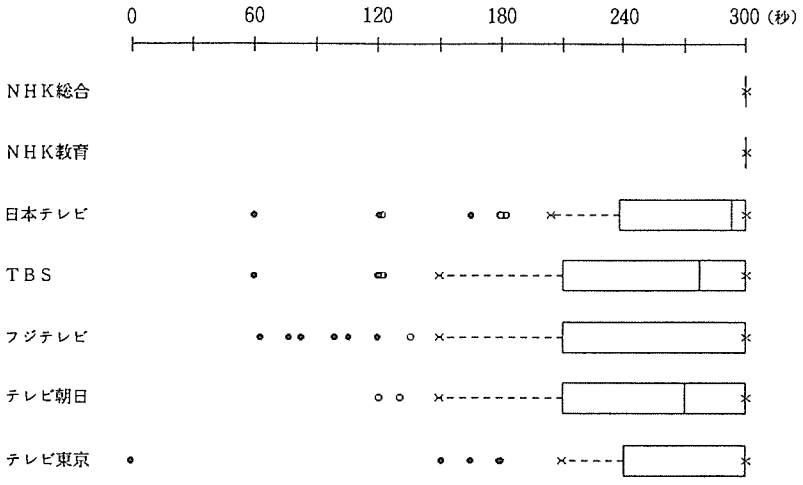
1.1 本編とＣＭの区別

番組（この報告書で主に「本編」と呼んでいるもの）とＣＭとの境界は，あいまいである。たとえば，本編と本編のあいだに入る，30秒〜１分の“番組のお知らせ”は，本編なのかＣＭなのか迷うところである。その放送局の番組の宣伝をしていると考えれば，ＣＭだともいえようが，通常のＣＭと違って，スポンサーがついているわけではない。本編とみた場合も，あきらかに，その前後の本編の一部分ではないから，独立した１つの本編とみなすべきかどうかという問題がある。この調査では，番組の認定は㈱ビデオ・リサーチ社の番組表に従っているので，１つの本編と扱った中に，こういう“おまけ”的な部分が紛れ込んでいるものもあることに注意したい。この辺の事情は，１つの番組の中に複数のコーナーを擁する番組があることなどとも関連してくる。

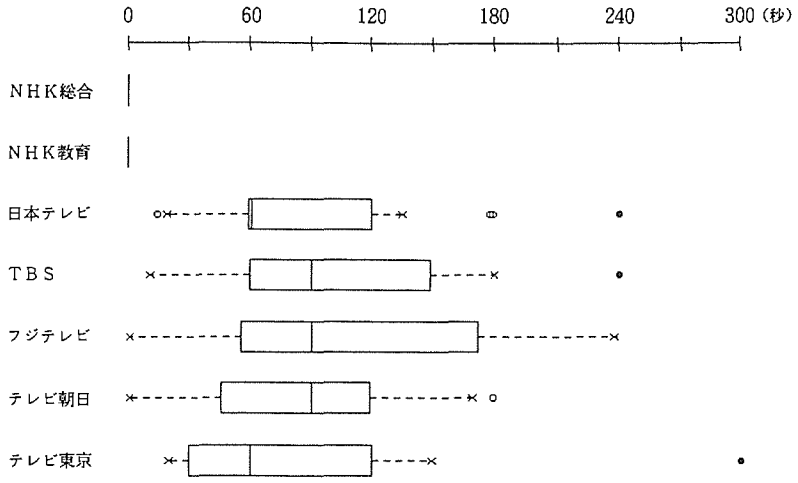
また，番組開始・終了時の音声および文字によるスポンサーの表示は，ＣＭなのか番組の一部なのか（今回の調査では本編の扱い）。この調査では，本編でなければＣＭという二者択一の考えに立ったが，本編でもＣＭでもない部分が考えられるのかもしれない。

1.2 本編時間とＣＭ時間

［図4.3-1］は，チャンネル別にみた本編の放送時間の箱型図である。どのチャンネルも本編時間の中央値は300秒あるいはそれに近い。民放では，ＣＭが多く含まれた標本があったところが極外値としてあらわれている。［図4.3-2］は，ＣＭが含まれた標本だけを対象にＣＭの放送時間をチャンネル別にみたものである。どのチャンネルもさほどＣＭの放送時間に差はみられないようである。これは業界によるＣＭ時間の統一ルールが定まっていることによるものであろう。



［図4.3-1］本編の放送時間



［図 4.3-2］ CMの放送時間

1.3 CMと語の密度

ここでは，CMをまとめて扱ったが，CM自体にも分類を施すことができよう。例えば，商品の種類・商品の購買層・商品の金額などが考えられる。またCMの型にも，歌を流す・商品名を連呼する・イメージCMなど典型的なパターンがある。分析を加えていく上では，これらの要素が語の密度に影響している可能性も考慮する必要があるかもしれない。また，CMにおける言語表現は，その量的な側面よりも，専ら質的な側面が重視されるものである（だから，専門のコピーライターが存在するのである）。しかし，ここで概観するのは，言語の量的な面だけであり，メディア論的な目からみたCMの分析は行わない。

2．語の密度の比較

2.1 全体的な特徴

［表 4.3-1, 2］に本編およびCMにおける語の密度について基本的な統計量を示した（これは，「第4部第2章　標本全体」の［表 4.2-1, 2］の再掲である）。この表から次のような本編とCMとの違いが認められる。比較はとくに断らない限り中央値での比較である。

まず，全体的な特徴として，本編では音声と画面との差がはっきりしているのに，CMではほとんど同じ値を示すということである。このことは，中央値において著しいが，最大値も本編ほど極端な差はでていない。また，最小値は，本編・CMともにすべて0であるが，CMにおける0というのは，CM時間が1秒しかなかった標本が数個あったためであり，実質的にはCMにおける語の密度は0ではない。

また，異なり語数で，延べ語数とくらべてそれほど語数が減っていないことも注目される。CMは，商品名が連呼されること，あるいは，繰り返し流されることが多いことなど，異なり語数を減らす方向での特徴がイメージ的には感じられるが，実際にはそれほどそれらの影響は強くないということである。

［表 4.3-1］語の密度（本編）

	最小値	第1四分位	中央値	平均値	第3四分位	最大値	四分位偏差	標本数
音声・延べ	0.0	48.6	73.5	70.9	94.1	147.4	22.8	331
音声・異なり	0.0	31.0	41.2	39.4	49.5	87.7	9.3	331
画面・延べ	0.0	2.8	8.2	15.7	21.0	222.5	9.1	331
画面・異なり	0.0	2.2	6.4	9.7	12.8	159.3	5.3	331

［表 4.3-2］語の密度（CM）

	最小値	第1四分位	中央値	平均値	第3四分位	最大値	四分位偏差	標本数
音声・延べ	0.0	34.6	44.6	44.3	52.2	116.0	8.8	134
音声・異なり	0.0	29.5	36.3	35.6	41.4	62.2	6.0	134
音声・延べ	0.0	29.1	42.0	42.7	56.3	125.5	13.6	134
音声・異なり	0.0	23.7	31.2	33.0	42.8	98.2	9.6	134

2.2 音声について

音声の語の密度において，延べ語数の異なり語数に対する比（中央値）が本編では1.8なのに対して，CMでは1.3と低くなっている。CMの方が延べ語数そのものが少ないので，その点は考慮しなければいけないが，本編の音声が40語台の36標本では，延べ／異なりの比が平均で1.6であるので，CMにおけるこの値は，やはり本編とくらべて低いことがわかる。このことは，CMでは本編よりも語の繰り返しが少ないということを意味している。

箱型図［図4.2-1, 2］でも，延べ語数では本編の方がCMよりも分布が上の方に位置しているが，異なり語数では，それが接近しているのがみてとれる。

また，延べ語数，異なり語数ともCMの方が四分位偏差が小さく，分布が集中していることがわかる。

2.3 画面文字について

もっとも特徴的なのは，画面文字においては，本編よりもCMの方が語の密度が大きいという点である。また本編では，音声の方が画面文字よりも圧倒的に語の密度が大きかったが，CMでは，音声も画面文字もほぼ同じ程度の語の密度を示している。

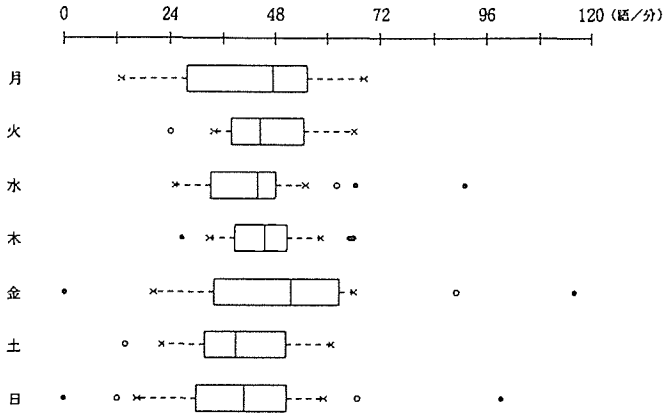
さらに注目される点は，最大値は，CMよりも本編の方が値が大きくなっているという点である。非常に多くの文字が提示されることがないということもCMの効果を考えるとうなずけるところである。

3．他の変数とCMの語の密度との関係

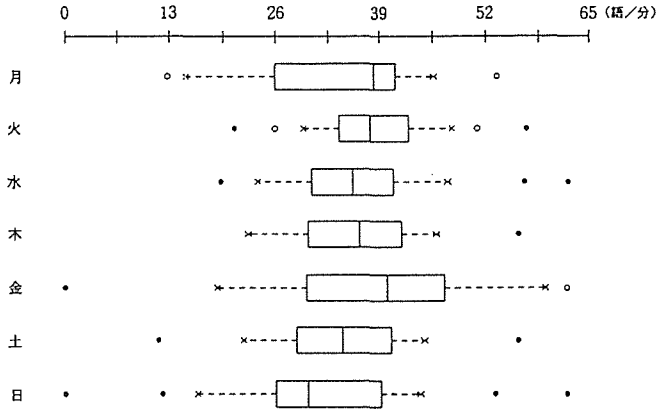
ここでは，CMの語の密度が曜日・番組のジャンル・時間帯・視聴率と何らかの関係があるのかどうかを調べてみた。CMを含む標本が134と少ないことから，以下の分析ではごくおおまかな傾向を示すにとどめる。

3.1 曜日とCM

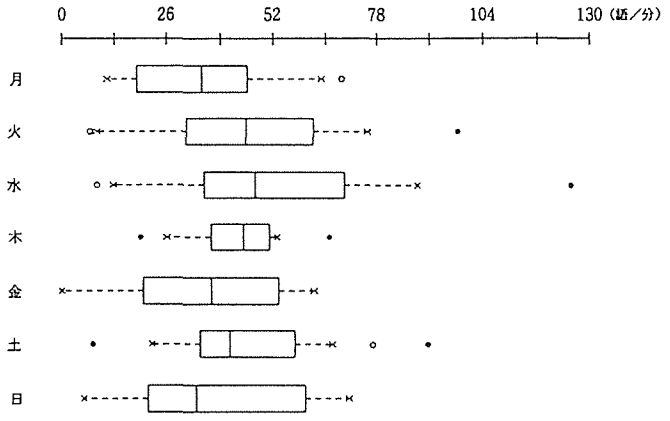
音声では，延べ語数ではとくに曜日による変動はないようである。異なり語数では，金曜日～日曜日にかけて数値が下がっていく傾向が認められる（[図4.3-3,4]）。画面文字では，延べ語数・異なり語数ともに水曜日をピークとするゆるやかな山があるようである（[図4.3-5,6]）。



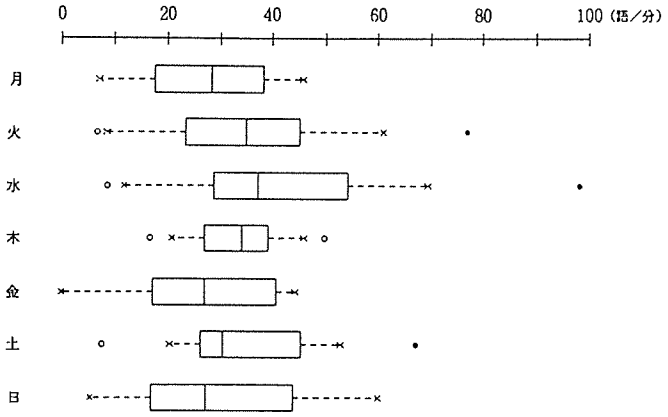
[図4.3-3] 曜日別のCMの語の密度（音声・延べ語数）



[図4.3-4] 曜日別のCMの語の密度（音声・異なり語数）



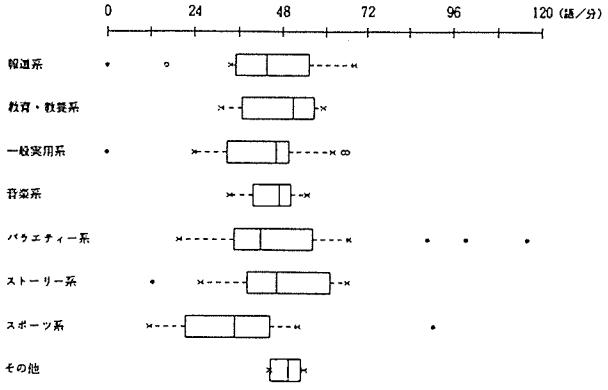
[図4.3-5] 曜日別のCMの語の密度（画面文字・延べ語数）



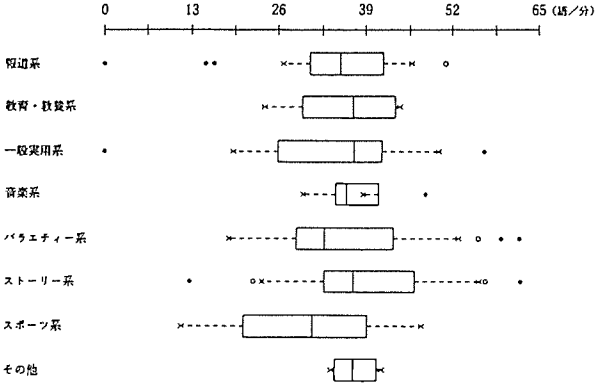
［図 4.3-6］曜日別のCMの語の密度（画面文字・異なり語数）

3.2 番組のジャンルとCM

そもそも番組のジャンルとCMの語の密度との間には関係があるものなのだろうか。ジャンルは番組に対して設定されるもので，CMはそれとは直接関係はないのではないかと思われる。音声では，延べ語数・異なり語数ともにどのジャンルの番組でも，ほぼ中央値が同じような値を示していて，たしかに無関係だということを示唆しているようである（［図 4.3-7,8］）。

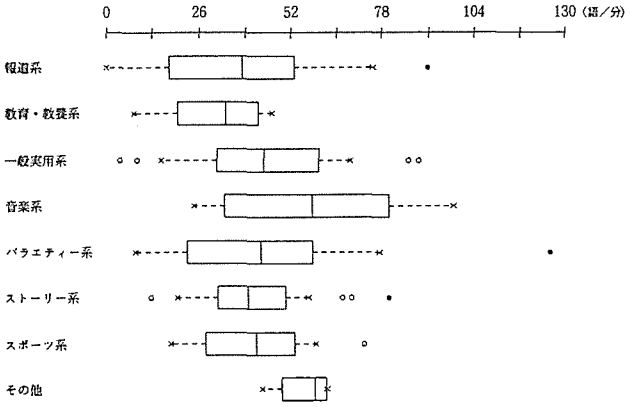


［図 4.3-7］番組のジャンル別のCMの語の密度（音声・延べ語数）

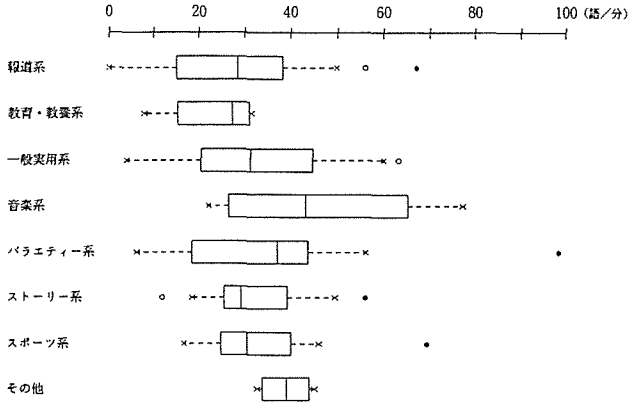


［図 4.3-8］番組のジャンル別のCMの語の密度（音声・異なり語数）

一方で，画面文字においては，いちばん値の低い教育・教養系の番組（延べで33.3）といちばん高い音楽番組（同58.0）とではかなりの開きがある（[図4.3-9,10]）。異なり語数ではバラエティー番組もやや値が高い。ただし，この関係についてはこれといった説明はできない。あるいは標本数を増やしていけば，この差はなくなるのかもしれない。今後の課題である。



[図4.3-9] 番組のジャンル別のＣＭの語の密度（画面文字・延べ語数）



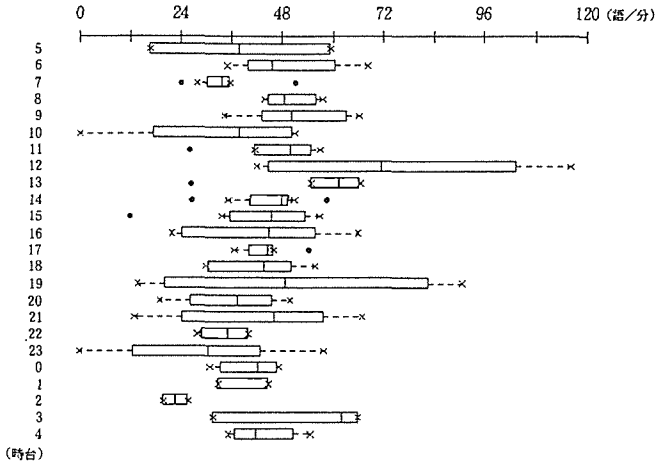
[図4.3-10] 番組のジャンル別のＣＭの語の密度（画面文字・異なり語数）

3.3 時間帯とＣＭ

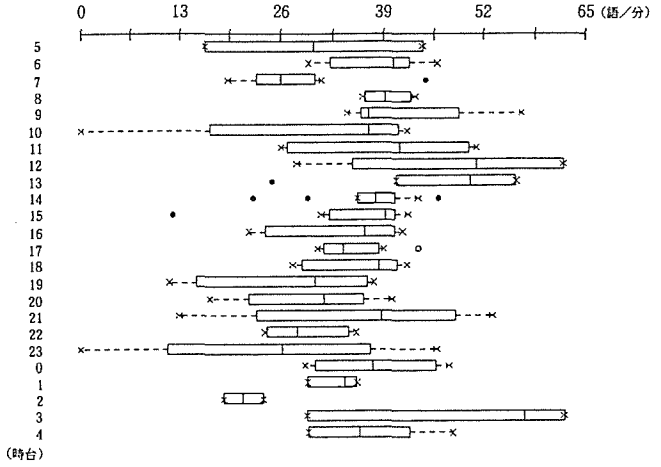
朝5時からはじまる1時間ごとに変動を調べてみた。

音声・延べ語数では，朝7～8時台に小さな山があり，お昼ごろにおおきなピークがある。その後，午後から深夜2時にかけて徐々に減っていく（7時，9時にやや上昇する）。そして深夜12時～1時台にやや高くなり，2時台に落ち込み，3時台にまた増えるという複雑な動きを示す（[図4.3-11]）。

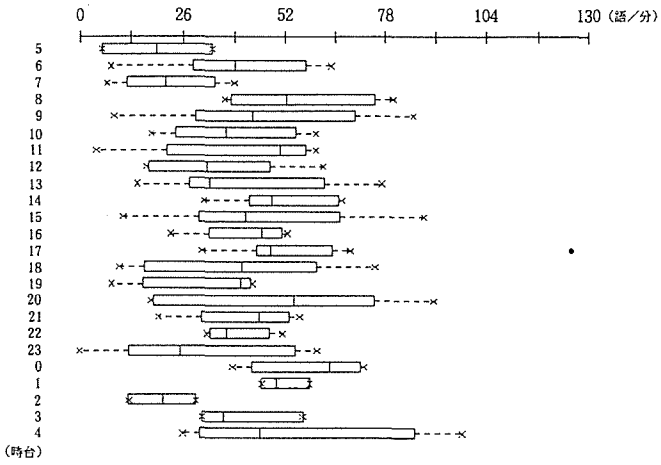
異なり語数は，大体延べ語数と同じ状況であるが，昼1時台と深夜3時台の中央値がかなり高くなっている。（[図4.3-12]）。画面文字でも，延べ語数・異なり語数とも小さな山がいくつもある複雑な変動を示す。とくにこれといった傾向は見られないようだ（[図4.3-13,14]）。



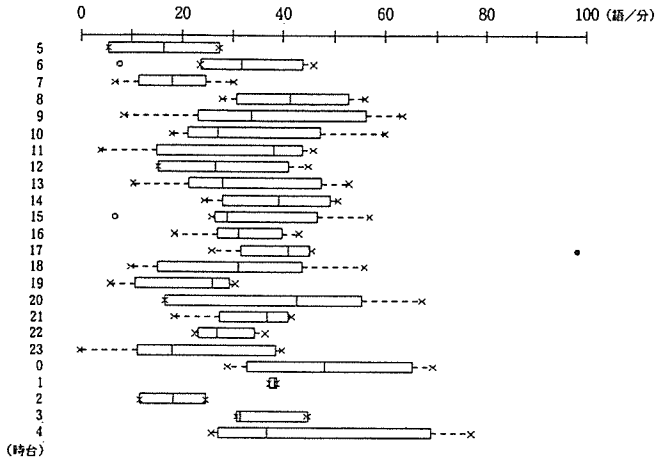
［図 4.3-11］放送時間帯別のＣＭの語の密度（音声・延べ語数）



［図 4.3-12］放送時間帯別のＣＭの語の密度（音声・異なり語数）



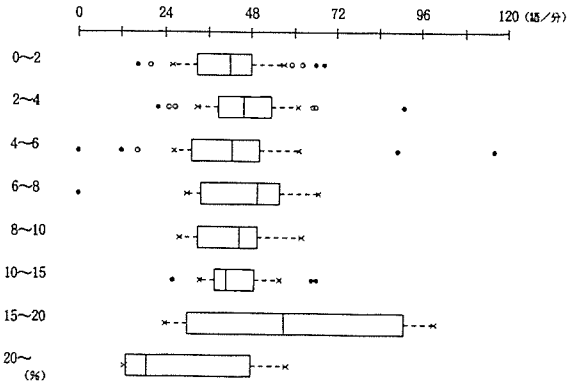
［図 4.3-13］放送時間帯別のＣＭの語の密度（画面文字・延べ語数）



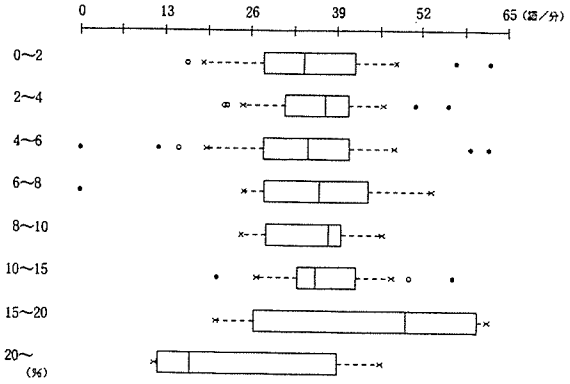
［図 4.3-14］放送時間帯別のＣＭの語の密度（画面文字・異なり語数）

3.4 視聴率（番組の視聴率）とＣＭ

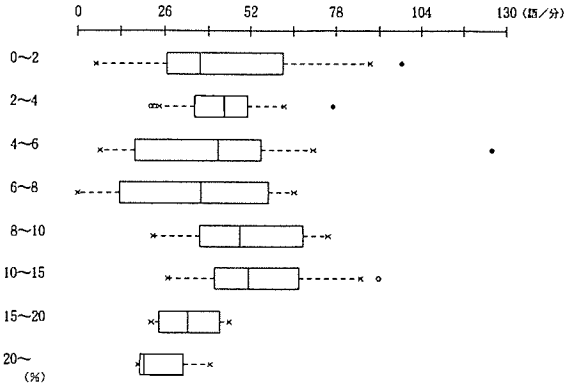
区分は，10%までは，２%区切り，あとは15%まで，20%まで，それ以上とした。音声で（とくに異なり語数で），15%～20%の区分が高くなっているが，これは標本数が４つと少ないためかもしれない（［図 4.3-15,16］）。画面文字では，８～10%の区分，および10%～15%の区分がやや語の密度が増えているようだ（［図 4.3-17,18］）。



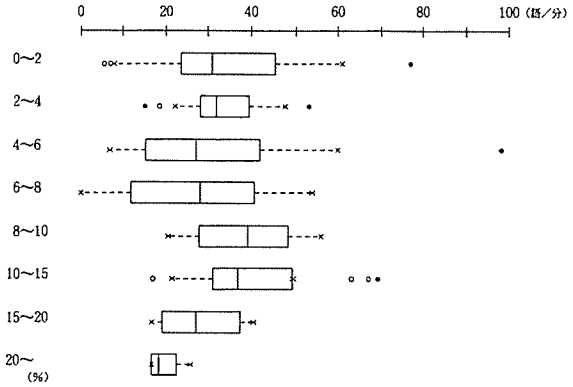
［図 4.3-15］視聴率別のＣＭの語の密度（音声・延べ語数）



［図 4.3-16］視聴率別のＣＭの語の密度（音声・異なり語数）



［図 4.3-17］視聴率別のＣＭの語の密度（画面文字・延べ語数）



［図 4.3-18］視聴率別のＣＭの語の密度（画面文字・異なり語数）

4．まとめ

ＣＭは本編とはかなり異なった語彙の量的特性を示すことがわかった。それは，量的な均質性ということである。音声と画面との差が本編にくらべて小さいこと，語の密度がほぼ正規分布を示すことなどによくあらわれている。また，ＣＭと曜日，番組のジャンル，放送時間帯，視聴率などとの関係は，いくつか傾向が認められるものの，説得力のある理由付けは見出しがたく，偶然によるものかどうか，今後検討を要する。

第４章　音声と画面

１．音声と画面

テレビ放送は，音声による言語情報と画面文字による言語情報とがいっしょに現れる媒体である。それらは，相互に関連しており，あるときは音声が主で画面文字が従になり，またその逆になったりして放送を形成している。

音声と画面文字とをくらべた場合に，特徴的なのは，その分布の型である。本編の延べ語数および異なり語数の分布において，音声は両すそのある山型の分布であるのに対して，画面文字は，左端を頂点とし，右に長いすそをひく分布，いわゆるＬ字型分布を示すことである。

ところが，これは本編での現象で，ＣＭにおいては，画面文字の分布はＬ字型ではなく，山型になる。このちがいは本編とＣＭとの文字表現の差に由来するものであろうが，テレビ放送における文字による言語表現の特徴のひとつである。

２．語の密度の違い

2.1 本編・ＣＭの語の密度

画面における語の密度は，音声にくらべてかなり小さい。これは必ずしも画面では多くの言語情報を伝えることができないというわけではない。なぜなら，画面には極端に語の密度の高い標本が存在するからである。詰め込もうと思えば，画面の方が多くの言語情報を詰め込めるわけである。またＣＭにおいては，音声と画面との語の密度の差はほとんどなくなる。

［表 4.4-1］語の密度（本編）

	最小値	第１四分位	中央値	平均値	第３四分位	最大値	四分位偏差	標本数
音声・延べ	0.0	48.6	73.5	70.9	94.1	147.4	22.8	331
音声・異なり	0.0	31.0	41.2	39.4	49.5	87.7	9.3	331
画面・延べ	0.0	2.8	8.2	15.7	21.0	222.5	9.1	331
画面・異なり	0.0	2.2	6.4	9.7	12.8	159.3	5.3	331

［表 4.4-2］語の密度（ＣＭ）

	最小値	第１四分位	中央値	平均値	第３四分位	最大値	四分位偏差	標本数
音声・延べ	0.0	34.6	44.6	44.3	52.2	116.0	8.8	134
音声・異なり	0.0	29.5	36.3	35.6	41.4	62.2	6.0	134
画面・延べ	0.0	29.1	42.0	42.7	56.3	125.5	13.6	134
画面・異なり	0.0	23.7	31.2	33.0	42.8	98.2	9.6	134

2.2 語種・品詞の比率

音声では，語種の比率（ただし，この値は中央値で示したので，合計した値が100になるわけではない）は大きい方から和語，漢語，混種語，外来語の順であって，圧倒的に和語が多いが，画面文字では，漢語の比率がいちばん高く，混種語，和語，外来語と続く。この傾向は，延べ語数でも異なり語数でも同じである（[表4.4-3]）。またＣＭでもほぼ同様のことがいえるが，音声では本編にくらべると，和語の比率は低い。また，画面文字では，漢語がいちばん比率が高いものの，和語，外来語，混種語と大きな差はなく，４つの語種がほぼ同じ比率で使われているといってもいいだろう（[表4.4-4]）。

[表4.4-3] 本編・語種の比率

	延べ		異なり	
	音声	画面	音声	画面
和　語	70.5	16.1	61.3	19.0
漢　語	16.4	26.3	21.5	28.0
外来語	3.1	5.4	3.5	6.5
混種語	7.4	17.4	10.0	21.0

[表4.4-4] ＣＭ・語種の比率

	延べ		異なり	
	音声	画面	音声	画面
和　語	54.2	18.8	52.9	21.0
漢　語	14.5	22.4	16.7	25.1
外来語	16.8	19.8	15.7	20.1
混種語	11.0	18.3	11.5	20.2

品詞（ここで，品詞というのは，「分類語彙表」による，体・用・相・その他の４つの類のことである）の分布をみると，画面における体の類への圧倒的な集中がわかる。用・相・その他の類は０かあるいは非常に小さな値である。用の類と相の類との比率はあまり大きな開きはないが，その他の類が本編・音声でやや大きな比率を示していることが特徴的である（[表4.4-5,6]）。

[表4.4-5] 本編・品詞の比率

	延べ		異なり	
	音声	画面	音声	画面
体	47.7	76.9	53.3	83.3
用	19.0	0.0	20.3	0.0
相	16.6	0.0	16.3	0.0
その他	13.8	0.0	8.0	0.0

［表 4.4-6］ＣＭ・品詞の比率

	延べ		異なり	
	音声	画面	音声	画面
体	66.5	74.9	66.7	78.5
用	15.2	3.4	15.8	4.2
相	14.3	4.3	15.1	5.0
その他	3.2	0.0	2.9	0.0

2.3 番組のジャンルとの関係

2.1 で，本編の画面の語の密度が非常に小さいと述べたが，くわしく見てみると，番組のジャンルによって画面の語の密度が違っていることがわかる。［表 4.4-7］によると，延べ語数で，スポーツにおける画面の語の密度が高い。報道，一般実用，バラエティー，その他が 10 語／分前後，教育・教養，音楽，ストーリーは少ない。画面・異なりで注目されるのは，延べでは大きかったスポーツで語の密度が他のジャンルと同じくらいに小さな値になっていることである。

［表 4.4-7］番組のジャンルと語の密度（本編）

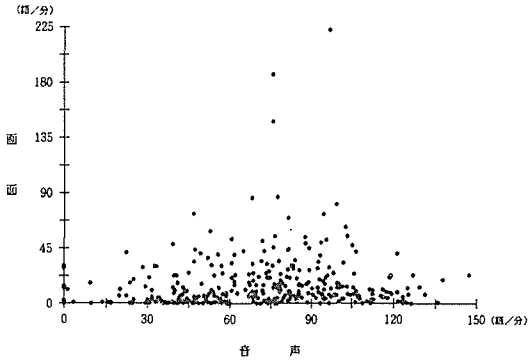
	音声		画面		
	延べ	異なり	延べ	異なり	標本数
報　　道	78.4	49.5	13.6	11.1	52
教育・教養	57.6	37.7	6.0	4.6	42
一般実用	93.7	44.3	11.2	7.0	72
音　　楽	36.3	25.5	5.7	3.8	20
バラエティー	94.5	47.0	10.4	7.4	51
ストーリー	43.7	28.9	0.6	0.6	63
スポーツ	79.0	43.1	29.6	9.9	26
そ の 他	66.9	51.6	14.8	10.8	5

3．延べ語数と異なり語数の関係からみた音声と画面文字

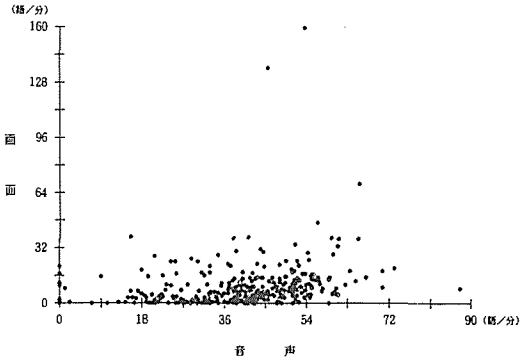
画面文字と音声との違いを，次のふたつの語彙の量的な関係からながめてみよう。ひとつは，延べ語数と異なり語数との相関，もうひとつは延べ語数の異なり語数に対する比率（NK 値）である。

3.1 語の密度における音声と画面文字との相関

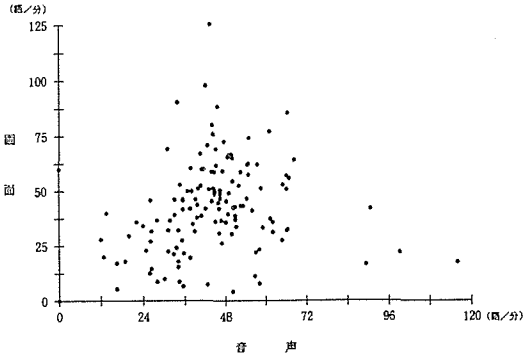
本編の語の密度について，音声と画面との散布図をみてみると，両者にはほとんど相関がないことがわかる。相関係数は 0.11（延べ語数），0.24（異なり語数）である（［図 4.4-1,2］）。ＣＭの方も相関係数はそれぞれ，0.16（延べ語数），0.22（異なり語数）で低い（［図 4.4-3,4］）。したがって音声と画面文字とが言語量において相補関係にあるとはいえない。



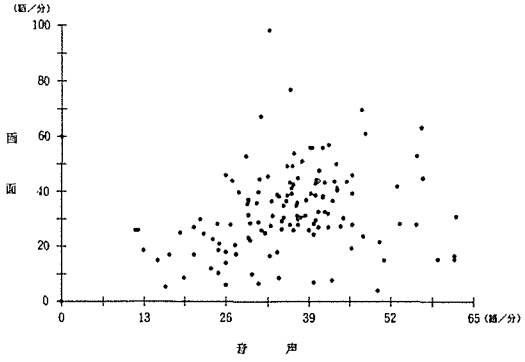
[図 4.4-1] 音声と画面文字の相関（本編・延べ語数）



[図 4.4-2] 音声と画面文字の相関（本編・異なり語数）



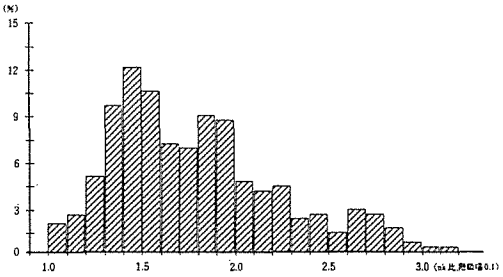
[図 4.4-3] 音声と画面文字の相関（CM・延べ語数）



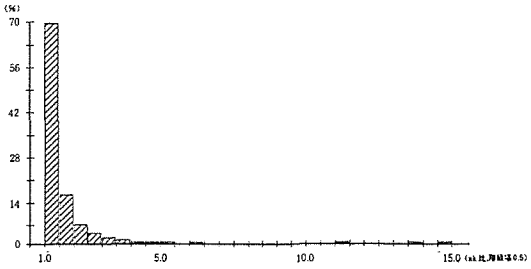
[図 4.4-4] 音声と画面文字の相関（CM・異なり語数）

3.2 延べ語数の異なり語数に対する比

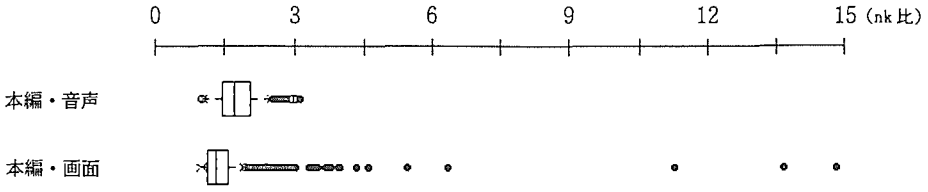
語の密度の，延べ語数の異なり語数に対する比率（NK 値）は，語彙のバラエティーを示す指標のひとつで，この値が高いほど語の繰り返しが多いことになる。本編における NK 値の分布を［図 4.4-5,6］に示した。音声では，NK 値は 1〜3 あたりにまとまっているのに対して，画面文字では，集中度が高いものの，右すそが長い分布になっている。画面文字による語の繰り返しはあまり多くはないが，それが極端に多いものもあるということを意味している。［図 4.4-7］は箱型図であるが，画面文字では外れ値が多くなっていることがわかる。



［図 4.4-5］NK 値の分布（本編・音声）



［図 4.4-6］NK 値の分布（本編・画面）



［図 4.4-7］NK 値の分布（箱型図）

［表 4.4-8］には，音声で NK 値の高い標本をあげた。音声で語の繰り返しの多い標本には，バラエティーや一般実用番組が多いことがわかる。スポーツ番組やストーリー系の番組は少ない。なお，音声で NK 値の高いものが，画面文字でも NK 値が高いということはないようである。双方の相関をとってみると，相関係数は 0.18 である。

［表 4.4-9］は，画面文字で NK 値の高いものである。画面文字で語の繰り返しの多い番組にはスポーツ番組が圧倒的に多い。これは，得点表示などの試合経過をしめす各種記号・数字やユニホームの文字などが採られたためであろう。また，報道番組の中でも天気予報に語の繰り返しが多い。「連想ゲーム」「日曜囲碁対局」「将棋の時間」は，音声でも画面文字でも語の繰り返しの多い番組である。これらのように発話・表示に特定のパターンをもつものは，語の繰り返しが多くなる。ストーリー系のものがここにほとんどはいってないのは，物語性の特徴であろう。

［表 4.4-8］　本編・音声の NK 値の大きいもの（2.5 以上）

標本	N／K 音声	N／K 画面	分　類	番　組　名
053	3.15	1	バラエティー	「ＰＲＥ・ＳＴＡＧＥ１」
026	3.10	1.73	一般実用	「第２回世界囲碁選手権富士通杯」
092	3.07	-	バラエティー	「志村けんのだいじょうぶだぁ」
344	3.02	1.48	教育・教養	「高等学校講座」
044	3.00	1	一般実用	「きょうの料理」
196	3.00	-	報　　道	「討論・時代を読む」
075	2.92	2.53	バラエティー	「おもいッきりテレビ」
247	2.92	1	報　　道	「妻と夫の実年時代」
282	2.88	11.27	一般実用	「将棋の時間」
016	2.82	1	バラエティー	「春満開!!　超人気ＮＥＷマンザイお笑スター総登場」
291	2.82	1.86	一般実用	「産業セミナー」
251	2.79	1.5	教育・教養	「青春すくらんぶる」
079	2.76	3	バラエティー	「バラエティー　生活笑百科」
305	2.76	-	バラエティー	「冗談画報Ⅱ」
154	2.74	1.43	ストーリー	「ＯＨ！キッチン家族」
081	2.73	1.2	報　　道	「ニュース最終版」
062	2.73	1	一般実用	「テレビ体操」
138	2.72	1.56	報　　道	「現代の顔」
263	2.70	1.94	一般実用	「婦人百科」
350	2.69	1.25	一般実用	「生島ヒロシのおいしいフライパン」
216	2.68	1.68	一般実用	「きょうの健康」
140	2.67	-	バラエティー	「ザッツ談」
029	2.67	3.33	報　　道	「大雨情報」
169	2.62	1.64	バラエティー	「平成名物ＴＶ・トンガリ編」
362	2.61	1	一般実用	「こどもの発達相談」
278	2.61	1.21	一般実用	「ヘルシークッキング」
267	2.57	1.13	バラエティー	「気まぐれ紀行」
067	2.57	1	一般実用	「こんにちは２時」
142	2.55	12.73	一般実用	「日曜囲碁対局」
002	2.53	1.13	教育・教養	「高校学校講座」
295	2.52	1.44	一般実用	「金子信雄の楽しい夕食」
270	2.52	1.2	教育・教養	「テレビコラム」
155	2.51	2.18	一般実用	「こんにちは２時」
294	2.51	1.12	一般実用	「おかあさんの勉強室」
039	2.50	2.47	バラエティー	「欽どこＴＶ!!」
160	2.5	5.67	バラエティー	「木曜スペシャル・世界の爆笑芸大賞！第１弾」

［表 4.4-9］ 本編・画面の NK 値の大きいもの（2以上）

標本	N／K 音声	N／K 画面	分 類	番 組 名
240	14.82	2.31	バラエティー	「連想ゲーム」
142	12.73	2.55	一般実用	「日曜囲碁対局」
282	11.27	2.88	一般実用	「将棋の時間」
011	5.88	1.94	スポーツ	「第61回選抜高校野球大会」
160	5.67	2.5	バラエティー	「木曜スペシャル・世界の爆笑芸大賞！第1弾」
143	5.45	2.19	スポーツ	「第38回全日本バレーボール選手権大会男子決勝・新日鉄×富士」
224	4.62	1.50	報道	「気象情報」
284	4.47	1.76	バラエティー	「クイズヒントでピント」
083	4.29	2.00	バラエティー	「アイドル共和国」
056	3.96	1.89	スポーツ	「土曜ナイター・巨人×広島」
268	3.9	2.05	スポーツ	「パワーアップナイター・西武×ロッテ」
244	3.72	1.59	スポーツ	「木曜ナイター・巨人×大洋」
022	3.64	2.00	教育・教養	「ＮＨＫ市民大学」
288	3.59	1.99	スポーツ	「ゴールデンナイター・ヤクルト×巨人」
199	3.48	1.86	スポーツ	「日曜イベントアワー・プロ野球・ダイエー×西武」
254	3.40	1.5	一般実用	「話題の医学」
029	3.33	2.67	報道	「大雨情報」
079	3	2.76	バラエティー	「バラエティー生活笑百科」
290	3	1.51	報道	「モーニングセンサー」
110	3	1.37	報道	「ＮＨＫモーニングワイド・第２部」
283	2.80	1.47	スポーツ	「プロ野球・大洋×阪神」
292	2.74	2.15	スポーツ	「火曜ナイター・巨人×広島」
010	2.68	1.49	一般実用	「ホットライン」
320	2.64	1.50	報道	「ＮＨＫニュース・トゥデー」
080	2.60	1.89	一般実用	「今晩は・ＷＡＤＡです」
358	2.58	1.83	一般実用	「ホットライン」
075	2.53	2.92	バラエティー	「おもいッきりテレビ」
146	2.51	1.99	報道	「モーニングコール」
296	2.47	1.58	報道	「ＪＮＮニュースデスク '89」
039	2.47	2.50	バラエティー	「欽どこＴＶ!!」
231	2.46	1.99	バラエティー	「パラダイスＧＯ　ＧＯ!!」
233	2.36	2.08	スポーツ	「Ｆ１世界選手権・第４戦メキシコグランプリ」
008	2.28	1.74	報道	「ニュースステーション」
250	2.27	2.19	スポーツ	「独占！サイクル・スポーツ」
321	2.26	1.79	スポーツ	「11ＰＭナイター・巨人×大洋」
014	2.20	1.81	一般実用	「ワイドショー・ルックルックこんにちは」
066	2.20	1.92	一般実用	「ワイドショー・ルックルックこんにちは」
155	2.18	2.51	一般実用	「こんにちは２時」
158	2.14	1.45	報道	「天気予報」
130	2.03	2.07	一般実用	「ワイドショー・ルックルックこんにちは」
032	2.03	1.19	ストーリー	「日曜劇場・日曜日には麻雀を」
113	2.01	1.28	スポーツ	「パラダイス・スキー」
314	2	2.14	ストーリー	「マンガのひろば・新・ど根性ガエル」
179	2	2.11	ストーリー	「大岡越前」
118	2	1.99	教育・教養	「はてなはてな」
227	2	1.83	スポーツ	「東部自動車レディースプロゴルフトーナメント・最終日」

［表4.4-8, 9］のどちらにも現れなかった音楽番組，あるいはあまり現れなかった，ストーリー系の番組は，音声においても画面文字においても語の繰り返しが多くなかったということがわかる。番組のジャンルによる語彙の特性の一端が窺われる。

4．まとめ

テレビ放送における文字情報は，本編では言語量としては音声にくらべると相対的に少ない。しかし，ＣＭにおいては音声とほぼ同じ量が使われている。語種・品詞からみると，音声で和語の比率が圧倒的に高いのに対して，画面文字では，和語・漢語・外来語・混種語がほぼ同じ比率で用いられているのが特徴的である。番組のジャンルでは，スポーツ番組に画面文字が多い。

また，延べ語数の異なり語数に対する比率では，その値が音声では1～3の範囲に分布しているのに対して，画面文字では値は2以下の少ない方に集中しているが，非常に高い値をもとることがわかった。これは語の繰り返しが多いか少ないかを反映している。

第5章　番組のジャンル

今回のデータには，各番組に内容面からの分類を示す分類コードが付与されている。ここでは，この分類コードによって分けた各カテゴリー（以下「ジャンル」と呼ぶ）の語彙的特徴を観察し，ジャンル間の比較を行う。まず，この調査で採用した番組分類の方法を説明し，次に各ジャンルごとに語の密度・語種構成・品詞構成について観察する。

Ⅰ．分類の方法

テレビ放送の番組を分類する際，どんな分類の枠組みが考えられるだろうか。今回の調査では，当初，『ＮＨＫ年鑑』で採用されている“報道・教育・教養・娯楽”の４分類，さらに，４分類のうち“娯楽”から，語彙量の近いものをまとめて独立させ，次のように全体で７分類としたものを用いようとしていた。

＜研究所版分類＞

1　報　　道
2　教　　育
3　教　　養
4　娯　　楽（音楽・歌，劇場中継，その他）
5　ストーリー系（ドラマ，アニメ，映画）
6　ノンフィクション系（スポーツ，ドキュメンタリー，ガイド，クイズ）
7　バラエティー系（バラエティー，お笑い，トーク）

しかし，この分類では番組の内容と語彙量の近さという，二つの異質な項目が分類の基準として用いられている。また，分類する際に調査者の主観が入り込む余地がある。そこで，あらかじめ分類がなされている資料として，㈱ビデオ・リサーチの『テレビ視聴率季報』で付与されている番組分類コード（[表4.5-1]）を利用することとした。

ただし『テレビ視聴率季報』の分類はやや詳細に過ぎ，そのまま利用すると［表4.5-1］に示すようにカテゴリーによる標本数の多寡の差が大きい。そこで，［表4.5-2］のように，部分的に幾つかのカテゴリーを一つにまとめ，数の上である程度バランスのとれたカテゴリーにまとめ直すことにした。

なお，分類コードは一つの番組全体に対してそれぞれ一つずつ与えられている。標本に対して番組コードを付与する際もそのコードをそのまま利用した。したがって，標本として採録した場面の性質に必ずしも厳密に対応するものではない（たとえば，ニュース・ショーの中の娯楽的な要素の強いコーナーが採録されていても，その標本は“報道系”として分類される）。

［表 4.5-1］㈱ビデオ・リサーチ『テレビ視聴率季報』の番組分類コード

分　類	コード	説　明	標本数
報　道	01	政治，経済，社会的な事件の報道およびその生中継	45
時事解説	02	政治，経済，社会の変化動向に関するもの	7
教育教養	03	歴史，地理，科学，宗教，哲学等を題材とした講座番組およびそのフィルム構成（フィルムを記録によってまとめたもの）	42
一般実用	04	育児，健康，料理，株式，法律，幼児向け番組を含む家庭向け実用および社会人としての実用的知識（趣味，情報等）	72
音　楽	05	邦楽，軽音楽，クラシックおよび音楽を中心とした番組	20
クイズ・ゲーム	06	クイズ・ゲームを中心とした番組	6
芸　能	07	芸能ニュース，コント，バラエティ，寄席，演芸等を中心とした番組	45
マンガ	08	アニメーション番組（影絵，人形劇を含む）	8
子供向け番組	09	架空の人物を登場人物とした特撮番組	1
一般劇	10	登場する家庭の出来事や恋愛および文芸，社会等を主題としたドラマ	23
時代劇	11	江戸時代前を時代背景としたドラマ	11
スリラー・アクション	12	殺人，犯罪，恐怖，怪奇，探偵ものおよび西部を舞台にしたドラマ	7
コメディ	13	喜劇	2
劇場用映画	14	劇場で放映するために制作された映画番組	11
スポーツ	15	室内，野外等で競技するスポーツを放映する番組とスポーツニュース	26
その他	16	上記に該当しない分類不能の番組	6

［表 4.5-2］本調査における番組ジャンルの分類

コード	分　類	標本数	標本例（( )内はチャンネル）
1	報道系（←01，02）	52	「ニュースステーション」(10),「ＦＮＮスーパータイム」(8)
2	教育・教養系（←03）	42	「理科教室小学校４年生」(3),「英語会話」(3)
3	一般実用系（←04）	72	「きょうの料理」(3),「株式ニュース」(12)
4	音楽系（←05）	20	「N響アワー」(3),「ミュージックステーション」(10)
5	バラエティー系（←06，07）	51	「おもいッきりテレビ」(4),「連想ゲーム」(1)
6	ストーリー系（←08〜14）	63	「３年Ｂ組金八先生３」(6),「新・必殺仕事人」(10)
7	スポーツ系（←15）	26	「土曜ナイター・巨人×広島」(4),「大相撲夏場所・８日目」(1)
8	その他（←16）	6	「フジテレビ赤丸チェック」(8)「ハーイ！ＴＢＳです」(6)

Ⅱ．データの考察

1．度数分布の型

1.1 音　　声

1.1.1 語の密度（延べ）

まず，標本全体について，音声の延べ語数の語の密度（分あたりの語彙量。なお，以下いずれも番組本編のみを扱う）の度数分布（階級幅10語）を図示すると［図4.5-1］のようになる。40～50語台，および70～90語台に二つのピークがある（双峰性）。なお，音楽系で器楽演奏のみを放送しているものも標本としてとられているため，語数0の標本も小さな山を作っている。

各分類ごとにヒストグラムを描いたものが［図4.5-2］～［図4.5-8］である。

報道系（分類1） 60語台から90語台にかけて，70語台を頂点とする山ができており，他は低く平坦な分布である。報道番組はアナウンサーがニュース原稿を読む部分が多い。放送局や番組はちがってもアナウンサーの原稿を読む速度はほぼ等しいため，このように集中するのではないか。［図4.5-2］

教育・教養系（分類2） 50語台が突出している。40～80語台に多くの標本が集中し，低い山ができている。［図4.5-3］

一般実用系（分類3） 90語台が突出する。70語台から110語台にかけて低い山ができており，他はほぼ低く平坦な分布である。［図4.5-4］

音楽系（分類4） 0～80語台の間に散在する。標本数が少ないためか，分布の型が明確にならない。［図4.5-5］

バラエティー系（分類5） 70語台から120語台にかけてなだらかな山が見られる。［図4.5-6］

ストーリー系（分類6） 20～50語台に山ができている。正規分布（やや正の方向に裾が延びる）を思わせる分布型である。［図4.5-7］

スポーツ系（分類7） 70語台がわずかに抜き出ている。全体が40～110語台の間におさまっている。［図4.5-8］

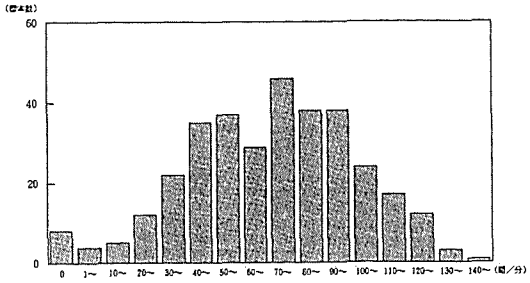
各ジャンルがそれぞれ比較的明確なピークをもつ特徴的な分布を示している。

全体としては双峰性を示すように見えるが，幾つかの山が合成されたものとして捉えることもできる。

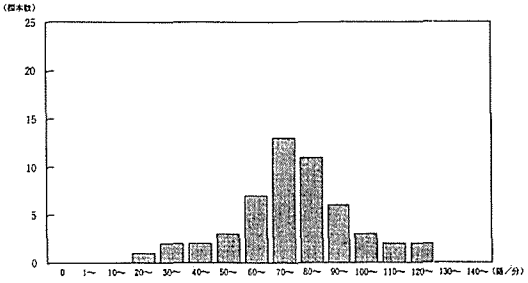
a 40～50語台にかけての山は，教育・教養系とストーリー系のピーク

b 70～90語台にかけての山は，報道系（70～80語台），一般実用系（90語台），バラエティー系（70語台以上），スポーツ系（70語台）のピーク

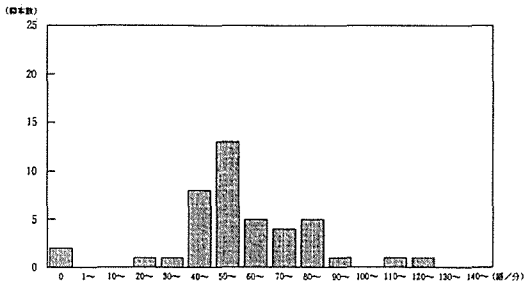
この二つが組み合わさったものと考えることが可能である。



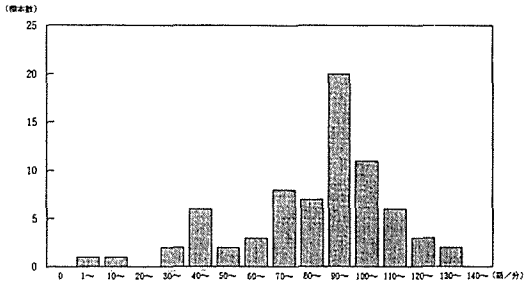
[図 4.5-1] ジャンル別の語の密度・全体（音声　延べ）



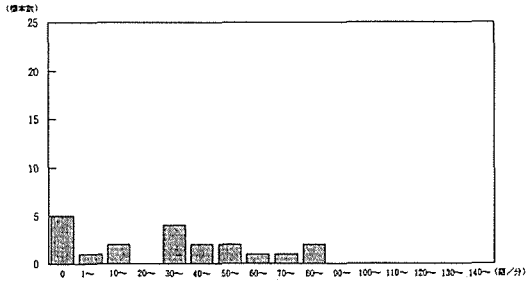
[図 4.5-2] ジャンル別の語の密度・報道系（音声　延べ）



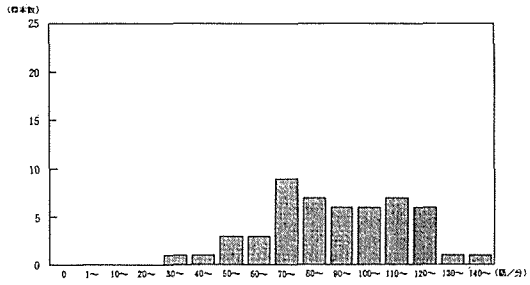
[図 4.5-3] ジャンル別の語の密度・教育・教養系（音声　延べ）



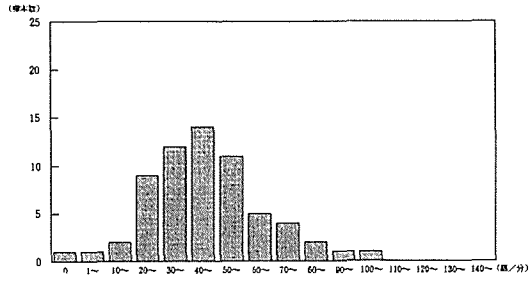
[図 4.5-4] ジャンル別の語の密度・一般実用系（音声　延べ）



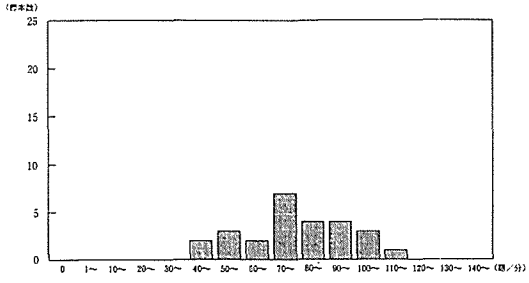
[図 4.5-5] ジャンル別の語の密度・音楽系（音声　延べ）



[図 4.5-6] ジャンル別の語の密度・バラエティー系（音声　延べ）



[図 4.5-7] ジャンル別の語の密度・ストーリー系（音声　延べ）



[図 4.5-8] ジャンル別の語の密度・スポーツ系（音声　延べ）

1.1.2 語の密度（異なり）

異なり語数の語の密度についても同様に観察しよう。

全体についてみると［図4.5-9］，延べ語数の場合とは大きく違って，40語台を頂点とする単峰性の分布をなし，語数0の標本から80語台まで大きな広がりをみせている。ジャンルごとにみていこう。

報道系　語数0の標本と，0語と10語の間（以下“10語未満”とよぶ）はない。10語台から70語台にかけての広がりで，40〜50語台に山があり，他は少ない。［図4.5-10］

教育・教養系　10〜50語台にまとまる低い山をなす分布をなす。［図4.5-11］

一般実用系　10語未満から80語台までの広がりで，40語台を頂点として，ほぼ左右対称の分布である。［図4.5-12］

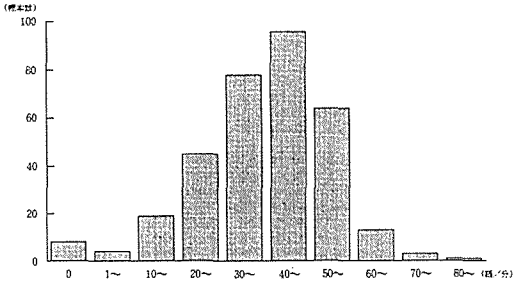
音楽系　語数0から40語台までの間にまとまる，ごく低い山をなしている。異なり語数でも分布の形が明確でない。［図4.5-13］

バラエティー系　10〜60語台の間にまとまる分布で，40〜50語台に山がある。語数0の標本と10語未満はない。［図4.5-14］

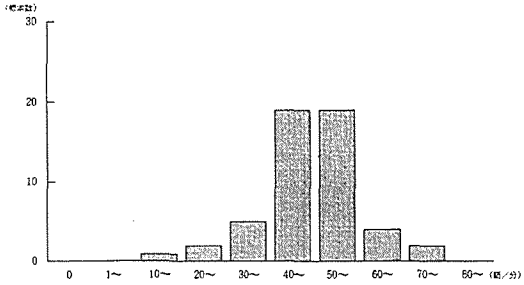
ストーリー系　語数0から50語台までの広がりで，20〜30語台に山があり，他はごく少ない。［図4.5-15］

スポーツ系　30〜60語台に狭くまとまっており，40語台がやや多い。［図4.5-16］

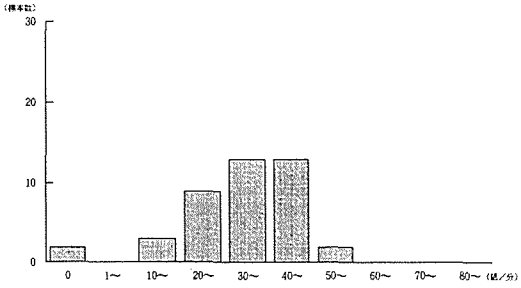
異なり語数についても，各ジャンルがそれぞれに特徴的な分布をみせている。ただし，どのジャンルもピークは30〜40語台で，延べ語数よりもピークの間の差がかなり小さい。



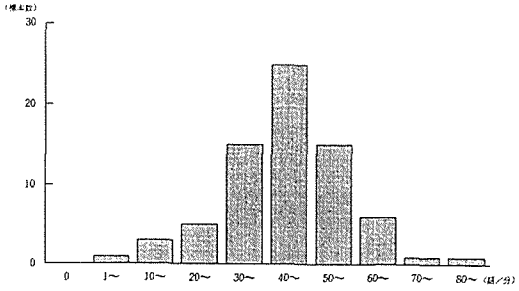
［図4.5-9］ジャンル別の語の密度・全体（音声　異なり）



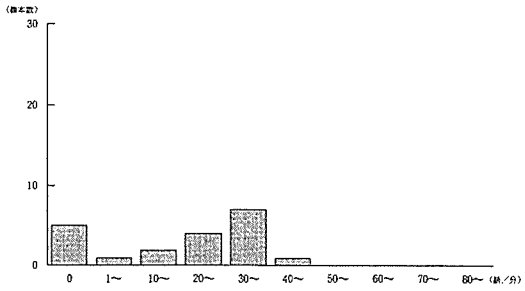
［図4.5-10］ジャンル別の語の密度・報道系（音声　異なり）



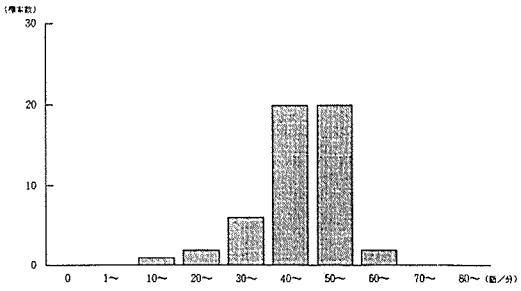
［図4.5-11］ジャンル別の語の密度・教育・教養系（音声　異なり）



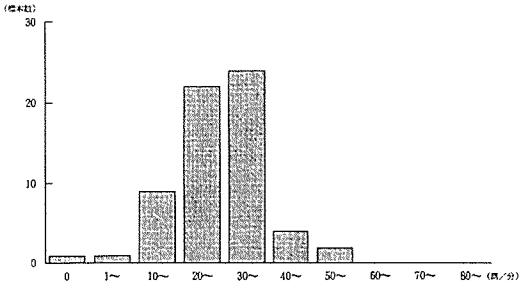
［図4.5-12］ジャンル別の語の密度・一般実用系（音声　異なり）



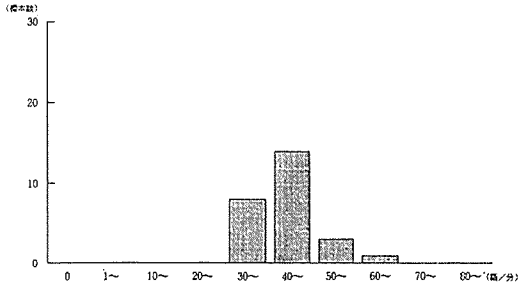
[図 4.5-13] ジャンル別の語の密度・音楽系（音声　異なり）



[図 4.5-14] ジャンル別の語の密度・バラエティー系（音声　異なり）



[図 4.5-15] ジャンル別の語の密度・ストーリー系（音声　異なり）



[図 4.5-16] ジャンル別の語の密度・スポーツ系（音声　異なり）

1.2 画　　面

1.2.1 語の密度（延べ）

画面データについても音声と同様に観察しよう。まず延べ語数からみてみる。

全体についてみると，10語未満が最も多く，10語台，20語台と増えるにしたがって，標本数は漸減する（L字型のカーブを描く。[図4.5-17]）。語数0の標本が少ない。

報道系　語数0の標本は極端に少なく，10語未満と10語台が多い。10語未満から30語台にかけては漸減傾向にある。[図4.5-18]

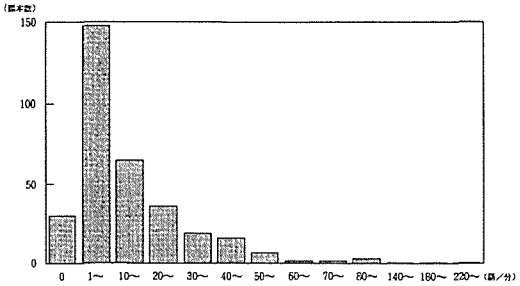
教育・教養系　語数0の標本は少ない。10語未満のみが飛び出している。[図4.5-19]

一般実用系　語数0の標本は少ない。10語未満から40語台まで漸減傾向が見られる。180語台（186.7語），220語台（222.5語）に飛び抜けた値が見られるが，これらは株式ニュースで，スタジオ内のボード一面に表示された社名と当日の株価を映し出しているものである。[図4.5-20]

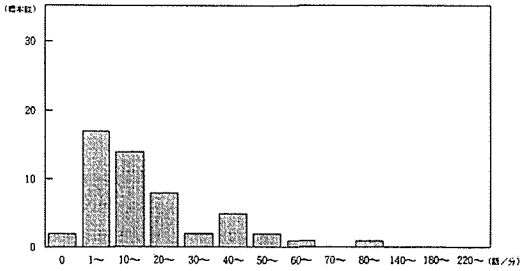
音楽系　語数0の標本は少ない。40語台までに集中している。10語未満のみが飛び抜けている。[図4.5-21]

バラエティー系　語数0の標本は少ない。10語未満から50語台までの分布はきれいなL字型のカーブを描く。[図4.5-22]

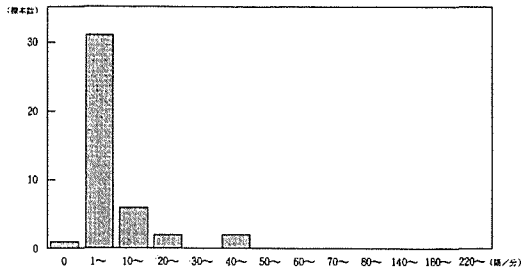
ストーリー系　他のジャンルに比して語数0の標本がかなり多い。10語未満が飛び抜けてい



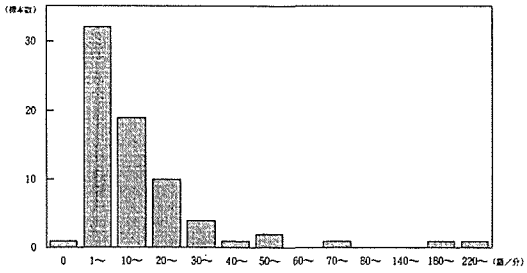
[図 4.5-17] ジャンル別の語の密度・全体（画面　延べ）



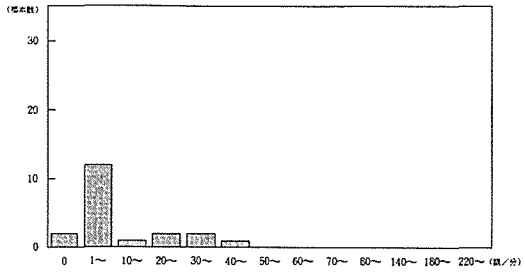
[図 4.5-18] ジャンル別の語の密度・報道系（画面　延べ）



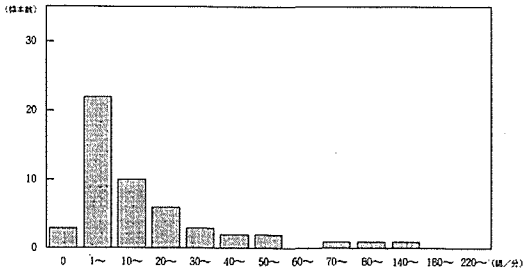
[図 4.5-19] ジャンル別の語の密度・教育・教養系（画面　延べ）



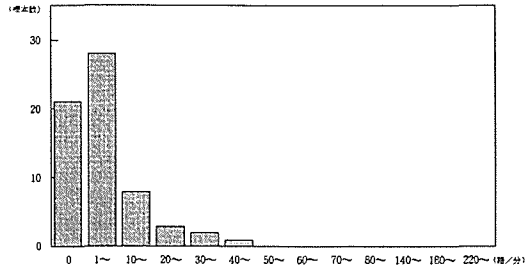
[図 4.5-20] ジャンル別の語の密度・一般実用系（画面　延べ）



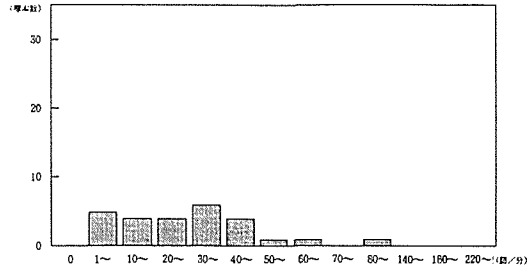
[図 4.5-21] ジャンル別の語の密度・音楽系（画面　延べ）



[図 4.5-22] ジャンル別の語の密度・バラエティー系（画面　延べ）



[図 4.5-23] ジャンル別の語の密度・ストーリー系（画面　延べ）



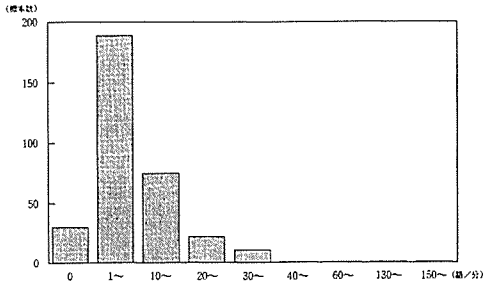
[図 4.5-24] ジャンル別の語の密度・スポーツ系（画面　延べ）

る。それ以外はごく少なく，40語台までに固まっている。ドラマをはじめとするストーリー系の番組にみられる言語情報はセリフなど音声言語が中心であるということが反映されている。[図4.5-23]

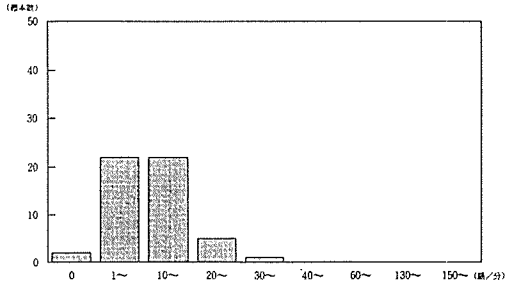
スポーツ系　語数0の標本はない。経過表示・場内に掲出された広告の文字など必ずなんらかの文字列が現われている。分布の型も他のジャンルとはかなり違う。分布は10語未満から40語台にかけてまとまっているように見える。ただし，標本数が少ないため，スポーツ系一般についての傾向を確実に述べることは難しい。[図4.5-24]

1.2.2 語の密度（異なり）

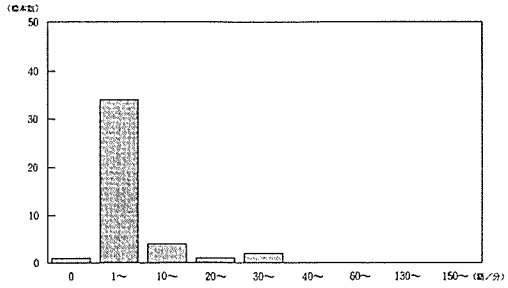
全体の分布の形は語数0から30語台までの広がりで，10語未満が突出し，10語台もやや多い。それ以外は少ない［図4.5-25］。40語台以上はごくわずかである。



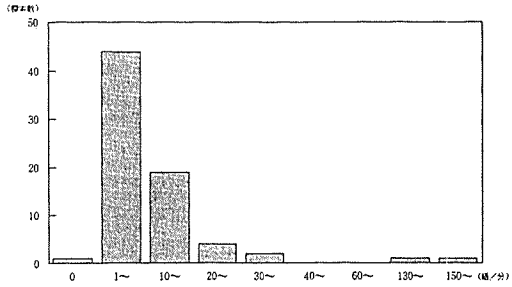
［図4.5-25］ジャンル別の語の密度・全体（画面　異なり）



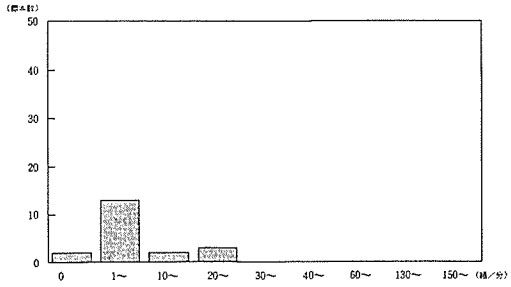
［図4.5-26］ジャンル別の語の密度・報道系（画面　異なり）



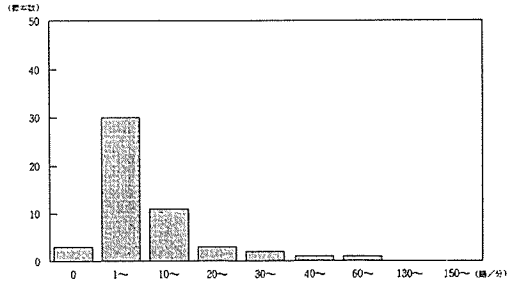
［図4.5-27］ジャンル別の語の密度・教育・教養系（画面　異なり）



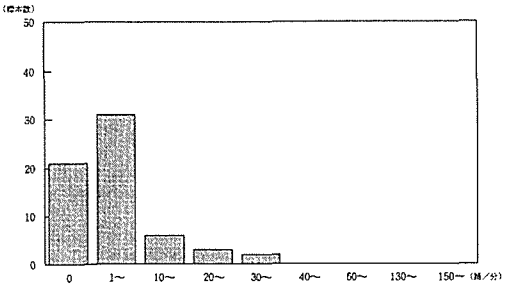
［図4.5-28］ジャンル別の語の密度・一般実用系（画面　異なり）



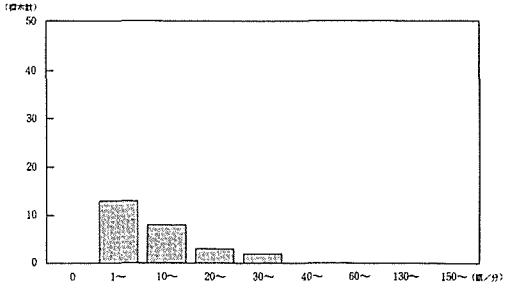
［図4.5-29］ジャンル別の語の密度・音楽系（画面　異なり）



［図4.5-30］ジャンル別の語の密度・バラエティー系（画面　異なり）



[図 4.5-31] ジャンル別の語の密度・ストーリー系（画面　異なり）



[図 4.5-32] ジャンル別の語の密度・スポーツ系（画面　異なり）

報道系　語数 0 から 30 語台までの広がりで，10 語未満・10 語台に山がある。[図 4.5-26]

教育・教養系　語数 0 から 30 語台までの広がりで，10 語未満に山がある。[図 4.5-27]

一般実用系　語数 0 から 30 語台までの広がりで，10 語未満に山がある。150 語台（159.3）と 130 語台（136.8）の標本は株式ニュース。[図 4.5-28]

音楽系　語数 0 から 20 語台までの広がりで，10 語未満に山がある。[図 4.5-29]

バラエティー系　語数 0 から 60 語台にかけて広がっており，10 語未満が飛び抜けている。他は少ない。[図 4.5-30]

ストーリー系　語数 0 から 30 語台までの広がりで，10 語未満が多い。語数 0 も他のジャンルに比して多い。[図 4.5-31]

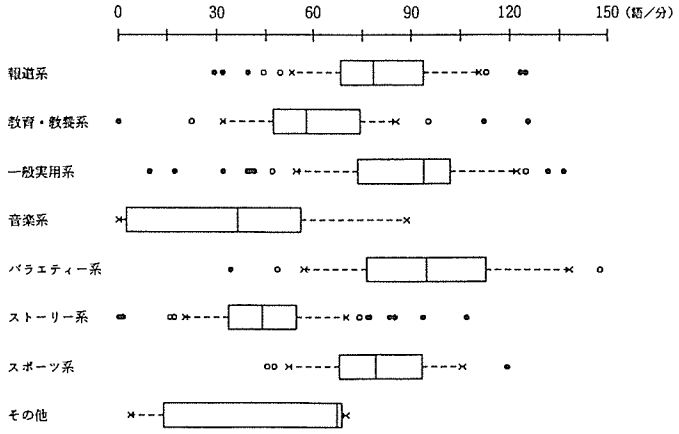
スポーツ系　語数 0 がない。10 語未満から 30 語台までの間に固まっており，10 語未満と 10 語台が多い。[図 4.5-32]

2．語の密度の検討

本編の語の密度（分あたり語数）を箱型図に示したのが［図 4.5-33］～［図 4.5-36］である（［図 4.5-34］［図 4.5-36］では，グラフの見やすさのため，縦の目盛を 50 語までとし，それ以上の値を省略している）。まず音声についてみる。実際の数値は次の通り。

音声・語の密度（延べ）[図 4.5-33]

	最小値	第 1 四分位	中央値	第 3 四分位	最大値	四分位偏差	標本数
1 報道系	29.2	68.5	78.4	93.5	124.9	12.5	52
2 教育・教養系	0.0	47.5	57.6	74.5	125.2	13.5	42
3 一般実用系	9.3	73.8	93.7	101.8	136.1	14.0	72
4 音楽系	0.0	2.4	36.3	55.9	88.6	26.7	20
5 バラエティー系	34.1	76.3	94.5	112.4	147.4	18.1	51
6 ストーリー系	0.0	33.1	43.7	54.6	106.5	10.8	63
7 スポーツ系	45.0	67.7	79.0	92.8	118.7	12.6	26
8 その他	3.4	13.6	66.9	68.6	69.7	27.5	5



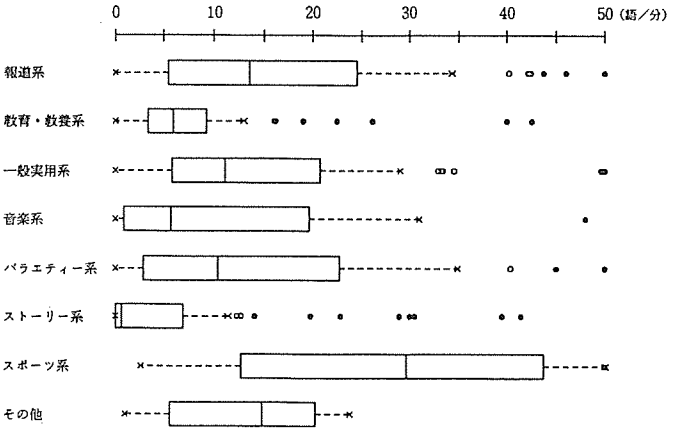
［図 4.5-33］ジャンル別の語の密度（音声　延べ）

一般実用系とバラエティー系が高い中央値を示す。教育・教養系，音楽系，ストーリー系は中央値が低い。報道系・一般実用系・スポーツ系とバラエティー系は語数0の標本がない。報道系・一般実用系・スポーツ系は最新のニュース・知識・試合の経過を“伝える”ことに重点がある点で共通しており，この点が語数0の標本がないことと関係するかもしれない。

画面の数値は次の通りである。

画面・語の密度（延べ）［図 4.5-34］

	最小値	第1四分位	中央値	第3四分位	最大値	四分位偏差	標本数
1 報道系	0.0	5.5	13.6	24.6	86.8	9.6	52
2 教育・教養系	0.0	3.4	6.0	9.3	42.6	3.0	42
3 一般実用系	0.0	5.8	11.2	20.8	222.5	7.5	72
4 音楽系	0.0	0.9	5.7	19.7	48.0	9.4	20
5 バラエティー系	0.0	2.8	10.4	22.7	148.2	10.0	51
6 ストーリー系	0.0	0.0	0.6	7.0	41.5	3.5	63
7 スポーツ系	2.6	12.7	29.6	43.8	86.1	15.5	26
8 その他	1.0	5.6	14.8	20.3	23.8	7.4	5



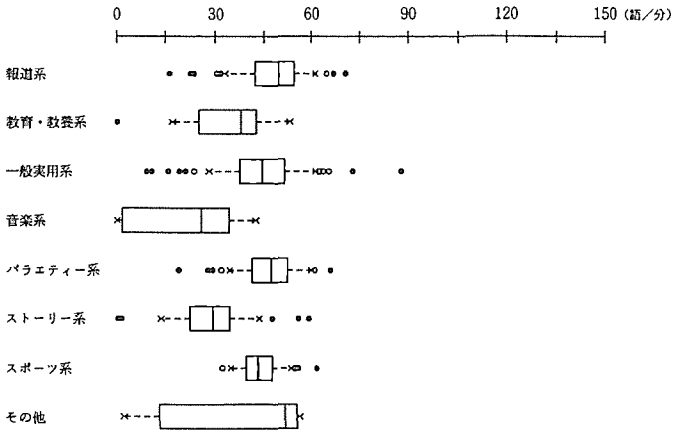
［図 4.5-34］ジャンル別の語の密度（画面　延べ）

スポーツ系のみ語数0の標本がなく，高い中央値を示す。得点表示・野球のカウント・グラウンドや競技場内の広告など，文字の提示が多いためだろうか。ストーリー系の中央値は極端に低い。また，教養・教育系と音楽系も低めである。

次に異なり語数の語の密度をみてみよう。

音声・語の密度（異なり）［図4.5-35］

	最小値	第1四分位	中央値	第3四分位	最大値	四分位偏差	標本数
1 報道系	16.0	42.0	49.5	54.5	70.5	6.2	52
2 教育・教養系	0.0	25.0	37.7	42.5	53.0	8.8	42
3 一般実用系	9.0	37.3	44.3	51.5	87.7	7.1	72
4 音楽系	0.0	1.8	25.5	34.0	42.4	16.1	20
5 バラエティー系	18.5	41.1	47.0	52.2	65.7	5.6	51
6 ストーリー系	0.0	21.8	28.9	34.2	59.0	6.2	63
7 スポーツ系	31.6	39.4	43.1	47.4	61.3	4.0	26
8 その他	2.2	12.5	51.6	55.1	56.0	21.3	5



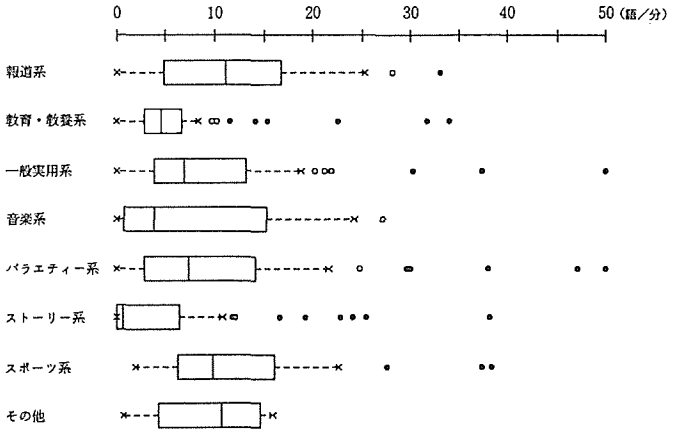
［図4.5-35］ジャンル別の語の密度（音声　異なり）

音声の語の密度（異なり）では，報道系が最も中央値が大きく，バラエティー系が中央値・第1四分位・第3四分位で近い値を示し，一般実用系がそれに次いでおり，さらにスポーツ系が続く。これら四者の中央値は教育・教養系・音楽系・ストーリー系との差が延べ語数の場合よりも小さくなっている。1.1.2で観察したように異なり語数のヒストグラムが単峰性に近い分布を示すのはこのためであると考えられる。

また，異なり語数ではスポーツ系の四分位偏差が他のジャンルよりも小さい。スポーツ中継では競技者の動きがある程度パターン化しているため，それを記述する語彙も限られたもので事足りると推測される。こういったことも関連するかもしれない。音楽系は延べ語数でも異なり語数でも四分位偏差が大きい。これは言語音のない器楽演奏から歌番組まで多様な番組が含まれているためだろう。

画面・語の密度（異なり）［図4.5-36］

	最小値	第1四分位	中央値	第3四分位	最大値	四分位偏差	標本数
1 報道系	0.0	4.9	11.1	16.8	33.0	6.0	52
2 教育・教養系	0.0	2.8	4.6	6.7	34.0	1.9	42
3 一般実用系	0.0	3.9	7.0	13.2	159.3	4.7	72
4 音楽系	0.0	0.7	3.8	15.4	27.2	7.3	20
5 バラエティー系	0.0	2.8	7.4	14.2	69.1	5.7	51
6 ストーリー系	0.0	0.0	0.6	6.5	38.2	3.3	63
7 スポーツ系	2.0	6.4	9.9	16.2	38.3	4.9	26
8 その他	0.8	4.4	10.8	14.7	16.0	5.2	5



［図4.5-36］ジャンル別の語の密度（画面　異なり）

画面の語の密度（延べ）では他のジャンルよりもはるかに大きい値を示していたスポーツ系が，異なり語数はかなり小さくなり，逆に報道系のほうが少し大きい値を示している。スポーツ系番組で画面に表示される文字の多くは得点の表示・競技会場内に掲出されている広告群の文字であり，同じ文字列が繰り返し画面に現われると考えられる。異なり語数が延べ語数に比べて極端に小さい値となっているのはこういった事情によるのだろう。

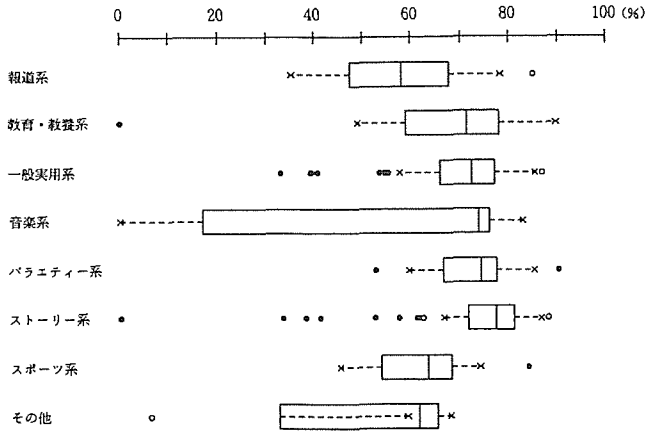
3．語種・品詞構成

音声データについて，各ジャンルの語種・品詞上の特徴について述べる。ただし，実際の語数の内訳を用いると，各標本ごとに延べ語数にばらつきがあるため，すべての標本を同一の基準で比較することができない。そこで，ここでは延べ語数と異なり語数それぞれについて，語種・品詞ごとの百分率の値を使い，分類ごとの五数要約値（最小値・第1四分位・中央値・第3四分位・最大値）と四分位偏差を示す。

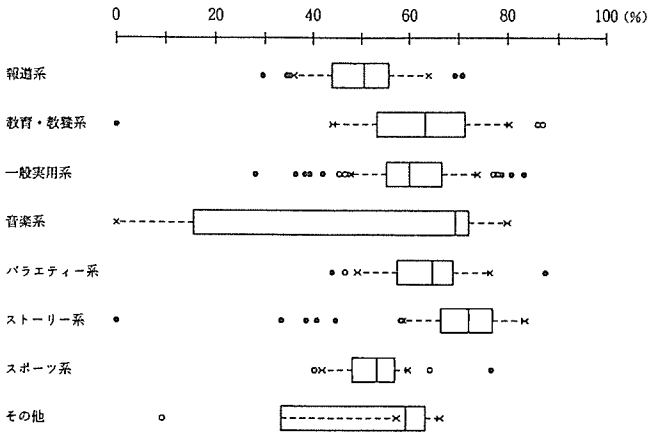
［語種（延べ・異なり　%）］

和語（延べ）	最小値	第1四分位	中央値	第3四分位	最大値	四分位偏差	標本数
1 報道系	35.3	47.7	58.2	67.9	85.2	10.1	52
2 教育・教養系	0.0	58.9	71.4	78.0	89.7	9.6	42
3 一般実用系	32.9	65.9	72.5	77.1	86.9	5.6	72
4 音楽系	0.0	17.0	73.6	75.8	82.7	29.4	20
5 バラエティー系	52.5	66.5	74.1	77.3	90.1	5.4	51
6 ストーリー系	0.0	71.2	76.9	80.6	87.7	4.7	63
7 スポーツ系	45.2	53.6	63.1	67.9	83.5	7.2	26
8 その他	5.9	32.4	61.3	64.9	67.6	16.3	5
和語（異なり）							
1 報道系	29.6	43.9	50.5	55.8	70.7	5.9	52
2 教育・教養系	0.0	53.4	63.2	71.5	86.7	9.1	42
3 一般実用系	28.0	55.4	59.9	66.6	83.2	5.6	72
4 音楽系	0.0	15.6	69.4	72.1	79.8	28.3	20
5 バラエティー系	43.9	57.4	64.7	68.7	87.3	5.7	51
6 ストーリー系	0.0	66.4	72.1	76.7	83.3	5.2	63
7 スポーツ系	40.1	48.2	53.3	57.1	76.5	4.5	26
8 その他	9.1	33.2	59.1	63.2	66.2	15.0	5

延べ語数でも異なり語数でも，和語の比率が大きいのはストーリー系で，少ないのは報道系とスポーツ系である。特にストーリー系は四分位偏差が小さく，語種構成において和語の値が他に比べて大きいことは偶然ではなさそうである。また，延べ語数では比較的上位に位置していた一般実用系が異なり語数では低めの比率を示している。一般実用系の中には「きょうの料理」「テレビ体操」などの番組の他に生活情報を伝える実用番組として「ワイドショー・ルックルックこんにちは」などのワイドショーが含まれている。そのため，日常会話に近いやりとりが多く，あいづちなど，繰り返し現われる和語が多いのではないかと考えられる［図4.5-37］［図4.5-38］。



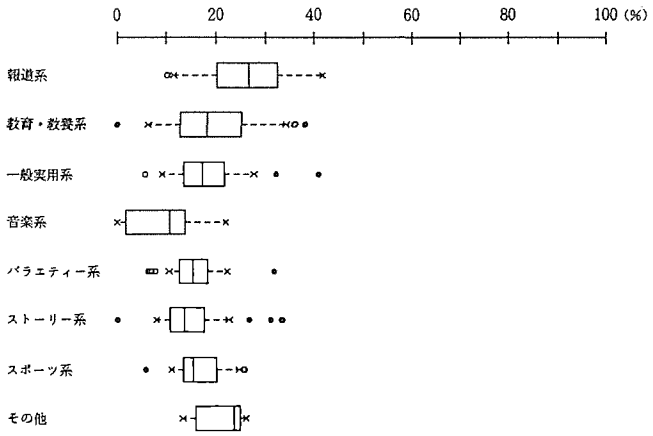
［図4.5-37］ジャンル別の語種比率・和語（延べ　%）



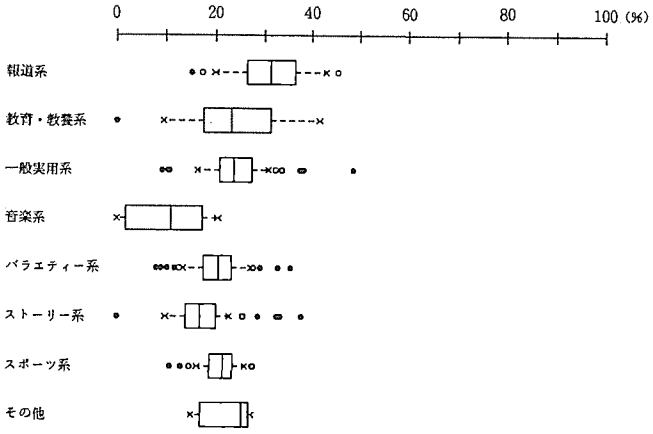
［図 4.5-38］ジャンル別の語種比率・和語（異なり　%）

漢語（延べ）							
1 報道系	10.2	20.3	26.8	32.7	41.7	6.2	52
2 教育・教養系	0.0	13.0	18.4	25.2	38.2	6.1	42
3 一般実用系	5.7	13.7	17.2	21.8	41.0	4.1	72
4 音楽系	0.0	1.8	10.7	14.0	22.0	6.1	20
5 バラエティー系	6.2	12.5	15.3	18.1	31.9	2.8	51
6 ストーリー系	0.0	10.6	13.6	17.6	33.6	3.5	63
7 スポーツ系	5.7	13.2	15.3	20.0	25.8	3.4	26
8 その他	13.3	15.8	23.4	24.7	25.9	4.5	5
漢語（異なり）							
1 報道系	15.0	26.5	31.3	36.6	45.3	5.0	52
2 教育・教養系	0.0	17.5	23.2	31.3	41.6	6.9	42
3 一般実用系	9.2	20.8	23.8	27.4	48.8	3.3	72
4 音楽系	0.0	1.7	11.0	17.3	20.4	7.8	20
5 バラエティー系	7.9	17.5	20.6	23.1	35.5	2.8	51
6 ストーリー系	0.0	13.8	16.9	20.0	37.8	3.1	63
7 スポーツ系	10.5	18.9	21.5	23.5	27.8	2.3	26
8 その他	15.0	17.1	25.5	26.9	27.3	4.9	5

漢語が多いのは報道系である。この傾向は延べ語数でも異なり語数でも同様である。逆に漢語が少ないのは音楽系とストーリー系である［図 4.5-39］［図 4.5-40］。



［図 4.5-39］ジャンル別の語種比率・漢語（延べ　%）



［図 4.5-40］ジャンル別の語種比率・漢語（異なり　%）

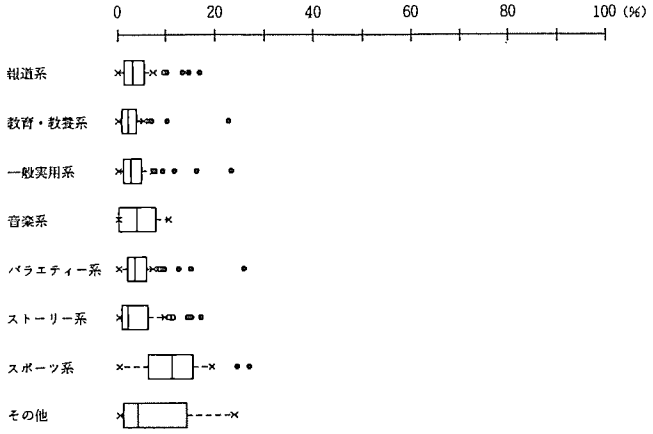
外来語（延べ）

1 報道系	0.0	1.3	3.0	5.5	16.8	2.1	52
2 教育・教養系	0.0	0.7	2.0	3.9	22.7	1.6	42
3 一般実用系	0.0	1.1	2.5	4.7	23.2	1.8	72
4 音楽系	0.0	0.0	3.8	7.8	10.4	3.9	20
5 バラエティー系	0.0	1.9	3.2	5.6	25.7	1.9	51
6 ストーリー系	0.0	0.5	1.7	6.1	16.7	2.8	63
7 スポーツ系	0.0	6.1	11.1	15.0	26.8	4.5	26
8 その他	0.0	0.7	3.7	14.0	23.5	6.6	5

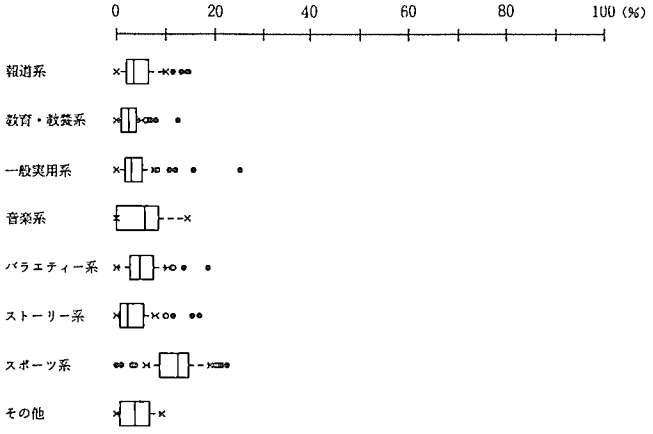
外来語（異なり）

1 報道系	0.0	1.9	3.4	6.5	14.6	2.2	52
2 教育・教養系	0.0	1.2	2.4	3.9	12.4	1.4	42
3 一般実用系	0.0	1.8	3.0	5.3	25.2	1.8	72
4 音楽系	0.0	0.0	5.7	8.3	14.3	4.1	20
5 バラエティー系	0.0	2.7	4.7	7.5	18.4	2.4	51
6 ストーリー系	0.0	0.8	2.3	5.4	16.7	2.3	63
7 スポーツ系	0.0	8.6	12.5	14.7	22.5	3.1	26
8 その他	0.0	0.8	3.6	6.8	9.1	3.0	5

スポーツ系では延べ語数でも異なり語数でも，外来語の比率が他よりもかなり高い。ただし，スポーツ系の標本は他のジャンルに比べて若干数が少なく，さらに多くの標本を検討する必要がある。他方，外来語が少ないのは延べ語数・異なり語数とも，ストーリー系と教育・教養系である。特に教育・教養系は延べ語数・異なり語数ともに四分位偏差が小さいことから，外来語が少ないのは他のジャンルと異なる質的な特徴と考えられる［図4.5-41］［図4.5-42］。



［図4.5-41］ジャンル別の語種比率・外来語（延べ　%）

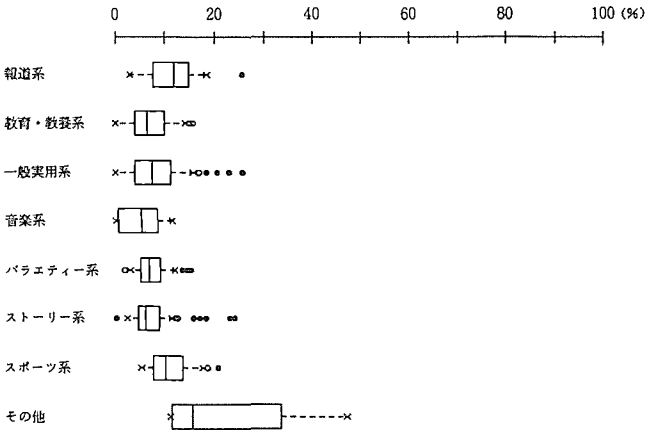


［図4.5-42］ジャンル別の語種比率・外来語（異なり　%）

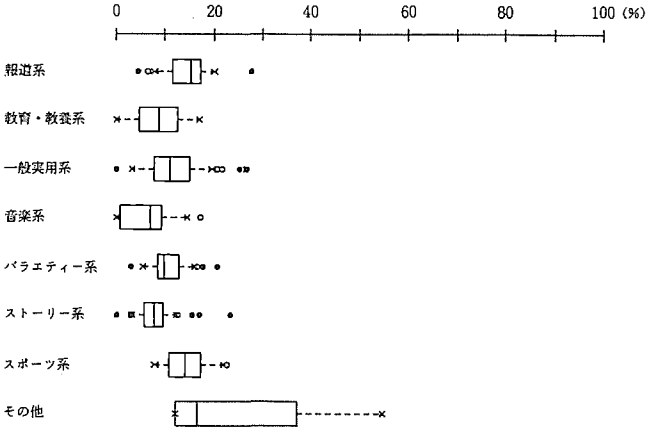
混種語（延べ）							
1 報道系	2.9	7.7	11.9	14.9	25.8	3.6	52
2 教育・教養系	0.0	4.1	6.3	9.8	15.5	2.9	42
3 一般実用系	0.0	4.2	7.4	11.2	25.6	3.5	72
4 音楽系	0.0	0.5	5.3	8.3	11.4	3.9	20
5 バラエティー系	1.7	5.1	6.7	9.0	15.1	2.0	51
6 ストーリー系	0.0	4.5	5.9	8.6	23.9	2.1	63
7 スポーツ系	5.1	7.2	10.0	13.5	20.5	3.1	26
8 その他	10.9	11.1	15.2	33.2	47.1	11.1	5

混種語（異なり）							
1 報道系	4.3	11.4	15.0	17.0	27.8	2.8	52
2 教育・教養系	0.0	4.8	8.8	12.3	16.8	3.8	42
3 一般実用系	0.0	7.6	11.1	14.8	26.7	3.6	72
4 音楽系	0.0	0.7	6.9	9.2	17.0	4.2	20
5 バラエティー系	3.0	8.4	9.7	12.7	20.4	2.2	51
6 ストーリー系	0.0	5.8	7.7	9.5	23.3	1.9	63
7 スポーツ系	7.8	10.5	14.0	17.0	22.5	3.2	26
8 その他	11.8	11.8	16.2	37.0	54.5	12.6	5

混種語は延べ語数・異なり語数いずれにおいても報道系にやや多い。これは，漢語サ変動詞が多いためではないかと推測される（報道系は漢語が多いことを参照）。報道系に次いで混種語が多いのがスポーツ系である。これは外来語を含むものかと思われる（スポーツ系は外来語が多い）。逆に混種語が少ないのは音楽系である［図4.5-43］［図4.5-44］。



［図4.5-43］ジャンル別の語種比率・混種語（延べ　%）



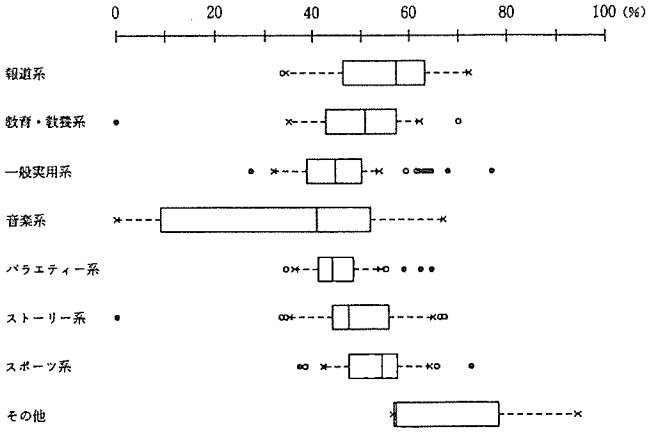
［図4.5-44］ジャンル別の語種比率・混種語（異なり　%）

［品詞（延べ・異なり　%）］

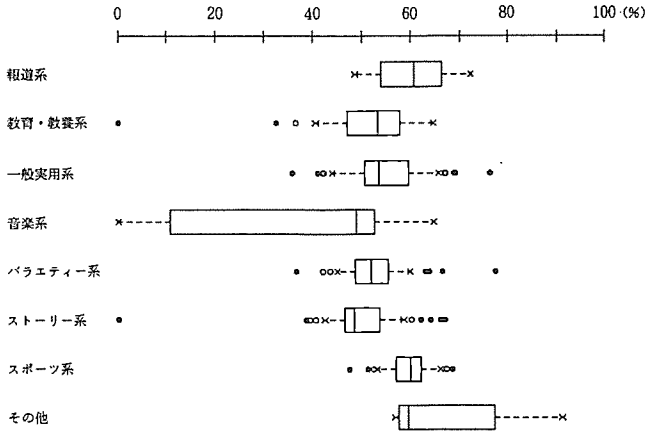
体の類（延べ）	最小値	第1四分位	中央値	第3四分位	最大値	四分位偏差	標本数
1 報道系	33.8	46.5	57.2	63.1	72.2	8.3	52
2 教育・教養系	0.0	42.6	50.9	57.2	70.0	7.3	42
3 一般実用系	27.0	38.7	44.7	50.0	76.7	5.6	72
4 音楽系	0.0	8.9	40.8	51.8	66.9	21.5	20
5 バラエティー系	34.4	41.0	43.9	48.5	64.5	3.8	51
6 ストーリー系	0.0	43.8	47.4	55.7	67.0	6.0	63
7 スポーツ系	37.1	47.4	54.0	57.3	72.6	5.0	26
8 その他	56.3	56.6	57.0	78.1	94.1	10.7	5

体の類（異なり）							
1 報道系	48.7	54.2	60.7	66.3	72.3	6.1	52
2 教育・教養系	0.0	47.1	53.4	57.8	64.6	5.3	42
3 一般実用系	35.8	50.5	53.7	59.4	76.2	4.4	72
4 音楽系	0.0	10.7	48.9	52.7	64.6	21.0	20
5 バラエティー系	36.6	48.6	51.9	55.2	77.3	3.3	51
6 ストーリー系	0.0	46.3	48.3	53.6	66.7	3.7	63
7 スポーツ系	47.4	56.7	59.7	62.0	68.4	2.7	26
8 その他	56.6	57.4	59.1	77.1	90.9	9.9	5

体の類が多いのは延べ語数でも異なり語数でも報道系で，少ないのは音楽系と（異なり語数で）ストーリー系である。音楽系は四分位偏差が突出している。標本数が少ないため，さらに多くの標本を検討する必要があるが，音楽系はオーケストラ演奏会のように言語音をまったく伴わないものから，日本語の歌を紹介する歌番組まで，きわめて多種多様なものを一括しているため，一般的な傾向が見出しにくくなっているものと考えられる。なお，異なり語数でみると，スポーツ系は体の類の割合が大きく，報道系と類似した傾向を示すことがわかる。そして，標本数が少ないにもかかわらず，四分位偏差が小さい（2.での観察を参照）。これに対して報道系の異なり語数の四分位偏差はやや大きめである。これは，報道番組の性格として，時事の話題を次々に伝えるため，番組によって内容の幅が大きいことによると考えられる［図4.5-45］［図4.5-46］。



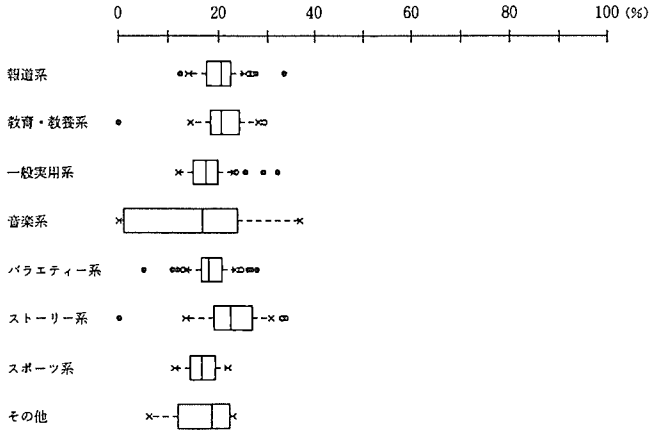
［図4.5-45］ジャンル別の品詞比率・体の類（延べ　%）



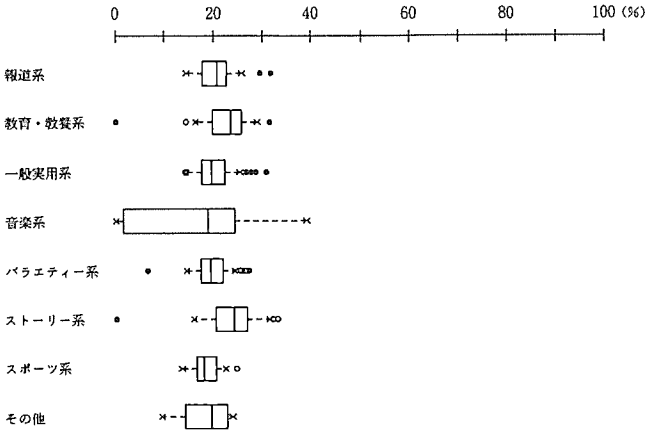
［図 4.5-46］ジャンル別の品詞比率・体の類（異なり　%）

用の類（延べ）							
1 報道系	12.2	17.4	20.6	22.4	33.6	2.5	52
2 教育・教養系	0.0	18.3	20.6	24.2	29.3	3.0	42
3 一般実用系	11.8	14.9	17.3	19.7	32.1	2.4	72
4 音楽系	0.0	1.1	16.7	23.7	36.8	11.3	20
5 バラエティー系	5.0	16.3	17.9	20.5	27.6	2.1	51
6 ストーリー系	0.0	18.7	22.2	26.6	33.7	4.0	63
7 スポーツ系	11.0	14.2	16.2	19.0	21.5	2.4	26
8 その他	5.9	11.5	18.2	22.0	22.5	5.3	5
用の類（異なり）							
1 報道系	14.5	17.9	20.8	22.9	31.9	2.5	52
2 教育・教養系	0.0	19.9	23.5	25.6	31.7	2.9	42
3 一般実用系	14.1	17.6	19.4	22.1	30.8	2.3	72
4 音楽系	0.0	1.4	18.7	24.3	39.1	11.4	20
5 バラエティー系	6.3	17.2	19.1	21.7	27.0	2.3	51
6 ストーリー系	0.0	20.2	24.0	26.8	33.1	3.3	63
7 スポーツ系	13.2	16.2	17.9	20.4	24.5	2.1	26
8 その他	9.1	14.0	19.1	22.4	23.5	4.2	5

用の類は，延べ語数・異なり語数ともストーリー系で比率が高い。用の類が少ないのはスポーツ系で，特に異なり語数では四分位偏差も小さい。2.でも述べたように，スポーツ中継の番組では用語がある程度決まっており，競技者の動きを描写する動詞もバリエーションが小さいものと考えることもできる。なお，延べ語数では報道系と教育・教養系の中央値がほとんど同じだが，異なり語数では教育・教養系の方がわずかながら大きい値となっている。逆に体の類の異なり語数では，報道系の方が教育・教養系よりも値が大きい。ごく小さな違いではあるが，報道系は「何が・誰が」というようにものごとの名称（名詞）に重きが置かれ，教育・教養系は「どうする・どうした」というように動きや変化（動詞）に重きが置かれる，といったジャンルの性格の違いと考えることもできよう［図 4.5-47］［図 4.5-48］。



［図 4.5-47］ジャンル別の品詞比率・用の類（延べ　%）



［図 4.5-48］ジャンル別の品詞比率・用の類（異なり　%）

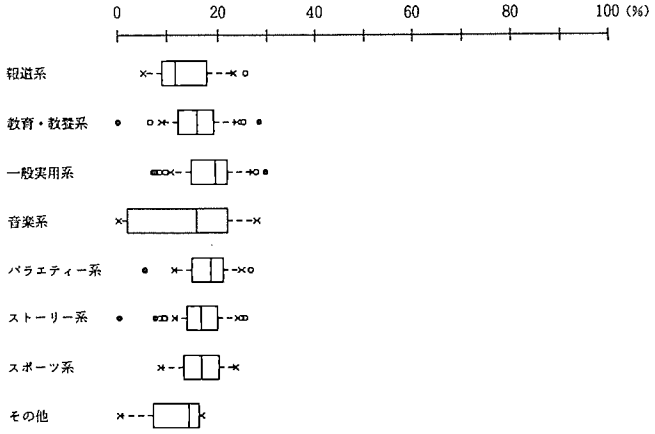
相の類（延べ）

1 報道系	5.2	9.1	11.7	17.9	25.6	4.4	52
2 教育・教養系	0.0	12.2	15.9	19.0	28.3	3.4	42
3 一般実用系	7.1	14.7	19.1	21.7	29.7	3.5	72
4 音楽系	0.0	1.9	15.6	21.8	27.8	10.0	20
5 バラエティー系	5.2	14.6	18.2	20.9	26.4	3.2	51
6 ストーリー系	0.0	13.7	16.2	19.6	25.1	3.0	63
7 スポーツ系	8.2	12.9	16.2	19.9	23.2	3.5	26
8 その他	0.0	6.7	13.9	15.9	16.3	4.6	5

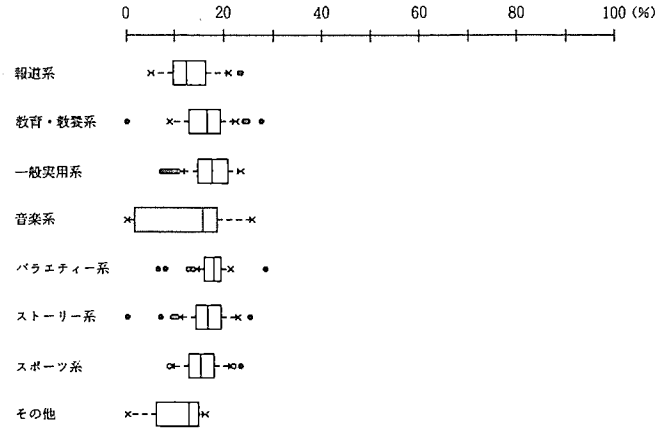
相の類（異なり）

1 報道系	5.1	9.5	12.4	16.3	23.5	3.4	52
2 教育・教養系	0.0	12.9	16.7	19.1	27.6	3.1	42
3 一般実用系	7.2	14.6	17.6	20.7	23.4	3.0	72
4 音楽系	0.0	1.6	15.6	18.5	25.7	8.4	20
5 バラエティー系	6.3	15.8	17.7	19.1	28.4	1.6	51
6 ストーリー系	0.0	14.1	16.6	19.3	25.0	2.6	63
7 スポーツ系	8.8	12.7	15.1	17.8	23.2	2.5	26
8 その他	0.0	6.0	12.7	14.6	15.9	4.3	5

相の類で比較的値が大きいのは延べ語数・異なり語数ともに一般実用系・バラエティー系（バラエティー系は異なり語数で他のジャンルに比べ四分位偏差が小さい），小さいのは報道系である。相の類は形容詞・情態副詞など，話し手の評価を含む語類といえる。報道系番組は個人的な評価を交えずにものごとを客観的に伝達することを目的としている。それゆえ相の類が少ないのだと考えられる。それと対照的に，より話し言葉に近いバラエティー系や，実生活に密着した一般実用系ではそのような制約がないため，相の類もよく用いられるのであろう［図4.5-49］［図4.5-50］。



［図4.5-49］ジャンル別の品詞比率・相の類（延べ　%）



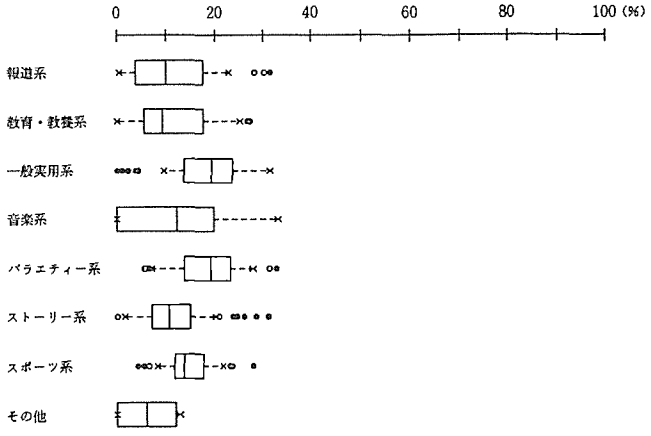
［図4.5-50］ジャンル別の品詞比率・相の類（異なり　%）

その他の類（延べ）

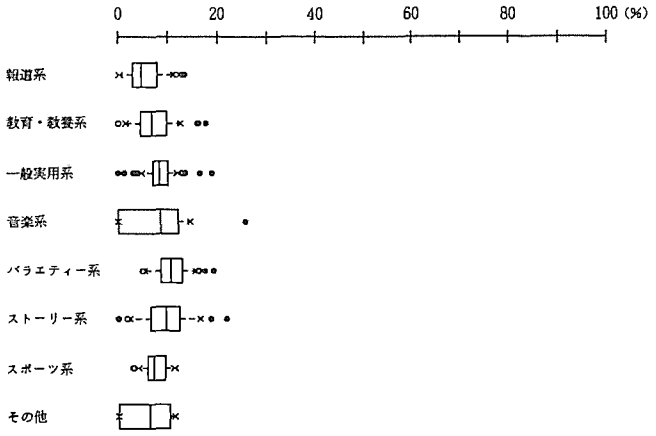
1 報道系	0.6	3.7	9.9	17.6	31.7	6.9	52
2 教育・教養系	0.0	5.3	9.2	17.5	27.4	6.1	42
3 一般実用系	0.0	13.6	19.3	23.8	31.4	5.1	72
4 音楽系	0.0	0.0	12.1	19.9	33.3	10.0	20
5 バラエティー系	5.3	13.6	19.0	23.1	32.8	4.8	51
6 ストーリー系	0.0	7.0	10.4	14.8	31.0	3.9	63
7 スポーツ系	4.2	11.6	13.6	17.6	28.2	3.0	26
8 その他	0.0	0.0	5.9	11.8	12.7	5.9	5

その他の類（異なり）							
1 報道系	0.4	3.2	4.7	7.9	13.4	2.4	52
2 教育・教養系	0.0	4.5	6.8	9.5	17.4	2.5	42
3 一般実用系	0.0	6.9	8.2	9.9	18.9	1.5	72
4 音楽系	0.0	0.0	8.4	12.0	25.7	6.0	20
5 バラエティー系	4.6	8.3	10.3	12.5	19.0	2.1	51
6 ストーリー系	0.0	6.3	9.3	12.1	21.9	2.9	63
7 スポーツ系	2.7	5.7	7.0	9.1	11.0	1.7	26
8 その他	0.0	0.0	6.2	10.1	11.1	5.1	5

その他の類が多いのは延べ語数では一般実用系・バラエティー系，異なり語数ではバラエティー系・ストーリー系である。また，少ないのは延べ語数では教育・教養系と報道系，異なり語数では報道系である。報道系は延べ語数でも少なめだが，異なり語数では他のジャンルよりもかなり小さい値をとる。その他の類は陳述副詞・感動詞など，話し手の感情・態度を直接的に表現する語類が中心になっている。客観的な姿勢でものごとを伝えることが要求される報道系でこのような語類のバリエーションが小さいのは当然であろう。他方，バラエティー系のその他の類の値は報道系のそれよりもはるかに大きい（異なり語数では報道系の2倍以上）。バラエティー系は報道系とは対照的に話し手の感情・態度を直接に表現する場面が多いことによるのだろう。また，延べ語数ではバラエティー系よりも大きな値を示していた一般実用系が異なり語数では逆にバラエティー系よりも小さい値となっている。一般実用系では特定の感動詞があいづちなどとして多用され，くりかえし現われるためだろうか（たとえば，一般実用系である料理番組（標本番号044）のアシスタントは「はい」「ええ」などのあいづちを多用している）。ストーリー系は延べ語数では小さい値だが，異なり語数ではスポーツ系などを抜いて上位に位置する。ドラマなどでは登場人物の感情を生き生きと表現するために，感動詞などの語類が用いられると考えられる。このとき，延べ語数は少なくても，バリエーションを豊かにすることで，演出上の効果を狙っているのではないだろうか［図4.5-51］［図4.5-52］。



［図4.5-51］ジャンル別の品詞比率・その他の類（延べ　%）



［図 4.5-52］ジャンル別の品詞比率・その他の類（異なり　%）

上の観察から，報道系では漢語名詞，ストーリー系では和語動詞，スポーツ系では外来語名詞が多いといったことが推測される。報道系・スポーツ系では“何（誰）が”に，ストーリー系では“どうする”に焦点がおかれる，ということになろうか。

4．ジャンル設定の妥当性－χ二乗検定－

ここで設定した各ジャンルの妥当性を検討するため，語種・品詞の内訳についてχ二乗値を求めてみた（8カテゴリーのうち，報道系からスポーツ系までの7つのジャンルから2つずつ，すべての組合わせについて計算した)。

語種（延べ）

	報道	教育・教養	一般実用	音楽	バラエティー	ストーリー
教育・教養	314.64					
一般実用	713.34	38.7				
音楽	370.28	145.04	788.94			
バラエティー	903.3	183.74	100.38	33.67		
ストーリー	838.08	143	77.79	48.8	21.65	
スポーツ	746.07	645.93	1,045.2	161.7	627.48	662.38

自由度：3　P=0.05 のとき $\chi^2=7.81$，　P=0.01 のとき $\chi^2=11.34$

語種に関しては，すべての組合わせについて「2つのジャンルには差がない」という仮説は棄却される。

品詞（延べ）

	報道	教育・教養	一般実用	音楽	バラエティー	ストーリー
教育・教養	72.38					
一般実用	677.03	362.69				
音楽	121.39	54.61	16.64			
バラエティー	444.09	228.6	17.16	6.79		
ストーリー	99.59	8.53	373.75	53.58	233.62	
スポーツ	101.06	100.71	175.51	43.69	110.13	134.16

自由度：3　P=0.05 のとき $\chi^2=7.81$，　P=0.01 のとき $\chi^2=11.34$

品詞についても，ほとんどの組合わせについて「2つのジャンルには差がない」という仮説は棄却される。ただし，全体に語種よりも χ^2 値が小さく，ジャンル間の差は小さいと考えられる。そして，音楽系とバラエティー系では「差がない」といえるという結果が出ている（危険率 0.01 では教育・教養系とストーリー系も）。内容的な近さを反映するものだろうか。

以上の数値は7つのジャンルが語種・品詞の構成上，互いにかなり異なった性質を有することを示しており，分類の妥当性を支持する一つの証拠となるだろう。

5．まとめ

今回の調査で設定した番組のジャンルごとに語の密度，語種・品詞構成を調べてみると，上で観察したとおり，かなりはっきりした差異がみとめられる。このことから，今回の調査で設定したジャンル分けはある程度妥当なものであったと考えられる。

さらに言えば，番組内容からのジャンル分けは，テレビ放送の語彙を考える際の重要な指標の一つであることが示されたと言えよう。もちろん，ここでの分類は番組を分類する方法として唯一のものではない。他の分類方法によって明らかになることがらも数多くあるはずである。また，他の方法をも試みた上で今回の結果との比較・対照を行う必要もある。今後の課題としたい。

第6章　チャンネル

1．目　　的

チャンネルには，より多くの語を送出するものとそうでないもの，という違いがあるのだろうか。それとも，どのチャンネルも似たようなものなのだろうか。本章では，チャンネルによって「語の密度」に差があるかどうか，いいかえれば，チャンネルという言語外的側面が，語の密度という言語内的側面とどのような関係にあるかを探る。

分析の対象は，7つのチャンネル（ＮＨＫ総合，ＮＨＫ教育，日本テレビ，ＴＢＳ，フジテレビ，テレビ朝日，テレビ東京）の語の密度である。ＣＭは特定のチャンネルを選ばない（チャンネルによる差はない）ものと考えられるから，ここでは，本編の，語の密度を対象とする。チャンネルによる違いを厳密に考えれば，ニュースなど特定の番組あるいはジャンルに限定する，すなわち，比較の対象をそろえることも必要かもしれない。しかし，そのためにはより多くの標本が必要と考えられるので，ここでは，そのような限定は行わない。

2．音　　声

2.1 幹葉表示による概観

はじめに，各チャンネルの音声の語の密度について，その分布形を幹葉表示により概観する（[図4.6-1] [図4.6-2]）。階級幅は，延べが10語，異なりが5語であり，語の密度の値の小数部第1位は四捨五入されている。

延べの場合，どのチャンネルもほぼ山形の分布を示しており，また，いくつかのまとまりにはっきりと分かれるような分布も示していない。山の頂点（峰）は，ＮＨＫ教育が値の小さい方に寄っているほかは，中央か，値の大きい方にやや寄っている。最頻値は，ＮＨＫ教育が40語台，ＮＨＫ総合・ＴＢＳ・テレビ東京が70語台，テレビ朝日が80語台，日本テレビ・フジテレビが90語台である。ただし，フジテレビは，最頻値である90語台のみが突出しており，それを除けば，40〜60語台が山の頂点である。このほか，ＮＨＫ教育に0語のデータが多いこと，語の密度のもっとも大きなデータは147語でＴＢＳにあること，などがわかる。

異なりの場合，ＮＨＫ総合とＮＨＫ教育とが40語台までしか分布していないのに対して，民放の各チャンネルが60語台（以上）まで分布していることが注目される。さらに，民放のうちでも，ＴＢＳ・テレビ朝日・テレビ東京の3つのチャンネルが，ＮＨＫの上限である40語台をはさんで二つの山に分かれるような分布形を示しているようにみえるのも，興味深い。そのような目で，もう一度，延べの分布をみてみると，この3つのチャンネルの分布は，延べ60語台をはさんで2つの山に分かれているようにみえなくもない。語の密度が延べで60語台，異なりで40語台という値は，番組（の語彙）をなんらかの点で区分する境界域なのだろうか。

もし，これらのチャンネルの分布が双峰性ないし多峰性の分布形であるとみなし得るならば，その場合には，単峰性の分布となるようデータを分割することや，チャンネル間の比較にもっともふさわしい指標を検討することなどが必要となる。しかし，われわれの得た標本の数では，そ

のような分割に堪えられそうもないので，ここでの分析では，各チャンネルのデータを，とくに操作することなく，そのままあつかうことにする。

各チャンネルの，異なりの最頻値は，ＮＨＫ総合が25・35語台，ＴＢＳが35語台，ＮＨＫ教育・フジテレビ・テレビ東京が40語台，日本テレビが45語台，テレビ朝日が50語台で，ＮＨＫ教育の値が，延べに比べて，大きくなっていることが目立つ。また，ＮＨＫ教育には0語のデータが多いこと，語の密度のもっとも大きなデータは88語でテレビ朝日にあること，などがわかる。

チャンネル	ＮＨＫ総合	ＮＨＫ教育	日本テレビ	ＴＢＳ	フジテレビ	テレビ朝日	テレビ東京
0＊		000000		0019	3		
1＊	4				67		07
2＊			0	02	589		244559
3＊	2399	229	0468	1347	145	6	3
4＊	049	12345778	355	03799	11377	000466	1344577
5＊	134679	46899	02233	0225579	03377	146779	1699
6＊	1899	789	5889	1277	12226	79	01378
7＊	02367789	569	3466668	001122478	0479	2344579	236667889
8＊	125578	0234	0135889	6699	0223	122455799	22345
9＊	2	45	12445679	2334569	3355577789	035557	47
10＊	68	022	0033569	2	1678	0445	02677
11＊	26	29	38	38	126	2369	99
12＊	9	2355			1	1337	56
13＊			8			16	
14＊				7			
15＊							

［図 4.6-1］チャンネル別の語の密度（音声・延べ）の幹葉表示

チャンネル	ＮＨＫ総合	ＮＨＫ教育	日本テレビ	ＴＢＳ	フジテレビ	テレビ朝日	テレビ東京
0＊	3	000000		001	2		
0＃	6			9			7
1＊	124				03		4
1＃	57	6799	59	67			6889
2＊	023	01123	124	3	0012234	4	03
2＃	57777889	556789	79	55678	78	67779	99
3＊	000444	34	12333	01334	02222	0014	00222234
3＃	67778899	577899	59	56678899	88999	5677899	5777788
4＊	1234	01111233444	11222233	23334	00011222223	002233344	1112223344
4＃	79	588	56677888999	59	567899	5888	6679
5＊			001112223	111244	1224	0222222344	00111244
5＃			5557	5566799	9	5555778	55
6＊			11	0013	04	01	1
6＃			5	7	6	5	
7＊					113		
7＃							
8＊							
8＃						8	

［図 4.6-2］チャンネル別の語の密度（音声・異なり）の幹葉表示

2.2 五数要約・平行箱型図による概観

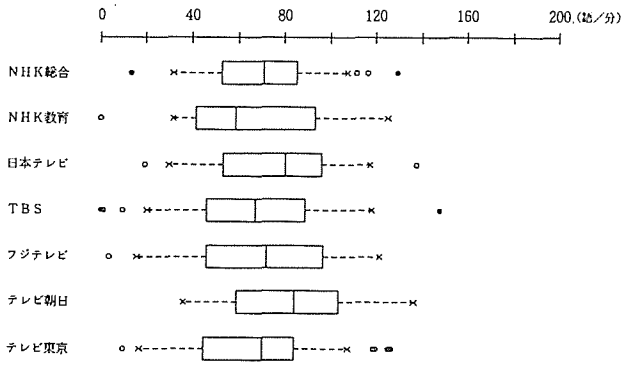
各チャンネルの語の密度のバッチを，延べ・異なりそれぞれに，五数要約し（[表 4.6-1] [表 4.6-2]），また，平行箱型図に表す（[図 4.6-3] [図 4.6-4]）。

[表 4.6-1] チャンネル別の語の密度（音声・延べ）の五数要約値

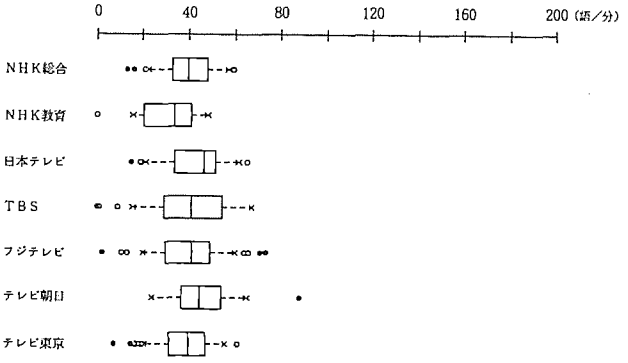
チャンネル	最小値	第1四分位	中央値	第3四分位	最大値	四分位偏差	標本数
NHK総合	13.6	52.8	71.3	85.4	129.2	16.3	38
NHK教育	0.0	41.6	58.8	93.6	125.2	26.0	43
日本テレビ	19.5	53.3	80.4	96.3	137.8	21.5	49
TBS	0.0	45.9	67.2	88.8	147.4	21.5	50
フジテレビ	3.4	45.9	71.9	96.8	121.4	25.4	50
テレビ朝日	35.6	59.0	84.0	103.5	136.1	22.3	51
テレビ東京	9.6	44.2	70.2	84.1	126.4	19.9	50

[表 4.6-2] チャンネル別の語の密度（音声・異なり）の五数要約値

チャンネル	最小値	第1四分位	中央値	第3四分位	最大値	四分位偏差	標本数
NHK総合	12.8	32.5	39.7	47.8	59.2	7.6	38
NHK教育	0.0	20.2	33.4	40.8	48.2	10.3	43
日本テレビ	15.0	33.7	46.1	51.3	65.4	8.8	49
TBS	0.0	29.4	40.9	54.3	67.0	12.4	50
フジテレビ	2.2	29.5	40.8	48.8	73.2	9.6	50
テレビ朝日	23.8	36.6	44.2	53.7	87.7	8.6	51
テレビ東京	7.0	31.4	39.5	47.2	60.6	7.9	50



[図 4.6-3] チャンネル別の語の密度（音声・延べ）の平行箱型図



[図 4.6-4] チャンネル別の語の密度（音声・異なり）の平行箱型図

分布の位置（中央値）に注目すると，延べでは，ＮＨＫ総合・ＴＢＳ・フジテレビ・テレビ東京が70語程度であるのに対して，テレビ朝日，日本テレビが80語以上と大きく，逆に，ＮＨＫ教育が60語弱でもっとも小さい。異なりでも，ＮＨＫ総合・ＴＢＳ・フジテレビ・テレビ東京が40語程度であるのに対して，日本テレビ，テレビ朝日が46〜44語と大きく，ＮＨＫ教育が33語ほどでもっとも小さい。番組本編の音声の語の密度については，日本テレビとテレビ朝日が大きく，ＮＨＫ教育が小さい，という傾向がみられるようである。

3．画　　面

3.1 幹葉表示による概観

音声と同様に，幹葉表示により，分布形を概観する（[図4.6-5]［図4.6-6]）。階級幅は，延べ・異なりとも5語とし，延べで60語，異なりで40語を越えるものは，（　）内に示した。また，語の密度の値の小数部第1位は四捨五入した。

チャンネル	ＮＨＫ総合	ＮＨＫ教育	日本テレビ	ＴＢＳ
0＊	01112444	000011112222222333344444	000000112233444	000000011344
0＃	555566666899	56667778889	5567779	5777778
1＊	00111233	03	33334	001114
1＃	5569	66	789	55556669
2＊		2	122	122334
2＃			5559	7799
3＊	0	01	12	134
3＃			56	
4＊	024		3	2
4＃	8		679	
5＊		0	4	23
5＃				
	(148)		(62) (81) (86)	(87)

チャンネル	フジテレビ	テレビ朝日	テレビ東京
0＊	00000000011223334	00000011112233334	000000011111233344
0＃	55556799	55667778889	5566778
1＊	0112333	00011234	003333
1＃	5689	5	6778
2＊	11144	01334	014
2＃	599	6	8
3＊	03	24	003
3＃		59	
4＊	02	0	044
4＃		5	
5＊			1
5＃	9	5	5
	(73)	(70)	(73) (187) (223)

［図4.6-5］チャンネル別の語の密度（画面・延べ）の幹葉表示

チャンネル	NHK総合	NHK教育	日本テレビ	TBS
0＊	01111233444	000011111222222233334444444	0000001122222334444	000000001333
0#	5555555667788	555556666679	56777789	555666777789
1＊	000012234	0	02333	01111111223334
1#	56	5	66667789	55556777
2＊	44	2	23	0
2#	7		58	8
3＊			34	0
3#			77	8
4＊				
4#			7	

チャンネル	フジテレビ	テレビ朝日	テレビ東京
0＊	00000000011122233333344	00000001112222333344	00000001111112233444
0#	577888999	5666777888899	5555677889999
1＊	112234	0000113444	01334
1#	788899	5557	569
2＊	024	3	1223
2#		5	55
3＊	0	0	2
3#	88	8	
4＊			
4#			
	(69)		(137)(159)

[図 4.6-6] チャンネル別の語の密度（画面・異なり）の幹葉表示

番組本編の画面の語の密度は，標本全体でみた場合，音声とは違って，いわゆるL字型の分布になる（「第4部第2章　2.3」参照）。その傾向は，基本的には，チャンネル別にみても保持されているようである。ただし，延べではNHK総合，異なりではNHK総合とTBSで，分布の頂点が値の大きい方にずれており，L字型は崩れている。TBSは，延べでも，L字型というより，右下がりの分布といった方がよいかもしれない。一方，NHK教育は，延べ，異なりとも，0語から4語までのデータが多く，急激なカーブを描くL字型の分布となっている。

3.2 五数要約・平行箱型図による概観

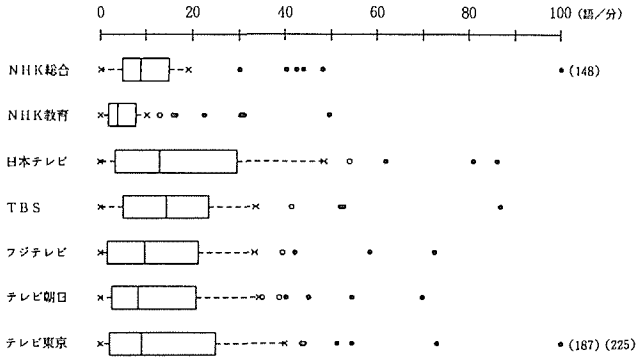
これも，音声と同様，それぞれの，五数要約値（[表 4.6-3] [表 4.6-4]），および，平行箱型図（[図 4.6-7] [図 4.6-8]）を示す。なお，平行箱型図では，横軸のスケールを 100 としたために，それを越える値のデータがすべて 100 の位置にプロットされている。

［表 4.6-3］チャンネル別の語の密度（画面・延べ）の五数要約値

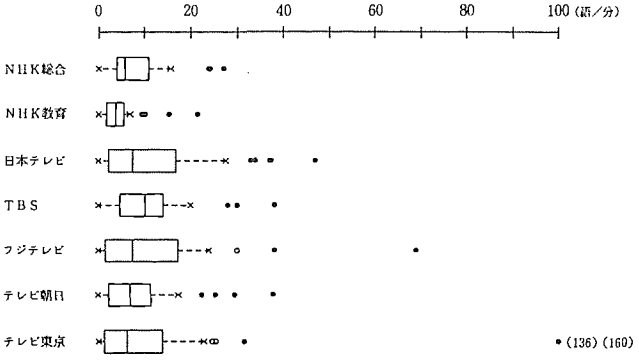
チャンネル	最小値	第1四分位	中央値	第3四分位	最大値	四分位偏差	標本数
NHK総合	0.0	4.8	8.8	15.0	148.2	5.1	38
NHK教育	0.0	1.8	3.6	7.8	49.6	3.0	43
日本テレビ	0.0	3.3	12.8	29.7	86.1	13.2	49
TBS	0.0	5.1	14.4	23.5	86.8	9.2	50
フジテレビ	0.0	1.6	9.6	21.1	72.5	9.7	50
テレビ朝日	0.0	2.6	8.2	20.8	69.9	9.1	51
テレビ東京	0.0	2.1	8.9	24.9	222.5	11.4	50

［表 4.6-4］チャンネル別の語の密度（画面・異なり）の五数要約値

チャンネル	最小値	第1四分位	中央値	第3四分位	最大値	四分位偏差	標本数
NHK総合	0.0	4.1	5.8	11.0	27.2	3.5	38
NHK教育	0.0	1.8	3.6	5.4	21.6	1.8	43
日本テレビ	0.0	2.3	7.4	16.9	47.1	7.3	49
TBS	0.0	4.6	10.2	14.1	38.2	4.8	50
フジテレビ	0.0	1.5	7.5	17.3	69.1	7.9	50
テレビ朝日	0.0	2.3	7.0	11.4	38.0	4.6	51
テレビ東京	0.0	1.2	6.2	13.9	159.3	6.4	50



［図 4.6-7］チャンネル別の語の密度（画面・延べ）の平行箱型図



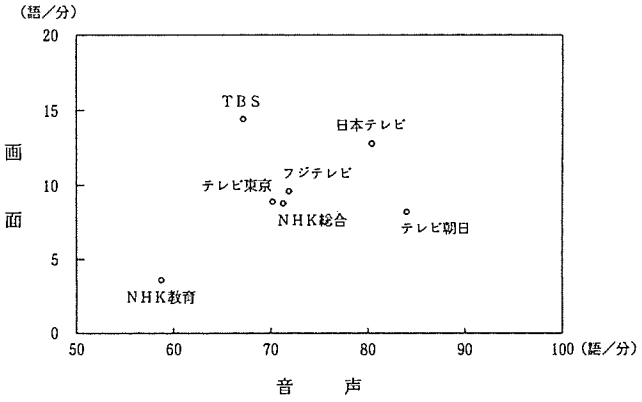
［図 4.6-8］チャンネル別の語の密度（画面・異なり）の平行箱型図

分布の位置（中央値）に注目すると，延べでは，ＮＨＫ総合・フジテレビ・テレビ朝日・テレビ東京が８～９語程度であるのに対して，ＴＢＳ，日本テレビが13～14語と大きく，逆に，ＮＨＫ教育が４語弱でもっとも小さい。異なりでは，ＮＨＫ総合・日本テレビ・フジテレビ・テレビ朝日・テレビ東京が６～７語前後であるのに対して，ＴＢＳだけが10語程度と大きく，ＮＨＫ教育が４語弱でもっとも小さい。画面の語の密度については，ＴＢＳが大きく（日本テレビは延べでのみ大きい），ＮＨＫ教育が小さい，という傾向がみられるようである。音声で語の密度がもっとも小さかったＮＨＫ教育は，画面でももっとも小さいチャンネルである。ただし，音声で大きかったテレビ朝日は，画面でも大きいというわけではない。逆に，音声で大きくはなかったＴＢＳが，画面の語の密度では大きくなっていることが注目される。

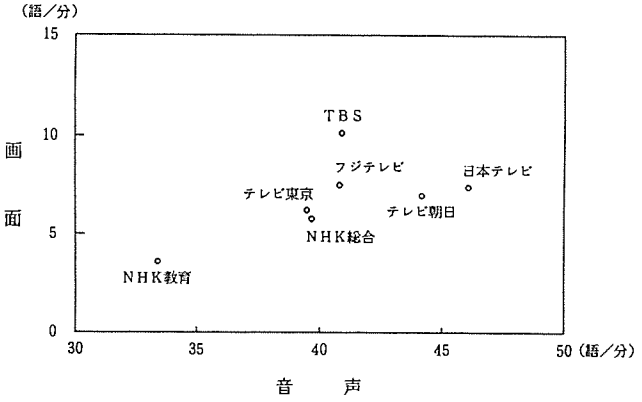
分布の広がり（四分位範囲＝箱の長さ）では，一見して，延べ・異なりとも，ＮＨＫ総合・教育が小さく，民放の各チャンネルが大きいことがわかる。

４．音声と画面

ここでは，それぞれのチャンネルにおいて，音声の語の密度と画面のそれとの関係がどのようなものであるのか，また，その関係においてチャンネル間にどのような異同がみられるのか，について探る。いま，各チャンネルについて，音声と画面の，それぞれの語の密度の中央値をとり，両者の交点を相関図にプロットすると，［図4.6-9］［図4.6-10］のようになる。



［図4.6-9］各チャンネルの音声と画面との関係（語の密度・延べ）



［図4.6-10］各チャンネルの音声と画面との関係（語の密度・異なり）

延べの場合には，まず，ＮＨＫ総合・フジテレビ・テレビ東京の３つのチャンネルが，きわめて近いところにプロットされていることがわかる。それらに比べて，ＮＨＫ教育は，音声・画面のいずれにおいても小さく，逆に，日本テレビは，いずれにおいても大きい，という関係にあることがわかる。また，ＴＢＳは，これら３つのチャンネルに比べて，画面の語の密度のみが大きく，テレビ朝日は，音声の語の密度のみが大きい，ということもわかる。

異なりの場合にも，延べとほとんど同じ関係がみられる。ただし，先の３つのチャンネルに対する日本テレビの位置が，音声の語の密度においてのみ大きいという関係に変わっている。

5．まとめ

以上，音声および画面の語の密度（延べ・異なり）について，各チャンネルの分布を概観した。その結果，次のような傾向が観察された。

(1) 各チャンネルの分布の位置（中央値）をみると，音声では日本テレビ・テレビ朝日の，画面ではＴＢＳの値が，他のチャンネルに比べて，大きい。また，ＮＨＫ教育の値は，音声および画面のいずれにおいても，他のチャンネルより小さい。

(2) 分布のちらばり（四分位範囲）では，とくに画面において，ＮＨＫ総合・ＮＨＫ教育の値が，他の民放のチャンネルよりも小さい。

(3) 音声と画面との関係では，ＮＨＫ総合・フジテレビ・テレビ東京の３つのチャンネルが似ている。これらに比べて，ＮＨＫ教育は音声・画面のいずれにおいても小さく，日本テレビはいずれにおいても大きい（ただし，異なりでは音声のみ）。また，ＴＢＳは画面のみにおいて大きく，テレビ朝日は音声のみにおいて大きい。

これらの傾向が母集団においてもどの程度の確からしさでいえることなのかについては，今後に検証すべき課題である。したがって，また，これらの傾向をうみだす要因が何であるかについても，確たることはいえない。

ただ，このような傾向があるとした場合，それに関連するものとしてどのようなことが考えられるのか，以下，簡単に述べておきたい。

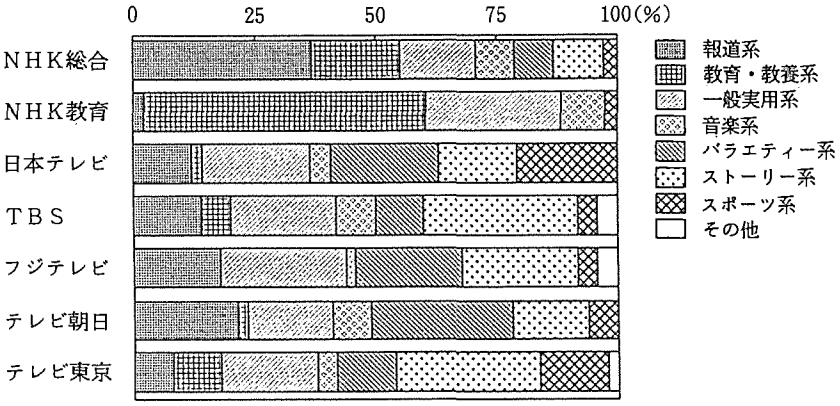
チャンネルという言語外的側面が語の密度に直接かかわるとすれば，それは，たとえば，チャンネル（放送局）によって語の密度に関係することがら（発話のスピードや１画面中の文字数など）についての基準などが設けられている場合，というものが想定できよう。上述の(2)の傾向がもしあるとすれば，ＮＨＫは，民放に比べて，画面文字の表示について，やや厳しい制限があるのかもしれない。ただし，このことは，いま，確かめることができない。

テレビ放送が番組を単位として行われていることを考えれば，チャンネルが語の密度とかかわりをもつとしても，それは結局，そのチャンネルが放送した番組と，語の密度との関係である可能性が高い。チャンネルが語の密度を直接に左右するということは，上に述べたような基準や制限がなければ，考えにくいように思う。実際，上述の(1)の傾向についても，各チャンネルの番組構成（番組のジャンルの内訳・割合）が関係しているように思われるのである。

［表4.6-5］は，各チャンネルの標本が，それぞれ，どのジャンルに属しているかをまとめたものであり，［図4.6-11］は，それを比率として表わしたものである。

［表 4.6-5］各チャンネルの標本における番組のジャンルの内訳

	報道系	教育・教養系	一般実用系	音楽系	バラエティー系	ストーリー系	スポーツ系	その他
NHK総合	14	7	6	3	3	4	1	0
NHK教育	1	25	12	4	1	0	0	0
日本テレビ	6	1	11	2	11	8	10	0
TBS	7	3	11	4	5	16	2	2
フジテレビ	9	13	1	11	12	2	2	0
テレビ朝日	11	1	9	4	15	8	3	0
テレビ東京	4	5	10	2	6	15	7	1



［図 4.6-11］各チャンネルの番組のジャンルの比率

各チャンネルにおける番組のジャンルの割合は一様ではなく，また，単純でもないが，NHK教育が他に比べて特異である（教育・教養系が圧倒的に多い）ことは明らかである。NHK教育の語の密度が小さいことと，この番組構成の特異性とは無関係ではないだろう。

民放の各チャンネルは，NHK総合および教育と比べれば，似たような割合を示しているが，音声の語の密度の大きかった2つのチャンネル（日本テレビとテレビ朝日）に共通することといえば，バラエティー系が多く，ストーリー系が少ないということであろう（逆に，画面の語の密度の大きかったTBSは，ストーリー系が多く，バラエティー系が少ない）。音声の場合，バラエティー系の語の密度が大きく，ストーリー系の語の密度が小さいという結果は，「第2部第5章　番組のジャンル」で，すでにみたとおりである。また，各チャンネルのデータ（標本）を，音声の語の密度（延べ）の四分位点を境に4つのグループに分け，それと番組のジャンルとの関係をみても（［表 4.6-6］），バラエティー系(5)は中央値より上にあることが多く，ストーリー系(6)は下にあることが多い。

このように，チャンネルの語の密度に，その番組構成がかかわっていることは，十分に考えられることである（もちろん，ここでみた番組構成が，母集団においてもみられることを前提にしての話ではあるが）。したがって，番組構成が変われば，チャンネルの語の密度も変わってしまう可能性が高い。番組構成の違いの影響を排除して，チャンネルと語の密度とのより直接的な関係を見出すためには，少なくとも，同一のジャンルの番組について，比較しなければならない。

しかし，一つの番組中でも，語の密度は，常に変動するものであろうから，そのことを確かめることは容易ではない。番組のジャンルが比較の基準になり得るかどうかを含めて，今後の課題である。

［表 4.6-6］各チャンネルの語の密度（音声・延べ）と番組のジャンルとの関係

語の密度＼ジャンル	NHK総合							NHK教育							日本テレビ							TBS							フジテレビ							テレビ朝日							テレビ東京						
	1	2	3	4	5	6	7	1	2	3	4	5	6	7	1	2	3	4	5	6	7	1	2	3	4	5	6	7	1	2	3	4	5	6	7	1	2	3	4	5	6	7	1	2	3	4	5	6	7
～第1四分位	3			3		3			5	2	4				1			2	1	6	2			2	2		8		1		2			8		2			3	1	7			1	1	1		8	
～中央値	3	6				1			9	2					2	1	4		2	2	2		2	1		2	6	1	3		2	1	2	3	1	5	1	2	1	2	1	1	1	3	2		1	4	2
～第3四分位	6	1	2		1		1		8	2				1	2		4		2		4	5	1	1	2	1	2				4		7	1	1	3		4		5		1	2	1	2	1	2	1	4
～最大値	2		4		2			1	3	6					1		3		6		2	2		7		2		1	5		5		2			1		3		7		1	1		5		3	2	1

ジャンル凡例：1（報道系），2（教育・教養系），3（一般実用系），4（音楽系），
5（バラエティー系），6（ストーリー系），7（スポーツ系），8（その他）

第7章　放送時間帯

1．目　　的

テレビ放送では，一日の中の時刻（時間帯）によって，放送される番組にかなりはっきりとした違いがある。それは，おそらく，それぞれの時間帯によって，テレビ放送を視聴する人びとの数や属性，視聴する目的や好みが異なっており，そのことを放送局（制作者）側が考慮しているからだと考えられる。朝の出勤・登校前のあわただしい時間帯に二時間ドラマを放送することはないし，深夜に幼児向け番組を放送することもない。制作者は，その時間帯には，どのような人びとが，どのような目的で，また，どのような見方（「ながら視聴」かそうでないかなど）で，テレビを見るのかを，無視できないはずである。その結果，各チャンネル，とくに民放のチャンネルでは，一日の番組構成は非常に似通ったものになっている。

ここでは，このように時間帯によって規定される側面のあるテレビ放送の語彙，具体的には語の密度が，一日をとおしてどのように変動するか（日内変動）を探る。

2．前　　提

変動をみようとする以上，その対象（標本）は，時間帯の違い以外では差のないことが望ましいが，われわれの標本は，チャンネルや番組のジャンルはもちろん，放送された曜日・日付も異なっている。時間帯以外の条件を統制するには，今回の標本数では十分ではない。ここでは，これらの違いを基本的には捨象して，すべての標本を一日の各時間帯に位置づける。とはいえ，できるだけ意味のある変動をとりだすために，チャンネルではＮＨＫ教育を除き，曜日でも土曜日・日曜日を除いた平日として，標本の等質性を可能なかぎり高めることとする。

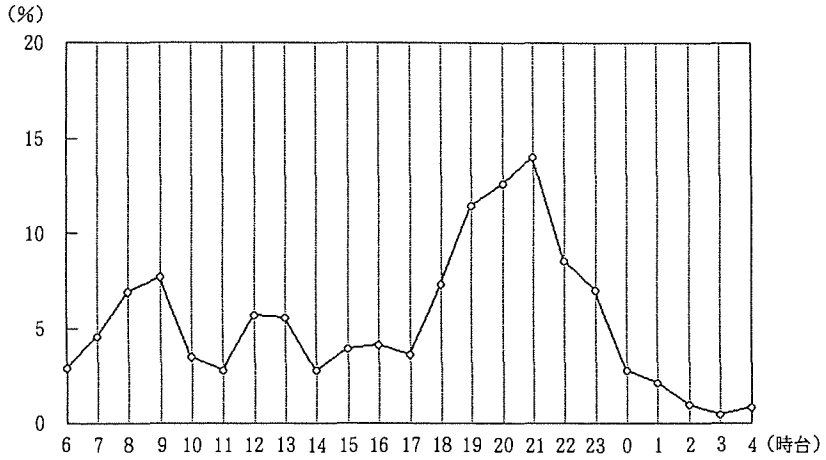
日内変動は，一日を1時間ごと24の時間帯に区分し，各時間帯に属する標本の値の変化としてとらえる。1時間という幅は，そこに含まれる標本の数を考えると，細かすぎるかもしれない。しかし，2時間以上の幅をもたせると，時間帯の分け方（たとえば，7～9時・9～11時のように分けるか，6～8時・8～10時のように分けるか）で，かなり違った結果となる可能性が高い。もちろん，15分番組や30分番組などが多いことを考えれば，逆に，もっと細かい時間帯に分けることも必要かもしれないが，一つの時間帯の標本数が極端に少なくなってしまい，現実的ではない。

いま，われわれの標本を，上述のように，6チャンネルの平日の分に限定し，それらを1時間ごと24の時間帯に区分した上で，その視聴率の変動をみると［図4.7-1］のようになる。また，［図4.7-2］は，ＮＨＫが，われわれの調査と同じ時期（1989年6月）に実施した，平日の午前6時から翌日の午前4時までの，全国のテレビ局を対象とした平均視聴率の[21]グラフである（［図4.7-1］では，［図4.7-2］と合わせるために，5時台の数値を除いてある）。

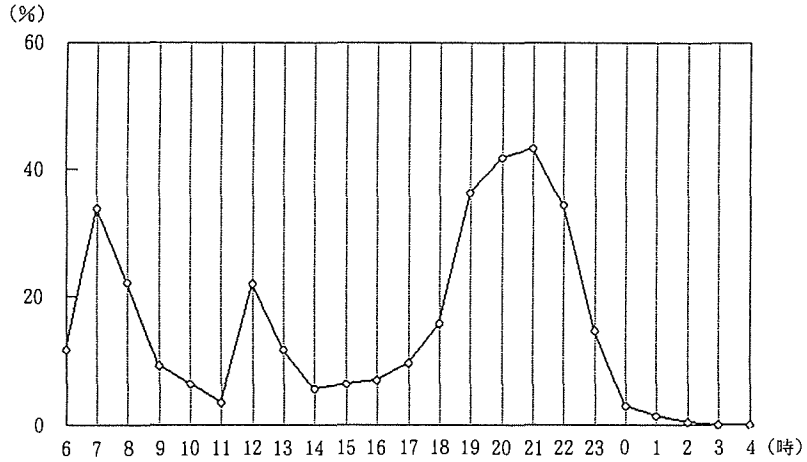
一つの番組（標本）の視聴率か，その時間の視聴率の総計かという違いはあるものの，両者の

21）　日本放送協会編『ＮＨＫ年鑑'90』（日本放送出版協会，1990），p.526。

グラフは，午前7時から9時までの変動が異なっているだけで，全体としては，よく似たものになっている。もちろん，視聴率と語の密度とは別の側面ではあるが，1時間という幅で時間帯を設定することは，標本数が少ないとはいえ，さほど大きな過誤には結びつかないものと考えられる。



［図4.7-1］視聴率の日内変動（標本中央値）



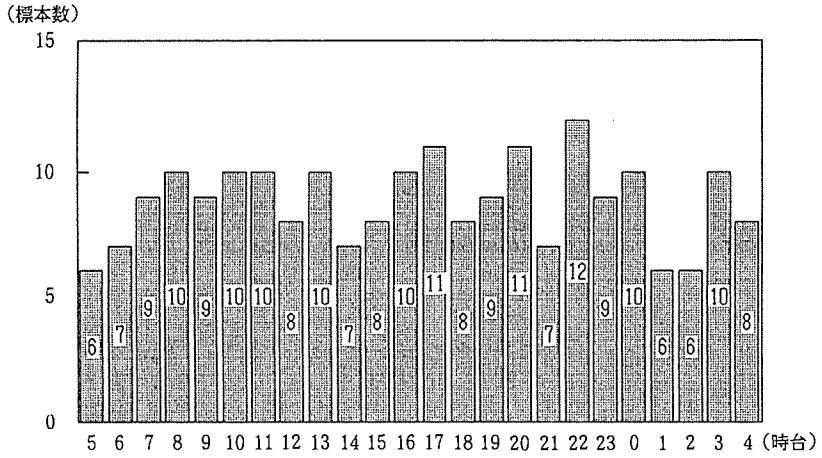
［図4.7-2］視聴率の日内変動（ＮＨＫ調査）

3．データ

ＮＨＫ教育を除く6チャンネル（ＮＨＫ総合，日本テレビ，ＴＢＳ，フジテレビ，テレビ朝日，テレビ東京）の，平日の放送からとられた211の有効標本（無放送の標本を除く）の，番組本編の語の密度（延べ・異なり）を対象とする。

一日の時間帯ごとの標本分布を，ヒストグラム（［図4.7-3］）により示す。

ＮＨＫ教育を除いたことから，深夜の標本がとくに少なくなるというようなかたよりは避けられている。ただし，各時間帯の標本数が6～12と少ないことには注意しなければならない。これについては，五数要約値（とくに中央値および第1・第3四分位）をあわせてみること，また，外れ値にも注目することなどにより，変動の見方についての妥当性に配慮しなければならない。



[図 4.7-3] 時間帯別標本数

4. 語の密度

本編の語の密度の変動を，音声および画面について，五数要約値と平行箱型図をみることにより，探る。

4.1 音　　声

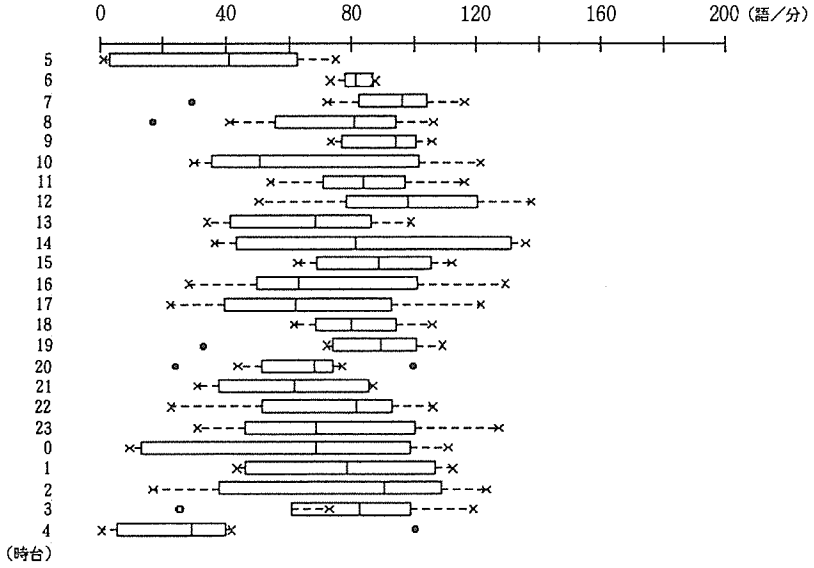
延べ・異なりの五数要約値を，それぞれ，[表 4.7-1] [表 4.7-2] に示す。また，それぞれの平行箱型図を，[図 4.7-4] [図 4.7-5] に示す。

［表 4.7-1］各時間帯の語の密度（音声・延べ）の五数要約値

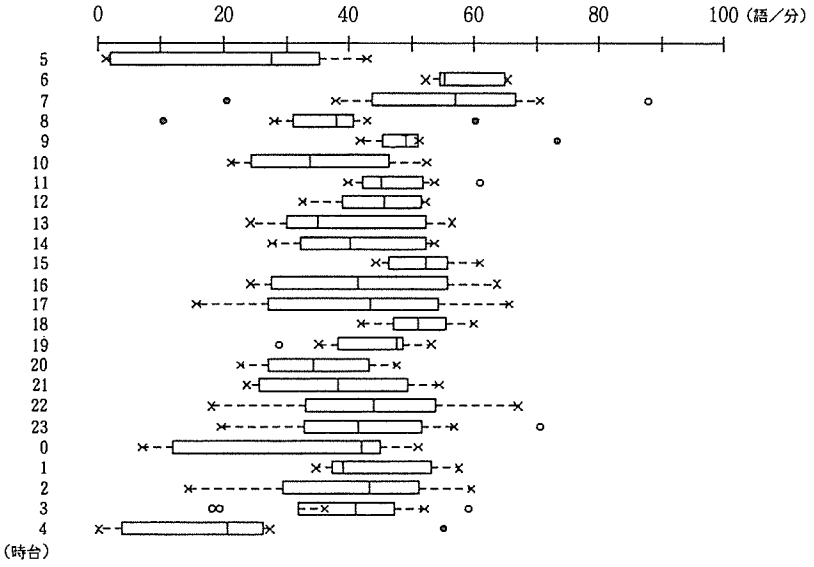
時間帯	最小値	第1四分位	中央値	第3四分位	最大値	四分位偏差	標本数
5時台	1.2	2.9	41.2	62.8	74.8	30.0	6
6	73.3	78.0	81.3	86.8	87.5	4.4	7
7	29.4	82.3	96.0	104.3	116.3	11.0	9
8	16.8	55.9	81.2	94.1	106.5	19.1	10
9	73.5	77.3	94.2	101.0	106.0	11.8	9
10	29.9	35.5	50.7	101.7	121.4	33.1	10
11	54.5	71.1	83.9	97.5	116.2	13.2	10
12	50.8	78.5	98.2	120.5	137.8	21.0	8
13	34.1	41.7	68.5	86.6	99.2	22.5	10
14	36.6	43.7	81.5	131.4	136.1	43.9	7
15	62.7	69.1	88.8	105.6	112.5	18.2	8
16	28.3	49.9	63.1	101.3	129.2	25.7	10
17	22.2	39.8	62.0	92.6	121.3	26.4	11
18	61.7	68.4	79.8	94.1	105.8	12.9	8
19	32.6	73.9	89.4	100.9	109.0	13.5	9
20	23.7	51.2	67.9	74.0	99.8	11.4	11
21	30.8	37.6	61.6	85.4	86.8	23.9	7
22	22.3	51.2	81.3	92.7	106.0	20.8	12
23	30.6	45.8	68.6	100.0	127.0	27.1	9
0	9.3	12.6	68.6	99.0	110.8	43.2	10
1	43.0	45.9	78.7	106.6	112.4	30.3	6
2	16.6	37.5	90.4	108.4	123.2	35.5	6
3	24.9	60.9	82.5	98.8	119.0	19.0	10
4	0.0	4.9	28.9	39.7	100.3	17.4	8

［表 4.7-2］各時間帯の語の密度（音声・異なり）の五数要約値

時間帯	最小値	第1四分位	中央値	第3四分位	最大値	四分位偏差	標本数
5時台	1.2	2.0	27.8	35.3	42.8	16.7	6
6	52.3	54.5	55.3	64.8	65.4	5.2	7
7	20.4	43.7	57.1	66.6	87.7	11.4	9
8	10.4	31.2	37.9	40.8	60.2	4.8	10
9	41.9	45.5	49.0	51.2	73.2	2.9	9
10	21.2	24.4	33.8	46.5	52.4	11.0	10
11	39.8	42.3	45.1	51.9	61.0	4.8	10
12	32.6	39.0	45.8	51.6	52.2	6.3	8
13	24.4	30.1	34.9	52.3	56.5	11.1	10
14	27.7	32.3	40.3	52.4	53.7	10.1	7
15	44.2	46.4	52.4	55.8	61.0	4.7	8
16	24.3	27.8	41.4	55.7	63.6	14.0	10
17	15.6	27.0	43.4	54.4	65.7	13.7	11
18	42.0	47.2	51.1	55.6	60.0	4.2	8
19	28.9	38.1	47.6	48.6	53.2	5.3	9
20	22.7	27.2	34.4	43.2	47.6	8.0	11
21	23.7	25.6	38.1	49.4	54.4	11.9	7
22	18.0	33.1	43.8	53.8	67.0	10.4	12
23	19.6	32.8	41.6	51.8	70.5	9.5	9
0	7.0	11.9	42.0	45.0	51.0	16.6	10
1	34.6	37.3	39.0	53.1	57.4	7.9	6
2	14.4	29.3	43.1	51.0	59.5	10.9	6
3	18.0	31.8	40.9	47.2	59.0	7.7	10
4	0.0	3.8	20.4	26.0	55.0	11.1	8

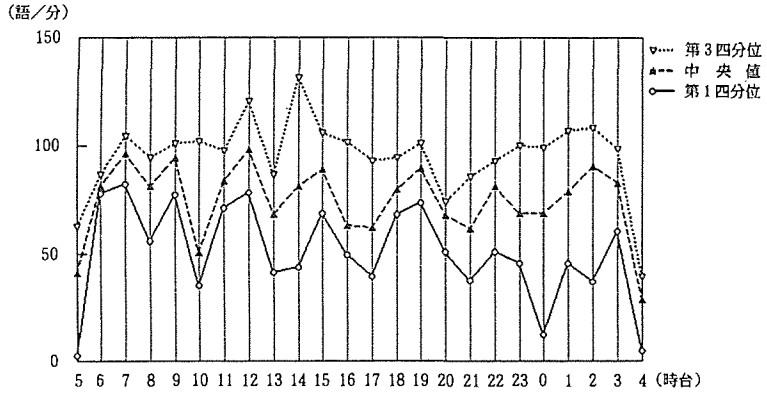


［図 4.7-4］各時間帯の語の密度（音声・延べ）の平行箱型図

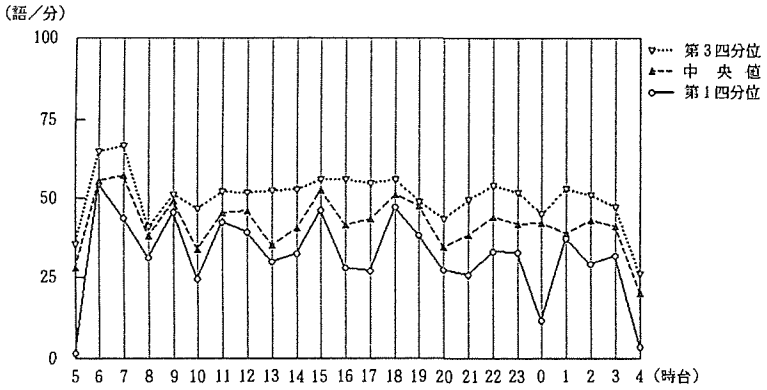


［図 4.7-5］各時間帯の語の密度（音声・異なり）の平行箱型図

このうち，中央値および第1・第3四分位の変動を折れ線グラフで示す。

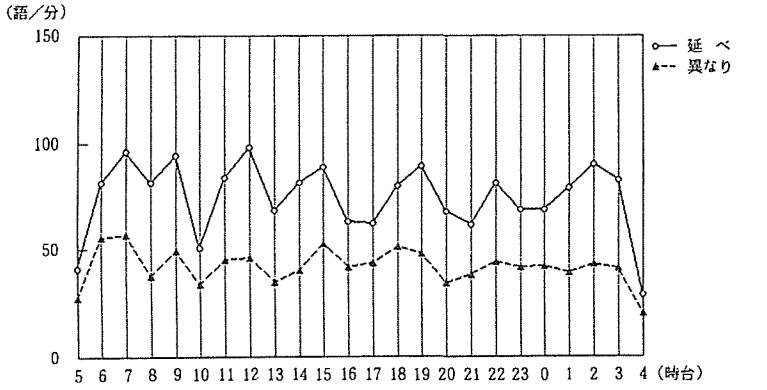


[図 4.7-6] 語の密度の日内変動（音声・延べ）



[図 4.7-7] 語の密度の日内変動（音声・異なり）

延べ・異なりとも，それぞれの第1四分位・中央値・第3四分位の3値は，深夜0時台近辺で若干の不対応があることや，第3四分位の変動が他の2値にくらべてやや緩慢であることなどがみられるものの，おおむね，同様の変動傾向を示しているといえよう。そこで，延べと異なり，それぞれの変動を，中央値で代表させることにする。



[図 4.7-8] 語の密度の日内変動（音声・中央値）

延べと異なりとも小刻みに変動し，また，ほぼ同様の変動を示しているといってよいだろう。ただし，1)延べでは12時台がもっとも大きいのに対して，異なりでは7時台がもっとも大きい，2)延べでは18時台よりも19時台の方が大きいが，異なりでは18時台の方が大きい，3)延べでは22時台・2時台に山がみとめられるが，異なりではその山がはっきりしない，などの違いがみとめられる。

いま，延べで語の密度の大きかった（グラフの山となった）時間帯について，その中央値よりも大きい標本をとりだしてみる。

時間帯	標本番号	番　組　名	チャンネル	番組のジャンル	語の密度（延べ）
7時台	(0094)	「やじうまワイド」	10	3	116.3
	(0146)	「モーニングコール」	8	1	106.6
	(0262)	「モーニングコール」	8	1	97.4
	(0358)	「ホットライン」	6	3	102.0
9時台	(0070)	「おはよう！ナイスデイ」	8	3	106.0
	(0130)	「ワイドショー・ルックルックこんにちは」	4	3	103.4
	(0134)	「誘われて二人旅」	10	3	95.0
	(0246)	「モーニングＥＹＥ」	6	3	98.5
12時台	(0075)	「おもいッきりテレビ」	4	5	137.8
	(0107)	「欽どこＴＶ!!」	10	5	123.4
	(0267)	「気まぐれ紀行」	12	5	107.4
	(0359)	「ひるのプレゼント」	1	5	111.6
15時台	(0119)	「タイム３」	8	3	96.6
	(0131)	「タイム３」	8	3	99.4
	(0203)	「３時にあいましょう」	6	3	112.5
	(0327)	「いきいきセカンドらいふ」	1	3	107.6
19時台	(0016)	「春満開!!超人気ＮＥＷマンザイお笑スター総登場」	4	5	109.0
	(0160)	「木曜スペシャル・世界の爆笑芸大賞！第１弾」	4	5	96.6
	(0268)	「パワーアップナイター・西武×ロッテ」	10	7	93.4
	(0292)	「火曜ナイター・巨人×広島」	4	7	105.2
22時台	(0096)	「浪漫街道」	12	2	83.8
	(0120)	「スター爆笑Ｑ＆Ａ」	4	5	106.0
	(0136)	「ＪＮＮニュースデスク '89」「新・び・じ・ん」	6	1	95.0
	(0212)	「村野武憲のくいしんぼう！万才・ミニガイド」	8	3	100.5
	(0260)	「ニュースステーション」	10	1	84.6
	(0296)	「ＪＮＮニュースデスク '89」	6	1	85.6
2時台	(0053)	「ＰＲＥ・ＳＴＡＧＥ１」	10	5	123.2
	(0149)	「ぱらだいむ '89・仕切り直せ！日本の政治」	4	1	95.4
	(0249)	「ＰＲＥ・ＳＴＡＧＥ１」	10	5	103.5

ジャンル凡例：1（報道系），2（教育・教養系），3（一般実用系），4（音楽系），
5（バラエティー系），6（ストーリー系），7（スポーツ系），8（その他）

同様に，延べで語の密度の小さかった（グラフで谷となった）時間帯について，その中央値よりも小さい標本をとりだしてみる。

時間帯	標本番号	番　組　名	チャンネル	番組のジャンル	語の密度（延べ）
５時台	(0177)	「ＳＯＵＮＤ　ＷＥＡＴＨＥＲ」	8	1	29.2
	(0261)	「ノーカット世界名作劇場・カサノバ」	6	6	1.2
	(0289)	「＊」	8	8	3.4
10時台	(0046)	「朝の連続ドラマ・花ちりめん」	4	6	36.3
	(0090)	「新五捕物帳」	4	6	29.9
	(0126)	「昭和の歌」	1	4	33.2
	(0206)	「奥さま劇場・さよならを教えて・最終回」	6	6	47.0
	(0258)	「朝の連続ドラマ・花ちりめん」	4	6	43.0
13時台	(0007)	「時代劇アワー・十手無用」	12	6	43.1
	(0035)	「おもいッきりテレビ」	4	5	68.4
	(0051)	「幸せのとなり」	1	6	39.2
	(0331)	「愛の劇場・鎌倉ペンション物語」	6	6	34.1
	(0347)	「私、単身赴任します」	6	6	42.5
17時台	(0023)	「医療最前線」	12	2	55.7
	(0047)	「３年Ｂ組金八先生３」	6	6	22.2
	(0099)	「大草原の小さな家」	1	6	39.8
	(0319)	「ペリーヌ物語」	12	6	23.5
	(0343)	「あひるのクワック」	12	6	60.0
21時台	(0104)	「ザ・ベストテン」	6	4	30.8
	(0208)	「ＮＨＫニュース・トゥデー」	1	1	49.4
	(0328)	「木曜ゴールデンドラマ・夫の遺言」	4	6	37.6
23時台	(0024)	「ニュースステーション」	10	1	39.6
	(0108)	「ニュース最終版」	8	1	60.6
	(0248)	「プロ野球ミニ情報」	4	7	52.0
	(0272)	「木曜劇場・ハートに火をつけて！」	8	6	30.6
０時台	(0049)	「ＭＡＬＴＡでナイト」	12	4	9.6
	(0109)	「金曜スペシャル・要録画!今から間に合うGW・大情報源」	6	5	60.8
	(0129)	「東京音楽祭情報」	6	3	9.3
	(0137)	「ジャストポップアップ」	1	4	13.6
	(0277)	「ジャストポップアップ」	1	4	39.4
４時台	(0037)	「ノーカット世界名作劇場・灰とダイヤモンド」	6	6	0.0
	(0077)	「木曜映画劇場・ピラミッド」	8	6	24.6
	(0125)	「ＭＴＶジャパン・ヘッドバンガーズ」	6	4	0.0
	(0265)	「サウンドスポット」	4	4	19.5

それぞれの時間帯に属する標本について，その番組のジャンルにおいて目立ったものを［表4.7-3］にまとめてみる。語の密度の大きい時間帯と小さい時間帯を特徴づけている標本についていえば，その番組のジャンルは対照的である。語の密度の大きい時間帯には，一般実用系（その多くはいわゆる「ワイドショー」），バラエティー系，報道系，スポーツ系が現れ，一日の中でもそれらの現れる時間帯は異なっている。一方，語の密度の小さい時間帯には，ストーリー系が多く現れ，深夜には音楽系・報道系も加わるという傾向がみられる。

［表 4.7-3］各時間帯の語の密度（音声・延べ）と特徴的な番組のジャンル

時間帯	語の密度：大	語の密度：小
5 時台		
7 時台	報道系・一般実用系	
9 時台	一般実用系	
10 時台		ストーリー系
12 時台	バラエティー系	
13 時台		ストーリー系
15 時台	一般実用系	
17 時台		ストーリー系
19 時台	バラエティー系・スポーツ系	
21 時台		
22 時台	報道系	
23 時台		報道系
0 時台		音楽系
2 時台	バラエティー系	
4 時台		音楽系・ストーリー系

なお，これらの時間帯のうち，以下の 3 標本は，［図 4.7-4］において極外値とされ，かつ，［表 4.7-3］の傾向に反する標本である。

時間帯	標本番号	番　組　名	チャンネル	番組のジャンル	語の密度（延べ）
7 時台	(S0238)	「アニメランド・ラ・セーヌの星」	12	6	29.4
19時台	(S0356)	「天空戦記シュラト」	12	6	32.6
4 時台	(S0205)	「ＰＲＥ・ＳＴＡＧＥ２」	10	5	100.3

これらは，おもに，その時間帯における番組のジャンルの一般的傾向から「外れている」ために極外値となったものと考えられる。たとえば，7 時台の極外値「アニメランド・ラ・セーヌの星」は，その時間帯の他の標本が報道系の 2 標本と一般実用系の 6 標本のみであるという中で，ただ一つのストーリー系の番組であり，したがって，「語の密度が大きい」というこの時間帯の一般的傾向から外れることになったものと考えられる。同様のことは，バラエティー系・スポーツ系の多い 19 時台の「天空戦記シュラト」（ストーリー系），音楽系・ストーリー系の多い 4 時台の「ＰＲＥ・ＳＴＡＧＥ２」（バラエティー系）にも，指摘できる。

4.2 画　面

延べ，異なりの五数要約値を，それぞれ，［表 4.7-4］［表 4.7-5］に示す。

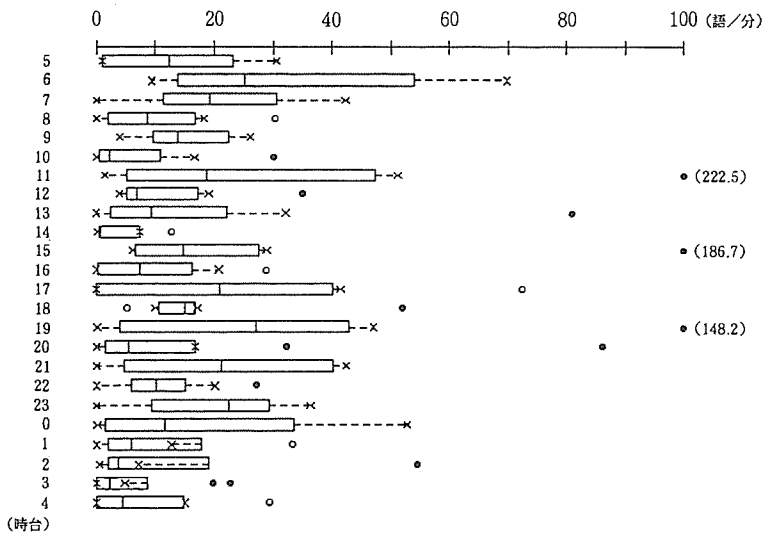
［表 4.7-4］各時間帯の語の密度（画面・延べ）の五数要約値

時間帯	最小値	第1四分位	中央値	第3四分位	最大値	四分位偏差	標本数
5	1.0	1.2	12.3	23.3	30.6	11.1	6
6	9.5	14.0	25.0	54.1	69.9	20.1	7
7	0.0	11.4	19.3	30.8	42.2	9.7	9
8	0.0	2.2	8.7	16.7	30.4	7.3	10
9	4.0	9.6	13.9	22.5	26.2	6.5	9
10	0.0	0.5	2.2	10.9	30.0	5.2	10
11	1.6	5.3	18.8	47.3	222.5	21.0	10
12	4.0	5.3	7.1	17.2	34.9	6.0	8
13	0.0	2.5	9.4	22.3	80.8	9.9	10
14	0.3	0.5	0.7	7.4	13.0	3.5	7
15	6.2	6.8	14.9	27.7	186.7	10.4	8
16	0.0	0.3	7.4	16.3	28.9	8.0	10
17	0.0	0.0	21.0	40.3	72.5	20.2	11
18	5.2	10.7	15.1	16.8	52.1	3.0	8
19	0.2	4.1	27.0	43.0	148.2	19.5	9
20	0.0	1.4	5.4	16.7	86.1	7.7	11
21	0.0	4.8	21.1	40.2	42.4	17.7	7
22	0.0	6.1	10.2	15.1	27.0	4.5	12
23	0.0	9.4	22.6	29.4	36.4	10.0	9
0	0.2	1.4	11.7	33.5	52.8	16.1	10
1	0.0	2.1	5.9	17.9	33.4	7.9	6
2	0.6	2.1	3.9	19.0	54.5	8.5	6
3	0.0	0.2	2.3	8.5	22.7	4.2	10
4	0.0	0.1	4.3	14.8	29.3	7.3	8

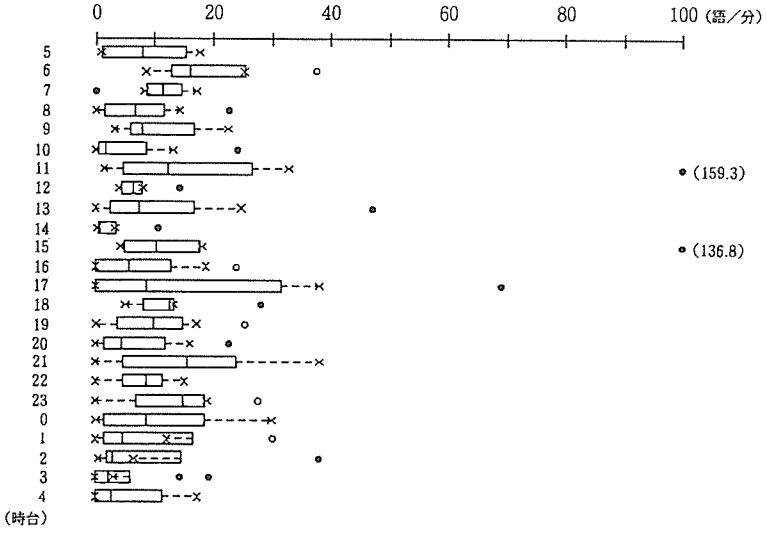
［表 4.7-5］各時間帯の語の密度（画面・異なり）の五数要約値

時間帯	最小値	第1四分位	中央値	第3四分位	最大値	四分位偏差	標本数
5	0.8	1.1	8.0	15.2	17.6	7.1	6
6	8.6	12.8	16.0	25.3	37.4	6.3	7
7	0.0	8.7	11.4	14.7	17.2	3.0	9
8	0.0	1.4	6.8	11.7	22.8	5.2	10
9	3.2	5.9	8.0	16.8	22.5	5.5	9
10	0.0	0.4	1.7	8.7	24.2	4.2	10
11	1.6	4.7	12.5	26.8	159.3	11.0	10
12	4.0	4.4	6.4	7.9	14.3	1.7	8
13	0.0	2.5	7.4	16.9	47.1	7.2	10
14	0.3	0.5	0.7	3.4	10.7	1.5	7
15	4.2	5.0	10.5	17.8	136.8	6.4	8
16	0.0	0.2	5.6	12.8	24.0	6.3	10
17	0.0	0.0	8.7	31.7	69.1	15.9	11
18	5.0	8.1	12.7	13.4	28.2	2.6	8
19	0.2	3.6	10.0	14.8	25.4	5.6	9
20	0.0	1.4	4.4	12.0	22.7	5.3	11
21	0.0	4.6	15.6	24.0	38.1	9.7	7
22	0.0	4.8	8.7	11.3	15.0	3.3	12
23	0.0	7.1	14.9	18.6	27.6	5.8	9
0	0.2	1.4	8.8	18.4	30.0	8.5	10
1	0.0	1.5	4.8	16.6	30.2	7.6	6
2	0.6	2.1	2.9	14.5	38.0	6.2	6
3	0.0	0.2	2.2	5.9	19.3	2.9	10
4	0.0	0.1	2.8	11.4	17.3	5.6	8

さらに，それぞれの平行箱型図を，［図 4.7-9］［図 4.7-10］に示す。

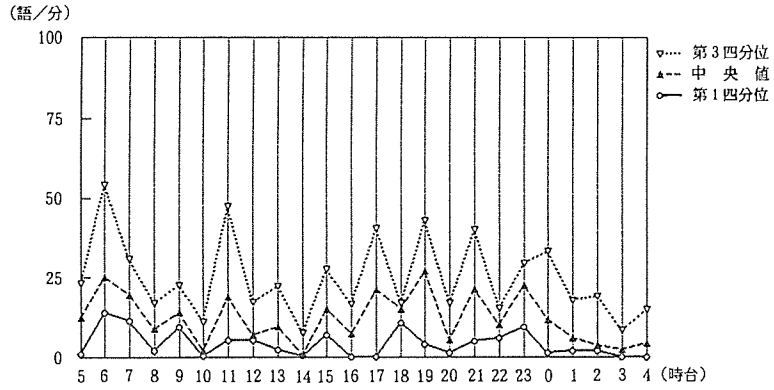


［図 4.7-9］各時間帯の語の密度（画面・延べ）の平行箱型図

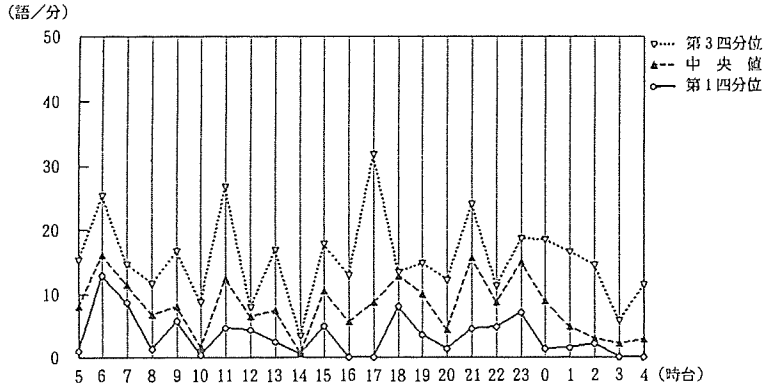


［図 4.7-10］各時間帯の語の密度（画面・異なり）の平行箱型図

このうち，中央値および第1・第3四分位の変動を折れ線グラフで示す。

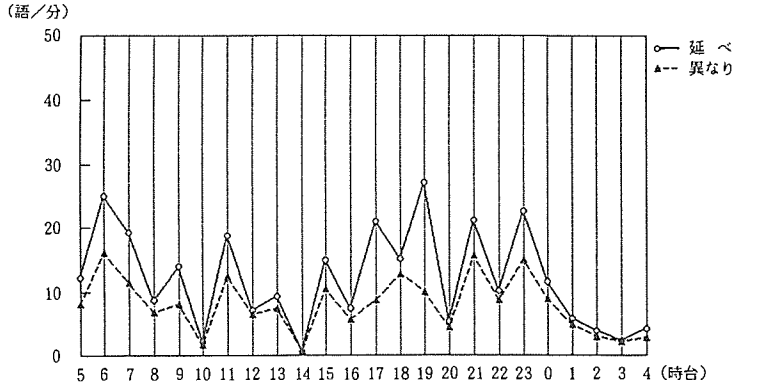


［図 4.7-11］語の密度の日内変動（画面・延べ）



［図 4.7-12］語の密度の日内変動（画面・異なり）

画面も，音声と同様，延べ・異なりのいずれにおいても，それぞれの第1四分位・中央値・第3四分位の3値は，ともに，おおむね，同様の変動傾向を示しているといえよう。そこで，延べと異なり，それぞれの変動を，中央値に代表させてみることにする。



［図 4.7-13］語の密度の日内変動（画面・中央値）

延べと異なりとは，17〜19時台を除いて，音声と同様，ほぼ同じ変動を示しているといってよいだろう。画面も小刻みな変動をくりかえすが，音声に比べて，6時台を中心とする朝の時間帯と19時台を中心とする晩の時間帯に，語の密度の大きい時間帯がまとまっているように思われる。

ここで，音声と同様に，延べで語の密度の大きかった（グラフの山となった）時間帯について，その中央値よりも大きい標本をとりだしてみる。

時間帯	標本番号	番　組　名	チャンネル	番組のジャンル	語の密度（延べ）
6時台	(0102)	「ルンルンあさ6生情報」	4	3	34.5
	(0274)	「ルンルンあさ6生情報」	4	3	54.1
	(0290)	「モーニングセンサー」	10	1	69.9
11時台	(0038)	「ＮＮＮ昼のニュース」	4	1	24.5
	(0158)	「天気予報」	12	1	51.3
	(0210)	「株式ニュース」	12	3	222.5
	(0326)	「新鮮卓急便」	6	3	22.2
	(0330)	「天気予報」	4	1	46.0
17時台	(0023)	「医療最前線」	12	2	40.0
	(0047)	「３年Ｂ組金八先生３」	6	6	41.5
	(0243)	「パラダイスＧＯ　ＧＯ!!」	8	5	72.5
	(0259)	「親子ゲーム」	6	6	22.9
	(0351)	「パオパオチャンネル」	10	5	40.3
19時台	(0240)	「連想ゲーム」	1	5	148.2
	(0268)	「パワーアップナイター・西武×ロッテ」	10	7	38.8
	(0292)	「火曜ナイター・巨人×広島」	4	7	47.2
	(0356)	「天空戦記シュラト」	12	6	29.9
21時台	(0148)	「教師びんびん物語Ⅱ」	8	6	39.5
	(0208)	「ＮＨＫニュース・トゥデー」	1	1	40.2
	(0320)	「ＮＨＫニュース・トゥデー」	1	1	42.4
23時台	(0008)	「ニュースステーション」	10	1	34.4
	(0248)	「プロ野球ミニ情報」	4	7	36.4
	(0316)	「ニュース最終版」	8	1	24.4
	(0324)	「トゥナイト」	10	5	23.5

ジャンル凡例：1（報道系），2（教育・教養系），3（一般実用系），4（音楽系），
5（バラエティー系），6（ストーリー系），7（スポーツ系），8（その他）

同様に，延べで語の密度の小さかった（グラフで谷となった）時間帯について，その中央値よりも小さい標本をとりだしてみる。

時間帯	標本番号	番　組　名	チャンネル	番組のジャンル	語の密度（延べ）
10時台	(0046)	「朝の連続ドラマ・花ちりめん」	4	6	0.5
	(0150)	「奥さま劇場・さよならを教えて」	6	6	0.6
	(0206)	「奥さま劇場・さよならを教えて・最終回」	6	6	0.0
	(0242)	「新・必殺仕事人」	10	6	0.4
	(0258)	「朝の連続ドラマ・花ちりめん」	4	6	1.4
14時台	(0067)	「こんにちは２時」	10	3	0.5
	(0247)	「妻と夫の実年時代」	1	1	0.6
	(0271)	「名作ドラマシリーズ・ガンコおやじに敬礼！」	6	6	0.3
20時台	(0092)	「志村けんのだいじょうぶだぁ」	8	5	0.0
	(0132)	「続・三匹が斬る！」	10	6	0.0
	(0152)	「火曜スーパーワイド市原悦子の七つの顔の女」	10	6	2.8
	(0164)	「ミュージックステーション」	10	4	1.4
	(0304)	「美術紀行」	1	2	2.0
３時台	(0121)	「ＬＡ　ＬＡＷ７人の弁護士」	8	6	0.0
	(0165)	「ＭＴＶジャパン・ゴールド」	6	4	1.0
	(0181)	「水野晴郎の特選シネマ・新・ウィークエンド」	4	6	0.2
	(0237)	「ＰＲＥ・ＳＴＡＧＥ２」	10	5	2.0
	(0305)	「冗談画報Ⅱ」	8	5	0.0

それぞれの時間帯に属する標本について，その番組のジャンルにおいて目立ったものを［表4.7-6］にまとめてみる。音声に比べて，標本数がさらに少なくなっているので，明確なことはいえないが，語の密度の大きい時間帯には報道系・一般実用系がよく現れ，小さい時間帯にはストーリー系がよく現れるようである。

［表 4.7-6］各時間帯の語の密度（画面・延べ）と特徴的な番組のジャンル

時間帯	語の密度：大	語の密度：小
6 時台	一般実用系	
10 時台		ストーリー系
11 時台	報道系・一般実用系	
14 時台		
17 時台	バラエティー系・ストーリー系	
19 時台	スポーツ系	
20 時台		ストーリー系
21 時台	報道系	
23 時台	報道系	
3 時台		バラエティー系・ストーリー系

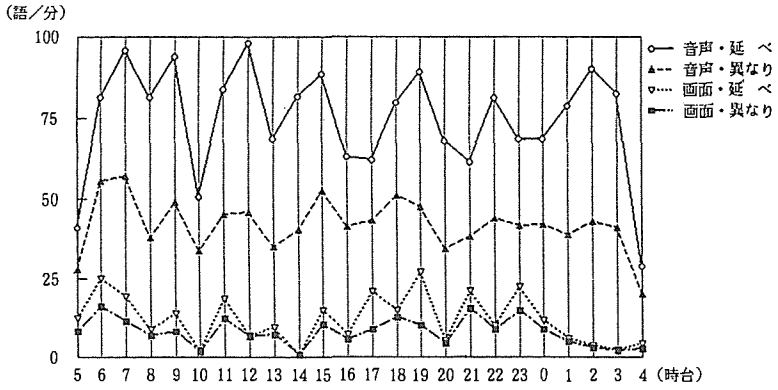
なお，これらの時間帯のうち，以下の５標本は，［図 4.7-9］において極外値とされ，かつ，［表 4.7-6］の傾向に反する標本である。

時間帯	標本番号	番 組 名	チャンネル	番組のジャンル	語の密度（延べ）
10時台	(S0126)	「昭和の歌」	1	4	30.0
20時台	(S0244)	「木曜ナイター・巨人×大洋」	4	7	86.1
	(S0288)	「ゴールデンナイター・ヤクルト×巨人」	10	7	32.3
3時台	(S0345)	「ＰＲＥ・ＳＴＡＧＥ２」	10	5	22.7
	(S0293)	「夜の時代劇・大江戸捜査網」	12	6	19.7

10時台の「昭和の歌」は，この時間帯の他の標本がストーリー系と一般実用系のみで，唯一の音楽系の標本であることから，音声でもみたように，その時間帯における番組のジャンルの一般的傾向から「外れている」ために極外値となったものと考えられる。しかし，20時台の「木曜ナイター・巨人×大洋」「ゴールデンナイター・ヤクルト×巨人」は，この時間帯の番組構成から外れているとも思えず，［図4.7-9］では極外値とされているが，「外れ値」とはすべきでないように思われる。また，3時台の「ＰＲＥ・ＳＴＡＧＥ２」「夜の時代劇・大江戸捜査網」は，それぞれ，この時間帯を特徴づける番組のジャンル（バラエティー系・ストーリー系）に一致しているにもかかわらず極外値となっている。ただし，後者の標本(0293)は，「第2部第1章　5.3」で述べたように，番組制作上のクレジットがあたったものであり，「外れ値」と考えてもよさそうである。

4.3 音声と画面

音声と画面の語の密度について，それぞれの延べと異なりの変動を，中央値を代表値として，［図4.7-14］に示す。



［図4.7-14］語の密度の日内変動（中央値）

すでにみたように，音声・画面ともに，小刻みな変動を示している。そして，おおまかにいって，深夜（0～4時台）以外では，両者はおおむね同じような変動を示しているように思われる。深夜の時間帯では，音声の語の密度はある程度の値を保っているが，画面の語の密度は非常に小

さくなっているのである。ただ，日中でも，いくつかの時間帯で相違が観察される。たとえば，音声では，12時台（延べ），7時台（異なり）がもっとも大きいのに対して，画面では，19時台（延べ），6時台（異なり）がもっとも大きい。加えて，音声では，6→7時台，11→12時台，13→14時台と，語の密度が増えているのに，同じ局面で，画面の語の密度は減っているのである。

これらの，対応・不対応が，どのような要因にもとづくのかについては，今後の課題である。ただ，すでにみたように，番組のジャンルとそれが放送される時間帯との間にある関係を手がかりにすることはできるであろう。［表4.7-7］にみるように，各時間帯で放送される番組のジャンルにはかたよりがある。たとえば，11→12時台において，音声の語の密度が増え，画面の語の密度が減っていることと，この時間帯で，バラエティー系の標本数が増え，報道系・一般実用系の標本数が減っていることとを，関連づけることは，妥当であろう。バラエティー系の増加が音声の語の密度を増加させ，報道系・一般実用系の減少が画面の語の密度を減少させた，と考えるのである。しかし，同様に，音声の語の密度が増え，画面の語の密度が減っている13→14時台では，逆に，バラエティー系の標本数が減り，報道系・一般実用系が増えているのである。このことは，たとえば，同じ報道系でも，11時台と14時台とでは，音声と画面との量的な関係が異なるのかもしれない，という推測をもたらす。しかし，今回の標本数では，そこまでのこまかい検討は困難である。前述の対応・不対応が現実を正しく反映したものであるかという基本的な問題をはじめとして，今後の課題である。

［表4.7-7］各時間帯の番組のジャンルの構成

時間帯	報道系	教育・教養系	一般実用系	音楽系	バラエティー系	ストーリー系	スポーツ系	その他
5	2	1	1	0	0	1	0	1
6	4	0	3	0	0	0	0	0
7	2	0	6	0	0	1	0	0
8	0	0	6	0	0	4	0	0
9	0	1	8	0	0	0	0	0
10	0	0	3	1	0	6	0	0
11	3	0	6	1	0	0	0	0
12	0	0	0	0	7	1	0	0
13	0	2	1	0	2	5	0	0
14	3	0	2	0	0	2	0	0
15	1	0	5	0	1	0	0	1
16	0	0	3	0	1	5	0	1
17	0	1	0	0	4	6	0	0
18	7	0	0	0	1	0	0	0
19	1	0	1	0	4	1	2	0
20	0	1	0	3	2	2	2	1
21	4	0	0	1	0	2	0	0
22	4	3	2	0	1	2	0	0
23	5	0	1	0	1	1	1	0
0	2	0	1	3	2	0	2	0
1	1	0	1	1	1	1	1	0
2	1	0	0	0	3	2	0	0
3	0	0	0	1	3	4	2	0
4	0	0	0	2	1	5	0	0

5．まとめ

音声および画面の語の密度（延べ・異なり）が一日をとおしてどのように変動するかを，NHK教育を除く6チャンネルの，平日の番組本編を対象として，探った。その結果，次のような傾向がみられた。

(1) 音声は，一日をとおして，小刻みに増減をくりかえす。

(2) 画面も，小刻みな変動をくりかえすが，音声に比べれば，日中と深夜に小さく，朝晩の時間帯に大きな値を示す。

(3) 音声と画面との変動は，深夜を除いて，おおむね対応しているが，日中でも，いくつかの時間帯で，その増減の傾向に相違がみられる。

(4) 語の密度の大きい時間帯と小さい時間帯とでは，そこで放送される番組のジャンルが異なっている。

時間帯という言語外的な側面と語の密度という言語内的な側面とが直接の関係をもつということは，たとえば，朝のあわただしい時間帯ではやく発話し，夜の時間帯ではゆっくりと発話する，などということを想起させる（もちろん，語の密度と発話の速度とは同義というわけではないが)。しかし，そのようなことを明らかにするためには，ジャンルを同じくする番組，あるいは，もっと厳密に，同じ番組（で異なる複数の時間帯に放送されるもの）について，その語の密度を比較することが必要になろう。ここでは，傾向(4)に示すように，時間帯と語の密度との関係は，番組のジャンルを間においた間接的なものではないのか，ということを指摘するにとどめる。

第8章　放送曜日

1．目　　的

テレビ放送は，どのチャンネルでも，一週間を一つの周期として行われている。ここでは，その一週間を構成する各曜日によって，その語彙の側面，とくに番組本編の語の密度に，どのような異同がみられるかを探る。

テレビ放送の番組は，番組改編期間中に継続して放送される「レギュラー番組」とそうでない「単発番組」に大別される。また，レギュラー番組は，毎日（あるいは月曜から金曜まで）同じ時間帯に放送される「ベルト番組」と，同じ曜日の同じ時刻に週一回放送される「週一番組」とに分けられる[22]。テレビ放送の語彙を，番組が放送される「曜日」とのかかわりにおいてとらえようとするとき，このような番組の放送パターンの違いを考慮することは大事であろう。たとえば，ベルト番組は曜日による語彙の違いを縮小する方向にはたらき，週一番組は拡大する方向にはたらく，というようなことも考え得るからである。しかし，ここでの分析は，そのような事情を勘案する前段階のものであり，すべての番組（標本）を対象として行うことにする。

なお，曜日区分は，各曜日の午前5時から翌日の午前5時までを1曜日とする。

2．デ ー タ

音声および画面ともに「本編」のデータを対象とする。

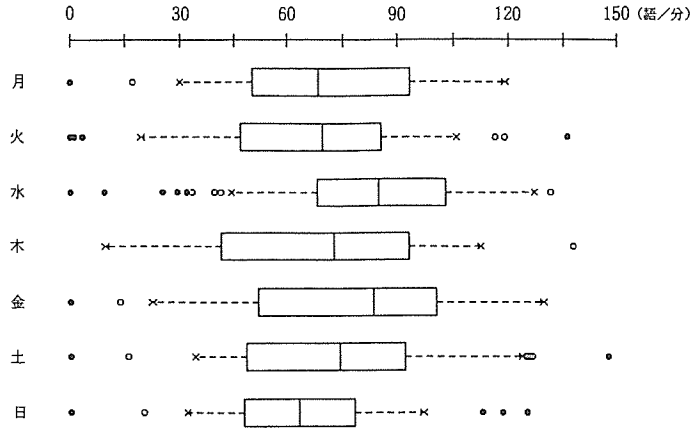
3．曜日別による分布の概観

まず，曜日別にみた音声の語の密度（延べ）を，［表4.8-1］に示す。平行箱型図によって示したものが［図4.8-1］である。

［表4.8-1］曜日別にみた語の密度（音声・延べ）

曜日	最小値	第1四分位	中央値	第3四分位	最大値	四分位偏差	標本数
月	0.0	50.4	68.4	93.4	119.0	21.5	47
火	0.0	47.0	69.6	85.4	136.1	19.2	51
水	0.0	68.0	85.0	102.8	131.4	17.4	44
木	9.6	41.7	72.7	92.7	137.8	25.5	48
金	0.0	52.0	83.4	100.2	129.2	24.1	51
土	0.0	48.3	74.0	91.6	147.4	21.7	46
日	0.0	47.8	62.8	78.0	124.9	15.1	44

22）　日本民間放送連盟編『放送ハンドブック』(1991，東洋経済新報社)，pp.235-238



［図 4.8-1］曜日別の語の密度（音声・延べ）の平行箱型図

中央値でみると，水曜と金曜の値が高く，日曜が低い。最も値が高い 85.0 語の水曜と，最も低い 62.8 語の日曜の間には 1 分あたり約 23 語の差がある。他の曜日は 70 語前後を示す。

中央値の大きい水曜と金曜をみると，第 3 四分位はほぼ同じ値だが，第 1 四分位の値ではかなりの差がある。また金曜は，曜日のなかでも特に中央値の位置が第 3 四分位に極端に寄っていることがよみとれる。

木曜は，他の曜日と異なり，中央値が高い前後の水曜・金曜に比べかなり小さくなる，語数 0 のデータがない，極外値がないなどの特徴を示す。

この他にも，第 1 四分位から第 3 四分位までの中央部 50%のデータの幅は，月曜：50〜93 語，火曜：47〜85 語，水曜：68〜102 語，木曜：41〜92 語，金曜：52〜100 語，土曜：48〜91 語，日曜：47〜78 語と，各曜日でかなりの異同があることがわかる。

ただし，各曜日の標本数はかならずしも十分ではないので，この結果については，なお，標本数を多くするなどして，検証していく必要がある。

以下では，平日の各曜日を「平日」としてまとめ，これと，「土曜」「日曜」の三者について，それぞれの語の密度を比較していくことにする。平日・土曜・日曜という区別は，ＮＨＫの「国民生活時間調査」（「第 4 部第 12 章　視聴行動」参照）でも採用されている区分である。なお，土曜と日曜とを「週末」として一括することも考えられるが，両者の「番組のジャンル」の内訳は，母集団においても，かならずしも一致していないので，いまは，別にあつかうことにする。

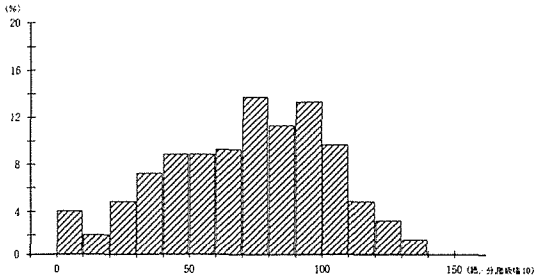
4．平日・土曜・日曜別による分布の概観

4.1 ヒストグラム

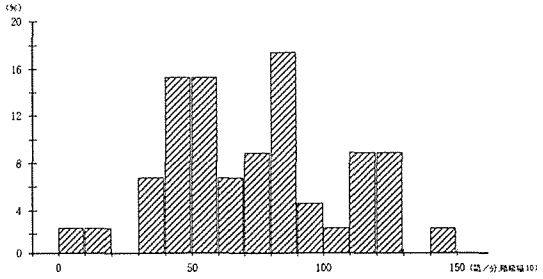
平日・土曜・日曜ごとに本編の音声と画面について，語の密度（延べ／異なり）をヒストグラムで描いたものが，［図 4.8-2〜図 4.8-13］である。（階級幅は 10 語）

まず，音声の語の密度（延べ）をみてみる。［図 4.8-2〜4.8-4］

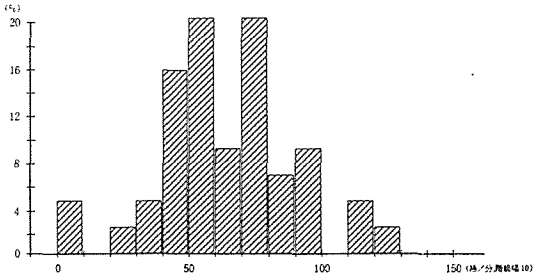
平日・土曜・日曜ごとに分布の様相は少し異なっている。平日は，70〜90語台にかけて山をもつ分布をなす。土曜・日曜は，40〜50語台に山があるともみえるが，80語台あるいは70語台の度数も大きく，分布の形が明確でない。



［図4.8-2］平日の語の密度（音声・延べ）



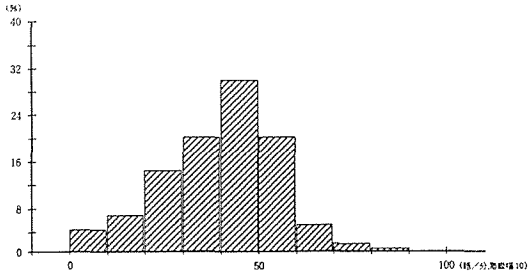
［図4.8-3］土曜の語の密度（音声・延べ）



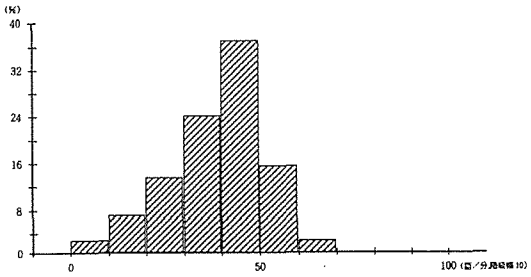
［図4.8-4］日曜の語の密度（音声・延べ）

音声の語の密度（異なり）をみてみる。［図4.8-5〜4.8-7］

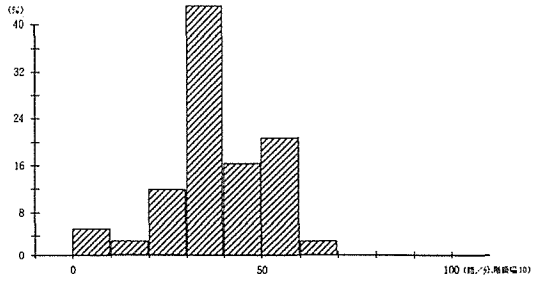
平日は，中央の40語台に尖りをもち，左に長い裾を引く分布である。土曜の分布も，これによく似ている。日曜もおおむね同様の分布形ともみえるが，30語台が突出していることが目立つ。



［図4.8-5］平日の語の密度（音声・異なり）



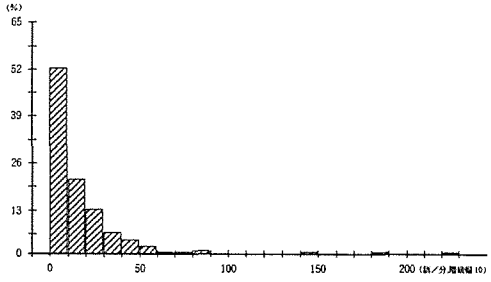
[図 4.8-6] 土曜の語の密度（音声・異なり）



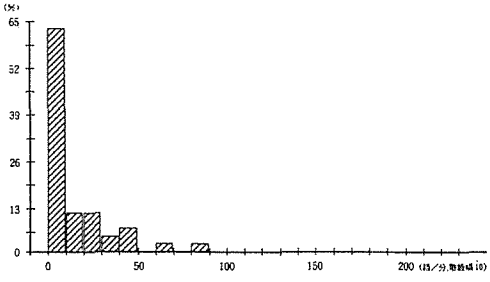
[図 4.8-7] 日曜の語の密度（音声・異なり）

画面の語の密度（延べ）をみてみる。[図 4.8-8〜4.8-10]

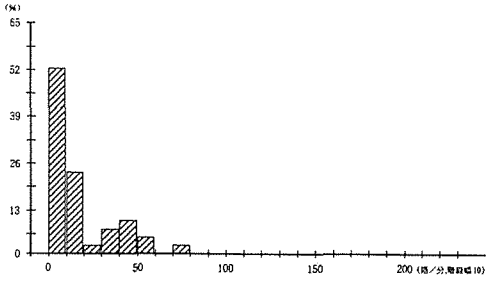
基本的には，平日・土曜・日曜はともに，右に長く裾を引くL字型分布である。平日の散らばりが大きいのは，水曜の標本に極端に値の大きいデータが含まれていたためである。日曜のL字型分布は，やや崩れている。



[図 4.8-8] 平日の語の密度（画面・延べ）



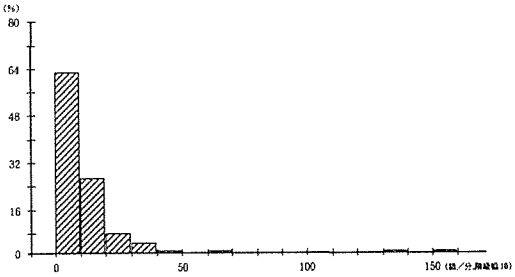
[図 4.8-9] 土曜の語の密度（画面・延べ）



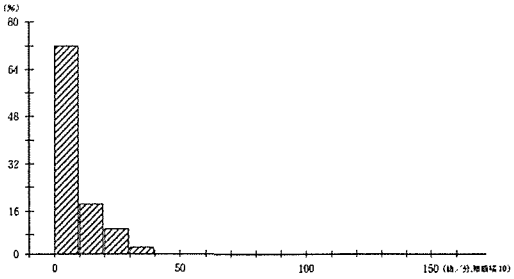
[図 4.8-10] 日曜の語の密度（画面・延べ）

画面の語の密度（異なり）をみてみる。[図 4.8-11〜4.8-13]

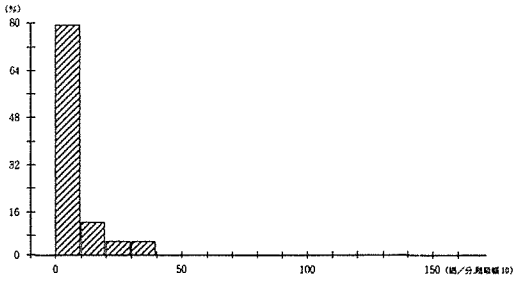
平日・土曜・日曜とも， 0〜10 語未満を頂点とするL字型分布になっている。異なりにおいても，それぞれのあいだに大きな差は認められない。



［図 4.8-11］平日の語の密度（画面・異なり）



［図 4.8-12］土曜の語の密度（画面・異なり）



［図 4.8-13］日曜の語の密度（画面・異なり）

4.2　五数要約値と箱型図

平日・土曜・日曜について，本編の音声および画面の，語の密度（延べ・異なり）の分布を，平行箱型図により比較したものが，［図 4.8-14〜図 4.8-17］である。それぞれの五数要約値は［表 4.8-2］の通り。

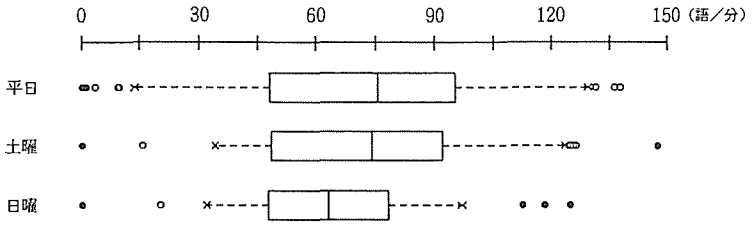
［表 4.8-2］語の密度の五数要約値（本編）

	最小値	第1四分位	中央値	第3四分位	最大値	四分位偏差	標本数
音声・延べ							
1)平日	0.0	48.2	75.4	95.1	137.8	23.5	241
2)土曜	0.0	48.3	74.0	91.6	147.4	21.7	46
3)日曜	0.0	47.8	62.8	78.0	124.9	15.1	44
音声・異なり							
1)平日	0.0	30.2	41.6	50.6	87.7	10.2	241
2)土曜	0.0	31.4	41.3	47.8	61.3	8.2	46
3)日曜	0.0	31.5	38.5	46.9	60.6	7.7	44
画面・延べ							
1)平日	0.0	2.7	9.0	21.1	222.5	9.2	241
2)土曜	0.0	2.4	6.5	20.9	86.8	9.3	46
3)日曜	0.0	3.1	8.8	22.5	73.0	9.7	44
画面・異なり							
1)平日	0.0	2.3	6.8	13.5	159.3	5.6	241
2)土曜	0.0	1.6	5.4	12.6	37.3	5.5	46
3)日曜	0.0	2.3	6.2	9.5	38.3	3.6	44

音声の語の密度（延べ）をみてみる。[図4.8-14]

中央値でみると，平日と土曜は75語程度と近い値を示すが，日曜は約63語と，前二者に比べて13語ほど小さい。週末といっても，土曜は，この点では，平日に近い。

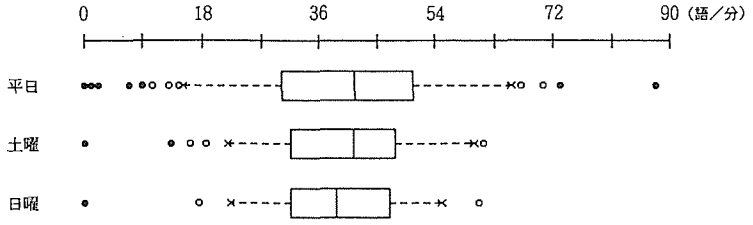
この関係は，箱型図の分布においても，同様である。日曜は，平日と土曜に比べて，四分位範囲（箱の長さ），すなわち，データの散布度が小さい。



[図4.8-14] 語の密度（音声・延べ）の平行箱型図

音声の語の密度（異なり）をみてみる。[図4.8-15]

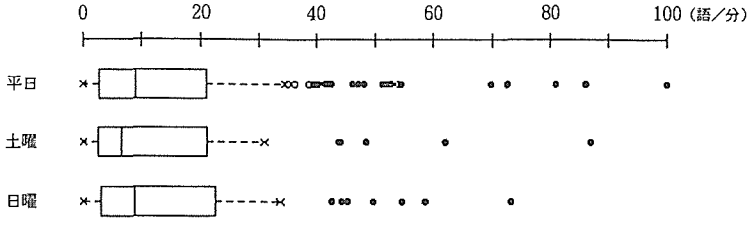
基本的には，延べと同様の傾向をみることができる。平日と土曜の中央値は，約41語で，ほとんど同じであり，それに比べて，日曜は，38語余りで，3語ほど小さい。ただ，箱型図をみると，土曜の四分位範囲が日曜に近くなっており，その点で，延べとは異なった傾向をみせている。



[図4.8-15] 語の密度（音声・異なり）の平行箱型図

次に，画面の語の密度（延べ）をみてみる。[図4.8-16]

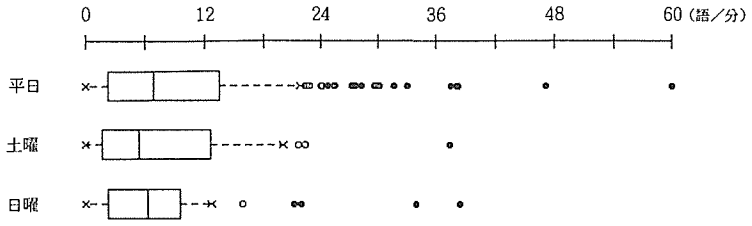
中央値をみると，音声とは違って，平日と日曜の値が約9語で，土曜の値が6.5語と小さい。箱型図をみると，平日・土曜・日曜で四分位範囲はほとんど変わらない。中央値の位置はみな第1四分位寄りで，この区域にデータが集中していることを示す。



[図4.8-16] 語の密度（画面・延べ）の平行箱型図

画面の語の密度（異なり）をみてみる。[図4.8-17]

中央値でみると，平日・日曜・土曜の順に少なくなるが，その差は約1語と小さい。箱型図でみると，四分位範囲は日曜が小さく，ひげも短い。中央値は箱の中央にあるが，値の小さい方のひげが短いために，実際には，L字型の分布である。



[図4.8-17] 語の密度（画面・異なり）の平行箱型図

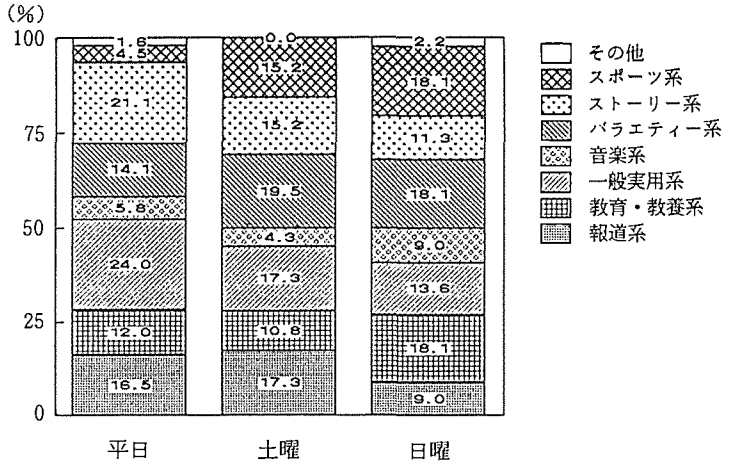
5．まとめ

以上，曜日を「平日」「土曜」「日曜」に三区分し，語の密度にどのような異同がみられるかを概観してきた。その結果，以下のような傾向がみられた。

(1) 音声の語の密度（延べ・異なり）では，平日と土曜とが大きく，日曜が小さい。

(2) 画面の語の密度（延べ・異なり）では，平日と日曜とが大きく，土曜が小さい。

ここで注目されるのは，音声・画面とも平日の語の密度が大きいということ，そして，同じ週末といっても，音声の語の密度では，土曜は平日と変わらず，画面の語の密度では，日曜は平日と変わらない，ということである。このように，平日・土曜・日曜という三つのグループには，語の密度という側面からみて，それぞれの特色がみられるようである。ただし，この傾向については，標本数が少ないことから，なお検証していくことが必要である。



[図4.8-18] 平日・土曜・日曜別による番組分類の割合

土曜と日曜との違いについては，両者の番組構成の違いがかかわっているものと考えられる。［図4.8-18］によれば，同じ週末とはいっても，土曜と日曜とで，その番組構成は同じではない。もちろん，この違いが，上述の傾向にどのようにかかわっているかについては，なお，検討していかなければならない。また，土曜・日曜の標本数が平日に比べて少ないことも考慮しなければならない。ただ，土曜と日曜を「週末」としてひとくくりに扱い，平日と比較することは，それぞれのもつ独自の様相をとらえられなくなるおそれがあるという点で，避けるべきであろう。要するに，各曜日ごとの比較が必要であり，そのためには，なお多くの標本が必要であるということである。

第9章　番組の長さ

1．目　　的

番組には，30分番組，1時間番組，2時間番組というように，番組の長さ（放送時間）による違いがある。ここでは，この，番組の長さの違いという側面が，語彙の側面となんらかの関係をもっているのか，ということを探る。

番組の長さの影響を受けそうな語彙的側面としては，音声および画面の語の密度，名詞の比率などが考えられる。番組が短ければ，それだけ，かぎられた時間の中で，より多くの語を発しようとするのではないか，また，音声とあわせて，画面上の文字を多用するのではないか，さらに，文章・談話の骨組み以外の余分なことばを抑え，結果として，名詞の比率が高まるのではないか，と考えられるからである[23]。

2．デ ー タ

2.1 対　　象

番組本編のデータを対象とする。ただし，話者数が0である以下の8標本（標本番号，番組名，放送分数）と，番組としては不完全な1標本（0289）を除き，322標本を対象とする。

（0037）「ノーカット世界名作劇場ポーランド映画傑作選・灰とダイヤモンド」，118
（0100）「英語会話」,30
（0112）「N響アワー」,60
（0125）「ＭＴＶジャパン・ヘッドバンガーズ」，115
（0135）「レニングラード・バレエ・白鳥の湖」，130
（0172）「芸術劇場・ミュージック・フランセーズ・フランス室内楽の精華」，103
（0207）「ぼくの絵わたしの絵」，5
（0340）「芸術劇場・サイモンフレストンオルガン演奏会」，83

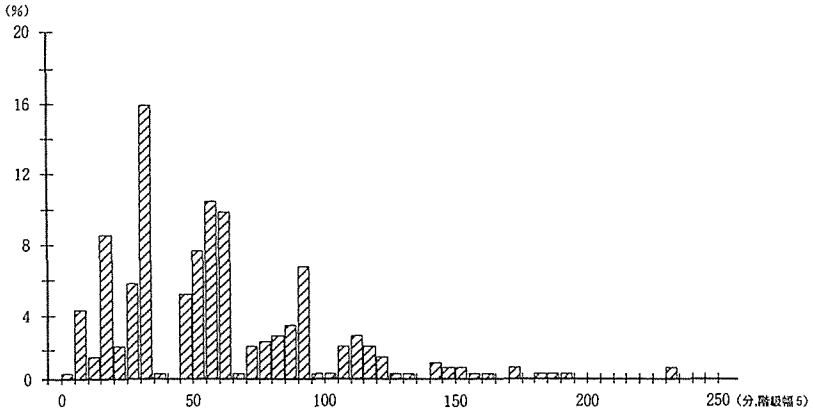
また，番組の長さは，㈱ビデオ・リサーチ『テレビ視聴率速報』の「放送分数」を利用した。これには，民放の場合，ＣＭ時間も含まれている。

2.2 長さの区分

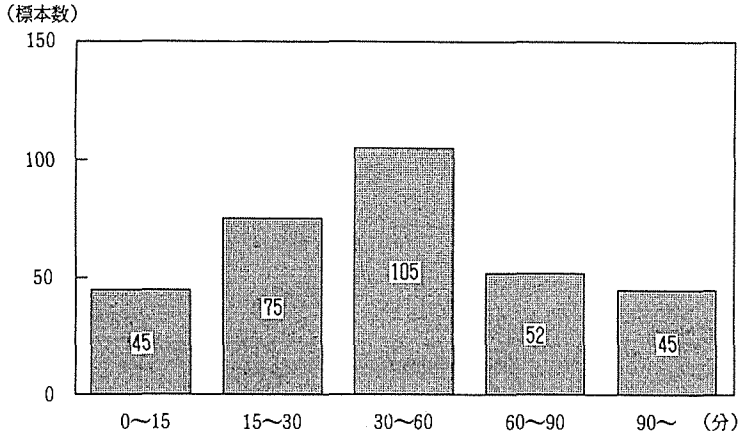
［図4.9-1］に，われわれの標本の，そのもとになった番組の放送分数の，相対度数分布を示す（階級幅は5分）。

テレビの番組は，30分番組をはじめとして，いくつかの放送分数（長さ）に集中していることがわかる。ここでは，この度数分布および標本数を考慮して，対象とする標本を，15分以内（以下“0〜15分”と記す），15分超30分以内（同“15〜30分”），30分超60分以内（同“30〜60分”），60分超90分以内（同“60〜90分”），90分超（同“90〜分”）の5つに区分し，比較することとする。［図4.9-2］に，この5つの区分のもとに，番組の長さの度数分布を示す。

23）　名詞の比率については，樺島忠夫『日本語のスタイルブック』（1979，大修館書店）による。樺島は，このほか，指示語の比率も小さくなることを指摘している。



[図 4.9-1] 放送分数の相対度数分布



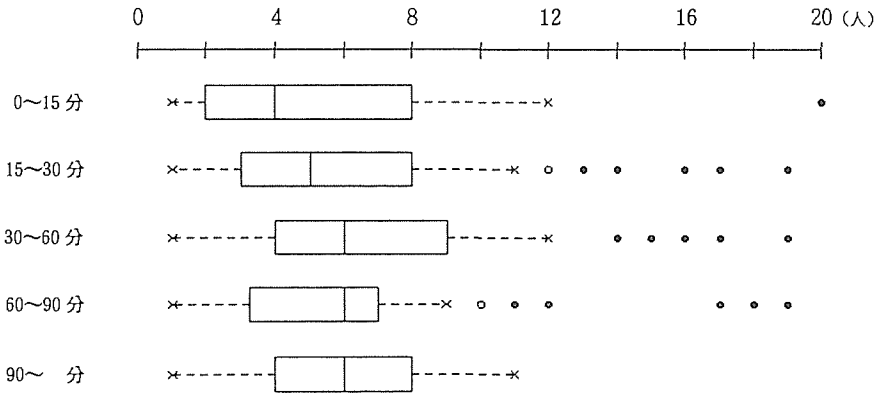
[図 4.9-2] 番組の長さの度数分布

2.3 話者数の影響

番組の長さが長くなるにつれて出演者（話者）数が増え，かつ，話者が多いほど音声の語の密度も大きいのなら，番組の長さと語の密度との関係をみる場合，話者数の影響を排除しなければならない。そこで，まず，上述の番組の長さごとに，話者数の五数要約値（[表 4.9-1]），および，その平行箱型図（[図 4.9-3]）を示す。

[表 4.9-1] 番組の長さごとの話者数の五数要約値

番組の長さ	最小値	第1四分位	中央値	第3四分位	最大値	四分位偏差	標本数
0〜15分	1.0	2.0	4.0	8.0	20.0	3.0	45
15〜30分	1.0	3.0	5.0	8.0	19.0	2.5	75
30〜60分	1.0	4.0	6.0	9.0	19.0	2.5	105
60〜90分	1.0	3.3	6.0	7.0	19.0	1.9	52
90〜分	1.0	4.0	6.0	8.0	11.0	2.0	45

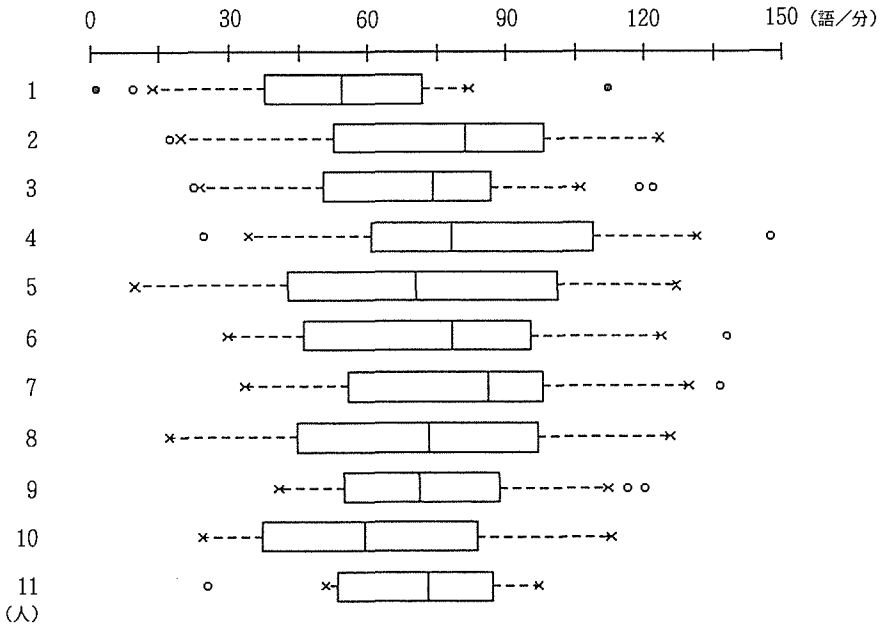


［図 4.9-3］番組の長さごとの話者数の平行箱型図

次に，話者数によって音声の語の密度（延べ）がどう変わるかを，同様に，五数要約値（［表 4.9-2］）と平行箱型図（［図 4.9-4］）とによってみる。平行箱型図には，標本数が 10 以上である，話者数 11 人以下について記す。

［表 4.9-2］話者数ごとの語の密度（音声・延べ）の五数要約値

話者数	最小値	第 1 四分位	中央値	第 3 四分位	最大値	四分位偏差	標本数
1	1.2	37.7	54.4	71.8	112.2	17.1	22
2	16.8	52.7	80.9	98.1	123.2	22.7	30
3	22.2	50.2	74.1	86.6	121.8	18.2	40
4	24.6	60.9	77.9	108.8	147.4	24.0	36
5	9.6	42.4	70.4	101.3	127.0	29.4	33
6	29.4	45.8	78.2	95.1	137.8	24.6	29
7	33.2	55.3	85.8	97.7	136.1	21.2	34
8	16.6	44.4	73.0	96.7	125.2	26.1	30
9	40.1	54.4	70.8	88.0	119.4	16.8	19
10	23.7	36.6	58.8	83.4	112.4	23.4	15
11	24.9	53.1	72.8	86.7	96.6	16.8	10
12	33.1	52.0	67.0	85.4	94.6	16.7	7
13	67.4	67.4	71.5	75.6	75.6	4.1	2
14	69.6	69.6	75.8	81.9	81.9	6.2	2
15	106.0	106.0	106.0	106.0	106.0	0.0	1
16	94.5	94.5	94.9	95.2	95.2	0.4	2
17	45.0	59.6	77.0	91.0	103.4	15.7	5
18	84.6	84.6	84.6	84.6	84.6	0.0	1
19	62.0	62.0	64.9	92.6	92.6	15.3	3
20	58.6	58.6	58.6	58.6	58.6	0.0	1



［図 4.9-4］話者数ごとの語の密度（音声・延べ）の平行箱型図

番組の長さと話者数との関係は，中央値でみれば，“0〜15 分” から “30〜60 分” までは 4 人から 6 人へと増加するが，それ以上では 6 人で変わらない。また，話者数と音声の語の密度との関係には，明確な相関を見出し得ない。これらのことから，番組の長さと音声の語の密度との関係をみる場合，話者数の影響は，とりあえず，考慮しなくてもよさそうである。

2.4 ジャンルの影響

［表 4.9-3］は，番組の長さの区分と，番組のジャンルとのクロス表である。

［表 4.9-3］番組の長さと番組のジャンル

番組の長さ	報道系	教育・教養系	一般実用系	音楽系	バラエティー系	ストーリー系	スポーツ系	その他
0〜15 分	11	12	13	1	0	4	1	3
15〜30 分	8	18	18	4	9	14	4	0
30〜60 分	16	10	21	7	23	27	1	0
60〜90 分	14	0	18	2	8	3	7	0
90〜分	3	0	2	1	11	14	13	1

これをみると，各ジャンルの標本の分布はけっして一様ではない。たとえば，報道系・一般実用系では “90〜分” が少なく，教育・教養系で 60 分を超えるものはない。逆に，バラエティー系・ストーリー系では “0〜15 分” が少なく，スポーツ系では 60 分以下のものが少ない。番組のジャンルによって語の密度が比較的明確に異なる（「第 4 部第 5 章　番組のジャンル」参照）ことを考えれば，このような分布のかたよりには注意しなければならない。そこで，以下では，

標本数がとくに少ない音楽系・スポーツ系・その他を除いた5つのジャンルについて，検討することにする。ただし，報道系・一般実用系は“0〜15分”から“60〜90分”まで，教育・教養系は“0〜15分”から“30〜60分”まで，バラエティー系は“15〜30分”から“90〜分”までの範囲を，ストーリー系は，“15〜30分”“30〜60分”“90〜分”の3つの区分を，それぞれ，分析の対象とする。

3．音声の語の密度

各ジャンルごとに，番組の長さからみた，音声の語の密度（延べ）の五数要約値を求め（[表4.9-4a]〜[表4.9-4e]），また，平行箱型図（[図4.9-5a]〜[図4.9-5e]）に示す。

[表4.9-4a] 番組の長さごとの語の密度（音声・延べ）の五数要約値－報道系－

番組の長さ	最小値	第1四分位	中央値	第3四分位	最大値	四分位偏差	標本数
0〜15分	29.2	57.2	70.4	77.2	113.0	10.0	11
15〜30分	31.8	68.9	71.7	103.8	124.9	17.5	8
30〜60分	49.4	69.2	80.0	85.6	95.0	8.2	16
60〜90分	39.6	68.9	85.7	100.3	123.2	15.7	14

[表4.9-4b] 番組の長さごとの語の密度（音声・延べ）の五数要約値－教育・教養系－

番組の長さ	最小値	第1四分位	中央値	第3四分位	最大値	四分位偏差	標本数
0〜15分	40.6	44.5	54.6	73.7	112.2	14.6	12
15〜30分	22.3	52.7	58.8	76.2	125.2	11.7	18
30〜60分	49.6	53.1	56.5	80.2	95.2	13.6	10

[表4.9-4c] 番組の長さごとの語の密度（音声・延べ）の五数要約値－一般実用系－

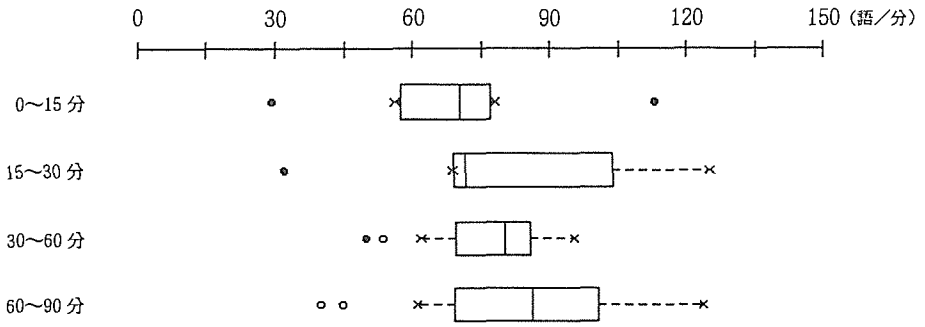
番組の長さ	最小値	第1四分位	中央値	第3四分位	最大値	四分位偏差	標本数
0〜15分	9.3	46.9	75.8	98.4	100.5	25.8	13
15〜30分	31.6	67.9	94.8	109.8	124.6	20.9	18
30〜60分	16.8	74.9	88.4	107.2	136.1	16.2	21
60〜90分	67.0	89.3	95.1	104.1	121.4	7.4	18

[表4.9-4d] 番組の長さごとの語の密度（音声・延べ）の五数要約値－バラエティー系－

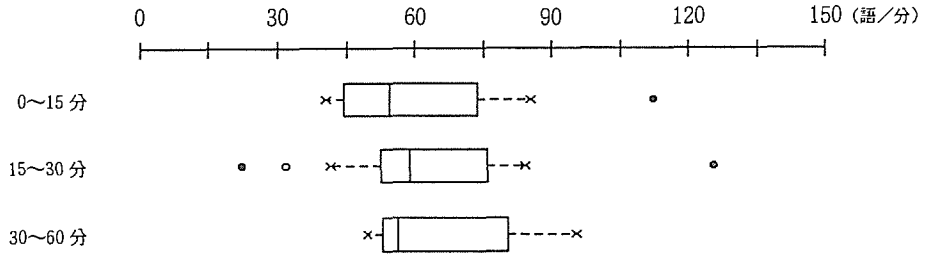
番組の長さ	最小値	第1四分位	中央値	第3四分位	最大値	四分位偏差	標本数
15〜30分	75.6	82.9	111.6	119.6	129.2	18.4	9
30〜60分	48.6	76.3	84.0	107.4	127.0	15.6	23
60〜90分	34.1	60.4	87.6	99.0	118.0	19.3	8
90〜分	60.8	73.4	103.5	123.2	147.4	24.9	11

[表4.9-4e] 番組の長さごとの語の密度（音声・延べ）の五数要約値－ストーリー系－

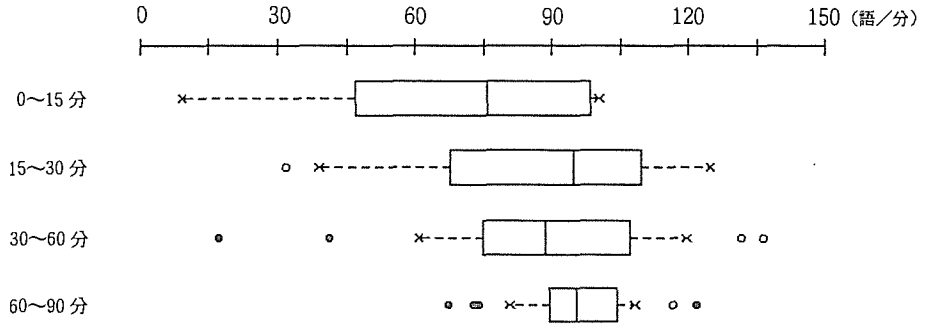
番組の長さ	最小値	第1四分位	中央値	第3四分位	最大値	四分位偏差	標本数
15〜30分	23.5	33.7	44.0	62.5	106.5	14.4	14
30〜60分	16.6	29.9	44.6	54.6	93.4	12.4	27
90〜分	1.2	34.9	42.2	54.8	76.4	10.0	14



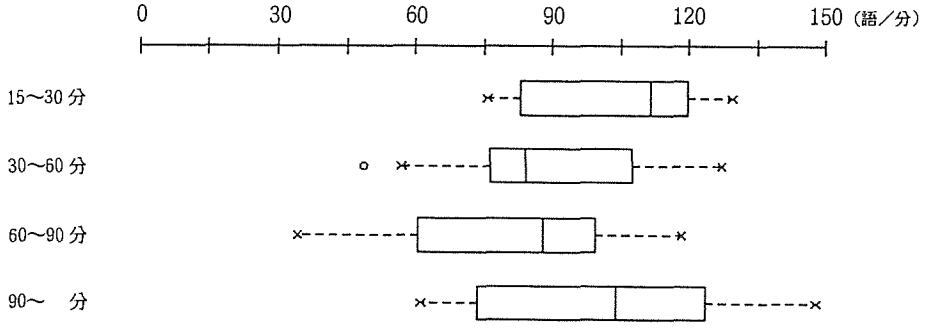
［図 4.9-5a］番組の長さごとの語の密度（音声・延べ）の平行箱型図－報道系－



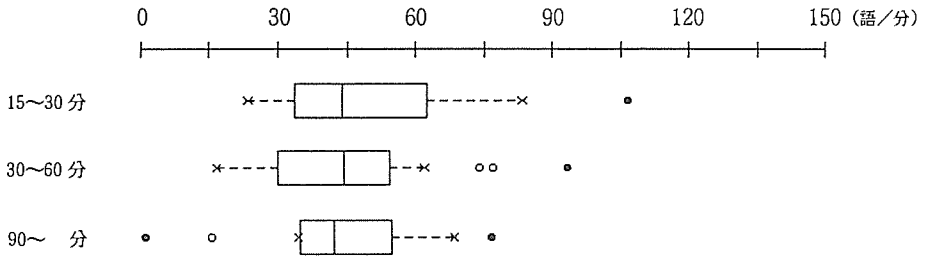
［図 4.9-5b］番組の長さごとの語の密度（音声・延べ）の平行箱型図－教育･教養系－



［図 4.9-5c］番組の長さごとの語の密度（音声・延べ）の平行箱型図－一般実用系－



［図 4.9-5d］番組の長さごとの語の密度（音声・延べ）の平行箱型図－バラエティー系－



［図 4.9-5e］番組の長さごとの語の密度（音声・延べ）の平行箱型図－ストーリー系－

番組の長さとの相関がはっきりと認められるジャンルはないようである。ただ，報道系と一般実用系では，番組が長くなるにしたがって，単調な増加ではないが，中央値が大きくなっているようにみえる。

4．画面の語の密度

音声と同様に，各ジャンルごとに，番組の長さからみた，画面の語の密度（延べ）の五数要約値を求め（［表 4.9-5a］〜［表 4.9-5e］），また，平行箱型図（［図 4.9-6a］〜［図 4.9-6e］）に示す。

［表 4.9-5a］番組の長さごとの語の密度（画面・延べ）の五数要約値－報道系－

番組の長さ	最小値	第1四分位	中央値	第3四分位	最大値	四分位偏差	標本数
0〜15分	2.8	8.0	13.2	46.0	86.8	19.0	11
15〜30分	0.0	1.8	6.8	14.5	52.1	6.3	8
30〜60分	4.4	11.0	15.7	29.7	69.9	9.4	16
60〜90分	0.0	4.9	16.1	26.9	43.8	11.0	14

［表 4.9-5b］番組の長さごとの語の密度（画面・延べ）の五数要約値－教育・教養系－

番組の長さ	最小値	第1四分位	中央値	第3四分位	最大値	四分位偏差	標本数
0〜15分	1.2	1.8	4.5	8.0	22.4	3.1	12
15〜30分	1.2	3.6	6.2	8.0	42.6	2.2	18
30〜60分	2.0	3.7	8.2	12.0	16.2	4.1	10

［表 4.9-5c］番組の長さごとの語の密度（画面・延べ）の五数要約値－一般実用系－

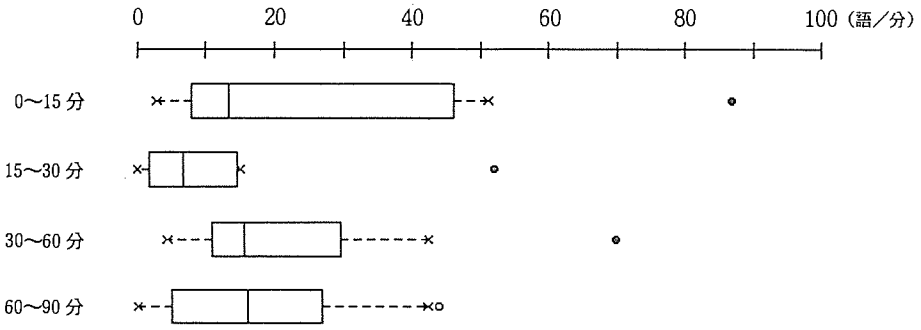
番組の長さ	最小値	第1四分位	中央値	第3四分位	最大値	四分位偏差	標本数
0〜15分	1.6	7.0	15.8	53.2	222.5	23.1	13
15〜30分	0.6	2.9	4.9	10.5	27.0	3.8	18
30〜60分	0.0	6.5	8.8	27.0	54.6	10.3	21
60〜90分	3.6	8.6	14.6	21.1	32.9	6.3	18

［表 4.9-5d］番組の長さごとの語の密度（画面・延べ）の五数要約値－バラエティー系－

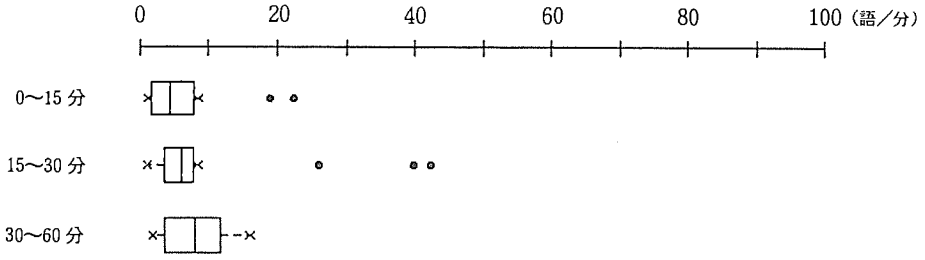
番組の長さ	最小値	第1四分位	中央値	第3四分位	最大値	四分位偏差	標本数
15～30分	0.0	5.2	12.8	30.4	148.2	12.6	9
30～60分	0.0	2.8	5.8	21.6	72.5	9.4	23
60～90分	0.2	1.5	6.8	12.4	30.4	5.4	8
90～分	0.2	2.6	22.7	52.8	80.8	25.1	11

［表 4.9-5e］番組の長さごとの語の密度（画面・延べ）の五数要約値－ストーリー系－

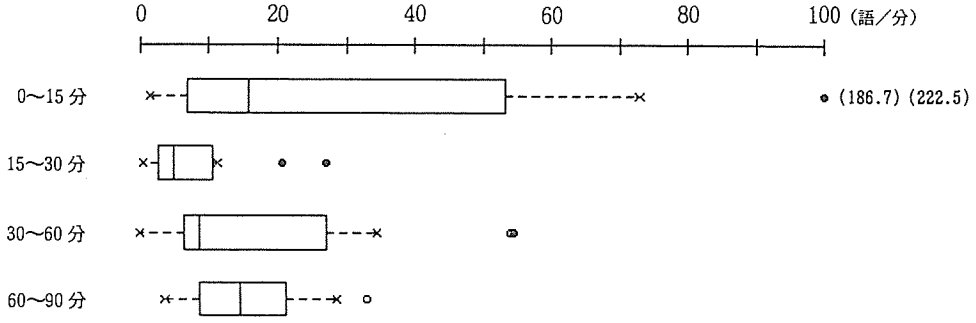
番組の長さ	最小値	第1四分位	中央値	第3四分位	最大値	四分位偏差	標本数
15～30分	0.0	0.2	1.8	16.5	30.4	8.2	14
30～60分	0.0	0.0	0.4	4.1	41.5	2.1	27
90～分	0.0	0.0	0.4	6.1	12.7	3.0	14



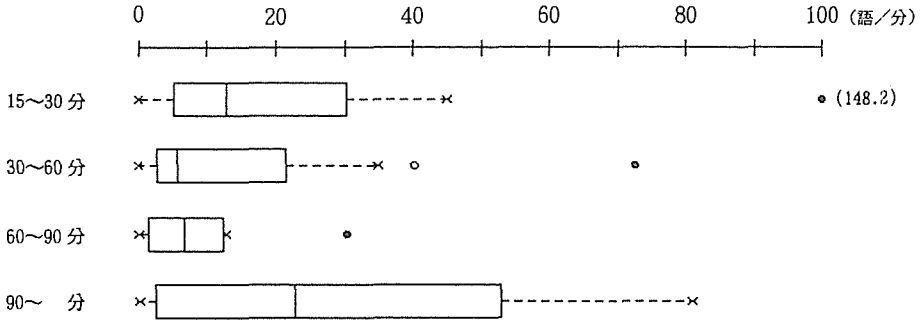
［図 4.9-6a］番組の長さごとの語の密度（画面・延べ）の平行箱型図－報道系－



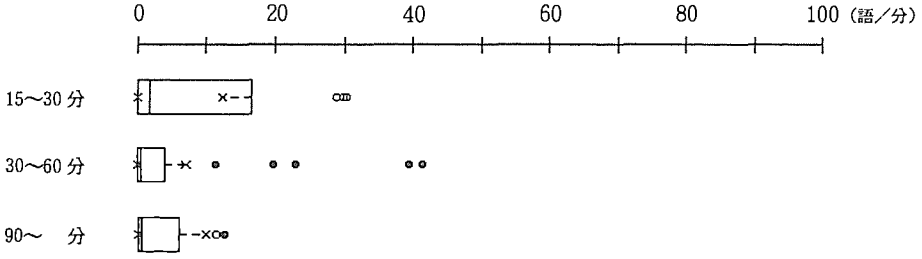
［図 4.9-6b］番組の長さごとの語の密度（画面・延べ）の平行箱型図－教育・教養系－



［図 4.9-6c］番組の長さごとの語の密度（画面・延べ）の平行箱型図－一般実用系－



［図4.9-6d］番組の長さごとの語の密度（画面・延べ）の平行箱型図－バラエティー系－



［図4.9-6e］番組の長さごとの語の密度（画面・延べ）の平行箱型図－ストーリー系－

音声と同様，番組の長さとのはっきりした相関をうかがえるジャンルはないように思われる。ただ，教育・教養系で，番組が長くなるにつれて，中央値が大きくなる傾向がみられるが，明らかな差とはいえないように思われる。

5．名詞の比率

各ジャンルごとに，番組の長さからみた，「体の類」の比率（音声・延べ）の五数要約値を求め（［表4.9-6a］～［表4.9-6e］），また，平行箱型図（［図4.9-7a］～［図4.9-7e］）に示す。

［表4.9-6a］番組の長さごとの「体の類」の比率（音声・延べ）の五数要約値－報道系－

番組の長さ	最小値	第1四分位	中央値	第3四分位	最大値	四分位偏差	標本数
0～15分	41.4	53.4	63.1	67.1	70.1	6.9	11
15～30分	34.4	38.3	58.3	62.6	66.1	12.2	8
30～60分	42.1	52.1	57.4	66.0	72.2	6.9	16
60～90分	33.8	42.5	55.0	58.7	63.1	8.1	14

［表4.9-6b］番組の長さごとの「体の類」の比率（音声・延べ）の五数要約値－教育・教養系－

番組の長さ	最小値	第1四分位	中央値	第3四分位	最大値	四分位偏差	標本数
0～15分	35.3	46.2	52.2	57.3	70.0	5.6	12
15～30分	35.1	43.5	49.3	54.6	60.8	5.6	18
30～60分	38.3	42.3	55.0	61.0	62.1	9.4	10

［表 4. 9-6c］番組の長さごとの「体の類」の比率（音声・延べ）の五数要約値－一般実用系－

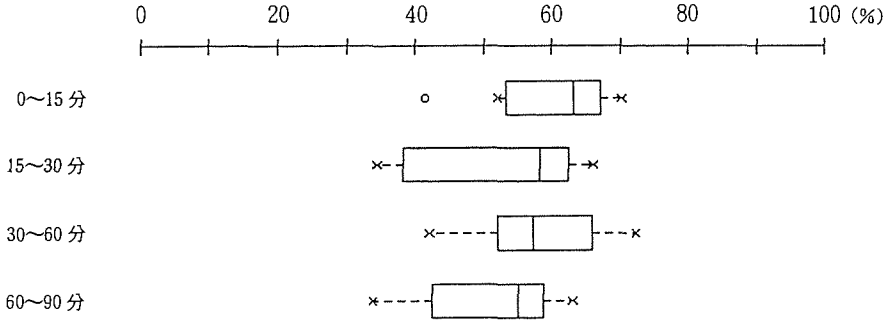
番組の長さ	最小値	第1四分位	中央値	第3四分位	最大値	四分位偏差	標本数
0～15分	27.0	37.7	41.2	63.1	67.8	12.7	13
15～30分	31.8	35.5	41.3	46.8	61.4	5.7	18
30～60分	31.9	38.9	46.1	51.7	76.7	6.4	21
60～90分	37.2	41.5	46.3	51.2	59.1	4.9	18

［表 4. 9-6d］番組の長さごとの「体の類」の比率（音声・延べ）の五数要約値－バラエティー系－

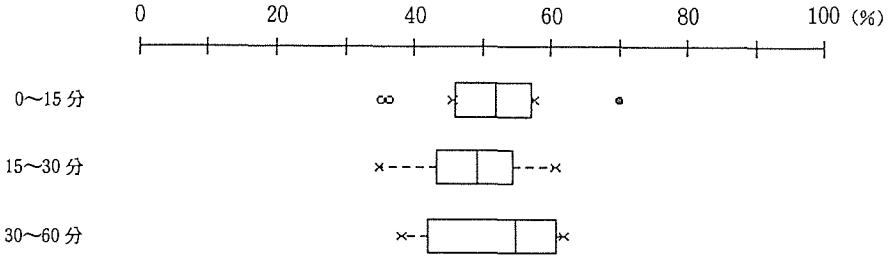
番組の長さ	最小値	第1四分位	中央値	第3四分位	最大値	四分位偏差	標本数
15～30分	36.9	40.5	46.7	51.6	64.5	5.6	9
30～60分	34.4	41.0	43.9	48.3	55.0	3.7	23
60～90分	42.0	43.2	44.3	49.0	50.2	2.9	8
90～分	36.2	39.2	43.0	46.3	62.2	3.6	11

［表 4. 9-6e］番組の長さごとの「体の類」の比率（音声・延べ）の五数要約値－ストーリー系－

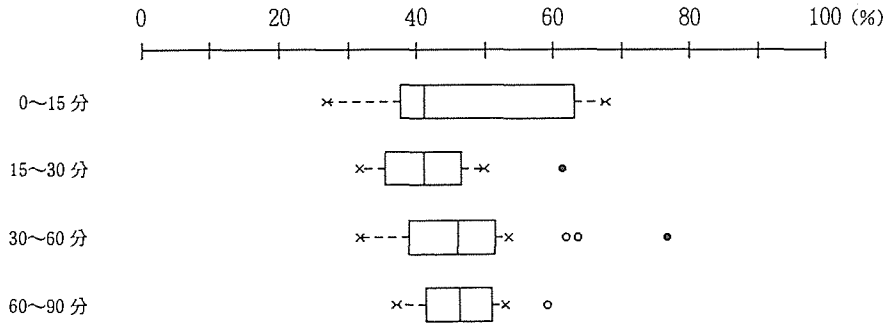
番組の長さ	最小値	第1四分位	中央値	第3四分位	最大値	四分位偏差	標本数
15～30分	33.3	41.3	45.9	55.8	58.6	7.2	14
30～60分	36.6	45.2	48.2	56.7	67.0	5.8	27
90～分	34.9	42.0	47.1	57.5	66.7	7.8	14



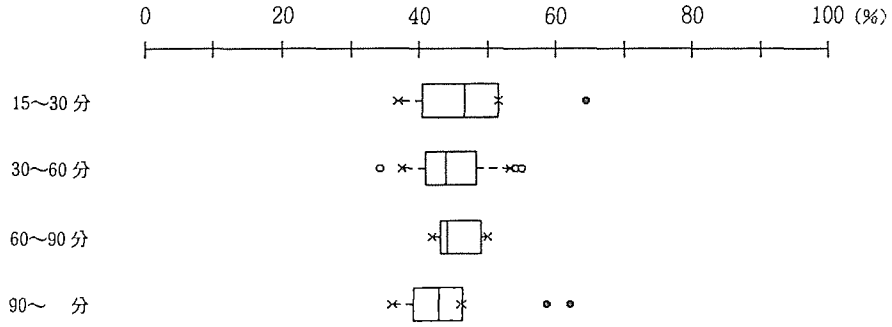
［図 4.9-7a］番組の長さごとの「体の類」の比率（音声・延べ）の平行箱型図－報道系－



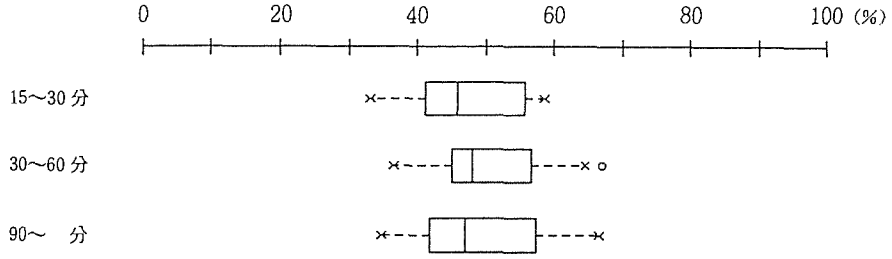
［図 4.9-7b］番組の長さごとの「体の類」の比率（音声・延べ）の平行箱型図－教育・教養系－



［図 4.9-7c］番組の長さごとの「体の類」の比率（音声・延べ）の平行箱型図－一般実用系－



［図 4.9-7d］番組の長さごとの「体の類」の比率（音声・延べ）の平行箱型図－バラエティー系－



［図 4.9-7e］番組の長さごとの「体の類」の比率（音声・延べ）の平行箱型図－ストーリー系－

名詞の比率も，語の密度と同様，番組の長さとの明確な相関を示すジャンルはないように思われる。ただ，報道系では，番組が長くなるにつれて，中央値が小さくなっていくという傾向を示すようである。

6．まとめ

今回の調査で得た標本でみるかぎり，番組の長さと，語の密度（音声および画面・延べ）や名詞の比率（音声・延べ）との間に，明確な相関はみとめられなかった。ただし，とくに報道系の標本では，より短い番組では音声の語の密度（延べの中央値）が小さくなり，一方で，名詞の比率（中央値）が大きくなるという傾向が，きわめて明確というわけではないが，みられた。後者

の傾向については，はじめに述べたように，「短い番組では文章・談話の骨組み以外の余分なことばを抑え，結果として，名詞の比率が高まるのではないか」という予想に沿うものである。しかし，前者の傾向は，「番組が短ければ，それだけ，かぎられた時間の中で，より多くの語を発しようとする，すなわち，語の密度が大きくなるのではないか」という予想とは，逆の結果である。これについては，報道系の短い番組（定時ニュースなど）ではアナウンサーがニュース原稿をきちんと読むことが多いのに対して，長い番組（ニュースショーなど）ではキャスターやインタビュアー・インタビュイーのコメントなどが自然談話に近い速度で発話されることが多いのではないか，と考えることもできる。しかし，長い番組では，言語をともなわない映像だけの時間も多くなるはずであり，簡単な推測はできないように思われる。いずれにせよ，番組の長さと語彙にかかわる側面との関係をみるには，比較の条件の統制が重要であり，そのためには，より多くの標本を用意しなければならない。

第10章　視 聴 率

1．目　　的

放送された番組がすべて視聴されたわけではない。放送されたがほとんど視聴されなかった番組もあり，多くの人が視聴した番組もある。テレビ放送は「量的にも質的にも，人びとの言語生活に深く根をおろし」「社会的な影響力について人びとの関心を集めてもいる」（「第1部第2章調査の目的」）が，それは視聴された放送についていえることである。

ここでは，まず視聴の程度を示す視聴率によって調査対象の分析を行う。すなわち，時間帯・番組・チャンネル・曜日によって視聴率がどう変化するかを調べる。次に，視聴率の高いまたは低い標本の語彙は，どれほどの語数を持ち，どのような語種構成，品詞構成になるかを調べる。

なお，以下の分析では標本の内容を表すために番組名を示すが，そこで得られた特徴がその番組全体について言うものではない。標本は，対象としたテレビ放送全体から無作為に抽出した5分間だけである。

2．視聴の尺度

本調査では㈱ビデオ・リサーチの3種類の視聴率，すなわち視聴率1，視聴率2，占拠率を視聴の尺度として用いる。

視聴率1は，その時間にそのチャンネルにあわせていたテレビの割合である。つまり，その番組がどれ程視聴されていたかの割合を示す。

視聴率2は，その時間にスイッチが入っていたテレビの割合である。視聴率2は番組には関係なく，テレビがついていたかどうかの割合を示している。

ところで，我々がテレビを見る時間は限られている。午前や午後の勤務時間中や学校での授業時間中，家庭での仕事中，さらに，朝夕の通勤通学中，深夜の睡眠中にはテレビを見ないのが普通である。このような時間帯の番組の視聴率が昼や夜の休憩時間帯の番組の視聴率より低いのはあたりまえである。

占拠率は，テレビをつけていた中の何パーセントがその番組にチャンネルを合せていたかの値である。これは，その時間に他の番組ではなくわざわざその番組を選んだ，その選ばれ度ともいうべき値である。

視聴率1と占拠率は，ともにその番組についての情報である。

視聴率の調査対象は，東京都，神奈川県，茨城県，栃木県，群馬県，埼玉県，千葉県および熱海市，伊東市の300世帯である。視聴の有無は，テレビにセットされた機械によって得られる。したがってこの資料は実際に視聴されていたかどうかを示すものではない。ＮＨＫの調査のように利用者に面接して得た資料ではなく，機械によって自動的に集められたデータだからである。この方法では，全ての番組の視聴率を容易に得ることができる。㈱ビデオ・リサーチには1世帯あたり何人がテレビを見ていたかの個人調査もある。たとえば，1989年2月の調査では，午前8時から8時半では1.3人，12時から12時半までは1.3人，15時から15時半までは1.1人，20時から20時半までは1.8人となっている。

3．視聴率の分布

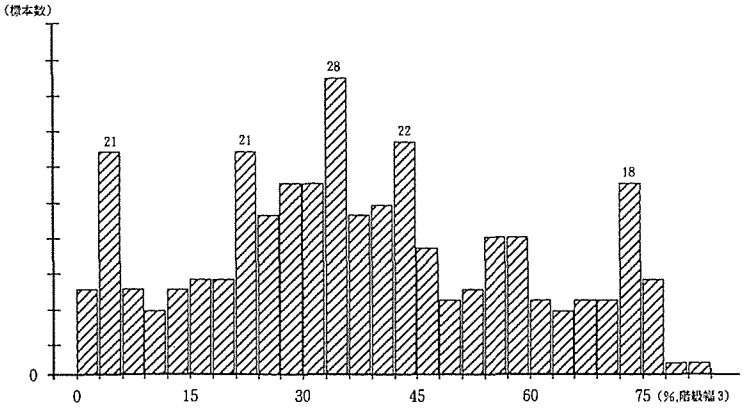
視聴率1，視聴率2，占拠率の五数要約値を［表4.10-1］に示す。なお，この値は本編の有効標本を集計したものである。

［表4.10-1］視聴率の五数要約値

	最小値	第1四分位	中央値	第3四分位	最大値	四分位偏差	標本数
視聴率1	0.0	1.1	3.7	8.0	31.9	3.5	331
視聴率2	0.3	23.4	35.7	53.1	83.5	14.9	331
占拠率	0.0	6.4	13.2	21.3	100.0	7.5	331

3.1 テレビをつける時間帯

視聴率2は，その時間にスイッチを入れていたテレビのパーセントである。視聴率2の標本分布（［図4.10-1］）を見ればわかるように，視聴率2の低い所，高い所，中央と3つの山がある。なぜこのように3つの山ができたのだろうか。



［図4.10-1］視聴率2の標本分布

テレビをつけるかどうかと関連がある事項は，時間である。たとえばプライムタイムとよばれる午後7時から11時の間は，多くのテレビがついる。したがって図の高い所で山を構成する。つぎに，深夜のようにほとんどのテレビがついていない時間帯がある。それゆえに視聴率2の低い所に山ができる。つぎにその他の時間帯はついていることもあるしついていないこともある。このような場合正規分布のような分布をする。図に示す通りである。

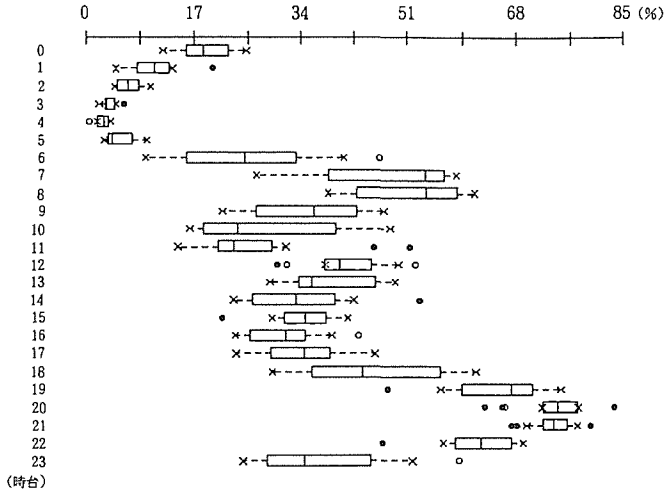
視聴率2の時刻分布（［図4.10-2］）が［図4.10-1］の内訳である。図の横軸をみると，明らかに3つのピークが認められる。すなわち

① 朝の7時台から8時台の中規模のピーク。テレビをつけている世帯は50%を越える。この時間帯のテレビは出勤時間の「時計代り」となっているのだろう。

② 昼の12時台から午後1時台の小規模のピーク。この時間帯のテレビは昼食および食後の楽しみとなっている。

③ 午後7時台，8時台，9時台，10時台の大規模のピーク。8時台，9時台には全世帯の7割以上がテレビをつけている。

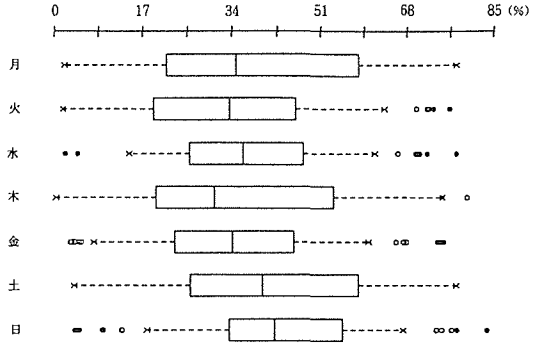
図の谷は山の直前にある。深夜4時台，午前11時台，午後4時台の3つである。最初の谷は睡眠中であって，朝6時台になると視聴率が上昇する。朝起きてすぐテレビをつけるのだろう。次の谷は朝の仕事中なのだろうか。昼になるとこれも急に上昇する。次の谷はそれほど顕著ではない。徐々に減り，徐々に増える。



［図4.10-2］テレビをつける時間

3.2 テレビを見る曜日

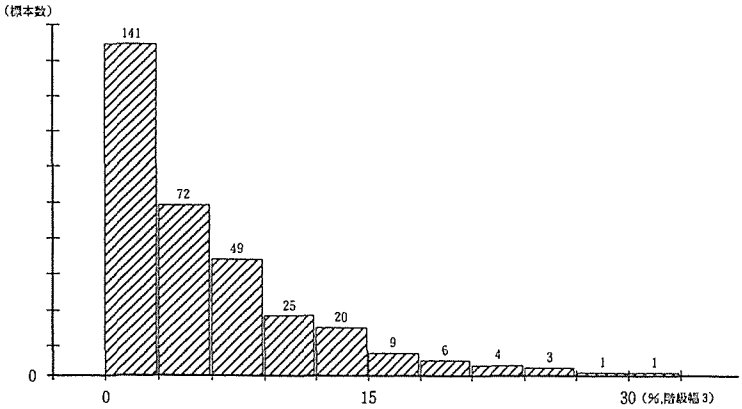
視聴率2の曜日分布は，［図4.10-3］に示す通りである。中央値は，日曜日（42.1），土曜日（39.6），水曜日（36.1），月曜日（34.7），金曜日（33.9），火曜日（33.5），木曜日（30.7）の順である。日曜日の四分位偏差は水曜日についで小さくそれだけ分布が集中している。週末にテレビを見る人が多いことをうかがわせる。しかし，水曜日の中央値が大きくかつ偏差も小さい。週日のテレビをつけるかつけないかの変化の要因はわからない。



［図4.10-3］テレビを見る曜日

3.3 視聴率1の分布

［表4.10-1］の五数要約値に示す通り，中央値は3.7%，視聴率の大きい番組も小さい番組もあるが，視聴率の大きい番組は数少なく小さい番組は数多い。



［図4.10-4］視聴率1の標本分布

視聴率0％は，9標本あった。視聴率1の標本分布（幅3％）は，［図4.10-4］の通りで視聴率の小さいところが最も多く，視聴率の大きくなるにしたがい少なくなる分布，いわゆるL字型分布を示す。この分布を累積すると，3％未満の標本が全標本の42.6%，6％未満の標本が64.4%，9％未満の標本が86.7%を占める。

［図4.10-4］の視聴率の高い方からの5つの区間に含まれるのは15標本で，次の通りである。ＮＨＫの朝のテレビ小説，ニュースショウ，野球，ドラマ，バラエティーが並んでいる。

ところで，以下ではその内容を表わすために番組名を示す。しかし，標本は，その番組全体で

［表4.10-2］視聴率の大きい標本

視聴率1	同2	ch.	時刻	標本	番　組　名
31.9	59.8	1	08:15	0286	青春家族
28.9	77.7	10	20:35	0288	ゴールデンナイター・ヤクルト×巨人
26.8	42.3	1	08:10	0110	ＮＨＫモーニングワイド・第2部
25.7	62.3	10	22:40	0260	ニュースステーション
25.0	72.1	4	20:10	0244	木曜ナイター・巨人×大洋
23.4	74.9	4	19:35	0056	土曜ナイター・巨人×広島
21.8	51.7	8	23:10	0272	木曜劇場・ハートに火をつけて！
21.2	77.6	8	20:15	0092	志村けんのだいじょうぶだぁ
21.2	72.1	4	19:40	0292	火曜ナイター・巨人×広島
20.9	73.5	4	20:35	0300	木曜スペシャル私が撮った！スター㊙ビデオ大賞
20.7	48.2	10	23:00	0008	ニュースステーション
20.7	68.0	8	21:00	0148	教師びんびん物語Ⅱ
20.6	64.6	8	22:10	0204	乱歩賞作家サスペンス・仮面の欲望
18.4	69.5	1	21:50	0184	ＮＨＫニュース・トゥデー
18.4	49.6	6	12:30	0311	アッコにおまかせ！

はなく，たまたまその日の5分間である。時刻は標本の開始時刻である。また，視聴率は，㈱ビデオ・リサーチの標本調査によっており，標本誤差がある。標本誤差は，次式で求められる（㈱ビデオ・リサーチ『テレビ視聴率速報』Vol.14 '89 による）。

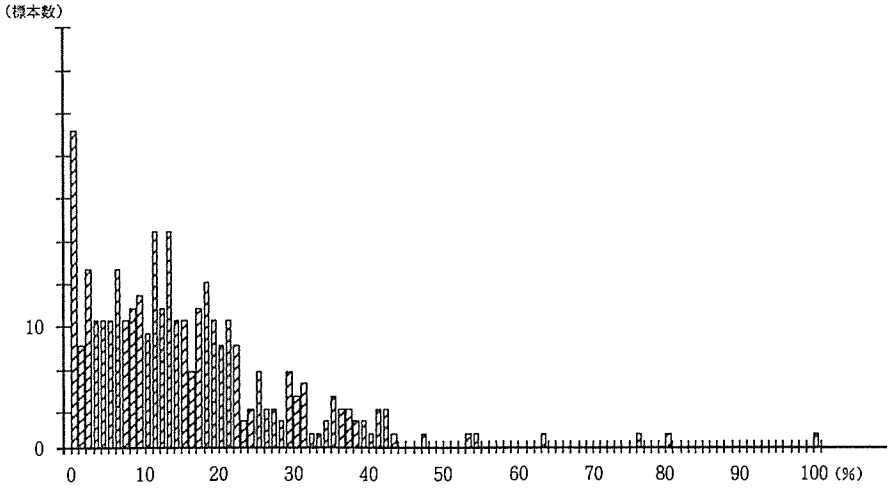
$$\pm 2\sqrt{\frac{\text{視聴率}\ (100-\text{視聴率})}{300}}$$

すなわち，前項の標本0286「青春家族」の視聴率の95%信頼区間は，37.3%～26.5%であり，次の0288「ゴールデンナイター」の信頼区間は34.1%～23.7%，0092「志村けんのだいじょうぶだぁ」の信頼区間は25.9%～16.5% である。この結果から，危険率5%以下では，前2標本の視聴率が多かった少なかったと言うことはできないが，前と後の2標本は前が後の標本より視聴率が多いということはできる。このように本調査が標本調査の結果であることに注意しなければならない。以下同様である。

3.4 占拠率の分布

占拠率は，その放送時間にテレビをつけていた中でその番組を見ていた割合をあらわしている。したがって，視聴率1が小さくてもその時間に他の番組を見ていた人がいなければ占拠率100%ということになる。

占拠率の標本分布（幅 1%）を［図4.10-5］に示した。この分布は視聴率1の分布とは異なる。占拠率0%台が多いものの，22%台までが標本数10前後，42%台までは標本数3前後，それ以降100%まではところどころで標本が表われる。



［図4.10-5］占拠率の標本分布（幅 1%）

［表4.10-1］の五数要約値に示す通り，中央値は13.2%である。これは視聴率1の中央値3.7%の約3.5倍とかなり大きい。視聴率がテレビをつけていない数も母数に含むのに対し，占拠率は結果的に計算式からこれを除いているからである。

占拠率の大きい方から10標本を次に示す。

［表 4.10-3］占拠率の大きい標本

占拠率	視聴率1	ch.	時刻	標本	番　組　名
100.0	0.3	6	04:30	0245	ミッドナイトシアター・丹下左膳妖刀濡れ燕
80.0	1.6	10	04:00	0205	ＰＲＥ・ＳＴＡＧＥ２
76.4	2.6	4	05:20	0269	おはよう天気
63.3	26.8	1	08:10	0110	ＮＨＫモーニングワイド・第２部
54.8	1.7	8	03:45	0305	冗談画報Ⅱ
53.3	31.9	1	08:15	0286	青春家族
47.2	16.5	1	07:55	0338	関東甲信越小さな旅
43.3	1.3	6	05:05	0261	ノーカット世界名作劇場・カサノバ
42.9	20.7	10	23:00	0008	ニュースステーション
42.5	16.9	1	10:15	0126	昭和の歌

占拠率100%とは，その時刻についていたテレビの全てが「ミッドナイトシアター」にチャンネルを合わせていたことを示す。同様に 80%が「ＰＲＥ・ＳＴＡＧＥ２」に合せていた。これらの標本の視聴率は0.3%，1.6%と非常に小さい。深夜である。実際にはビデオに録画していたのかもしれない。しかし，あきらかにこれらの番組は一部の視聴者に喜ばれているに違いない。

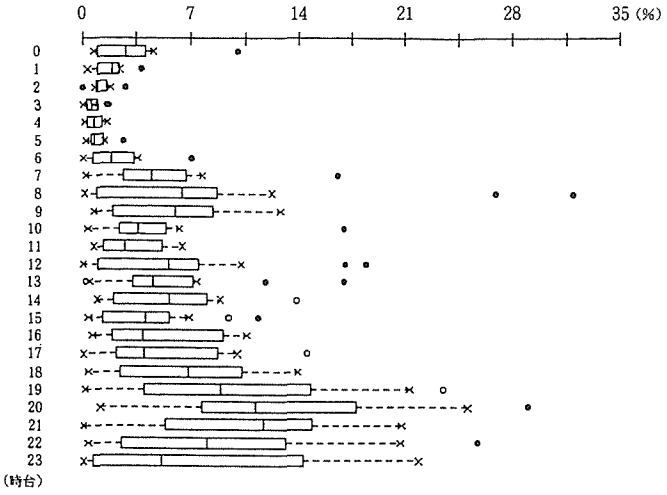
「ＮＨＫモーニングワイド」や「青春家族」は占拠率も視聴率も高い。朝，家族を送り出した後一息入れている頃だろうか。この時刻にテレビをつけている半分以上がこの番組にチャンネルを合わせている。

「昭和の歌」は，再放送番組である。本放送を見られなかった人がその時間に見たかビデオにとったのだろう。占拠率は42.5%である。

以上のように占拠率は，視聴率1とは異なり，他の番組ではなくその番組を選んだ程度を示している。つまり，視聴の多さではなく，その時刻に視聴できる番組類の中でのその番組に対する期待度ともいえる。

4．時間帯と視聴率1

時間帯による番組の視聴率1の変化を［図4.10-6］に示す。



［図 4.10-6］時間帯による視聴率の変化

視聴率２の時刻分布の［図4.10-2］と比べると，四分位偏差（箱の長さ）も小さく，時間帯による変化も明瞭でない。これは，個々の番組の視聴率によるからである。しかし，おおまかには同様の変化を見ることができる。

以下，各時間帯で視聴率の大きい，極外値，外側値をとる標本を示す。

［表4.10-4］各時間帯で視聴率の大きい標本

時刻	視聴率１	ch.	標本	番組名
00:00	10.0	10	0185	大相撲ダイジェスト・11日目
01:10	3.8	10	0317	ＰＲＥ・ＳＴＡＧＥ１
02:30	2.8	10	0053	ＰＲＥ・ＳＴＡＧＥ１
03:45	1.7	8	0305	冗談画報Ⅱ
05:20	2.6	4	0269	おはよう天気
06:40	7.0	4	0274	ルンルンあさ６生情報
07:15	16.5	4	0346	ズームイン!!朝！
07:55	16.5	1	0338	関東甲信越小さな旅
08:15	31.9	1	0286	青春家族
08:10	26.8	1	0110	ＮＨＫモーニングワイド・第２部
10:15	16.9	1	0126	昭和の歌
12:30	18.4	6	0311	アッコにおまかせ！
12:05	17.0	1	0003	ニュース
13:20	16.9	6	0159	愛の劇場・おめでた
13:10	11.8	6	0331	愛の劇場・鎌倉ペンション物語
14:15	13.7	10	0369	土曜アンコール劇場・白い人魚の美女
15:40	11.2	6	0203	３時にあいましょう
15:10	9.3	8	0119	タイム３
17:20	14.4	8	0027	土曜ワイド・都会のタコツボ師
19:35	23.4	4	0056	土曜ナイター・巨人×広島
20:35	28.9	10	0288	ゴールデンナイター・ヤクルト×巨人
22:40	25.7	10	0260	ニュースステーション

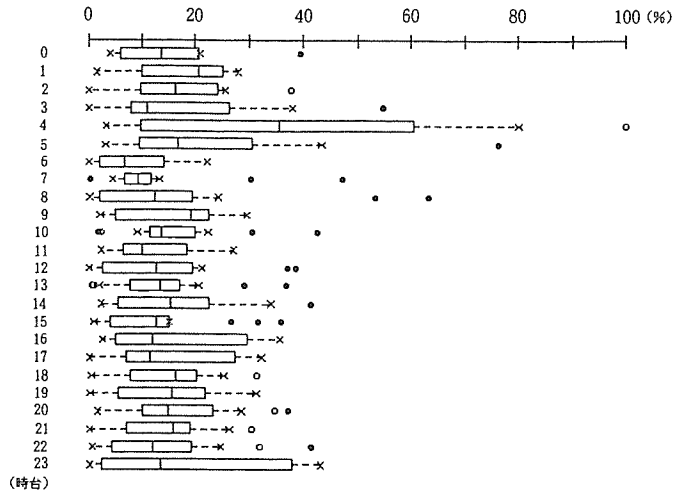
深夜の「大相撲」「ＰＲＥ・ＳＴＡＧＥ１」など視聴率は小さいがその時間帯では特異な値をとっている。

７時，８時台の標本は，大人の報道番組の視聴率が高く，子供番組の「ひらけポンキッキ」や漫画などがそれに続く。その他の料理番組，医療相談などの視聴率は低い。ただし，８時台のＮＨＫ朝のテレビ小説「青春家族」(31.9%)は，極外値となるほど視聴率が高い。また，「ＮＨＫモーニングワイド」(26.8%)も同様である。７時台の極外値は，「ズームイン!!朝！」(4ch 16.5%）である。

午後のドラマ「愛の劇場」「土曜アンコール劇場」，ニュースショウの「３時にあいましょう」「タイム３」など家庭の主婦向けと思われる番組の視聴率が高い。

午後７時から11時の時間帯は，いろいろな番組の視聴率が高いが，その中でも野球，午後10時の「ニュースステーション」が外れ値となっている。

占拠率の時間分布を［図4.10-7］に示す。



［図 4.10-7］ 占拠率の時間分布

この図で明らかなのは，四分位偏差の大きさがいろいろあることである。4時台，23時台は大きく，7時台，10時台，13時台は小さい。偏差は散らばりの度合いを示しているから，朝の4時台では各番組の占拠率が中央値から離れていることが多く，朝7時台などでは中央値に近い値を取ることを示している。視聴率1と占拠率の四分位偏差の時間帯分布を以下に示す。

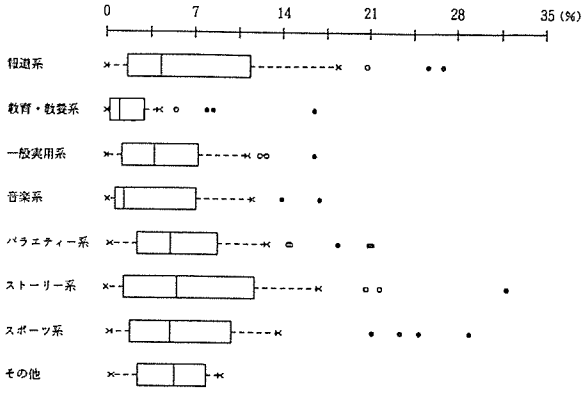
［表 4.10-5］ 視聴率1と占拠率の四分位偏差の時間帯分布 （小数点1桁を四捨五入）

時間帯	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23
視聴率1	2	1	0	0	0	0	1	2	4	3	1	2	3	2	3	2	4	3	4	5	5	5	5	7 (%)
占拠率	7	8	7	9	25	11	6	2	9	9	4	6	8	5	9	6	12	10	6	8	7	6	8	18 (%)

5．番組のジャンルと視聴率

ここで用いる番組のジャンルは，報道系，教育・教養系，一般実用系，音楽系，バラエティー系，ストーリー系，スポーツ系，その他の8分類である（第4章2.4参照）。

視聴率1のジャンル別分布を［図 4.10-8］に示す。



［図 4.10-8］ 視聴率の番組分類別分布

中央値が大きいのは，分類6のストーリー系番組，分類7のスポーツ系番組，5のバラエティー系番組，および分類1の報道系番組であり，これらの番組がよく視聴されていることがわかる。分類2の教育・教養系番組と4の音楽系番組は中央値が小さい。しかし，分類4は偏差が大きいので視聴率の大きい番組も少なくない。

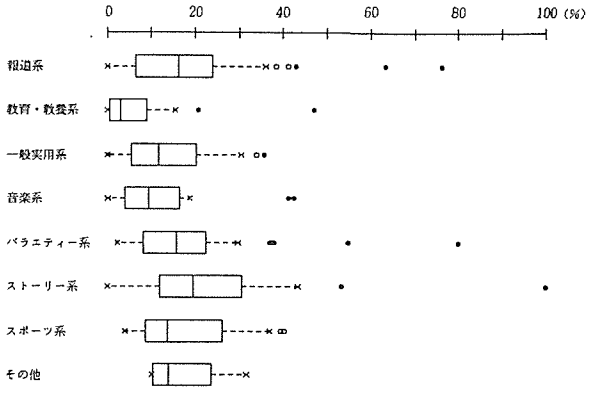
極外値をとる番組は，次の通りである。

分類1の報道系番組ではニュースショー，分類2の教育・教養系番組では特集番組や紀行番組・歴史番組，分類3の一般実用系番組では朝の番組，分類4の音楽系番組では昔と今の流行歌番組，分類5のバラエティー系番組では夜のコメディ，芸能人を対象とした特集，昼のショー，分類6のストーリー系では朝のテレビ小説，分類7のスポーツ系では野球の巨人が対戦するゲームが，それぞれのジャンルで高視聴率を記録した。

［表 4.10-6］各ジャンルで視聴率の大きい標本

ジャンル	視聴率	ch.	標本	番　組　名
1 報道系	26.8	1	0110	ＮＨＫモーニングワイド・第２部
1 報道系	25.7	10	0260	ニュースステーション
2 教育教養系	16.5	1	0338	関東甲信越小さな旅
2 教育教養系	8.5	1	0088	NHKスペシャル•国境を越えた和解上海列車事故補償交渉の記録
2 教育教養系	8.0	1	0332	歴史誕生
2 教育教養系	8.0	6	0116	日曜特集・新世界紀行
3 一般実用系	16.5	4	0346	ズームイン!!朝！
4 音楽系	16.9	1	0126	昭和の歌
4 音楽系	13.9	4	0232	歌のトップテン
5 バラエティ系	21.2	8	0092	志村けんのだいじょうぶだぁ
5 バラエティ系	20.9	4	0300	木曜スペシャル私が撮った！スター秘ビデオ大賞
5 バラエティ系	18.4	6	0311	アッコにおまかせ！
6 ストーリー系	31.9	1	0286	青春家族
7 スポーツ系	28.9	10	0288	ゴールデンナイター・ヤクルト×巨人
7 スポーツ系	25.0	4	0244	木曜ナイター・巨人×大洋
7 スポーツ系	23.4	4	0056	土曜ナイター・巨人×広島
7 スポーツ系	21.2	4	0292	火曜ナイター・巨人×広島

占拠率のジャンル別分布を［図 4.10-9］に示す。



［図 4.10-9］占拠率の番組分類別分布

この図と視聴率1の［図4.10-8］を比べると，占拠率の図の方がよりはっきり分類がみえる。中央値では，分類6のストーリー系番組，分類1の報道系番組，分類5のバラエティー系番組，分類7のスポーツ系番組，分類3の一般実用系番組の順に小さい。このように区別がはっきりするのは，それらの番組が他のジャンルより選ばれてよく視聴される，つまり視聴者は番組のジャンルで番組を選んで見ているからである。

以下に，［図4.10-9］での極外値の標本を示す。いずれもその放送時刻に他の番組より多い使用率を得た，選ばれた番組である。ジャンル別視聴率の極外値と異なる標本が取り出されている。特にバラエティー系，ストーリー系番組で深夜放送された番組があがっているのが注目される。

［表4.10-7］各ジャンルで占拠率の大きい標本

ジャンル	占拠率	視聴率	ch.	標本	番　組　名
1 報道系	76.4	2.6	4	0269	おはよう天気
1 報道系	63.3	26.8	1	0110	ＮＨＫモーニングワイド・第２部
1 報道系	42.9	20.7	10	0008	ニュースステーション
1 報道系	41.2	25.7	10	0260	ニュースステーション
2 教育教養系	47.2	16.5	1	0338	関東甲信越小さな旅
2 教育教養系	20.9	3.7	6	0005	ＣＢＳドキュメント
3 一般実用系	35.8	11.2	6	0203	３時にあいましょう
4 音楽系	42.5	16.9	1	0126	昭和の歌
4 音楽系	41.1	0.7	4	0265	サウンドスポット
5 バラエティ系	80.0	1.6	10	0205	ＰＲＥ・ＳＴＡＧＥ２
5 バラエティ系	54.8	1.7	8	0305	冗談画報Ⅱ
5 バラエティ系	38.0	1.6	10	0345	ＰＲＥ・ＳＴＡＧＥ２
5 バラエティ系	37.8	2.8	10	0053	ＰＲＥ・ＳＴＡＧＥ１
5 バラエティ系	37.0	18.4	6	0311	アッコにおまかせ！
6 ストーリー系	100.0	0.3	6	0245	ミッドナイトシアター・丹下左膳妖刀濡れ燕
6 ストーリー系	53.3	31.9	1	0286	青春家族

［表4.10-8］占拠率の五数要約値

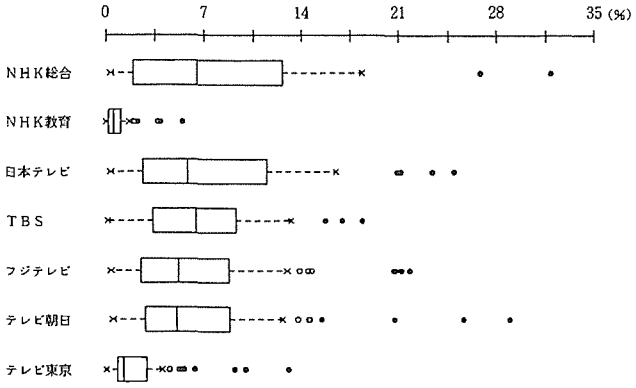
ジャンル	最小値	第１四分位	中央値	第３四分位	最大値	四分位偏差	標本数
1)報道系	0.0	6.5	16.1	23.9	76.4	8.7	52
2)教育教養系	0.0	0.6	2.9	9.1	47.2	4.2	42
3)一般実用系	0.0	5.3	11.7	20.3	35.8	7.5	72
4)音楽系	0.1	3.9	9.5	16.2	42.5	6.1	20
5)バラエティ系	2.2	8.2	15.6	22.5	80.0	7.2	51
6)ストーリー系	0.0	12.0	19.5	30.6	100.0	9.3	63
7)スポーツ系	3.9	8.8	13.5	26.1	40.2	8.7	26
8)その他	10.1	10.3	13.8	23.9	31.7	6.8	5

6．チャンネルと視聴率

視聴率のチャンネル別分布を［図4.10-10］に示す。

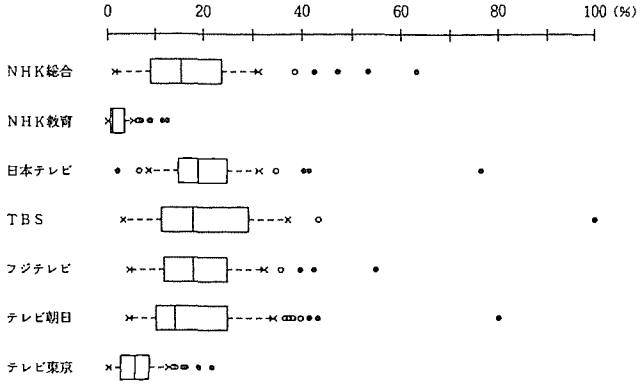
中央値を見るとＮＨＫ総合の視聴率が大きく，次にＴＢＳが高い。ＴＢＳは四分位偏差が小さく，ＮＨＫ総合は大きい。ＮＨＫ総合は視聴率の大きい標本もあるが，低い標本もある。ＴＢＳは比較的その差が小さいことを示している。各チャンネルの視聴率は，ＮＨＫ教育，テレビ東京

が低い他それほどの違いはない。さらにいずれのチャンネルでも視聴率が大きい標本も小さい標本もある。



［図 4.10-10］視聴率のチャンネル別分布

占拠率のチャンネル別分布を［図 4.10-11］に示す。中央値を見ると日本テレビ，フジテレビ，TBS，NHK総合，テレビ朝日，テレビ東京，NHK教育の順に大きい。しかし四分位偏差も大きくどのチャンネルが他よりよく見られるなどということはできない。



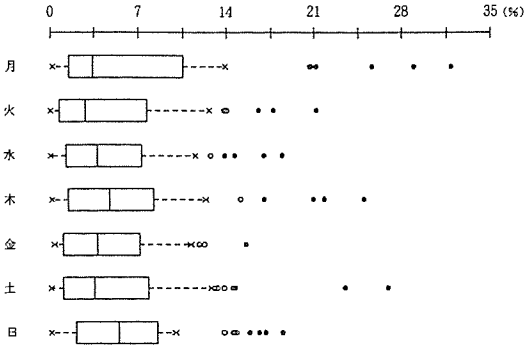
［図 4.10-11］占拠率のチャンネル別分布

［表 4.10-9］視聴率 1 の五数要約値

	最小値	第 1 四分位	中央値	第 3 四分位	最大値	四分位偏差	標本数
1）NHK総合	0.3	1.9	6.5	12.6	31.9	5.4	38
2）NHK教育	0.0	0.2	0.5	1.1	5.4	0.5	43
3）日本テレビ	0.3	2.6	5.8	11.5	25.0	4.5	49
4）TBS	0.1	3.3	6.4	9.2	18.4	3.0	50
5）フジテレビ	0.3	2.4	5.1	8.7	21.8	3.2	50
6）テレビ朝日	0.5	2.8	5.0	8.8	28.9	3.0	51
7）テレビ東京	0.0	0.8	1.3	2.9	13.0	1.1	50

7．曜日と視聴率

視聴率の曜日別分布を［図 4.10-12］に示す。テレビをつけていた率を示す視聴率 2 の分布（［図 4.10-3］）と比較すると，調査対象の視聴率が小さいことがわかる。



［図 4.10-12］視聴率の曜日別分布

その中でも，視聴率の中央値は，日曜日が大きい。月曜日の標本の分布は特異である。第 3 四分位が大きく，偏差も大きい。しかも中央値が小さい。これは，月曜日の番組の半分が中央値 3.40%より小さいのだが，視聴率の大きい番組も少なくないことを示している。

それぞれどのような標本が，各曜日で極外値をとるかを示すと次のようになる。

［表 4.10-10］各曜日で視聴率 1 の大きい標本

曜日	視聴率	占拠率	ch.	標本	番　組　名
月	31.9	53.3	1	0286	青春家族
月	28.9	37.1	10	0288	ゴールデンナイター・ヤクルト×巨人
月	25.7	41.2	10	0260	ニュースステーション
月	21.2	27.3	8	0092	志村けんのだいじょうぶだぁ
月	20.7	42.9	10	0008	ニュースステーション
月	20.7	30.4	8	0148	教師びんびん物語Ⅱ
月	20.6	31.8	8	0204	乱歩賞作家サスペンス・仮面の欲望
火	21.2	29.4	4	0292	火曜ナイター・巨人×広島
火	17.7	29.8	1	0264	７時のニュース・天気予報
火	16.5	30.4	4	0346	ズームイン!! 朝！
水	18.4	26.4	1	0184	ＮＨＫニュース・トゥデー
水	16.9	42.5	1	0126	昭和の歌
水	14.6	20.7	4	0016	春満開!! 超人気ＮＥＷマンザイお笑スター総登場
水	13.8	31.2	1	0014	イブニングネットワーク
木	25.0	34.6	4	0244	木曜ナイター・巨人×大洋
木	21.8	42.1	8	0272	木曜劇場・ハートに火をつけて！
木	20.9	28.4	4	0300	木曜スペシャル私が撮った！スター秘ビデオ大賞
木	16.9	36.8	6	0159	愛の劇場・おめでた
金	15.5	36.2	10	0024	ニュースステーション
土	26.8	63.3	1	0110	ＮＨＫモーニングワイド・第２部
土	23.4	31.2	4	0056	土曜ナイター・巨人×広島
日	18.4	37.0	6	0311	アッコにおまかせ！
日	17.0	38.5	1	0003	ニュース
日	16.5	47.2	1	0338	関東甲信越小さな旅
日	15.7	21.3	6	0032	日曜劇場・日曜日には麻雀を

8．視聴率と語彙

ここでは，視聴率が変われば語彙の分布も変わるのかどうかを調べる。そのために，視聴率を標本数がほぼ4分の1ずつになるように，第1四分位，中央値，第3四分位の値（[表4.10-1]参照）で4つの区間にわけて分析する。これは本編についての値であるが，CMの分析においても共通の区間を用いる。以下の通りである。

区間	視聴率
1	0 ～ 1.1%
2	～ 3.7
3	～ 8.0
4	～ 100

分析では，語数については本編・CMの音声・画面を，語種分布，品詞分布のそれぞれについては本編・音声の語の密度（1分間当りの平均語数）を用いる。

8.1 語　　数

本編・CMの音声・画面の語数について全標本の合計値を以下に示す。

[表4.10-11] 本編・CMの音声・画面の語数

	本編		CM	
	音声	画面	音声	画面
標本	331	331	134	134
延べ	103,081	20,246	9,235	9,413
異なり	17,647	7,970	3,455	3,591

[表4.10-12] 音声・本編の語種構成

標本	和語	漢語	外来語	混種語	計	不明
延べ	71,818	18,546	4,319	8,234	102,917	164
%	69.8	18.0	4.2	8.0	100.0	
異なり	5,544	6,018	1,679	4,308	17,549	98
%	31.6	34.3	9.6	24.5	100.0	

[表4.10-13] 音声・本編の品詞構成

標本	体の類	用の類	相の類	他の類	計	不明
延べ	48,848	19,536	17,982	16,694	103,060	21
%	47.4	19.0	17.4	16.2	100.0	
異なり	13,830	2,350	1,244	218	17,642	5
%	78.4	13.3	7.1	1.2	100.0	

以下では，視聴率によって，語数分布が変わるかどうかを調べる。比較のために語の密度の値を用いる。それぞれの五数要約値は次の通りである。

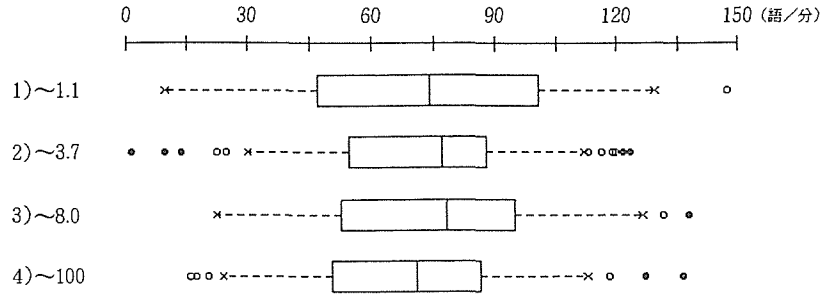
［表 4.10-14］語の密度の五数要約値

			最小値	第1四分位	中央値	第3四分位	最大値	四分位偏差	標本数
本編	音声	延べ	0.0	48.6	73.5	94.1	147.4	22.8	331
	音声	異なり	0.0	31.0	41.2	49.5	87.7	9.3	331
	画面	延べ	0.0	2.8	8.2	21.0	222.5	9.1	331
	画面	異なり	0.0	2.2	6.4	12.8	159.3	5.3	331
CM	音声	延べ	0.0	34.6	44.6	52.1	116.0	8.8	134
	音声	異なり	0.0	29.5	36.3	41.4	62.2	6.0	134
	画面	延べ	0.0	29.1	42.0	56.3	125.5	13.6	134
	画面	異なり	0.0	23.7	31.2	42.8	98.2	9.6	134

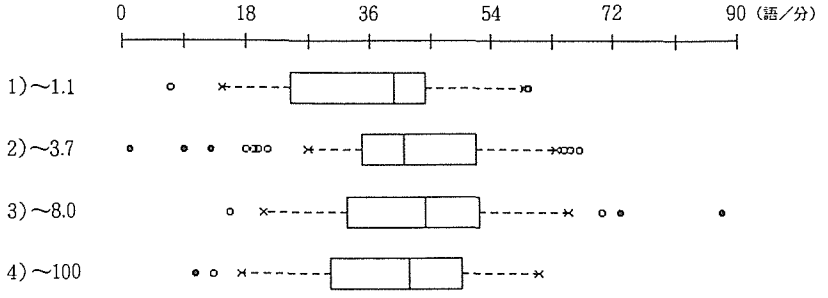
（CMだけの標本1つを含む）

8.2 音声・本編

視聴率別の音声・本編の語の密度を［図 4.10-13］，［図 4.10-14］に示す。



［図 4.10-13］視聴率別の語の密度（音声・本編　延べ）



［図 4.10-14］視聴率別の語の密度（音声・本編　異なり）

延べ語数の中央値を比較すれば，視聴率の小さい区間1から69.4語，77.1語，78.1語と大きくなっているが，視聴率が最も大きい区間4は70.6語と小さくなる。区間1から3までが大きくなり，区間4は小さくなるという傾向は異なり語数でも同じである。視聴率が大きい番組ほど延べ語数も異なり語数も多くなるといえるのかどうか，このデータだけでは断言できない。

［表4.10-15］［表4.10-16］に，視聴率による4区間のうち延べ・異なりの語の密度がもっとも大きい（または小さい）標本を示す。

音声なしの標本は8つあった。音楽番組のうち音楽だけの標本，外国映画（字幕はある），英会話のうち英語だけの標本などであった。区間2の語数が少ない標本も外国映画である。

延べで語数が多い方の極外値をとる標本のNK値（延べ語数÷異なり語数）は，それぞれ2.5以上と大きい値をとる。この値は語の平均繰り返し度数である。話題が集中して同じ語が繰り返し用いられるとNK値が大きくなる。同じことを繰り返し言ったり，登場人物が他の人の発言を引用したりする冗長な表現でも大きくなる。その他各種の要因があってNK値が大きくなる。各区間のNK値分布の中央値は，それぞれ1.9，1.6，1.7，1.6である（［表4.10-17］参照）。

異なり語数が多いのは，話題や表現が豊かであることを示す。語数が少ない標本は区間4の「ひらけ！ポンキッキ」を除き，延べ（［表4.10-15］）と同じなので，［表4.10-16］では省略した。

［表4.10-15］視聴率区間での語の密度の極外値をとる標本（音声・本編の延べ）

区間	延べ	異なり	NK値	ch.	標本	番　組　名
1	147.4	59.2	2.5	6	0169	平成名物ＴＶ・トンガリ編
1	0.0	0.0				音声なしの番組（８番組）
2	123.2	41.6	3.0	10	0053	ＰＲＥ・ＳＴＡＧＥ１
2	1.2	1.2	1.0	6	0261	ノーカット世界名作劇場・カサノバ
3	137.8	49.2	2.8	4	0075	おもいっきりテレビ
3	22.2	15.6	1.4	6	0047	３年Ｂ組金八先生３
4	136.1	52.4	2.6	10	0067	こんにちは２時
4	15.6	13.0	1.2	8	0027	土曜ワイド・都会のタコツボ師

［表4.10-16］視聴率区間での語の密度の極外値をとる標本（音声・本編の異なり）

区間	延べ	異なり	NK値	ch.	標本	番　組　名
1	103.5	59.5	1.7	10	0249	ＰＲＥ・ＳＴＡＧＥ１
2	95.0	67.0	1.4	6	0136	ＪＮＮニュースデスク '89新・び・じ・ん
3	116.3	87.7	1.3	10	0094	やじうまワイド
4	112.5	61.0	1.8	6	0203	３時にあいましょう
4	16.8	10.4	1.6	8	0006	ひらけ！ポンキッキ

以下に五数要約値を示す。

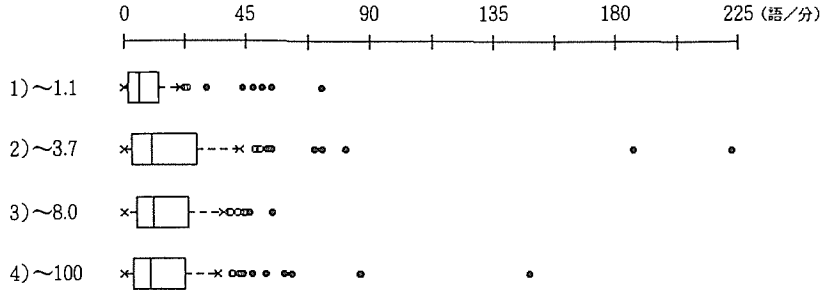
［表 4.10-17］語の密度　音声・本編　延べ・異なり・ＮＫ値の五数要約値

視聴率区間	最小値	第１四分位	中央値	第３四分位	最大値	四分位偏差	標本数
延べ語数							
1) - 1.1	0.0	39.4	69.4	95.4	147.4	28.0	83
2) - 3.7	1.2	54.5	77.1	87.7	123.2	16.6	84
3) - 8.0	22.2	52.5	78.1	94.9	137.8	21.2	84
4) - 100	15.6	50.5	70.6	86.5	136.1	18.0	80
異なり語数							
1) - 1.1	0.0	20.8	37.4	44.0	59.5	11.6	83
2) - 3.7	1.2	34.9	41.1	51.8	67.0	8.5	84
3) - 8.0	15.6	32.7	44.2	52.2	87.7	9.7	84
4) - 100	10.4	30.3	41.7	49.4	61.0	9.6	80
ＮＫ値							
1) - 1.1	0.0	1.4	1.9	2.4	3.1	0.5	83
2) - 3.7	1.0	1.4	1.6	2.0	3.0	0.3	84
3) - 8.0	1.0	1.4	1.7	2.0	2.8	0.3	84
4) - 100	1.0	1.5	1.6	1.9	2.7	0.2	80

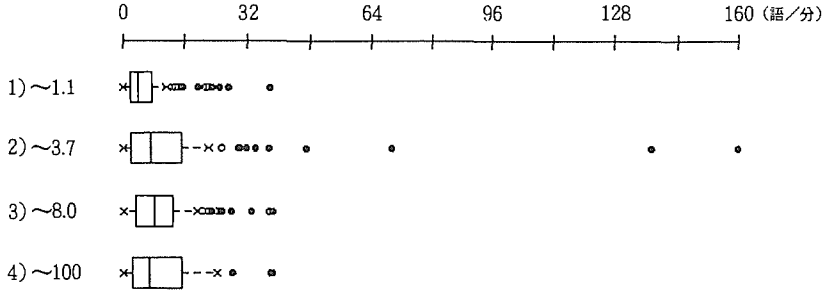
8.3 画面・本編

画面に表示される文字言語は，音声や映像だけでは伝え切れない，あるいは確認すべき重要な情報を表しているはずである。このような画面の文字言語の多少と視聴率は関係があるだろうか。

視聴率別の画面の語の密度を［図 4.10-15］（延べ），［図 4.10-16］（異なり）に示す。この分布で特徴的なことは最小値と最大値の幅の大きいことである。最小値が 0，画面に語が表われない標本があり，また最大値が 222.5，音声の延べ語数よりも多いこともある。



［図 4.10-15］視聴率別の語の密度（画面・本編　延べ）



［図 4.10-16］視聴率別の語の密度（画面・本編　異なり）

中央値の分布は，区間1で 5.2 と小さいけれど他はほぼ同じである。第1四分位は区間1，2，3と徐々にあがる傾向にある。第3四分位では第2区間が最も大きい。しかしいずれも大きな差はない。

画面のNK値は，音声とは異なる。音声本編の中央値は，それぞれ1.9，1.6，1.7，1.6であった。それに比べ画面本編は1.2，1.3，1.2，1.2と小さい。音声言語が繰り返しが多く冗長な表現であるのに対し，文字言語が無駄な表現を避ける要約的表現が多いことを示すデータである。テレビにおける文字言語は，伝達の本体である音声を補助するものだからなおさらその傾向は強いのだろう。ところで画面における文字言語の繰り返しとは何だろうか。画面の文字はある一定時間表示される。そうでなければ読み取れない。一定時間を繰り返しと見るかどうかで画面のNK値の解釈が変る。本調査では，画面が変らない限り繰り返しとはみなかった。音声でも発音の長さを考慮しない。

語数の多い極外値を3例ずつ示す。延べ語数の多いのは株式ニュースで，これは音声の補助というより，画面が主たる情報伝達の媒体といえる。天気予報や連想ゲーム，選手名や打率を文字で示す野球などでも文字が重要な伝達となっていることがわかる。

画面の文字がない標本が30ある。各区間でそれぞれ9，4，6，11標本である。音声データと異なり外国映画はここには含まれない。以下に2例ずつ示した。普通のテレビ番組である。

［表4.10-18］画面・本編　延べ・異なりの語の密度の多い標本

区間	延べ	NK値	標本	番組名	異なり	NK値	標本	番組名
1	73.0	3.4	0254	話題の医学	38.0	1.4	0249	ＰＲＥ・ＳＴＡＧＥ１
1	54.5	1.4	0249	ＰＲＥ・ＳＴＡＧＥ１	27.2	1.8	0277	ジャストポップアップ
1	51.3	2.1	0158	天気予報	24.7	2.1	0158	天気予報
2	222.5	1.4	0210	株式ニュース	159.3	1.4	0210	株式ニュース
2	186.7	1.4	0239	株式ニュース	136.8	1.4	0239	株式ニュース
2	80.8	1.7	0211	おもいっきりテレビ	69.1	1.0	0243	パラダイス
2	80.8	1.7	0211	おもいっきりテレビ	69.1	1.0	0243	パラダイス GO GO !!
3	54.1	1.1	0274	ルンルンあさ6生情報	38.2	1.1	0047	3年B組金八先生3
3	46.0	1.4	0330	天気予報	37.4	1.4	0274	ルンルンあさ6生情報
3	45.1	4.6	0284	クイズヒントでピント	33.0	1.4	0330	天気予報
4	148.2	14.8	0240	連想ゲーム	38.3	1.5	0339	プロ野球・大洋×広島
4	86.8	4.3	0224	気象情報	38.1	1.0	0148	教師びんびん物語Ⅱ
4	86.1	3.8	0244	木曜ナイター・巨人×大洋	28.2	1.8	0236	テレポートＴＢＳ６
1	0.0	0.0	0196	討論・時代を読む	0.0	0.0	0319	ペリーヌ物語
2	0.0	0.0	0305	冗談画報Ⅱ	0.0	0.0	0343	あひるのクワック
3	0.0	0.0	0007	時代劇アワー・十手無用	0.0	0.0	0140	ザッツ談
4	0.0	0.0	0006	ひらけ！ポンキッキ	0.0	0.0	0132	続・三匹が斬る！

五数要約値を以下に示す。

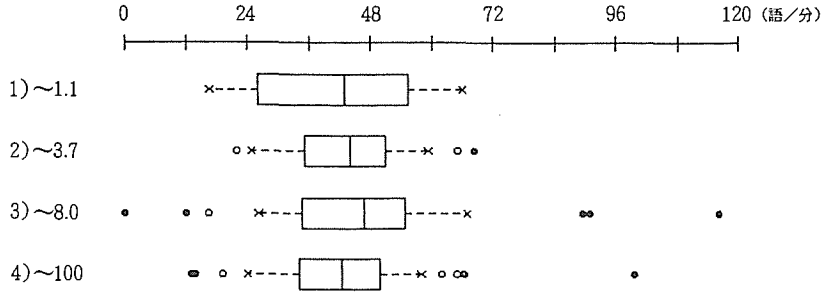
［表 4.10-19］語の密度　画面・本編　延べ・異なり・ＮＫ値の五数要約値

視聴率区間	最小値	第１四分位	中央値	第３四分位	最大値	四分位偏差	標本数
延べ語数							
1) - 1.1	0.0	1.6	5.2	13.2	73.0	5.8	83
2) - 3.7	0.0	2.9	10.0	26.5	222.5	11.8	84
3) - 8.0	0.0	4.7	10.6	23.2	54.1	9.3	84
4) - 100	0.0	3.4	9.6	22.5	148.2	9.6	80
異なり語数							
1) - 1.1	0.0	1.6	3.8	8.7	38.0	3.6	83
2) - 3.7	0.0	2.1	7.2	15.1	159.3	6.5	84
3) - 8.0	0.0	3.3	8.1	12.8	38.2	4.8	84
4) - 100	0.0	2.4	6.7	15.0	38.3	6.3	80
ＮＫ値							
1) - 1.1	0.0	1.0	1.2	1.5	3.7	0.2	83
2) - 3.7	0.0	1.1	1.3	1.6	13.7	0.2	84
3) - 8.0	0.0	1.1	1.2	1.5	6.3	0.2	84
4) - 100	0.0	1.0	1.2	1.6	14.8	0.3	80

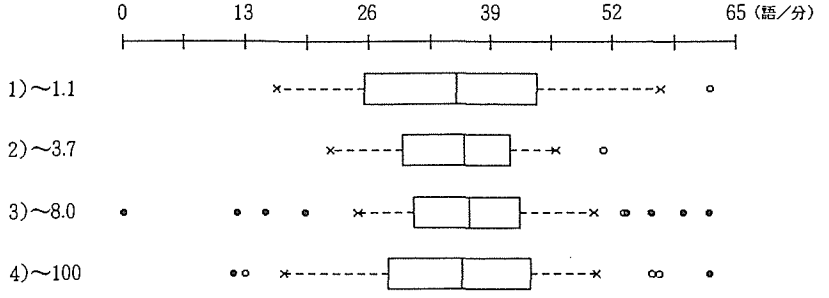
8.4 音声・ＣＭ

ＣＭは，テレビ番組と直接の関係はない。しかし，視聴率の高い番組のＣＭは値段が高いにちがいない。

ＣＭの視聴率別音声の分布を［図 4.10-17］，［図 4.10-18］にしめす。



［図 4.10-17］視聴率別の語の密度（音声・ＣＭ　延べ）



［図 4.10-18］視聴率別の語の密度（音声・ＣＭ　異なり）

ＣＭがない標本がある。ＮＨＫの全標本と民放のＣＭのない部分が標本としてとられたものである。ここで分析する視聴率区間では，それぞれ67，45，37，48標本の合計197標本にＣＭがない。ＣＭの集計・分析には，これらを対象としない。ＣＭの中央値を各区間で比較すると，本編と同じく第１，２，３区間で上昇している。視聴率が高い番組でのＣＭの音声言語が多くなるのは理由がありそうだが，最も視聴率が高い第４区間で語の密度が小さくなっている。

以下は，それぞれの区間の延べ語数で最大と最小の標本である。本編との違いは延べ語数とNK値が小さいことである。延べ語数が少ないのは，ＣＭには必ず台本があり，話し手が一人で，聞き取りやすい話し方がされるからである。NK値が小さく，したがって繰り返しが少ないのは時間単位でＣＭ価格が決まるから当然だろう。NK値の中央値は，視聴率による各区間でそれぞれ1.2，1.2，1.2，1.2と小数部第２位で四捨五入すると同じ値となる。

なお，視聴率区間３の語の密度０の標本は，ＣＭはあったが音声データがなかったことを示す。

［表4.10-20］音声・ＣＭの延べ・異なりが多い・少ない標本

区間	延べ	異なり	NK値	ch.	標本	番　組　名
1	66.0	57.0	1.2	12	0293	夜の時代劇・大江戸捜査網
1	16.4	16.4	1.0	6	0337	ＣＢＳイブニングニュース
2	68.3	41.4	1.7	10	0202	モーニングセンサー
2	22.0	22.0	1.0	12	0111	石亭レディスゴルフトーナメント
3	116.0	62.0	1.9	10	0107	欽どこＴＶ!!
3	0.0	0.0	0.0	10	0310	サンデープロジェクト
4	99.3	62.0	1.6	6	0311	アッコにおまかせ！
4	12.9	12.9	1.0	8	0148	教師びんびん物語Ⅱ

五数要約値を以下に示す。

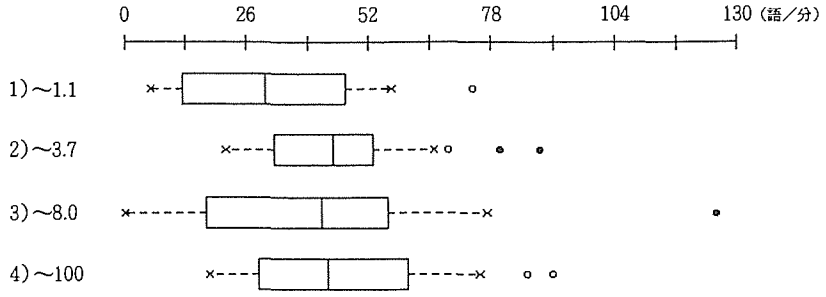
［表4.10-21］語の密度　音声・ＣＭ　延べ・異なり・ＮＫ値の五数要約値

視聴率区間	最小値	第１四分位	中央値	第３四分位	最大値	四分位偏差	標本数
延べ語数							
1）－1.1	16.4	28.0	42.9	53.0	66.0	12.5	16
2）－3.7	22.0	35.1	44.1	51.0	68.3	8.0	39
3）－8.0	0.0	34.7	46.7	55.0	116.0	10.2	47
4）－100	12.9	34.2	42.5	49.9	99.3	7.8	32
異なり語数							
1）－1.1	16.4	26.2	35.0	41.9	62.2	7.9	16
2）－3.7	22.0	29.5	36.2	41.1	51.0	5.8	39
3）－8.0	0.0	30.7	36.6	42.0	62.0	5.7	47
4）－100	11.6	28.0	35.8	43.1	62.0	7.6	32
ＮＫ値							
1）－1.1	1.0	1.0	1.2	1.3	1.6	0.1	16
2）－3.7	1.0	1.1	1.2	1.3	1.7	0.1	39
3）－8.0	0.0	1.1	1.2	1.3	2.4	0.1	47
4）－100	1.0	1.1	1.2	1.3	1.6	0.1	32

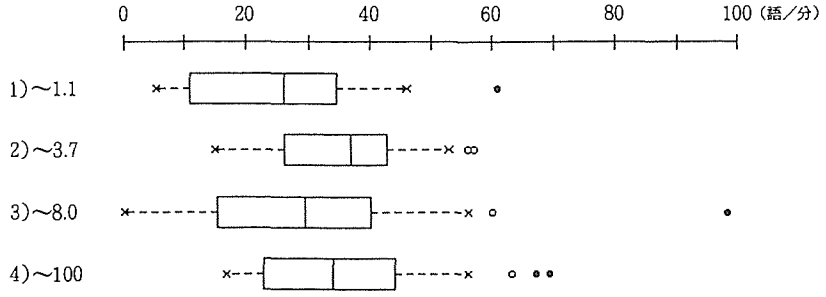
8.5 画面・CM

CMの画面の役割は，音声の役割より大きい。商品の重要な情報である値段，特徴，購買方法などが音声ではなく画面にだけあらわれることが少なくないからである。語数分布も音声とは異なる。

CMの視聴率別文字言語の分布を［図4.10-19］，［図4.10-20］にしめす。区間2と4が多くなって徐々に増加している。この現象は延べ語数でも異なり語数でも同様である。



［図4.10-19］視聴率別の語の密度（画面・CM　延べ）



［図4.10-20］視聴率別の語の密度（画面・CM　異なり）

NK値の比較をする。先に示したように音声では4区間とも1.2であるのに対し，画面では1.2 1.3 1.3 1.3と少し多い。本編とは逆の現象である。詳細は，音声と画面での個々の語の頻度を比較する必要があろう。この分析は次の報告書にゆずる。

次に，各区間での延べ語数の最大値，最小値をとった標本を示す。

［表4.10-22］画面・CM　延べ・異なりが多い（少ない）標本

区間	延べ	異なり	NK値	ch.	標本	番　組　名
1	98.0	77.0	1.3	6	0125	MTVジャパン・ヘッドバンガーズ
1	5.5	5.5	1.0	6	0337	CBSイブニングニュース
2	88.3	57.0	1.5	12	0239	株式ニュース
2	21.6	17.5	1.2	12	0030	日曜囲碁対局
3	125.5	98.2	1.3	8	0043	面白人間統計学！
3	0.0	0.0	0.0	8	0108	ニュース最終版
4	90.6	67.2	1.3	8	0336	FNNニュース・あすの天気
4	18.0	17.0	1.1	10	0288	ゴールデンナイター・ヤクルト×巨人

異なり語数では，次に示す区間２の最小値，区間４の最大，最小値の標本以外は延べと同じである。

区間	延べ	異なり	NK値	ch.	標本	番　組　名
2	22.0	15.0	1.5	4	0038	ＮＮＮ昼のニュース
4	72.6	69.5	1.0	10	0185	大相撲ダイジェスト・11日目
4	22.0	16.7	1.3	6	0311	アッコにおまかせ！

テレビ放送初期のＣＭではたえず発話し，内容も商品名の繰り返しが多かったようだが，現在はイメージ広告のように語数が多いとは思えない。初期タイプのＣＭも存在するが，それらが語数とどのように関っているのか調査が必要である。本調査の結果がその影響であるかどうかは，標本数を増し個々の標本にあたる必要がある。

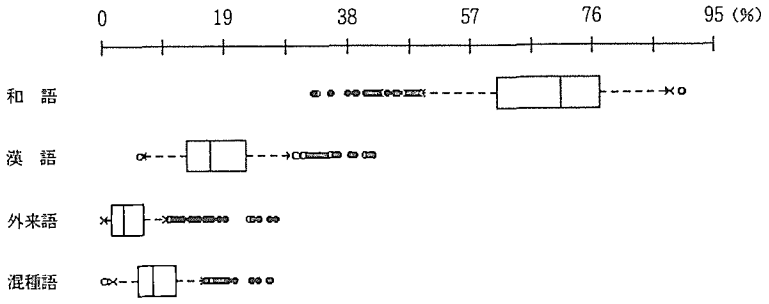
五数要約値を以下に示す。

［表 4.10-23］語の密度　画面・ＣＭ　延べ・異なり・ＮＫ値の五数要約値

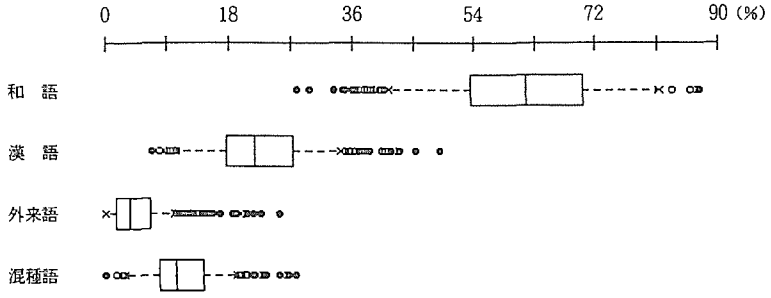
視聴率区間	最小値	第１四分位	中央値	第３四分位	最大値	四分位偏差	標本数
延べ語数							
1）－1.1	5.5	14.0	31.1	55.4	98.0	20.7	16
2）－3.7	21.6	32.0	44.7	53.0	88.3	10.5	39
3）－8.0	0.0	17.3	41.9	56.0	125.5	19.4	47
4）－100	18.0	28.6	43.5	60.4	90.6	15.9	32
異なり語数							
1）－1.1	5.5	13.4	27.1	43.5	77.0	15.0	16
2）－3.7	15.0	26.0	36.7	42.7	57.0	8.4	39
3）－8.0	0.0	15.3	29.3	40.0	98.2	12.4	47
4）－100	16.7	22.7	33.9	43.8	69.5	10.6	32
ＮＫ値							
1）－1.1	1.0	1.0	1.2	1.3	1.8	0.1	16
2）－3.7	1.0	1.2	1.3	1.4	1.6	0.1	39
3）－8.0	0.0	1.1	1.3	1.4	1.9	0.1	47
4）－100	1.0	1.2	1.3	1.4	1.6	0.1	32

９．視聴率と語種

視聴率が異なれば，語種の分布も異なるかを調べる。以下では，本編の音声データについて報告する。［図 4.10-21］，［図 4.10-22］に語種分布を示す。



［図 4.10-21］語種分布（音声・本編　延べ）



［図 4.10-22］語種分布（音声・本編　異なり）

［表 4.10-24］音声・本編　語種の五数要約値

語種	最小値	第1四分位	中央値	第3四分位	最大値	四分位偏差	標本数
延べ（%）							
和語	0.0	60.3	70.5	77.1	90.1	8.4	331
漢語	0.0	12.5	16.4	22.2	41.7	4.9	331
外来語	0.0	1.2	3.1	6.0	26.8	2.4	331
混種語	0.0	4.8	7.4	11.0	47.1	3.1	331
異なり（%）							
和語	0.0	52.2	61.3	69.8	87.3	8.8	331
漢語	0.0	17.1	21.5	27.0	48.8	5.0	331
外来語	0.0	1.6	3.5	6.5	25.2	2.5	331
混種語	0.0	7.4	10.0	14.3	54.5	3.5	331

視聴率の区間による語種変化を表［4.10-25］で見る。

延べ語数の分布で，中央値は，和語・漢語・外来語はあまり変化しないが，混種語は変化する。混種語は区間1が小さい。区間2は1の1.9倍。区間3，4も1.7倍となっている。四分位偏差は，和語が区間2で大きく，漢語とともに区間4で小さい。外来語・混種語の変化は小さい。

異なり語数の分布では，中央値を見ると和語が区間3と4で大きく，混種語が区間2と3で大きい。四分位偏差は和語は区間1，2で大きく，漢語と混種語は視聴率が低い方ほど小さい。

しかし，いずれも視聴率による中央値の大きな変化は認められない。

視聴率区間別の語種の五数要約値のうち第1四分位，中央値，第3四分位，四分位偏差を以下に示す。

［表 4.10-25］視聴率区間別 語種の第 1 四分位 中央値 第 3 四分位 四分位偏差

視聴率区間	第1四分位 和	漢	外	混	中央値 和	漢	外	混	第3四分位 和	漢	外	混	四分位偏差 和	漢	外	混
延べ																
1)	60.5	11.4	0.6	2.9	71.3	15.9	2.9	4.5	77.1	22.0	5.4	9.2	8.3	5.3	2.4	3.2
2)	55.9	12.7	1.2	6.1	70.0	16.8	3.2	8.7	76.7	23.2	6.3	13.2	10.4	5.2	2.6	3.5
3)	60.3	13.0	1.2	5.7	69.2	16.1	2.7	7.8	77.3	23.3	5.6	11.1	8.5	5.2	2.2	2.7
4)	65.2	13.3	1.3	5.1	72.3	16.7	2.9	7.6	77.7	20.9	5.7	10.9	6.3	3.8	2.2	2.9
異なり																
1)	51.8	13.8	1.3	4.3	59.9	20.4	3.4	8.5	70.6	28.6	6.5	12.8	9.4	7.4	2.6	4.3
2)	50.2	16.9	1.6	8.2	58.2	22.2	3.9	11.7	69.8	27.5	7.3	16.4	9.8	5.3	2.9	4.1
3)	53.7	18.0	1.9	7.7	61.5	22.0	3.3	11.1	69.1	26.8	6.2	15.7	7.7	4.4	2.1	4.0
4)	54.6	18.2	1.5	7.8	64.0	21.3	3.4	9.7	70.6	26.1	6.5	13.5	8.0	3.9	2.5	2.8

（値は%。この表は語種それぞれの五数要約値を並べ変えたものである。したがって，語種を合計して 100 になる値ではない。）

全標本を語種の分布によって分類し，それが視聴率によって変化するかどうかを延べ語数の分布について調べる。いわば文体による標本分類の試みである。

話しことばでは，和語の割合が多いのが普通である。和語が第 3 四分位（77.1%）以上の値をとる標本は全体の 25%である。これを仮に和語調として分類しよう。

話しことばでは和語にくらべ漢語は少ない。しかし，書きことばではその比率が増える。台本があるニュース，ドラマ，映画などは漢語が多くなると思われる。漢語が第 3 四分位（22.2%）以上をとる標本を漢語調として分類する。

外来語の増加がとりざたされている。その現象は日本語全体に見られるのだろうか，それとも一部の現象だろうか。それは話題や話し手にもよるにちがいない。テレビ番組ではどうだろうか。和語・漢語と同様に外来語の第 3 四分位（6.0%）以上をとる標本を外来語調として分類する。

流行語や若者ことばにみられる新語も話題になる。これらの語には，新しく造られる語は比較的少なく，多くは幾つかの語を組合せて作ったものである。混種語は異なる語種による複合語である。この調査の調査単位は長い単位だから混種語の割合は他の語種構成比に影響を与える。混種語が第 3 四分位（11.0%）以上をとる標本も数えて分類する。

視聴率による区間において，これら 4 つの語種で第 3 四分位以上の値をとる標本の数は，次の表の通りである。その総数は，計の欄にしめす通り全体の約 25%の 81 または 82 標本である。

［表 4.10-26］語種が第 3 四分位以上の値をとる標本

視聴率区間	和語	漢語	外来語	混種語
1) ～ 1.1	20	19	18	12
2) ～ 3.7	16	23	24	28
3) ～ 8.0	22	25	20	23
4) ～ 100	23	14	19	19
計	81	81	81	82

この表からはそれぞれの語種の割合が高い標本がどの視聴率区間に多くあらわれるかがわかる。すなわち，和語は第2区間に少ない。逆にその他の語種は第2区間に多い。漢語は第3区間にも多く，混種語は第1区間に特に少ない。

ひとつの標本が複数の語種で第3四分位以上の値をとることがあり，またどの語種でもとらないこともある。次の通りである。無分類とはいずれの語種でも大きな値をとらない標本をいう。

［表 4.10-27］語種が第3四分位以上の値をとる標本

視聴率	分類						計	分類・複数の内訳				
区間	無分類	和語	漢語	外来	混種	複数		和外	漢外	漢混	外混	漢外混
1）～1.1	26	19	11	13	3	11	83	1	1	2	6	1
2）～3.7	23	15	4	10	10	22	84	1	3	2	8	8
3）～8.0	19	21	9	11	4	20	84	1	0	3	11	5
4）～100	22	20	6	10	6	16	80	3	0	5	7	1
計	90	75	30	44	23	69	331	6	4	12	32	15

（その他の分類の例数はない。）

さて，この分布が視聴率の多少によって変化があるかみよう。

どの分類にも属さない標本は，いわば平均的な語種分布を示す文章といえる。この標本の合計は90，全標本の27.2%しかない。視聴率の各区間での無分類の標本数は22.6%から31.3%である。特に第3区間が少ない。その他の標本はいずれかの語種が多い標本であり，それぞれ語種分布に特徴があるといえる。

和語は，第2区間で15標本と少ない。和語の多い標本は，各区間での17.8%から25.0%を占める。他との組合せは6標本にすぎない。

和語が多い標本を以下に示す。ここには子供向け教育番組や料理番組，台本のないバラエティー番組，時代劇や現代ドラマ，相撲などの標本が視聴率の多少によって分類されている。

［表 4.10-28］和語の多い標本

区間	特徴	和語	漢語	外来語	混種語	ch.	標本	番組名
1	和	88.1	7.7	0	4.3	3	0234	しぜんだいすき
2	和	90.1	7.8	0.3	1.7	10	0039	欽どこＴＶ!!
3	和	85.4	5.7	1.9	7	3	0015	おかあさんといっしょ
4	和	87.7	8.5	0.4	3.5	6	0179	大岡越前

（特徴の欄には第3四分位以上の値をとった語種の頭文字を示す。以下同）

それに対し，漢語は外来語や混種語との組合せが多い。漢語だけが多い標本は，4.8%から13.2%と少ないが，他との組合せが多い。これらはニュースなど台本がありそうな番組であり，また「話題の医学」や「歴史誕生」などは学術用語や専門的表現の多用などによる影響である。

［表 4.10-29］漢語の多い標本

区間	特徴	和語	漢語	外来語	混種語	ch.	標本	番組名
1	漢 混	32.9	41	5.6	20.5	12	0254	話題の医学
2	漢	54.2	36.2	1.5	8.2	1	0235	関東甲信越ネットワーク
2	漢外混	45.2	35.8	6.2	12.7	10	0202	モーニングセンサー
3	漢	55.4	36	1.5	7.1	1	0332	歴史誕生
3	漢 混	44	38.5	2.3	15.2	6	0068	ニュースコープ
4	漢	49.6	35.5	4.3	10.5	10	0048	ニュースステーション
4	漢 混	42.4	41.0	1.4	15.3	8	0336	ＦＮＮニュース・あすの天気

外来語だけが多い標本が44（43.2%），他との組合せが51（53.7%）と少なくない。スポーツ，ファッション番組が多いがニュースや外国映画も含まれる。

［表 4.10-30］外来語の多い標本

区間	特徴	和語	漢語	外来語	混種語	ch.	標本	番組名
1	外	52.8	14.6	24.1	8.6	4	0001	朝までスポーツ！
1	外混	58.8	15.9	12.1	13.2	12	0065	ボストン・マラソン
2	漢外混	39.1	23.2	23.2	14.5	12	0176	ファッション通信
2	漢外混	33.3	33.3	16.7	16.7	6	0261	ノーカット世界名作劇場・カサノバ
3	外	63.7	7.6	25.7	2.9	10	0083	アイドル共和国
3	外混	57.9	15.3	14.8	11.1	3	0011	第61回選抜高校野球大会
4	外	66.8	13.3	12	7.4	12	0227	東部自動車レディースプロゴルフトーナメント最終日
4	外混	48.2	18.4	18	15.4	4	0060	IAAF第三回ワールドカップマラソンミラノ大会・男子

混種語だけが多い標本は23（28.0%）と約4分の1で，他との組合せが多い。次の通りである。

［表 4.10-31］混種語の多い標本

区間	特徴	和語	漢語	外来語	混種語	ch.	標本	番組名
1	漢外混	5.9	23.5	23.5	47.1	8	0289	放送終了のお知らせ
1	漢 混	35.3	34.9	4	25.8	12	0091	ニュース日経夕刊
2	漢外混	38	22.5	14.1	23.9	8	0329	ミッドナイトシアター・追想のオリアナ
2	混	57.7	21.1	2.8	18.3	12	0030	日曜囲碁対局
3	漢外混	39.5	23.3	11.6	25.6	8	0162	ひらけ！ポンキッキ
3	混	62.2	13.3	3.7	19.3	6	0095	ＴＢＳ６
4	漢 混	41	31	4	23	6	0032	日曜劇場・日曜日には麻雀を
4	外混	45.2	21.9	12.3	20.5	8	0339	プロ野球・大洋×広島

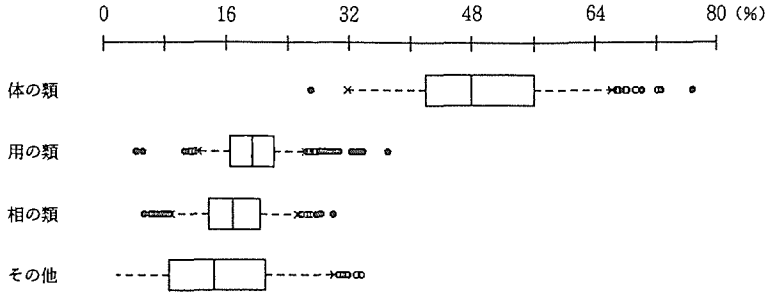
複数の組合せが多いのは区間2と3，少ないのは区間1で，特に漢語，外来語との組合せが多い。漢・外来語・混種語が多い標本が15，外国映画，競馬，ニュース，野球，ファッションなどで，331標本の4.5%もある。標本は，区間1が「放送終了のお知らせ」，区間2が「ミッドナイトアートシアター・追想のオリアナ」「土曜競馬中継・さくらんぼＳ・水上特別」「ビジネスマンＮＥＷＳ」「ノーカット世界名作劇場・カサノバ」「ＮＨＫナイトニュース」「ファッション通

信」「ＪＮＮニュースデスク '89」「モーニングセンサー」，区間3が「ひらけ！ポンキッキ」「プロ野球・大洋×阪神」「やじうまワイド」「ホットライン」「プロ野球デーゲームスペシャルロッテ×日本ハム」，区間4が「ＮＨＫニュース・トゥデー」である。これらの標本の和語の割合は，5.9%と少ない方の極外値をとる標本が1，30%台が4標本，40%台が7標本，50%台が3標本である。

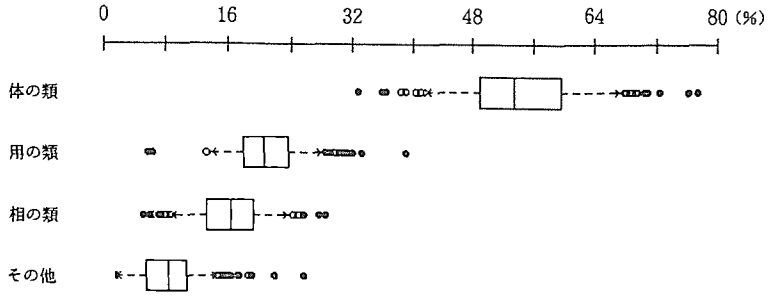
10. 視聴率と品詞

視聴率が変れば，品詞の分布も異なるだろうか。本編の音声データについて報告する。

標本全体の品詞別語彙量は次の通りである。品詞分布を［図4.10-23］，［図4.10-24］に示す。



［図4.10-23］品詞分布（音声・本編　延べ）



［図4.10-24］品詞分布（音声・本編　異なり）

ほとんどが体の類（94.1%）である標本もあれば，27.0%しかない標本もある。図では音声なしの8標本を含む。

区間	体	用	相	他	ch.	標本	番 組 名
1	94.1	5.9	0.0	0.0	8	0289	放送終了のお知らせ
3	27.0	14.9	27.7	30.5	6	0054	奥さま広場

標本全体の語数と割合を次に示す。

［表 4.10-32］品詞別語彙量

	体の類	用の類	相の類	その他	計		体	用	相	その他	計
延べ	48,848	19,536	17,982	16,694	103,060	%	47.4	19.0	17.4	16.2	100.0
異なり	13,830	2,350	1,244	218	17,642	%	78.4	13.3	7.1	1.2	100.0

五数要約値のうち，視聴率区間別の第1四分位，中央値，第3四分位と四分位偏差を次に示す。

［表 4.10-33］ 視聴率区間別 品詞の第1四分位 中央値 第3四分位 四分位偏差

視聴率	第1四分位				中央値				第3四分位				四分位偏差			
区間	体	用	相	他	体	用	相	他	体	用	相	他	体	用	相	他
延べ（%）																
1	37.1	15.4	12.1	5.5	44.0	18.7	17.5	13.2	52.1	23.5	21.2	21.6	7.5	4.1	4.6	8.1
2	44.1	16.6	12.4	7.3	50.4	19.3	16.6	13.4	59.6	21.4	19.7	19.9	7.7	2.4	3.6	6.2
3	42.8	15.7	13.4	9.7	49.1	18.8	16.4	15.1	56.2	21.2	20.6	20.0	6.7	2.7	3.6	5.3
4	43.6	17.3	13.7	8.9	48.0	19.7	16.3	14.2	53.9	22.5	19.5	20.1	5.2	2.6	2.9	5.6
異なり（%）																
1	46.6	17.8	12.5	4.5	51.9	21.2	16.9	7.4	56.3	25.0	19.9	9.9	4.9	3.6	3.7	2.7
2	49.4	17.7	13.1	4.9	55.3	20.0	16.4	7.4	61.5	23.3	18.5	10.5	6.0	2.8	2.7	2.8
3	50.8	17.6	12.8	6.3	54.4	19.6	15.9	8.1	60.5	22.9	19.2	11.0	4.8	2.7	3.2	2.4
4	49.0	18.5	13.2	5.9	53.3	21.4	16.0	9.0	59.8	24.4	18.6	11.2	5.4	3.0	2.7	2.6

（この表は品詞それぞれの五数要約値を並べ変えたものである。したがって，語種を合計して100になる値ではない。）

延べ語数の中央値は，体の類では視聴率の低い区間1が少ない。その他の類は区間3，4で多い。用，相の類は視聴率によってそれほどの変化はない。異なり語数でもほぼ同じ分布をみせる。全体に，品詞の中央値の視聴率の変化は認められない。

語種の分析と同じく，それぞれの品詞の第3四分位以上の値をとる標本が視聴率区間のなかでどれほど出現したかを下の表で示す。これを見ると，体の類が区間2で，用の類が区間1と4で，相の類が区間1と3で，その他の類が区間1で多いことがわかる。

［表 4.10-34］品詞が第3四分位以上の値をとる標本

視聴率区間	体	用	相	他
1）～1.1	15	26	25	25
2）～3.7	30	16	18	20
3）～8.0	21	16	23	18
4）～100	15	24	12	18
計	81	82	78	81

ひとつの標本が複数の品詞で第3四分位以上の値をとることがあり，またどの品詞でもその値をとらないこともある。次表の通りである。無分類とは，いずれの品詞でも大きな値をとらない標本をいう。体の類は区間2が，用の類は区間1と4が，相の類は区間3がそれぞれ多く，その他の類は区間3ですくない。同じ標本で相の類・その他の類も多い標本が33例もある。

［表 4.10-35］語種が第3四分位以上の値をとる標本

視聴率区間	無分類	体	用	相	他	複数	計	体用	用相	相他	体相	用他	用相他
1）～1.1	18	6	13	8	12	26	83	8	4	12	1	1	0
2）～3.7	17	25	7	7	12	16	84	5	3	7	0	0	1
3）～8.0	25	15	8	11	7	18	84	6	1	10	0	0	1
4）～100	23	9	16	7	13	12	80	6	1	4	0	1	0
計	83	55	44	33	44	72	331	25	9	33	1	1	2

（他の分類の例数はない。）

ところで，樺島忠夫は文章表現の違いが品詞構成比によってわかることを示している（『文体の科学』pp.25-36）。すなわち，ＭＶＲ＝100M／Ｖで求め，名詞の比率とＭＶＲで次のように述べている。

名詞比率が大きく，ＭＶＲが小さい文章には要約的表現の文章が多い。

名詞比率が小さく，ＭＶＲが大きい文章にはありさま描写的表現の文章が多い。

名詞比率が小さく，ＭＶＲが小さい文章にはうごき描写的表現の文章が多い。

ここで，ＭＶＲ＝100M／Ｖで求める。Ｖは動詞の比率。Ｍは形容詞・形容動詞・副詞・連体詞の組の比率である。

われわれの調査の品詞分類は分類語彙表によっている。したがって，形容動詞の認定や陳述副詞の分類に違いがあるが，樺島にしたがって各標本の表現を分類してみる。

大小を次のように決める。

1）名詞の比率が大きいとは，その第3四分位56.0より大きいこととする。

2）名詞の比率が小さいとは，その第1四分位42.1より小さいこととする。

3）ＭＶＲが大きいとは，第3四分位118.3より大きいこととする。

4）ＭＶＲが小さいとは，第1四分位 63.1より小さいこととする。

ＭＶＲの五数要約値は次の通りである。

	最小値	第1四分位	中央値	第3四分位	最大値	四分位偏差	標本数
ＭＶＲ	18.8	63.1	87.9	118.2	595.2	27.6	322

（音声なしのデータと用の類，相の類がないデータを省く。）

上記の名詞の比率とＭＶＲを調べると次に表が得られる。

視聴率	名詞		MVR	
区間	大	小	大	小
1）～1.1	14	29	25	19
2）～3.7	30	16	15	19
3）～8.0	21	19	23	17
4）～100	15	14	17	25

名詞の比率が大きい標本が視聴率区間2に多く，名詞の比率が小さい標本が視聴率区間1に多い。視聴率が大きい区間4では，名詞の比率が大きい標本も小さい標本も少ない。MVRの大きい標本は視聴率区間1と3に多く，MVRの小さい標本は視聴率が大きい区間4に多い。

次の表は，各標本がどのような値をとるかを示したものである。

［表 4.10-36］視聴率区間別の，名詞の比率とMVRが大きい（小さい）標本分布

分類記号		A	B	C	D	E	F	G	H	I	
視聴率	名詞	中	大	小	中	中	大	小	小	大	
区間	MVR	中	中	中	大	小	小	大	小	大	計
1）～1.1		18	2	10	4	9	10	19	0	2	74
2）～3.7		29	14	7	5	4	15	9	0	1	84
3）～8.0		27	11	6	10	7	10	13	0	0	84
4）～100		28	4	6	11	12	11	6	2	0	80
計		102	31	29	30	32	46	47	2	3	322
文章表現							要約	有様	動き		

報道番組は要約的表現であるべきである。テレビでは，映像が動きを直接見せているからうごき描写的表現が少なく，ことばで補うべき心理的なありさまなどを表現するありさま描写的表現が多いのは当然ともいえる。実際全標本の中には，先の定義による要約的表現はFの46標本，ありさま描写的表現はGの47標本，うごき描写的表現はHの2標本あった。

表によると，要約的な表現はどの視聴率区間でも平均して表われるが，しいていえば視聴率による区間2に多い。ありさま描写的表現は視聴率の低い区間1に多い。ありさま描写的表現はほかの区間にもあらわれるが，うごき描写的表現は区間4の2標本だけである。

次に，視聴率の区間別にMVRと体の類がより典型的な数値を示す標本を3つずつ示す。この表を見ると，要約的表現では報道番組が多いことがわかる。要約的表現には表現内容を骨組を表す表現である。報道番組ではない，視聴率区間1の0254「話題の医学」0245「ミッドナイトシアター・丹下左膳妖刀濡れ燕」，区間3の0283「プロ野球・大洋×阪神」はそのような表現である部分が標本に取られたのであろう。

［表 4.10-37］要約的表現の標本

視聴	表現	MVR	体	用	相	他	標本	番組名
1	要約	22.6	66.7	23.0	5.2	5.2	0091	ニュース日経夕刊
1	要約	40.0	63.2	23.5	9.4	3.8	0254	話題の医学
1	要約	30.6	62.7	23.5	7.2	5.9	0245	ミッドナイトシアター・丹下左膳妖刀濡れ燕
2	要約	53.6	68.0	16.6	8.9	6.5	0296	ＪＮＮニュースデスク '89
2	要約	42.1	66.9	21.4	9.0	2.6	0269	おはよう天気
2	要約	44.4	66.7	21.4	9.5	2.4	0103	ＡＮＮニュース
3	要約	43.6	67.1	21.1	9.2	2.6	0330	天気予報
3	要約	25.8	66.1	23.3	6.0	4.6	0068	ニュースコープ
3	要約	43.6	65.5	19.5	8.5	6.5	0283	プロ野球・大洋×阪神
4	要約	42.3	72.2	18.2	7.7	1.9	0320	ＮＨＫニュース・トゥデー
4	要約	31.1	70.1	22.2	6.9	0.7	0336	ＦＮＮニュース・あすの天気
4	要約	34.4	69.3	22.4	7.7	0.6	0003	ニュース

ありさま描写には，料理番組，囲碁放送，談話，ドラマが抽出されている。これらの番組では，動きを表現することよりも，物事のありさまをより詳しくあらわす表現が多いだろう。そのような部分が標本として選ばれたのである。

［表 4.10-38］ありさま描写の標本

視聴	表現	MVR	体	用	相	他	標本	番組名
1	有様	119.4	32.1	21.1	25.2	21.6	0026	第２回世界囲碁選手権富士通杯
1	有様	141.6	33.7	15.4	21.8	29.1	0044	きょうの料理
1	有様	124.7	33.8	15.4	19.2	31.7	0196	討論・時代を読む
2	有様	174.7	38.3	16.2	28.3	17.2	0280	土曜倶楽部
2	有様	179.3	35.3	15.0	26.9	22.9	0294	おかあさんの勉強室
2	有様	119.1	35.1	18.8	22.4	23.7	0278	ヘルシークッキング
3	有様	185.9	27.0	14.9	27.7	30.5	0054	奥さま広場
3	有様	158.0	37.0	16.2	25.6	21.1	0081	ニュース最終版
3	有様	156.7	38.6	17.1	26.8	17.5	0295	金子信雄の楽しい夕食
4	有様	119.9	31.9	18.1	21.7	28.3	0067	こんにちは２時
4	有様	124.8	34.3	16.5	20.6	28.6	0159	愛の劇場・おめでた
4	有様	136.2	38.8	17.4	23.7	20.1	0286	青春家族

標本 0252「ゴールデン洋画劇場・ザ・ダイバー炎の脱出」は題名からしていかにもうごき描写の多い番組である。

［表 4.10-39］うごき描写の標本

視聴	表現	MVR	体	用	相	他	標本	番組名
4	動き	60.7	39.7	29.5	17.9	12.8	0027	土曜ワイド・都会のタコツボ師
4	動き	37.1	38.2	29.9	11.1	20.8	0252	ゴールデン洋画劇場・ザ・ダイバー炎の脱出

11. まとめ

11.1 目　的

番組の視聴に関する情報である視聴率1と占拠率，その時どれ程のテレビをつけていたかの割合を示す視聴率2を用いて，時間帯・番組・チャンネル・曜日によって視聴率がどう変化するか，視聴率の高いまたは低い標本の語彙は，どれほどの語数を持ち，どのような語種構成，品詞構成になるかを調べた。

11.2 時間帯・番組・チャンネル・曜日

- テレビをつける時間には次の3つのピークが認められる。
  - ① 朝の7時台から8時台の中規模のピーク。
  - ② 昼の12時台から午後1時台の小規模のピーク。
  - ③ 午後7時台，8時台，9時台，10時台の大規模のピーク。
- よくテレビを見るのは，週末である。日曜日の標本の視聴率も大きい。
- 標本分布は，視聴率の小さいところが最も多く，視聴率の大きくなるにしたがい標本が少なくなる分布，いわゆるL字型分布を示す。
- 番組のジャンルからみると，ストーリー系番組，スポーツ系番組，バラエティー系番組，報道系番組がよく視聴されている。教育・教養系番組と音楽系番組は視聴率が小さい。しかし，音楽系番組は偏差が大きいので視聴率の大きい番組も少なくない。
- 占拠率をみると，ストーリー系番組，報道系番組，バラエティー系番組，スポーツ系番組，一般実用系番組の順にこれらの番組が他のジャンルより選ばれてよく視聴される，つまり視聴者は番組のジャンルで番組を選んで見ているからである。
- チャンネルの視聴率は，3，12チャンネルが低い他それほどの違いはない。さらにいずれのチャンネルでも視聴率が大きい標本も小さい標本もある。
- 日曜日の番組が比較的よく視聴されている。

11.3 語　彙

11.3.1 語　数

視聴率1を4区間に分け，標本を分類し，分析した。

- 音声・本編の延べ語数の中央値は，視聴率の小さい区間1から69.4語，77.1語，78.1語と大きくなるが，区間4では70.6語と小さくなる。この傾向は異なり語数でも同じである。
- 画面・本編の中央値の分布は，区間1で5.2と小さいけれど他はほぼ同じである。NK値は音声・本編より小さい。
- 音声・CMの中央値の分布は，本編と同じく第1，2，3区間で上昇している。第4区間は少なくなっている。
- 画面・CMは，延べ語数でも異なり語数でも区間2と4が多くなって徐々に増加している。

11.3.2 語　　種

・延べ語数の中央値は，和語・漢語・外来語はあまり変化しない。混種語は区間1が小さく，2，3，4が大きい。混種語の区間2は，1にくらべ1.9倍。区間3，4も1.7倍となっている。異なり語数の中央値は，和語が区間3と4で大きく，混種語が区間2と3で大きい。しかし，視聴率による大きな変化は認められない。

それぞれの語種が第3四分位以上の値をとる標本がどの視聴率区間に多くあらわれるかによって分析した。

・和語が多い標本は第2区間に少ない。逆にその他の語種は第2区間に多い。漢語は第3区間にも多く，混種語は第1区間に特に少ない。

・和語が多い標本には，子供向け教育番組や料理番組，台本のないバラエティ番組，時代劇や現代ドラマ，相撲などがある。

・漢語は外来語や混種語との組合せが多い。これらはニュースなど台本がありそうな番組がある。また，学術用語や専門的表現などが多い標本もある。

・外来語だけ，他との組合せが多い標本も少なくない。スポーツ，ファッション番組が多いがニュースや外国映画も含まれる。

11.3.3 視聴率と品詞

・中央値は，延べでも異なりでも視聴率による大きな変化は認められない。

樺島忠夫は，ＭＶＲ＝100×体の類÷用の類で求め，体の類の比率とＭＶＲによって文章表現の違いがわかることを示している。ＭＶＲと体の類の多寡は次の通りである。

・体の類の比率が大きい標本が視聴率区間2に多く，体の類の比率が小さい標本が視聴率区間1に多い。視聴率が大きい区間4では，体の類の比率が大きい標本も小さい標本も少ない。ＭＶＲの大きい標本は視聴率区間1と3に多く，ＭＶＲの小さい標本は視聴率が大きい区間4に多い。

・樺島忠夫の方法によると，要約的表現は46標本，ありさま描写的表現は47標本，うごき描写的表現は2標本あった。視聴率区間でいうと，要約的表現はどの区間でも平均して表われる。ありさま描写的表現は視聴率の低い区間1に多い。ありさま描写的表現はほかの区間にもあらわれるが，うごき描写的表現は区間4の2標本だけである。標本のタイトルをみると，要約的表現では報道番組が，ありさま描写では料理番組，囲碁放送，談話，ドラマが多い。うごき描写として抽出された標本2例はいずれも映画であった。

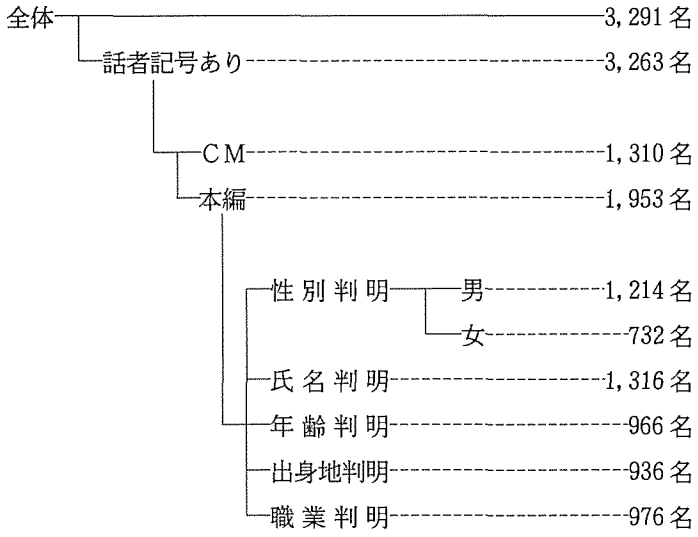
第11章　話　　者

今回の調査データでは標本に登場する個々の話者について性別・年齢・職業などの情報を可能な限り収集し付与している。ここでは音声データについて，話者の諸属性と語彙特徴の関係を観察する。語彙的特徴の観察に先立って，今回のデータに登場する話者についての情報を概観しよう（話者情報付与についての詳細は「第２部第７章　データの形式と管理」参照）。

１．話者情報の概観

1.1 情報判明の度合い

今回のデータに登場する話者について，どのような情報がどの程度判明し，付与されているかを示す。



（※いずれも延べ人数）

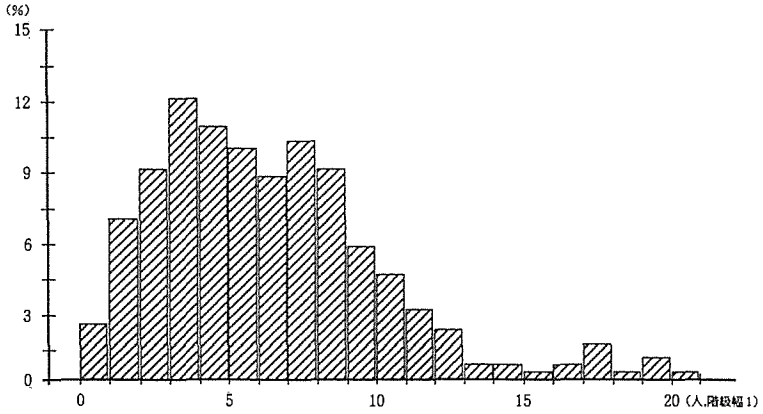
話者記号は，当該の発話の話者が他の人物と区別可能であると判断された場合に付与される。したがって，仮に氏名・性別などが特定できなくとも他の話者と区別が可能であれば，与えられる。

ＣＭは，時間的には本編の８分の１程度（本編総時間：96,832秒，ＣＭ総時間：12,368秒）であるにもかかわらず，話者の数が多い（話者記号を付与された話者のうち約40%を占める）。ごく短い時間の中でさまざまな話者が入れかわり立ちかわり登場する，という直観と符合する結果である。

なお，以下の考察では，本編の話者に限定して分析をすすめる。

1.2 標本別話者数

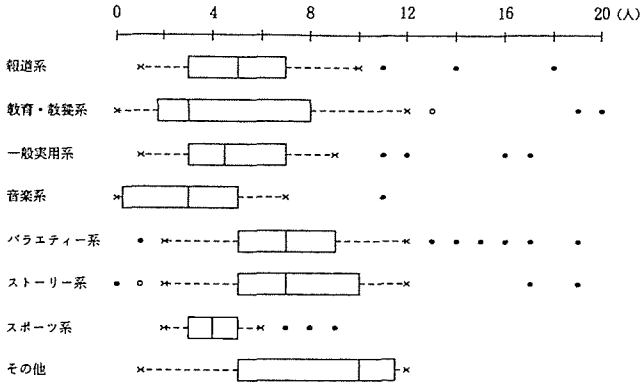
標本ごとの話者の人数をヒストグラムでみてみよう［図4.11-1］。3～4人あたりを頂点として，8人ぐらいまで高い部分の続く山をなしている。



［図4.11-1］本編話者数の相対度数分布

番組の各ジャンルの標本に登場する話者数の五数要約値は次の通りである。箱型図を［図4.11-2］に示す。

	最小値	第1四分位	中央値	第3四分位	最大値	四分位偏差	標本数
1 報道系	1.0	3.0	5.0	7.0	18.0	2.0	52
2 教育・教養系	0.0	1.8	3.0	8.0	20.0	3.1	42
3 一般実用系	1.0	3.0	4.5	7.0	17.0	2.0	72
4 音楽系	0.0	0.3	3.0	5.0	11.0	2.4	20
5 バラエティー系	1.0	5.0	7.0	9.0	19.0	2.0	51
6 ストーリー系	0.0	5.0	7.0	10.0	19.0	2.5	63
7 スポーツ系	2.0	3.0	4.0	5.0	9.0	1.0	26
8 その他	1.0	5.0	10.0	11.5	12.0	3.3	5

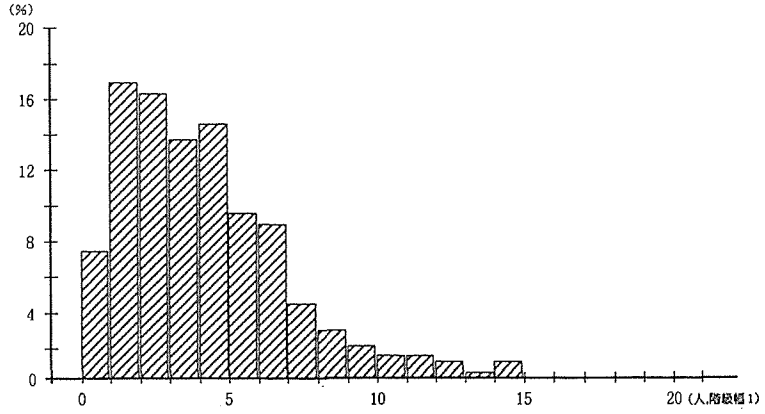


［図4.11-2］ジャンル別の本編話者数の平行箱型図

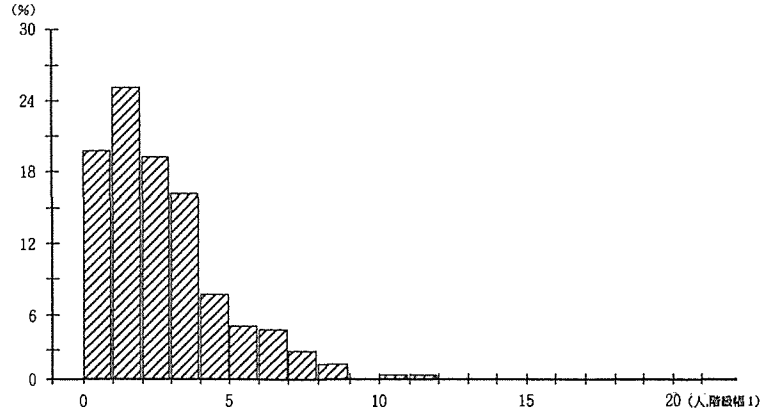
バラエティー系，ストーリー系で話者数が多い。話者数が少ないのは教育・教養系，音楽系，スポーツ系である。教育・教養系は，講師が一人で語るケースが多いことが話者の少ない原因の一つだろう。また，音楽系の番組も歌手が一人で歌うケースが多いことによるのかもしれない。スポーツ系は四分位偏差もかなり小さい。スポーツの実況中継の話者は実況担当のアナウンサーと解説者で合わせて2～3人という小人数の場合が多いためだと考えられる。

1.3 性　別

次に性別ごとに度数分布をみてみる［図4.11-3］［図4.11-4］。



［図4.11-3］本編話者数（男性）の相対度数分布



［図4.11-4］本編話者数（女性）の相対度数分布

男性は1人から4人ぐらいまで高い部分の続く山がみられるが，女性は1人の一つの山のみである。ニュースやワイドショーの司会者などは男性一人＋女性一人が多く，それにもう一人（リポーターなど）が加わって話を進める場面が多い。先の1.2.で全体のヒストグラムにみられた三人の山はこのようにしてできたものかもしれない（“三人”の内訳は次の表の通りである）。

[表 4.11-1]

男	女	標本数
3	0	11
2	1	16
1	2	10
0	3	2

次に，各ジャンルごとの男女の比率をみてみよう。

[表 4.11-2]

分　類	男	女	不明	計	男(%)	女(%)
報　道　系	184	99	1	284	64.8	34.9
教育・教養系	155	57	1	213	72.8	26.8
一般実用系	207	164	2	373	55.5	44.0
音　楽　系	39	30	0	69	56.5	43.5
バラエティー系	230	160	2	392	58.7	40.8
ストーリー系	295	175	1	471	62.6	37.2
スポーツ系	84	25	0	109	77.1	22.9
そ　の　他	20	22	0	42	47.6	52.4
計	1,214	732	7	1,953	62.2	37.5

男女比はほぼ 6.2 : 3.7 で，女性が男性を上回るジャンルはなかった。

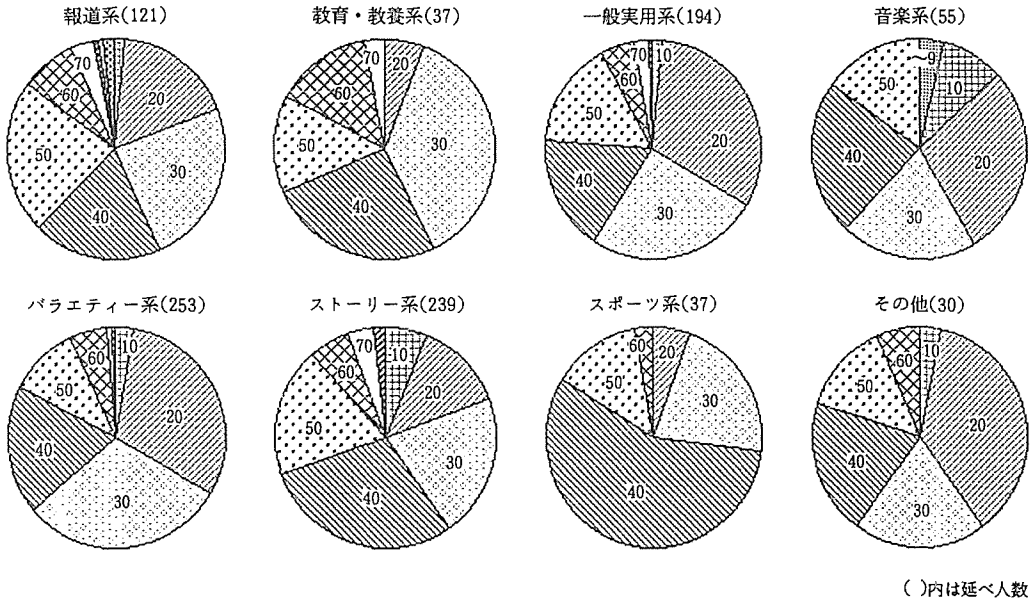
スポーツ系は圧倒的に男性が多い。教育・教養系でも男性が 7 割以上を占める。女性の割合が比較的大きいのは一般実用系と音楽系である。前者は子供の教育や料理などの番組に他のジャンルよりも頻繁に女性が登場することによると考えられる。後者は女性歌手が登場するためだろうか。

1.4 年　齢

[表 4.11-3]

分　類	～9	10	20	30	40	50	60	70	80	90	110	計
報　道　系	0	2	21	29	23	27	10	4	1	1	2	121
教育・教養系	0	0	2	13	9	5	5	1	0	0	0	37
一般実用系	0	3	61	49	32	30	10	4	1	0	0	194
音　楽　系	2	5	15	11	12	8	0	0	0	0	0	55
バラエティー系	0	7	77	75	48	26	14	2	1	0	0	253
ストーリー系	0	14	31	49	68	44	14	9	4	0	0	239
スポーツ系	0	0	2	8	21	5	1	0	0	0	0	37
そ　の　他	0	1	11	6	6	4	2	0	0	0	0	30
計	2	32	220	240	219	149	56	20	7	1	2	966

話者の年齢構成を番組のジャンルごとに集計すると上の表のようになる。このうち，10代から60代（以下，年齢はいずれも調査時点においてのもの）にかけてを観察しよう（10代未満と70代以上は話者数が少ないため，確実なことが述べにくい）[図4.11-5]。



[図4.11-5] 番組ジャンル別年齢構成

報道系では20〜50の各年代がまんべんなく登場している。教育・教養系では30代が目立つ。また，60代の比率が他のジャンルにくらべて大きいのも特徴的である。一般実用系では20代の比率が大きい。音楽系では10代の比率が他のジャンルにくらべて大きい。バラエティー系は20代・30代を合わせると全体の約3分の2を占めている。ストーリー系は30代・40代で全体の約半分を占めている。スポーツ系は報道系と同様，アナウンサーが登場することが多いが，40代の話者が2分の1以上を占めており，きわだった特徴をみせる。

1.5 職　　業

今回のデータに登場した職業のうち，延べ人数の多かったものをあげてみよう。

職業別ランキング

263	俳優	20	政治家
202	女優	17	漫才師
162	歌手	16	ミュージシャン
148	タレント	15	落語家
142	アナウンサー	11	大学教授
53	キャスター	11	リポーター
27	コメディアン	10	プロ野球解説者
25	声優		
22	司会者		

テレビ放送に出演することを職業にしている人物（プロの話し手）が上位を占めている。

2．音声データと話者情報

以下では1.で概観した各種情報と，話者の用いている語彙の特徴との関係を考察する。

2.1 話者数と語の密度

標本ごとの話者数と語の密度（分あたりの語彙量）との関係をみてみよう。素朴な直観としては話者が増えれば語彙量も増えるように思われるが，実際はどうであろうか。ここでは語の密度と話者数の間の相関係数を求めてみた。

＜音声・語の密度（延べ）×話者数＞

	全体	報道系	教育・教養系	一般実用系	音楽系	バラエティー系	ストーリー系	スポーツ系
標本数	331	52	42	72	20	51	63	26
相関係数	0.14503	0.05696	0.16690	0.21376	0.60842	-0.04035	0.39561	0.12992

全体に話者数と語の密度（延べ）の間の相関は小さい。相関係数がやや大きいのは音楽系とストーリー系である。ドラマなどストーリー系の番組は，用意された台本に忠実にしたがって進められるものである。登場する話者の発話は話の展開の中で欠くことのできない役割を担っている。つまり，“不必要な話者は登場しない”のである。言い換えれば，話者はストーリーを展開させる上で必要不可欠なセリフを述べるために登場することが多いと予測される。わずかではあるが，「話者数が増えれば延べ語数も増える」傾向が見られるのはそのためであると考えられる。また，音楽系の標本には当然歌も含まれるが，歌は台本のあるドラマと同様，定まった歌詞を歌うものであり，登場する歌が増えれば（つまり，歌い手が増えれば），それだけ延べ語数も増えていくのだろう。なお，一般実用系も他に比べて相関係数が高い。講座ものなどもドラマ同様，綿密に準備された台本にしたがって進められるためだろうか。

＜音声・語の密度（異なり）×話者数＞

	全体	報道系	教育・教養系	一般実用系	音楽系	バラエティー系	ストーリー系	スポーツ系
相関係数	0.29148	0.20939	0.50013	0.32976	0.71271	0.16481	0.54913	0.22099

異なり語数の語の密度は，一般に延べ語数よりも話者数との相関が大きい。

一つの推測として，次のようなことが考えられる。

報道系，教育・教養系，一般実用系は“知識・情報を伝達することに主眼のある番組”である。したがって，単位時間あたりにできるだけ多くのことを伝達しようとする。それゆえ，話者が多くても少なくても，番組全体として発している情報量（すなわち語彙の総量）は同じであり，延べ語数の変動はないと考えられる。ただし，全体として伝えている情報量が同じであっても，話者が増えれば，語彙のバリエーションは豊かになる。というのも，同じ話題について同じだけのことを語っていても，それぞれの話者は違う表現・違う視点で語るため，話者が増えれば増えただけ語彙の広がりが増す。このようにして異なり語数が増えるのではないだろうか。

他方，ドラマなどストーリー系の番組は物語の筋をたどることに主眼があり，情報量を増やすことにはあまり関心がない（概して語彙量は少なめである）。しかし，話し手が増えれば語彙のバリエーションが豊かになる点では報道系などと同様である。

異なり語数の語の密度と話者数の相関が大きくなることの一つの要因として以上のようなことがらが考えられる。

なお，バラエティー系だけは延べ・異なり語数とも話者数との相関係数が低い。バラエティー系は報道系，教育・教養系，一般実用系と異なり，知識や情報の伝達に主眼がない。しかも，番組の進行の基本的な部分は台本に基づいているものの，やりとりの細かい部分は出演者の自由に委ねられていると推測される。それゆえ，話者数と語彙量との間には規則的な関係が成立しにくいのではないだろうか。

2.2 性別と語彙

性別によって語彙の特徴に差が見られるだろうか。ここでは，χ二乗検定を行い，語種・品詞構成について男女差があるかどうかを検討する。

（語種）→［図4.11-6］［図4.11-7］

［表4.11-4］

	和語	漢語	外来語	混種語	不明	計
男（異なり）	4,389	4,666	1,261	3,090	97	13,503
	32.5	34.6	9.3	22.9	0.7	
女（異なり）	2,777	2,434	678	1,640	53	7,582
	36.6	32.1	8.9	21.6	0.7	
男（延べ）	45,720	12,528	2,930	5,484	2,396	69,058
	66.2	18.1	4.2	7.9	3.5	
女（延べ）	24,661	5,785	1,254	2,654	1,243	35,597
	69.3	16.3	3.5	7.5	3.5	

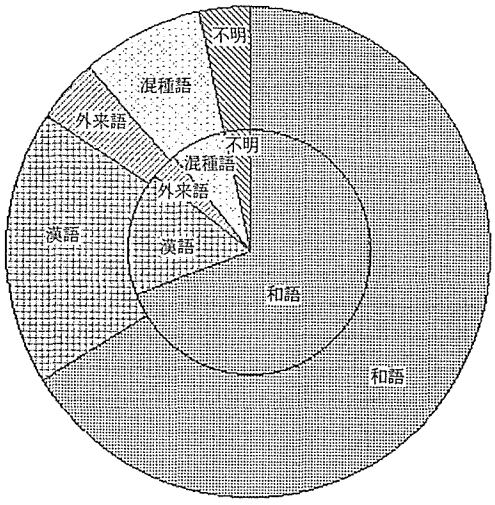
上段：実数　下段：百分率

延べ　：$\chi^2=118.545$　異なり　：$\chi^2=37.212$

※自由度4・P=0.05 のとき $\chi^2=9.49$，P=0.01 のとき $\chi^2=13.28$。

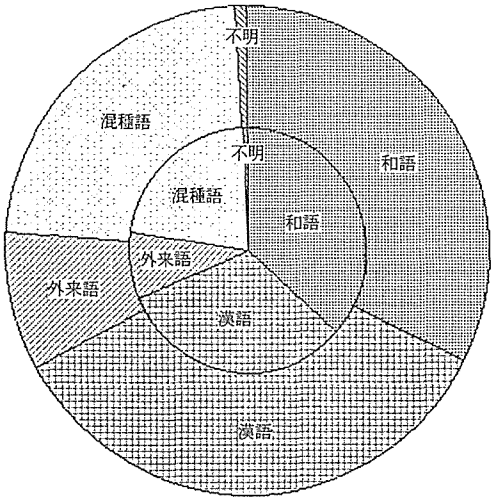
“不明”をのぞいた数値で計算。

よって，延べ・異なりのいずれについても「男女差がない」という仮説は棄却される。



外：男性　内：女性

［図 4.11-6］性別語種内訳（延べ）



外：男性　内：女性

［図 4.11-7］性別語種内訳（異なり）

語種の内訳をみてみると，延べ・異なりのいずれにおいても女性は男性より和語が多く，逆に男性は女性よりも漢語が多い。外来語・混種語は延べ・異なりとも男性の方がわずかに多い。性別の差による語種の最も大きな違いは，女性は和語が多く漢語が少ないこと，そして男性はその逆になっていることである。

（品詞）→［図 4.11-8］［図 4.11-9］

［表 4.11-5］

	体	用	相	その他	不明	計
男（異なり）	10,363	1,912	1,004	186	38	13,503
	76.7	14.2	7.4	1.4	0.3	
女（異なり）	5,624	1,172	635	136	15	7,582
	74.2	15.5	8.4	1.8	0.2	
男（延べ）	32,111	12,451	11,472	10,721	2,303	69,058
	46.5	18.0	16.6	15.5	3.3	
女（延べ）	15,855	6,765	6,250	5,530	1,197	35,597
	44.5	19.0	17.6	15.5	3.4	

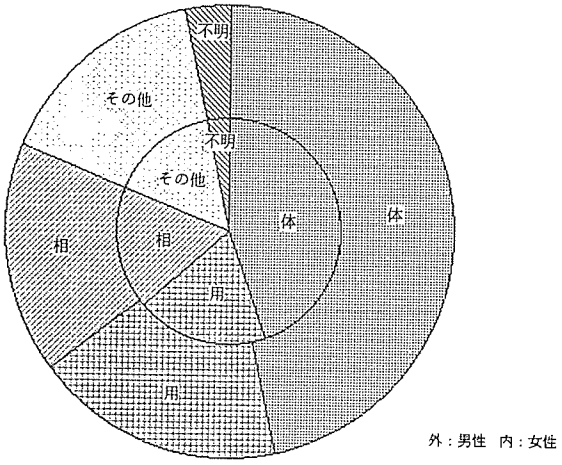
上段：実数　　下段：百分率

延べ　　：$\chi^2=44.264$　　異なり　：$\chi^2=22.197$

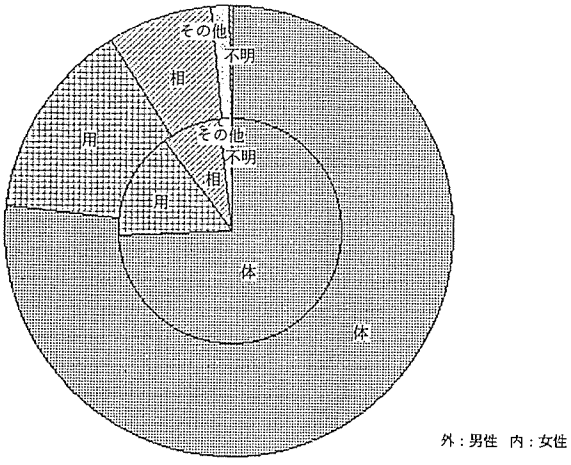
※自由度 3・P＝0.05 のとき　$\chi^2=7.81$，P＝0.01 のとき　$\chi^2=11.34$。

“不明” をのぞいた数値で計算。

よって，「男女差がない」という仮説は延べ・異なりとも棄却される。



［図 4.11-8］性別品詞内訳（延べ）



［図 4.11-9］性別品詞内訳（異なり）

品詞構成を比較すると，次のようになる。体の類は延べ・異なりとも男性の方が多い。逆に用の類・相の類は延べ・異なりともに女性の方が多い。また，その他の類は延べ・異なりとも差がごく小さい。性差による品詞構成の違いとして，男性は体の類が多く，女性は用・相の類が多い，といえる。

2.3 年齢と語彙

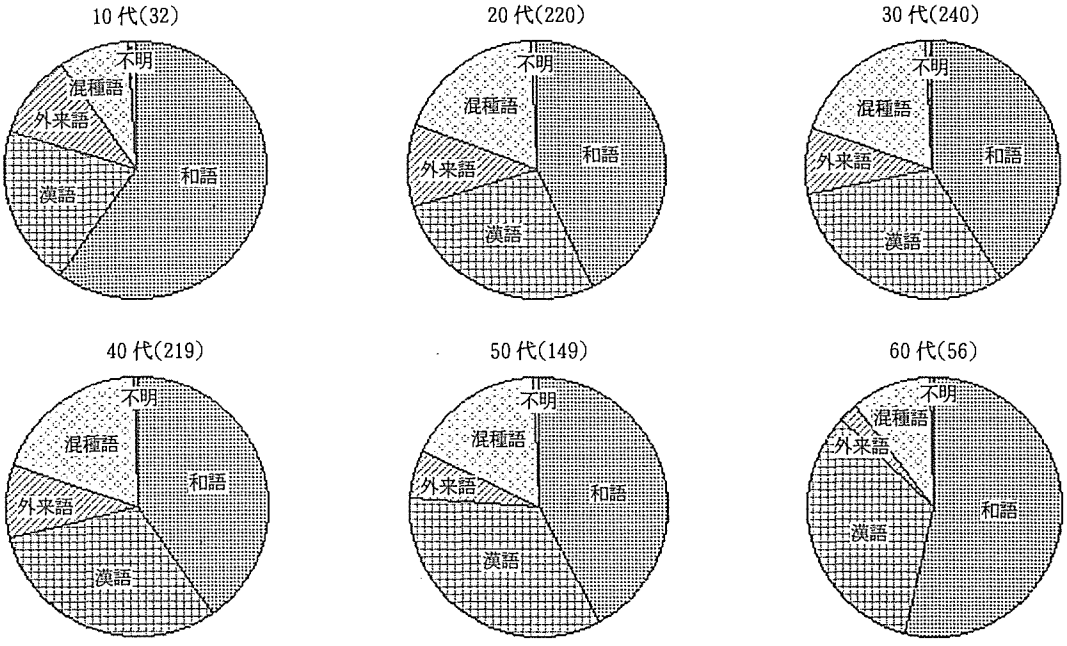
（語種・異なり）

［表 4.11-6］

	和語	漢語	外来語	混種語	不明	計
10 代（ 32）	279	94	49	40	4	466
20 代（220）	1,458	926	347	631	25	3,387
30 代（240）	1,899	1,432	395	884	28	4,638
40 代（219）	1,727	1,313	394	809	21	4,264
50 代（149）	1,440	1,153	207	583	21	3,404
60 代（ 56）	739	453	32	141	6	1,371

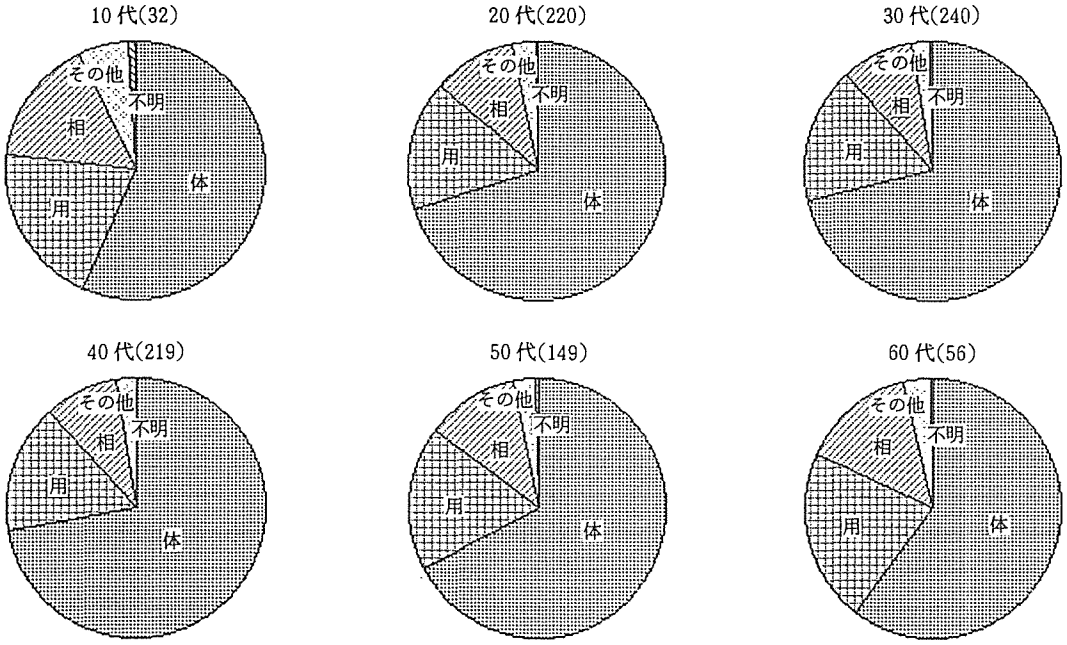
次に，年齢を指標として語種・品詞の構成をみる。

10 代未満と 70 代以上は，人数がごく少ないため，それぞれの年代の実態を正確に反映しているかどうか慎重に検討する必要があるだろう。ここでは 10 代から 60 代について観察する［図 4.11-10］［図 4.11-11］。



( )内は延べ人数

［図 4.11-10］年代別語種内訳（異なり）



( )内は延べ人数

［図 4.11-11］年代別品詞内訳（異なり）

20代から40代にかけてはほぼ一様の内訳だが，20代は30代・40代に比べ，わずかに和語が多い。50代は他の年代に比べてやや漢語が多く，外来語が少ない。10代・60代の内訳が他の年代と異なるのは人数の差によるものかもしれない。

（品詞・異なり）

［表 4.11-7］

	体	用	相	その他	不明	計
10代（ 32）	264	95	74	29	4	466
20代（220）	2,373	553	349	104	8	3,387
30代（240）	3,311	790	424	107	6	4,638
40代（219）	3,080	692	389	100	3	4,264
50代（149）	2,290	611	390	99	14	3,404
60代（ 56）	827	297	196	49	2	1,371

品詞についても20〜40代はほぼ同様の内訳である。50代は体の類がやや少なく，用の類が若干多い。10代・60代は他の年代と比べて人数が少ないため，確実なことが述べにくい。

次に，各年代の語彙的特徴に差があるかどうかを調べるため，χ二乗検定を行った。

（語種（異なり））

10-20	10-30	10-40	10-50	10-60
57.441	79.391	79.083	83.122	75.392
	20-30	20-40	20-50	20-60
	16.913	12.713	62.112	154.426
		30-40	30-50	30-60
		3.433	25.935	146.750
			40-50	40-60
			34.723	156.145
				50-60
				86.611

自由度4・“不明”を除いた数値で計算
P=0.05のとき $\chi^2=9.49$
P=0.01のとき $\chi^2=13.28$

（品詞（異なり））

10-20	10-30	10-40	10-50	10-60
38.171	59.950	61.546	28.645	7.396
	20-30	20-40	20-50	20-60
	8.155	7.714	6.753	43.671
		30-40	30-50	30-60
		1.099	18.886	65.152
			40-50	40-60
			22.409	71.353
				50-60
				22.142

自由度3・“不明”を除いた数値で計算
P=0.05のとき $\chi^2=7.81$
P=0.01のとき $\chi^2=11.34$

円グラフでみる限りは年代間の語種・品詞構成に大きな差はないように思われるが，語種のχ二乗値をみると，30代－40代（P=0.01のときは20代－40代も）以外はどの二つの年代をとっても，語種構成に差がないという仮説は棄却される。品詞は語種に比べると差が小さい。10代－60代，20代と30・40・50代，30代－40代の組合わせでは品詞構成に差がないという結果になっている。年齢層による語種構成・品詞構成の類似と相違についてどのような事情が働いているのかは未詳である。

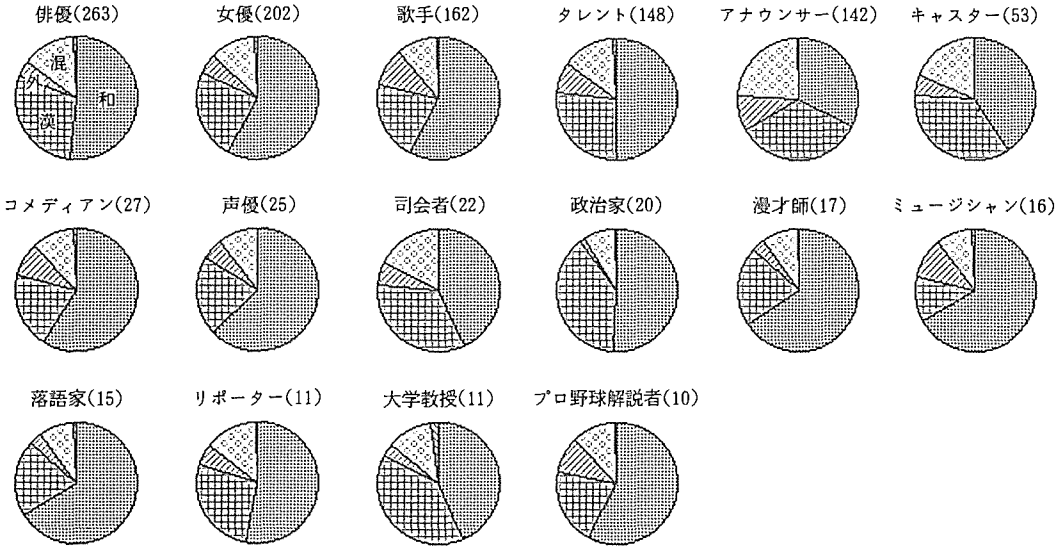
2.4 職業と語彙

ここでは，延べ人数が10名以上の職業に限定して語種構成と品詞構成を観察する。

語種・異なり（()内は延べ人数）→［図4.11-12］

［表4.11-8］

	和語	漢語	外来語	混種語	不明	計
俳　優（263）	1,317	724	106	365	16	2,528
女　優（202）	822	336	75	170	11	1,414
歌　手（162）	893	325	154	167	6	1,545
タレント（148）	956	513	149	272	17	1,907
アナウンサー（142）	1,626	1,725	464	1,182	22	5,019
キャスター（53）	539	476	70	247	1	1,333
コメディアン（27）	385	131	58	72	6	652
声　優（25）	416	139	38	69	1	663
司会者（22）	319	242	45	129	1	736
政治家（20）	149	114	4	25	1	293
漫才師（17）	166	52	9	24	1	252
ミュージシャン（16）	179	33	28	27	2	269
落語家（15）	271	83	14	37	4	409
リポーター（11）	256	127	28	66	2	479
大学教授（11）	300	268	24	83	14	689
プロ野球解説者（10）	169	59	27	35	1	291



( )内は延べ人数

［図4.11-12］職業別語種内訳（異なり）

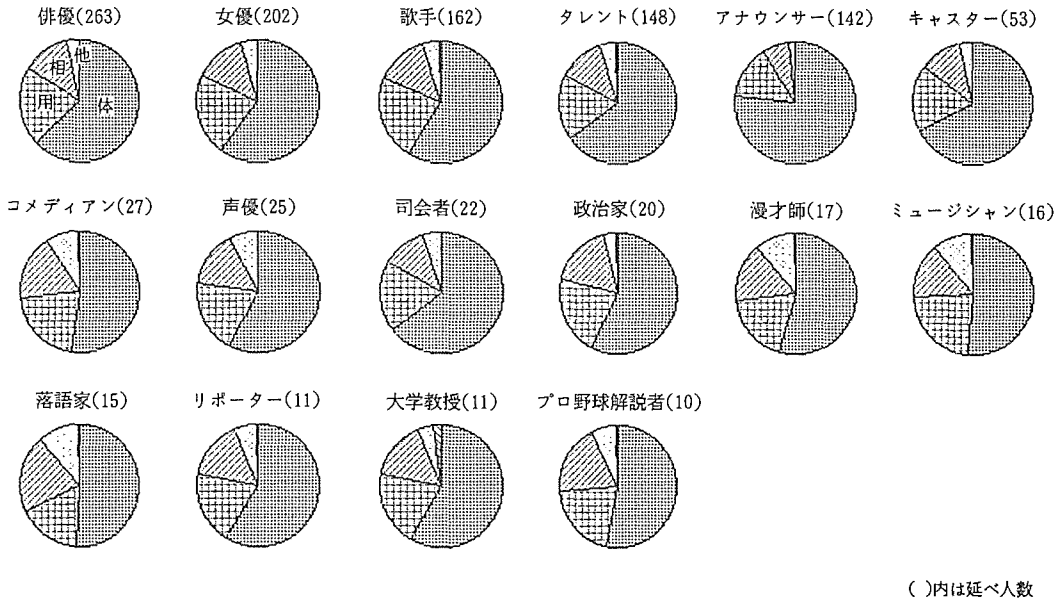
まず，語種について観察する。詳細な観察も可能であるが，比較的とらえやすい指標として漢語と和語の比率に注目する。漢語の比率が他の職業に比べて大きいのは，アナウンサー，キャスター，司会者，政治家，大学教授である（ただし，アナウンサーとキャスターはどちらも報道番組の中心になるものではあるが，キャスターの方が和語の割合がやや大きく，外来語の割合がやや小さいという差がある。アナウンサーとキャスターの特徴の差については後にもふれる）。これらの職業に携わる人物は報道番組など改まった場面で登場することが多い。また，司会者などは比較的くだけた番組や場面であっても改まった態度で発話を行うことが多い。これに対して和語の比率が高いのは俳優，女優，声優，タレント，コメディアン，漫才師といった職業の話者である。俳優・女優・声優が登場するのは，ストーリー系の番組が中心である。ドラマなどは日常会話に近い場面を設定することが多い。また，タレント，コメディアン，漫才師といった職業の話者は比較的くだけた場面で登場する場合が多い。このように，どのような場面に登場する（ことの多い）話者であるかによって，語種構成にかなり明確な差異が認められる。

品詞・異なり→［図4.11-13］

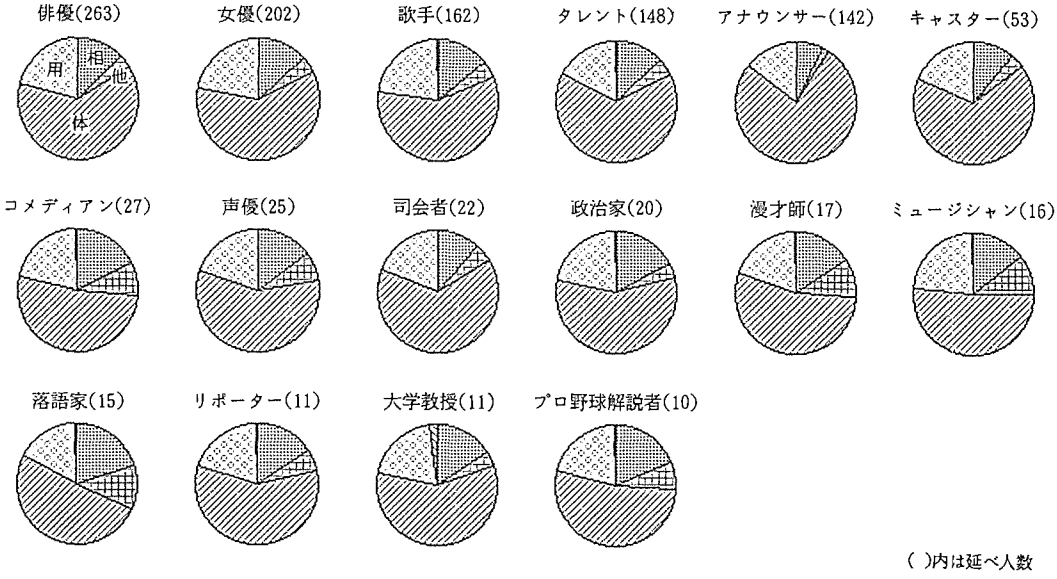
［表4.11-9］

	体	用	相	その他	不明	計
俳　優（263）	1,591	529	317	90	1	2,528
女　優（202）	855	307	186	65	1	1,414
歌　手（162）	911	344	216	69	5	1,545
タレント（148）	1,237	332	248	84	6	1,907
アナウンサー（142）	3,857	720	360	80	2	5,019
キャスター（53）	894	243	147	48	1	1,333
コメディアン（27）	341	135	114	59	3	652
声　優（25）	383	130	97	52	1	663
司会者（22）	474	141	85	35	1	736
政治家（20）	169	62	50	11	1	293
漫才師（17）	137	48	39	27	1	252
ミュージシャン（16）	138	62	39	29	1	269
落語家（15）	209	69	83	47	1	409
リポーター（11）	281	94	74	28	2	479
大学教授（11）	402	137	107	29	14	689
プロ野球解説者（10）	155	60	54	21	1	291

アナウンサー・キャスターはともに体の類が比較的多いが，キャスターの方が相とその他の類が多い点で異なっている。順序をかえて相の類・その他の類から始まるグラフを描いてみると違いがより明確になる［図4.11-14］。キャスターはアナウンサーと同様，報道番組の中心となって番組を進める役割を果たすことが多いが，必ずしもアナウンサーと同じようにニュース原稿を正確に読む訓練を受けた人物とは限らない。先にみた，和語の比率の違いも含め，両者が異なった特徴をもつ原因の一つはこの点だろう。アナウンサー・キャスターに限らず，体の類と，相・その他の類はちょうど対照的な分布を見せる。つまり体の類の度合いが大きいグループでは相・その他の類の度合いが小さく，相・その他の類の度合いが大きいグループでは体の度合いが小さい。相の類・その他の類はそれぞれ形容詞・情態副詞，感動詞・陳述副詞を含む語類である。番組の



［図 4.11-13］職業別品詞内訳（異なり）



［図 4.11-14］職業別品詞内訳（異なり）

ジャンルの章でも触れたとおり（第４部 第５章），これらは話し手の主観や評価を表わす。相・その他の類の少ないグループはアナウンサー・司会者・政治家・大学教授など，漢語の度合いの大きいグループとちょうど重なる職業で，改まった場面で登場したり，改まった調子で発話を行ったりすることが多く，それゆえ主観的な表現が少なくなるのだと考えられる。逆にタレント・

コメディアン・漫才師・落語家などはしばしば比較的日常会話に近い，改まりの度合いがそれほど高くない場面に登場する。こういった場面では相・その他の類の制約もそれほど厳しくなく，自由に使える。それゆえこれらの語類の度合いが大きくなるのだと考えられる。

以上のように，語種構成と同様，品詞構成もどのような場面に登場する（ことが多い）話者であるかに大きく左右されることがわかる。

2.5 個人の語彙

話者を軸とした分析の最後に，登場標本4以上の話者のみに限定して，個々の話者の異なり語数の語種・品詞の内訳を観察する。

語種・異なり→［図4.11-15］

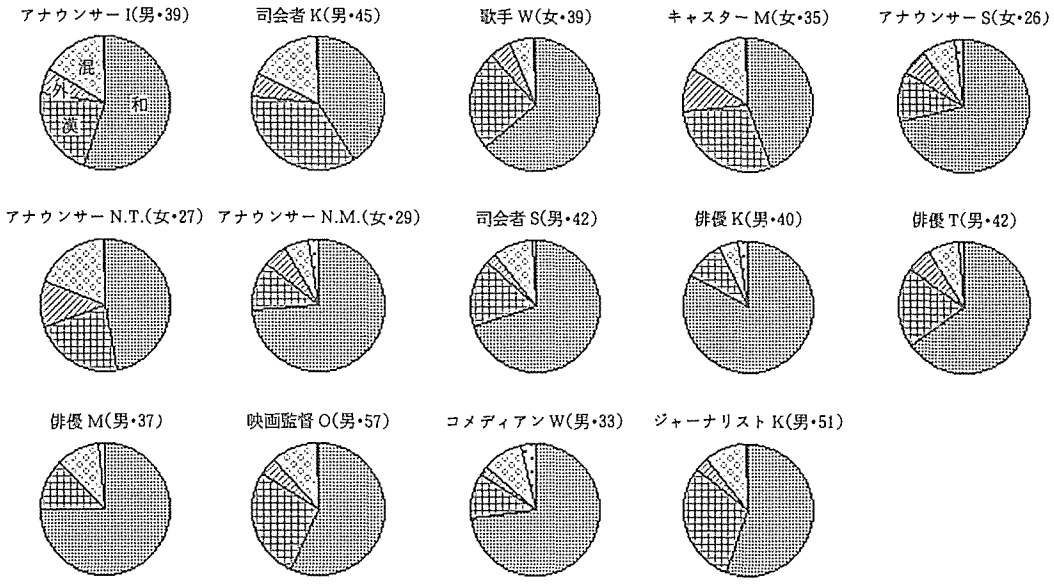
［表4.11-10］

話者イニシャル（性別・年齢）	和語	漢語	外来語	混種語	不明	計	標本
アナウンサーI（男・39）	216	86	24	63	1	390	6
司会者K（男・45）	171	149	24	72	1	417	6
歌手W（女・39）	150	58	12	14	1	235	6
キャスターM（女・35）	87	57	21	30	1	196	5
アナウンサーS（女・26）	34	6	3	4	1	48	5
アナウンサーN.T.（女・27）	118	56	28	47	1	250	5
アナウンサーN.M.（女・29）	62	10	5	5	2	84	5
司会者S（男・42）	85	20	3	12	1	121	4
俳優K（男・40）	34	4	0	2	1	41	4
俳優T（男・42）	118	35	12	14	2	181	4
俳優M（男・37）	42	7	0	6	1	56	4
映画監督O（男・57）	182	87	14	36	1	320	4
コメディアンW（男・33）	59	9	2	8	3	81	4
ジャーナリストK（男・51）	104	57	6	20	1	188	4

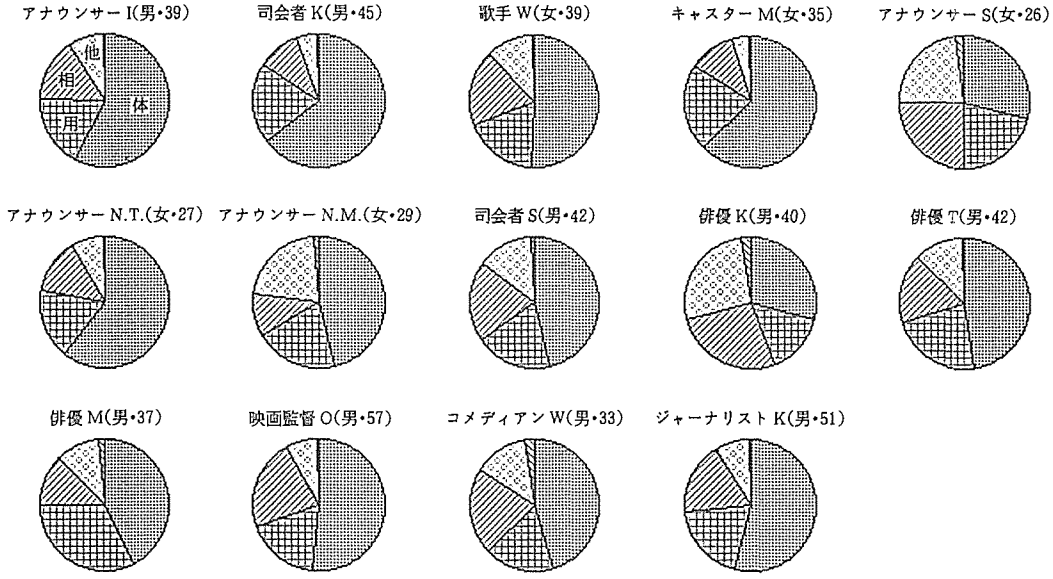
（品詞）→［図4.11-16］

［表4.11-11］

話者イニシャル（性別・年齢）	体	用	相	その他	不明	計
アナウンサーI（男・39）	226	68	60	35	1	390
司会者K（男・45）	269	81	45	21	1	417
歌手W（女・39）	120	42	45	27	1	235
キャスターM（女・35）	123	42	22	8	1	196
アナウンサーS（女・26）	14	10	12	11	1	48
アナウンサーN.T.（女・27）	152	43	34	20	1	250
アナウンサーN.M.（女・29）	39	17	9	18	1	84
司会者S（男・42）	56	23	24	17	1	121
俳優K（男・40）	12	6	11	11	1	41
俳優T（男・42）	86	41	31	22	1	181
俳優M（男・37）	24	18	7	6	1	56
映画監督O（男・57）	166	57	71	25	1	320
コメディアンW（男・33）	37	14	17	11	2	81
ジャーナリストK（男・51）	102	36	33	16	1	188



［図 4.11-15］個人別語種内訳（異なり）



［図 4.11-16］個人別品詞内訳（異なり）

同じ，あるいは性質の近い職業の人物同士ならば語種・品詞の構成も似通っていると予想される。実際，男性司会者のK氏（元放送局アナウンサー）と女性キャスター（アナウンサー）M氏は語種・品詞構成が近い。また，男性コメディアンのW氏と，男性司会者のS氏（参考にした資料では肩書きが“司会者”となっているが，一般視聴者の立場からすればタレントあるいはコメディアンと区別がない）も語種・品詞構成が近い。

ところが，職業が近いからといって必ずしも語種・品詞の構成が近いわけではない。たとえば，元アナウンサーの司会者K氏は女性アナウンサーN．M．氏と，あるニュース・ショー形式の番組でコンビを組んでいるが，語種構成にかなりの違いがある。すなわち，K氏は先にみたアナウンサーM氏と同様に漢語が多いが，N氏は和語が4分の3を占め，むしろ司会者S氏・俳優M氏に近い。K氏とN氏が登場する番組の，標本にとられた部分での役割分担としては，ニュースの主な読み手はK氏で，N氏はもっぱらあいづちをうっている。これは，品詞構成で，K氏に体言が多く，N氏にその他の類が多い点に反映されている。なお，N氏の語種構成は同年代の女性アナウンサーN．T．氏とも大きく異なっている。N．T．氏は一人で番組の進行を行っている場面が標本としてとられている。

また，俳優K氏と女性アナウンサーS氏はあるバラエティー番組の進行役としてコンビを組んでいるが，K氏はS氏よりも和語がかなり多い。同じ進行役でも，役割分担によって語種構成に差が出ている。また，S氏はアナウンサーであるが，先にみた元アナウンサーのK氏・女性アナウンサーM氏とはかなり語種・品詞構成が違っている。この点は番組の性質によるものだろうか。

さらに，同じく俳優の肩書きをもつK氏・T氏・M氏は語種・品詞構成とも大きく異なっている。T氏はK氏同様バラエティー番組に登場することが多いが，K氏よりも和語以外が多く，体言を多用している。M氏はストーリー系の番組に登場している。語種では和語が多く，品詞では用の類が他の二人よりも多くなっている。

こういったことから，語種・品詞構成の違いは，登場する番組の性質や番組の中での役割の違いを反映するものではないかと考えられる。

3．まとめ

テレビ放送での出演者の起用の仕方は“適材適所”が原則であろう。すなわち，その番組の目的・カラーにマッチした職業や個性の持ち主を起用するのである。したがって，発話者の特性を取り出していく作業は結局番組の特性を取り出すのと同じことになるのかもしれない。話者の特性と番組の特性の関係については，番組内容からのジャンル分けとも関連づけながらさらに検討する必要があろう。

また，厳密に話者の属性と語彙的特徴との関係を考えようとする場合，場面の性質をはじめ，他の諸条件を統一した上で比較しなければならない。しかし，今回扱っているデータは量的な制約があり，厳密な比較は難しい。さらに多くの標本を観察することが必要である。いずれも今後に残された課題である。

第12章　視聴行動

1．目　　的

1990年（われわれの調査の翌年）に行われた「国民生活時間調査」（ＮＨＫ世論調査部が5年に1度実施している）における，国民（視聴者）のテレビ視聴行動についての調査結果と，「第4部第7章　放送時間帯」で報告した，語の密度の時間帯別変動の結果とをもとに，次の点について探る。

(1) 視聴者は，一日のテレビ放送をとおして，どれほどの語彙量を視聴しているのか。それは，テレビ放送が送出する語彙量のうちの，どれほどの割合になるのか。

(2) 視聴者が一日の各時間帯に視聴する語彙量には，どのような変動傾向がみられるのか。その傾向は，語の密度の変動傾向とどのような関係にあるのか。

(3) 年齢および性別によって，視聴する語彙量およびその時間帯による変動傾向に差はあるのか。

2．送出語彙量・視聴語彙量・総視聴語彙量

「国民生活時間調査」では，一日を15分の幅をもつ96の「時刻」に区分し，人びとがそれぞれの時刻においてどのような行動を行っていたかが，「時刻別行為者率」として調査・集計されている。テレビ視聴の行為者率，すなわち，ある時刻に「テレビをみる」という行動をとった人の割合も，他の行動と同様に，「国民全体」および「男女年層別」について，「平日」「土曜」「日曜」に分けて，調査されている。たとえば，平日の午前7時（～15分）には，国民全体ではその20%が，20代の男性ではその10%が，テレビ放送を視聴している。

ところで，いま，15分という幅をもつ時間帯Ｔを設定し，そこにおける語の密度（1分あたりの延べ語数）をＸ語とすれば，時間帯Ｔにおいて（テレビから）送出された語彙量（「送出語彙量」）Ｏは，

$$O = 15X$$

である。また，ある世代Ｇの視聴者の，時間帯Ｔにおける時刻別行為者率をＹとし，世代Ｇの人口がＺであるとすれば，時間帯Ｔにおいて世代Ｇに属する視聴者全体が視聴した語彙量 I_{TG} は，

$$I_{TG} = OZY$$

である。したがって，世代Ｇの一人あたりの「視聴語彙量」i_{TG} は，

$$i_{TG} = I_{TG} / Z = OY$$

であり，すなわち，“送出語彙量×時刻別行為者率”である。

たとえば，平日の午前7時00～15分という時間帯において，その語の密度が（1分あたり）100語であれば，その時間帯の送出語彙量は“15（分）×100（語）＝1,500（語）”となる。また，その際の時刻別行為者率が20%であれば，この時間帯における視聴者の視聴語彙量（一人あたり）は，“1,500（語）×0.2＝300（語）”ということになる。このような時間帯別の視聴語彙量を，国民全体および各男女年層ごとに合計すれば，それぞれの，視聴者一人あたりの，一日の「総視聴語彙量」が得られる，と考えるのである。ただし，ここでは，視聴者は送出された語彙をすべて

視聴するものと仮定している。

3．デ ー タ

3.1 時刻別行為者率

テレビ視聴の時刻別行為者率は，ＮＨＫ放送文化研究所『国民生活時間調査　1990年度全国時刻編』（日本放送出版協会，1991）から，「国民全体」および各「男女年層別」の「平日」の数値（[表4.12-1]）を利用する。年層は，男女とも，10〜15才・16〜19才・20〜29才・30〜39才・40〜49才・50〜59才・60〜69才・70才以上の8段階に分けられている（以下の記述では，これらを，それぞれ，“10前”・“10後”・“20代”・“30代”・“40代”・“50代”・“60代”・“70上”と略記する）。

3.2 時間帯別の語の密度

各時間帯の語の密度は，「第4部第7章　放送時間帯」で求めた，ＮＨＫ教育を除く6チャンネルの，平日の，番組本編の音声および画面の，時間帯別の中央値（延べ）をあてる（本編とＣＭとの放送時間の比率は折り込み済み）。

3.3「時刻」と「時間帯」

すでに述べたように，時刻別行為者率は15分という幅で，また，時間帯別の語の密度は1時間という幅で算出された数値である。両者（ここでいう「時刻」と「時間帯」）の幅は，本来，同じであることが望ましいが，行為者率を1時間の値に換算することはできないので，ここでは，語の密度を，一旦，15分の幅の数値ととらえなおして，送出語彙量および視聴語彙量の計算をする。たとえば，7時台という「時間帯」の語の密度は，等しく，7時00〜15分・7時15〜30分・7時30〜45分・7時45〜8時という4つの「時刻」の語の密度でもあり，それと分数（15分）との積である送出語彙量が，15分ごとに，求められることになる。同様に，その送出語彙量に時刻別行為者率を乗じた視聴語彙量が，これも，15分ごとに求められることになる。ただし，15分という幅は一日の変動をみるにはやや細かすぎるし，また，送出語彙量は，一つの「時間帯」では同じ数値が4つ並ぶことになって，15分ごとに区分する意味がない。そこで，以下の記述においては，これら15分ごとに求めた送出語彙量・視聴語彙量を，1時間の幅をもつ「時間帯」の値に合算して，分析の対象とすることにしたい。

［表 4.12-1］テレビ視聴の時刻別行為者率

時刻	国民全体	男10前	男10後	男20代	男30代	男40代	男50代	男60代	男70上	女10前	女10後	女20代	女30代	女40代	女50代	女60代	女70上
5時	0.2	0.1	0.0	0.1	0.3	0.2	0.5	0.3	0.1	0.0	0.0	0.0	0.1	0.1	0.0	0.4	0.6
	0.2	0.1	0.1	0.1	0.3	0.5	0.5	0.6	0.3	0.0	0.1	0.0	0.1	0.1	0.2	0.4	0.7
	0.7	0.3	0.1	0.5	0.6	1.1	1.2	1.3	1.3	0.0	0.1	0.3	0.5	0.6	0.8	1.0	1.1
	1.1	0.5	0.3	0.5	0.9	1.8	1.8	2.4	2.1	0.1	0.3	0.6	0.9	1.0	1.7	1.4	1.4
6時	5.3	2.1	1.8	2.0	3.2	5.9	9.0	9.8	9.3	1.8	1.2	2.1	4.1	6.7	9.4	7.2	6.5
	7.1	4.4	2.5	2.6	4.5	7.9	12.1	11.5	10.8	3.5	2.5	3.8	5.5	8.3	12.2	8.8	7.9
	11.0	6.2	6.1	4.8	7.2	12.4	16.2	16.1	15.0	6.4	5.2	6.5	10.9	13.8	17.2	14.1	10.4
	13.5	9.7	6.7	6.9	9.5	14.9	19.7	20.4	16.9	7.8	7.2	8.2	13.7	16.4	20.1	17.0	12.8
7時	19.7	20.6	11.4	9.6	13.6	15.2	22.5	27.6	22.7	15.0	12.8	14.8	21.5	25.5	27.9	26.6	19.8
	20.6	23.4	13.3	11.0	15.0	15.5	21.3	27.3	24.8	17.8	14.0	16.2	23.2	25.5	28.2	27.6	21.4
	19.7	18.0	14.2	10.8	13.3	12.0	17.1	25.4	29.8	13.4	10.8	17.5	24.0	25.1	28.2	28.9	25.8
	18.4	12.3	12.8	9.7	10.8	9.7	14.4	26.0	32.4	8.6	8.4	16.7	23.8	23.9	27.9	30.1	27.7
8時	16.9	2.9	6.9	7.4	7.6	7.5	10.7	24.9	32.2	1.8	4.5	14.4	22.1	24.1	30.0	37.5	37.7
	18.4	0.9	5.2	6.4	6.9	7.7	10.4	25.6	34.3	1.1	2.6	15.3	26.3	30.1	34.0	41.5	43.1
	12.4	0.5	2.8	4.2	4.8	4.2	7.1	17.0	28.2	0.4	1.8	11.6	16.1	18.9	21.9	28.3	33.2
	10.9	0.6	1.9	2.8	4.2	3.7	6.3	15.9	26.7	0.4	1.8	9.9	13.3	15.1	19.7	26.0	31.3
9時	7.4	0.4	1.2	2.5	2.7	2.7	4.3	9.9	18.6	0.5	1.4	8.6	10.1	9.1	12.2	17.4	21.5
	7.0	0.3	1.0	2.4	2.4	2.5	3.9	8.6	17.6	0.5	1.6	8.6	9.7	8.2	11.9	16.4	21.1
	6.0	0.4	1.0	2.6	2.1	2.0	3.0	6.6	15.6	0.5	1.1	8.7	9.6	5.7	9.5	13.4	17.8
	5.8	0.4	1.2	2.8	2.1	2.1	2.9	6.4	15.1	0.5	1.0	8.5	9.0	5.3	8.9	13.1	18.0
10時	4.8	0.3	1.1	2.1	1.9	1.6	2.7	6.0	12.8	0.4	1.0	6.2	5.9	3.9	7.6	11.4	17.2
	4.7	0.4	1.2	2.1	1.8	1.5	2.7	6.2	13.3	0.5	1.1	5.9	5.5	3.9	7.3	11.4	17.0
	4.4	0.3	1.0	2.6	1.7	1.4	2.4	6.8	14.2	0.6	1.0	5.7	5.2	3.4	5.8	9.9	15.6
	4.4	0.4	0.9	2.4	1.7	1.5	2.5	7.2	14.7	0.5	1.2	5.5	5.1	3.4	6.1	10.0	15.1
11時	4.2	0.5	1.4	2.1	1.7	1.7	2.3	7.3	15.9	0.3	1.5	4.2	3.8	3.2	5.9	9.6	15.3
	4.3	0.5	1.7	2.1	1.7	1.9	2.5	7.4	17.4	0.3	1.6	4.1	3.6	3.3	6.0	9.7	15.8
	5.0	0.5	2.2	2.7	2.2	2.6	3.5	9.4	19.5	0.4	1.5	4.6	4.0	3.8	7.4	10.6	15.1
	5.6	0.7	2.9	3.2	2.6	2.9	4.0	10.7	20.6	0.5	1.8	5.2	4.8	4.4	8.1	12.2	15.8
12時	16.7	1.6	8.4	9.6	9.8	13.1	16.4	26.8	35.6	1.3	5.8	14.8	17.2	17.2	26.5	33.5	34.3
	19.2	1.6	9.8	11.0	11.4	14.6	19.7	30.3	38.8	1.9	6.5	16.6	20.8	21.0	30.0	37.8	37.8
	21.6	2.0	12.0	12.0	12.3	14.6	21.7	33.8	43.1	2.6	8.9	17.5	24.1	24.1	34.0	44.0	45.5
	21.4	2.3	12.2	11.7	10.9	13.6	20.4	33.1	43.6	2.8	8.4	17.0	24.6	23.7	33.7	44.6	47.6
13時	15.0	1.7	7.6	5.1	4.2	5.5	8.8	21.7	35.0	2.3	6.6	13.0	20.3	16.9	25.1	36.0	42.7
	14.4	2.0	7.6	5.1	3.7	5.2	7.9	20.0	33.3	2.5	7.0	13.2	19.5	16.3	24.1	33.9	72.1
	10.8	1.7	5.4	4.1	2.8	4.0	5.4	15.3	26.5	2.1	5.8	10.1	13.4	11.4	17.1	25.8	35.8
	10.3	2.0	5.3	3.7	2.9	3.7	5.0	14.9	25.3	1.9	5.5	9.7	12.4	10.4	16.2	24.5	34.8
14時	6.8	1.8	3.0	2.8	2.1	3.0	3.5	10.3	19.3	1.5	3.8	6.6	7.1	6.9	10.2	14.9	23.2
	6.7	1.6	3.0	2.9	2.1	3.2	3.3	10.0	19.0	1.7	3.9	6.8	7.3	6.4	9.8	14.5	22.4
	6.5	1.6	3.3	2.9	1.9	3.1	3.1	10.0	18.9	2.0	4.0	6.4	6.8	6.6	9.0	13.7	20.7
	6.5	1.9	3.5	2.8	1.8	3.0	3.1	10.0	19.0	2.3	4.3	6.5	6.9	6.6	9.1	13.6	21.0
15時	6.7	1.8	3.1	2.6	2.0	3.1	3.8	10.2	18.2	2.7	4.1	5.7	7.9	7.4	10.6	13.1	18.7
	6.9	2.2	3.1	2.5	2.0	3.1	3.5	10.5	19.1	3.2	4.3	6.1	8.1	7.5	10.2	13.6	19.9
	6.8	3.7	3.7	2.5	2.0	2.9	3.4	10.6	21.3	3.9	3.6	5.8	7.6	6.9	9.5	13.4	19.9
	6.9	4.1	4.7	2.6	1.9	2.9	3.5	10.5	21.5	4.7	3.7	5.7	7.3	6.8	9.1	13.3	19.9
16時	7.1	8.1	8.5	2.8	2.1	3.0	3.9	10.1	25.7	8.3	6.3	5.3	6.4	5.7	6.1	10.9	19.7
	7.6	9.8	10.0	3.0	2.2	3.3	3.9	10.4	26.3	10.2	8.0	5.7	6.6	5.9	6.2	11.2	20.2
	8.1	12.3	10.6	2.9	2.2	3.2	4.2	10.1	27.6	13.7	10.9	6.0	7.0	5.6	6.3	10.9	21.2
	8.4	13.6	11.6	3.0	2.2	3.4	4.6	10.4	26.8	14.9	11.9	6.3	7.0	5.7	6.1	11.0	21.2

時刻	国民全体	男10前	男10後	男20代	男30代	男40代	男50代	男60代	男70上	女10前	女10後	女20代	女30代	女40代	女50代	女60代	女70上
17時	10.0	19.8	16.5	4.7	3.1	3.8	5.3	13.0	23.6	20.8	16.9	9.0	8.8	5.3	7.0	10.4	20.1
	11.2	23.0	17.9	5.5	3.6	4.5	6.2	14.3	25.2	23.9	19.1	10.4	9.9	6.1	7.9	11.2	20.9
	13.1	27.7	19.4	6.8	5.1	5.5	7.8	17.8	28.5	27.2	18.5	11.1	12.0	7.5	9.5	13.6	22.9
	14.2	29.5	20.2	7.5	5.8	6.5	8.8	20.2	29.5	28.6	19.8	11.8	12.7	8.0	10.9	15.5	24.0
18時	16.9	20.4	15.6	9.6	8.7	9.8	13.6	26.4	33.6	17.5	12.5	11.5	16.4	15.1	20.5	26.0	32.2
	18.7	22.3	16.7	11.2	10.2	11.8	16.2	29.3	36.7	18.0	13.5	12.5	18.2	16.6	22.7	28.4	34.6
	22.0	25.8	18.3	13.0	12.6	14.7	20.1	34.6	41.8	18.8	14.8	14.4	21.8	20.9	27.9	33.3	38.5
	24.0	28.1	19.4	13.9	13.6	16.4	22.7	37.8	44.0	20.9	15.9	16.3	23.8	22.4	30.6	35.7	41.4
19時	32.1	39.9	29.6	17.3	18.6	21.9	30.8	48.8	53.1	34.6	25.3	22.8	32.2	29.5	39.1	46.5	46.4
	34.4	43.8	32.5	19.8	21.2	24.3	33.4	51.2	54.8	38.4	27.8	25.2	33.9	31.6	40.9	48.0	48.0
	37.3	44.8	38.9	23.4	25.2	27.8	36.9	54.7	56.3	40.4	31.2	27.5	35.0	34.2	43.2	51.1	52.7
	38.9	45.3	40.1	25.8	27.4	30.4	39.7	56.4	58.3	42.1	32.1	28.2	35.2	35.6	45.0	52.3	53.5
20時	39.1	34.8	36.0	26.8	30.1	33.6	44.0	55.9	57.3	35.4	30.0	30.8	33.2	37.0	47.4	54.9	55.9
	41.0	35.8	36.8	28.8	32.3	36.9	46.2	58.0	57.5	36.0	31.0	32.6	34.8	39.1	49.4	57.4	57.3
	41.9	33.8	35.3	31.4	34.9	39.1	47.8	57.4	58.1	34.0	31.7	33.8	35.5	40.8	52.1	57.0	56.8
	42.3	32.1	34.8	32.3	36.9	40.3	49.5	57.2	57.4	32.8	31.4	33.7	35.6	41.6	52.6	57.5	56.5
21時	37.0	20.4	28.7	31.2	36.0	38.8	43.9	43.5	35.7	21.4	28.6	35.1	34.9	41.6	49.0	48.0	37.1
	38.8	21.4	30.5	33.6	38.8	40.2	45.7	42.8	35.0	23.2	29.5	38.0	39.0	44.7	50.6	48.5	36.9
	38.7	21.8	30.3	34.5	41.0	40.5	42.8	38.1	29.3	21.7	31.3	39.6	42.2	46.1	50.5	46.6	33.4
	38.8	21.1	30.5	35.5	41.8	41.6	41.9	36.8	27.8	21.0	31.9	40.1	43.9	46.8	50.7	45.2	32.5
22時	28.3	11.6	21.3	29.7	36.0	33.7	29.1	21.4	15.1	7.1	17.1	31.0	38.3	38.5	37.2	27.3	17.4
	28.6	11.6	22.3	31.7	37.6	34.2	29.0	20.4	14.5	6.7	17.6	32.2	39.0	38.7	37.1	26.5	16.6
	25.4	9.9	20.5	30.3	35.5	30.3	23.5	15.8	11.2	5.6	18.1	31.6	36.2	34.2	31.4	20.7	11.9
	23.9	8.2	18.8	29.5	34.3	29.2	22.2	13.9	10.0	5.1	16.2	30.8	34.4	32.8	28.7	18.3	10.8
23時	11.1	2.7	10.6	19.2	17.9	15.1	10.0	4.9	2.9	2.4	8.1	16.2	14.2	14.3	11.4	6.4	3.3
	10.0	2.6	10.3	19.3	16.8	13.5	9.1	4.3	2.3	2.2	7.1	14.7	12.6	12.2	9.5	5.5	2.8
	6.4	1.4	7.9	15.3	11.5	7.9	5.1	2.8	1.5	1.2	4.5	9.8	7.8	7.3	5.6	3.1	1.3
	5.6	1.1	7.0	14.9	10.0	6.5	4.2	2.3	1.2	1.0	4.0	8.5	6.6	6.1	4.5	2.9	1.1
0時	2.9	0.7	5.3	7.9	5.3	2.9	1.7	0.8	0.9	0.6	2.0	4.6	4.1	2.9	1.7	1.5	0.4
	2.8	0.6	5.1	7.8	5.2	2.8	1.8	0.8	0.9	0.5	1.7	4.6	3.9	2.9	1.7	1.5	0.4
	2.2	0.6	4.4	6.6	4.1	2.0	1.5	0.7	0.9	0.4	1.7	3.5	3.0	2.2	1.2	1.0	0.4
	2.1	0.4	3.8	6.3	3.8	1.9	1.5	0.7	0.9	0.2	1.6	3.3	2.6	2.0	1.0	0.9	0.4
1時	1.1	0.1	2.2	3.9	1.9	1.2	0.6	0.5	0.5	0.1	0.8	1.5	1.3	0.9	0.7	0.5	0.2
	1.0	0.1	2.2	3.4	1.7	1.0	0.6	0.6	0.5	0.1	0.8	1.3	1.2	0.8	0.5	0.5	0.2
	0.7	0.0	1.7	2.5	1.2	0.7	0.5	0.3	0.4	0.2	0.7	0.9	0.6	0.5	0.2	0.4	0.2
	0.6	0.0	1.4	2.4	1.1	0.7	0.5	0.2	0.4	0.1	0.6	1.0	0.5	0.4	0.1	0.3	0.2
2時	0.3	0.0	1.0	1.1	0.6	0.5	0.3	0.2	0.3	0.1	0.4	0.4	0.3	0.2	0.1	0.4	0.1
	0.3	0.0	0.7	1.0	0.5	0.4	0.3	0.1	0.3	0.1	0.3	0.3	0.3	0.1	0.1	0.4	0.1
	0.2	0.0	0.2	0.5	0.3	0.3	0.3	0.1	0.3	0.1	0.3	0.2	0.0	0.1	0.0	0.1	0.1
	0.1	0.0	0.1	0.4	0.2	0.2	0.2	0.1	0.3	0.1	0.3	0.2	0.0	0.1	0.0	0.1	0.1
3時	0.1	0.0	0.1	0.2	0.3	0.3	0.1	0.0	0.3	0.0	0.2	0.1	0.0	0.0	0.0	0.1	0.1
	0.1	0.0	0.1	0.2	0.2	0.3	0.1	0.0	0.3	0.0	0.2	0.0	0.0	0.0	0.0	0.1	0.1
	0.1	0.0	0.1	0.1	0.2	0.2	0.2	0.1	0.3	0.0	0.2	0.0	0.0	0.1	0.0	0.1	0.1
	0.1	0.0	0.1	0.1	0.2	0.2	0.2	0.1	0.3	0.0	0.2	0.0	0.0	0.1	0.0	0.1	0.1
4時	0.1	0.0	0.1	0.2	0.2	0.2	0.3	0.1	0.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.1
	0.1	0.0	0.1	0.2	0.2	0.2	0.3	0.1	0.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.1
	0.1	0.0	0.1	0.1	0.1	0.2	0.2	0.1	0.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	0.1	0.0	0.1	0.1	0.1	0.2	0.3	0.1	0.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0

4．「国民全体」

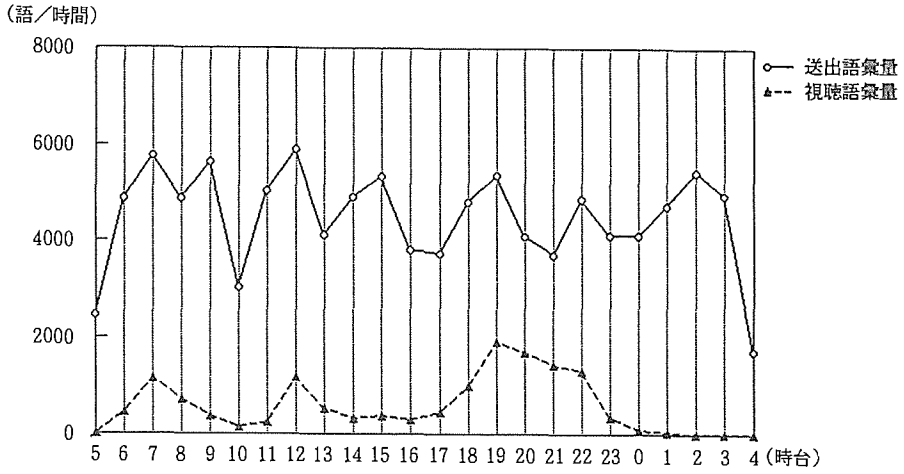
［表 4.12-2］に，「国民全体」の，時間帯別の送出語彙量と視聴語彙量（ともに延べ語数）を示す。

［表 4.12-2］「国民全体」一人あたりの時間帯別送出語彙量・視聴語彙量
および総送出語彙量・総視聴語彙量（音声・画面）

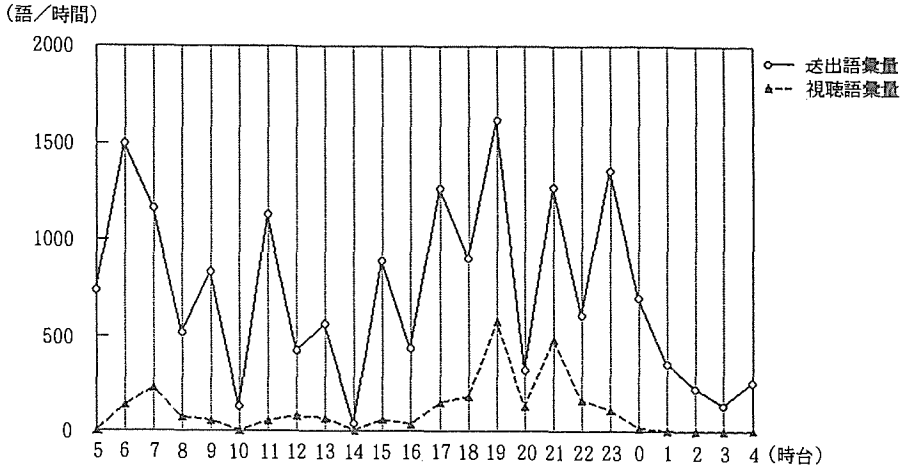
	音声		画面	
時間帯	送出語彙量	視聴語彙量	送出語彙量	視聴語彙量
5	2,472	13.6	738	4.1
6	4,878	450.0	1,500	138.4
7	5,760	1,129.0	1,158	227.0
8	4,872	713.7	522	76.5
9	5,652	370.2	834	54.6
10	3,042	139.2	132	6.0
11	5,034	240.4	1,128	53.9
12	5,889	1,161.6	423	83.4
13	4,110	518.9	564	71.2
14	4,890	324.0	42	2.8
15	5,328	363.6	894	61.0
16	3,786	295.3	441	34.4
17	3,720	451.1	1,260	152.8
18	4,788	976.8	903	184.2
19	5,364	1,913.6	1,620	577.9
20	4,074	1,673.4	324	133.1
21	3,696	1,416.5	1,266	485.2
22	4,878	1,295.1	612	162.5
23	4,116	340.6	1,356	112.2
0	4,116	102.9	699	17.5
1	4,722	40.1	354	3.0
2	5,424	12.2	231	0.5
3	4,950	5.0	138	0.1
4	1,731	1.7	258	0.3
計	107,292	13,948.5	17,397	2,642.6

国民全体では，視聴者一人あたりが一日に，延べ語数にして，音声で 13,950 語ほど，画面で 2,640 語ほど，あわせて 16,600 語ほどを視聴していることになる（「第 1 部第 2 章　調査の目的」に紹介したＮＨＫ総合放送文化研究所の調査結果を参照）。これは，テレビ放送が送出している語彙量の，音声で約 13%，画面で約 15%，全体でも 13%ほどの割合である。なお，「国民全体」一人あたりの一日のテレビ視聴時間はちょうど 3 時間である。

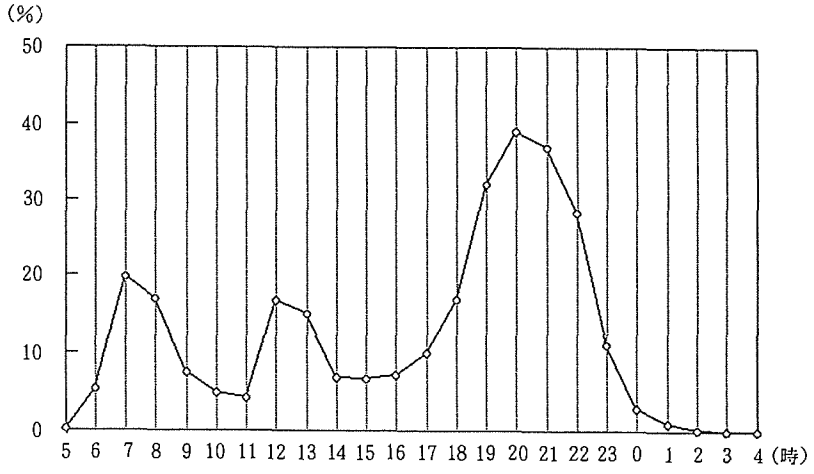
次に，各時間帯の送出語彙量および視聴語彙量の変動傾向を，音声（［図 4.12-1］）・画面（［図 4.12-2］）それぞれに，みる。



［図 4.12-1］「国民全体」一人あたりの送出・視聴語彙量の日内変動（音声）



［図 4.12-2］「国民全体」一人あたりの送出・視聴語彙量の日内変動（画面）



［図 4.12-3］時刻別行為者率の日内変動（国民全体）

音声の場合（[図4.12-1]），送出語彙量では小刻みな増減がみられるが，視聴語彙量では，朝（頂点は7時台）・昼（同12時台）・夜（同19時台）の3つの山にまとまっている。送出語彙量の山のうち，9時台・15時台・22時台・2時台の山は，視聴語彙量ではみられなくなっている。また，送出語彙量では，19時台と22時台の間で谷となっていた20時台と21時台が，視聴語彙量では19時台から22時台を結ぶ尾根となっている。この視聴語彙量の変動傾向は，時刻別行為者率の変動傾向（[図4.12-3]，比較のために毎時0～15分の数値のみを折れ線で結んでいる）と，ほぼ，一致している。ただし，夜の山の場合，視聴語彙量では19時台を頂点とし，その後22時台まで漸減するのに対して，時刻別行為者率の方は，20時台を頂点とし，また，21時台から22時台にかけて大きく減少している点に違いがある。

画面の場合（[図4.12-2]）も，送出語彙量でみられた小刻みな増減が，視聴語彙量の変動ではみられない。送出語彙量のいくつかの山のうち，視聴語彙量でも山となっているのは，6時台・19時台・21時台程度で，しかも，送出語彙量の6時台の山は視聴語彙量では7時台になっている。一方で，夜の19時台から22時台にかけての変動は，19時台と21時台にはさまれて20時台が大きく減少しているという，両者とも同様の傾向を示している。視聴語彙量の変動傾向のうち，この，夜の変動は，音声と画面とで大きく異なっている。

5．男女年層別

［表4.12-3］～［表4.12-6］に，各男女年層別一人あたりの，時間帯別視聴語彙量と一日の総視聴語彙量（いずれも延べ語数）を，音声・画面それぞれに，示す。

［表 4.12-3］男年層別一人あたりの時間帯別視聴語彙量および総視聴語彙量（音声）

時間帯	10前	10後	20代	30代	40代	50代	60代	70上
5	6.2	3.1	7.4	13.0	22.2	24.7	28.4	23.5
6	273.2	208.5	198.8	297.6	501.2	695.1	704.9	634.1
7	1,069.9	744.5	591.8	758.9	754.6	1,084.3	1,530.7	1,579.7
8	59.7	204.6	253.3	286.2	281.4	420.2	1,015.8	1,478.7
9	21.2	62.2	145.5	131.4	131.4	199.2	445.1	945.3
10	10.6	31.9	70.0	54.0	45.6	78.3	199.3	418.3
11	27.7	103.2	127.1	103.2	114.5	154.8	438.0	923.7
12	110.4	624.2	652.2	653.7	823.0	1,151.3	1,825.6	2,371.8
13	76.0	266.1	185.0	139.7	189.1	278.5	738.8	1,234.0
14	84.4	156.5	139.4	96.6	150.4	158.9	492.7	931.5
15	157.2	194.5	135.9	105.2	159.8	189.1	556.8	1,066.9
16	414.6	385.2	110.7	82.3	122.1	157.1	388.1	1,007.1
17	930.0	688.2	227.9	163.7	188.8	261.3	607.3	993.2
18	1,156.3	837.9	571.0	539.8	630.8	869.0	1,533.4	1,868.5
19	2,330.7	1,892.2	1,157.3	1,239.1	1,400.0	1,888.1	2,830.9	2,983.7
20	1,390.3	1,455.4	1,215.1	1,366.8	1,526.7	1,909.7	2,327.3	2,345.6
21	782.6	1,108.8	1,245.6	1,456.2	1,488.6	1,610.5	1,489.5	1,180.9
22	503.7	1,011.0	1,478.0	1,748.8	1,553.6	1,265.8	871.9	619.5
23	80.3	363.4	706.9	578.3	442.5	292.2	147.1	81.3
0	23.7	191.4	294.3	189.3	98.8	66.9	30.9	37.0
1	2.4	88.5	144.0	69.6	42.5	26.0	18.9	21.2
2	0.0	27.1	40.7	21.7	19.0	14.9	6.8	16.3
3	0.0	5.0	7.4	11.1	12.4	7.4	2.5	14.9
4	0.0	1.7	2.6	2.6	3.5	4.8	1.7	5.2
	9,511.1	10,660.1	9,707.9	10,108.8	10,702.5	12,808.1	18,232.4	22,781.9

［表 4.12-4］女年層別一人あたりの時間帯別視聴語彙量および総視聴語彙量（音声）

時間帯	10前	10後	20代	30代	40代	50代	60代	70上
5	0.6	3.1	5.6	9.9	11.1	16.7	19.8	23.5
6	237.8	196.3	251.2	417.1	551.2	718.3	574.4	458.5
7	789.1	662.4	938.9	1,332.0	1,440.0	1,615.7	1,630.1	1,363.7
8	45.1	130.3	623.6	947.6	1,074.3	1,286.2	1,623.6	1,769.8
9	28.3	72.1	486.1	542.6	399.9	600.5	852.0	1,107.8
10	15.2	32.7	177.2	165.0	111.0	203.8	324.7	493.6
11	18.9	80.5	227.8	203.9	185.0	344.8	529.8	780.3
12	126.6	435.8	970.2	1,276.4	1,266.1	1,828.5	2,354.1	2,432.2
13	90.4	255.8	472.7	674.0	565.1	847.7	1,235.1	1,905.0
14	91.7	195.6	321.5	343.5	324.0	465.8	693.2	1,067.2
15	193.1	209.1	310.4	411.6	381.0	524.8	711.3	1,044.3
16	445.8	351.2	220.5	255.6	216.7	233.8	416.5	779.0
17	934.7	691.0	393.4	403.6	250.2	328.3	471.5	817.5
18	900.1	678.7	654.8	960.0	897.8	1,217.3	1,477.1	1,756.0
19	2,085.3	1,560.9	1,390.6	1,827.8	1,755.4	2,255.6	2,653.8	2,690.0
20	1,407.6	1,264.0	1,333.2	1,416.7	1,614.3	2,052.3	2,310.0	2,306.9
21	806.7	1,120.8	1,411.9	1,478.4	1,655.8	1,855.4	1,739.9	1,292.7
22	298.8	841.5	1,531.7	1,803.6	1,758.5	1,639.0	1,131.7	691.5
23	70.0	243.9	506.3	423.9	410.6	319.0	184.2	87.5
0	17.5	72.0	164.6	139.9	102.9	57.6	50.4	16.5
1	5.9	34.2	55.5	42.5	30.7	17.7	20.1	9.4
2	5.4	17.6	14.9	8.1	6.8	2.7	13.6	5.4
3	0.0	9.9	1.2	0.0	2.5	0.0	5.0	5.0
4	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.9
	8,614.6	9,159.4	12,463.8	15,083.7	15,010.9	18,431.5	21,021.9	22,904.2

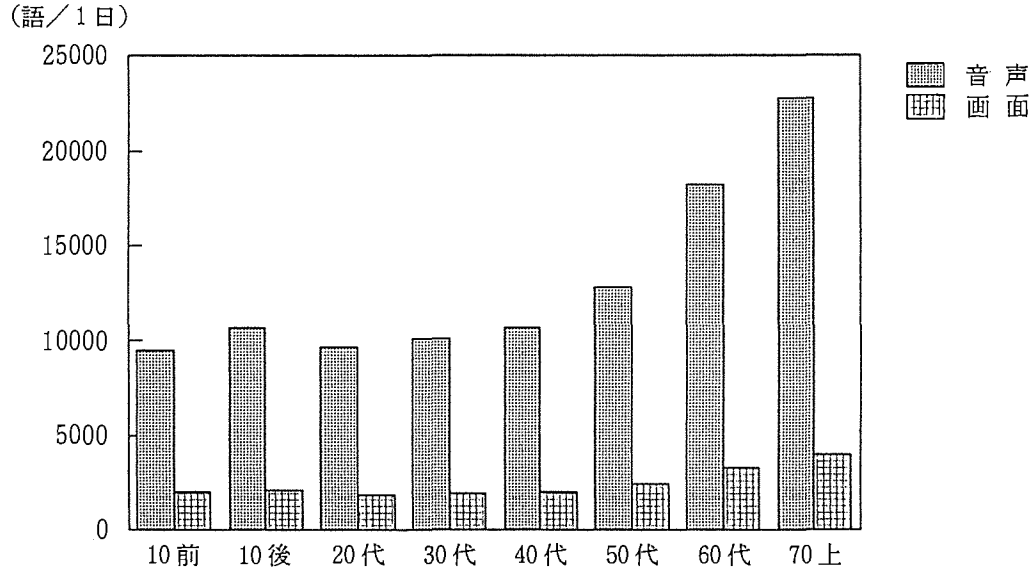
［表 4. 12-5］男年層別一人あたりの時間帯別視聴語彙量および総視聴語彙量（画面）

時間帯	10前	10後	20代	30代	40代	50代	60代	70上
5	1.8	0.9	2.2	3.9	6.6	7.4	8.5	7.0
6	84.0	64.1	61.1	91.5	154.1	213.8	216.8	195.0
7	215.1	149.7	119.0	152.6	151.7	218.0	307.7	317.6
8	6.4	21.9	27.1	30.7	30.1	45.0	108.8	158.4
9	3.1	9.2	21.5	19.4	19.4	29.4	65.7	139.5
10	0.5	1.4	3.0	2.3	2.0	3.4	8.6	18.2
11	6.2	23.1	28.5	23.1	25.7	34.7	98.1	207.0
12	7.9	44.8	46.8	47.0	59.1	82.7	131.1	170.4
13	10.4	36.5	25.4	19.2	25.9	38.2	101.4	169.3
14	0.7	1.3	1.2	0.8	1.3	1.4	4.2	8.0
15	26.4	32.6	22.8	17.7	26.8	31.7	93.4	179.0
16	48.3	44.9	12.9	9.6	14.2	18.3	45.2	117.3
17	315.0	233.1	77.2	55.4	63.9	88.5	205.7	336.4
18	218.1	158.0	107.7	101.8	119.0	163.9	289.2	352.4
19	703.9	571.5	349.5	374.2	422.8	570.2	855.0	901.1
20	110.6	115.7	96.6	108.7	121.4	151.9	185.1	186.5
21	268.1	379.8	426.6	498.8	509.9	551.7	510.2	404.5
22	63.2	126.8	185.4	219.4	194.9	158.8	109.4	77.7
23	26.4	121.4	232.9	190.5	145.8	96.3	48.5	26.8
0	4.0	32.5	50.0	32.2	16.8	11.4	5.2	6.3
1	0.2	6.6	10.8	5.2	3.2	1.9	1.4	1.6
2	0.0	1.2	1.7	0.9	0.8	0.6	0.3	0.7
3	0.0	0.1	0.2	0.3	0.3	0.2	0.1	0.4
4	0.0	0.3	0.4	0.4	0.5	0.7	0.3	0.8
	2,120.3	2,177.4	1,910.5	2,005.6	2,116.2	2,520.1	3,399.9	3,981.9

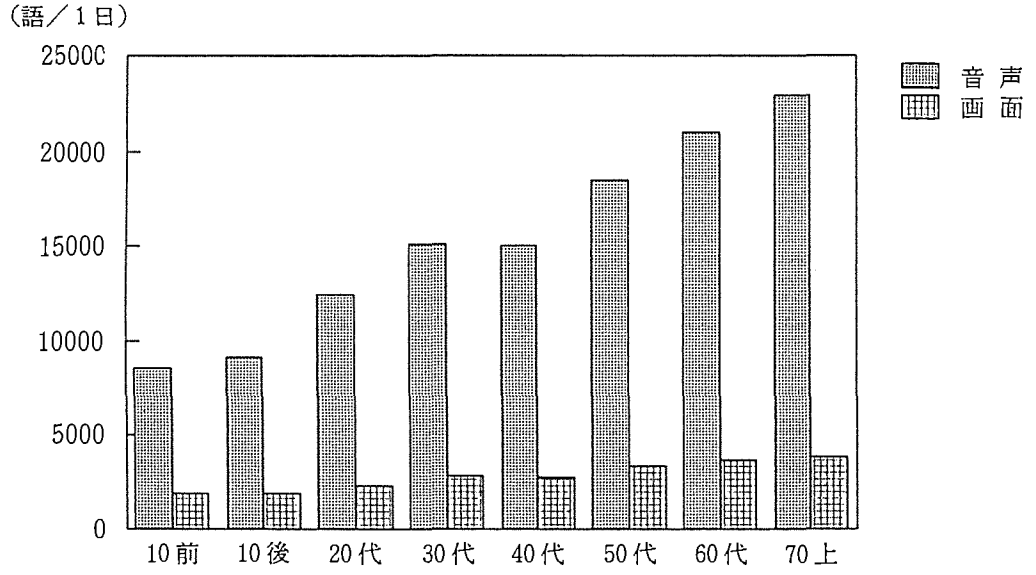
［表 4. 12-6］女年層別一人あたりの時間帯別視聴語彙量および総視聴語彙量（画面）

時間帯	10前	10後	20代	30代	40代	50代	60代	70上
5	0.2	0.9	1.7	3.0	3.3	5.0	5.9	7.0
6	73.1	60.4	77.3	128.3	169.5	220.9	176.6	141.0
7	158.6	133.2	188.8	267.8	289.5	324.8	327.7	274.2
8	4.8	14.0	66.8	101.5	115.1	137.8	174.0	189.6
9	4.2	10.6	71.7	80.1	59.0	88.6	125.7	163.5
10	0.7	1.4	7.7	7.2	4.8	8.8	14.1	21.4
11	4.2	18.0	51.0	45.7	41.5	77.3	118.7	174.8
12	9.1	31.3	69.7	91.7	90.9	131.3	169.1	174.7
13	12.4	35.1	64.9	92.5	77.6	116.3	169.5	261.4
14	0.8	1.7	2.8	3.0	2.8	4.0	6.0	9.2
15	32.4	35.1	52.1	69.1	63.9	88.1	119.3	175.2
16	51.9	40.9	25.7	29.8	25.2	27.2	48.5	90.7
17	316.6	234.0	133.2	136.7	84.7	111.2	159.7	276.9
18	169.8	128.0	123.5	181.1	169.3	229.6	278.6	331.2
19	629.8	471.4	420.0	552.0	530.1	681.2	801.5	812.4
20	111.9	100.5	106.0	112.7	128.4	163.2	183.7	183.5
21	276.3	383.9	483.6	506.4	567.2	635.5	596.0	442.8
22	37.5	105.6	192.2	226.3	220.6	205.6	142.0	86.8
23	23.1	80.3	166.8	139.7	135.3	105.1	60.7	28.8
0	3.0	12.2	28.0	23.8	17.5	9.8	8.6	2.8
1	0.4	2.6	4.2	3.2	2.3	1.3	1.5	0.7
2	0.2	0.8	0.6	0.3	0.3	0.1	0.6	0.2
3	0.0	0.3	0.0	0.0	0.1	0.0	0.1	0.1
4	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.1
	1,921.0	1,902.2	2,338.3	2,801.9	2,798.9	3,372.7	3,688.1	3,849.0

このうち，各年層一人あたりの総視聴語彙量を，男女別に示す（[図4.12-4]［図4.12-5]）。



［図4.12-4］各年層一人あたりの総視聴語彙量（男）



［図4.12-5］各年層一人あたりの総視聴語彙量（女）

男の場合，もっとも総視聴語彙量が多いのは“70上”で，音声で約22,800語，画面で約4,000語である。もっとも少ないのは，音声の場合には“10前”で約9,500語，画面の場合には“20代”で約1,900語である。“70上”は，音声では“10前”の約2.4倍，画面では“20代”の約2.1倍の語彙量を視聴していることになる。

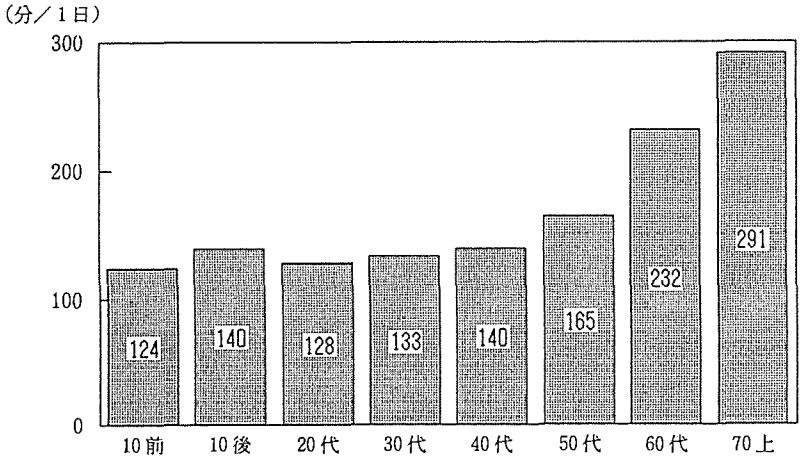
女の場合，もっとも総視聴語彙量が多いのは，男と同様，“70上”で，音声で約22,900語，画

面で約3,850語である。もっとも少ないのは，音声の場合には“10前”で約8,600語，画面の場合には“10後”で約1,900語である。“70上”は，音声では“10前”の約2.7倍，画面では“10後”の約2倍の語彙量を視聴していることになる。

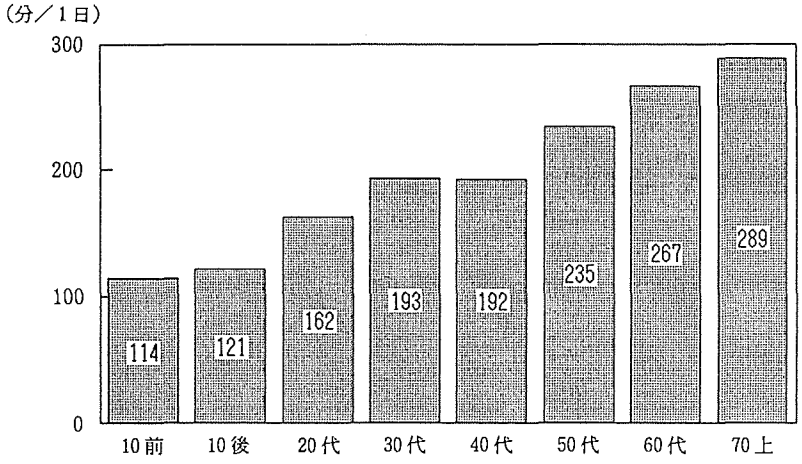
各年層ごとに男女間の違いをみると，音声では10代（“10前”と“10後”）で，また，画面では10代と“70上”で，男の総視聴語彙量が女のそれを上回っているが，他の年層では，いずれも，女の方が多くなっている。

年層間の変動では，男の場合，“10前”から“40代”までは，ほぼ，横ばいであるが，“50代”から“70上”へと，大きく総視聴語彙量をのばしている。これに対して，女の場合には，10代をひとまとめにして考えれば，ほぼ，年層が上がるにしたがって，総視聴語彙量も増えていく傾向をみせる。ただ，“30代”から“40代”にかけてのみ，総視聴語彙量は横ばいである。

この年層間の変動は，一日のテレビ視聴時間の年層間変動（[図4.12-6]［図4.12-7]）と対応している。



[図4.12-6] 各年層一人あたりの視聴時間（男）



[図4.12-7] 各年層一人あたりの視聴時間（女）

次に，各男女年層別に，時間帯による視聴語彙量の変動をみる（[図4.12-8a]～[図4.12-8h]）。

音声の場合。“10前”は，7時台と19時台の二つの山しかなく，視聴語彙量の大半を夜の山が占める。夜の山の峰は急である。

“10後”では，それに，12時台を頂点とする昼の山が加わる。19時台を頂点とする夜の山の峰はやはり急であるが，“10前”にくらべて，20時台から22時台にかけての減り方が，若干，緩やかになっている。

“20代”では，朝の山が8時台・9時台を裾に含むようになり（ただし，女の場合），また，朝の頂点と昼の頂点とがほぼ同じ高さとなる。夜の山の頂点は，10代と異なって，男女とも，22時台となり，山の形も，台形をなす。“30代”・“40代”も，ほぼ，同様の変動を示す。

“50代”では，夜の山の頂点が，ふたたび，19時台となる。山の形は台形を保っている。

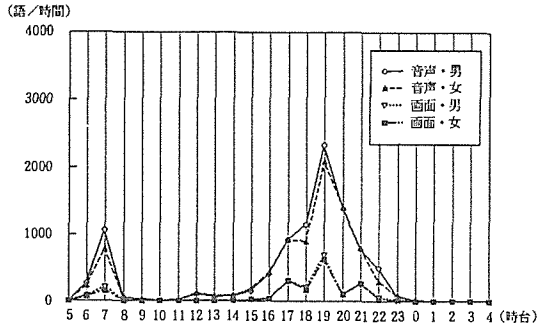
“60代”では，朝の山で8時台の視聴語彙量が増え（ただし，女の場合），また，朝の山よりも昼の山の方が高くなる。19時台を頂点とする夜の山の峰は，ふたたび，急になる。“70上”も，ほぼ，同様の変動を示すが，ここでは，男の場合も，朝の山に8時台が加わっている。

年層が上になるにしたがって，朝の山の頂点が7時台から8時台にかけて広がる（ただし，女の場合），朝より昼の視聴語彙量が徐々に多くなる，という傾向がみられる。また，夜の山の頂点は，“10前”から“40代”にかけては，19時台から22時台へと移るか，もしくは，広がり，“50代”以上では，ふたたび，19時台に戻っていく。

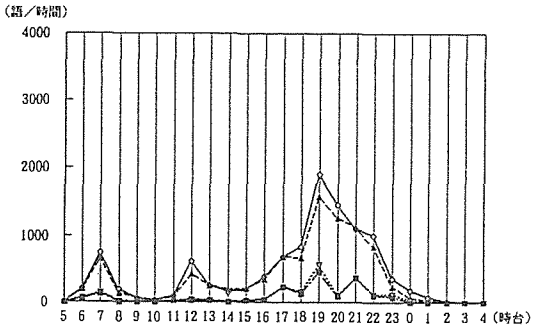
男女の間には，10代では大きな差はないが，“20代”から“60代”までは，6時台から22時台までの時間帯で，女の視聴語彙量が男のそれを上回っている（ただし，“60代”では7時から16時）。しかし，70代以上では，その差はほとんどなくなっている。また，“20代”から“40代”にかけては，夜の山の頂点が，男は22時台の一つであるのに対して，女は，19時台と22時台の二つの頂点をもつ。

画面の場合，音声とは違って，年層間の変動傾向の差はほとんどみられない。ただ，10代にみられる17時台のわずかな山が“20代”以上ではみえなくなる，10代および“60代”以上では21時台の山よりも19時台の山の方が高いのに対して，“20代”から“50代”までは同じような高さである，という若干の違いがみられる。

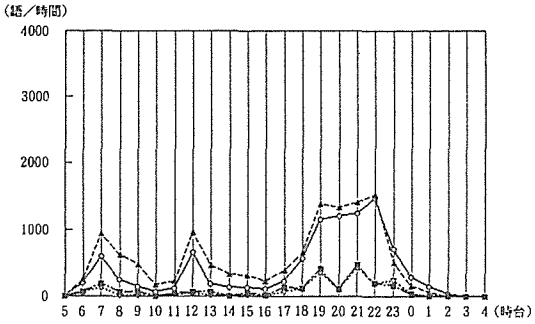
視聴語彙量の変動傾向についての年層間の差は，画面よりも音声において，顕著である。音声における各年層の視聴語彙量の変動傾向は，それぞれの年層の時刻別行為者率の変動傾向（[図4.12-9a]～[図4.12-9h]，比較のために毎時0～15分の数値のみを折れ線で結んでいる）に，おおよそ，対応している。“10前”はとくによく対応しており，また，その他の年層も，夜の時間帯を除けば，よく対応している。夜の変動については，“10後”以上の年層において，夜の山の頂点が，視聴語彙量と時刻別行為者率とで異なっている。“10後”では，視聴語彙量の頂点が19時台，時刻別行為者率の頂点が20時台と，視聴語彙量の頂点の方が早い時間帯となっている。“20代”と“40代”では，視聴語彙量の頂点が，男が22時台，女が19時台と22時台であるが，時刻別行為者率の頂点は21時台で，とくに男においては，視聴語彙量の頂点の方が遅くなっている。“50代”以上の年層では，ふたたび，視聴語彙量の頂点の方が時刻別行為者率のそれよりも，1時間から2時間ほど，早い時間帯になっている。



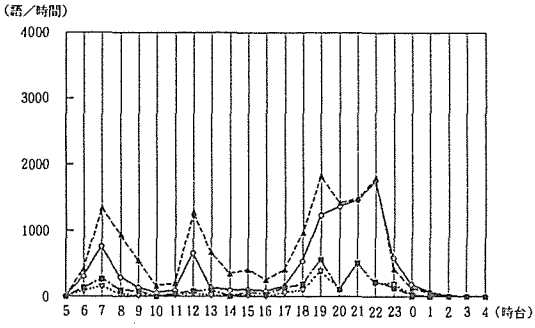
[図 4.12-8a] 一人あたりの視聴語彙量の日内変動（"10前"）



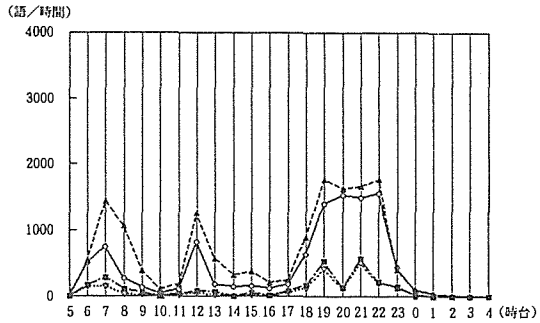
[図 4.12-8b] 一人あたりの視聴語彙量の日内変動（"10後"）



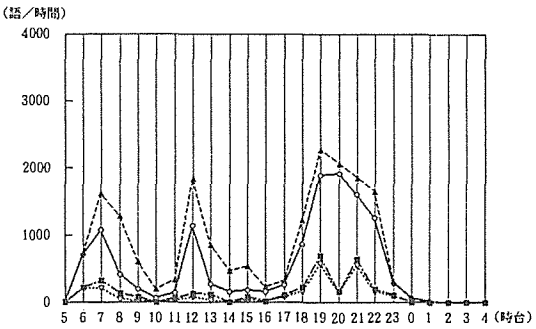
[図 4.12-8c] 一人あたりの視聴語彙量の日内変動（"20代"）



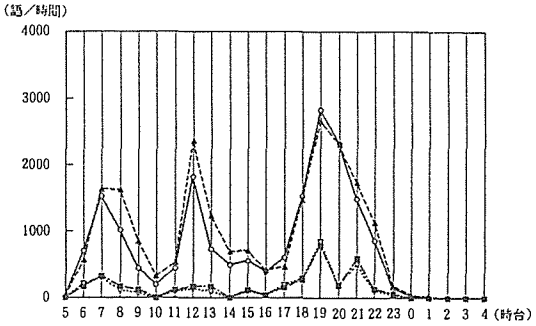
[図 4.12-8d] 一人あたりの視聴語彙量の日内変動（"30代"）



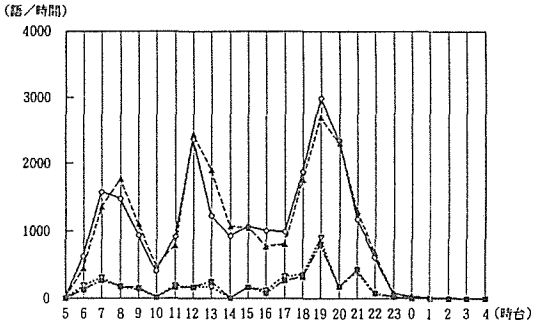
[図 4.12-8e] 一人あたりの視聴語彙量の日内変動（"40代"）



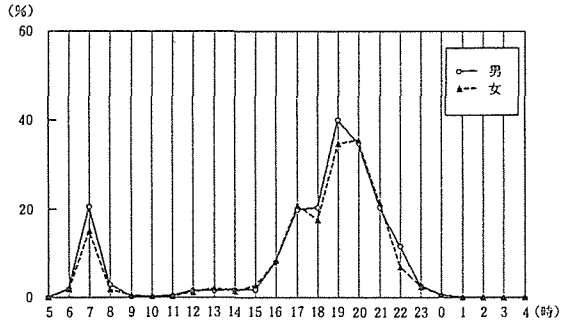
[図 4.12-8f] 一人あたりの視聴語彙量の日内変動（"50代"）



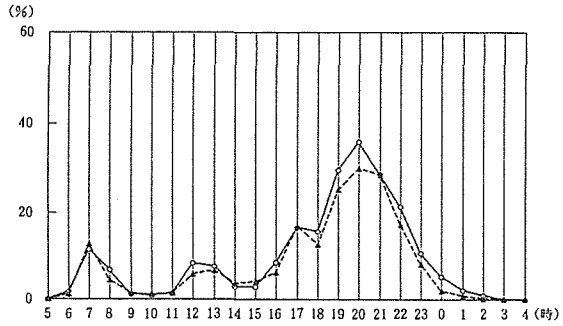
[図 4.12-8g] 一人あたりの視聴語彙量の日内変動（"60代"）



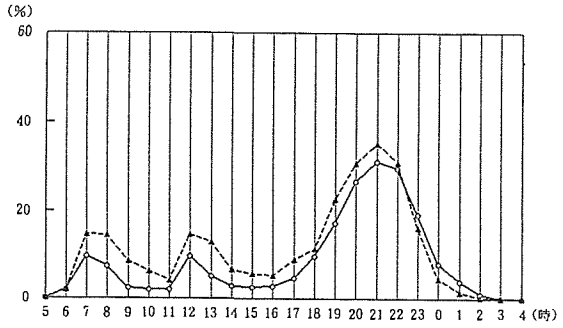
[図 4.12-8h] 一人あたりの視聴語彙量の日内変動（"70上"）



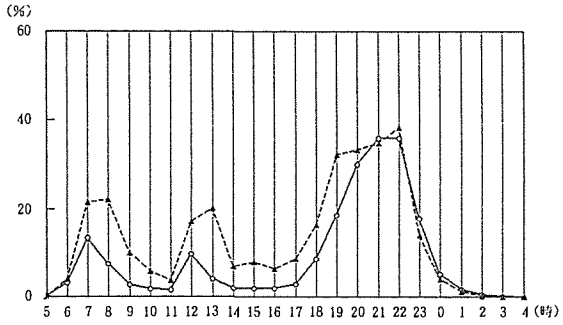
[図 4.12-9a] 時刻別行為者率の日内変動（"10前"）



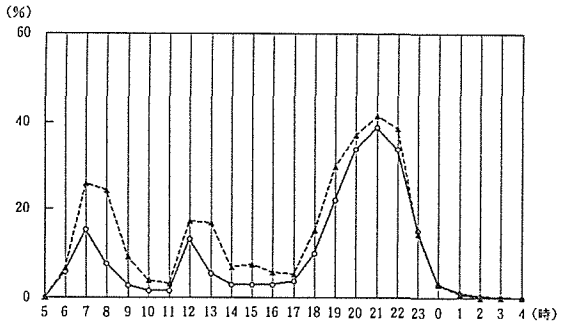
[図 4.12-9b] 時刻別行為者率の日内変動（"10後"）



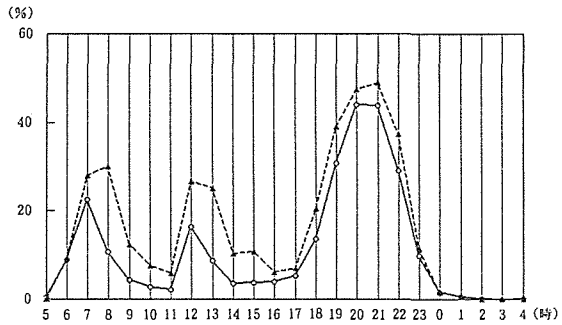
[図 4.12-9c] 時刻別行為者率の日内変動（"20代"）



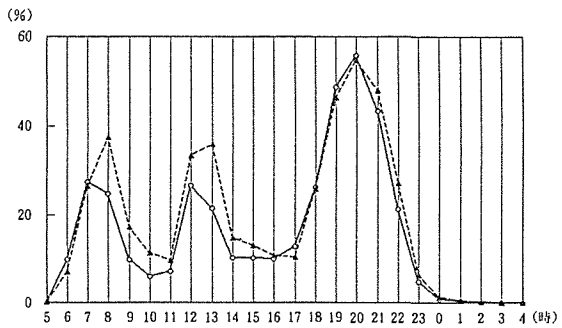
[図 4.12-9d] 時刻別行為者率の日内変動（"30代"）



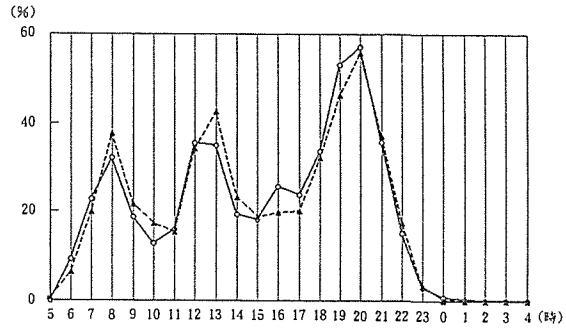
[図 4.12-9e] 時刻別行為者率の日内変動（"40代"）



[図 4.12-9f] 時刻別行為者率の日内変動（"50代"）



[図 4.12-9g] 時刻別行為者率の日内変動（"60代"）



[図 4.12-9h] 時刻別行為者率の日内変動（"70上"）

6．まとめ

「国民生活時間調査」(1990年）におけるテレビ視聴についての「時刻別行為者率」と，時間帯別の「語の密度」の結果とをもとに，視聴者一人あたりの視聴語彙量とその日内変動，総視聴語彙量，また，それらと送出語彙量およびその日内変動との関係を，「国民全体」と「男女年層別」ごとに，探った。その結果，次のような傾向が観察された。

(1)「国民全体」では，「平日」の番組本編に限れば，視聴者一人あたりが一日に，延べ語数にして，音声で13,950語ほど，画面で2,640語ほど，あわせて16,600語ほどを視聴している。これは，テレビ放送が送出している語彙量（音声で107,300語ほど，画面で17,400語ほど）の，音声で約13%，画面で約15%，全体でも13%ほどの割合である。

(2) 時間帯別の送出語彙量が，一日をとおして，小刻みな増減をくりかえすのに対して，「国民全体」の視聴語彙量は，音声では朝・昼・夜，画面では朝と夜に，それぞれ，山（語彙量の多い時間帯）を形成する。視聴語彙量の変動傾向は，時刻別行為者率の変動傾向と，ほぼ，対応している。

(3) 一人あたり・一日の総視聴語彙量では，男女とも，70才以上の年層がもっとも多い。この世代は，総視聴語彙量のもっとも少ない10代から20代に比べて，音声・画面とも，その2倍以上の語彙量を視聴している。

(4) 総視聴語彙量は，男の場合，10代から40代までは横ばいで，50代から大きく増える。女の場合は，30代から40代にかけて横ばいであるほかは，年層が上がるにつれて増えていく。この変動傾向は，一日のテレビ視聴時間の年層間変動と，ほぼ，対応している。

(5) 視聴語彙量の日内変動は，画面よりも音声において，年層間の差が顕著にみられる。音声では，年層が上になるにしたがって，朝の山の頂点が7時台から8時台にかけて広がり（とくに，女の場合），朝より昼の視聴語彙量が徐々に多くなる。また，夜の山の頂点が，10代から40代にかけては，19時台から22時台へと移るか，もしくは，広がり，50代以上では，ふたたび，19時台に戻っていく。男女の間には，10代では大きな差はないが，20代から50代までは，女の視聴語彙量が男のそれを上回る時間帯が多い。しかし，70代以上では，その差は，ほとんどなくなる。これらの変動は，各男女年層の時刻別行為者率の変動傾向に，おおよそ，対応している。

ただし，これらの傾向については，なお，検討の余地が残されている。とくに，各時間帯の語の密度を標本中央値で代表させ，それを，送出語彙量および「国民全体」「各男女年層」の視聴語彙量・総視聴語彙量の計算に，ひとしなみに用いたことについては問題が残る。各男女年層間には，視聴する番組の好みに差のあることが報告されており，番組分類によって語の密度に違いのあることを考え合わせれば，各時間帯の送出語彙量は，本来，各男女年層の視聴行動実態に応じて，変えていかなければならないからである。たとえば，同じ19時台でも，報道系の番組を好んで視聴する年層と，娯楽系の番組を好んで視聴する年層とでは，そもそもの送出語彙量が異なっており，その差を考慮して，それぞれの年層の視聴語彙量を計算しなければならない。しかし，そのためには，各男女年層がどのような番組をどれほど視聴しているかを，各時間帯ごとに知らなければならない。これまでのところ，そのような調査結果は報告されていないので，ここ

での計算にとりいれることはできなかった。ここで求めた数値は，各年層の視聴行動のうち，番組の好みを捨象したものであることに注意する必要がある。とはいえ，この種の調査が行われていない現時点においては，不完全な数値ではあっても，その限界を知るかぎりにおいては，意味をもつものと考える。なお，標本数が少ないために行えなかった週末（土曜・日曜）の視聴語彙量の計算も，今後の課題である。

第13章　画面文字の媒体

1．目　　的

「第2部第3章　音声・画面文字の認定」に述べたように，この調査では，画面文字が表示される媒体を，次の4種に分類している。

① テロップ・スーパー（インポーズ）の類

② フリップ・ボードの類

③ セットの類

④ 実物の類

この分類は，原則として，送り手（制作者）の作った媒体か否か，および，画面上でのみ存在する媒体か現実空間（スタジオなど）に存在する媒体か，という二つの観点からなされたものである。すなわち，［表4.13-1］のような関係である。

［表4.13-1］画面文字の媒体の分類

		存在形式	
		画面上のみ	現実空間に
送り手が	制作した	①	②③
	制作しない	－	④

なお，②フリップ・ボードの類と③セットの類については，出演者が直接に扱えるものか，スタジオなどに固定された大掛かりなものか，という点から区別されている。

われわれは，それぞれの媒体がテレビ放送において果たす役割（機能）は異なっていると考え，このような分類を行った。ここでは，これらの媒体が，語彙量をはじめとする語彙的な側面において，どのような異同をみせているのかを探る。

2．前　　提

ここでは，他の分析項目とは異なって，標本を単位とした分析は行わない。ここで標本を単位としようとすると，各標本ごとに加え，さらに各媒体ごとに，語の密度を算出（換算）しなければならないが，それは，現在の標本数では，その信頼性において，困難と考えられるからである。また，ここでは，上述の4媒体の相対的な関係（異同）を探ることが目的であるが，そうであれば，一つ一つの標本における4媒体の関係を積み上げていくかわりに，得られた標本全体を一つの対象としても，そこにみられる4媒体間の関係を探ることはできると考えられるからである。

3．デ ー タ

画面文字のあった309標本（うち，1標本は本編のみ，7標本はCMのみ）を対象とし，おもに，その本編に注目する。ただし，必要に応じて，CMとの比較も行う。

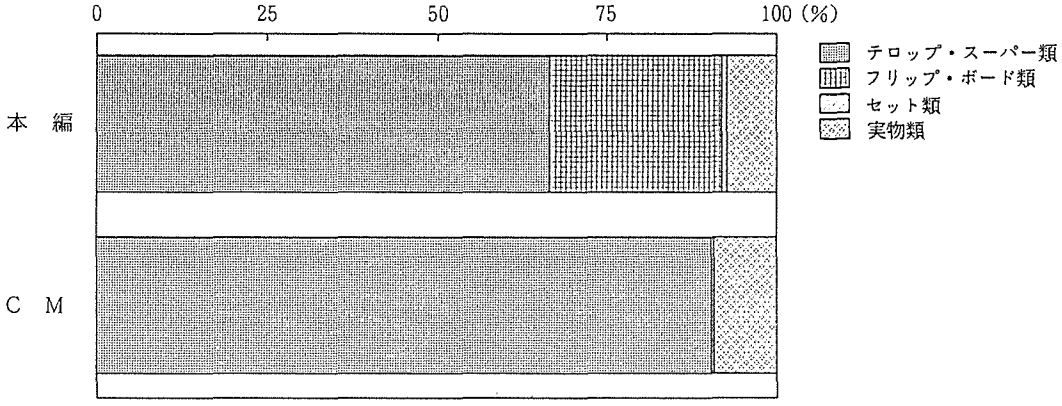
4．全体の語彙量

309標本全体を対象として，各媒体によって表示された延べ語数・異なり語数を，番組本編とCMとについてまとめる。

［表4.13-2］各媒体の語彙量　（ ）内は百分率

媒 体	本編 延 べ	本編 異なり	CM 延 べ	CM 異なり
①テロップ・スーパー類	13,491(66.6)	6,087	8,523(90.5)	3,345
②フリップ・ボード類	5,152(25.4)	1,666	25(0.3)	24
③セット類	133(0.6)	86	0(0.0)	0
④実 物 類	1,470(7.2)	833	865(9.1)	413
計	20,246(100.0)		9,413(100.0)	

全延べ語数に対する各媒体の割合を，本編とCMとについて，［図4.13-1］に示す。



［図4.13-1］延べ語数における各媒体の割合

本編，CMとも，①テロップ・スーパー類によって表示される語がもっとも多い。ただし，本編では，全体の4分の1ほどを②フリップ・ボード類による語が占めているのに対して，CMにはこの類はほとんどみられない（0.3%）。③セット類による語は両者とも少なく，また，④実物類による語の割合は，本編，CMとも，あまり変わらない。

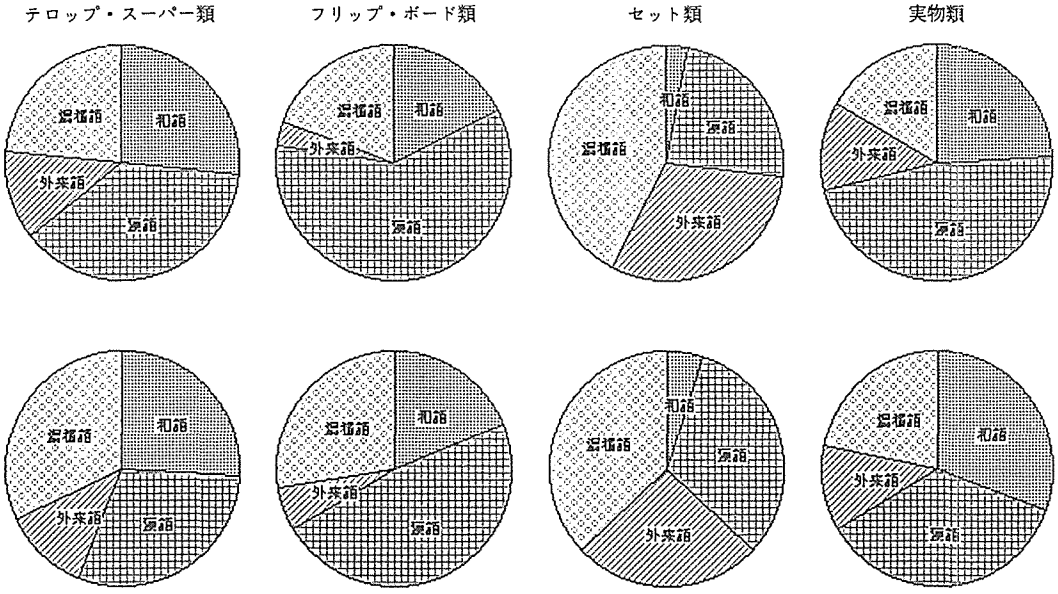
本編については，語種構成および品詞構成についても調べたので，その結果を［表4.13-3］［表4.13-4］および［図4.13-2］［図4.13-3］に示す。

［表 4.13-3］各媒体（本編）の語種構成（上段：延べ，下段：異なり　（ ）内は百分率）

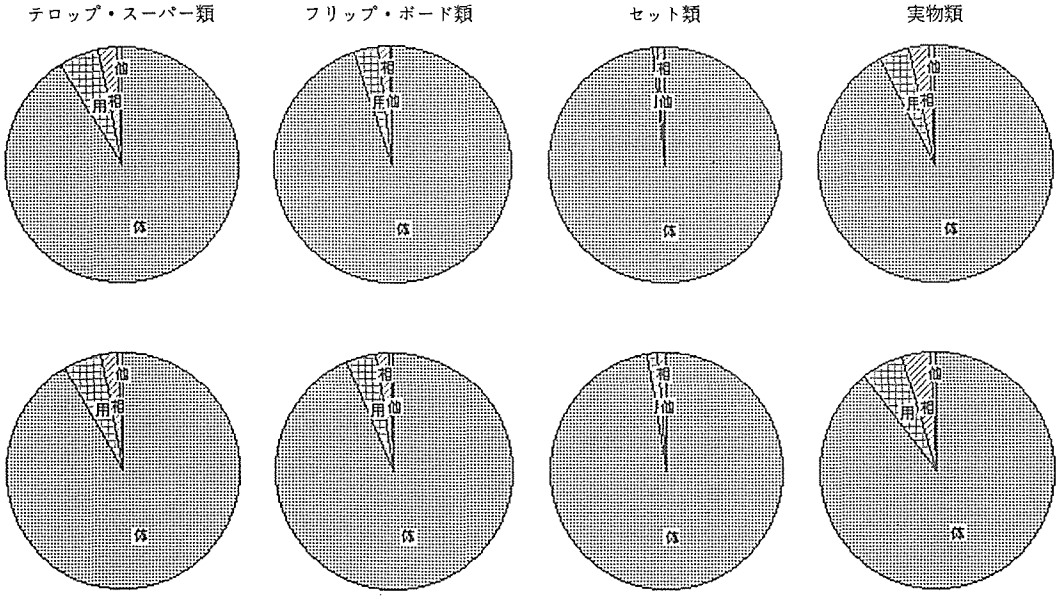
媒　体	和　語	漢　語	外来語	混種語
①テロップ・スーパー類	2,849(26.7)	4,018(37.7)	1,321(12.4)	2,481(23.3)
	1,518(26.0)	1,773(30.3)	689(11.8)	1,866(31.9)
②フリップ・ボード類	787(17.7)	2,663(59.7)	149(3.3)	859(19.3)
	304(18.9)	766(47.7)	92(5.7)	445(27.7)
③セット類	4(3.3)	29(23.6)	38(30.9)	52(42.3)
	4(4.9)	26(32.1)	21(25.9)	30(37.0)
④実 物 類	323(24.2)	628(47.0)	165(12.4)	219(16.4)
	242(30.7)	281(35.7)	94(11.9)	170(21.6)

［表 4.13-4］各媒体（本編）の品詞構成（上段：延べ，下段：異なり　（ ）内は百分率）

媒　体	体の類	用の類	相の類	その他
①テロップ・スーパー類	9,872(91.2)	585(5.4)	310(2.9)	56(0.5)
	5,500(91.8)	307(5.1)	156(2.6)	30(0.5)
②フリップ・ボード類	4,247(94.8)	151(3.4)	78(1.7)	6(0.1)
	1,518(93.5)	68(4.2)	32(2.0)	5(0.3)
③セット類	121(98.4)	1(0.8)	1(0.8)	0(0.0)
	79(97.5)	1(1.2)	1(1.2)	0(0.0)
④実 物 類	1,249(92.4)	56(4.1)	38(2.8)	9(0.7)
	717(89.4)	48(6.0)	32(4.0)	5(0.6)



［図 4.13-2］各媒体の語種構成（上段：延べ，下段：異なり）



［図 4.13-3］各媒体の品詞構成（上段：延べ，下段：異なり）

語種構成では，各媒体の間に比較的明確な違いがみられる。語数の多い①テロップ・スーパー類と②フリップ・ボード類とに注目すると，前者には，後者に比べて，和語・外来語が多く，漢語が少ない。④実物類では，和語の比率は①テロップ・スーパー類に近く，漢語・外来語の比率は両者の中間にある。③セット類は，他の三つの媒体と大きく異なっており，和語・漢語が少なく，外来語・混種語がとくに多い。品詞構成では，いずれの媒体でも体の類が圧倒的に多い。

5．一画面あたりの語彙量

画面文字は，一つの画面（テレビ受像機にひとつづきのものとして表示された画面。画面文字がスクロールしている場合にはその開始から終了まで）ごとに抽出（プリント）され，また，集計（カウント）される（「第２部第１章　調査の手順」「同第６章　見出し語の認定と集計」参照）。この調査では，一つの画面という単位が大きな意味をもっているといえる。

そこで，ここでは，それぞれの媒体が，一つの画面において，どれほどの語を表示しているのかを探る。なお，一つの画面には，一つの媒体のみによってその文字が表示されている場合もあるが，いくつかの文字（列）が複数の媒体によって同時に表示されている（一つの画面に複数の媒体による文字表示が混在する）場合もある。後者の場合には，同じ画面に混在する他の媒体との関係によって，その媒体によって表される語の数も変わってくるものと考えられる。しかし，ここでは，そのような違いについての考慮は今後の課題として，すべてをひとしなみにあつかうことにする。

まず，309の標本全体から得られた各媒体の画面数と，一画面ごとの延べ語数の五数要約値とを，本編とＣＭとについて，それぞれ，示す。

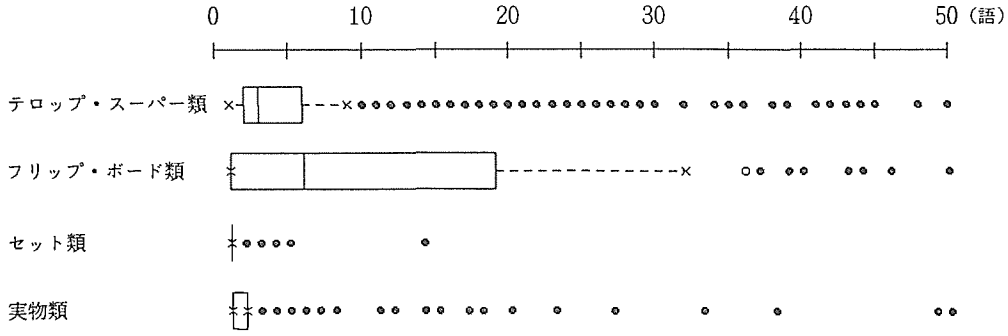
［表 4.13-5］各媒体の一画面あたりの延べ語数の五数要約値（本編）

媒　体	画面数	最小値	第1四分位	中央値	第3四分位	最大値	四分位偏差
①テロップ・スーパー類	2,708	1.0	2.0	3.0	6.0	96.0	2.0
②フリップ・ボード類	363	1.0	1.0	6.0	19.0	353.0	9.0
③セット類	94	1.0	1.0	1.0	1.0	14.0	0.0
④実 物 類	489	1.0	1.0	2.0	2.0	56.0	0.5

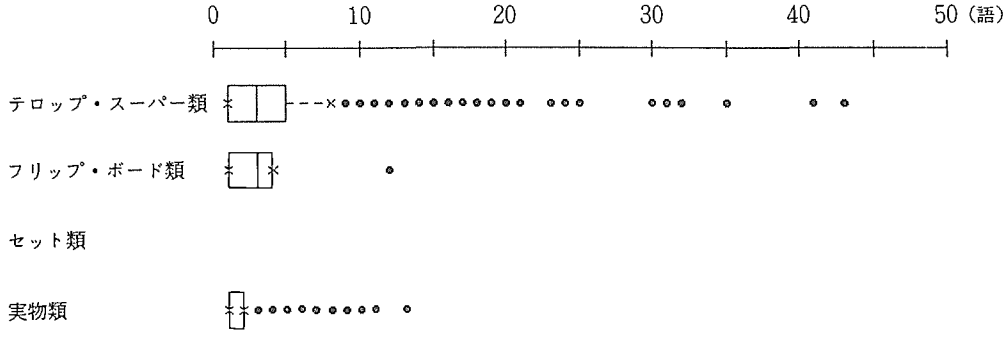
［表 4.13-6］各媒体の一画面あたりの延べ語数の五数要約値（ＣＭ）

媒　体	画面数	最小値	第1四分位	中央値	第3四分位	最大値	四分位偏差
①テロップ・スーパー類	2,156	1.0	1.0	3.0	5.0	43.0	2.0
②フリップ・ボード類	7	1.0	1.0	3.0	4.0	12.0	1.5
③セット類	0						
④実 物 類	464	1.0	1.0	1.0	2.0	13.0	0.5

次に，それぞれの箱型図を［図 4.13-4］［図 4.13-5］に示す（横軸のスケールは，見やすさを考慮して，50 までとした）。



［図 4.13-4］各媒体の一画面あたりの延べ語数の平行箱型図（本編）



［図 4.13-5］各媒体の一画面あたりの延べ語数の平行箱型図（ＣＭ）

本編の場合，中央値でみると，①テロップ・スーパー類では，一画面あたり3語，②フリップ・ボード類では6語，③セット類では1語，④実物類では2語となる。第1四分位から第3四分位までの中央部50%のデータでみると，①テロップ・スーパー類は2～6語，②フリップ・ボード類は1～19語，③セット類は1語，④実物類は1～2語ということになる。また，箱の中の中央値の位置から，①テロップ・スーパー類と②フリップ・ボード類とについては，ともに，分布の中央部が左にかたより，右に裾を引く分布形であることがわかる。さらに，①テロップ・スーパー類と④実物類には，かなり多くの外れ値がみられるようである。

4．でみたように，標本全体では，本編，CMとも，①テロップ・スーパー類の語数がもっとも多かった。しかし，本編の場合，一画面あたりの延べ語数では，②フリップ・ボード類の方が，①テロップ・スーパー類より多いといえる。

6．番組のジャンルと画面の媒体

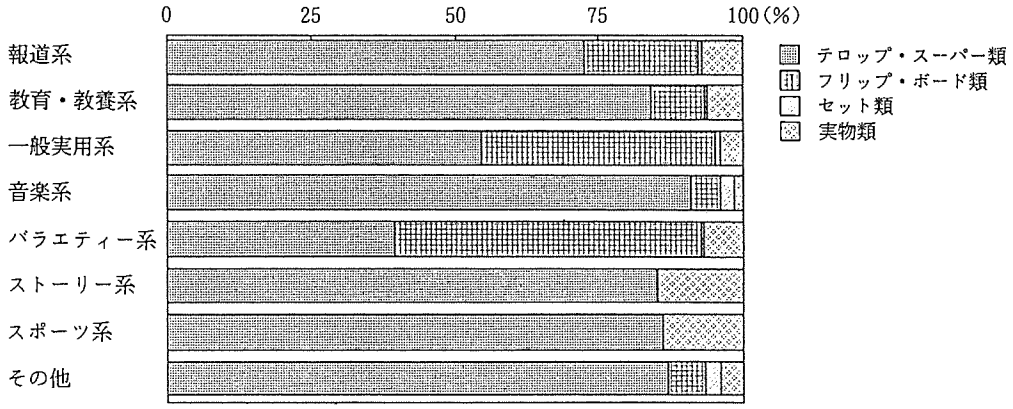
番組のジャンルごとに，各媒体によって表示される延べ語数を調べ，比べてみる。

［表4.13-5］各ジャンルの媒体延べ語数　（ ）内は百分率

ジャンル	①テロップ・スーパー類	②フリップ・ボード類	③セット類	④実物類	計
報道系	2,760(72.7)	754(19.8)	26(0.7)	259(6.8)	3,799(100.0)
教育・教養系	1,376(84.2)	152(9.3)	8(0.5)	99(6.0)	1,635(100.0)
一般実用系	2,937(54.6)	2,192(40.8)	41(0.8)	207(3.8)	5,377(100.0)
音楽系	932(91.2)	52(5.1)	23(2.2)	15(1.5)	1,022(100.0)
バラエティー系	1,476(39.5)	1,992(53.2)	25(0.7)	248(6.6)	3,741(100.0)
ストーリー系	1,247(85.2)	0(0.0)	1(0.1)	216(14.7)	1,464(100.0)
スポーツ系	2,627(86.1)	0(0.0)	5(0.1)	420(13.8)	3,052(100.0)
その他	136(87.2)	10(6.4)	4(2.6)	6(3.8)	156(100.0)

全番組に占める各ジャンルの割合を考慮する必要はあるが，［表4.13-5］をみるかぎりでは，①テロップ・スーパー類は一般実用系・報道系・スポーツ系で，②フリップ・ボード類は一般実用系・バラエティー系で，③セット類は，一般実用系・報道系・バラエティー系・音楽系で，④実物類はスポーツ系で，それぞれ，多くの語を表示している。

［図4.13-6］は，各ジャンルごとに各媒体による延べ語数の割合を求め，比較したものである。報道系・一般実用系・バラエティー系は，いずれの媒体もよく用いているが，この順に，①テロップ・スーパー類による語が減って，②フリップ・ボード類による語が増えていく。ストーリー系・スポーツ系は，ともに，①テロップ・スーパー類と④実物類とによって表示される語がほとんどで，両者の割合もよく似たものとなっている。音楽系もこれらに近いが，他に比べて③セット類による語がやや多いところに特徴がある。教育・教養系も，①テロップ・スーパー類による語の割合では，ストーリー系・スポーツ系に近いが，これらに比べて，②フリップ・ボード類による語が多くなっている。



［図 4.13-6］各ジャンルの媒体延べ語数の割合

7．まとめ

画面文字が存在する4種の媒体について，延べ語数・異なり語数・語種構成・品詞構成などの観点から，それぞれの異同を探るとともに，本編とCMとの関係，番組のジャンルにおける関係についても検討した。その結果，次のような傾向がみられた。

(1) 本編・CMとも，①テロップ・スーパー類によって表示される語がもっとも多い。②フリップ・ボード類は，本編ではよく使われるが，CMではほとんど使われない。

(2) 本編の一画面あたりの延べ語数では，②フリップ・ボード類の方が，①テロップ・スーパー類よりも多い。

(3) ①テロップ・スーパー類は，②フリップ・ボード類に比べて，和語・外来語が多く，漢語が少ない（本編の場合）。

(4) ①テロップ・スーパー類によって表示される語は，教育・教養系，音楽系，ストーリー系，スポーツ系では，8割以上を占める。ただし，報道系では7割余り，一般実用系では5割余りで，バラエティー系では4割弱となる。その分，②フリップ・ボード類によって表示される語が増え，報道系で2割，一般実用系で4割，バラエティー系では5割を超える。このほか，ストーリー系とスポーツ系において④実物類の多いことが目立つ。

索　　引

—事項索引—

あ

あいづち　44,53,266,275,374
合いの手　46,53
アクセント　4,11,54
朝のテレビ小説　328,331,333
アスペクト　52,59
遊びことば　45,47
あて先　58
アナウンサー　65,73,74,256,324,359,361,370,371,373,374
アマ　71,74
ありさま描写的表現　352,353,356
α単位　49
アルファベット　62,73
合わせ文字　45

い

言い誤り　47
言い換え　61,362
言いさし　45,47,50,69
言いつぎ　45
言いづまり　45,47,69
囲碁放送　354,356
1語文　49
1時間番組　313
1レコード　29,46,68,69
一貫処理プログラム　31,74
一般語　58
移動中央値法　213
移動平均法　213
意味情報　52
依頼　59
医療相談　331
インタビュアー　324
イントネーション　11,14,15,50,54
引用句　50
引用成分　52

う

上ヒンジ　211
受け手　4,6,10,224
受け手の認知　10
受け身形　22
うごき描写的表現　352,353,356
歌　26,46,47,48,58,69,238,271,362
歌い手　362
歌番組　264,271,333

え

映画　9,53,216,221,347,356
英会話　339
英語　339
映像　3,10,11,29,39,225,324,340,353
ｓｓ比　213
ＮＥＴテレビ　23
ＮＨＫ教育　8
ＮＨＫ総合　8
ＮＨＫ文研　18,19,23,24
ＮＨＫ放送文化研究所　4,12,18
ＮＨＫラジオ第一　23
ＮＫ値　248,249,250
M単位　49
ＭＶＲ　352,353,356
選ばれ度　325
Ｌ字型分布　224,228,232,233,235,236,246,308,328,355
演出　275
演奏会　213,214,271

お

送り手　6,10,391
送り手の意図　10
オノマトペ　44
音韻　17
音楽番組　236,242,253,339
音声　11
音声言語　3,5,6,7,13,18,24,49,50,221,261,341,343
音声多重放送　10,11
音調　67
音量　67

か

外境界点　212
外国映画　21,339,341,349,356
外国語　10,43,44,58,70,213,221
外国地人名　20
会社名　56,72
解説者　359
回想　59
χ二乗検定　213,276,363,367
外来語　31
外来語調　347
外来語名詞　276
書きことば　3,5,12,13,16,347
ガ行鼻濁音　11
学術用語　348,356
格助詞　50,60
学歴　15
掛け声　44,53
歌詞　30,362
歌手　359,360
カセットテープ　30,75
肩書き　55,73,373,374
カタカナ　21,46,73
活字メディア　4
活用形　15
家庭　15,325,331
かな　16
画面文字の媒体　70,71,205,206,391
感嘆　59
漢語　31
勧告　59
漢語サ変動詞　270
漢語調　347
漢語名詞　276
漢字　21
歓声　48
感嘆文　49
感動詞　14,235,275,370
関東地区　8,9,22,23,25,80
カンマ　62

き

キー局　7,8,9,79
キーステーション　25
キーワード　31
擬音語　53
聞き手　16,18
記号　61
紀行番組　333
記号類　49
擬態語　53
基本漢字　13
基本語彙　5,12,13,19,23,24
基本統計量　219
義務　59
キャスター　53,324,370,373
休止　54,58
教科書　5,12,23
教科書調査　13
共通語化　4
許可　59
極外値　212
局別世帯視聴率　80
近畿地区　22,23
禁止　59
近代日本語　12

く

句　50
ＫＷＩＣ　31,68,69,71,74,76
クール　7,33,39
句点　30,46,69
クレジット　217,221,302

け

敬語　60
形式名詞　53
形態素　15,49
競馬　349
形容語　22
形容詞　14,15,59,274,352,370
形容動詞　14,15,22,352
計量的単位　57
劇場中継　9
欠損値　214
言語　10,18,24,33,225,238,324
言語音　44,264,271
言語外的（な）側面　3,205,206,208,214,278,285,304
言語教育　17,207
言語計量調査　25
言語行動　13,16,17,18
言語生活　4,5,12,13,14,15,325
言語内的（な）側面　3,205,206,208,214,278,304
言語能力　17
言語密度　23

言語量 4,14,21,248,253
現代日本語 5,18
原文データ 31,68,69

こ

語 11,33,49
語彙 10,11
語彙体系 15
語彙調査 3,5,7,11,12,13,15,17,18,19,23,24,25,26,33,49,64,65,67,79,205
語彙表 3,17,32,64
語彙論 18
広告 261,264,265,345
講座もの 362
講師 25,359
高視聴率番組 23
肯定 59
高頻度語彙 18,20
構文 15,17
構文的機能 50
構文的情報 51
構文的成分 51,57
語彙量 14,15,18,23,33,206,214,219,254,256,350,362,363,375,379,384,385,389,391,392,394
コーナー 237,254
語学番組 10
国語研究所 4,5,12,13,15,18,23,24,26,49
国語国字問題 12,13
国民生活時間調査 4,206,306,375,389
国名 52,58
語形変異 6
古語 31,59
語構成 23
語種 31
五十音順語彙表 32
五数要約値 211
コソアド 22
コソアド語 14
語調 58
ことば 3,4,5,6,14,16,19,23,48,313,324,353
ことばの乱れ 4
ことばの密度 21
子供番組 331
子供向け教育番組 348,356
ことわざ 50
語の繰り返し 249,250,253,341
語の長さ 14
語の密度 214
コピーライター 238
5分番組 216,218
コマーシャル・フィルム 73
コミュニケーションネットワーク 17
コミュニケーション・パタン 16
コメディアン 370,372,373
固有名 44,52,53,54,55,56,58
固有名詞 18,31,50,79
語呂あわせ 58
混種語 31

さ

最小値 211
最大値 211
再表現 213
最頻値 208,278,279
再放送 9
再放送番組 330
採録時刻 80
サウンドスペクトログラム 16
座談 16
雑誌 4,5,12,23,67
雑誌九十種 12,20,26,64
サ変動詞 22,55
残差 213
30分番組 217,288,313
算術平均 208
散布図 248
散布度 211,310

し

CM 72
司会者 53,73,359,370,371,373,374
時間帯 376
時間量 14
時系列 16,213
時刻 376
時刻別行為者率 375,376,381,386,389
指示語 313
自社制作比率 9
JISコード 70
自然談話 324
字体 11
時代劇 302,348,356
下ヒンジ 211
視聴可能 7,9,10,41,79
視聴者 10,11,18,22,23,74,205,330,334,355,373,375,379,389
視聴率 325
視聴率区間 343,346,348,351,353,356
視聴率情報 9,31
実況中継 23,359
実物 42
実用番組 250,266
四分位点 286
四分位範囲 211
四分位偏差 211
字幕映画 213
字幕スーパー 21
氏名 32,357
社会言語学 16,17,18,24
ジャンル別視聴率 334
週一番組 305
集計単位 64
15分番組 288
終止成分 52
修飾成分 51
週日 327
12チャンネルテレビ 23
週末 306,310,311,312,327,355,390
主音声 11
主語 49,51,54
主述関係 54,55
主題 51,53
出演者 18,217,314,363,374,391
述語 51
出身地 32,74
主婦 13,14,331
種別名 56
商業放送 4
情景描写 225
小数点 62
情態副詞 274,370
焦点 18,22,23,276
商標 45
商品名 50,52,56,72,238,345
情報提供番組 216
情報番組 236
情報量 4,21,363
使用率 33,34,334
職業 15,32,73,74,357,361,362,368,370,371,373,374
助詞 14,50,60
助詞・助動詞 49,58,59,61,70,79
助動詞 14,50,59,60
書名 50,53
女優 370
白河市調査 13
自立語 14,53,56,57
新語 347
進行役 374
新聞 4,5,12,13,15,21,22,23,43,67,80
新聞調査 12,13,23
人名 50,52,53
人名表現 20
深夜番組 9
信頼区間 329
心理描写 225

す

推測統計学 6,205,207
推量 59
数字 21,62,250
スーパーインポーズ 41
数量 51,56,57
スタジオ 259,391
スタッフ 217
砂嵐 214
スポーツ中継 264,272
スポンサー 217,237
相撲 331,348,356

せ

正規分布 219,223,224,226,228,230,232,233,235,245,256,326
制作者 10,288,391
政治家 370,371
生年 73
セイフティーゾーン 43
性別 15,32,73,80,357,359,363,364,375
声優 370
節 54
接辞 57,60
接触時間 4
接続詞 14,15,235
接続助詞 60
接続成分 52
セット 42
背中合わせ幹葉表示 210
セリフ 261,362
全国視聴率調査 22
全国ネット 9
全日 9,70
全番組調査 20,21,23
専門的表現 348,356

そ

相関係数 248,250,362,363
相関図 284
総世帯視聴率 80

挿入 29,61,217
相の類 31
層別抽出 33
双峰性 256,278
ソート 31
組織名 52
外側値 212
その他 31

た

第1四分位 211
大学教授 370,371
待遇表現 15
体言 14,50,53,54,55,56,57,61,374
第3四分位 211
題述関係 54
体の類 31
代表値 208
台本 343,347,348,356,362,363
題名 25,50,53,354
多段抽出 33
縦書き 11,29
W単位 49,61
多峰性 278
タレント 74,370,372,373
単位切り 25,26,29,31,62,64,68,70,74
単位語 11,29,31,46,47,49,61,64,66,67,68,69,70,79
単位分割 30
単語 12,22,49
短語 15
単語レコード 68
探索的データ解析 3,207,208,209,210,211,212,213,214,223
単純平均 219
男女差 363
団体名 50
短単位 49
単発番組 305
単峰性 258,264,278
談話 5,15,18,49,313,324,354,356
談話行動 16
談話情報 61

ち

地域テレビ局 9
知識階層 17
地名 50,52,58
チャンネル 8
中央値 208,211
中央値精練法 213
注釈 46,48,69,70
抽出の単位 33,34
抽出比 34,79
抽出比率 7
中舌化 11
長音 11
長語 15
調査単位 3,11,14,15,16,17,20,25,33,49,79,347
長単位 49
陳述副詞 275,352,370

つ

作り手 65

て

TBS 8
TBSラジオ 23
抵抗性 208
定時ニュース 324
定時番組 21
丁寧形 59
データ 68,208
データベース 4,31,72,73,74
テレビ 4,5,9,16,20,21,23,72,225,288,313,325,326,327,329,330,336,341,353,355,375
テレビ朝日 8
テレビ画面文字調査 21
テレビ局 288
テレビ視聴行動 206,375
テレビ視聴時間 4,379,385,389
テレビ受像機 13,394
テレビ東京 8
テレビニュース 20,21,22
テレビニュース調査 20,22
テレビ用語 23
テレフォン・ショッピング 73
テロップ 41
天気予報 9,45,216,221,250,341
電子計算機 12,13
テンス 52
電話番号 58

と

当為 59
同格 55,56
同格関係 56
等間隔抽出 33
同語異語判別 26,29,31,64
東西二〇〇番組調査 22,23
動詞 14,22,60,272,352
登場人物 275,339
動植物名 50,52
当然 59
特集番組 333
独立成分 52
都市名 58
ドラマ 221,223,225,236,261,275,288,328,331,347,348,354,356,362,363,370

な

内境界点 212
長い単位 16,26,34,46,49,50,79,347
ながら視聴 288
生コマーシャル 73
ならし 213
ナレーション 46

に

二か国語放送 10
2時間番組 313
24時間調査 13,14
日常会話 18,266,370,372
日常談話 14
日内変動 288,389
日本語 10
日本語学習者 17
日本人 4,17
日本テレビ 8
ニュース 5,9,14,20,23,24,73,216,221,263,278,347,348,349,356,359,374
ニュース解説 14
ニュース原稿 256,324,370
ニュースショー 254,324,333,374
ニュース番組 73

ね

ネットワーク 9
年代 19,74,361,366,367,368,374
年齢 14,15,32,73,357,360,361,366,368,375

は

パーソナル・コンピュータ 13
媒体 3,18,23,33,41,43,68,72,75,80,246,341
俳優 370,374
箱型図 211
箱ひげ図 211
外れ値 212
バッチ 207,208,210,211,212,280
発話 17,31,43,46,47,48,58,65,67,68,69,71,73,79,250,304,324,345,357,362,370,371
発話時間 67
発話のスピード 285
発話場面 17
話しことば 3,13,15,16,17,18,19,274,347
話し手 6,10,15,18,69,274,275,343,347,362,363,371
場面 14,15,16,17,18,23,73,225,254,275,359,370,371,372,374
バラエティー番組 73,221,236,242,348,374
バレエ 213,221
番組案内 73,216
番組改編期間 7,305
番組構成 285,286,288,302,312
番組内容 277,374
番組のお知らせ 237
番組の好み 389,390
番組の認定 237
番組部門 21
番組分数 80,216,217,221
番組分類 23,32,39,221,254,389
番組編成 7,33,34,39
番組名 26,32,50,53,72,80,313,325,328
番組予告 21

ひ

ヒゲ 212
非言語音 44,69
被修飾成分 52
ヒストグラム 208
否定 59
ビデオ 29,330
ビデオテープ 4,29,30,33,65,75
ビデオデッキ 29,33,34
ビデオプリンタ 26,29,43,76
ビデオプリント 29,69,70
ビデオ予約等作業記録表 29,75
日のずれ 34
表現意図 15,17
表現連鎖 22
標語 50
表示時間 67
標準語 4
表情音 44
表内訓 65
標本開始時刻 35
標本語彙量 34
標本誤差 329
標本数 214

標本単位 35
標本抽出 33
標本抽出台帳 29
標本抽出調査 7,205
標本番号 29,43,70,71,72,73,80,213,214,275,313
ひらがな 21
品詞 31

ふ

ファッション番組 349,356
副音声 11
複合語 23,347
複合辞 50
副詞 14,15,53,55,352
副題 53
フジテレビ 8
付属語 53,54,55,67
普通名詞 31
プライムタイム 326
フリップ 42
プロ 74,362
プロ野球 216,350,353
文 30,46
文型論 17
文章 20,22,313,324,348,352,356
文節 14,15,16,20,30,34,49,50,51
文節の長さ 14
文体 3,347
文の構造 14
文の長さ 14,17
文の認定 30,49,50
分布型 207,213,256
分布形 208,209,210,212,278,281,307,396
分布の位置 208,209,211,212,236,281,284,285
分布の型 219,236,246,256,261
分布の形 208,210,223,226,227,228,230,235,258,261,307
分布のちらばり 211,285
分布の範囲 211
分布の広がり 284
文末表現 22
文脈 5,31,34,43,44,58,70
分類語彙表 31,247,352
分類番号 72

へ

平均視聴率 288
平均値 208
平行箱型図 212
並立関係 57
並立助詞 60
並立成分 52
β単位 17,20,23,49
ベルト番組 305

ほ

母音 11
方言 4,9,59
放送基本語彙 19
放送基本語い調査 19,20
放送局 7,8,9,23,25,79,80,237,256,285,288,373
放送時間外 9,34,35,80,214
放送時間量 34
放送年月日 80
放送番組 19
放送分数 206,313
放送網 7,8,9,79
放送用語 12,18,19,23
放送用語委員会 19
放送世論調査所 22
報道・教育・教養・娯楽 254
報道番組 23,221,250,256,271,331,353,356,370
ポーズ 11,16,41,50,80,391
ボード 42
補語的関係 54
母集団 7,9,29,39,79,207,208,213,285,286,306
補助動詞 50
本 4
本編時間 215,216,217,237

ま

マスコミ 21,23
マス・コミュニケーション 10
マス・メディア 4,5,7
漫画 331
漫才師 370,372

み

幹葉表示 210
見出し語 6,11,26,29,64,65,66,67,70,79
民間放送 9,216,217
民間放送局 9
民放 9,34,35,218,237,278,284,285,286,288,313,343

む

無作為抽出 33,79
無作為標本 207
無声化 11
無放送 289

め

名詞 14,272
名詞の比率 313,321,323,324,352,353
命名 53
メディア 5,13,21,74
メディア論 238

も

文字 11
文字化 46
文字囲み 11
文字飾り 11
文字化の精度 30
文字言語 3,5,6,7,12,13,15,18,49,50,205,221,340,341,344
文字の大きさ 11,42,43,67,70
文字表現 21,246
文字領域 42,43,70
物語 250,363

や

野球 264,328,331,333,341,349
役割 13,18,73,225,344,362,370,374,391
山形の分布 278
やりもらい 60

ゆ

遊戯音 44
融合形 14,15,61
有効標本 35,79,214,289,326

よ

用言 51,52,55
用語 12,23,272
用語調査 12,25,219
幼児・低学年児童 15
幼児向け番組 288
用の類 31
曜日区分 305
要約値 208
要約的表現 341,352,353,356
余暇時間 4
横書き 11,29
読み・書き 14
読み手 374

ら

落語家 372
ラジオ 14,16,20,21
ラジオ・テレビ番組 19
ラジオニュース 19
ラジオニュース調査 19,20
乱数 34,35

り

リポーター 359
留学生 17,25
流行語 347
料理番組 275,331,348,354,356
料理名 53
隣接値 212

る

ルートグラム 213
ルビ 45,70

れ

例外 58
歴史的出来事 50,52,53,58
歴史番組 333
レギュラー番組 305
連体詞 14,352
連体修飾成分 51
連用修飾成分 51

ろ

ローマ字 21
60分番組 217
ロゴ 45

わ

ワイドショー 73,266,295,359
分かち書き 30,44,58
若者ことば 4,347
和語 31
和語調 347
和語動詞 276
話者一覧 32,206
笑い 48

一番組名索引

（数字は標本番号，カッコ内はチャンネル）

あ

アイドル共和国(10) …… 0083
愛の劇場(6) …… 0159,0331
朝の連続ドラマ(4) …… 0046,0258
朝までスポーツ！(4) …… 0001
朝まで生テレビ！(10) …… 0221
明日はアタシの風が吹く(4) …… 0175
あしたへジャンプ(3) …… 0315
アッコにおまかせ！(6) …… 0311
アニメランド(12) …… 0238
暴れん坊将軍Ⅲ(10) …… 0308
あひるのクワック(12) …… 0343

い

ＥＴＶ８(3) …… 0303
いきいきセカンドらいふ(1) …… 0327
生島ヒロシのおいしいフライパン(8) … 0174,0350
イブニングネットワーク(1) …… 0076,0156
医療最前線(12) …… 0023
11PMナイター(4) …… 0321

う

うたって・ゴー(3) …… 0050
歌のトップテン(4) …… 0232
内田忠男モーニングショー(10) …… 0122

え

英語会話(3) …… 0100,0230
ＡＮＮニュース(10) …… 0103
ＮＨＫ市民大学(3) …… 0022
ＮＨＫスペシャル(1) …… 0088,0168,0198
ＮＨＫナイトニュース(1) …… 0012
ＮＨＫニュース・トゥデー(1)
…… 0184,0208,0320,0348
ＮＨＫモーニングワイド(1) …… 0110
ＮＮＮニュースプラス１(4) …… 0360
ＮＮＮ昼のニュース(4) …… 0038
Ｎ響アワー(3) …… 0112
ＦＮＮスーパータイム(8) …… 0040
ＦＮＮニュース・あすの天気(8) …… 0336
Ｆ１世界選手権(8) …… 0233
ＭＴＶジャパン(6) …… 0125,0165
ＬＡ　ＬＡＷ７人の弁護士(8) …… 0121

お

大雨情報(1) …… 0029
ＯＨ！エルくらぶ(10) …… 0334
大岡越前(6) …… 0063,0179
ＯＨ！キッチン家族(12) …… 0154
大相撲ダイジェスト(10) …… 0185
大相撲夏場所(1) …… 0171
おかあさんといっしょ(3) …… 0015,0147
おかあさんの勉強室(1) …… 0018,0178,0294
奥さま劇場(6) …… 0150,0206
奥さま広場(6) …… 0054
屋上カメラの映像と音楽(1) …… 0253
お天気チャンネル(8) …… 0287
おはようジャーナル(1) …… 0218
おはよう天気(4) …… 0269
おはよう！ナイスデイ(8) …… 0070
おもいっきりテレビ(4) …… 0035,0075,0211
面白人間統計学！(8) …… 0043
親子ゲーム(6) …… 0259
オリジナルコンサート(10) …… 0114

か

開局25周年記念ドラマスペシャル(12) … 0036
ガイド(12) …… 0349
金子信雄の楽しい夕食(10) …… 0295
彼女が水着に着がえたらに連れてって(8) 0257
株式ニュース(12) …… 0210,0239
火曜スーパーワイド(10) …… 0152
火曜ナイター(4) …… 0292
歌謡びんびんハウス(10) …… 0031
カルチャーワールド90(12) …… 0190
関東甲信越小さな旅(1) …… 0338
関東甲信越ネットワーク(1) …… 0151,0235

き

気象情報(6) …… 0224
キテレツ大百科(8) …… 0200
機動刑事ジバン(10) …… 0170
気まぐれ紀行(12) …… 0267,0299
教師びんびん物語Ⅱ(8) …… 0148
きょうの健康(3) …… 0216
きょうの料理(3) …… 0044
極めるⅡ(12) …… 0276
欽どこＴＶ!!(10) …… 0039,0107,0275
金曜スペシャル(6) …… 0109
金曜スポーツ深夜族(4) …… 0193

く

クイズなっとく歴史館(8) …… 0188
クイズヒントでピント(10) …… 0284
くらしの経済セミナー(3) …… 0194,0335

け

芸術劇場(3) …… 0172,0340
現代の顔(4) …… 0138
ケントのＰＣミッドナイト(12) …… 0333

こ

高等学校講座(3) …… 0002,0034,0064,0180,0344
ゴールデンナイター(10) …… 0288
ゴールデン洋画劇場(8) …… 0252
こころの旅にっぽん(12) …… 0222
こどもの発達相談(3) …… 0362
こんにちは２時(10) …… 0067,0155
今晩は・ＷＡＤＡです(6) …… 0080
今夜のみどころ(12) …… 0052

さ

SOUND WEATHER(8) …… 0177
サウンドスポット(4) …… 0265
サスペンス傑作劇場(4) …… 0223
誘われて二人旅(10) …… 0134,0342
サタデーナイト CLUB(10) …… 0057
ザッツ談(12) …… 0140
ザ・テレビ演芸(10) …… 0255
ザ・ベストテン(6) …… 0104
さわやかトゥディ(10) …… 0021
産業セミナー(3) …… 0291
３時にあいましょう(6) …… 0203
サンデープロジェクト(10) …… 0310
３年Ｂ組金八先生３(6) …… 0019,0047
３分クッキング(4) …… 0106

し

幸せのとなり(1) …… 0051
椎名誠と怪しい探検隊(4) …… 0309
ＣＢＳイブニングニュース(6) …… 0337
ＣＢＳドキュメント(6) …… 0005
ＪＮＮニュース(6) …… 0306
ＪＮＮニュースデスク'89(6) …… 0136,0296
しぜんだいすき(3) …… 0234
時代劇アワー(12) …… 0007
７時のニュース・天気予報(1) …… 0264
実戦！ゲートボール(4) …… 0166
シネスイッチ(8) …… 0161
志村けんのだいじょうぶだぁ(8) …… 0092
ジャストポップアップ(1) …… 0137,0277
将棋の時間(3) …… 0282
冗談画報Ⅱ(8) …… 0305
昭和の歌(1) …… 0126
書道に親しむ(3) …… 0220
新五捕物張(4) …… 0090
新鮮卓急便(6) …… 0326
新・パパこげてるョ！(12) …… 0078
新・び・じ・ん(6) …… 0136
新・必殺仕事人(10) …… 0242

す

スーパースター勢揃い！(6) …… 0279
ズームイン!!朝！(4) …… 0346
スクランブル３(4) …… 0183
スター爆笑Ｑ＆Ａ(4) …… 0120

せ

青春家族(1) …… 0127,0286
青春すくらんぶる(3) …… 0167,0251
世界地理(3) …… 0071
世界・ふしぎ発見！(6) …… 0028
石亭レディスゴルフトーナメント(12) …… 0111

そ

続・三匹が斬る！(10) …… 0132
そこが知りたい(6) …… 0086

た

第三回ワールドカップマラソン(4) …… 0060
第38回全日本バレーボール選手権大会(6) … 0143
大草原の小さな家(1) …… 0099
第２回世界囲碁選手権富士通杯(4) …… 0026
タイム・アイ(12) …… 0058
タイム３(8) …… 0119,0131
第61回選抜高校野球大会(3) …… 0011
ただいま！ＰＣランド(12) …… 0124

ち

中国語講座(3) …… 0352
超人気NEWマンザイお笑スター総登場(4) … 0016
聴力障害者の時間(3) …… 0256

つ

妻と夫の実年時代(1) …… 0247
鶴ちゃんのプッツン5(4) …… 0084

て

ＴＢＳ6(6) …… 0095
テレビ映画傑作シリーズ(12) …… 0073
テレビコラム(3) …… 0128,0270
テレビ体操(3) …… 0062
テレビ寺小屋(8) …… 0361
テレポートＴＢＳ6(6) …… 0236
天気予報(4) …… 0330
天気予報(12) …… 0158
天空戦記シュラト(12) …… 0356
天才・たけしの元気が出るテレビ!!(4) …… 0144

と

東京音楽祭情報(6) …… 0129
トゥナイト(10) …… 0324
東部自動車レディースプロゴルフトーナメント(12) …… 0227
討論・時代を読む(3) …… 0196
独占！サイクル・スポーツ(12) …… 0250
特捜刑事マイアミ・バイス(12) …… 0281
土曜アンコール劇場(10) …… 0363
土曜倶楽部(3) …… 0280
土曜競馬中継(12) …… 0307
土曜スペシャル・尼寺物語(12) …… 0364
土曜ナイター(4) …… 0056
土曜ワイド(8) …… 0027
ドラマ・女たちの狂騒曲(8) …… 0013
とーんでもない!?(8) …… 0139,0195

な

中曽根前首相リクルートで証人喚問(10) …… 0215

に

２時のロードショー(12) …… 0187
日曜囲碁対局(12) …… 0030,0142
日曜イベントアワー・プロ野球(12) …… 0199
日曜劇場(6) …… 0032
日曜スペシャル(8) …… 0087
日曜特集・新世界紀行(6) …… 0116
日曜洋画劇場(10) …… 0228
ニュース(1) …… 0003,0253
ニュースコープ(6) …… 0068
ニュース最終版(8) …… 0017,0081,0108,0316
ニュースシャトル(10) …… 0072
ニューススステーション(10) …… 0008,0024,0048,0260
ニュース日経夕刊(12) …… 0091

の

ノーカット世界名作劇場(6) …… 0037,0261

は

ハーイ！ＴＢＳです(6) …… 0191
パオパオチャンネル(10) …… 0351
はてなはてな(3) …… 0118
はばたけ6年(3) …… 0318
バラエティー生活笑百科(1) …… 0079
パラダイスＧＯ　ＧＯ!!(8) …… 0231,0243
パラダイス・スキー(12) …… 0113
ぱらだいむ'89(4) …… 0149
パワーアップナイター(10) …… 0268

ひ

ビジネスマンＮＥＷＳ(12) …… 0266
美術紀行(1) …… 0304
微笑女図鑑(4) …… 0209
ヒットスタジオ・演歌(8) …… 0055
ひらけ！ポンキッキ(8) …… 0006,0162,0298
ひるのプレゼント(1) …… 0359

ふ

ファッション通信(12) …… 0176
風雲！真田幸村スペシャル(12) …… 0052
フジテレビ赤丸チェック(8) …… 0059
婦人百科(3) …… 0263
ふるさと発見(12) …… 0009
PRE・STAGE2(10) …… 0205,0237,0345
PRE・STAGE1(10) …… 0053,0249,0317
プロ野球(6) …… 0283
プロ野球(8) …… 0339
プロ野球デーゲームスペシャル(4) …… 0115
プロ野球ミニ情報(4) …… 0248

へ

平成名物ＴＶ・トンガリ編(6) …… 0169
ペリーヌ物語(12) …… 0319
ヘルシークッキング(8) …… 0278

ほ

ぼくの絵わたしの絵(3) …… 0207
ボストン・マラソン(12) …… 0065
ホットライン(6) …… 0010,0074,0186,0322,0358

ま

街かどテレビ1100(6) …… 0214
ＭＡＬＴＡでナイト(12) …… 0049
マンガのひろば(12) …… 0314

み

水野晴郎の特選シネマ(4) …… 0181
ミッドナイトアートシアター(8) …… 0329
ミッドナイトシアター(6) …… 0245
水戸黄門(6) …… 0355
ミニガイド(8) …… 0212
ミュージックステーション(10) …… 0164,0192
ミラクル・ジャイアンツ童夢くん(4) …… 0226
みんな地球人(3) …… 0082

む

村野武憲のくいしんぼう！万才(8) …… 0212

め

名作ドラマシリーズ(6) …… 0271
名人劇場・いい湯だナ放浪記(8) …… 0312
名門！第三野球部(8) …… 0219

も

モーニングＥＹＥ(6) …… 0246
モーニングコール(8) …… 0146,0262
モーニングセンサー(10) …… 0182,0202,0290
木曜映画劇場(8) …… 0077,0357
木曜劇場(8) …… 0272
木曜ゴールデンドラマ(4) …… 0328
木曜スペシャル(4) …… 0160,0300
木曜ナイター(4) …… 0244

や

やじうまワイド(10) …… 0094

ゆ

遊行見聞録(10) …… 0004

よ

夜の時代劇・大江戸捜査網(12) …… 0105,0213,0293

ら

乱歩賞作家サスペンス(8) …… 0204

り

理科教室小学校4年生(3) …… 0042
理科2年(3) …… 0123

る

ルンルンあさ6生情報(4) …… 0102,0274,0354

れ

歴史誕生(1) …… 0332
レディス4(12) …… 0163,0323
レニングラード・バレエ(3) …… 0135
連想ゲーム(1) …… 0240

ろ

ロックＴＶ(12) …… 0133
浪漫街道(12) …… 0096

わ

ワールド・ビジネスサテライト(12) …… 0020
ワイドショー・ルックルックこんにちは(4) …… 0014,0066,0098,0130,0302
話題の医学(12) …… 0254
私、単身赴任します(6) …… 0347

Vocabulary Survey of Television Broadcasts I

Methods, Sampling, Analysis

(Summary)

1. Purpose of this report

This survey is the first systematic study of the vocabulary used in television broadcasts, and thus has a preliminary, exploratory aspect. Given this constraint, the present report seeks to convey: (1) The methodology used in the survey; (2) a listing of the sample data subset; (3) a statistical analysis of the sample. In further reports we will provide a complete vocabulary list and analysis thereof.

2. Purpose of the survey

This survey aims to: (1) Investigate the vocabulary currently used in television broadcasts; (2) thereby gaining a fuller picture of the vocabulary of contemporary Japanese language; (3) and establish the fundamental methodology for surveys of vocabulary usage in television broadcasts.

3. Characteristics of the survey

The nature of this survey derives from previous vocabulary surveys conducted at the National Language Research Institute, as well as from sociolinguistic-phonetic research. Further, this survey aims to comprehensively grasp the nature of language actually used in broadcasts, and thus differs from survey research conducted at the NHK Broadcast Culture Research Institute, which is designed to meet specific needs of the broadcast industry.

4. Scope of the survey

This survey takes as data the complete 24-hour broadcasts of the major six networks (seven channels: the NHK general and educational stations, Nihon TV, TBS, Fuji, TV Asahi and TV Tokyo) recorded over a period of three months. All use of the Japanese language, whether audio or visual, was analyzed for vocabulary usage.

5. Form of the survey

The complete broadcasts for the three-month period form the complete data set (population), which was broken down into five-minute segments as the basic unit for sampling. Samples were randomly chosen, keeping the quantity of data constant for each week, day of the week, time slot and channel.

6. Units of data

6.1 Unit words:

The concept of "long units" was adopted, based on the definition used in the survey of vocabulary for the magazine 《Chuuou Kouron》, which consist of words plus adjacent particles and verbal auxiliaries.

6.2 Headwords:

The list of words was adopted which is specified in the surveys of usage in the magazine 《Chuuou Kouron》, and in ninety contemporary magazines.

6.3 Data compilation:

Separate totals were made for occurrences of audio (each time a word was spoken) and visual (each time a word was continuously displayed on the screen) instances of each word.

7. Scale of the survey

The population consists of 2184 broadcast hours. The cumulative total amounts to approximately 57 million audio word tokens, and 25 million visual word tokens.

One 504th of the population was sampled yielding 364 five-minute samples. The total length sampled was 30 hours and 20 minutes (96,832 seconds of programming and 12,368 seconds of commercials). Of these, 332 samples provided usable data: Audio data was obtained from 331 samples for programming and 134 samples for commercials; visual data was obtained from 301 samples for programming and 134 samples for commercials.

8. Basic figures for the samples

8.1 Word tokens:

Total: 141,975

Programming audio:	103,081	Commercial audio:	9,235
Programming visual:	20,246	Commercial visual:	9,413

8.2 Word types:

Total: 26,033

Programming audio:	17,647	Commercial audio:	3,455
Programming visual:	7,970	Commercial visual:	3,591

8.3 Word density (median value of tokens per minute):

Programming audio:	73.5	Commercial audio:	44.6
Programming visual:	8.2	Commercial visual:	42.0

8.4 Word density (median value of types per minute):

Programming audio:	41.2	Commercial audio:	36.3
Programming visual:	6.4	Commercial visual:	31.2

9. Listing of data samples

A list is given for the 364 samples (including those which occur outside of a station's broadcasting hours), showing a description of each sample.

10. Analysis of the samples

10.1 Purpose, methodology and problems

The analysis here is based on the data from the 364 samples. It explores the relationship between various aspects of vocabulary use and extra-linguistic factors, in order to provide the basic information necessary for the concrete analysis of word and vocabulary usage which is forthcoming.

For the analysis we have based our method on Exploratory Data Analysis. In particular we rely greatly on methods such as stem-and-leaf display, 5-number summary, boxplot, and inspection of outliers, to summarize and display the data in ways that permit easy visual inspection of patterns of distribution.

Those samples which lacked broadcasts (white noise) were treated as defective values. When dealing with programming, samples which consisted of only commercials were also treated as missing values, and similarly when dealing with commercials, samples which consisted of only programming were treated as defective values.

Many of the analysis items are oriented towards the aspect of vocabulary usage which we call "word density." In samples with both programming and commercial segments, it was possible to keep the values for each from contaminating each other by expressing the data in terms of tokens and types per minute. However, since word density is an average value of words per minute calculated for single samples, it is susceptible to influence from outlier values. When analyzing the word density for words displayed visually, in particular, it is always necessary to account for samples giving exaggerated values.

10. 2 Total samples

An analysis of all the words spoken or displayed during the television broadcasts gives these data for programming segments: the median values for audio are 73.5 tokens and 41.2 types per minute; and those for visual are 8.2 tokens and 6.4 types per minute.

Variety programs give high values for audio word density, while information programs give high values for visual word density. At the other extreme, music programs give low values for audio word density, and dramas give low values for visual word density.

The distribution of audio word token densities shows a characteristic double peaked form, with the two peaks showing a close correspondence to program genre, and the distribution shows an L-shaped form for visual word token density.

The distribution of vocabulary classed by origin, that is native Japanese words, Sino-Japanese words, foreign words and mixed words, each show a distinct form and position. Further, the class of miscellaneous parts of speech shows a flattened distribution pattern (for tokens), in contrast to the distribution patterns for the major parts of speech.

10. 3 Programming versus commercials

Upon comparison of vocabulary usage between programming and commercial segments, the following observations were made:

(1) While programming segments show much greater values for audio word density than for visual word density, the values are almost the same for commercial segments.

(2) The ratio of the median values of the audio word densities for tokens versus types was 1.8 for programming and 1.3 for commercials. This indicates that there is less repetition of words during commercials.

(3) Commercial segments show greater median values for visual word density than do programming ones. The greatest values for programming, however, were greater than those for commercials, so it is not the case that the values for commercials are extreme.

The quantitative distribution of vocabulary usage in commercials is quite different from that of programming, showing more homogeneity. This is seen in that the difference between values for visual and audio word usage is smaller than that for programming, and that word density shows a nearly normal distribution. Further, although some trends may be observed relating commercial word usage with day of the week, program genre, time slot and audience ratings, it is difficult to adduce any persuasive motivation for the trends, and more examination is necessary to determine whether they are accidental or not.

10. 4 Audio versus visual

Upon comparison of vocabulary usage between audio and visual data, in terms of word

density, categories of origin and parts of speech, the following results were obtained:

(1) The distribution of word density for programming shows a peaked distribution for audio, and an L-shaped distribution for visual. In commercials, both audio and visual show a peaked distribution.

(2) Visual word density is rather lower than audio word density, yet there are some samples with extremely high visual word density, so it is not the case that it is impossible to communicate a great amount of language-based data with a visual display. In commercials the difference between visual and audio word densities almost disappears.

(3) In audio, the percentage of native Japanese words is by far the greatest, while for visual, native Japanese words, Sino-Japanese words, foreign words and mixed words are characteristically in about equal proportions.

(4) Sports programs show the greatest use of visual display of words of all the programming genres.

(5) There is no correlation between audio and visual word densities in programming or in commercials.

(6) The ratios of tokens versus types are distributed between one and three for audio word densities. In contrast, values for visual word densities are clustered below two, but there are some extremely high values. This reflects whether there is much repetition of words or not.

(7) Samples showing great repetition of words in audio language are from Variety programs and Utility programs. There is little repetition in Sports programs and Story programs. Extremely high rates of repetition of words in visual language are found in Sports programs, as well as in weather reports from News programs.

10.5 Program genre

The television programs were divided into eight genres based on the coding system used in the bulletin of a commercial ratings company: News, Educational, Utility, Music, Variety, Story, Sports and Miscellaneous. Word densities were calculated for each of these varieties, and the composition of their vocabulary used were observed for word origin types and parts of speech. The following results were obtained:

(1) The distributions of audio word token densities showed a characteristic peak for each genre. In particular, peaks in the 40 to 50 word range for Educational and Story programs and in the 70 to 90 word range for News, Utility, Variety and Sports programs produce the double peaked distribution seen in the full sample.

(2) Median values for audio word token densities are greatest for Utility and Variety programs. Educational, Music and Story programs show small values. No samples lacking tokens are found for News, Utility, Sports and Variety programs. Median values for audio word type densities are greatest for News programs, followed by Variety and Utility programs, and then Sports programs. The differences among these four genres and Educational, Music and Story programs is less than it is for word tokens.

(3) Visual word token densities show some zero values for all genres except Sports programs, and the median values are also small. Story programs show extremely small values, and those for Educational and Music programs are also relatively low. Sports programs show by far the greatest median value for visual word token densities, but the median value is much smaller for visual word type densities, while the median value for visual word type densities for News programs becomes relatively higher. Also, the quartile deviation for Sports programs was smaller than for any of the other genres. The quartile deviation for Music programs is large both for tokens and types.

(4) The vocabulary compositions (audio) for the different genres show the following characteristics: Story programs show the greatest proportion of native Japanese words, while News programs show the least. Conversely, News programs show the greatest proportion of Sino-Japanese words, while Story programs show the least. Sports programs show the greatest proportion of foreign words, while Story and Educational programs show the smallest. News and Sports programs show the greatest proportions of mixed words, while Music programs show the least.

(5) The proportions of nouns was greatest for News programs, (and Sports programs for types), and least for Music programs (and Story programs for types). The proportion of verbs is highest for Story programs, and lowest for Sports programs. The proportion of modifiers words is highest for Utility and Variety programs, and lowest for News programs. The proportion of words in miscellaneous parts of speech is greatest in terms of tokens for Utility and Variety programs, and in terms of types for Variety and Story programs. These words had the smallest proportion in terms of tokens for Educational and News programs, and in terms of types for News programs.

(6) From the above observations it may be conjectured that the most characteristic word classes for News programs are Sino-Japanese nouns; for Story programs, native Japanese verbs; and for Sports programs, foreign nouns.

(7) The Chi square test shows that for categories of origin, for all combinations of two genres, the hypothesis that they show no significant difference in vocabulary composition can be rejected. The same holds true for parts of speech for almost all combinations, but the Chi square values and the actual differences observed between genres are smaller.

As discussed above, there are clear differences in word density and vocabulary composition among the various genres. Accordingly, it should be possible to group programs into genre classes based on the characteristics of the vocabulary used.

10.6 Television channels

The following trends are found in the data when compared among the different channels.

(1) The median values for audio word density (tokens and types) are greatest for Nihon TV and TV Asahi, and the median values for visual word density are greatest for TBS. The values for both audio and visual word densities are lowest for NHK educational.

(2) The scattering of the distribution (interquartile range), especially for visual word densities is less for the NHK general and educational channels than for the private channels.

(3) The audio and visual word densities for NHK general, TV Fuji and TV Tokyo show similar patterns. Compared with this group, NHK educational shows smaller values for both visual and audio word densities, while Nihon TV shows greater values (for word type density, however, only the audio values are greater). Further, TBS shows greater values for visual word densities, and TV Asahi shows greater values for audio word densities.

It should be noted that the values obtained for the different channels are likely influenced by their program lineups, and that if the ratio of programs of different genres were changed then the overall values for that station would probably change as well. To more directly observe the relationship between vocabulary use and television station it would be necessary to eliminate the influence of program lineups.

10.7 Broadcasting time slot

We explored how the audio and visual word densities changed in the course of a broadcasting day, selecting weekdays and the six channels excluding NHK educational. The following results were obtained:

(1) There is a series of slight variations in audio word density throughout the day.

(2) Visual word density also shows slight variations, but compared to audio it shows small values during the day, and larger values in the morning and evening.

(3) Fluctuations in audio and visual word densities are generally synchronized, except in the late evening, but there are also discrepancies at certain times during the day.

(4) Time slots with high or low word density values have different genres of programs. The correspondence between time slot and word density seems to be a secondary one mediated by program genre.

10.8 Broadcasting day

The days of the week were classified as weekdays, Saturdays and Sundays, and compared for differences in word density. The following two observations were made.

(1) Audio word densities (token and type) for weekdays and Saturdays are greater than for Sundays.

(2) Visual word densities (token and type) for weekdays and Sundays are greater than for Saturdays.

Weekdays show larger word densities both for audio and visual, but there is a difference between the two weekend days Saturday and Sunday. This seems to be a result of differences in program lineups.

10.9 Program length

No clear correlation can be found between program length and word token densities or proportions of audio noun tokens. However, in the News program samples it is found that the median values for audio word token density are lower for shorter programs, and that the median proportion of nouns becomes higher. This may be a result of the fact that shorter News programs (such as hourly news updates) consist more of announcers reading copy than do full-length News programs, but the full reason is not clear. The greater proportion of nouns may be be due to a tendency to suppress any extraneous elements to the basic framework.

10.10 Viewer ratings

Two types of ratings, 1 and 2 are used. The former is a measure of the number of people watching a particular program, and the latter is viewer share, a measure of what proportion of people watching television at a particular time are watching a particular program. The relations between ratings and time slots, programs, channels and days of the week were examined, and programs with high and low ratings were compared for word densities and vocabulary composition. The following results were obtained:

(1) The following three viewing peaks are observed:

a. A medium sized peak in the morning 7:00 and 8:00 slots.

b. a small peak in the noonday 12:00 and 1:00 slots.

c. a large peak in the 7:00, 8:00, 9:00 and 10:00 slots.

(2) The weekend is the most popular time of the week for viewing. The ratings for the Sunday samples are high.

(3) The viewer ratings for the samples show an L-shaped distribution, with few samples showing the greatest values, and many samples showing the lowest values.

(4) Story, Sports, Variety and News programs show higher absolute ratings, and Educational and Music programs show lower ratings. The deviation for the Music programs was great, however, so there are some with very high ratings. High values for viewer share

in descending order are: Story, News, Variety, Sports and Utility programs, which means these genres are selected by viewers in preference to other genres.

(5) There are no great differences in ratings among the various channels, except that NHK educational and TV Tokyo show lower ratings than the others. All the channels produced samples with high and low ratings.

(6) Sunday programs have relatively high ratings.

(7) Programs were divided into four quartile groups according to rating 1 and analyzed, with group 1 including the programs with lowest ratings, and group 4 with the highest ratings. Median values for audio word token densities for programming for the four groups, starting with the group 1 with the lowest rating are 69.4, 77.1, 78.1 and 70.6, showing an increase of density with higher rating, except that group 4 with the highest rating shows a decrease. The same trend is observed for type density. Visual word densities for programming are low for group 1, with a median value of 5.2, but the other groups are roughly equal. The token/type ratios are smaller than for audio word densities. Audio median values for commercials also show an increase from groups 1 to 3 and a decrease in group 4. Visual median word densities for commercials show higher values for groups 2 and 4 with a slight increase.

(8) There is little difference among the ratings groups in the proportions of word tokens in the various categories of origin, although the median value of the proportion of mixed word tokens is 1.9 times greater for group 2, and 1.7 times greater for groups 3 and 4, than it is for group 1. The median values of the proportion of native Japanese word types is greater for groups 2 and 3, but overall no great variation depending on word type can be seen.

(9) There are few samples with high proportions of native Japanese words in group 2, but the other categories show high proportions. Sino-Japanese words show high proportions in group 3, and mixed words are particularly scarce in group 1. Native Japanese words show the high proportions in children's educational programs, cooking programs, unscripted variety programs, historical and contemporary dramas, and in broadcasts of Sumo tournaments. High proportions of Sino-Japanese words tend to occur with high proportions of foreign words and mixed words as well, especially in news programs and other talk programs that are most likely scripted, including some samples with many technical and learned expressions. Foreign words show high proportions sometimes alone, and sometimes in combination with other categories, especially in sports and fashion programs, but also in news and foreign movies.

(10) Kabashima Tadao has demonstrated how differences in style can be grasped by plotting the percentage of nouns in a text against an index he calls MVR, which is calculated by dividing the number of nouns by the number of verbs and multiplying by one hundred. These two indices show the following characteristics:

Group 2 has the greatest number of samples with high proportions of nouns, and group 1 has the greatest number of samples with low proportions. Group 4 with the highest ratings shows few samples with either high or low proportions of nouns. Groups 1 and 3 have the greatest number of samples with high MVRs, and group 4 has the greatest number of samples with low MVRs.

According to Kabashima's classification, 46 samples show Summary Style, 47 samples show Static Description Style, and 2 samples show Dynamic Description Style. The Summary Style samples are distributed equally across all four groups, but the number of Static Description Style samples is greatest in group 1, and the Dynamic Description Style samples are both found in group 4. Summary Style samples tend to occur in news programs, and Static Description Style samples in cooking and go programs, talk shows and dramas. The Dynamic

Description Style samples were from movies.

10.11 Speakers

An analysis of the relations between types of program and vocabulary use, and the attributes of speakers revealed the following trends:

(1) The number of speakers tends to be greater in Variety, Story, Educational, Music and Sports programs.

(2) The ratio of men to women over all the samples was 6.2 : 3.7, and the men outnumbered the women in all except the Miscellaneous programs.

(3) The ages of speakers vary according to program genre. In the News programs, people from the 20s to the 50s are evenly represented. In Educational programs there is a large number of speakers in their 30s, and the number of speakers in their 60s is greater than for the other genres. Utility programs have large numbers of speakers in their 20s. Music programs have greater numbers of speakers in their teens than the other genres. Speakers from the 20s and 30s make up two thirds of the total for Variety programs, and about one half of speakers in drama programs are from the 30s and 40s. Over half of the speakers in Sports programs are in their 40s.

(4) Most of the speakers are people whose profession is appearing on television.

(5) There is little correlation between numbers of speakers and word token density, but the correlation for word type density is much greater.

(6) Men use more Sino-Japanese words and fewer native Japanese words than do women.

(7) Men use more nouns, and fewer words of the other parts of speech, than do women.

(8) The Chi square test shows that for all pairs of age groups except the 30s and 40s, the hypothesis that there are no significant differences in the makeup of vocabulary by categories of origin can be rejected. The Chi square values are smaller for parts of speech.

(9) Announcers, newscasters, moderators, politicians and university professors use higher proportions of nouns and Sino-Japanese words than speakers of other professions. Conversely, actors, voice actors, talents and comedians use higher proportions of native Japanese words, and of modifiers and miscellaneous parts of speech than speakers of other professions. There are clear differences in the vocabulary composition according to the type of situations in which a speaker most often appears.

(10) The differences in vocabulary composition for individual speakers seems to reflect the differences in the types of programs in which they appear, and the types of roles they take therein.

10.12 Viewer behavior

Based on a 1990 survey of the viewing habits of the Japanese public, we estimated the quantity of words that television viewers are exposed to in the course of their viewing.

(1) An average television viewer is exposed to some 13,950 audio word tokens and 2,640 visual word tokens in the course of a day, for a total of approximately 16,600. This corresponds to 13% of the total of audio words (107,300) and 15% of the visual words (17,400) broadcast (median value for one station), for a combined proportion of 13%.

(2) The total words broadcast shows a series of slight variations according to time of day, but the total word exposure shows morning, noon and evening peaks for audio and morning and evening peaks for visual.

(3) The total word exposure is greatest for viewers in their seventies and over, for both men and women. This is over twice the exposure (both for audio and visual) of viewers in

their teens, the group with the least exposure.

(4) For men, exposure is roughly constant from the teens through the 40s, and shows a sharp increase from the 50s. Exposure for women shows a constant increase with increasing age, except for a levelling off through the 30s and 40s.

(5) There are distinct age differences in the fluctuations in word exposure in the course of the day. From the 20s to the 50s, most time slots have more women than men viewers, but this difference almost disappears for the 70s.

10.13 Visual language media

We analyzed differences in vocabulary usage according to the visual media in which they appear: screen titles, flipboards, signs on sets, and real objects.

(1) In both programming and commercials, words displayed by screen titleswere the most common. Flipboards are frequently used in programming, but almost never in commercials.

(2) The number of word tokens appearing at one time on the screen is greater for flipboards than for screen titles.

(3) Screen titles show higher proportions of native Japanese words and foreign words, and fewer Sino-Japanese words, than do flipboards.

(4) For Educational, Music, Story and Sports programs, over 80 per cent of words displayed were done with screen titles. This proportion was over 70 per cent for News programs, over 50 per cent for Utility programs, and under 40 per cent for Variety programs. The proportions for flipboards showed a corresponding increase: 20 per cent for News programs, 40 per cent for Utility programs, and over 50 per cent for Variety programs. Also, there are high proportions of words displayed on real objects for Story and Sports programs.

(Translation of summary: Eric Long)

国立国語研究所報告　112

テレビ放送の語彙調査　I

―方法・標本一覧・分析―

平成７年10月

国 立 国 語 研 究 所

東京都北区西が丘３丁目９番14号
電話　03－3900－3111（代表）

UDC　811.521 '06－373
NDC　814